

塩川砂井戸遺跡(2) 池 石 田 遺 跡

(都)3.3.2 吉井北通り線社会資本整備総合交付金
(防災・安全/活力基盤)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2018

群 馬 県 高 崎 土 木 事 務 所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

塩川砂井戸遺跡(2) 池石田遺跡

(都)3.3.2 吉井北通り線社会資本整備総合交付金
(防災・安全/活力基盤)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2018

群馬県高崎土木事務所
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

塩川砂井戸遺跡および池石田遺跡は群馬県高崎市吉井町にあります。

都市計画道路「吉井北通り線」の建設工事に伴い群馬県高崎土木事務所の委託を受けて、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を3次に分けて実施してきました。

平成25年8月～26年1月に実施した塩川砂井戸遺跡の第1次調査の成果は、すでに平成27年3月に報告書を刊行し公開されております。縄文時代後期の柄鏡形住居と弧状に繋がる列石、および古代の集落や中世の溝・井戸などが調査されました。

2次調査は平成27年1月～3月、3次調査は平成28年6月～7月に実施しました。この度その成果を、県文化財保護課により立ち合い調査された池石田遺跡の調査成果とともに報告する運びとなりました。2次・3次調査では古墳時代後期から平安時代の集落、特に奈良時代の多胡郡に関連するとみられる集落の状況や、天明3(1783)年に噴火した浅間山起源の軽石を除去・復旧した痕跡等が発見されました。

このように明らかになった貴重な埋蔵文化財を、地域研究の歴史資料や地域史を学ぶ教材として役立てていただけたら幸いです。発掘調査から報告書作成にいたるまで、群馬県高崎土木事務所、群馬県教育委員会、高崎市教育委員会ならびに地元関係者の皆様からは多くのご指導・ご協力を賜りました。報告書を上梓するにあたり、関係者の皆様に心より感謝の意を表し、序といたします。

平成30年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 中野三智男

例 言

1 本書は、平成27年度・28年度(都)3.3.2吉井北通り線社会資本整備総合交付金(防災・安全/活力基盤)事業に伴い発掘調査された、塩川砂井戸遺跡の埋蔵文化財調査報告書第2冊である。なお、平成29年度に群馬県教育委員会文化財保護課により実施された事業地内の池石田遺跡の立ち合い調査の成果も併載した。

2 遺跡の所在地は下記の通りである。

塩川砂井戸遺跡：群馬県高崎市吉井町大字吉井字柵693-2、694-3、694-6、694-7、694-10、694-11、695-1、695-2、710-1、710-3、714-1、714-2、714-4、714-5、715-1、716、717-1、717-2、718-1、720-1、720-3、720-4、721-5、734-1、734-2、734-3、734-8、735-1、744-3、同字鍛冶町746-1、746-2、746-3、746-6、甲803、804、808、747-1、747-2、747-4、747-5、802-1、803-2、803-3、803-4、805-1、807-1、807-4、811-1、811-2、同字腰巻651-5、652-2、651-2、651-3、653-2、650-1、650-6、651-4、651-6、652-1番地

池石田遺跡：群馬県高崎市吉井町大字池36-1他

3 事業主体 群馬県高崎土木事務所

4 調査主体 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

5 発掘調査の期間と体制は次の通りである。

平成27年度

調査期間 平成28年1月1日～平成28年3月31日 (履行期間 平成27年12月1日～平成28年3月31日)

発掘担当者 主任調査研究員 笹澤泰史、専門調査役 相京建史・間庭 稔

遺跡掘削請負工事 山下工業株式会社

地上測量：株式会社シン技術コンサル 空中写真撮影：技研コンサル株式会社

平成28年度

調査期間 平成28年6月1日～平成28年7月31日 (履行期間 平成28年5月1日～平成28年9月30日)

発掘担当者 主任調査研究員 坂本和之、専門調査役 木津博明

遺跡掘削請負工事 スナガ環境測設株式会社 地上測量：株式会社シン技術コンサル

6 整理事業の期間と体制は次の通りである。

整理期間 平成29年4月1日～平成30年1月31日

(履行期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日)

整理担当 主任調査研究員・資料統括 齊田智彦(4月1日～7月31日)、専門調査役 小島敦子

遺物保存処理 専門員 板垣泰之、専門調査役 関 邦一

遺物洗浄・注記：株式会社シン技術コンサル

7 本書作成の担当者は次の通りである。

編集 小島敦子 デジタル編集 齊田智彦

遺物写真撮影 小島敦子(土師器・須恵器)、専門調査役 石坂 茂(縄文土器)・徳江秀夫(陶磁器等)

資料2 課長 津島秀章(石器・石製品)、板垣泰之(金属器)

執筆 資料部長 神谷佳明(本文：第V章2(1)) 小島敦子(本文：前記以外(第II章は『塩川砂井戸遺跡』2015より加筆・転載))

徳江秀夫(遺物観察表：土師器・須恵器・陶磁器・中世土器類)








石坂 茂(遺物観察表：縄文土器) 津島秀章(遺物観察表：石器・石製品)

板垣泰之(遺物観察表：金属製品)

- 8 出土石製品の石材同定は、飯島静男氏(群馬県地質研究会会員)にお願いした。
- 9 発掘調査諸資料および出土遺物は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。
- 10 発掘調査および報告書作成に際しては、下記の方々・機関にご協力・ご指導いただきました。記して感謝いたします。(敬称略・順不同)

群馬県高崎土木事務所、群馬県教育委員会、群馬県立文書館、高崎市教育委員会、高崎市吉井郷土資料館、甘楽町教育委員会、神保佑史、関口荘右、樫沢恭子、秋山正典、滝沢 匡、小根澤雪絵、小安和順

凡 例

- 1 本文中に使用した座標・方位はすべて国家座標「世界測地系(測地成果2000/平面直角座標第IX系)」である。また、調査区中央付近のX=29,100、Y=-76,200の真北方向角は東偏0° 30' 05.61"である。
 - 2 グリッドは、遺構挿図中に+記号と数値を併せて座標値を表した。数値は国家座標値X・Y値の下3桁を用いて表記した。
 - 3 遺構の種類および遺構番号は、混乱を避けるため調査時の番号を踏襲することを原則とした。
 - 4 遺構断面図に記した数値は、標高(単位:m)を表した。
 - 5 遺構図・遺物図の縮率は原則として以下の通りとし、各挿図にスケールを添えた。同一の遺物図内に異なる縮率の図が加わる場合は、必要に応じて該当するスケールの下に遺物番号を記した。
- 遺構図 竪穴建物1:60 竈1:30 掘立柱建物・柱穴列1:60 井戸1:60 溝1:100 土坑1:40
 ピット平面図1:160・同断面図1:40 畑1:60 復旧痕平面図1:160・同断面図1:40
- 遺物図 土師器・須恵器1:4 陶磁器1:4 縄文土器破片1:3
 金属製品1:2 石製品/紡輪・砥石1:2 磨石・石臼・棒状礫1:3 台石・石皿1:4
- 6 遺物写真は遺物図とおおよそ同縮率となるようにした。
 - 7 遺構図内で使用したトーンおよびドットは次のことを示している。
- 焼土  粘土  攪乱(断面) 
- 土器 ▲ 石器 ■ 金属製品 ○ 羽口
- その他、個別図面で使用したトーン・記号については各挿図内に凡例を加えた。
- 遺物で使したトーンは次のことを示している。
- 羽口溶融範囲  羽口還元範囲  鉄錆  黒色物質 
- 8 遺構の主軸方向・走向を示すため、座標北を基準として東に傾いた場合はN-○°-E、西に傾いた場合はN-○°-Wというように表記した。
 - 9 住居等の面積は、デジタルプランメーターにより1/20縮小印刷図上で3回計測し、その平均値を記した。
 - 10 遺物観察表の凡例については観察表冒頭のP.248に記した。
 - 11 本書で掲載した地図は以下の通りである。

国土地理院地形図1:25,000 「高崎」(平成22年12月1日発行)、「上野吉井」(平成14年12月1日発行)
 「富岡」(平成15年3月1日発行)、「藤岡」(平成2年8月1日発行)

国土地理院地形図1:200,000 「宇都宮」(平成10年7月1日発行)、「長野」(平成10年2月1日発行)
 高崎市都市計画図1:2500 (平成29年11月7日付測量成果の複製申請認可済)

目次

序
例言
凡例
目次

| | | | |
|-------------------|-----|--------------------------|-------|
| 第Ⅰ章 調査の経過と方法 | 1 | 第Ⅳ章 池石田遺跡の遺構 | 213 |
| 1. 塩川砂井戸遺跡調査に至る経緯 | 1 | 1. 調査の方法 | 213 |
| (1)平成27年度 | 1 | 2. 溝 | 213 |
| (2)平成28年度 | 2 | 第Ⅴ章 総括 | 216 |
| 2. 発掘調査の経過 | 2 | 1. 塩川砂井戸遺跡の集落変遷について | 216 |
| (1)平成27年度の調査 | 2 | 2. 塩川砂井戸遺跡の出土遺物について | 218 |
| (2)平成28年度の調査 | 4 | (1)11区36号竪穴建物出土 | |
| (3)池石田遺跡の調査 | 4 | 底面丸底の須恵器長頸壺について | 218 |
| 3. 発掘調査の方法 | 5 | (2)7区57号土坑出土石製品について | 221 |
| (1)調査区とグリッドの設定 | 5 | 3. 塩川砂井戸遺跡調査の成果 | 222 |
| (2)基本土層と遺構確認面 | 5 | 引用・参考文献 | |
| (3)調査と記録の方法 | 7 | 遺構計測一覧表 | 227 |
| 4. 整理業務の経過と方法 | 8 | 遺物観察表 | 248 |
| 第Ⅱ章 遺跡の立地と歴史的環境 | 9 | 非実測遺物一覧表 | 282 |
| 1. 遺跡の位置と地形 | 9 | 写真図版 | |
| 2. 周辺の遺跡 | 10 | 報告書抄録 | |
| 第Ⅲ章 塩川砂井戸遺跡の遺構と遺物 | 15 | 付図1 塩川砂井戸遺跡(6～11区)全体図 | 1:400 |
| 1. 調査区の概要 | 15 | 付図2 塩川砂井戸遺跡ビット(10-2区)分布図 | 1:100 |
| 2. 竪穴建物 | 16 | | |
| 3. 竪穴状遺構 | 140 | | |
| 4. 掘立柱建物 | 141 | | |
| 5. 柱穴列 | 141 | | |
| 6. 井戸 | 143 | | |
| 7. 溝 | 148 | | |
| 8. 鍛冶関連遺構 | 154 | | |
| 9. 土坑 | 158 | | |
| 10. ビット | 190 | | |
| 11. 畑 | 208 | | |
| 12. 復旧痕 | 209 | | |
| 13. 遺構外の出土遺物 | 212 | | |

挿図目次

| | | | | | |
|------|--|----|------|---------------------------------------|-----|
| 第1図 | 塩川砂井戸道路と周辺の地勢 | 1 | 第47図 | 8-2区76号竪穴建物掘り方と出土遺物 | 64 |
| | (厚馬県埋蔵文化財調査事業団「塩川砂井戸道路」2015 第1図より転載) | | 第48図 | 8-2区77号竪穴建物と出土遺物 | 65 |
| 第2図 | 塩川砂井戸道路調査区位置図 | 3 | 第49図 | 8-2区105号竪穴建物と出土遺物 | 66 |
| 第3図 | 基本土層計画地点と土層柱状図 | 6 | 第50図 | 8-2区106号竪穴建物と出土遺物 | 66 |
| 第4図 | 道路周辺の地形 | 9 | 第51図 | 8-2区107号竪穴建物 | 67 |
| | (厚馬県埋蔵文化財調査事業団「黒熊中西道路」1992 第3図より転載、一部修正・加筆) | | 第52図 | 8-2区108号竪穴建物と出土遺物 | 68 |
| 第5図 | 周辺道路の分布 | 11 | 第53図 | 8-2区109号竪穴建物 | 69 |
| | (厚馬県埋蔵文化財調査事業団「塩川砂井戸道路」2015 第6図より転載、一部加筆) | | 第54図 | 8-2区110号竪穴建物と出土遺物 | 70 |
| 第6図 | 6区47号竪穴建物と出土遺物 | 17 | 第55図 | 8-2区120号竪穴建物 | 71 |
| 第7図 | 6区48号竪穴建物と出土遺物 | 18 | 第56図 | 8-2区120号竪穴建物出土遺物 | 72 |
| 第8図 | 6区49号竪穴建物と出土遺物 | 19 | 第57図 | 8-2区121号竪穴建物と出土遺物 | 73 |
| 第9図 | 6区50号竪穴建物 | 20 | 第58図 | 8-2区122号竪穴建物と出土遺物 | 74 |
| 第10図 | 6区50号竪穴建物竈と出土遺物 | 21 | 第59図 | 9区38号竪穴建物 | 75 |
| 第11図 | 6区51号竪穴建物と出土遺物 | 22 | 第60図 | 9区38号竪穴建物竈 | 76 |
| 第12図 | 6区52号竪穴建物と出土遺物 | 23 | 第61図 | 9区38号竪穴建物出土遺物 | 77 |
| 第13図 | 6区53号竪穴建物と出土遺物 | 24 | 第62図 | 9区39号竪穴建物 | 78 |
| 第14図 | 6区61号竪穴建物と出土遺物 | 25 | 第63図 | 9区39号竪穴建物出土遺物 | 79 |
| 第15図 | 6区62号竪穴建物 | 27 | 第64図 | 9区40号竪穴建物 | 80 |
| 第16図 | 6区62号竪穴建物竈と出土遺物 | 28 | 第65図 | 9区40号竪穴建物出土遺物 | 81 |
| 第17図 | 6区63号竪穴建物と出土遺物 | 29 | 第66図 | 9区41号竪穴建物 | 82 |
| 第18図 | 6区64号竪穴建物 | 30 | 第67図 | 9区41号竪穴建物出土遺物 | 83 |
| 第19図 | 6区64号竪穴建物掘り方と出土遺物 | 31 | 第68図 | 9区42号竪穴建物 | 84 |
| 第20図 | 6-2区69・70号竪穴建物 | 32 | 第69図 | 9区42号竪穴建物掘り方と出土遺物 | 85 |
| 第21図 | 7区24号竪穴建物と出土遺物 | 33 | 第70図 | 9区43号竪穴建物と出土遺物 | 86 |
| 第22図 | 7区27号竪穴建物と出土遺物 | 35 | 第71図 | 9区44号竪穴建物 | 87 |
| 第23図 | 7区28・29号竪穴建物と28号竪穴建物出土遺物 | 36 | 第72図 | 9区44号竪穴建物出土遺物 | 88 |
| 第24図 | 7区29号竪穴建物出土遺物 | 37 | 第73図 | 9区45号竪穴建物 | 89 |
| 第25図 | 7区30号竪穴建物と出土遺物 | 39 | 第74図 | 9区45号竪穴建物掘り方と出土遺物 | 90 |
| 第26図 | 7区31・32号竪穴建物と出土遺物 | 41 | 第75図 | 9区46号竪穴建物 | 90 |
| 第27図 | 7区33号竪穴建物と出土遺物 | 42 | 第76図 | 9区54号竪穴建物 | 91 |
| 第28図 | 7区34号竪穴建物と出土遺物 | 43 | 第77図 | 9区55号竪穴建物 | 92 |
| 第29図 | 7区35号竪穴建物と出土遺物 | 44 | 第78図 | 9区65号竪穴建物と出土遺物 | 92 |
| 第30図 | 7-2区71号竪穴建物 | 45 | 第79図 | 9区66号竪穴建物と出土遺物 | 94 |
| 第31図 | 7-2区71号竪穴建物竈 | 46 | 第80図 | 9区67号竪穴建物と出土遺物 | 95 |
| 第32図 | 7-2区71号竪穴建物出土遺物 | 47 | 第81図 | 9区56号竪穴建物と出土遺物 | 97 |
| 第33図 | 7-2区72号竪穴建物と出土遺物 | 48 | 第82図 | 10区57号竪穴建物 | 98 |
| 第34図 | 7-2区73号竪穴建物と出土遺物 | 49 | 第83図 | 10区57号竪穴建物出土遺物 | 99 |
| 第35図 | 7-2区73号竪穴建物竈 | 50 | 第84図 | 10区58号竪穴建物と出土遺物 | 100 |
| 第36図 | 7-2区74・75号竪穴建物 | 51 | 第85図 | 10区59号竪穴建物と出土遺物 | 101 |
| 第37図 | 7-2区74号竪穴建物出土遺物 | 52 | 第86図 | 10区68号竪穴建物 | 102 |
| 第38図 | 7-2区100号竪穴建物と出土遺物 | 53 | 第87図 | 10区68号竪穴建物竈と出土遺物 | 103 |
| 第39図 | 7-2区101・104号竪穴建物と101号竪穴建物出土遺物 | 55 | 第88図 | 10区60号竪穴建物と出土遺物 | 104 |
| 第40図 | 7-2区104号竪穴建物竈と出土遺物 | 56 | 第89図 | 10-2区78・80号竪穴建物 | 105 |
| 第41図 | 7-2区102号竪穴建物 | 58 | 第90図 | 10-2区78・80号竪穴建物出土遺物 | 106 |
| 第42図 | 7-2区102号竪穴建物竈と出土遺物 | 59 | 第91図 | 10-2区79号竪穴建物と出土遺物 | 107 |
| 第43図 | 7-2区103号竪穴建物 | 60 | 第92図 | 10-2区81・82・89号竪穴建物と82号竪穴建物出土遺物 | 108 |
| 第44図 | 7-2区103号竪穴建物竈と出土遺物(1) | 61 | 第93図 | 10-2区81・82・89号竪穴建物掘り方と 89号竪穴建物出土遺物 | 109 |
| 第45図 | 7-2区103号竪穴建物出土遺物(2) | 62 | 第94図 | 10-2区99号竪穴建物 | 110 |
| 第46図 | 8-2区76号竪穴建物 | 63 | 第95図 | 10-2区83号竪穴建物と出土遺物 | 111 |
| | | | 第96図 | 10-2区84号竪穴建物 | 112 |
| | | | 第97図 | 10-2区85号竪穴建物 | 113 |

| | | | | | |
|-------|---------------------------------------|-----|-------|---------------------------|-----|
| 第98頁 | 10-2区85号竪穴建物出土遺物(1) | 114 | 第152頁 | 6区・6-2区土坑出土遺物(5) | 170 |
| 第99頁 | 10-2区85号竪穴建物出土遺物(2) | 115 | 第153頁 | 7区・7-2区円形土坑 | 171 |
| 第100頁 | 10-2区86・87・93号竪穴建物と 87・93号竪穴建物出土遺物 | 117 | 第154頁 | 7区・7-2区楕円形・隅丸方形土坑 | 172 |
| 第101頁 | 10-2区86号竪穴建物出土遺物 | 118 | 第155頁 | 7区・7-2区隅丸長方形土坑 | 173 |
| 第102頁 | 10-2区88号竪穴建物 | 119 | 第156頁 | 7区・7-2区土坑出土遺物 | 174 |
| 第103頁 | 10-2区90号竪穴建物 | 120 | 第157頁 | 8-2区円形・楕円形土坑 | 175 |
| 第104頁 | 10-2区91号竪穴建物 | 121 | 第158頁 | 8-2区土坑出土遺物 | 176 |
| 第105頁 | 10-2区91号竪穴建物出土遺物 | 122 | 第159頁 | 9区円形土坑 | 176 |
| 第106頁 | 10-2区92号竪穴建物と出土遺物 | 123 | 第160頁 | 9区円形・楕円形・隅丸方形・隅丸長方形・不定形土坑 | 177 |
| 第107頁 | 10-2区96号竪穴建物 | 124 | 第161頁 | 10区・10-2区円形土坑 | 178 |
| 第108頁 | 10-2区94号竪穴建物 | 124 | 第162頁 | 10区・10-2区円形土坑 | 179 |
| 第109頁 | 10-2区95号竪穴建物 | 125 | 第163頁 | 10区・10-2区円形土坑 | 180 |
| 第110頁 | 10-2区97・111号竪穴建物と97号竪穴建物出土遺物 | 126 | 第164頁 | 10区・10-2区円形土坑 | 181 |
| 第111頁 | 10-2区98号竪穴建物と出土遺物 | 127 | 第165頁 | 10区・10-2区円形土坑・楕円形土坑 | 182 |
| 第112頁 | 10-2区112号竪穴建物 | 128 | 第166頁 | 10区・10-2区楕円形土坑 | 183 |
| 第113頁 | 10-2区113号竪穴建物と出土遺物 | 129 | 第167頁 | 10区・10-2区楕円形土坑 | 184 |
| 第114頁 | 10-2区114号竪穴建物 | 130 | 第168頁 | 10区・10-2区隅丸方形・隅丸長方形土坑 | 185 |
| 第115頁 | 10-2区115号竪穴建物と出土遺物 | 131 | 第169頁 | 10区・10-2区隅丸長方形・不定形土坑 | 186 |
| 第116頁 | 10-2区117号竪穴建物と出土遺物 | 132 | 第170頁 | 10区・10-2区不定形土坑 | 187 |
| 第117頁 | 10-2区119号竪穴建物 | 133 | 第171頁 | 10-2区土坑出土遺物 | 188 |
| 第118頁 | 10-2区123号竪穴建物 | 133 | 第172頁 | 11区円形土坑 | 188 |
| 第119頁 | 11区23号竪穴建物 | 134 | 第173頁 | 11区楕円形・不定形土坑 | 189 |
| 第120頁 | 11区25号竪穴建物と出土遺物 | 134 | 第174頁 | ビット全体図 | 190 |
| 第121頁 | 11区26号竪穴建物 | 135 | 第175頁 | ビット出土遺物 | 191 |
| 第122頁 | 11区36号竪穴建物 | 136 | 第176頁 | ビット位置図(1) | 192 |
| 第123頁 | 11区36号竪穴建物掘り方と竈 | 137 | 第177頁 | ビット位置図(2) | 193 |
| 第124頁 | 11区36号竪穴建物と出土遺物 | 138 | 第178頁 | ビット位置図(3) | 194 |
| 第125頁 | 11区37号竪穴建物 | 139 | 第179頁 | ビット位置図(4) | 195 |
| 第126頁 | 11区37号竪穴建物出土遺物 | 140 | 第180頁 | ビット位置図(5) | 196 |
| 第127頁 | 11区1号竪穴遺構 | 141 | 第181頁 | ビット位置図(6) | 197 |
| 第128頁 | 6-2区2号竪穴遺構 | 141 | 第182頁 | ビット位置図(7) | 198 |
| 第129頁 | 10-2区1号掘立柱建物 | 142 | 第183頁 | ビット位置図(8) | 199 |
| 第130頁 | 10-2区1号柱穴 | 143 | 第184頁 | ビット位置図(9) | 200 |
| 第131頁 | 6区4号井戸と出土遺物 | 144 | 第185頁 | ビット位置図(10) | 201 |
| 第132頁 | 10区5・6・7号井戸と7号井戸出土遺物 | 146 | 第186頁 | ビット位置図(11) | 202 |
| 第134頁 | 6区17号溝 | 148 | 第187頁 | ビット位置図(12) | 203 |
| 第135頁 | 6区17号溝出土遺物(1) | 149 | 第188頁 | ビット土層断面図(1) | 204 |
| 第136頁 | 6区17号溝出土遺物(2) | 150 | 第189頁 | ビット土層断面図(2) | 205 |
| 第137頁 | 6区21号溝と出土遺物 | 151 | 第190頁 | ビット土層断面図(3) | 206 |
| 第138頁 | 10-2区18・19・20号溝 | 153 | 第191頁 | ビット土層断面図(4) | 207 |
| 第139頁 | 10-2区20A号溝 | 154 | 第192頁 | 10-2区1号堀 | 208 |
| 第140頁 | 7-2区1号廃棄土坑と出土遺物(1) | 156 | 第193頁 | 7区復旧掘出土遺物 | 209 |
| 第141頁 | 7-2区1号廃棄土坑出土遺物(2) | 157 | 第194頁 | 7区復旧掘 | 210 |
| 第142頁 | 6区・6-2区円形土坑 | 160 | 第195頁 | 7区復旧掘土層断面と出土遺物 | 211 |
| 第143頁 | 6区・6-2区円形・楕円形土坑 | 161 | 第196頁 | 遺構外出土遺物 | 212 |
| 第144頁 | 6区・6-2区楕円形・隅丸方形土坑 | 162 | 第197頁 | 池石田遺跡 立ち合い調査区位置図 | 213 |
| 第145頁 | 6区・6-2区隅丸長方形土坑 | 163 | 第198頁 | 池石田遺跡 1・2号溝 | 214 |
| 第146頁 | 6区・6-2区隅丸長方形土坑 | 164 | 第199頁 | 池石田遺跡 調査区・トレンチ位置図 | 215 |
| 第147頁 | 6区・6-2区隅丸長方形・不定形土坑 | 165 | 第200頁 | 塩川砂井戸遺跡6~11区の竪穴建物数の変化 | 217 |
| 第148頁 | 6区・6-2区土坑出土遺物(1) | 166 | 第201頁 | 塩川砂井戸遺跡11区36号竪穴建物出土須器長頸甕 | 218 |
| 第149頁 | 6区・6-2区土坑出土遺物(2) | 167 | 第202頁 | 群馬県内の丸底長頸甕 | 219 |
| 第150頁 | 6区・6-2区土坑出土遺物(3) | 168 | 第203頁 | 長頸甕の形式変化(文献8より) | 219 |
| 第151頁 | 6区・6-2区土坑出土遺物(4) | 169 | 第204頁 | 凸帯(リング状)胎付長頸甕及び口縁部の類別 | 220 |
| | | | 第205頁 | 7区57号土坑出土石製品の赤外線写真と釈文 | 221 |
| | | | 第206頁 | 吉井段丘の遺跡と塩川砂井戸遺跡 | 223 |

表 目 次

| | | |
|------|----------------------------|-----|
| 第1表 | 塩川砂井戸遺跡 遺構名称新旧対照表 | 8 |
| 第2表 | 周辺遺跡一覧表 | 13 |
| 第3表 | 周辺の古墳群一覧表 | 14 |
| 第4表 | 調査区別遺構数一覧表 | 15 |
| 第5表 | 調査区別・時期別型穴建物数一覧表 | 16 |
| 第6表 | 10-2区1号掘立柱建物柱穴計測表 | 142 |
| 第7表 | 10-2区1号柱穴計測表 | 143 |
| 第8表 | 7-2区1号廃棄土坑出土鉄関連遺物 分類および計量表 | 155 |
| 第9表 | 平面形別土坑一覧表 | 158 |
| 第10表 | 時期別型穴建物数一覧表 | 217 |

写真目次

| | |
|-------|------------------------------|
| PL. 1 | 1. 塩川砂井戸遺跡全景(東上空から)右奥に鯨川と浅間山 |
| | 2. 塩川砂井戸遺跡全景(西上空から)左奥は観音山丘陵 |
| PL. 2 | 1. 6区全景(西から) |
| | 2. 6区北半部全景(南上空から) |
| | 3. 6区南半部全景(東から) |
| | 4. 6区西部全景(西から) |
| | 5. 6区南東部全景(北から) |
| | 6. 6区南西部全景(北から) |
| | 7. 6区東南部作業状況(西から) |
| | 8. 6-2区全景(南から) |
| PL. 3 | 1. 7-2区西部全景(北西から) |
| | 2. 7-2区東半部全景(南西から) |
| | 3. 8-2区東半部全景(東から) |
| | 4. 8-2区東端部(東から) |
| | 5. 8-2区東半部作業状況(西から) |
| | 6. 9区全景(南上空から) |
| | 7. 9区西部全景(南上空から) |
| | 8. 10区西部全景(南上空から) |
| PL. 4 | 1. 10区作業状況(南西から) |
| | 2. 10-2区東半部全景(西から) |
| | 3. 10-2区西部全景(南東から) |
| | 4. 10-2区遺構重複状況(南から) |
| | 5. 10-2区遺構重複状況(南から) |
| | 6. 10-2区南東隅トレンチ調査状況(西から) |
| | 7. 11区全景(北東から) |
| | 8. 11区作業状況(南から) |
| PL. 5 | 1. 6区47号型穴建物全景(西から) |
| | 2. 6区47号型穴建物全景(西から) |
| | 3. 6区48号型穴建物全景(西から) |
| | 4. 6区48号型穴建物全景(西から) |
| | 5. 6区49号型穴建物全景(東から) |
| | 6. 6区49号型穴建物全景(東から) |
| | 7. 6区50号型穴建物全景(南から) |
| | 8. 6区50号型穴建物全景(南から) |
| PL. 6 | 1. 6区50号型穴建物上層断面D-D' (南から) |
| | 2. 6区50号型穴建物遺物出土状態(西から) |
| | 3. 6区51号型穴建物全景(南から) |

| | |
|--------|-------------------------------|
| | 4. 6区51号型穴建物全景(南から) |
| | 5. 6区51号型穴建物遺物出土状態(東から) |
| | 6. 6区52号型穴建物全景(西から) |
| | 7. 6区52号型穴建物全景(西から) |
| | 8. 6区53号型穴建物全景(北から) |
| PL. 7 | 1. 6区62号型穴建物全景(南から) |
| | 2. 6区62号型穴建物遺物出土状態(南から) |
| | 3. 6区62号型穴建物遺物出土状態(東から) |
| | 4. 6区62号型穴建物上層断面D-D' (南から) |
| | 5. 6区62号型穴建物遺物出土状態(北から) |
| | 6. 6区62号型穴建物遺物出土状態(南西から) |
| | 7. 6区63号型穴建物全景(西から) |
| | 8. 6区63号型穴建物全景(西から) |
| PL. 8 | 1. 6区64号型穴建物全景(南から) |
| | 2. 6区64号型穴建物全景(西から) |
| | 3. 6区64号型穴建物全景(南から) |
| | 4. 6区64号型穴建物上層断面D-D' (東から) |
| | 5. 6区64号型穴建物遺物出土状態(東から) |
| | 6. 6区64号型穴建物掘り方全景(西から) |
| | 7. 6-2区00・70号型穴建物全景(西から) |
| | 8. 7区24号型穴建物全景(南から) |
| PL. 9 | 1. 7区24号型穴建物全景(南から) |
| | 2. 7区24号型穴建物の破穴全景(南西から) |
| | 3. 7区27号型穴建物全景(南から) |
| | 4. 7区27号型穴建物遺物出土状態(東から) |
| | 5. 7区27号型穴建物遺物出土状態(西から) |
| | 6. 7区28号型穴建物全景(北西から) |
| | 7. 7区28号型穴建物上層断面B-B' (南西から) |
| | 8. 7区28号型穴建物上層断面B-B' (南西から) |
| PL. 10 | 1. 7区28号型穴建物全景(北西から) |
| | 2. 7区28号型穴建物上層断面D-D' (南西から) |
| | 3. 7区29号型穴建物遺物出土状態(南西から) |
| | 4. 7区29号型穴建物全景(南西から) |
| | 5. 7区29号型穴建物遺物出土状態(北西から) |
| | 6. 7区29号型穴建物全景(南西から) |
| | 7. 7区30号型穴建物全景(北西から) |
| | 8. 7区30号型穴建物全景(北西から) |
| PL. 11 | 1. 7区31号型穴建物全景(北西から) |
| | 2. 7区31号型穴建物全景(北西から) |
| | 3. 7区31号型穴建物上層断面C-C' (南西から) |
| | 4. 7区32号型穴建物全景(南から) |
| | 5. 7区32号型穴建物全景(南から) |
| | 6. 7区32号型穴建物貯蔵穴上層断面H-H' (南から) |
| | 7. 7区32号型穴建物貯蔵穴全景(南から) |
| | 8. 7区33号型穴建物全景(西から) |
| PL. 12 | 1. 7区33号型穴建物全景(西から) |
| | 2. 7区33号型穴建物電使用面全景(西から) |
| | 3. 7区33号型穴建物上層断面C-C' (南から) |
| | 4. 7区34号型穴建物全景(南西から) |
| | 5. 7区34号型穴建物遺物出土状態(南西から) |
| | 6. 7区34号型穴建物P1上層断面B-B' (南から) |
| | 7. 7区34号型穴建物高杯出土状態(東から) |
| | 8. 7区35号型穴建物全景(西から) |
| PL. 13 | 1. 7区35号型穴建物全景(西から) |
| | 2. 7区35号型穴建物上層断面C-C' (南から) |

3. 7区35号型穴建物遺物出土状態(西から)
4. 7-2区71号型穴建物遺物出土状態(北西から)
5. 7-2区71号型穴建物遺物出土状態(北東から)
6. 7-2区71号型穴建物遺物出土状態(北西から)
7. 7-2区71号型穴建物遺物出土状態(北西から)
8. 7-2区71号型穴建物遺物出土状態(北西から)
- PL.14 1. 7-2区71号型穴建物遺物出土状態(北西から)
2. 7-2区71号型穴建物遺物上層断面-E' (北西から)
3. 7-2区72号型穴建物掘り方全景(西から)
4. 7-2区72号型穴建物掘り方全景(西から)
5. 7-2区73号型穴建物遺物出土状態(西から)
6. 7-2区73号型穴建物遺物出土状態(西から)
7. 7-2区73号型穴建物掘り方全景(西から)
8. 7-2区73号型穴建物遺物上層断面-E' (西から)
- PL.15 1. 7-2区73号型穴建物遺物出土状態(南西から)
2. 7-2区74・75号型穴建物全景(北西から)
3. 7-2区74号型穴建物粘土出土状態(北から)
4. 7-2区74号型穴建物上層断面-A-A' (北から)
5. 7-2区74・75号型穴建物掘り方全景(北西から)
6. 7-2区100号型穴建物上面曝出土状態(西から)
7. 7-2区100号型穴建物全景(西から)
8. 7-2区100号型穴建物遺物出土状態(西から)
- PL.16 1. 7-2区100号型穴建物曝出土状態(東から)
2. 7-2区101・104号型穴建物遺物出土状態(西から)
3. 7-2区104号型穴建物遺物出土状態(南から)
4. 7-2区101・104号型穴建物掘り方全景(西から)
5. 7-2区102号型穴建物遺物出土状態(西から)
6. 7-2区102号型穴建物遺物出土状態(西から)
7. 7-2区102号型穴建物遺物出土状態(北から)
8. 7-2区102号型穴建物遺物出土状態(西から)
- PL.17 1. 7-2区102号型穴建物遺物使用面全景(西から)
2. 7-2区102号型穴建物遺物上層断面-E-E' (西から)
3. 7-2区102号型穴建物掘り方全景(西から)
4. 7-2区103号型穴建物上面曝出土状態(西から)
5. 7-2区103号型穴建物遺物出土状態(西から)
6. 7-2区103号型穴建物掘り方全景(西から)
7. 7-2区103号型穴建物遺物上層断面D-D' (西から)
8. 7-2区76号型穴建物遺物出土状態(西から)
- PL.18 1. 8-2区76号型穴建物1号遺物出土状態(西から)
2. 8-2区76号型穴建物2号遺物出土状態(南から)
3. 8-2区76号型穴建物掘り方全景(西から)
4. 8-2区77号型穴建物遺物出土状態(南から)
5. 8-2区77号型穴建物遺物上層断面A-A' (南東から)
6. 8-2区77号型穴建物掘り方全景(南から)
7. 8-2区105号型穴建物遺物出土状態(北から)
8. 8-2区106号型穴建物遺物出土状態(北から)
- PL.19 1. 8-2区106号型穴建物遺物出土状態(西から)
2. 8-2区106号型穴建物掘り方全景(西から)
3. 8-2区107号型穴建物遺物出土状態(北西から)
4. 8-2区108号型穴建物遺物出土状態(南から)
5. 8-2区108号型穴建物1号・2号遺物出土状態(南から)
6. 8-2区108号型穴建物掘り方全景(南から)
7. 8-2区109号型穴建物遺物出土状態(西から)
8. 8-2区110号型穴建物遺物出土状態(北西から)
- PL.20 1. 8-2区110号型穴建物遺物出土状態(西から)
2. 8-2区120号型穴建物遺物出土状態(南から)
3. 8-2区120号型穴建物遺物出土状態(南から)
4. 8-2区120号型穴建物遺物出土状態(南から)
5. 8-2区120号型穴建物遺物出土状態(南から)
6. 8-2区120号型穴建物遺物出土状態(南から)
7. 8-2区121号型穴建物遺物出土状態(南から)
8. 8-2区121号型穴建物遺物出土状態(南から)
- PL.21 1. 8-2区121号型穴建物遺物出土状態(西から)
2. 8-2区122号型穴建物遺物出土状態(南から)
3. 8-2区122号型穴建物遺物出土状態(南から)
4. 9区38号型穴建物遺物出土状態(南から)
5. 9区38号型穴建物1号遺物出土状態(南から)
6. 9区38号型穴建物2号遺物出土状態(南から)
7. 9区38号型穴建物貯蔵穴遺物出土状態(南から)
8. 9区38号型穴建物貯蔵穴遺物出土状態(南から)
- PL.22 1. 9区38号型穴建物1号遺物上層断面E-E' (南から)
2. 9区38号型穴建物2号遺物上層断面(南から)
3. 9区38号型穴建物2号遺物掘り方全景(南から)
4. 9区38号型穴建物掘り方全景(南から)
5. 9区39号型穴建物遺物出土状態(西から)
6. 9区39号型穴建物遺物出土状態(西から)
7. 9区39号型穴建物遺物上層断面D-D' (西から)
8. 9区39号型穴建物遺物出土状態(北から)
- PL.23 1. 9区39号型穴建物遺物出土状態(西から)
2. 9区40号型穴建物遺物出土状態(西から)
3. 9区40号型穴建物遺物と貯蔵穴遺物出土状態(西から)
4. 9区40号型穴建物遺物上層断面D-D' (西から)
5. 9区40号型穴建物掘り方全景(西から)
6. 9区41号型穴建物遺物出土状態(西から)
7. 9区41号型穴建物遺物出土状態(西から)
8. 9区41号型穴建物遺物出土状態(西から)
- PL.24 1. 9区41号型穴建物P5遺物出土状態(西から)
2. 9区41号型穴建物貯蔵穴遺物出土状態(西から)
3. 9区41号型穴建物遺物使用面全景(西から)
4. 9区41号型穴建物遺物出土状態(西から)
5. 9区41号型穴建物遺物出土状態(西から)
6. 9区41号型穴建物遺物掘り方全景(西から)
7. 9区41号型穴建物遺物出土状態(西から)
8. 9区42号型穴建物遺物出土状態(西から)
- PL.25 1. 9区42号型穴建物遺物出土状態(西から)
2. 9区42号型穴建物掘り方全景(西から)
3. 9区43号型穴建物遺物出土状態(南西から)
4. 9区43号型穴建物掘り方全景(南西から)
5. 9区44号型穴建物遺物出土状態(南西から)
6. 9区44号型穴建物遺物出土状態(北東から)
7. 9区44号型穴建物遺物上層断面C-C' (南西から)
8. 9区44号型穴建物掘り方全景(南東から)
- PL.26 1. 9区44号型穴建物掘り方全景(南東から)
2. 9区45号型穴建物遺物出土状態(西から)
3. 9区45号型穴建物遺物上層断面C-C' (北から)
4. 9区45号型穴建物遺物上層断面D-D' (西から)
5. 9区45号型穴建物掘り方全景(西から)
6. 9区46号型穴建物遺物出土状態(南西から)
7. 9区54号型穴建物遺物出土状態(北から)
8. 9区55号型穴建物遺物出土状態(西から)

- PL.27 1. 9区65号型穴建物全景(南西から)
 2. 9区66号型穴建物全景(南西から)
 3. 9区66号型穴建物電線全景(南西から)
 4. 9区66号型穴建物電線遺物出土状態(南西から)
 5. 9区66号型穴建物電線方全景(南西から)
 6. 9区66号型穴建物電線方全景(南西から)
 7. 9区67号型穴建物全景(南西から)
 8. 9区67号型穴建物電線全景(南西から)
- PL.28 1. 10区56号型穴建物全景(西から)
 2. 10区56号型穴建物電線全景(西から)
 3. 10区56号型穴建物土層断面A-A'(南から)
 4. 10区57号型穴建物全景(南から)
 5. 10区57号型穴建物電線全景(南から)
 6. 10区58号型穴建物全景(南から)
 7. 10区58号型穴建物電線全景(南から)
 8. 10区59-68号型穴建物全景(東から)
- PL.29 1. 10区59号型穴建物土層断面D-D'(南西から)
 2. 10区68号型穴建物土層断面C-C'(南東から)
 3. 10区60号型穴建物土層断面B-B'(北から)
 4. 10-2区78・79・80・81・82・89号型穴建物全景(西から)
 5. 10-2区78号型穴建物掘り方全景(西から)
 6. 10-2区78号型穴建物電線土層断面D-D'(西から)
 7. 10-2区89号型穴建物全景(南から)
 8. 10-2区89号型穴建物電線全景(南から)
- PL.30 1. 10-2区99号型穴建物全景(南から)
 2. 10-2区83号型穴建物全景(南から)
 3. 10-2区83号型穴建物電線貯蔵穴全景(南から)
 4. 10-2区84号型穴建物全景(西から)
 5. 10-2区85号型穴建物全景(西から)
 6. 10-2区85号型穴建物掘り方全景(西から)
 7. 10-2区85号型穴建物電線掘り方全景(西から)
 8. 10-2区85号型穴建物遺物出土状態(西から)
- PL.31 1. 10-2区86・87・93号型穴建物全景(西から)
 2. 10-2区88号型穴建物全景(西から)
 3. 10-2区88号型穴建物掘り方全景(西から)
 4. 10-2区88号型穴建物北壁下跡跡(南東から)
 5. 10-2区90号型穴建物全景(西から)
 6. 10-2区91号型穴建物全景(西から)
 7. 10-2区91号型穴建物貯蔵穴全景(西から)
 8. 10-2区91号型穴建物掘り方全景(西から)
- PL.32 1. 10-2区92号型穴建物掘り方全景(西から)
 2. 10-2区96号型穴建物全景(西から)
 3. 10-2区94号型穴建物全景(南西から)
 4. 10-2区95号型穴建物全景(南西から)
 5. 10-2区97・111号型穴建物全景(南西から)
 6. 10-2区98号型穴建物全景(西から)
 7. 10-2区112号型穴建物全景(南西から)
 8. 10-2区113号型穴建物全景(北から)
- PL.33 1. 10-2区114号型穴建物全景(南西から)
 2. 10-2区115号型穴建物と10号井戸全景(北西から)
 3. 10-2区115号型穴建物(北西から)
 4. 10-2区119号型穴建物全景(南西から)
 5. 10-2区123号型穴建物全景(北東から)
 6. 11区23号型穴建物全景(西から)
 7. 11区23号型穴建物電線全景(西から)
8. 11区25号型穴建物土層断面A-A'(南から)
 PL.34 1. 11区26号型穴建物全景(西から)
 2. 11区36号型穴建物全景(南から)
 3. 11区36号型穴建物電線全景(南から)
 4. 11区36号型穴建物遺物出土状態(南から)
 5. 11区36号型穴建物電線全景(南から)
 6. 11区36号型穴建物土層断面D-D'(南から)
 7. 11区36号型穴建物遺物出土状態(北西から)
 8. 11区36号型穴建物遺物出土状態
- PL.35 1. 11区36号型穴建物電線土層断面C-C'煙道部(南東から)
 2. 11区36号型穴建物電線煙道部(南東から)
 3. 11区36号型穴建物掘り方全景(南から)
 4. 11区37号型穴建物全景(北西から)
 5. 11区37号型穴建物電線全景(南から)
 6. 11区37号型穴建物遺物出土状態(東から)
 7. 11区37号型穴建物電線使用面全景(南から)
 8. 11区37号型穴建物掘り方全景(南から)
- PL.36 1. 11区1号型穴状遺構と40号土坑全景(南から)
 2. 6-2区2号型穴状遺構全景(北西から)
 3. 10-2区1号掘立柱建物全景(西から)
 4. 10-2区1号柱穴列全景(西から)
 5. 6区4号井戸全景(西から)
 6. 10区5号井戸全景(南東から)
 7. 10区6号井戸全景(東から)
 8. 10区6号井戸土層断面A-A'(東から)
- PL.37 1. 10-2区9号井戸全景(北西から)
 2. 10-2区9号井戸土層断面A-A'(南から)
 3. 10-2区10号井戸全景(北から)
 4. 10-2区11号井戸全景(北東から)
 5. 6区17号溝遺物出土状態(南から)
 6. 6区21号溝土層断面A-A'(東から)
 7. 6区21号溝全景(東から)
- PL.38 1. 6区21号溝土層断面B-B'(東から)
 2. 6区21号溝遺物出土状態(北から)
 3. 10-2区20A号溝全景(南西から)
 4. 7-2区1号廢棄土坑全体確認状況(北から)
 5. 7-2区1号廢棄土坑(南西から)
 6. 7-2区1号廢棄土坑(南西から)
 7. 7-2区1号廢棄土坑(東から)
 8. 7-2区1号廢棄土坑鉄滓等堆積状況(東から)
- PL.39 1. 6-2区142号土坑土層断面(南から)
 2. 6-2区142号土坑全景(南から)
 3. 6区122号土坑土層断面(南から)
 4. 6-2区147号土坑土層断面(南から)
 5. 6-2区147号土坑全景(南から)
 6. 6区70号土坑土層断面(南から)
 7. 6区70号土坑全景(南から)
 8. 6区72号土坑土層断面(南から)
 9. 6区72号土坑全景(南から)
 10. 6区67号土坑全景(南から)
 11. 6区96号土坑土層断面(南から)
 12. 6区96号土坑全景(西から)
 13. 6-2区143号土坑土層断面(南東から)
 14. 6-2区143号土坑全景(南東から)
 15. 6-2区143号土坑全景(南から)

- PL.40 1. 6-2区148・149号土坑土層断面(南西から)
 2. 6-2区148・149号土坑全景(南西から)
 3. 6-2区148・149号土坑全景(南西から)
 4. 6-2区144号土坑土層断面(南から)
 5. 6-2区144号土坑全景(南から)
 6. 6区76号土坑土層断面(南西から)
 7. 6区76号土坑全景(南西から)
 8. 6-2区145号土坑土層断面(南から)
 9. 6-2区145号土坑全景(南から)
 10. 6-2区145号土坑遺物出土状態(南から)
 11. 6区84号土坑土層断面(南西から)
 12. 6区84号土坑全景(西から)
 13. 6区100号土坑土層断面(西から)
 14. 6区100号土坑全景(東から)
 15. 6区77号土坑土層断面(南西から)
- PL.41 1. 6区77号土坑全景(南から)
 2. 6区87号土坑土層断面(北東から)
 3. 6区87号土坑全景(北から)
 4. 6区92号土坑土層断面(北から)
 5. 6区95号土坑土層断面(西から)
 6. 6区91号土坑土層断面(東から)
 7. 6区121号土坑土層断面(東から)
 8. 6区121号土坑全景(西から)
 9. 6区85号土坑土層断面(南西から)
 10. 6区81号土坑土層断面(南から)
 11. 6区81号土坑全景(西から)
 12. 6区89号土坑土層断面(西から)
 13. 6区102号土坑土層断面(北から)
 14. 6区102号土坑全景(北から)
 15. 6区78号土坑土層断面(南から)
- PL.42 1. 6区78号土坑全景(南から)
 2. 6区69号土坑土層断面(南西から)
 3. 6区69号土坑全景(南西から)
 4. 6区80号土坑土層断面(西から)
 5. 6区104号土坑全景(北から)
 6. 6区90号土坑土層断面(南から)
 7. 6区90号土坑全景(南から)
 8. 6区82号土坑土層断面(西から)
 9. 6区82号土坑全景(西から)
 10. 6区119号土坑全景(南から)
 11. 6区93号土坑土層断面(南西から)
 12. 6-2区141号土坑土層断面(東から)
 13. 6-2区141号土坑全景(南から)
 14. 6区79・88号土坑土層断面(西から)
 15. 6区79・88号土坑全景(西から)
- PL.43 1. 6区66号土坑土層断面(南から)
 2. 6区66号土坑全景(南から)
 3. 6区86号土坑土層断面(北から)
 4. 6区101号土坑土層断面(南から)
 5. 6区101号土坑全景(北から)
 6. 6区103号土坑土層断面(東から)
 7. 6-2区146号土坑土層断面(東から)
 8. 6-2区146号土坑全景(南から)
 9. 6区83号土坑土層断面(西から)
 10. 6区73号土坑土層断面(南から)
11. 6区73号土坑全景(北から)
 12. 6区94号土坑土層断面(西から)
 13. 6区94号土坑全景(西から)
 14. 6-2区140号土坑土層断面(南東から)
 15. 6-2区140号土坑全景(西から)
- PL.44 1. 6区71号土坑土層断面(南から)
 2. 6区71号土坑全景(南から)
 3. 6区68号土坑土層断面(南から)
 4. 6区68号土坑全景(南から)
 5. 7区53号土坑土層断面(南から)
 6. 7区53号土坑全景(南から)
 7. 7-2区178・179号土坑土層断面(北から)
 8. 7-2区178・179号土坑全景(北から)
 9. 7-2区178・179号土坑掘り方全景(北から)
 10. 7区55号土坑土層断面(南から)
 11. 7区55号土坑全景(南から)
 12. 7区63号土坑土層断面(南から)
 13. 7区63号土坑全景(南から)
 14. 7区52号土坑土層断面(西から)
 15. 7区52号土坑全景(西から)
- PL.45 1. 7-2区154号土坑全景(南から)
 2. 7-2区152号土坑土層断面(南から)
 3. 7-2区152号土坑全景(南から)
 4. 7-2区153号土坑土層断面(南東から)
 5. 7-2区153号土坑全景(南西から)
 6. 7区62号土坑土層断面(南東から)
 7. 7区62号土坑全景(南東から)
 8. 7-2区151号土坑土層断面(南から)
 9. 7-2区151号土坑全景(南から)
 10. 7区64号土坑全景(北から)
 11. 7区61号土坑全景(北西から)
 12. 7-2区150号土坑土層断面(南から)
 13. 7-2区150号土坑遺物出土状態(南から)
 14. 7-2区150号土坑全景(南から)
 15. 7-2区150号土坑床粘土断面(北西から)
- PL.46 1. 7-2区150号土坑掘り方全景(南から)
 2. 7-2区204号土坑掘り方状態(北西から)
 3. 7-2区204号土坑全景(北から)
 4. 7区59号土坑土層断面(南から)
 5. 7区59号土坑全景(南から)
 6. 7区58号土坑土層断面(南から)
 7. 7区58号土坑全景(南から)
 8. 7区60号土坑土層断面(東から)
 9. 7区60号土坑全景(南から)
 10. 7区54号土坑土層断面(南から)
 11. 7区54号土坑全景(東から)
 12. 7区56号土坑土層断面(南から)
 13. 7区56・57号土坑全景(西から)
 14. 7区57号土坑土層断面(南から)
 15. 7区57号土坑全景(西から)
- PL.47 1. 7-2区206号土坑全景(北から)
 2. 8-2区230・230・251号土坑全景(北から)
 3. 8-2区227号土坑全景(北から)
 4. 8-2区231号土坑全景(北から)
 5. 8-2区229号土坑全景(北から)

6. 8-2区226号土坑全景(北から)
 7. 9区105号土坑上層断面(南から)
 8. 9区105号土坑全景(南から)
 9. 9区97号土坑全景(南から)
 10. 9区124号土坑上層断面(南東から)
 11. 9区124号土坑全景(南から)
 12. 9区125号土坑上層断面(南から)
 13. 9区125号土坑全景(南から)
 14. 9区74号土坑上層断面(南から)
 15. 9区74号土坑全景(南から)
- PL.48 1. 9区75号土坑上層断面(南から)
 2. 9区75号土坑全景(南から)
 3. 9区114号土坑上層断面(西から)
 4. 9区114号土坑全景(南から)
 5. 9区106号土坑上層断面(西から)
 6. 9区106号土坑全景(東から)
 7. 9区99号土坑上層断面(西から)
 8. 9区139号土坑上層断面(西から)
 9. 9区139号土坑全景(南から)
 10. 9区98号土坑上層断面(西から)
 11. 9区98号土坑全景(西から)
 12. 9区127号土坑上層断面(南から)
 13. 9区127号土坑全景(西から)
 14. 9区118号土坑上層断面(南から)
 15. 9区118号土坑全景(西から)
- PL.49 1. 9区120号土坑上層断面(西から)
 2. 9区120号土坑全景(西から)
 3. 9区123号土坑上層断面(西から)
 4. 9区123号土坑全景(南から)
 5. 10-2区160号土坑全景(北から)
 6. 10-2区161号土坑全景(北から)
 7. 10-2区198号土坑全景(北から)
 8. 10-2区256号土坑全景(北から)
 9. 10-2区195号土坑全景(北から)
 10. 10-2区173号土坑全景(北から)
 11. 10-2区164号土坑・517号ピット全景(北から)
 12. 10-2区197号土坑全景(北から)
 13. 10-2区168号土坑全景(北から)
 14. 10-2区252号土坑全景(北から)
 15. 10-2区181号土坑全景(東から)
- PL.50 1. 10-2区181号土坑全景(北から)
 2. 10-2区245号土坑全景(北から)
 3. 10-2区248号土坑全景(北から)
 4. 10-2区265号土坑全景(北から)
 5. 10-2区193号土坑全景(北から)
 6. 10-2区219号土坑全景(北から)
 7. 10-2区165号土坑全景(北から)
 8. 10-2区182・183・184号土坑全景(西から)
 9. 10-2区183号土坑全景(北から)
 10. 10-2区184号土坑全景(北から)
 11. 10-2区190号土坑全景(北から)
 12. 10-2区182号土坑・499号ピット全景(北から)
 13. 10-2区255号土坑全景(北から)
 14. 10-2区199号土坑全景(北から)
 15. 10-2区222号土坑全景(北から)
- PL.51 1. 10-2区223号土坑全景(北から)
 2. 10-2区226号土坑全景(北から)
 3. 10-2区260号土坑全景(北から)
 4. 10-2区257号土坑全景(北から)
 5. 10-2区166号土坑全景(北から)
 6. 10-2区186号土坑全景(北から)
 7. 10-2区258号土坑全景(北から)
 8. 10-2区188号土坑全景(北から)
 9. 10-2区220号土坑全景(北から)
 10. 10-2区176号土坑全景(北から)
 11. 10-2区187号土坑全景(北から)
 12. 10-2区216号土坑全景(北から)
 13. 10-2区213号土坑全景(北から)
 14. 10-2区249号土坑全景(北から)
 15. 10-2区土坑横出状況(南東から)
- PL.52 1. 10-2区212号土坑全景(北から)
 2. 10-2区170号土坑全景(西から)
 3. 10-2区171号土坑全景(北西から)
 4. 10-2区172号土坑全景(北西から)
 5. 10-2区162号土坑全景(北から)
 6. 10-2区185号土坑全景(北から)
 7. 10-2区169号土坑全景(北から)
 8. 10-2区234号土坑全景(北から)
 9. 10-2区167号土坑全景(北から)
 10. 10-2区201号土坑全景(北から)
 11. 10-2区217号土坑全景(北から)
 12. 10-2区189号土坑・564号ピット全景(北から)
 13. 10-2区191・192号土坑全景(北から)
 14. 10-2区221号土坑全景(北から)
 15. 10-2区156号土坑全景(北から)
- PL.53 1. 10-2区157号土坑全景(北西から)
 2. 10-2区235号土坑全景(北から)
 3. 10-2区158号土坑全景(南から)
 4. 10-2区242号土坑全景(北から)
 5. 10-2区174号土坑全景(北西から)
 6. 10-2区175号土坑全景(北から)
 7. 10-2区224号土坑全景(北から)
 8. 10区116号土坑上層断面(南から)
 9. 10-2区262号土坑全景(北から)
 10. 10-2区159号土坑・446・447号ピット全景(北から)
 11. 10-2区155号土坑全景(北から)
 12. 10-2区264号土坑全景(北から)
 13. 10-2区218号土坑全景(北から)
 14. 10-2区225号土坑全景(北から)
 15. 10区112号土坑上層断面(南から)
- PL.54 1. 10-2区196号土坑全景(北から)
 2. 10-2区196号土坑全景(北から)
 3. 10-2区163号土坑479・481号ピット全景(北から)
 4. 10-2区254号土坑全景(北から)
 5. 10-2区180号土坑全景(北から)
 6. 10区111号土坑上層断面(西から)
 7. 10-2区268号土坑全景(北から)
 8. 10-2区232号土坑全景(北から)
 9. 10区113号土坑上層断面(南から)
 10. 10-2区215号土坑全景(北から)

11. 10-2区209号土坑全景(北から)
 12. 10-2区210号土坑全景(北から)
 13. 10-2区205号土坑全景(北から)
 14. 10区115号土坑上層断面(西から)
 15. 10区117号土坑上層断面(南西から)
- PL.55 1. 10-2区263号土坑全景(北から)
 2. 10-2区239号土坑全景(北から)
 3. 10-2区240号土坑全景(北から)
 4. 10-2区241号土坑全景(北から)
 5. 10-2区200号土坑全景(北から)
 6. 10-2区270号土坑全景(北から)
 7. 10-2区194号土坑全景(北から)
 8. 10-2区214号土坑全景(北から)
 9. 10-2区237号土坑全景(北から)
 10. 10-2区261号土坑全景(北から)
 11. 10-2区253号土坑全景(北から)
 12. 10-2区223号土坑全景(南から)
 13. 10-2区2118号土坑全景(北から)
 14. 11区45号土坑上層断面(南から)
 15. 11区45号土坑全景(南東から)
- PL.56 1. 11区50号土坑全景(南から)
 2. 11区46号土坑全景(南から)
 3. 11区48号土坑上層断面(南から)
 4. 11区48号土坑全景(南から)
 5. 11区47号土坑上層断面(北から)
 6. 11区65号土坑上層断面(北から)
 7. 11区65号土坑全景(南から)
 8. 11区49号土坑全景(南から)
 9. 11区44号土坑上層断面(東から)
 10. 11区44号土坑全景(南から)
 11. 6区321号ビット上層断面(南から)
 12. 6区339号ビット上層断面(西から)
 13. 6区341号ビット上層断面(西から)
 14. 6区342号ビット上層断面(西から)
 15. 6区344号ビット上層断面(西から)
- PL.57 1. 6-2区402号ビット上層断面(南から)
 2. 6-2区403号ビット上層断面(南から)
 3. 6-2区404号ビット上層断面(南から)
 4. 6-2区405号ビット上層断面(南東から)
 5. 7区308号ビット上層断面(南から)
 6. 7区311号ビット上層断面(南から)
 7. 7区312号ビット上層断面(南から)
 8. 7-2区585号ビット上層断面(北から)
 9. 7-2区592号ビット上層断面(南から)
 10. 8-2区420号ビット上層断面(南から)
 11. 8-2区421号ビット上層断面(南から)
 12. 8-2区422号ビット全景(南から)
 13. 9区336号ビット上層断面(南から)
 14. 9区355号ビット上層断面(西から)
 15. 9区357号ビット上層断面(南から)
- PL.58 1. 10-2区土坑・ビット出土状況(西から)
 2. 9区371号ビット全景(南から)
 3. 10区345号ビット上層断面(南から)
 4. 10区346号ビット上層断面(南から)
 5. 11区347号ビット上層断面(南から)
6. 11区352号ビット上層断面(南から)
 7. 11区302号ビット上層断面(南から)
 8. 11区303号ビット上層断面(東から)
 9. 11区306号ビット上層断面(南から)
 10. 11区307号ビット上層断面(北から)
- PL.59 1. 10-2区1号畑全景(北から)
 2. 10-2区1号畑上層断面(北東から)
 3. 10-2区1号畑上層断面(北から)
 4. 10-2区1号畑上層断面(北から)
 5. 7区復旧畑全景(北から)
 6. 7区3・4・5・6号復旧畑(北から)
 7. 7区2号復旧畑上層断面B-B'(西から)
 8. 7区3号復旧畑上層断面C-C'(西から)
 9. 7区4号復旧畑上層断面D-D'(西から)
- PL.60 1. 7区4号復旧畑上層断面(北から)
 2. 7区6号復旧畑上層断面E-E'(西から)
 3. 7区7号復旧畑上層断面G-G'(西から)
 4. 7区8号復旧畑・16号溝全景(北西から)
 5. 7区8号復旧畑上層断面J-J'(南から)
 6. 7区8号復旧畑上層断面K-K'(西から)
 7. 7区8号復旧畑上層断面K-K'(西から)
 8. 7区8号復旧畑上層断面H-H'(東から)
- PL.61 6区・6-2区整穴建物出土遺物
 PL.62 6区・7区整穴建物出土遺物
 PL.63 7区整穴建物出土遺物
 PL.64 7区整穴建物出土遺物
 PL.65 7区・7-2区整穴建物出土遺物
 PL.66 7-2区整穴建物出土遺物
 PL.67 7-2区整穴建物出土遺物
 PL.68 8-2区・9区整穴建物出土遺物
 PL.69 9区整穴建物出土遺物
 PL.70 9区整穴建物出土遺物
 PL.71 10区・10-2区整穴建物出土遺物
 PL.72 10-2区整穴建物出土遺物
 PL.73 10-2区整穴建物出土遺物
 PL.74 11区整穴建物出土遺物
 PL.75 11区整穴建物、6区・10区・10-2区井戸、6区溝出土遺物
 PL.76 6区溝出土遺物
 PL.77 6区溝、7-2区廃棄土坑出土遺物
 PL.78 7-2区廃棄土坑、6区・6-2区土坑出土遺物
 PL.79 6区・6-2区土坑出土遺物
 PL.80 6区・6-2区土坑出土遺物
 PL.81 6区・6-2区土坑出土遺物
 PL.82 6区・6-2区、7区・7-2区土坑出土遺物
 PL.83 7区～11区土坑・ビット・復旧畑出土遺物
 PL.84 7区復旧畑、6区～11区遺構外出土遺物
- 池石田遺跡**
- PL.85 1. 1号溝出土状況(北東から)
 2. 1号溝近景(南東から)
 3. 1号・2号溝上層断面A-A'(南西から)
 4. 1号・2号溝上層断面B-B'(南西から)
 5. 1号・2号溝全景(北東から)
 6. 1号・2号溝全景(南西から)

第1章 調査の経過と方法

1. 塩川砂井戸遺跡調査に至る経緯

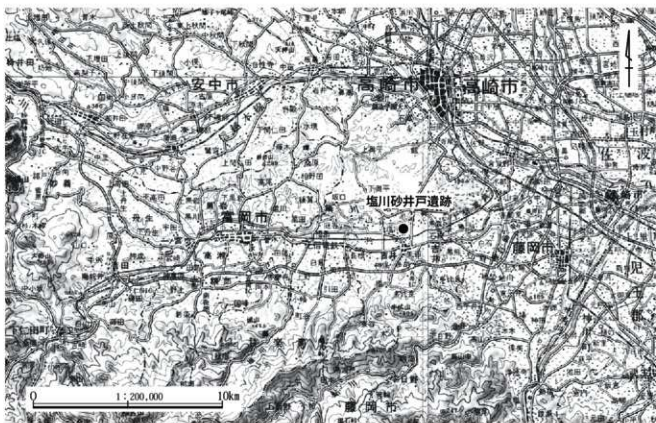
(1) 平成27年度

国道254号は東京都文京区を基点として埼玉県・群馬県を通過し長野県松本市へ至る一般国道である。群馬県内では藤岡市・高崎市・甘楽郡甘楽町・富岡市・甘楽郡下仁田町の県西部地域を東西に横切っている。この路線のうち、群馬県内の広範な部分が江戸時代に中山道の脇往還として使われた旧街道を踏襲している。かつて宿場町であった市街地とその周辺では幅員が狭いうえに交通量が多く、特に大型車の通行が目立つ、渋滞と安全対策が課題の道路であった。市街地北側に国道254号バイパスを造る工事は昭和51(1976)年より事業化され、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団ではこれまでに工事に伴う遺跡の発掘調査を行ってきた。西側から東方へ向かって富岡市田島から甘楽町福島まで全長8.27kmの「富

岡バイパス」が平成12(2000)年に開通した。平成6(1994)年度から7(1995)年度に田塚塚原遺跡・福島駒形遺跡・福島鹿島下遺跡などの埋蔵文化財発掘調査を実施した。

その東に繋がる「甘楽吉井バイパス」は甘楽町福島から高崎市吉井町本郷を結ぶ全長3.2kmの路線で、高崎市吉井町片山までが平成23(2011)年に開通している。平成10(1998)年度に甘楽条里遺跡(大山前地区)、平成18(2006)年度に甘楽条里遺跡(底屋深町地区・造石大町地区)・塚田遺跡などの埋蔵文化財発掘調査を実施した。

都市計画道路「吉井北通り線」は、「甘楽吉井バイパス」のさらに東側へ繋がる高崎市吉井町本郷と高崎市吉井町池を結ぶ全長1.5kmの道路で、平成14(2002)年度より建設事業が開始されている。この路線上の大沢川以西では平成24(2012)年度に包蔵地(高崎市遺跡番号02746)内の本郷畑内遺跡の調査を実施し、弥生時代後期から平安時代にかけての集落等を確認した。平成25(2013)年度に



第1図 塩川砂井戸遺跡と周辺の地勢(群馬県埋蔵文化財調査事業団「塩川砂井戸遺跡」2015 第1図より転載)

第1章 調査の経過と方法

は、大沢川以東に広がる塩川砂井戸遺跡(高崎市遺跡番号02748)の調査が開始され、西部の1区～5区の調査を実施した。古墳時代から平安時代にかけての集落が調査された。

さらに、道路用地は塩川砂井戸遺跡内に計画されていることから、群馬県教育委員会文化財保護課は群馬県高崎土木事務所の照会を受け、用地確保が終了した東半の区間について、平成26(2014)年1月、8月、平成27(2015)年1月、6月に事業対象地において、重機を用いたトレンチ試掘調査を実施した。その結果、一部(6区西半部・10区東半部)を除き、竪穴建物や土坑・溝および土師器・須恵器包含層の存在を確認し、試掘対象地内の8200㎡について埋蔵文化財調査が必要と判断された。

文化財保護課と高崎土木事務所の調整を受け、平成27年12月1日、群馬県高崎土木事務所と公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団との間で発掘調査委託契約がかわされ、平成28年1月より3月までの期間で発掘調査が実施されることとなった。

塩川砂井戸遺跡の発掘調査は当初平成27年度で完了する予定であったが、27年度の調査を進めたところ、試掘調査によって想定された遺構数を上回る遺構が検出されたことや未買地が点在していたこと等から、調査期間の変更を協議・調整する必要が生じた。文化財保護課と高崎土木事務所の調整の結果、平成27年度は調査面積を減じて契約期間内の調査終了を図ることとなった。群馬県高崎土木事務所と公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団との間で平成28年2月18日付の委託業務打ち合わせ書を取り交わして平成27年度の調査面積を7481㎡に減じることとし、変更契約書を取り交わして、平成28年3月31日に平成27年度調査を終了した。

(2)平成28年度

平成27年度に調査できなかった部分の対応については、継続して文化財保護課と高崎土木事務所の調整がおこなわれた。その結果、平成28年度には、平成27年度調査から面積を減じた地点、用地が解決した部分、および周囲の遺構検出状況から発掘調査が必要という修正判断が出された地点(6区西半部・10区東半部)の調査を実施することとなった。それらの調査対象面積は4550㎡となり、上半期2か月の発掘調査工程が組まれることになった。

この調整を受け、平成28年4月18日に群馬県高崎土木事務所と公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団との間で発掘調査委託契約がかわされ、平成28年6月より7月までの期間で発掘調査が実施されることとなった。

調査開始後、一部の市道部分及び防火用水敷地部分が調査不能であったことから、平成28年7月13日付委託業務打ち合わせ書を取り交わして平成28年度の調査面積を4405㎡に減じることとし、変更契約書を取り交わした。平成28年7月31日に平成28年度調査を終了した。

2. 発掘調査の経過

(1)平成27年度の調査

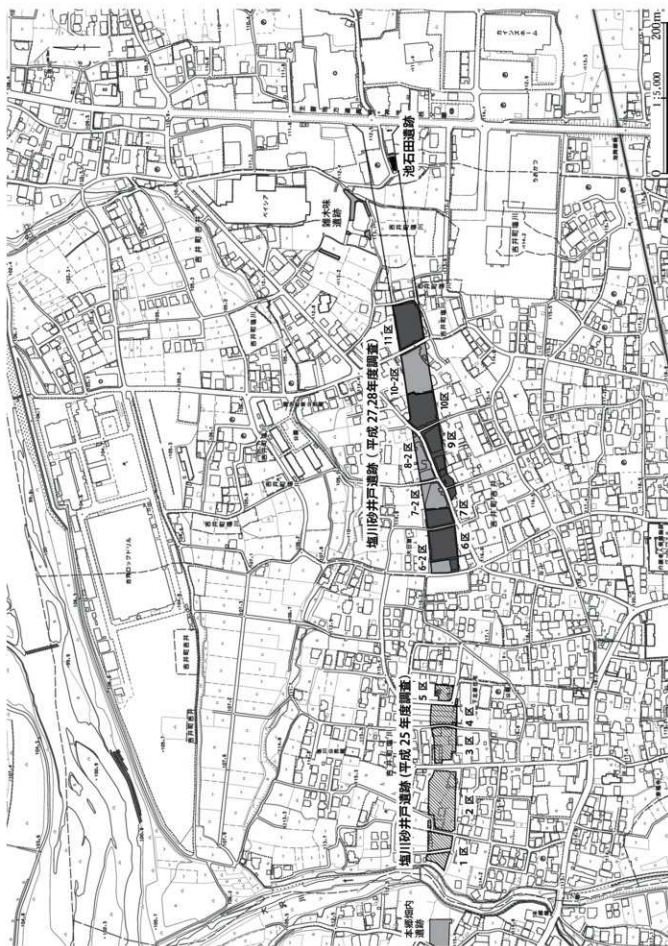
平成28年1月4日に調査に着手した。調査着手にあたって、調査区は平成25年度発掘調査した「塩川砂井戸遺跡」と同じ遺跡内にあることから、区名称・遺構番号は、平成25年度発掘調査の方針を踏襲・継続することとした。

今年度の調査対象地は幅約25m、東西約250mで、市道を境に西から東へ順に6～11区と呼称した。試掘調査の結果を踏まえて、竪穴建物などの遺構が比較的少ないとされた東西両端の7区と10区からおこなうこととした。竪穴建物その他の遺構については表土層を50cmほど掘り下げたところで確認されているが、7区のみ、その上面に近世浅間A軽石下面が残っていたことから2面調査となった。

発掘調査を進めたところ、古墳時代から古代の集落が調査区の全域に及んでいることが判明し、当初の想定以上の遺構量となった。調整の結果、今年度の調査面積を減じて対応することとなり、6区・7区・8区・10区の調査が平成28年度に継続となった。旧石器調査については古代集落の調査が終了したのち、当該層の残る地点で、その有無を確認したが、旧石器は検出されなかった。

平成27年度調査日誌抄

- 1月4日 調査開始
- 1月5日 機材搬入
- 1月6日 7区・11区表土掘削・遺構確認開始
- 1月12日 7区1面浅間A軽石下面復旧痕調査開始
11区遺構掘削開始
- 1月14日 10区表土掘削開始
- 1月15日 7区1面浅間A軽石下面調査終了



第2図 塩川砂井戸遺跡調査区位置図

第1章 調査の経過と方法

| | |
|-------|--------------------|
| 1月19日 | 7区2面調査開始 |
| 1月20日 | 6区表土掘削開始 |
| 1月25日 | 9区表土掘削開始 |
| 2月1日 | 7区空中写真撮影 |
| 2月2日 | 7区調査終了 |
| 2月4日 | 7区埋め戻し作業終了 |
| 2月8日 | 11区調査終了 |
| 2月9日 | 11区埋め戻し作業終了 |
| 2月24日 | 28年度調査を現地で調整・確認 |
| 3月3日 | 6区・9区・10区空中写真撮影 |
| 3月7日 | 6区・9区・10区旧石器確認調査開始 |
| 3月18日 | 9区埋め戻し作業終了 |
| 3月22日 | 10区埋め戻し作業終了・6区調査終了 |
| 3月25日 | 6区埋め戻し作業終了 |
| 3月30日 | 撤回 |

(2)平成28年度の調査

平成28年度の調査は6月1日に着手した。平成25年度に発掘調査した「塩川砂井戸遺跡」と同じ遺跡内にあることから、27年度調査と同様に区名称や遺構番号は平成25年度発掘調査の方針を踏襲・継続することとした。28年度の遺構番号は27年度の調査遺構番号に連続するように付した。

平成28年度調査区域は、27年度に西から東へ順に6～11区を付した範囲のうちの未買収地等であった箇所である。同じ区の中に年度の異なる調査区が混在することになったことから、調査・記録時には区番号に「-2」を付して区別した。本報告書でも基本的に「-2」を付したが、第Ⅲ章9土坑の本文および平面図では煩雑さを避けるため「-2」の記載を省略している。

発掘調査の実施にあたっては、工事等の優先箇所を先行させ、調査対象区西端の6-2区から実施した。また調査区中央を市道が横断し、民家への出入り通行への配慮が必要であったことから、分割された調査区内部での頻繁な排土移動を行わざるを得なかった。また、28年度調査区にも古代集落が全域に濃密に分布し、遺構数は想定を超えることとなった。27年度に7区で確認された近世面は、28年度のいずれの調査区でも削平されており、28年度は全調査区とも1面調査となった。10-2区南東隅は、トレンチ調査を実施したが、遺構は検出されなかった。

また、旧石器確認調査は、調査の進捗に伴い当該地域

では基盤層が河川堆積により形成されていることが判明したことから、実施しなかった。

平成28年度調査日誌抄

| | |
|-------|-----------------------------|
| 6月1日 | 調査開始 |
| 6月6日 | 6-2区表土掘削開始 遺構確認作業 |
| 6月7日 | 6-2区表土掘削作業終了 遺構掘り下げ作業開始 |
| 6月8日 | 7-2区表土掘削作業開始 |
| 6月10日 | 6-2区全景写真撮影 10-2区表土掘削開始 |
| 6月14日 | 6-2区調査終了 8-2区東全景写真撮影 |
| 6月15日 | 8-2区西表土掘削開始 |
| 6月28日 | 7-2区東調査終了 7-2区西表土掘削開始 |
| 6月29日 | 7-2区東埋め戻し作業 |
| 6月30日 | 7-2区東表土掘削終了 8-2区西北埋め戻し作業 |
| 7月1日 | 8-2区西南表土掘削開始 |
| 7月7日 | 10-2区北西全景写真撮影 |
| 7月16日 | 7-2区西埋め戻し作業 |
| 7月25日 | 10-2区東全景写真撮影 |
| 7月23日 | 地元住民対象現地説明会 |
| 7月29日 | 作業終了 撤回 |

(3)池石田遺跡の調査

池石田遺跡は塩川砂井戸遺跡11区東端から東側175mにある。平成28年10月26日の県文化財保護課による試掘調査の結果、浅間Bテフラ堆積層の下層より溝跡が検出されたことから、本調査が必要と判断された。高崎土木事務所との調整により、平成29年6月26日～28日に県文化財保護課により立ち合い調査が実施され、溝2条が検出された。検出された溝が東西方向で直線的であったことから、遺跡地の東500mにある多胡郡衛正倉跡や、北西50mにある仏教関連遺構が推定されている雑木味遺跡との関連を考慮して、県文化財保護課は東方への溝の延長の有無を確認するために、10月17日に再度立ち合い調査を実施した。なお、池石田遺跡調査の方法と成果については、第Ⅳ章で記載した。

3. 発掘調査の方法

(1) 調査区とグリッドの設定

塩田砂井戸遺跡の調査にあたっては平成25年度調査区に連続して、調査対象地を分断する市道を境に、西側より6区から11区までの調査区を設定した。市道の安全確保や、近隣民家への進入路確保、調査年度の違い等のために掘削を控えた部分が多くなり、各調査区内も分断された部分が生じた。

調査区名称は調査工程管理や表採・包含層内遺物取上げ等のために用いた。遺構番号はこれにかかわらず通し番号とした。したがって個別遺構の名称に調査区名は関与するものではないが、遺構の位置が把握しやすいように、本報告では煩雑になる土坑を除いて、区名を付して遺構名を記載した。

調査段階では調査区内に方眼杭を設定することはなかったが、遺構に伴わない遺物取上げのためグリッド呼称を使用した部分がある。これは平面直角座標系(世界測地系測地成果2000座標IX系)を用いた座標値の下3桁を呼称したもので、本報告書挿図で例示すれば、座標 $X=29,063$ と $Y=-76,305$ の交点を+記号と共に(063、-305)と略して記し、この地点を南東隅とする1m四方の範囲を063-305グリッドと呼称した。また、本書でも、遺構の位置を示す際にこのグリッドを使用した。

(2) 基本土層と遺構確認

本遺跡の基本土層は、第3図(P.6)に示した通りである。調査時に各調査区の基本土層を記録した5地点の土層図を示すとともに、文化財保護課による試掘調査時の土層記録で3地点の土層柱状図を補充した。調査区内の一部で現代の宅地等造成工事に伴う客土があるが、これについてはいわゆる表土とは区別し分層した。

遺跡地の地形は全体として、大沢川の東側台地の中央部から、東方の西谷川(矢田川の支流)へ向かって南西から北東、西から東へ下がり傾斜する。本遺跡の土層は、主に河川氾濫の影響および後世の土壌攪乱の状況により地点ごとに若干の差異が見られたが、基本的にはローム層上に礫混じりの土壌が古墳時代以前に堆積し、その上位に中世・近世の礫の少ない土壌があり、その上位に天明3(1783)年の浅間山噴火起源の浅間A軽石層が7区の

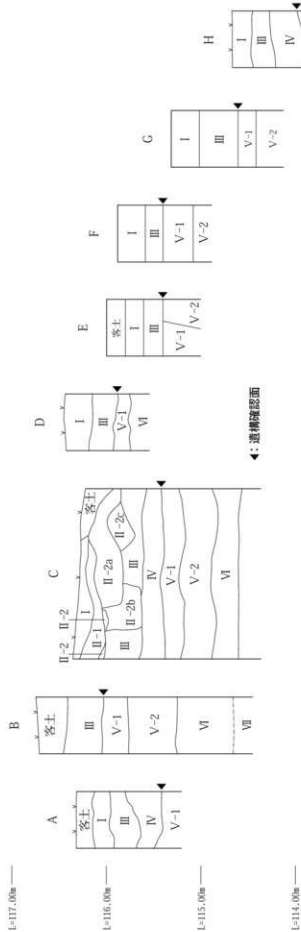
一部に残っている状況であった。

基本土層の層序は、I層表土、II層浅間A軽石に関連する暗褐色土、III層小礫を含む黒褐色土、IV層小礫を含む黒褐色～暗褐色土、V-1層小礫を含む黄褐色土、V-2層砂礫を多量に含む灰褐色土、VI層明黄褐色粘質土である。全体として礫を含有することが本遺跡の土層の特徴であるが、含まれる礫の大きさや含有状況は一律でなく、同層位とみられる土層でも地点差があった。I層の上位には現代の建築に伴う客土が認められる地点もあった。II層は7区のみ認められ、II-1層下面で天明3(1783)年の浅間山噴火起源の軽石被災の復旧痕跡を確認することができた。各区ともV層上面で古墳時代から古代の遺構を確認した。VI層以下は11区のH地点で記録した。V層以下はローム層に似るが、いわゆる関東ローム層の層序を示す指標テフラは確認できていない。なお、本報告では遺構埋土の雑物の説明中に「ローム」の表記があるが、ローム土に類似・相当するV・VI層(地山)の黄褐色土を示す汎用的な用語として用いている。下位のIX層はグライ化し礫を多量に含んでいた。以下に各地点の土層を記載する。

6区・6-2区はほぼ平坦な地形であるが、西北部は北側へ傾斜が始まっており、A地点(6-2区北壁)ではやや標高の低い土層断面となった。B地点(6区西壁)では、現代の造成によって中世・近世から現代の表土(I・II層)が欠落していたが、礫混じりのIII層・IV層の堆積はみられ、その下位に明黄褐色粘質土が堆積していた。古墳時代から古代の遺構はV層上面で確認した。本区は礫混じりのIII層・IV層が他の区より厚く堆積しており、古墳時代から古代の竪穴建物の掘り方は小礫が多く混入するV-2層中にあり、同様に礫を含む遺構埋土との判別が困難であった。

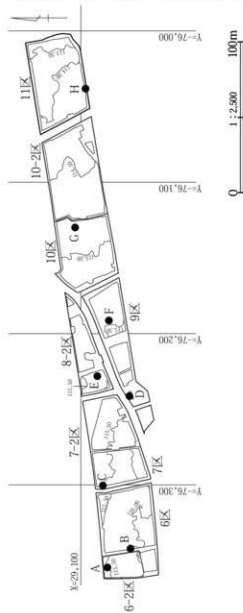
7区・7-2区はやや北東に傾斜する発掘区で、C地点では基本土層のほぼ全体を確認することができた。特に表土(I層)の下位では明確に天明3(1783)年の浅間山噴火に伴う軽石の二次堆積(II層)が7区のみに残されており、復旧痕として記録することができた。下位には6区と同様にIII～VI層の基本土層が堆積していた。古墳時代から古代の遺構はV層上面で確認した。

8-2区は基本土層の記録ができなかったが、試掘調査時の記録(E地点)によれば、20cmほどの客土の下に、



4: 遺構確認面

- 客土
- I 表土、相灰色土(5YR4/1~10R5/1) 浅間A群、細砂礫を含む。
 - II-1 明褐色土、礫と軽石粒を含む。下面は浅間A群石炭巨樹跡の確認面。
 - II-2a 明褐色土、浅間A群石を多量に含む。サラサラ。
 - II-2b 暗褐色土、II-1層と浅間A群石の混合土。
 - III 暗褐色土、礫と紫灰色粘土ブロックを含む。
 - IV 灰白色土、II-2層に近い浅間A群石層、軽石を集めて厚化した部分。
 - V 黒褐色(10YR2/1)~明褐色(10YR3/3)砂質土、小礫・白色炭屑粒を含む。浅間A群石を含まない。
 - VI 黒褐色(5YR2/1)~褐色(10YR4/4)土、小礫を含む。
 - V-1 明黄褐色(10YR6/6)~褐色(10YR4/4)土、小礫を含む。
 - V-2 上面は土層時に、古代遺構の確認面。
 - VI 灰褐色土、砂礫を多量に含む。
 - VII 明黄褐色(10YR6/8)土、ローム層。
 - VIII 灰黄褐色(10YR4/2)土、ローム層。小礫を含まない。黄褐色(10YR4/3)土、ローム層、小礫を含む。
 - IX 青灰色(10B5/1) グライ化したローム層、礫を多量に含む。



第3図 基本土層計測地点と土層柱状図

礫を少量混じる褐色土の表土(I層)が堆積し、さらに下に砂礫を混じる暗褐色土(III層)が堆積しており、ここでは浅間A軽石を混じるII層は残されていなかった。古代の遺構は礫を少量混じる黄褐色砂質土(V-I層)上面で確認され、下位には一部砂礫層が堆積していた。

9区は東西に長く、西端でD地点、東部でF地点の土層堆積を確認した。D地点では白色軽石粒を含む褐色土の表土(I層)と、下位に小礫を多く含む暗褐色砂質土(III層)が堆積していた。さらに小礫を含む褐色土(V-I層)が堆積しており、その上面で古墳時代から古代の遺構を確認した。F地点ではD地点と同様の堆積であった。

10区・10-2区も試掘調査時の記録によれば、現表土(I層)が堆積し、さらに下位に砂礫を多量に混じる褐色土(III層)が堆積しており、古代の遺構は礫を少量混じる黄褐色砂質土(V-I層)上面で確認され、下位には砂礫層が堆積していた。

11区は浅間A軽石を含む褐色土(I層表土)の下位に小礫を含む暗褐色砂質土(III層)、小礫を含む褐色土(IV層)が堆積し、その下位の小礫を多く含む褐色土(V-I層)上面で遺構確認した。ここではVI層以下も記録した。

(3)調査と記録の方法

調査では、試掘調査データを元に遺物包含層・遺構確認面などを把握したうえで、遺物包含層のやや上位まで重機による土砂除去を行った。その後、ジョレンを用いて人力で遺構確認を行った。把握できた遺構は、埋没土断面観察のため、小規模な遺構は一方方向、大型遺構は十字・二方向に埋没土層観察ベルトを残して掘り下げを行った。ただし、ピットに関しては土層断面図の記録を省略した遺構がある。その際は埋土の特徴を記載した。

竪穴建物は基本的に床面および掘り方面の調査を実施し、竈についても使用面と掘り方面の調査を実施した。しかし、地山および遺構埋没土に等しく礫が著しく堆積していた地点では、掘り方面の検出が困難で調査・記録ができなかった遺構もあった。

記録図化はトータルステーションによる平面測量を地上測量委託して行った。手描きの断面測量は発掘作業員、土層の観察は調査担当者が行った。断面測量の図根点は平面測量図に加筆し、断面図はデジタルトレースを行った後日のデジタル版下作成に備えた。

遺構写真はデジタルカメラによる撮影と、ブローニー版モノクロネガフィルム撮影を併用して調査担当者が行った。また平成27年度調査では遺跡全体のラジコンヘリによる空中写真撮影を委託した。



1. 遺構確認作業



2. 竪穴建物掘り下げ作業



3. 遺物出土状態のデジタル測量作業



4. 竈遺物出土状態の手描き測量作業

4. 整理業務の経過と方法

整理事業の実施にあたっては、群馬県教育委員会文化財保護課の調整を受け、群馬県高崎土木事務所と公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団との間で、平成28年4月1日に整理事業の委託契約がかわされ、平成28年4月1日より同事業団本部にて整理作業を開始した。

出土した土器・石器類のうち平成28年度調査分は、調査年度に洗浄・注記作業まで実施できなかったことから、平成28年4月～6月に委託して実施した。

遺物整理は土器(土師器・須臾器)、陶磁器、石器類、金属製品に分類し、それぞれ接合や図化作業を実施した。特に7区の鍛冶関連廃棄土坑から多量の鉄滓や羽口などが出土したが、種別や大きさに分類して計量した。出土土器類は遺構とその周辺遺物ごとに接合し、遺構ごとに図化個体を選定した。その後、必要なものは復元して、写真撮影・実測・採拓・観察表作成作業を行った。石器類や金属製品も種別を分類し、図化資料を選択して実測した。

遺物実測は長焦点実測用写真撮影や三次元計測機を併用しながら等倍の手描き図を作成した。掲載サイズの2倍に調整してトレース図を作成後、スキャニングによりデジタルデータ化した。遺物写真は当事業団写真室でデジタルカメラを用いて撮影し、画像修正を行って印刷原稿データとした。併行して非掲載遺物の分類・カウント作業を実施した。石器の石材同定は、群馬県地質研究会の飯島静男氏に依頼した。

金属製品も当事業団で修復・保存処理作業を行い、写真撮影・実測・観察作業を行った。鏝の影響で本来の形

第1表 塩川砂井戸遺跡 遺構名称新旧対照表

| | 旧(調査での記録) | 新(報告書掲載) |
|-------|-----------|-----------|
| 6区 | 暗渠 | 21号溝 |
| 7-2区 | 1号鍛冶穴 | 鍛冶関連廃棄土坑 |
| 10-2区 | 116号住居 | 271号土坑 |
| 10-2区 | 118号住居 | 10号井戸 |
| 10-2区 | 249B号土坑 | 11号井戸 |
| 10-2区 | 115号住居内土坑 | 272号土坑 |
| 10-2区 | 249A号土坑 | 249号土坑 |
| 10-2区 | 675B号ビット | 675A号ビット |
| 10-2区 | 1218号ビット | 1218A号ビット |
| 10-2区 | 1219号ビット | 1219B号ビット |

状が不明瞭なものはX線写真により旧状を復元した。

遺構図面は調査段階でデジタルデータ化しており、これらの一部修正・編集して図版データを作成した。本作業を通して遺構種の変更があり、遺構番号とともに変更したものがある。その内容は第1表遺構名称新旧対照表に示した。

遺構写真は発掘調査で撮影・記録保存したデータから、報告書掲載写真を選定し画像修正を行って印刷原稿データとした。

これらの遺構・遺物に関する印刷原稿データと調査成果や出土品の観察等の文字原稿をアドビ社インデザインで組版して、デジタル印刷原稿として編集した。編集作業後は、出土遺物・図面・写真類の収納作業を終了させた。

報告書印刷は委託して実施し、平成30年3月に発掘調査報告書『塩川砂井戸遺跡(2)・池石田遺跡』を刊行した。



1. 鍛冶関連廃棄土坑出土遺物の分類作業



2. 土師器の接合作業

第Ⅱ章 遺跡の立地と歴史的環境

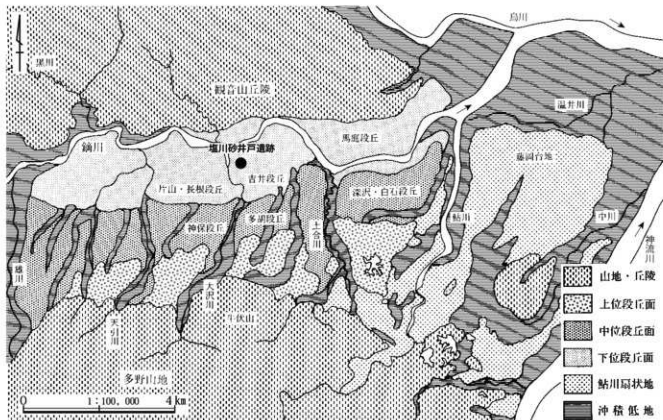
1. 遺跡の位置と地形

塩川砂井戸遺跡のある群馬県高崎市吉井町(明治22年吉井町・矢田村・本郷村・塩川村など多胡郡内9町村の合併により生まれ、平成21年高崎市と合併により現在の地名となる。本文中では旧吉井町と称する)は、関東平野の北西隅・群馬県南西部に位置している。北側・東側は高崎市が広がり、南側を藤岡市、西側を甘楽郡甘楽町・富岡市と接している。町のほぼ中央部に下仁田町と長野県佐久市の境界付近にある物見山(標高1375m)を源とする延長58.8km、流域面積632km²の利根川水系一級河川の鍋川が西から東へ流れ、高崎市阿久津町付近で利根川一次支流の烏川に合流している。

鍋川流域は古くから「甘楽の谷」「鍋の谷」と称されてきた地域である。この流域は、西側に進めば内山峠を経て長野県佐久市に至る、中部地方と関東地方を結ぶ重要

な交通路であった。現在の交通路もこの流域に沿っており、高崎一下仁田間を結ぶ上信電鉄や、東京都文京区と長野県松本市を結ぶ国道254号も鍋川の兩岸を行き交うようにして東西を繋いでいる。関越自動車道から藤岡市で分岐し、新潟県上越市で北陸自動車道へ繋がる上信越自動車道は、主に鍋川南の丘陵北側を走向している。

鍋川流域は西側に位置する富岡市街から甘楽郡甘楽町、本遺跡のある旧吉井町にかけて、広く富岡層群と呼ばれる第三紀中新世の海成層を基盤としている。旧吉井町市街地と周辺は南側にある丘陵地から続く富岡層群中の吉井層と呼ばれる泥岩・砂岩層を主体とする面にある。鍋川が作る段丘は左右非対称で、旧吉井町周辺の左岸北側では下位段丘が崖線を隔て丘陵地形に接している。東西に繋がる平坦なこの丘陵地・富岡丘陵は、碓氷川と鍋川の間に発達した東西約16kmにおよぶ丘陵である。標高200~300mにあつてはなだらかな丘頂部をもち、裾部は特



第4図 遺跡周辺の地形(群馬県埋蔵文化財調査事業団『黒熊中西遺跡』1992 第3図より転載・一部加筆)

に南側で樹枝状の開析谷が発達している。丘陵東隅にあたる高崎市街地に面した周辺は観音山丘陵と呼ばれ、周辺住民から親しまれている。付近ではこの名で呼称されることが一般的である。

旧吉井町から西側に隣接する甘楽町にかけての鑛川右岸では二段の河岸段丘が広がり、さらに南側は関東山地の北隅、多野山地へ繋がっている。右岸の河岸段丘は南側から鑛川へ流れ込む雄川・天引川・大沢川・土合川等多数の小河川による浸食をうけ、細かく分断されている。

このうち大沢川(全長約6km)は東谷川・八束川・折茂川・長根川などの小河川を集めた旧吉井町域で流域面積、長さ、水量等、最大規模の河川である。

塩川砂井戸遺跡のある旧吉井町街地北側は吉井段丘と呼ばれる下位段丘上にあり、西側を流れる大沢川を挟んで片山・長根段丘と接している。南側の上位段丘は多胡段丘と呼ばれ、さらに丘陵地を隔て周辺のランドマークである牛伏山(標高490m)へ至っている。

塩川砂井戸遺跡は下位段丘(吉井段丘)の北西隅、鑛川河床から比高6m前後の段丘崖より南側40m前後に位置している。付近の標高は調査区西側で114m前後、調査区東側で116m前後を測る。北側の鑛川よりも西側の大沢川へ向かって緩やかに傾斜している比較的平坦な地形である。周辺は高崎市・藤岡市のベッドタウン化し、調査前は住宅地を中心として一部に畑地が入り込む土地利用であったが、明治18年の迅速測図では、南側に点在する塩川村の集落の北方にあたり、畑地が全面に広がっていた。

2 周辺の遺跡

ここでは塩川砂井戸遺跡で主な調査対象となった縄文時代および古墳時代から中世にかけての歴史的環境を理解するために、これらの時代を中心とした周辺の歴史環境について概略を記す。

個別の遺跡については第5図に、調査報告書が刊行された遺跡を中心にドットと算用数字で示し、第2表にその内容を記した。矢田遺跡など周辺で数枚におよぶ広範な調査を実施した遺跡については、代表的な地点のみの掲載となっている。また長根遺跡群として11次にわたって報告された多数の遺跡はドットを示しきれず、代表的

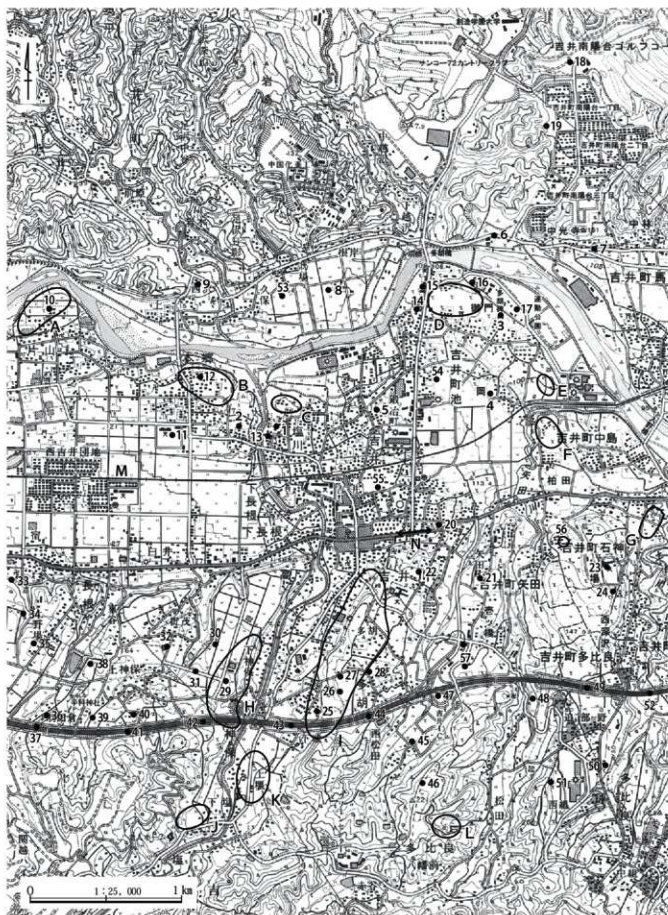
な遺跡のみの図示となった。古墳群の範囲やその他の面的な遺跡はアルファベットで示し、第3表にその内容を記した。本文中では初出の遺跡にのみ番号・アルファベットを付した。引用・参考文献はP.226に一括して記した。

【旧石器時代】この時代の遺跡は上信越自動車道の発掘調査で、多胡蛇黒遺跡(44)・多比良追部野遺跡(49)などが確認された。いずれも鑛川右岸上位段丘面において、約同3万年前のA T(始良・丹沢)火山灰層下から確認されるものである。また、羽田倉Ⅱ遺跡(36)でも多数の石器出土が報告されている。

【縄文時代】縄文時代草創期・早期の遺跡はほとんど調査されていないが、本郷畑内遺跡(2)の石籾など、点在するように出土例がある。集落が確認されるのは前期からで、鑛川右岸上位段丘上の椿谷戸遺跡(21)・神保富士塚遺跡(41)などの調査例がある。中期に入ると遺跡の範囲はやや広がり、鑛川右岸上位段丘の神保植松遺跡(42)など大規模な土坑群等の確認がある他、左岸でも東吹上遺跡(9)に土器群が見られる。本遺跡には中期後半から後期前半にかけての遺物が見られる。後期後半以降は再び遺跡が少なくなる。

【弥生時代】弥生前期から中期も遺跡は少ないが、神保富士塚遺跡では弥生中期の土坑群が調査され注目されている。弥生時代後期になると上位段丘上で集落が増加し、馬場遺跡(24)のように一旦途切れる集落もあるが、多比良追部野遺跡など古墳時代前期まで継続する大集落が多い。これらは古墳時代後期以降の集落古地と共通することを特徴としている。本郷畑内遺跡では下位段丘上の弥生時代後期住居が1棟だけだが調査され、この地区では数少ない調査例となっている。小規模ながら古墳時代前期まで集落が繋がる点は、鑛川右岸上位段丘上の主な集落と共通している

【古墳時代】旧吉井町域は方形周溝墓の調査例が少なく、前期・中期の大型古墳の見られない地域である。古式の古墳調査例には片山古墳群(A)内で粘土椀の小円墳例がある。後期の古墳群は鑛川沿いと、上位段丘上の小河川沿いに見られる。鑛川沿いでは特に下位段丘の広がる右岸側に密集している。自然堤防状の微高地が主な古地となっているようで、片山古墳群の他に本郷古墳群(B)・下池古墳群(D)などがある。小河川沿いでは北側から流下して本遺跡北側で鑛川に合流する大沢川両側の中段段



第5図 周辺遺跡の分布(群馬県埋蔵文化財調査事業団「塩川砂井戸遺跡」2015 第6図より転載、一部修正・加筆)

丘部に、神保古墳群(H)や多胡古墳群(I)などこの地域最大の古墳群が展開している。

集落は古墳時代前期まで上位段丘上を中心に見られるが、後期になって急激に増大し、入野遺跡(23)・長根羽田倉遺跡(37)など枚挙にいとまがない。旧吉井町南側に隣接する藤岡市や西側に隣接する甘菜町で滑石を産出することから滑石製品を製作する工房が古くから注目され、昭和37年群馬大学によって調査された入野遺跡はその嚆矢となった。下位段丘での古墳時代後期集落は、鑛川左岸の川福遺跡(6)、右岸中段位段丘直下の吉井川下宿遺跡(20)などわずかに見られ、鑛川右岸縁で片山遺跡群などにややまとまった例がある。町域の広い範囲に古墳群が展開しており、それを支える集落の存在は不可欠であるが、下位段丘での集落数は十分でない。該当地区が現在の市街地と重複するため、調査例が少ないものと思われる。本遺跡および本郷畑内遺跡の調査は、片山遺跡群に続く鑛川右岸自然堤防状微高地の集落展開を示す好例となった。

【奈良・平安時代】律令期の町域は倭名類聚抄記載の多胡郡にあたる地域である。本遺跡のある旧吉井町の西側に隣接する甘菜町は「から」を語源とする半島からの稲化人の多い地域と古くから推測されている。和銅4(711)年、周辺の三部から300戸を割讓し多胡郡を建部したことが刻まれた日本三古碑の一つ国史跡多胡碑(3)は、本遺跡東側1.8kmの鑛川右岸で本遺跡と同じ下位段丘面にある。江戸時代から盛んに論考されたこの碑については、明治以降にも黒板勝美、高橋健自、柴田常恵、喜田貞吉、原田淑人、尾崎喜佐雄、坂本太郎など論考に加わった研究者の顔ぶれは特筆されるものである。続日本紀には甘菜郡の織茂(おりも)・韓敏(からしな)・矢田(やた)・大家(おおやけ)の4郷、緑野郡の武美(むみ)1郷・片岡郡の山等(やまな)1郷を併せた6郷名が記され、倭名類聚抄には伊因郷を加えた7郷名が記されている。本遺跡周辺にはこれら郷名の名残が今も数多く見られる。折茂(おりも)の地名が南側1.1km周辺に、辛科(からしな)神社が南西側2.3kmに、矢田の地名が南東側2km周辺に、山名(やまな)の地名が東側5.5km周辺にあるなどきわめて密集した状態であり、多胡碑周辺の御門(みかど)の地名をもって郡衙推定地とする検討も古くから行われている。雑木味遺跡(5)は瓦出土地として古くから知られ、2013年度

より行われている多胡碑周辺遺跡(4)の調査で正倉と推定される礎石建物が確認され、炭化米が出土した。現在は多胡郡正倉跡(4)と改称され調査研究が進められている。また、矢田遺跡(47)は多数の出土文字資料から矢田郷内の中核的な集落と比定されている。

本遺跡周辺は現代の地名より通常織茂郷と大家郷に比定される地域の中間点付近にあたる。調査成果からは郷に関する新たな知見は得られなかったが、多胡郡建部の時期には確実に存在していた集落である。

古墳時代後期に見られた大規模な集落は、この時期にさらに拡大し広範囲にわたって確認される。上位段丘(多胡段丘)上の入野遺跡・矢田遺跡、および長根遺跡群として報告された神保段丘上の北高原遺跡(30)・神保境遺跡(31)などの諸遺跡は、ともに住居総数が数百棟規模の大集落である。他にも神保富士塚遺跡・長根羽田倉遺跡など周辺でも集落の調査が続き、群馬県内でも有数の集落が調査された地域である。下位段丘面では鑛川右岸縁は自然堤防状の微高地で古墳時代後期に続き集落がみられ、本遺跡や本郷畑内遺跡西側に隣接する道六神遺跡(11)の他、上河原遺跡(16)・御門遺跡(17)などの集落の広がりが確認されている。しかし、古墳時代後期同様に中位段丘上の集落にくらべ著しく小規模で、現市街地と重複して古代の集落が存在するものと推定する。生産遺跡では鑛川左岸でヌカリ沢A窯址(18)など平安時代初頭を中心とする時期の須臾器窯跡が調査されている。また、本遺跡南西側一帯の下位段丘面は長根条里(M)と呼ばれる条里区画地と推定されているが、明治39年からの耕地整備事業によって条里地割は姿を消し、現在の地形からその痕跡は窺えない。道六神遺跡では条里地割を留めると思われる溝が調査されている。

【中世の城郭】戦国時代の西上州は後北条氏・上杉氏・武田氏の勢力が拮抗する地であった。甘菜の谷は長く小幡氏の支配下であり、後北条氏・武田氏・織田氏などの侵攻による戦乱があった。山城・城柵の多い地域であり、下条遺跡(25)で城跡が調査されている。下位段丘には本遺跡南側に隣接する可能性のある堀川の砦(13)・大沢川を隔てて本遺跡西側の本郷の砦(12)など戦国期の城柵群が推測されているが、実体は明らかではない。

【江戸時代】信州との国境へ向かう中山道は群馬県西部では碓氷川に沿った安中市周辺を横断しているが、鑛川沿

いは中山道脇往還である下仁田街道(N)が通っていた。信州街道・富岡街道などの呼称の他、比較的起伏が少なく参勤交代に用いられなかったことから直民に用いられることが多く、姫街道とも呼ばれた。吉井町は藤岡宿と富岡宿の間にある宿場町であった。

天明3(1783)年の浅間山噴火の際の降下軽石を集めて埋めた痕跡が吉井川下宿遺跡の井戸で見られるが、畑の一面に軽石を寄せた「灰掻き山」と呼ばれる復旧痕が甘楽町の天引向原遺跡で調査されている。

火打金は江戸時代吉井宿の名産品であったが、吉井川

下宿遺跡で工房と推定される一部が調査され、東シメ木遺跡(27)や多胡蛇黒遺跡に出土例がある。

平成26年6月、富岡製糸場が世界文化遺産に登録された。製糸場は本遺跡の西側約8kmの鎌川および鎌川支流の高田川に囲まれた通称富岡盆地にある。明治5年の製糸場開業には交通の便、豊富な水や木材、煉瓦や瓦造りの粘土と窯業技術、施設建設のための平坦地の存在などが求められた。これらの要件を満たし、養蚕地帯であった信濃・上野・武蔵を結ぶ要所としてこの地域が選ばるに至った、歴史的な裏付けが看取できる。

第2表 周辺遺跡一覧表

| No. | 遺跡名 | 縄文 | | 弥生 | | 古墳 | | | 奈・平 | | 中・近世 | 遺跡の概要 その他の遺構・遺物 | 参考文献 | | |
|-----|-----------|----|---|----|---|----|---|---|-----|----|------|--------------------|-----------------------|-------------------------------------|----------|
| | | 前 | 中 | 後 | 中 | 後 | 前 | 中 | 後 | 集落 | | | | 生産 | |
| 1 | 堀川砂井戸遺跡 | | ○ | | | | | | | | | ○ | 本報告の遺跡。(25年度調査は既報告) | 55 | |
| 2 | 本郷堀内遺跡 | | ○ | ● | ○ | ○ | | | | | | ○ | 弥生時代後期から平安時代までの集落。 | 54 | |
| 3 | 多胡碑 | | | | | | | | | | | ※ | 711年多胡郡建部を記す日本三古碑の一つ。 | 4 | |
| 4 | 多胡正倉跡 | | | | | | | | | | | ※ | 正倉と考えられる大型礎石建物。 | 53・63 | |
| 5 | 鍾本味噌跡 | | | | | | | | | | | ※ | 瓦散布地 | 4 | |
| 6 | 川福遺跡 | | | | | ○ | | | | | | | 須恵器工人の集落か。土師多量に出土。 | 9・37 | |
| 7 | 中林遺跡 | | | | | | | | | | | | 8世紀後半～9世紀主体。瓦多量に出土。 | 49 | |
| 8 | 富岡遺跡 | ▲ | ▲ | | | | | | | | | | 9世紀前半頃の集落。 | 15 | |
| 9 | 東吹上遺跡 | | ▲ | ▲ | | ○ | | | | | | | | 3 | |
| 10 | 片山遺跡群 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ▲ | 片山古墳群内。粘土層を持つ円墳より仿製鏡等出土。古墳後期・平安の集落。 | 45 |
| 11 | 道六神遺跡 | | | | | | | | | | | | ※ | 築形跡を留める可能性持つ講。 | 8 |
| 12 | 本郷の砦 | | | | | | | | | | | | ※ | 築城形跡ないが、御門・堀込・的場の地名。 | 2 |
| 13 | 堀川の砦 | | | | | | | | | | | | ▲ | 永禄六年武田信玄攻路か。平野の地名。 | 2 |
| 14 | 竹腰遺跡 | ▲ | | | ▲ | ▲ | | | | | | | | 平安後期主体の大集落の一部か。 | 17 |
| 15 | 釜ヶ淵遺跡 | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 上河原遺跡 | | | | | | | | | | | | | 鎌川右岸縁部で多胡碑の北西に近接。 | 43 |
| 17 | 御門遺跡 | | | | | | | | | | | | ● | 地名より多胡郡宿推定地。 | 28 |
| 18 | ヌカリ沢A窯址 | | | | | | | | | | | | | 8世紀後半から9世紀前半の須恵器窯。 | 27 |
| 19 | 産田谷窯跡 | | | | | | | | | | | | | ヌカリ沢窯と同時期の須恵器窯。 | 27 |
| 20 | 吉井川下宿遺跡 | | | | | ○ | ○ | | | | | ※ | 近世の鍛冶工房と遺跡。 | 52 | |
| 21 | 椿谷戸遺跡 | ○ | ○ | | | | | | | | | | ▲ | | 14・18・41 |
| 22 | 川内遺跡 | | ▲ | | | ○ | | | | | | | ※ | 土壇墓。 | 7・38 |
| 23 | 入野遺跡 | ○ | | | | ○ | ○ | | | | | ※ | ● | 古墳後期滑石製品工房址調査の学史的遺跡。その後周辺で集落調査続行。 | 1・4・10 |
| 24 | 馬場遺跡 | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | ● | 入野遺跡群南側の集落遺跡。 | 29 |
| 25 | 下条遺跡 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | ※ | 多胡古墳群内。中世館。 | 44 |
| 26 | 多胡松原遺跡 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | 古墳後期～平安集落。 | 48 |
| 27 | 東シメ木遺跡 | | | | | | ○ | | | | | | ※ | 多胡古墳群中の円墳6基。玉類他遺物豊富。 | 48 |
| 28 | 多胡葉師塚古墳 | | | | | | ○ | | | | | | | | 4 |
| 29 | 南高原遺跡 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | 46・47 |
| 30 | 北高原遺跡 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 古墳後期～平安大集落。 | 30 |
| 31 | 神保境遺跡 | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | 古墳後期～平安大集落。 | 30 |
| 32 | 折茂東遺跡 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | 11 |
| 33 | 惣行寺裏古墳 | | | | | | | | ○ | | | | | | 4 |
| 34 | 西馬場 長根宿遺跡 | ▲ | ▲ | | | ○ | ○ | | | | | | | 広範な集落の一隅か。石帯(堀方)出土。 | 40・46・51 |
| 35 | 上の場遺跡 | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | 34・40 |
| 36 | 羽田倉遺跡 | | | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | 日遺跡で8世紀時代遺跡確認。 | 40・50 |
| 37 | 長根羽田倉遺跡 | ▲ | ▲ | ▲ | | ○ | ○ | | | | ※ | ○ | 滑石模造品・石製紡輪の工房含む集落。 | 20 | |

第2章 遺跡の立地と歴史的環境

| No. | 遺跡名 | 縄文 | | | 弥生 | | | 古墳 | | | 奈・平 | | 中・近世 | 遺跡の概要 その他の遺構・遺物 | 参考文献 |
|-----|----------|----|---|---|----|---|---|----|---|----|-----|----|------|------------------------------------|-------|
| | | 前 | 中 | 後 | 前 | 中 | 後 | 集落 | 墓 | 周墳 | 生産 | 生産 | | | |
| 38 | 折茂田遺跡 | ○ | | | | | ○ | | | | | | | 古墳後期～平安集落。陶土器豊富。 | 50 |
| 39 | 富士塚遺跡 | | | | | | | | | | ○ | | | | 40 |
| 40 | 宮西遺跡 | | | | | | ○ | | | | | | | 古墳時代後期から11世紀まで続く集落。 | 40 |
| 41 | 神保富士塚遺跡 | ● | ● | ● | ○ | ○ | | | | | | | | 古墳後期～平安大集落 弥生中期土坑葬。 | 24 |
| 42 | 神保植松遺跡 | ● | ● | ● | ○ | ○ | | | | | ○ | | | 弥生中期・縄文前期資料豊富。中世城郭。 | 32 |
| 43 | 神保下塚遺跡 | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 豊富な埴輪。As-A下の水田・畑。 | 21 |
| 44 | 多胡蛇黒遺跡 | ● | ● | ● | ○ | ○ | | | | | | | | 古墳後期～平安大集落。 | 25 |
| 45 | 柳田遺跡 | | | | | | ○ | | | | | | | 矢田遺跡の南側に繋がる集落か。 | 16 |
| 46 | 多比良笠掛遺跡 | ▲ | ○ | | | | | | | | ○ | | | 1棟だけ離れた10世紀の住居。 | 39 |
| 47 | 矢田遺跡 | ▲ | ▲ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | ○ | 古代多胡郡矢田郷中心地に比定される大集落。「八田」刻書石製石輪出土。 | 19・36 |
| 48 | 多比良根吉山遺跡 | | | | | | | | | | ○ | | | As-B下の水田。 | 35 |
| 49 | 多比良辺野遺跡 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ※ | | 旧石器。埴輪等弥生に関わる遺物。 | 33 |
| 50 | 東沢遺跡 | | | | | | ○ | | | | | | | | 11 |
| 51 | 多比良遺跡 | | ▲ | | | | ○ | | | | | | | | 22 |
| 52 | 黒根中西遺跡 | | | | | | ○ | | | | ○ | ※ | | 平安時代の寺院跡、鍛冶遺構など。 | 23 |
| 53 | 岩崎馬場遺跡 | | | | | | | | ○ | | | | | 西側の岩崎06号墳の周囲の一部の可能性が高い。 | 57 |
| 54 | 池字岡田内 | | ● | | | | | | | | | | | 縄文時代中期埋設土器。平安時代住居跡。 | 58 |
| 55 | 石神字千歩地内 | | | | | | ○ | | | | | | | 古墳時代中・後期の埴穴住居 | 59 |
| 56 | 吉井城東遺跡 | | | | | | | | | | ○ | | | 溝 | 60 |
| 57 | 矢田・天王原遺跡 | | | | | | ○ | | | | | | | 古墳時代後期の埴穴住居 | 61 |

縄文・弥生の項で●は埴穴住居の確認はないが、土坑等の確認や多量の遺物出土のあるものを表す。○は大規模な遺構の確認があったことを示し、集落であれば埴穴住居ではおおよそ30軒以上の調査である。※は備考欄に説明を加えている。▲はその他若干の直跡が見られたことを表す。参考文献はP.28に記した。

第3表 周辺の古墳群一覧表

| No. | 古墳群・遺跡名 | 備考 | 参考文献 |
|-----|---------|--|-------|
| A | 片山古墳群 | 鵜川右岸、粘土礫を有する中期古墳を調査し、小型仿製内行花文鏡・鉄剣・鉄弁・石製模造品等豊富な遺物出土。他に後期横穴式石室の埴輪調査。 | 10・45 |
| B | 本郷古墳群 | 鵜川右岸で本遺跡西側に隣接する本郷畑内遺跡の北側。21基の後期古墳群。 | 4 |
| C | 北原古墳群 | 本遺跡北側の大沢川右岸で、鵜川に合流する地点付近の4基が確認されている小規模な古墳群。前方後円墳を含む可能性があるが不明瞭。堀川古墳群とも呼ばれる。 | 4 |
| D | 下池古墳群 | 鵜川右岸、多胡峠上流側に隣接。 | 4 |
| E | 高本古墳群 | 鵜川右岸、多胡峠下流側に隣接。6基現存。 | 4 |
| F | 塚原古墳群 | 矢田川右岸で付近には少ない前方後円墳を含む後期古墳群。蛇田古墳の調査。 | 4・13 |
| G | 石神古墳群 | 土合川左岸の小規模な後期古墳群。 | 4 |
| H | 神保古墳群 | 大沢川右岸で対岸の多胡古墳群に次ぐ63基の後期古墳群。 | 4 |
| I | 多胡古墳群 | 大沢川右岸のこの地域最大規模の91基以上の後期古墳群。 | 4 |
| J | 堀Ⅱ古墳群 | 12基の後期古墳群。 | 4 |
| K | 堀Ⅰ古墳群 | 10基の後期古墳群。堀Ⅱ古墳群と共に堀古墳群と呼ばれる。 | 4 |
| L | 山ノ神古墳群 | 7基の後期古墳群。 | 4 |
| M | 長根条里 | 片山・長根段丘上に広がる条里跡で道六神遺跡の一部を調査。明治期の区画整理事業のため範囲が明確ではなく、古地図などから存在が推定されている。 | 11 |
| N | 下仁田街道 | 中山道の脇往還。旧吉井町域では国道254号線とほぼ重複する。 | 5 |

第三章 塩川砂井戸遺跡の遺構と遺物

1. 調査区の概要

塩川砂井戸遺跡は、平成25年度に第1次調査として1区から5区を発掘調査した。調査成果として平成27年3月に発掘調査報告書を刊行している。今回の平成27年、28年度調査は、それに続けて東側の調査区を6区から11区に分けて実施した(第2図)。発掘区は調査年度および保全が必要な現道等によって分けられたもので、小規模で入り組んだ調査区となった。そこで調査では、28年度調査区に「-2」を付し、遺構番号は27年度調査からの通し番号を付した。

各調査区から検出された遺構は、竪穴建物、竪穴状遺構、掘立柱建物、柱穴列、井戸、溝、鍛冶関連遺構、土坑、ピット、畑、復旧痕である。各区の遺構数は第4表に示した通りである。今回の発掘調査によって、本地域の古墳時代後期から古代にかけての集落の一部を調査することができた。特に8世紀における竪穴建物群の分布の変化をとらえることができた。これは多胡郡衙から西250mにある本遺跡が、建部への地域の動きを直接的にみせている可能性がある。一方、出土遺物のなかには明らかに中世・近世の遺物があり中世以降の遺構の存在は明らかであるが、調査では遺構として明確に判明しなかった。特に10-2区で検出された多数のピットの中には、当該期の建物の柱穴も存在すると思われる。

以下、区ごとに調査区の様相をまとめておく。

6区・6-2区ではV層上面で古墳時代6世紀後半の竪穴建物7棟が分布しており、そのうち3棟は古墳時代中葉の大型竪穴で集落の中核をなしていたと推定される。その大型竪穴建物群を二分するような位置にある17号溝は、大型竪穴建物と同時期の直線の溝であり、集落

域を区分する溝と考えられる。その後の遺構としては7世紀1棟、9世紀2棟、10世紀1棟の竪穴建物が出された。6区中央部にはやや大型の土坑が直線的に並ぶ地点があり、21号溝等とともに地割等を示す遺構であろう。また、壁に沿い粘土を巻き込む特殊な構造の土坑が検出された。内側には桶の籬と判断される痕跡が残っており、桶が据えられた遺構である。江戸時代後期から末期ころの土坑と推定される。この土坑は6-2区で2基、7-2区で3基検出された。また近世土坑・溝から羽口破片や鉄滓が数点出土した。周辺には「鍛冶町」の小字名が残っており、吉井名産の「火打金」生産に関連するものと推定される。

7区・7-2区は西西部に削平を免れて浅間A軽石層が残っており、II層上面とV層上面の2面調査となった。上層のII層上面では全体に攪乱部分が多かったが、浅間A軽石を埋め込んだ復旧坑が9基散在しており、北端には軽石を埋めた状態の溝が残されていた。下位のV層上面では、古墳時代から古代にかけての竪穴建物が20棟検出された。このうち16棟は6世紀後半から7世紀で、古代の竪穴は9世紀4棟とごく少なかった。7-2区西端で中世と推定される鍛冶遺構に伴う廃棄土坑1基が検出された。

8-2区は平成28年度調査のみであった。V層上面で、竪穴建物11棟が検出された。そのうち8棟が6世紀後半、1棟が7世紀の古墳時代で、1棟は羽釜を出土する10世紀以降の竪穴建物であった。

9区・9-2区では14棟の竪穴建物が出されているが、そのうち7棟が6世紀後半、4棟が7世紀の古墳時代の竪穴建物であった。その後の遺構としては8世紀1棟、9世紀1棟の竪穴建物が出された。一辺3.5~4.0

第4表 調査区別遺構数一覧表

| | 竪穴建物 | 竪穴状遺構 | 掘立柱建物 | 柱穴列 | 井戸 | 溝 | 鍛冶関連遺構 | 土坑 | ピット | 畑 | 復旧痕 |
|-----------|------|-------|-------|-----|----|---|--------|-----|-----|---|-----|
| 6区・6-2区 | 13 | 1 | | | | 1 | 2 | 59 | 38 | | |
| 7区・7-2区 | 20 | | | | | | 1 | 24 | 9 | | 10 |
| 8-2区 | 11 | | | | | | | 8 | 42 | | |
| 9区 | 14 | | | | | | | 15 | 45 | | |
| 10区・10-2区 | 36 | | 1 | 1 | 6 | 4 | | 112 | 745 | 1 | |
| 11区 | 5 | 1 | | | | | | 9 | 6 | | |
| 合計 | 99 | 2 | 1 | 1 | 7 | 6 | 1 | 227 | 885 | 1 | 10 |

mの小型竪穴が多く、西半部の遺構重複が著しかった。

10区・10-2区は竪穴建物36棟が検出された。古墳時代の竪穴建物は12棟で、6世紀後半が4棟、7世紀が8棟であった。特筆されるのは、8世紀の竪穴が17棟検出されたことで、以降9世紀1棟、10世紀が1棟、不明が5棟であった。特に古墳時代の竪穴は10区に偏在しており、10-2区には検出されなかった。古墳時代の竪穴建物の分布は6区・7区を中心に10区まで散在していたが、8世紀になって一気に10区・10-2区に集中する様相が判明した。10-2区の北東側200mには瓦出土地として古くから知られ、近年は仏教関連施設の可能性が示唆されている雉木味遺跡がある。10-2区の10世紀後半の竪穴建物からは多胡郡正倉跡や雉木味遺跡等で使用されていた瓦と同型式の瓦破片が出土している。本遺跡の8世紀における竪穴建物分布の変化は、周辺の多胡郡関連遺跡との関連のなかで検討することが必要であろう。

また、10-2区では土坑・ピットが多数検出された。調査時には掘立柱建物1棟、柱穴1基を確認した。これらの遺構の時期は不明であるが、多数のピット群を柱穴とする建物がさらに存在した可能性は高いと思われる。出土遺物から中世とみられる井戸や、江戸時代の土坑や埋桶等も確認されており、中世および近世の居宅等があった可能性がある。また、10-2区では天明3年に降下した浅間A軽石に埋もれた溝群を検出したが、畝間溝と推定される。

11区は5棟の竪穴建物が検出された。時期は7世紀が3棟、8世紀が2棟である。土坑・ピットも検出したが、西側に隣接する10-2区に比べ遺構の分布は少なかった。11区中央部に境に東側の遺構分布は希薄になっていることが判明した。

2. 竪穴建物

竪穴建物は99棟が検出された。調査区別、時期別の棟数は第5表の通りである。本報告書では竪穴建物出土土器の詳細な分類・編年作業をおこなっていないが、出土土器から竪穴建物の時期を推定し記載した。おおむね6世紀後半・7世紀・8世紀・9世紀・10世紀の竪穴建物が確認できた。出土遺物の特徴から細別時期を記載できる場合には、それも記載した。出土遺物がなく時期が不明な場合は不明とした。

99棟の竪穴建物のうち全形が判明したのは65棟の竪穴建物である。このうち竪が敷設されていないことが判明したのは、6世紀後半の竪穴建物で1棟、8世紀の竪穴建物で1棟、時期不明の竪穴建物で5棟のみであった。この他に全掘できなかった竪穴もあり確定できないが、竪が敷設された多くの竪穴建物は「住居」と考えられる。上記7棟の竪が敷設されていない竪穴は集落内の別の用途を考える必要があるが、調査では確定できなかった。

竪穴建物には一辺7mから2mまで規模に違いがあるが、6m以上の大型は3棟検出されており、6世紀後半の6区に集中していた。2m以下の2棟は小型であり、1棟は竪がなく、もう1棟は竪はあるが不定形な竪穴であった。一辺が2mから5mの竪穴の規模分布は漸移的に変化する。視覚的には3.5m前後で規模の分類が可能と考えられたが、数値的な分類は困難であった。竪穴の規模は集落の時期や集落内構成に関わると想定され、別途、詳細な分析が必要となろう。

竪穴建物の竪は北壁あるいは東壁に敷設されている例が多かった。竪には両袖の先端に棒状礎を据え、焚口部の天井構築材として使用されたと推定される大型板状礎を竪周辺に残している竪穴建物が、6世紀後半で11棟、7世紀で4棟あり、本地域での特徴的な竪構築法と推定される。

第5表 調査区別・時期別竪穴建物数一覧表

| | 全体 | 6世紀後半 | 7世紀 | 8世紀 | 9世紀 | 10世紀 | 不明 |
|-----------|----|-------|-----|-----|-----|------|----|
| 6区・6-2区 | 13 | 7 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 |
| 7区・7-2区 | 20 | 10 | 7 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 8-2区 | 11 | 8 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 9区 | 14 | 7 | 4 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 10区・10-2区 | 36 | 4 | 8 | 17 | 1 | 1 | 5 |
| 11区 | 5 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 99 | 36 | 24 | 20 | 6 | 3 | 10 |

6区47号竪穴建物

(第6図 PL. 5・61 遺物観察表P.249)

グリッド 063~067・-303~308

重複 66号、73号、80号、101号土坑より古い。

形状 ほぼ正方形

規模 長軸3.98m 短軸3.78m 残存壁高0.10m

面積 13.23㎡ 長軸方位 N-76°-E

埋没土 少量の地山礫と焼土粒を含み、黄褐色土粒が塊状に混入する暗褐色土で埋まっていた。

竈 東壁ほぼ中央に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.87m、屋外長0.48m、燃燒部長0.70m、焚口幅0.42mで、粘土貼り付けの袖構造下部が左0.37m、右0.42mの長さで屋内に張り出し残存していた。竈内壁面

はほとんど焼けていなかった。

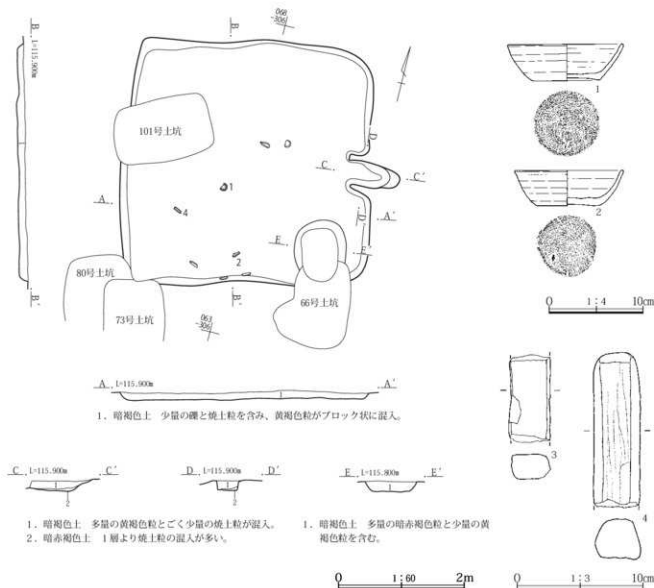
柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 南東隅に、長軸推定0.97m、短軸0.83m、深さ0.15mの貯蔵穴が掘られていた。出土遺物はなかった。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 口縁部が一部欠損した須恵器杯(第6図1)が中央部床面直上で、2/3ほどの須恵器杯破片(同図2)が南東寄り床面直上で出土した。また、棒状礫が南東部を中心に床面近くで散在していた。(同図4)は緑色片岩製の棒状礫で角柱状に成形されていた。埋没土中から出土した牛伏砂岩製の棒状礫(同図3)も角柱状に成



第6図 6区47号竪穴建物と出土遺物

形されており、砥石として使用された可能性もある。この他、土師器破片69点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から9世紀の竪穴建物と考えられる。

6区48号竪穴建物

(第7図 PL.5 遺物観察表P.249)

重複 なし。

グリッド 057~060・-315~-320

形状 西壁がやや外側に膨らむ長方形

規模 長軸4.13m 短軸3.14m 残存壁高0.27m

面積 10.72㎡ **長軸方位** N-90°-E

埋没土 黄褐色土粒と礫を含み、極少量焼土粒を含む暗褐色土で埋まっていた。西側には多量の黄褐色土粒を含む暗黄褐色土が堆積していた。

竈 東壁ほぼ中央に竈が敷設されていた。残存する竈の

規模は確認長0.98m、屋外長0.61m、燃焼部長0.60m、焚口幅0.74mで、粘土貼り付けの袖溝造下部が左0.44m、右0.32mの長さで屋内に張り出し残存していた。竈内壁面はほとんど焼けていなかった。

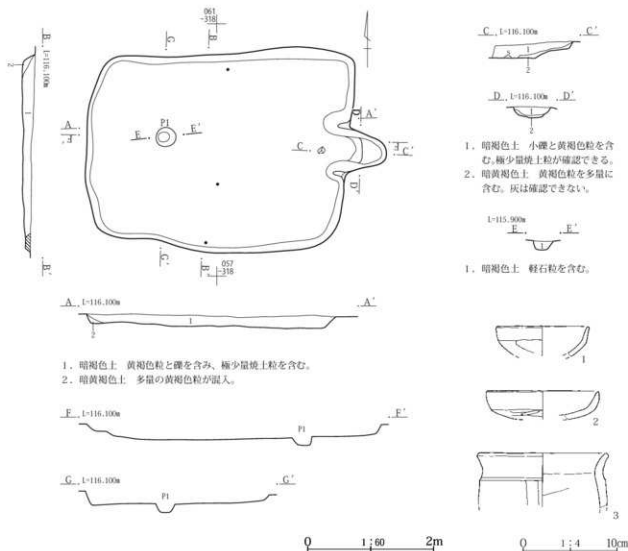
柱穴 床面の精査では主柱穴は確認できなかった。住居西半部ほぼ中央で、長径0.32m、短径0.3m、深さ0.14mのP1を検出したが、柱穴かどうかは判断できなかった。

壁隙溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 竈埋没土中から土師器杯口縁部破片(第7図1)、土師器小型甕口縁部破片(同図3)が、住居埋没土中から土師器杯口縁部破片(同図2)が出土した。



第7図 6区48号竪穴建物と出土遺物

この他、埋没土中から土師器破片26点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

6区49号竪穴建物

(第8図 PL.5 遺物観察表P.249)

グリッド 051~054・-327~330

重複 343号、344号ピットより古い。

形状 南東部が調査区域外となることから全形は判明しなかったが、東壁がやや短くなる台形と推定される。

規模 長軸(2.77m) 短軸2.7m 残存壁高0.29m

面積 計測不能 **長軸方位** N-19°-E

埋没土 少量の炭化物・焼土粒を含み、黄褐色土粒の混入が他の竪穴より多い暗褐色土で埋まっていた。

竈 西壁中央よりやや北側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.31m、屋外長0.18m、燃焼部長0.31m、焚口幅0.63mで、軸はほとんど残存していなかつ

た。焚口部床面直上で、竈構築材の一部と推定される長さ40cm、幅18cm、厚さ8cmの大型板状礫が出土した。

竈内に立っている棒状礫2個はその出土位置から竈支脚の可能性がある。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

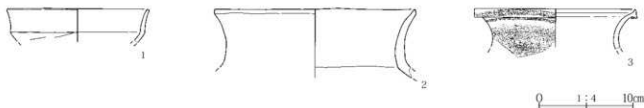
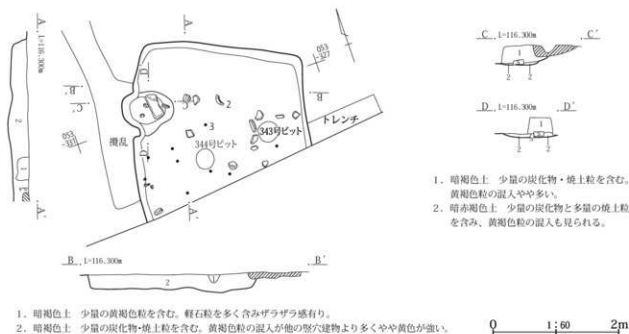
壁隙溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 埋没土上層には掌大の礫が混入しており、遺物も同層位から出土したのことが多いが、土師器甕(第8図2)は中央部床面直上で出土した。須恵器甕口縁部破片(同図3)は中央部床面直上19cm、土師器杯口縁部破片(同図1)は埋没土中から出土した。この他、埋没土中から土師器破片72点、須恵器破片2点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第8図 6区49号竪穴建物と出土遺物

6区50号竪穴建物

(第9・10図 PL.5・6・61 遺物観察表P.249)

グリッド 055~062・-323~331

重複 4号井戸、100号土坑より古い。

形状 南東壁がやや短くなる台形である。

規模 長軸6.52m 短軸5.70~6.10m 残存壁高0.31m

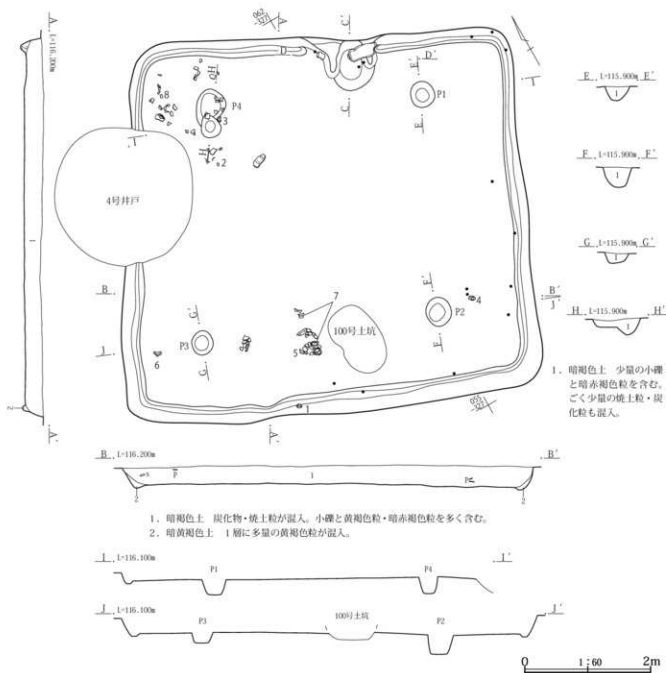
面積 31.14㎡ 長軸方位 N-60°-W

埋没土 炭化物粒・焼土粒が混入し、小礫と黄褐色土粒・暗赤褐色土粒を多く含む暗褐色土で埋まっていた。壁際溝部は多量の黄褐色土粒が混入する暗黄褐色土で埋まっ

ていた。

竈 北東壁中央よりやや東側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.52m、屋外長0m、燃焼部長0.52m、焚口幅0.62mで、粘土貼り付けの袖溝造下部が左0.67m、右0.54mの長さで屋内に張り出し残存していた。燃焼部中央やや奥側には長さ27cmの棒状礫を立てて半分ほど埋め込んだ支脚が設置されていた。また、燃焼面上20cmの位置に、長さ48cm、幅22cm、厚さ7cmの大型板状礫が右袖残存部にかかるようにして残されていた。

柱穴 床面で支柱穴4本が検出された。4本を結んだ線



第9図 6区50号竪穴建物

は正方形でなく、住居の平面形に準じて台形である。これは①壁際溝上端から柱穴中心までの距離がほぼ1mで一定であること、②北東部P1のみ北東壁壁際溝上端からの距離が0.75mで短いことに起因していると推定される。したがって主柱穴の柱通りは直交しないことになる。

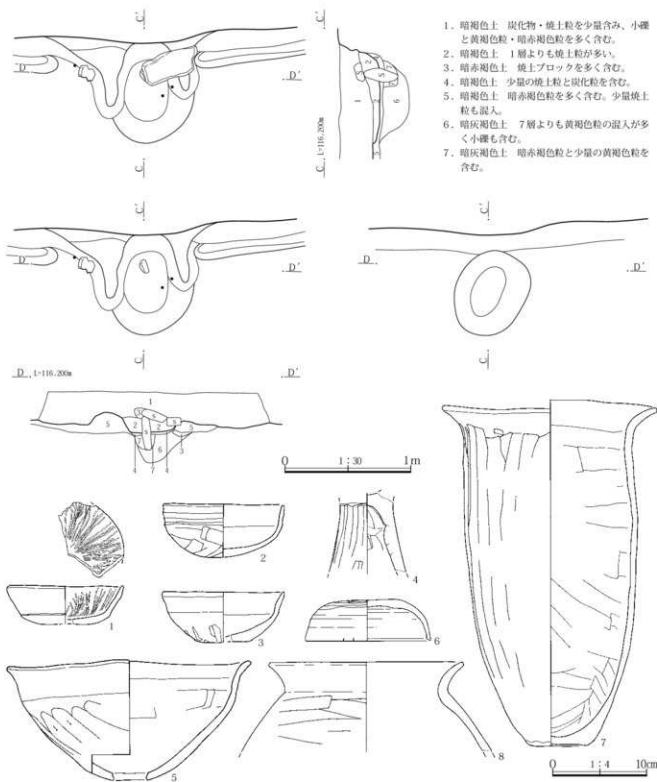
主柱穴の規模は下記の通りである。

P 1 長径0.42m 短径0.39m 深さ0.24m

P 2 長径0.47m 短径0.40m 深さ0.21m

P 3 長径0.39m 短径0.34m 深さ0.27m

P 4 長径0.37m 短径0.31m 深さ0.27m



第10図 6区50号竪穴建物遺と出土遺物

柱間の距離はP 1・P 2間が3.46m、P 2・P 3間が3.77m、P 3・P 4間が3.46m、P 4・P 1間が3.40mである。P 4の北東脇には抜き取り痕と思われる深さ0.13mの掘り込みが残っていた。

壁際溝 幅10~12cm、深さ2~8cmの壁際溝が全周していた。南西壁中央の壁際溝上層で土師器杯(第10図1)が出土した。

貯蔵穴 検出されなかった。

掘り方 全体の掘り方地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。竈部分のみ掘り方を調査したところ、長径1.40m、短径1.11m、周囲の掘り方面からの深さ0.14mの楕円形の土坑状に掘られていた。

遺物と出土状況 須恵器蓋(第10図6)が南西隅床面直上で、南西壁沿い中央部の床面直上で土師器有孔鉢(同図5)や土師器甕(同図7)の破片がまとめて出土した。土師器高杯(同図4)は南東部床面上8cmで出土した。土

師器杯(第10図3)は北部P 4の抜き取り穴周辺の床面直上で出土した。土師器杯(同図2)はP 4南脇の床面上6.6cmで出土した。北隅の遺物出土状態は埋没途中における投棄を示しており、土師器甕(同図8)は床面上23.5cmで出土した。その他、埋没土中から土師器破片480点、須恵器破片2点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

6区51号竪穴建物

(第11図 PL. 6・61 遺物観察表P. 249)

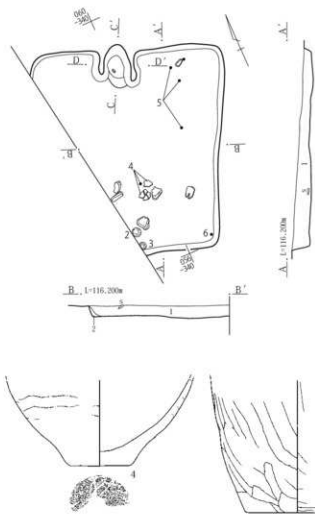
グリッド 056~059・-338~-341

重複 なし。

形状 南西部が調査区域外となることから全形は判明しなかったが、ほぼ正方形と推定される。

規模 長軸3.22m 短軸3.09m 残存壁高0.28m

面積 計測不能 **長軸方位** N-22°-E

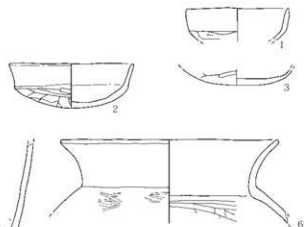


1. 暗褐色土 少量の黄褐色粒と小礫を含む。粘性弱く締まりなし。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色粒を含む。



1. 暗褐色土 濃と少量の焼土粒を含む。
2. 暗黄褐色土 1層より焼土粒がやや多く黄褐色粒も多く含む。

0 1:60 2m



0 1:4 10cm

第11図 6区51号竪穴建物と出土遺物

埋没土 少量の黄褐色土粒と小礫を含む暗褐色土で埋まっていた。壁際部分には多量の黄褐色土粒を含んでいた。

竈 北東壁中央よりやや北側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.64m、屋外長0.07m、燃烧部長0.64m、焚口幅0.51mで、粘土貼り付けの袖構造下部が左0.51m、右0.61mの長さで屋内に張り出し残存していた。燃烧部中央やや左側には棒状礫が直立して出土したが、支脚かどうか判然としなかった。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 全体として遺物は床面から浮いた状態で出土した。中央やや南寄り出土した土師器鉢(第11図4)は床面直上、南壁寄り出土した土師器杯(同図2)は床面直上で出土した。土師器杯(同図3)は南壁際床面上4.4cm、土師器甕口縁部破片(同図6)は南隅床面上9.6cmで出土した。南東隅で散在していた土師器甕(同図5)は床面直上の破片と6~8cm浮いた遺物が接合したが、埋没途中の投棄によるものと推定される。土師器杯

口縁部破片(第11図1)は埋没土中から出土した。その他、埋没土中から土師器破片21点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

6区52号竪穴建物

(第12図 PL. 6 遺物観察表P.250)

グリッド 067~070・-336~-341

重複 なし。

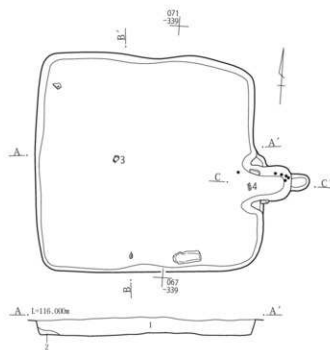
形状 ほぼ正方形

規模 長軸3.60m 短軸3.48m 残存壁高0.23m

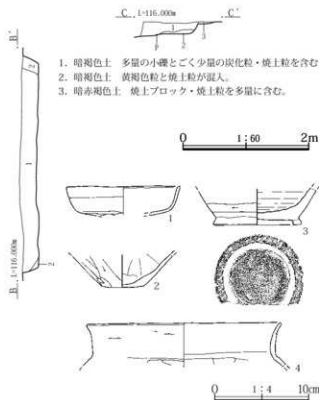
面積 10.52㎡ **長軸方位** N-86°-E

埋没土 多量の小礫を含み、極少量の炭化物粒・焼土粒を混入する暗褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央よりやや南側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.08m、屋外長0.81m、燃烧部長0.79m、焚口幅0.66mで、燃烧部の外側に深さ0.03mではあるが煙道が残存していた。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左0.22m、右0.32mの長さで張り出し残存していたが、右袖の残存は極めて低くなっていた。竈袖構築時に芯としたと推定される棒状礫が左右ともに残置されていた。焚口部燃烧面直上で土師器甕口縁部破片(第12



1. 暗褐色土 多量の小礫を含む。ごく少量の炭化物粒・焼土粒が混入。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色土粒を含む。



1. 暗褐色土 多量の小礫とごく少量の炭化物粒・焼土粒を含む。
2. 暗褐色土 黄褐色土粒と焼土粒が混入。
3. 暗赤褐色土 焼土ブロック・焼土粒を多量に含む。

第12図 6区52号竪穴建物と出土遺物

図4)が出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 中央部床面直上で須恵器壺か(第12図3)が出土した。土師器杯(同図1)、土師器甕(同図2)が埋没土中から出土した。また、南壁際床面上12cmで大型板状礫(長さ44cm、幅18cm、厚さ15cm)が残されていた。この他、埋没土中から土師器破片99点、須恵器破片2点が出土した。

所見 出土遺物から9世紀の竪穴建物と考えられる。南壁際で出土した大型板状礫は他の竪穴建物の出土例から竈構築材の一部と推定される。

6区53号竪穴建物

(第13図 PL. 6・61 遺物観察表P.250)

グリッド 051~057・-348~352

重複 337号、338号、339号、342号ピットより古い。

形状 南北に長い長方形

規模 長軸4.70m 短軸3.13m 残存壁高0.12m

面積 計測不能 **長軸方位** N-11°-W

埋没土 少量の焼土粒・炭化物粒を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 不明

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

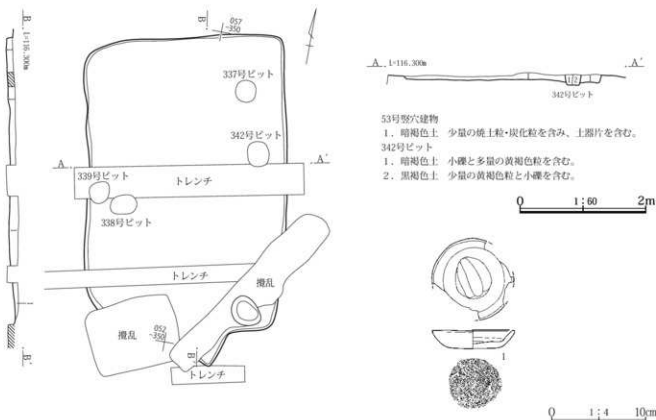
壁際溝 なし。

貯蔵穴 南東隅に、長径0.52m、短径0.41m、深さ0.34mの楕円形の掘り込みが検出された。貯蔵穴との確定はできないが、埋没土の類似性から本建物に伴うと判断した。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 埋没土中から完形に近い須恵器杯(第13図1)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片8点が出土した。

所見 出土遺物から10世紀後半以降の竪穴建物と考えられるが、出土遺物が少なく確定はできなかった。竈は検出できなかったが、東壁南端部の掘乱部分にあった可能性は否定できない。本建物の用途も明確にできなかった。



第13図 6区53号竪穴建物と出土遺物

6区61号竪穴建物

(第14図 PL.61 遺物観察表P.250)

グリッド 080~084・-336~342

重複 なし。

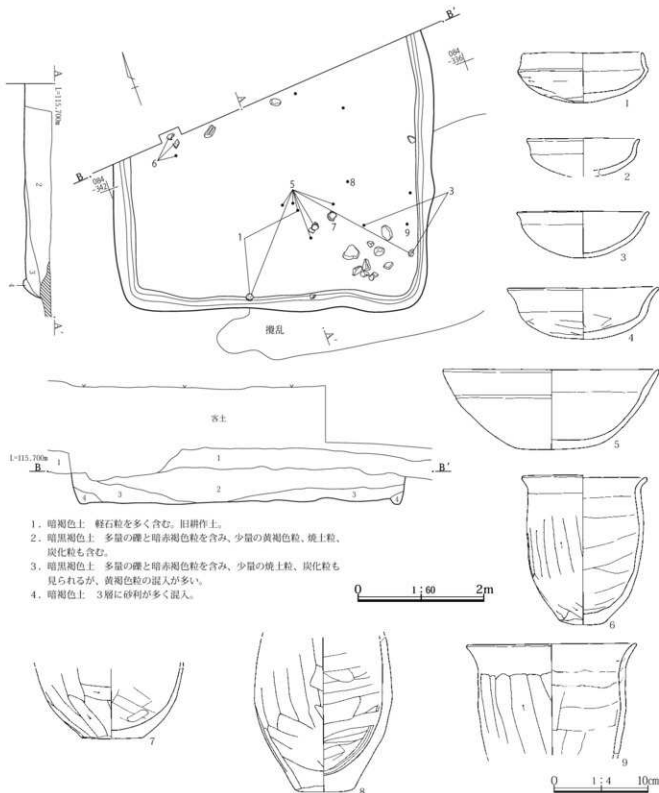
形状 北西部が調査区域外となることから全形は判明し

なかつた。東壁北端がやや西へ回り込む様子があることから、長方形になる可能性がやや高い。

規模 東西軸5.05m 南北軸(3.44)m 残存壁高0.41m

面積 計測不能 長軸方位 N-19°-E

埋没土 多量の礫と暗赤褐色土粒を含み、黄褐色土粒、



第14図 6区61号竪穴建物と出土遺物

焼土粒、炭化物粒を混入する暗黒褐色土で埋まっている。

竈 調査区域内では検出されなかった。出土遺物の時期からすると北壁に敷設されていた可能性が高い。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 幅12～20cm、深さ5～8cmの壁際溝が調査できた範囲では全周していた。

貯蔵穴 調査区域内では検出されなかった。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 南半部特に南東部に多く遺物が出土した。土師器杯(第14図3)は南東隅床面上4.5cmで、土師器鉢(同図5)は南東隅床面直上で散在していた破片が接合した。土師器杯(同図1)は南壁ほぼ中央の壁際溝内側の底面上12.7cmで出土した。土師器小型甕(同図6)は北西壁寄りの床面直上で散在していた破片が接合した。土師器甕(同図8)は中央やや東寄りの床面上11.7cmで、土師器裏底破片(同図7)が南東部床面直上で、土師器甕(同図9)が南東部壁際床面上7.2cmで出土した。土師器杯(同図2)、土師器杯(同図4)は埋没土中から出土した。この他、埋没土中から土師器破片119点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

6区62号竪穴建物

(第15・16図 PL.7・62 遺物観察表P.250・251)

グリッド 072～080・-306～-314

形状 南東部および南東隅を後世の攪乱で壊されているために全形は判明しなかったが、東西にやや長い長方形と推定される。P3の東壁までの距離が、P2と西壁の距離に比して短いことから、北東隅がやや掘り足りなかった可能性もある。

重複 119号土坑より古い。

規模 長軸7.52m 短軸6.90m 残存壁高0.35m

面積 計測不能 **長軸方位** N-77°-W

埋没土 小礫と暗赤褐色土粒を多量に含み、少量の黄褐色土粒・焼土粒・炭化物粒・黄褐色土粒を含む暗褐色土で埋まっていた。壁際には多量の黄褐色土粒を混入していた。

竈 北壁中央よりやや東側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長2.21m、屋外長1.37m、燃焼部長0.73

m、焚口幅0.62mで、燃焼部の外側に深さ0.06mではあるが煙道が1.38m残存していた。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左0.83m、右0.82mの長さで張り出し残存していた。袖内には竈袖構築時に芯としたと推定される棒状礫が左右ともに残されていた。左袖手前の床面直上には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ67cm、幅22cm、厚さ9cm)が残されていた。竈右袖脇には、ほぼ完形の土師器甕(第16図11)と土師器甕(同図13)が立てかけるような状況で出土した。

柱穴 攪乱で壊された南東隅を除いて、3本の主柱穴が検出された。主柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.56m 短径0.48m 深さ0.66m

P2 長径0.53m 短径0.44m 深さ0.56m

P3 長径0.60m 短径0.51m 深さ0.50m

柱間の距離はP1・P2間が4.44m、P2・P3間が4.52mである。

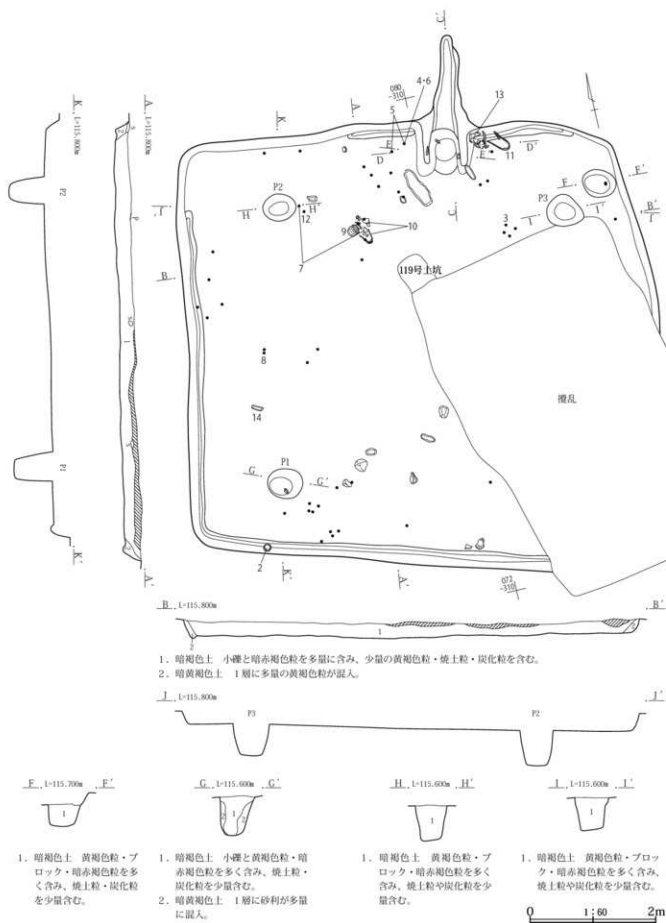
壁際溝 北壁の竈両側と西壁から南壁にかけてに、幅7～28cm、深さ2～6cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 北東隅に長径0.54m、短径0.44m、深さ0.37mの楕円形の掘り込みが検出された。住居の規模からすれば小型であるので、貯蔵穴との判断はできなかった。

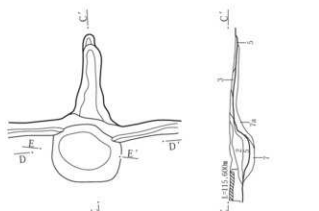
掘り方 竪穴全体の掘り方調査は、地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。竈部分のみ掘り方を調査したところ、長軸1.10m、短軸0.92m、周囲の掘り方からの深さ0.12～0.20mの隅丸長方形の土坑状に掘られていた。

遺物と出土状況 土師器杯(第16図4)、土師器杯(同図5)、土師器杯(同図6)は竈左脇の床面直上で出土した。土師器杯(同図7)はP2東側床面直上の破片と竈左前出土の破片が接合した。土師器甕(同図12)はP2東側床面上9.7cmで出土した。土師器小型甕(同図9)、土師器甕(同図10)は竈前床面上2.3cm、3.9cmで出土した。土師器杯(同図3)はP3西部の床面上2.6cmで出土した。土師器杯(同図2)は南西部壁際で、土師器鉢(同図8)は西部床面直上で出土した。また西部床面直上で緑色片岩の棒状礫(同図14)が1点出土した。埋没土中から土師器手捏ね(同図1)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片364点が出土した。

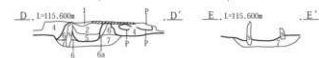
所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



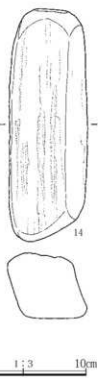
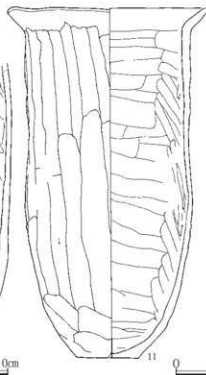
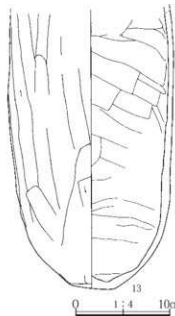
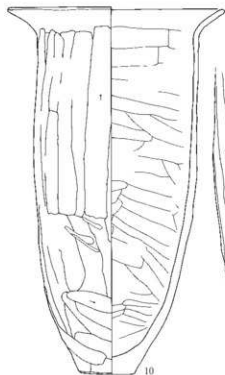
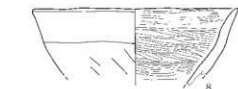
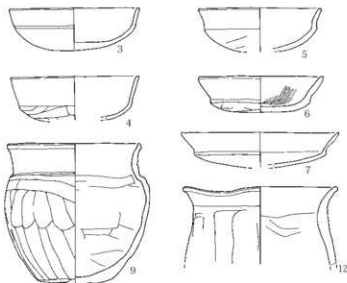
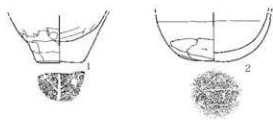
第15図 6区62号竪穴建物



1. 暗褐色土 小礫と黄褐色粒・焼土粒・炭化粒を含む。
2. 暗赤褐色土 小礫と黄褐色粒を少量含み、多量の焼土粒・ブロックが見られる。
3. 暗赤褐色土 焼土粒・焼土ブロックを含み、小礫と黄褐色粒・暗赤褐色粒も含む。7a層よりも黄褐色粒の量が多い。
4. 暗褐色土 小礫と暗赤褐色粒を多量に含み、少量の黄褐色粒と焼土粒を含む。
5. 暗赤褐色土 多量の焼土粒・焼土ブロックを含む。
6. 暗黄褐色土 多量の黄褐色粒と少量の小礫と焼土粒を含む(袖)。
- 6a. 暗赤褐色土 6層が焼けた焼土層(袖)。
7. 暗赤褐色土 焼土粒・ブロックと多量の暗赤褐色粒を含み、黄褐色粒も含む。
- 7a. 暗赤褐色土 7層よりも黄褐色粒の量が多い。



0 1:60 2m



第16図 6区62号竪穴建物遺と出土遺物

6区63号竪穴建物

(第17図 PL. 7・61 遺物観察表P.251)

グリッド 082~086・-308~313

重複 122号土坑より古い。

形状 東西方向が長い長方形

規模 長軸4.79m 短軸3.37m 残存壁高0.28m

面積 13.66㎡ 長軸方位 N-87°-W

埋没土 礫や焼土粒・炭化物粒黄褐色土粒を含む暗褐色土で埋まっていた。壁際には黄褐色土塊の混入が多い。

竈 東壁中央よりやや北側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.61m、屋外長0.04m、燃焼部長0.61m、焚口幅0.59mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左0.53m、右0.60mの長さで張り出し残存していた。竈右袖脇には、土師器甕(第17図1)、土師器杯(同図2)が床面直上で、土師器甕(同図5)が床面上11.7cmで出土した。

した。

柱穴 床面の精査では南東隅に支柱穴の一部と推定されるP1を検出したにとどまった。支柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.38m 短径0.31m 深さ0.17m

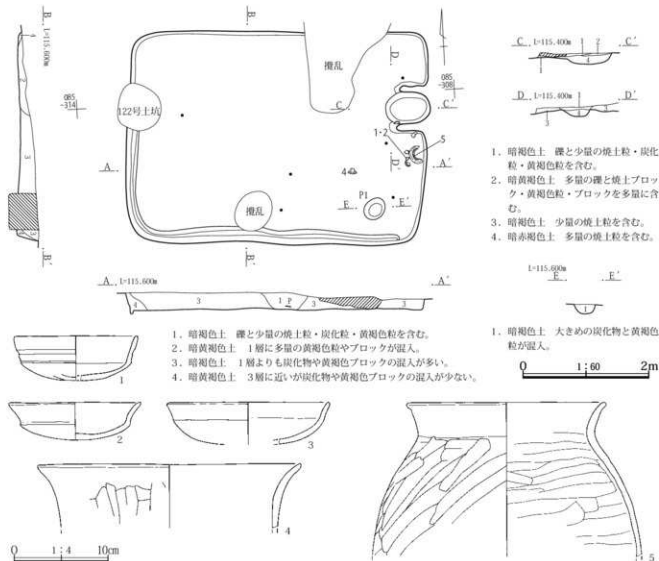
壁際溝 西壁の中央から南壁にかけて、幅8~18cm、深さ2~3cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 P1北脇で土師器甕(第17図4)が床面上2cmで出土した。また、埋没土中から土師器杯(同図3)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片119点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第17図 6区63号竪穴建物と出土遺物

6区64号竪穴建物

(第18・19図 PL. 8・61 遺物観察表P.251)

グリッド 072~080・-339~347

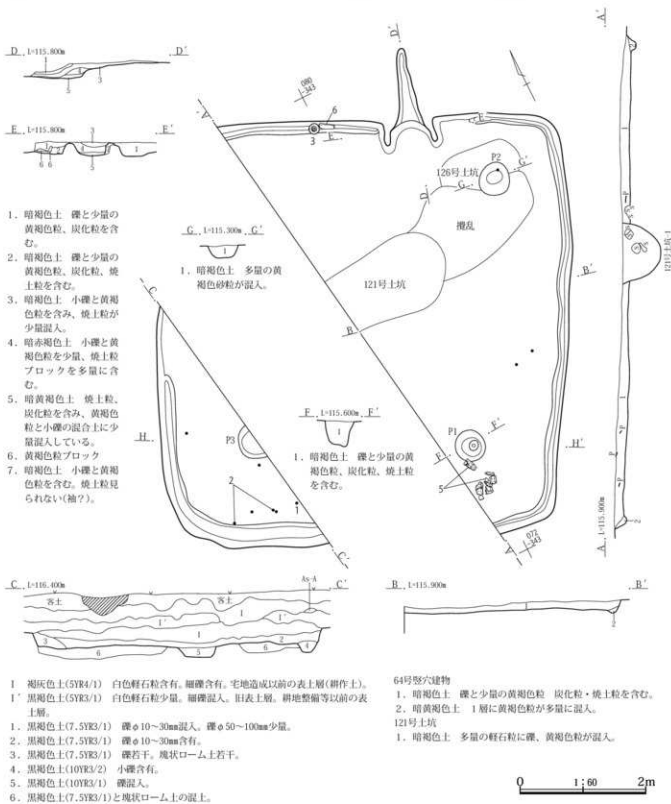
重複 121号土坑、126号土坑より古い。

形状 北側が現道維持のため調査区域外となったことか

ら、全形は判明しなかったが、ほぼ正方形と推定される。
現道より東側を平成27年度、西側を平成28年度に調査したため、平面図はその調査成果の合成図である。

規模 長軸6.74m 短軸6.49m 残存壁高0.29m

面積 計測不能 長軸方位 N-27°-E



第18図 6区64号竪穴建物

埋没土 礫と少量の黄褐色土粒・炭化物粒を含む暗褐色土で埋まっていた。壁際には黄褐色土が多量に混入していた。

竈 北東壁中央よりやや東側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.63m、屋外長1.09m、燃焼部長0.48m、焚口幅0.59mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左0.57m、右0.53mの長さで張り出し残存していた。竈の掘り方調査を実施できなかったので竈構築の構造は不明である。出土遺物も無かった。

柱穴 現道下に位置する北西隅を除き、3本の主柱穴を検出した。主柱穴の規模は下記の通りである。

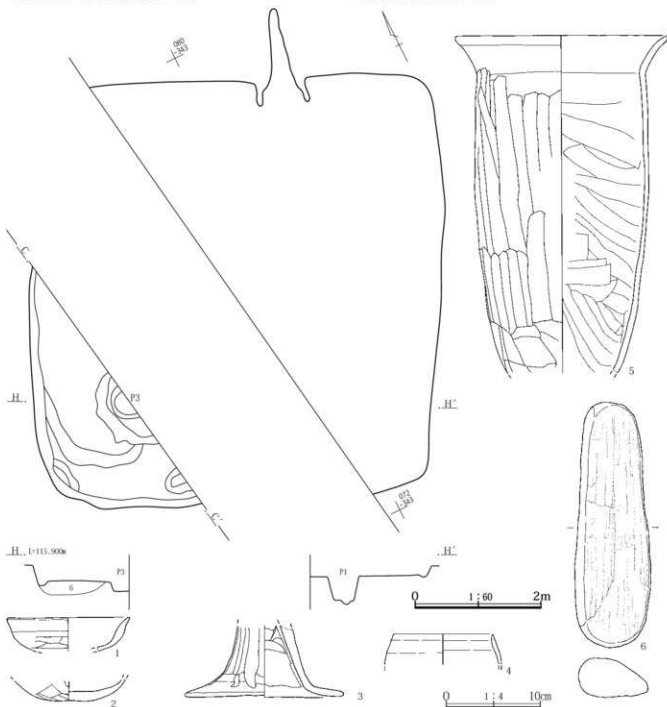
P 1 長径0.50m 短径0.47m 深さ0.45m

P 2 長径0.53m 短径0.48m 深さ0.20m

P 3 長径0.61m 短径(0.29)m 深さ0.17m

柱間の距離はP 1・P 2間が4.30m、P 1・P 3間が3.50mである。

壁際溝 西壁中央部を除き、幅15~22cm、深さ5~9cmの壁際溝が掘られていた。



第19図 6区64号竪穴建物掘り方と出土遺物

貯蔵穴 なし。

掘り方 平成28年度調査した南西部のみ掘り方調査を実施した。壁沿いに凹地があり掘り込んだ様子が看取できた。

遺物と出土状況 土師器杯(第19図1)が南壁際床面上13cmで、土師器杯か(同図2)が南西隅床面上8cmで出土した。北東壁際床面上4cmで、土師器高杯(同図3)と黒色片岩の棒状礫(同図6)が並んで出土した。土師器甕(同図5)がP1南部の床面上8cmで出土した。埋没土中から須恵器碗か口縁部破片(同図4)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片120点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

6-2区69号竪穴建物

(第20図 PL. 8)

グリッド 070~075・-348~-352

重複 70号竪穴建物より新しく2号竪穴状遺構より古い。

形状 南東隅を2号竪穴状遺構により壊されていることから全形は判明しなかったが、南北方向に長い隅丸の長方形と推定される。

規模 長軸4.66m 短軸3.72m 残存壁高0.03m

面積 計測不能 **長軸方位** N-6°-W

埋没土 細礫を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では竈は検出されなかった。

柱穴 床面の精査では北西隅に主柱穴の一部と推定されるP1を検出したにとどまった。主柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.48m 短径0.44m 深さ0.17m

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がなく、時期は不明である。53号竪穴建物と形態が類似している。

6-2区70号竪穴建物

(第20図 PL. 8)

グリッド 068~070・-348~-352

重複 69号竪穴建物、2号竪穴状遺構より古い。

形状 69号竪穴建物、2号竪穴状遺構に竪穴の多くの部

分を壊されているので全形は判明しなかったが、方形と推定される。

規模 長軸(2.23)m 短軸(1.95)m 残存壁高0.06m

面積 計測不能 **長軸方位** N-84°-E

埋没土 礫を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では竈は検出されなかった。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

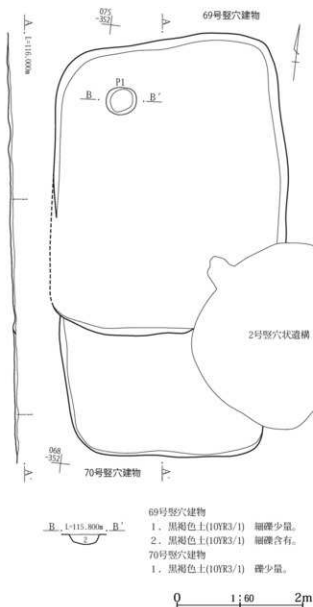
壁際溝 なし。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がなく、時期は不明である。



第20図 6-2区69・70号竪穴建物

7区24号竪穴建物

(第21図 PL. 8・9・62 遺物観察表P.251)

グリッド 060~064・-290~295

重複 61号土坑より新しい。

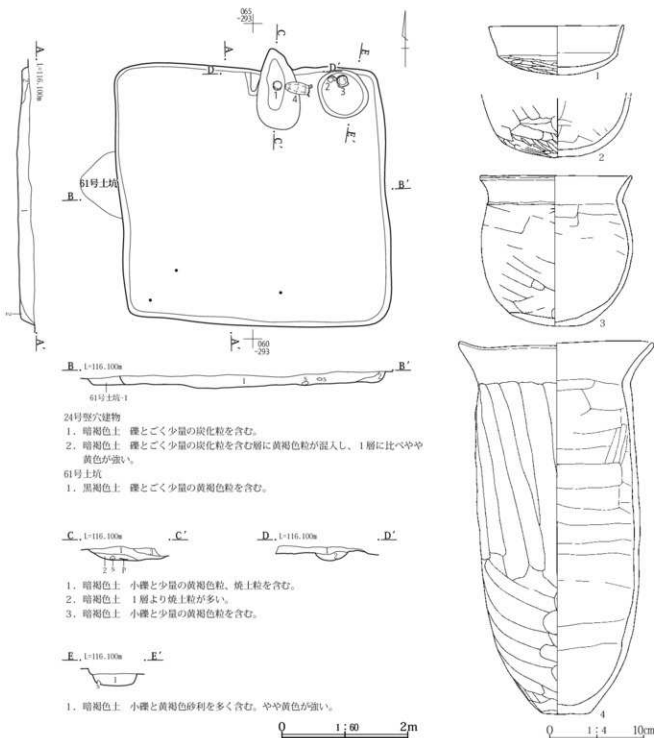
形状 ややゆがんだ正方形

規模 長軸4.23m 短軸4.10m 残存壁高0.20m

面積 15.76㎡ 長軸方位 N-90°-E

埋没土 礫とごく少量の炭化物粒を含む。中央付近には礫が集中して出土している部分があった。壁際部分には黄褐色土粒が多量に混入していた。

竈 東壁中央よりやや北側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.76m、屋外長0.28m、燃烧部長0.76m、焚口幅0.73mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側のみ0.46mの長さで張り出し残存していた。竈



24号竪穴建物

1. 暗褐色土 礫とごく少量の炭化粒を含む。

2. 暗褐色土 礫とごく少量の炭化粒を含む層に黄褐色土粒が混入し、1層に比べやや黄色が強い。

61号土坑

1. 黒褐色土 礫とごく少量の黄褐色土粒を含む。

1. 暗褐色土 小礫と少量の黄褐色土粒、焼土粒を含む。

2. 暗褐色土 1層より焼土粒が多い。

3. 暗褐色土 小礫と少量の黄褐色土粒を含む。

1. 暗褐色土 小礫と黄褐色砂利を多く含む。やや黄色が強い。

第21図 7区24号竪穴建物と出土遺物

右袖部には完形の土師器甕(第21図4)が横たわって出土した。袖部の解体の後、倒れ込んだのであろう。また、焚口部中央で土師器杯(同図1)が正位で出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 北東隅の竈右脇に、長径0.79m、短径0.74m、深さ0.21mのほぼ円形の貯蔵穴が検出された。北側から落ち込むように土師器小型甕(第21図2・3)が出土した。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方面は確認できなかった。

遺物と出土状況 竈や貯蔵穴から完形に近い土師器が出土した。埋没土中から土師器破片46点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竈穴建物と考えられる。

7区27号竈穴建物

(第22図 PL. 9・63 遺物観察表P.251・252)

グリッド 060~064・-286~290

重複 なし。

形状 北壁の一部が攪乱で壊されているが、ほぼ正方形である。北東隅は他の三隅に比してやや丸みがある。壁には地山と判断される小礫が確認できたことから、この形状で記録した。

規模 長軸3.95m 短軸3.83m 残存壁高0.17m

面積 12.72㎡ **長軸方位** N-78°-W

埋没土 多量の小礫と少量の黄褐色土粒を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では竈は検出されなかった。北壁中央の攪乱によって壊された可能性が高い。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方面は確認できなかった。

遺物と出土状況 北東部から、土師器杯(第22図1)が床面直上で出土した。北東壁沿いに床面直上で散在していた土師器甕(同図4)破片が接合した。土師器増か(同図2)は西部床面上8cmで、土師器甕(同図3)口縁部破片が北東部床面上11.6cmで出土した。北西部床面直上で粗粒輝石安山岩の台石(同図9)が出土した。南西隅には棒状礫が7点集中して床面直上で出土した。このうち園化

した(第22図5・7)は黒色片岩、(同図6・8)は雲母石英片岩である。その他、埋没土中から土師器破片45点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竈穴建物と考えられる。

7区28号竈穴建物

(第23図 PL. 9・10 遺物観察表P.252)

グリッド 064~070・-283~-288

重複 出土遺物の時期から29号竈穴建物より古い。

形状 ほぼ正方形

規模 長軸4.52m 短軸4.25m 残存壁高0.29m

面積 16.47㎡ **長軸方位** N-55°-W

埋没土 多量の小礫と少量の黄褐色土粒を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.25m、屋外長0.51m、燃焼部長0.46m、焚口幅0.45mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.75m、右側0.72mの長さで張り出し残存していた。両袖の先端には棒状礫が直立し、構造材として機能していたと推定される。また燃焼部左奥にも棒状礫が直立して残存していた。支脚の可能性もあるが、埋まり方が浅いので断定はできない。さらに袖の先端手前には長さ53cm、幅23cm、厚さ7cmの大型板状礫が床面直上に残されていた。焚口の天井部の構築材と推定される。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

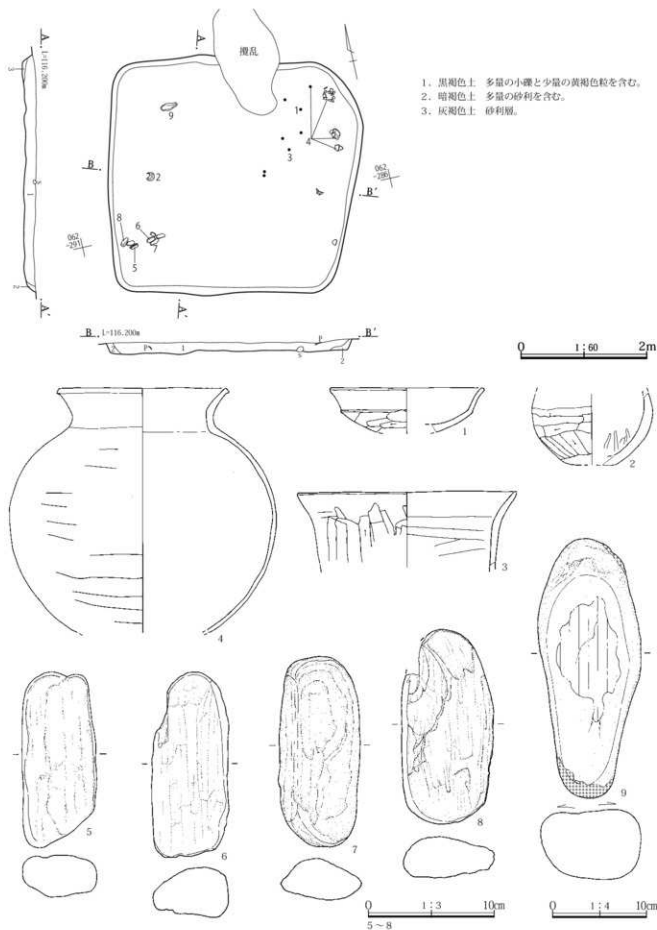
壁際溝 なし。

貯蔵穴 住居南東隅、竈右脇に長径0.67cm、短径0.57m、深さ0.25mの楕円形の貯蔵穴が検出された。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方面は確認できなかった。

遺物と出土状況 遺物の出土は少なかった。南壁・西壁沿いにわずかに出土した。南部壁際床面上4cmで土師器甕口縁部破片(第23図1)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片17点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀前半の竈穴建物と考えられる。



第22図 7区27号竪穴建物と出土遺物

7区29号竪穴建物

(第23・24図 PL.10・64 遺物観察表P.252)

グリッド 067~071・-280~284

重複 出土遺物の時期から28号竪穴建物より新しい。

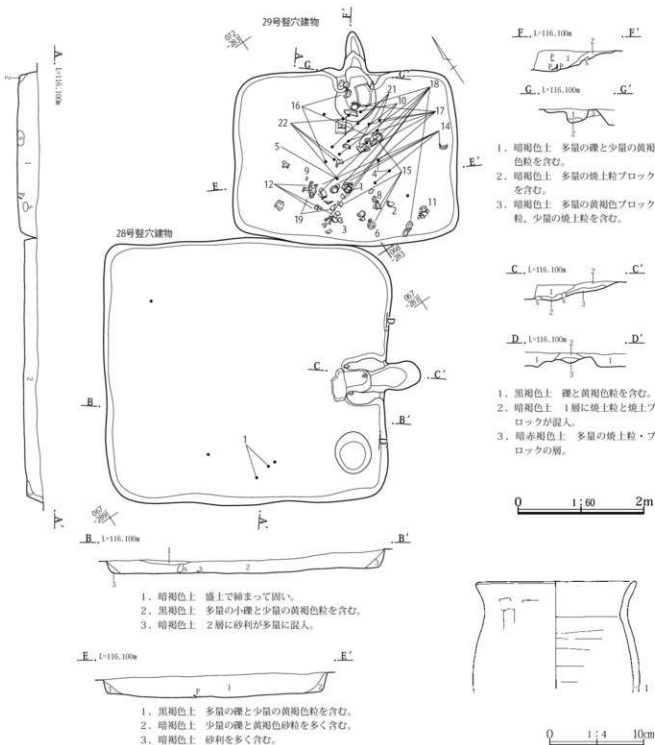
形状 南北方向に長い長方形

規模 長軸3.55m 短軸2.74m 残存壁高0.29m

面積 8.21㎡ 長軸方位 N-55°-W

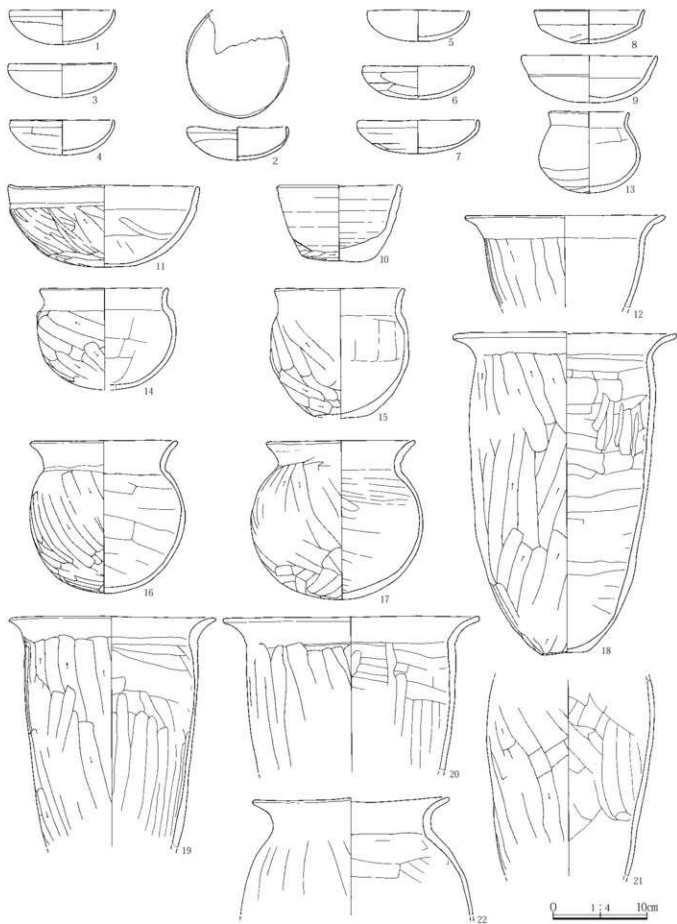
埋没土 多量の礫と少量の黄褐色土粒を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北壁のほぼ中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.25m、屋外長0.64m、燃燒部長0.40m、焚口幅0.55mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.36m、右側0.30mの長さで張り出し残存していた。両袖の先端には棒状礫が直立し、構造材として機



第23図 7区28・29号竪穴建物と28号竪穴建物出土遺物

2. 竖穴建物



第24图 7区29号竖穴建物出土遗物

能していたと推定される。また、焚口部から竈手前にかけて大型板状礫3点が床面直上に残されていた。焚口の天井部の構築材と推定される。焚口部にかかる板状礫は長さ36cm、最大幅25cm、厚さは不明である。他の2点は長さ8cm、最大幅22cmと、長さ28cm、最大幅22cmでいずれも厚さは不明である。3点の板状礫が接合するかどうかは未確認である。

焚口部手前では土師器小型甕(第24図17)が出土しているが、これは住居中央部および南西壁の出土土器と接合している。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 住居南半部床面直上に土器が集中して散在し、やや離れた破片が接合する状況であった。土師器杯(第24図1・3・5・9)は南西部の土器集中部の中から出土した。土師器杯(同図2・6・8)は南東部壁寄り床面直上で出土した。土師器鉢(同図11)は南東隅床面直上で出土した。土師器杯(同図4)は中央部やや東寄り床面直上で出土した。土師器甕(同図18)は南東隅の破片と南壁中央部の土器集中の中の広範囲に出土した破片が接合した。土師器甕(同図19)は竈前床面直上で出土した。土師器甕(同図21)、土師器小型甕(同図16)は竈前周辺で床面直上で出土した大型破片他が接合した。土師器小型甕(同図14)は南東壁沿いの口縁部破片と南西壁沿いの土器集中部内の破片が接合した。土師器小型甕(同図15)は竈前の大型破片と南壁寄りの破片が接合した。土師器甕(同図22)、土師器小型甕(同図17)、須恵器鉢(同図10)は竈前に残っていた破片がそれぞれ出土した。土師器有孔鉢か(同図12)は南西部に散在していた破片が接合した。

埋没土中から土師器杯(同図7)、土師器小型甕(同図13)、土師器甕(同図20)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片108点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀末から8世紀初頭の竪穴建物と考えられる。

7区30号竪穴建物

(第25図 PL.10・63 遺物観察表P.253)

グリッド 074-079・-289--295

重複 なし。

形状 正方形

規模 長軸4.22m 短軸4.12m 残存壁高0.25m

面積 13.85㎡ **長軸方位** N-47°-W

埋没土 礫と少量の黄褐色砂粒と黄褐色土塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁の中央わずかに南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.70m、屋外長1.12m、燃焼部長0.65m、焚口幅0.51mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.53m、右側0.63mの長さで張り出し残存していた。焚口部には両側の袖に架かるように長さ36cm、最大幅25cm、厚さ8cmの大型板状礫が使用面から12cm浮いた状態で残されていた。板状礫は中央で割れていた。焚口の天井部の構築材と推定される。左袖の左右には棒状礫が1点ずつ残されていたが、竈袖構築材との確証は得られなかった。その左脇からは土師器杯(第25図2)、土師器小型甕(同図5)が床面直上で出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 北東壁北半部を除き、幅10~17cm、深さ3~6cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 住居南隅、竈右脇に長径1.03m、短径0.55m、深さ0.14mの楕円形の凹地が検出されたが、貯蔵穴としての深さは認められなかった。

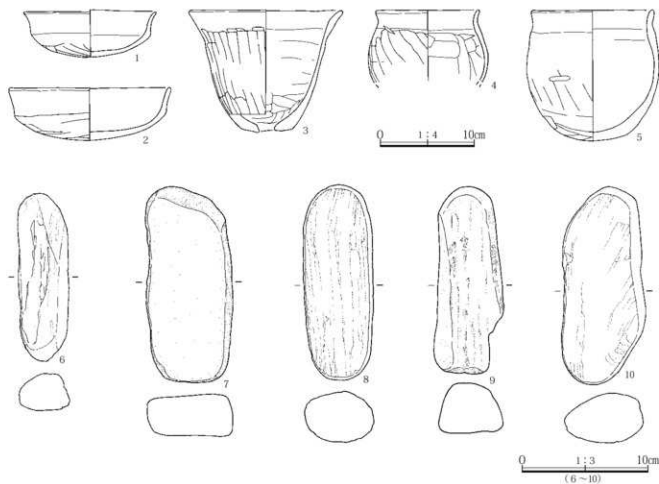
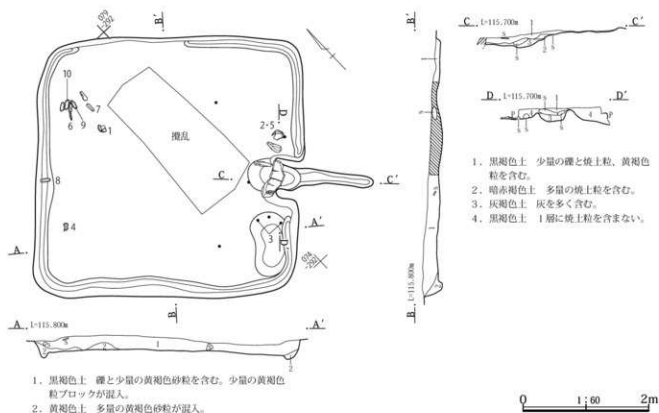
掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 竈周辺と西壁沿いにやや偏って遺物が出土した。土師器杯(第25図1)が北西部床面直上で、土師器小型甕(同図4)が西隅床面直上で出土した。また竈右脇の貯蔵穴状の掘り込みで土師器有孔鉢(同図3)が底面上22cmの位置で出土した。

また、棒状礫が北隅床面直上で7点集中して、北西壁際溝内で1点出土した。いずれも円礫あるいは垂角礫で顕著な使用痕跡はなかった。うち5点(6~10)を図示した。その他、埋没土中から土師器破片40点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

2. 竪穴建物



第25図 7区30号竪穴建物と出土遺物

7Ⅸ31号竪穴建物

(第26図 PL.11 遺物観察表P.253)

グリッド 076～080・-295～-299

重複 32号竪穴建物より古い。

形状 短軸の北西壁がやや短い台形

規模 長軸3.62m 短軸2.85m 残存壁高0.22m

面積 計測不能 長軸方位 N-58°-W

埋没土 礫と暗赤褐色土粒・黄褐色土粒を混入する暗褐色土で埋まっていた。壁内には多量の黄褐色土塊が混入していた。

竈 南東壁の中央わずかに南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.91m、屋外長0.34m、燃焼部長0.57m、焚口幅0.78mで、燃焼部奥は0.09mの段差があった。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.48m、右側0.51mの長さで張り出し残存していた。燃焼部中央からは土師器破片が出土したが小片のため図示できなかった。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第26図1)破片が、埋没土中から土師器杯(同図2)破片が出土した。この他、埋没土中から土師器破片62点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

7Ⅸ32号竪穴建物

(第26図 PL.11・63 遺物観察表P.253)

グリッド 080～084・-294～-299

重複 31号竪穴建物より新しい。

形状 南北方向にやや長い長方形

規模 長軸4.30m 短軸3.82m 残存壁高0.23m

面積 14.45㎡ 長軸方位 N-6°-W

埋没土 暗赤褐色土粒を多く含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 北壁の中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.66m、屋外長0m、燃焼部長0.66m、焚口幅0.56mで、燃焼部奥は0.07mの段差があった。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.74m、右側0.56m

の長さで張り出し残存していた。左袖部の残存状態は不良で、短い可能性がある。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 住居北東隅、竈右脇に長径0.59cm、短径0.52m、深さ0.25mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。底面から18cm浮いた状態でほぼ完形の土師器杯(第26図3)が出土した。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 出土遺物は、全体に散在していた。中央部床面直上で土師器甕口縁部破片(第26図4)が、南東隅床面上4cmで土師器甕底部破片(同図5)が、埋没土中から須恵器甕破片(同図6)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片117点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

7Ⅸ33号竪穴建物

(第27図 PL.11・12・63 遺物観察表P.253)

グリッド 085～090・-280～-287

重複 なし。

形状 南北方向にやや長い平行四辺形

規模 長軸4.18m 短軸3.86m 残存壁高0.24m

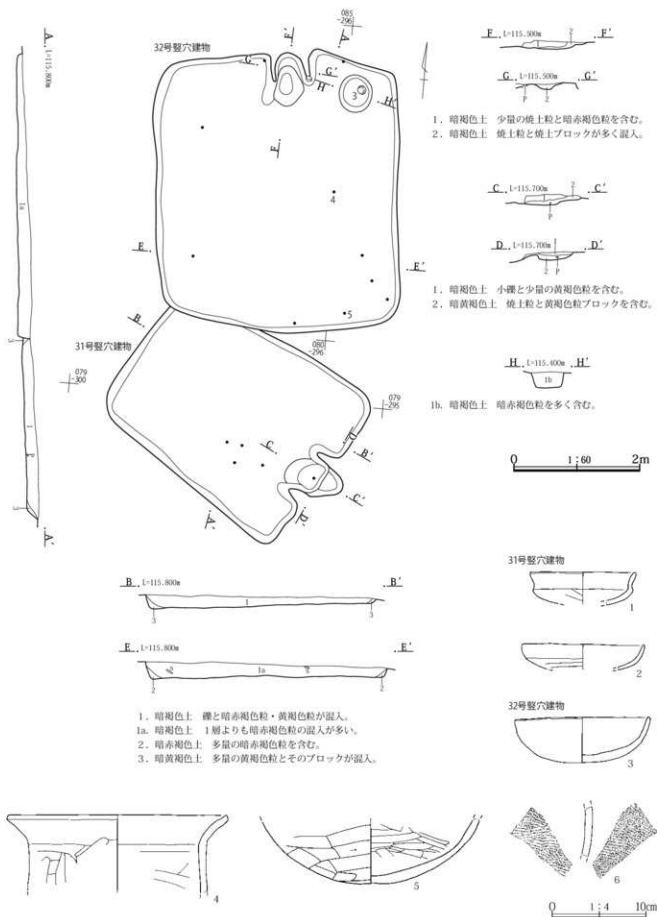
面積 12.13㎡ 長軸方位 N-4°-W

埋没土 暗赤褐色土粒と黄褐色土粒、小礫を多量に含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央よりやや南側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.66m、屋外長0.32m、燃焼部長0.44m、焚口幅0.45mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.24m、右側0.33mの長さで張り出し残存していた。袖先端内には竈袖構築時に芯としたと推定される垂角礫が左右ともに残されていた。焚口部手前の床面直上には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ62cm、幅26cm、厚さ推定8cm)が残されていた。燃焼部には、中に重なるように土師器小型甕(第27図2)を入れた、ほぼ完形の土師器甕(同図3)が燃焼面に斜めに置かれた状態で出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 幅6～20cm、深さ3～7cmの壁際溝が掘られていた。



第26図 7区31・32号竪穴建物と出土遺物

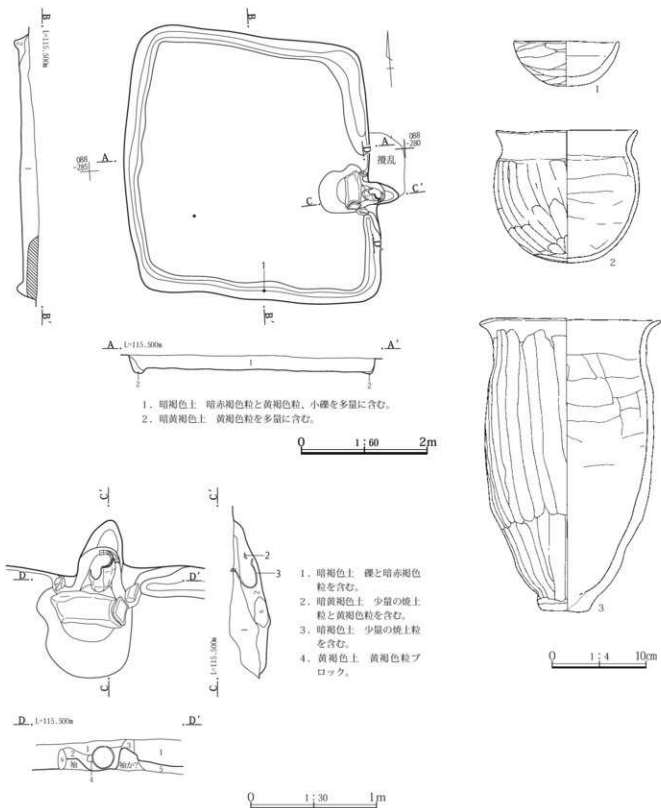
貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 南壁中央の壁際溝内底面上5cmで土師

器杯(第27図1)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片67点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第27図 7区33号竪穴建物と出土遺物

7区34号竪穴建物

(第28図 PL.12・63 遺物観察表P.253・254)

グリッド 088~090・-285~290 重複 なし。

形状 竪穴の南東部のみの調査で、全体形状および規模は判明しなかった。方形と推定される。

規模 東西軸(3.20)m 南北軸(2.48)m 残存壁高0.22m

面積 計測不能 長軸方位 N-56°-W

埋没土 多量の礫と少量の黄褐色土粒・塊が混入する暗褐色土で埋まっていた。壁際および壁際溝内には多量の黄褐色砂を混じる暗黄褐色土で埋まっていた。

竪 調査できた範囲の中では竪は検出されなかった。

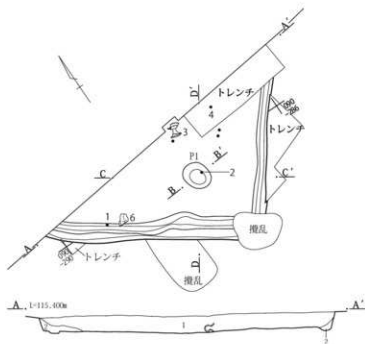
柱穴 南隣の支柱穴と推定されるP1を検出した。支柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.46m 短径0.39m 深さ0.32m

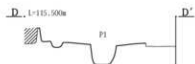
壁際溝 調査できた範囲の中では全周していた。規模は幅12~22cm、深さ4~6cmである。南西壁沿いには土師器杯か底部破片(第28図1)が床面上4cm、土師器櫃(同図6)が床面上2cmで出土した。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は

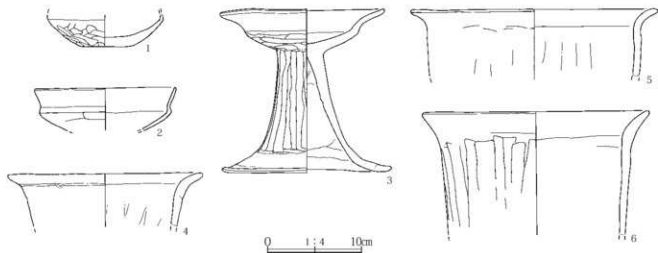


- 1a. 暗褐色土 竪穴建物の1層より黄褐色砂粒の量が多い。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色砂粒と極少量の炭化粒が混入。



1. 暗褐色土 多量の礫と少量の炭化粒 黄褐色砂粒ブロックが混入。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色砂粒と極少量の炭化粒が混入。

0 1:60 2m



第28図 7区34号竪穴建物と出土遺物

確認できなかった。

遺物と出土状況 土師器杯(第28図2)が主柱穴埋没土上層で出土した。主柱穴北側からは土師器高杯(同図3)が床面直上で、土師器甕か(同図4)が床面上2cmで出土した。埋没土中から土師器甕(同図5)が出土した。その他、埋没中から土師器破片27点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

7区35号竪穴建物

(第29図 PL.12・13・65 遺物観察表P.254)

グリッド 071~075~281~285 重複 なし。

形状 東壁がやや短い台形

規模 長軸3.30m 短軸3.11m 残存壁高0.20m

面積 8.88㎡ 長軸方位 N-71°-E

埋没土 小礫と黄褐色土粒を少量含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央より南側に敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.92m、屋外長0.68m、燃燒部長0.92m、焚口幅推定0.66mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下

部が左側0.38m、右側0.08mの長さで張り出し残存していた。右側の袖は攪乱土坑に切られて残存しなかった。燃燒部左壁や焚口部右袖付け根部には礫が置かれており、竈構築材の一部と推定される。燃燒部からは多くの土器が出土したが、燃燒部手前使用面直上で須恵器杯完形(第29図1)が出土した。燃燒部奥には土師器甕底部破片(同図4)が使用面直上で、また竈埋没土中から土師器甕口縁部破片(同図3)が出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

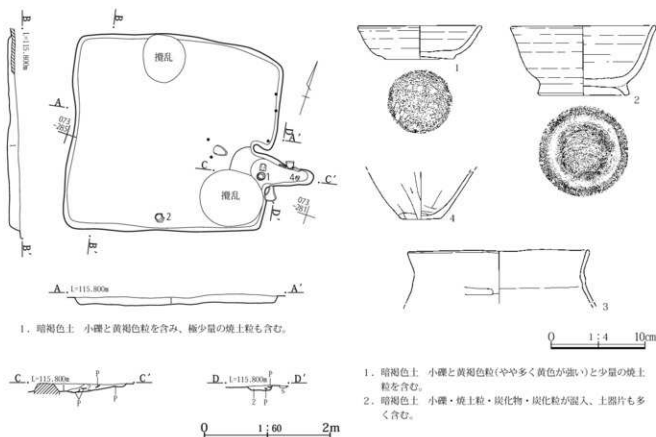
壁際溝 なし。

貯蔵穴 貯蔵穴の掘られていた可能性がある南東隅の竈右側には攪乱があり、貯蔵穴があったかどうかは判断できなかった。

掘り方 地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 南壁中央の壁沿い床面上2cmで須恵器杯(第29図2)が出土した。その他、埋没中から土師器136点、須恵器3点が出土した。

所見 出土遺物から9世紀の竪穴建物と考えられる。



第29図 7区35号竪穴建物と出土遺物

7-2区71号竪穴建物

(第30～32図 PL.13・14・66 遺物観察表P.254・255)

グリッド 077～081・-246～250

形状 東西方向にやや長い方形

重複 なし。

規模 長軸3.40m 短軸3.10m 残存壁高0.38m

面積 8.94㎡ 長軸方位 N-71°-W

埋没土 上層は小礫や明黄褐色土粒を含む黒褐色土で、下層は小礫や焼土塊・焼土粒を含む黒褐色土で埋まっていた。南西隅は、礫の少ない土で埋まっていた。竈上位や竈前には大型の角礫と完形に近い土師器甕などが多く残されていた。

竈 東壁の中央やや南寄りに竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.67m、屋外長0.07m、燃烧部長0.54m、焚口幅0.59mで、燃烧部奥は0.18mの緩やかな段差があった。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.59m、右側0.62mの長さで張り出し残存していた。

左右とも袖の先端には芯として板状の垂角礫が壁状に立てられていた。焚口部手前の床面直上には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ56cm、幅28cm、厚さ10cm)が残されていた。

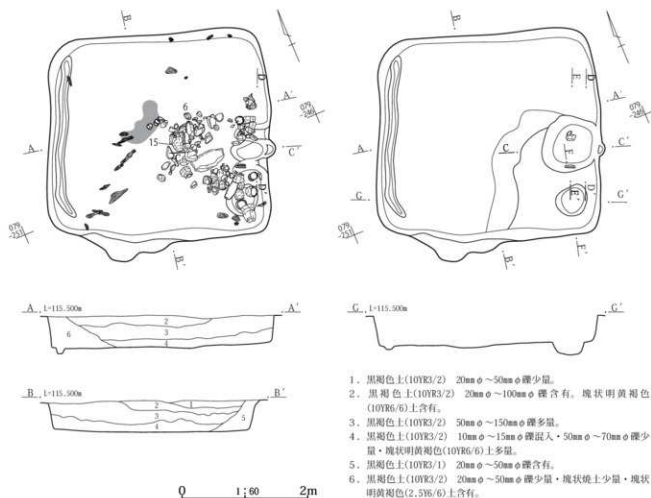
竈燃焼部には遺物は出土しなかったが、右袖端で土師器杯(第32図1)が床面直上で出土し、その上に土師器鉢(同図7)が重なって出土した。左袖端では完形の土師器杯(同図2)が床面直上で、壁際で土師器有孔鉢(同図9)が出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 掘り方面で西壁際のみ幅14～18cm、深さ5～10cmの壁際溝を検出した。

貯蔵穴 南東隅、竈右脇に長径0.55m、短径0.26m、深さ0.26mの不定楕円形の貯蔵穴が掘られていた。底面上4cmで土師器杯(第32図3)が、6cmで土師器杯(同図4)が、その上位に重なって土師器杯(同図5)が出土した。

掘り方 竈のみ掘り方面の調査を実施した。竪穴全体に



第30図 7-2区71号竪穴建物

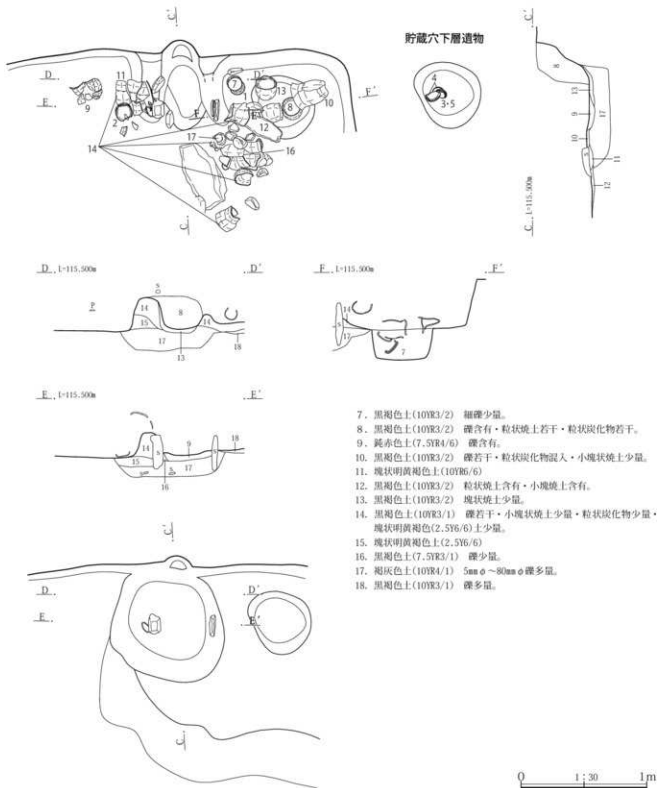
1. 黒褐色土(10YR3/2) 20mmφ～50mmφ礫少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 20mmφ～100mmφ礫含有。塊状明黄褐色(10YR6/6)土含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 50mmφ～150mmφ礫多量。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 10mmφ～15mmφ礫混入・50mmφ～70mmφ礫少量・塊状明黄褐色(10YR6/6)土多量。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 20mmφ～50mmφ礫含有。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 20mmφ～50mmφ礫少量・塊状焼土少量・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。

については地山との判別が困難であり、明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 南東隅の貯蔵穴が埋まった時点で、完形の土師器鉢(第32図8)、土師器小型甕(同図13)、土師器小型甕(同図12)、土師器甕(同図10)が転がったような

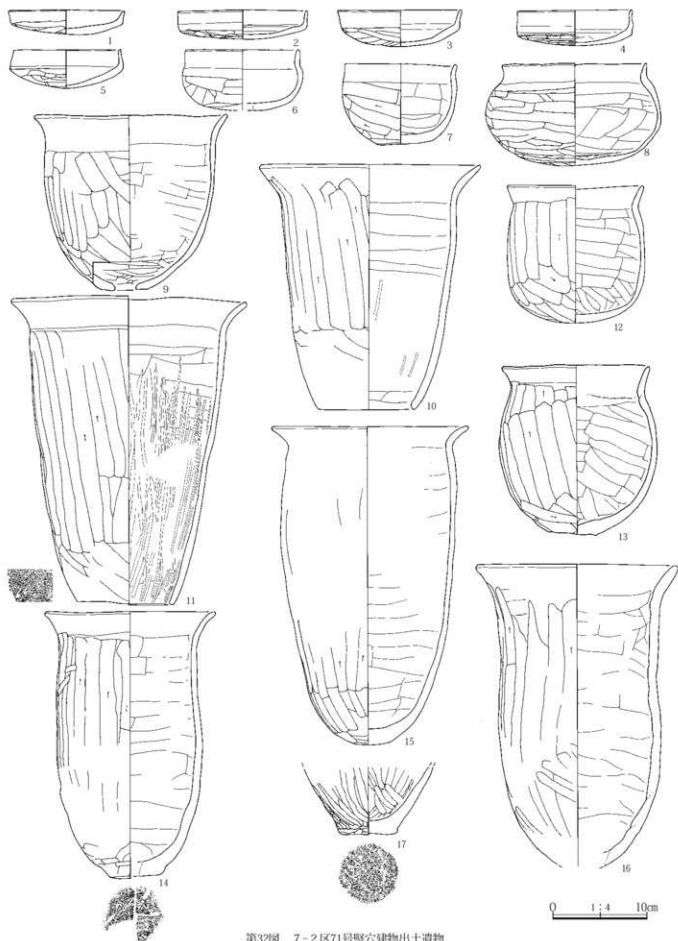
状態で出土した。竈周辺の土師器杯か(同図6)、土師器甕(同図14・15・16・17)、土師器甕(同図11)は、礫とともに倒れこんだような位置で出土した。その他、埋没土中から土師器破片78点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀末の竈穴建物と考えられる。



- 7. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量。
- 8. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・粒状焼土若干・粒状炭化物若干。
- 9. 鈍赤色土(7.5YR4/6) 礫含有。
- 10. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・粒状炭化物混入・小塊状焼土少量。
- 11. 塊状明黄褐色土(10YR6/6)
- 12. 黒褐色土(10YR3/2) 粒状焼土含有・小塊状焼土含有。
- 13. 黒褐色土(10YR3/2) 塊状焼土少量。
- 14. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・小塊状焼土少量・粒状炭化物少量・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土少量。
- 15. 塊状明黄褐色土(2.5Y6/6)
- 16. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫少量。
- 17. 赭灰色土(10YR4/1) 5mm ϕ ~80mm ϕ 礫多量。
- 18. 黒褐色土(10YR3/1) 礫多量。

第31図 7-2区71号竈穴建物竈



第32图 7-2区71号竖穴建物出土遗物

7-2区72号竪穴建物

(第33図 PL.14・65 遺物観察表P.255)

グリッド 086～090・-261～-264

重複 151号土坑より古い。

形状 南北方向にやや長い台形

規模 長軸3.20m 短軸3.00m 残存壁高0.07m

面積 計測不能 長軸方位 N-5°-E

埋没土 礫を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央やや南側に竈が敷設されていた。焼土等の痕跡は明瞭ではなく、掘り方面として、長軸0.84m、短軸0.48m、深さ0.10mの不正楕円形の形状で確認された。屋外長は0.04m。

柱穴 掘り方面でP1・P2を確認したが、いずれも主柱穴とは確定できなかった。規模は下記の通りである。

P1 長径0.37m 短径0.34m 深さ0.11m

P2 長径0.57m 短径0.51m 深さ0.15m

壁際溝 なし。

貯蔵穴 竪穴南東隅に、長径0.68m 短径0.60m 深さの貯蔵穴が確認された。底面上5cmで須恵器杯(第33図1)が、埋没土中から鉄製品釘(同図2)が出土した。

掘り方 明瞭な深い掘り方は検出されなかったが、竈の底面およびピット2基を検出した。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片37点が出土した。図示できる遺物はなかった。

所見 出土遺物から9世紀の竪穴建物と考えられる。

7-2区73号竪穴建物

(第34・35図 PL.14・15・65 遺物観察表P.255)

グリッド 077～081・-253～-257

重複 152号土坑、153号土坑より古い。

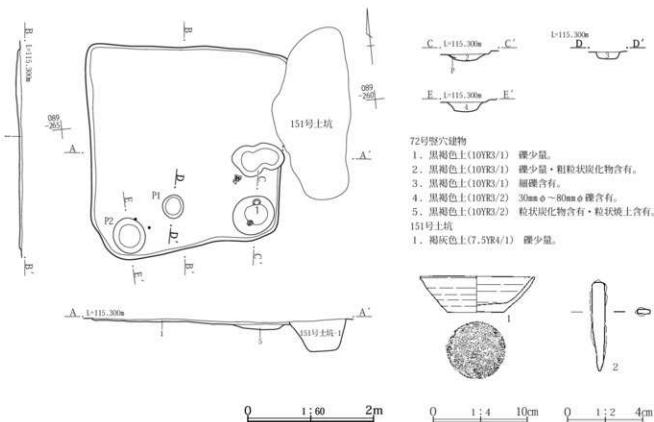
形状 ほぼ正方形

規模 長軸3.64m 短軸3.26m 残存壁高0.28m

面積 9.58㎡ 長軸方位 N-60°-E

埋没土 直径18～20cmの礫を多量に含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁の中央やや東寄りに竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.96m、屋外長0.27m、燃焼部長0.66m、焚口幅0.48mで、燃焼部奥は0.11mの緩やかな段差があり、その奥は0.60mの煙道が残されていた。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.70m、右側



第33図 7-2区72号竪穴建物と出土遺物

0.66mの長さで張り出し残存していた。左右とも袖の先端には芯として板状の亜角礫が壁状に立てられていた。竪左袖部内には土師器小型甕破片(第34図3)が出土した。

柱穴 掘り方も精査したが、柱穴と断定できるものは確認できなかった。

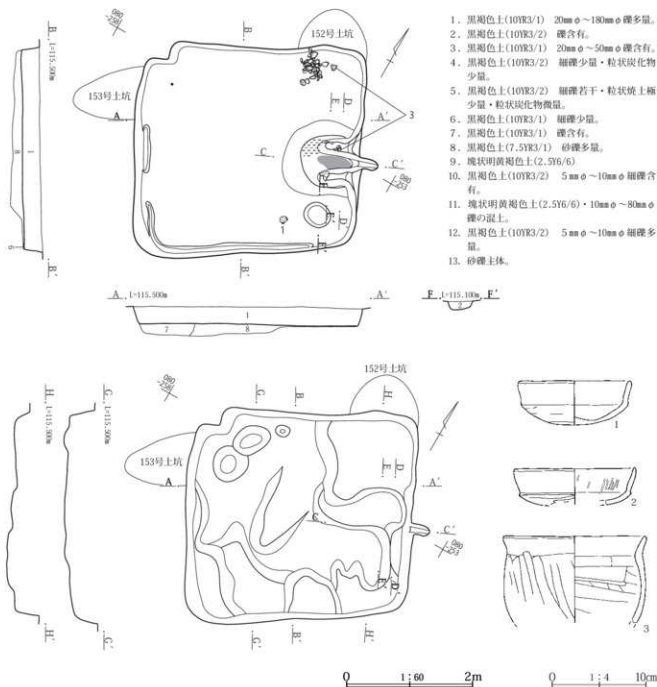
壁際溝 南西壁中央、南隅から南東壁にかけての2か所で、幅10~12cm、深さ2cmほどの壁際溝を検出した。

貯蔵穴 竪右脇で長径0.43m、短径0.38m、深さ0.15mの楕円形土坑が検出された。貯蔵穴の可能性が高い。

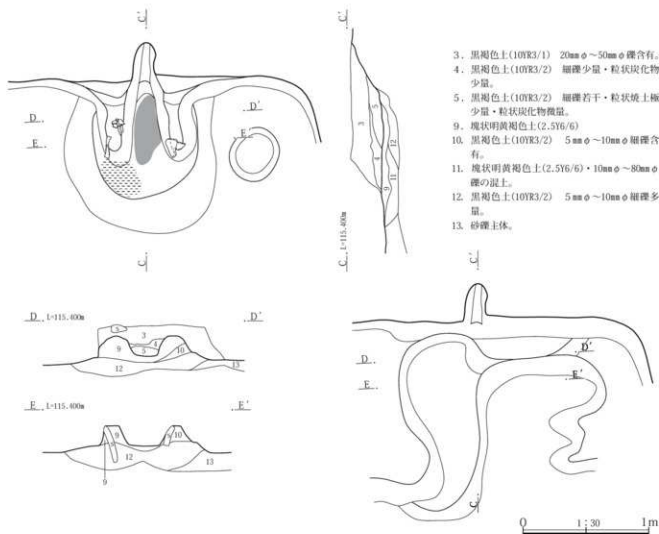
掘り方 竪穴南東部を中心に凹凸がある掘り方面を検出した。砂礫を多く含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 貯蔵穴南側の床面上10cmで土師器杯(第34図1)が出土した。北隅には竪左袖部内で出土した土師器小型甕破片(同図3)に接合する破片や亜角礫が数十個集まって出土した。また、埋没土中から土師器杯(同図2)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片48点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第34図 7-2区73号竪穴建物と出土遺物



第35図 7-2区73号竪穴建物窟

7-2区74号竪穴建物

(第36・37図 PL.15・65 遺物観察表P.255)

グリッド 071~076・-251~256

重複 75号竪穴建物より新しい。

形状 南東部の大部分が電柱の保全のため調査不能地域となったが、東西にやや長い台形を推定される。

規模 長軸5.03m 短軸4.57m 残存壁高0.31m

面積 計測不能 長軸方位 N-64°-E

埋没土 直径1~2cmと、18~22cmの礫を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

窟 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 床面の精査でP1・P2、掘り方面の精査でP3を検出した。いずれも主柱穴との確定はできなかった。規模は下記の通りである。

P1 長径0.52m 短径0.40m 深さ0.27m

P2 長径0.31m 短径0.29m 深さ0.11m

P3 長径0.52m 短径0.41m 深さ0.30m

柱間の距離はP1・P2間が2.50mである。

P1・P3を結んだ線は、南西壁にほぼ平行することから柱通りと考えることも可能である。P2は想定される竪穴の四隅を結んだ線上にあり主柱穴の可能性もあるが、他の2ピットに比べて浅い。

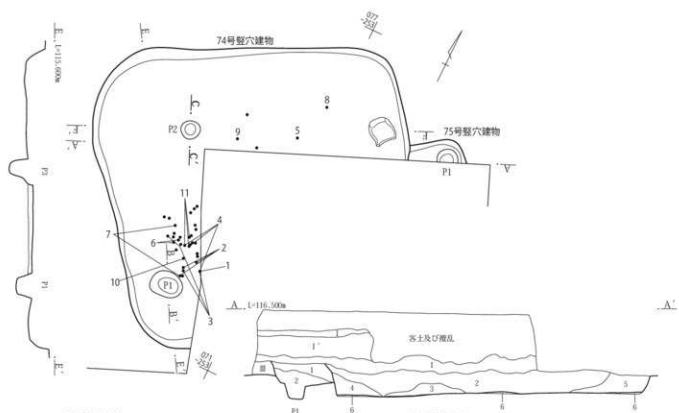
壁隙溝 なし。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 竪穴北西部を掘り込んだ掘り方面を検出した。

遺物と出土状況 南西部に偏って遺物が出土した。竪穴北部床面直上には厚さ13cmの粘土塊が出土した。

北西部からは土師器甕(第37図8)が床面直上で、土師

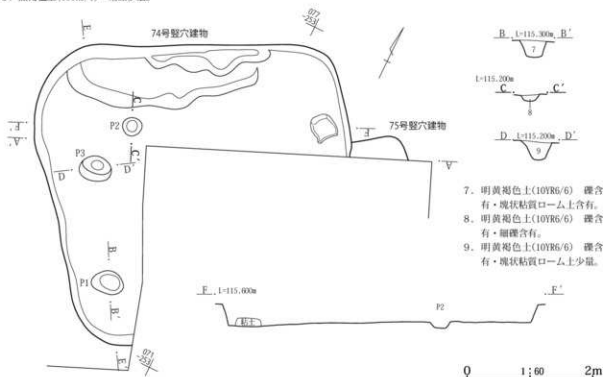


74号竪穴建物

1. 褐灰色土(5YR4/1) 白色軽石粒含有。細礫含有。
 1' 黒褐色土(5YR3/1) 白色軽石粒少量。細礫混入。
 1. 黒褐色土(10YR3/1) 20mm ϕ ~80mm ϕ 礫含有。
 2. 黒褐色土(10YR3/2) 20mm ϕ ~100mm ϕ 礫含有・180mm ϕ ~220mm ϕ 礫少量。
 3. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
 4. 黒褐色土(10YR3/2) 20mm ϕ ~30mm ϕ 礫含有。
 5. 黒褐色土(10YR3/2) 20mm ϕ ~50mm ϕ 礫含有。
 6. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫少量。

75号竪穴建物

1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫混入。
 2. 黒褐色土(10YR3/2) 20mm ϕ ~50mm ϕ 礫含有。



7. 明黄褐色土(10YR6/6) 礫含有・塊状粘質ローム土含有。
 8. 明黄褐色土(10YR6/6) 礫含有・細礫含有。
 9. 明黄褐色土(10YR6/6) 礫含有・塊状粘質ローム土少量。

第36图 7-2区74・75号竪穴建物

器裏(第37図9)、土師器甗か(同図5)が床面から15cmほど浮いた状態で出土した。南部P1周辺からは床面から10~20cmほど浮いた状態で、土師器杯(同図1)、土師器鉢(同図2・3)、土師器裏(同図10・11)、土師器甗(同図4・6・7)の破片が集まった状態で出土した。この他、埋没土中から土師器破片173点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

7-2区75号竪穴建物

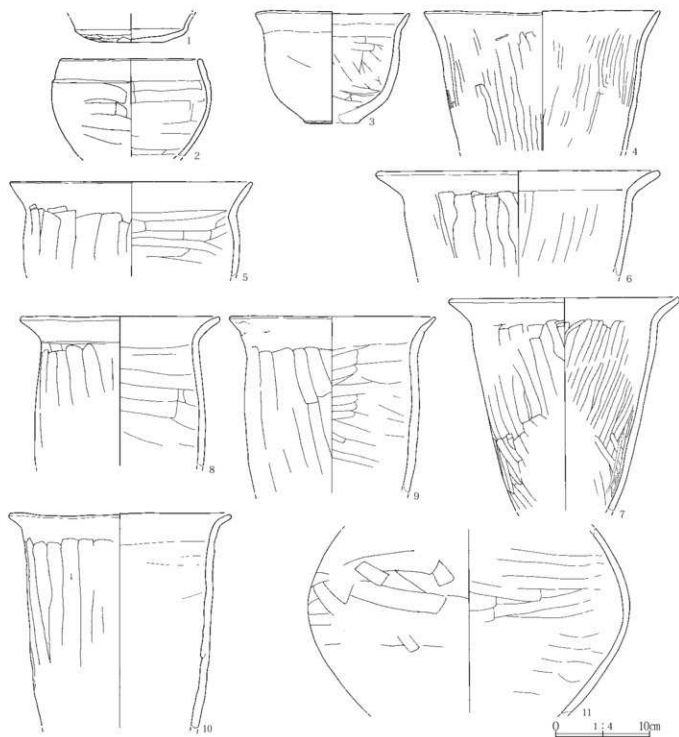
(第36図 PL.15)

グリッド 075・-250~-251

重複 74号竪穴建物より古い。

形状 北隅の一部が確認できたのみであるが、方形と推定される。

規模 長軸・短軸測定不能 残存壁高0.12m



第37図 7-2区74号竪穴建物出土遺物

面積 測定不能 北西壁方位 N-65°-E

埋没土 礫を混入した黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 北隅でP1を検出したが、壁に近く柱穴とは断定できない。規模は下記の通りである。

P1 直径0.31m 深さ0.24m

壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がなく時期は不明であるが、7世紀の74号竪穴建物より古いことから7世紀以前の竪穴建物と考えられる。

7-2区100号竪穴建物

(第38図 PL.15・16・65 遺物観察表P.255・256)

グリッド 075~079・-271~-275

重複 204号土坑より古い。

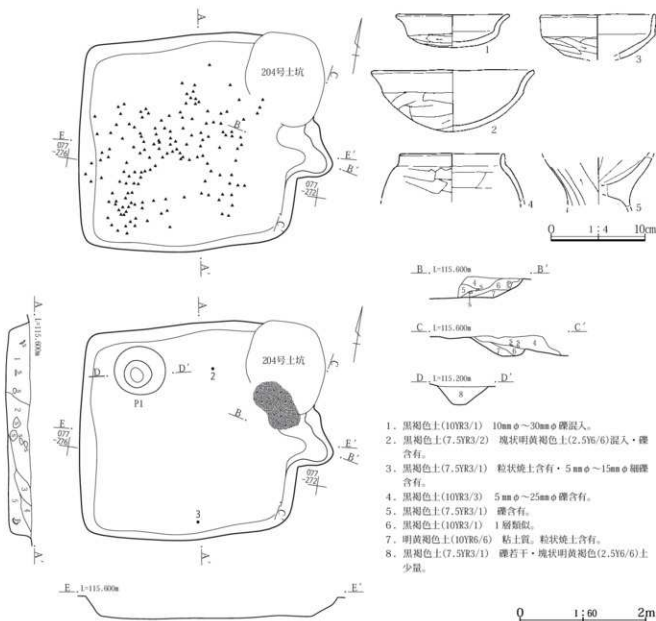
形状 正方形

規模 長軸3.45m 短軸3.43m 残存壁高0.34m

面積 10.02㎡

長軸方位 N-81°-E

埋没土 小礫、明黄褐色土塊、焼土粒等を混じる黒褐色土で埋まっていた。埋没土中には礫や土器等が投げ込まれた状態で出土した。埋没土中から土器器杯(第38図1)、土器器小型甕(同図4)、土器器台付甕(同図5)が出土した。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 10mmφ~30mmφ礫混入。
2. 黒褐色土(7.5YR3/2) 塊状明黄褐色土(2.5Y6/6)混入・礫含有。
3. 黒褐色土(7.5YR3/1) 粒状焼土含有・5mmφ~15mmφ細礫含有。
4. 黒褐色土(10YR3/3) 5mmφ~25mmφ礫含有。
5. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫含有。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 1層類似。
7. 明黄褐色土(10YR6/6) 粘土質。粒状焼土含有。
8. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土少量。

第38図 7-2区100号竪穴建物と出土遺物

竈 東壁中央やや南寄りに竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.80m、屋外長0.48m、燃焼部長不明、焚口幅0.68mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.50m、右側0.19mの長さで張り出し残存していた。竈前北側には焼土混じり粘土が堆積していた。

柱穴 床面下の精査で、竈穴北西隅でP1を確認した。やや壁に近いことから柱穴との確定はできなかった。規模は下記の通りである。

P1 長径0.82m 短径0.76m 深さ0.33m

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 明瞭な掘り方は確認されなかった。

遺物と出土状況 竈穴北部床面上34cmで土師器杯(第38図3)、南壁際床面上2cmで土師器杯(同図2)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片47点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竈穴建物と考えられる。

7-2区101号竈穴建物

(第39図 PL.16 遺物観察表P.256)

グリッド 064~067・-271~273

重複 104号竈穴建物より新しい。202号土坑より新しい。203号土坑との新旧関係は不明。

形状 隅丸の方形と推定される。

規模 長軸3.45m 短軸測定不能 残存壁高0.19m

面積 計測不能

長軸方位 N-22°-W

竈 西壁北寄りに竈を想定し、土層等の記録をしながら掘り進めたが、竈と確定するに至らなかった。

柱穴・壁際溝・貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 明瞭な掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第39図1)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片103点が出土した。

所見 西壁沿いに後出する竈穴を想定し調査を開始したが、床面及び掘り方面で明瞭な建物の形状を記録することはできなかった。範囲内からは7世紀の土師器が出土しており、その時期の竈穴建物を想定したい。

7-2区104号竈穴建物

(第39・40図 PL.16・65 遺物観察表P.256)

グリッド 063~067・-269~273

重複 101号竈穴建物より古い。

形状 隅丸のほぼ方形。

規模 長軸3.80m 短軸推定3.73m 残存壁高0.10m

面積 計測不能

長軸方位 N-25°-W

埋没土 小礫・明黄褐色土塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北壁中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.84m、屋外長0.04m、燃焼部0.52m、焚口幅0.45mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.73m、右側0.69mの長さで張り出し残存していた。竈の解体は著しく進み、構築に使用されたと推定される粘土は、ほとんど残されていなかった。両軸の先端には芯として、左に土師器裏(第40図4)と右に土師器裏(同図5・6)が伏せて立てられており、右の土師器裏の上位には土師器小型裏(同図3)、さらに土師器鉢(同図2)が載せられた状態で出土した。この土師器裏の出土位置によって、敷設された竈の規模が推定できた。燃焼部にあたる部分からも土師器裏の大型破片が出土した。

柱穴 掘り方面の精査で、主柱穴4本を検出した。柱穴はいずれも楕円形で、規模は下記の通りである。

P1 長径0.72m 短径0.55m 深さ0.45m

P2 長径0.65m 短径0.60m 深さ0.28m

P3 長径0.63m 短径0.51m 深さ0.37m

P4 長径0.59m 短径0.47m 深さ0.39m

柱間の距離はP1・P2間が1.70m、P2・P3間が1.66m、P3・P4間が1.70m、P4・P1間が1.76mである。

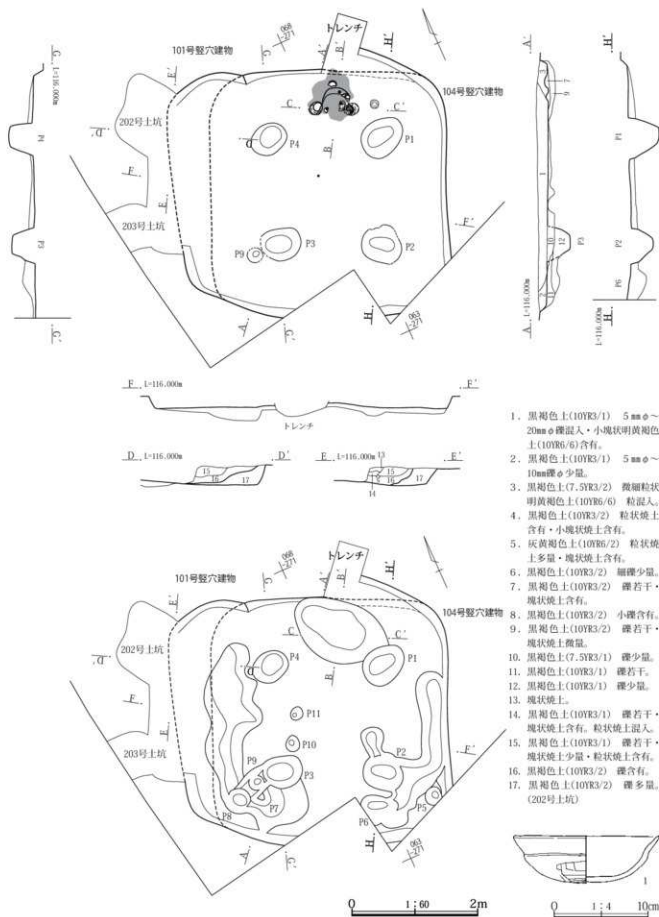
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 北西壁と南東壁沿いに凹地状の掘り方を検出した。また上記の主柱穴は掘り方面精査で検出した。

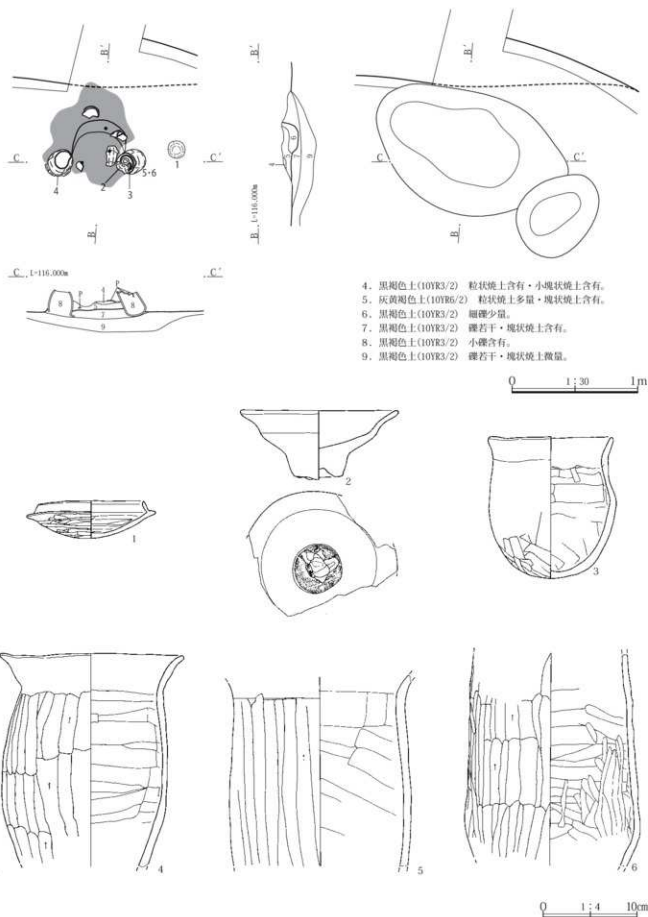
遺物と出土状況 ほとんどの遺物は上記のように竈内で出土したが、竈右脇で須恵器杯完形(第40図1)が床面直上で出土した。この他、埋没土中から土師器破片115点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竈穴建物と考えられる。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 5mm ϕ ~20mm ϕ 礫混入・小块状明黄褐色土(10YR6/6)含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 5mm ϕ ~10mm ϕ 礫少量。
3. 黒褐色土(7.5YR3/2) 微細粒状明黄褐色土(10YR6/6) 粘混入。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 粒状焼土含有・小块状焼土含有。
5. 灰黄褐色土(10YR6/2) 粒状焼土多量・塊状焼土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状焼土含有。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫含有。
9. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状焼土微量。
10. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫少量。
11. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。
12. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
13. 塊状焼土。
14. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状焼土含有。粒状焼土混入。
15. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状焼土少量・粒状焼土含有。
16. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有。
17. 黒褐色土(10YR3/2) 礫多量。(202号土坑)

第39図 7-2区101・104号竪穴建物と101号竪穴建物出土遺物



4. 黒褐色土(10YR3/2) 粒状焼土含有・小塊状焼土含有。
5. 灰黄褐色土(10YR6/2) 粒状焼土多量・塊状焼土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状焼土含有。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫含有。
9. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状焼土微量。

第40図 7-2区104号竪穴建物竪と出土遺物

7-2区102号竪穴建物

(第41・42図 PL.16・17・65 遺物観察表P.256)

グリッド 074~079・-265~270

重複 なし。北西隅と南壁中央部が後世の掘削によって壊されている。

形状 南北方向に長いやや長方形

規模 長軸4.49m 短軸4.16m 残存壁高0.17m

面積 14.94㎡ **長軸方位** N-14°-E

埋没土 小礫や塊状の明黄褐色土を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁の中央わずかに南寄りに竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.43m、屋外長0.86m、燃焼部長0.45m、焚口幅0.48mで、燃焼部奥は0.10mの緩やかな段差があり、その奥は0.99mの煙道が残されていた。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.57m、右側0.58mの長さで張り出し残存していた。左右とも袖の先端には芯として板状の亜角礫が壁状に立てられていた。また、焚口部竈使用面直上には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ49cm、幅32cm、厚さ9cm)が残されていた。

竈の右側には貯蔵穴の上位にかけて、多くの土器が出土した。竈右床面上7cmで土師器小型甕(第42図9)が、左脇壁際床面上12cmで土師器杯(同図3)が出土した。

柱穴 床面の精査で、支柱穴4本を検出した。柱穴はいずれも楕円形で、規模は下記の通りである。

P 1 長径0.47m 短径0.29m 深さ0.46m

P 2 長径0.36m 短径0.35m 深さ0.50m

P 3 長径0.50m 短径0.42m 深さ0.38m

P 4 長径0.42m 短径0.33m 深さ0.44m

柱間の距離はP 1・P 2間が2.25m、P 2・P 3間が2.40m、P 3・P 4間が2.30m、P 4・P 1間が2.48mである。

P 4底面上6cmで土師器鉢(第42図8)が出土した。

壁際溝 北壁中央部と東壁に南半部を除いて、幅10~12cm、深さ6~13cmほどの壁際溝を検出した。

貯蔵穴 南東隅で長径0.59cm、短径0.49m、深さ0.31mの楕円形の貯蔵穴が検出された。貯蔵穴内から土器は出土しなかった。いずれも上層の埋没土中から出土したものである。

掘り方 四周の壁に沿って、幅0.50~0.80mの帯状の掘り方が掘り込まれていた。南壁の中央部は掘削があり、

掘り方が連続していたかどうかは不明である。また、支柱穴P 3・P 4のほぼ中央にP 6(長径0.23m、短径0.18m、深さ0.11m)を検出した。

遺物と出土状況 土師器杯(第42図4)が西壁際床面上7cmで出土した。南東隅には埋没土中に投棄された状態で土師器杯(同図1・2)、土師器甕か(同図10・11)、土師器杯か(同図5)、土師器高杯(同図6・7)がまとまって出土した。また、棒状礫(同図12・13)が中央部床面直上、竈前床面上7cmでもう1点出土した。その他、埋没土中から土師器破片211点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

7-2区103号竪穴建物

(第43~45図 PL.17・67 遺物観察表P.257)

グリッド 067~072・-263~267

重複 178号土坑、179号土坑より古い。

形状 南北方向に長い長方形

規模 長軸5.17m 短軸4.55m 残存壁高0.25m

面積 21.00㎡ **長軸方位** N-1°-W

埋没土 埋没土下層は細かな礫を含む黒褐色土で床面が覆われており、上層にはやや大きな礫を多量に含む黒褐色土が堆積していた。特に中央部に礫が集中して出土した。

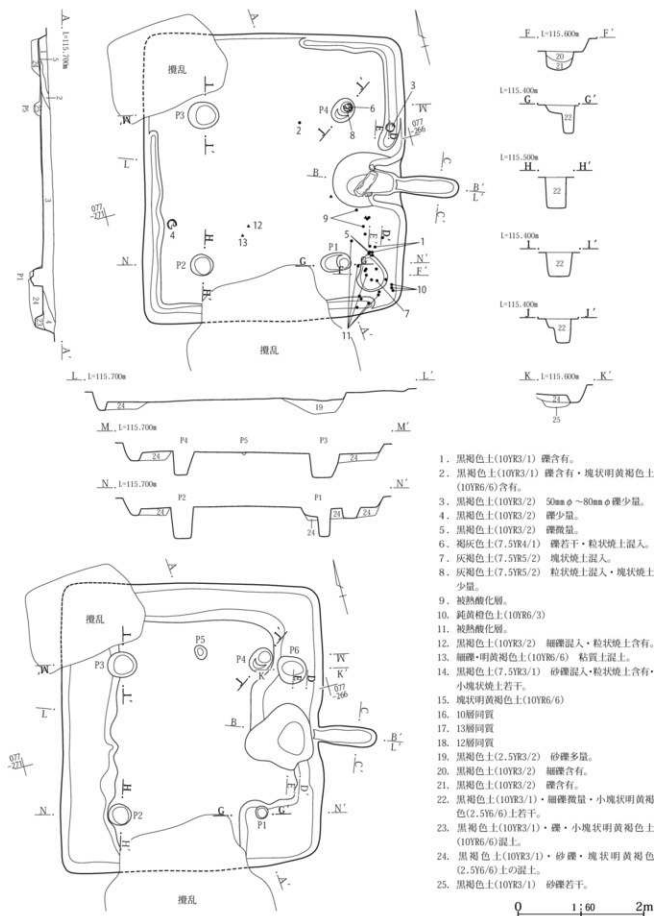
竈 東壁の中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.74m、屋外長0.05m、燃焼部長0.74m、焚口幅0.46mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.71m、右側0.68mの長さで張り出し残存していた。左右とも袖の先端には芯として板状の亜角礫が壁状に立てられていた。また、焚口部竈使用面からやや浮いた位置で竈構築材の一部と推定される大型板状礫が2片に割れた状態で出土した。竈左側の床面上8cmで出土した板状礫と、竈左前床面上3cmで出土した板状礫もその破片と推定される。全体の大きさは長さ60cm、幅20cm、厚さ6cmと推定される。

竈燃焼部には使用面直上16cmで土師器甕(第45図13)が横たわった状態で出土した。竈左脇では楕円形皿状の土師器杯(第44図6)が床面上6cmで出土した。

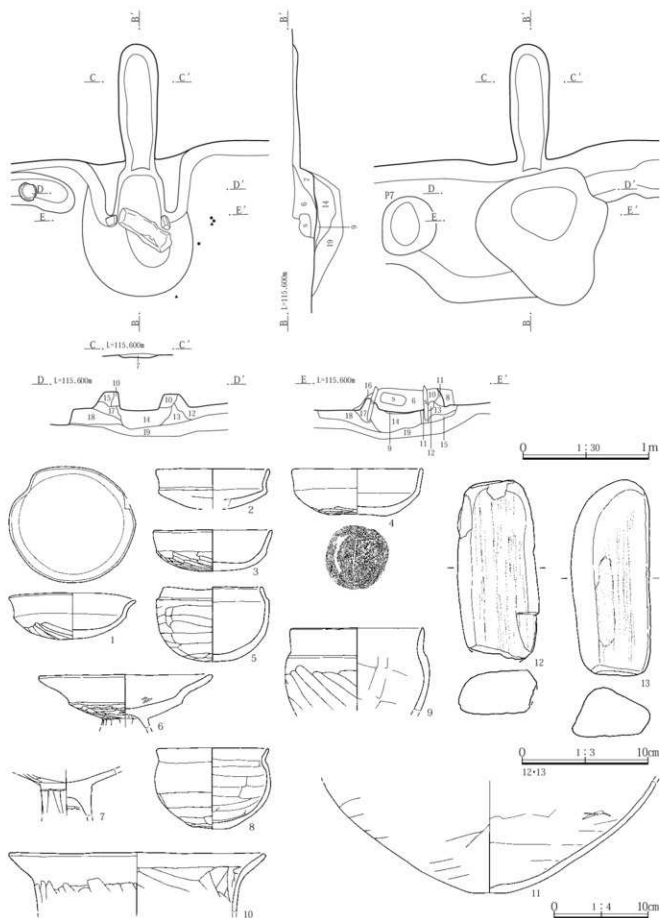
柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 住居南東隅に長径0.53m、短径0.45m、深さ

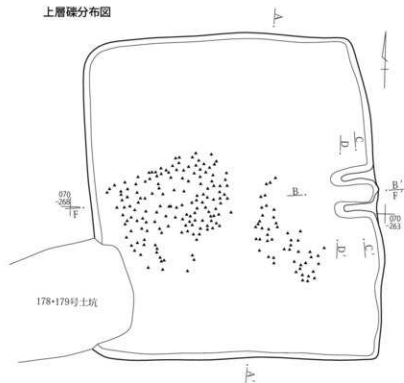


第41図 7-2区102号竪穴建物

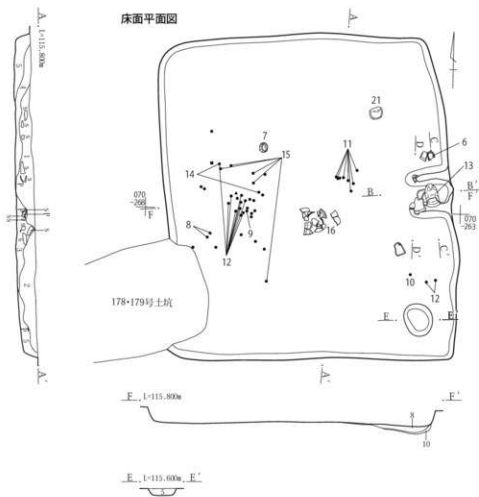


第42图 7-2区102号竖穴建物窟と出土遺物

上層礫分布図



床面平面図



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫多量(200mm ϕ ~ 250mm ϕ 含有)。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量(20mm ϕ ~ 50mm ϕ 含有)。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 礫主体(100mm ϕ ~ 200mm ϕ 含有)。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有(20mm ϕ ~ 50mm ϕ 含有)。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫微量。

0 1:60 2m

第43図 7-2区103号竪穴建物

0.12mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。北壁には床面上1.6cmで土師器杯(第44図2)、床面直上で土師器小型甕(同図10)が出土した。

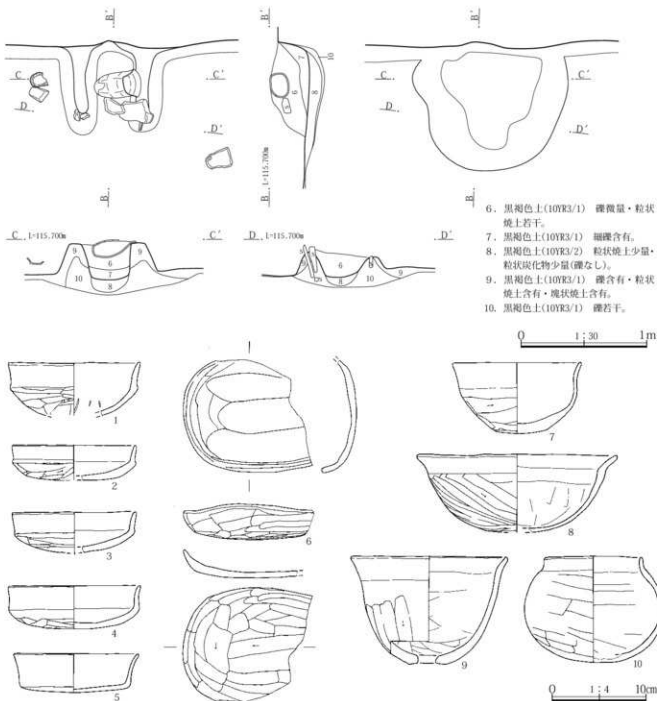
掘り方 明瞭な掘り方は竈以外では確認できなかった。

遺物と出土状況 竈前床面上2cmで土師器甕(第45図11)が、中央部床面上2cmで土師器甕(同図16)が出土した。ほぼ完形の土師器鉢か(第44図7)は中央部床面上5cmで出土した。土師器鉢(同図8)、土師器甕(第45図12・14・15)、土師器有孔鉢(第44図9)は、西部の床面上5

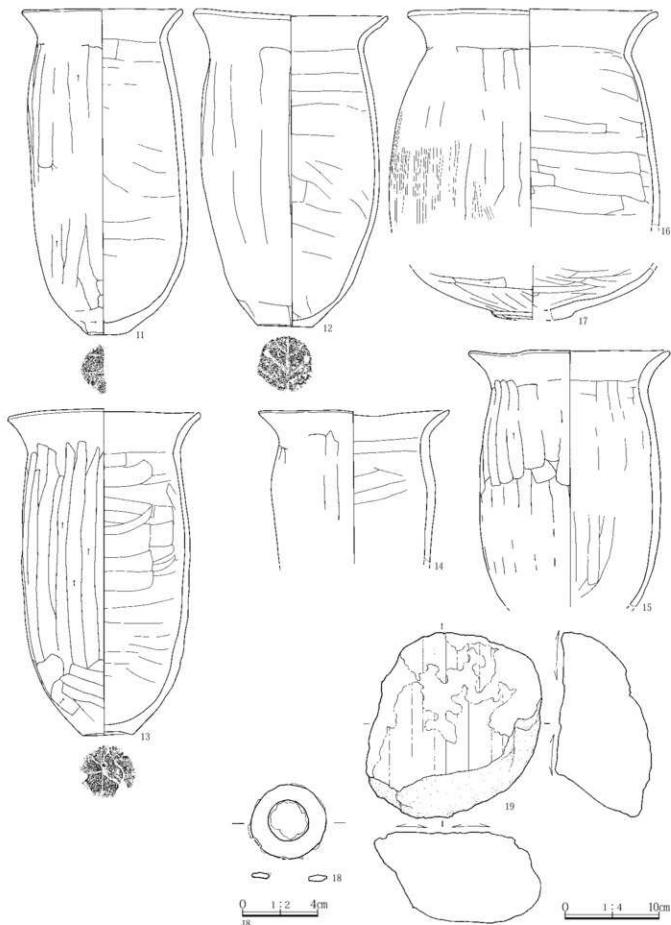
~15cmで出土した。また、北東部床面上7cmで牛伏砂岩製台石(第45図19)、西部から二次加工ある剥片と不規則製品(同図18)が出土した。

埋没土中から、土師器杯(第44図1・3・4・5)、土師器甕(第45図17)、石罫(第196図5)、棒状礫(同図6・7)が出土した。石罫、石棒礫は縄文時代の遺物であり混入である。この他、埋没土中から土師器破片32点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第44図 7-2区103号竪穴建物竈と出土遺物(1)



第45図 7-2区103号整穴建物出土遺物(2)

8-2区76号竪穴建物

(第46図 PL.17・18 遺物観察表P.257)

グリッド 098~102・-190~-196

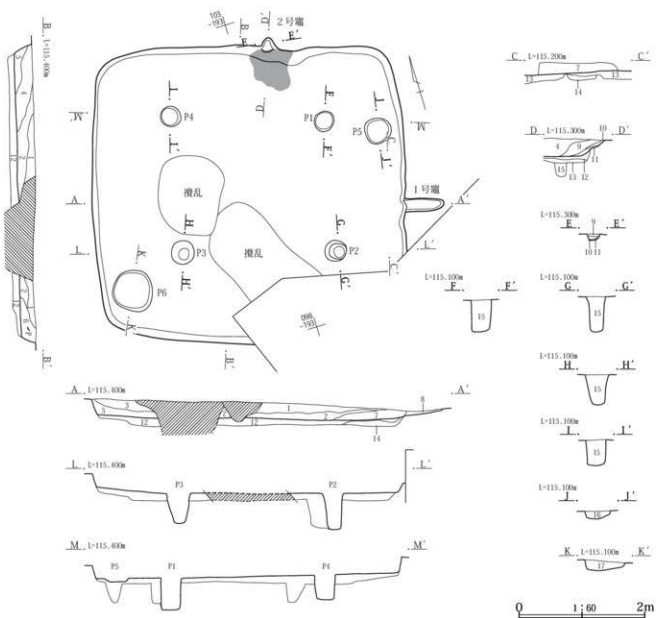
重複 なし。南東部は既存施設の保全のため調査できなかった。

形状 東西方向にやや長い長方形

規模 長軸4.97m 短軸4.75m 残存壁高0.20m

面積 計測不能 長軸方位 N-73°-W

埋没土 小礫や塊状の明黄褐色土を含む黒褐色土で埋まっていた。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土若干。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土少量・粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土若干。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土微量。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・粗粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土微量。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 小塊状土含有。
9. 黒褐色土(10YR3/2) 塊状焼土多量・粒状炭化物含有。
10. 塊状焼土主体。
11. 黒褐色土(10YR3/2)・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土の混入。
12. 塊状焼土主体。
13. 塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土・塊状焼土の混入。
14. 黒褐色土(10YR3/2) 礫極微量・粒状焼土混入。
15. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土若干・粒状明黄褐色(2.5Y6/6)少量。
16. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土少量。
17. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土少量。

第46図 8-2区76号竪穴建物

竈 東壁中央やや南側に1号竈、北壁中央やや東側に2号竈を検出した。残存状況から1号竈が古く、その廃棄後2号竈を再築したものと推定される。

1号竈は床面では屋外の掘り込みのみ確認された。屋外長は0.60mである。掘り方面では両袖部ともに袖上に掘り残された地山粘質土の一部と焼土の広がりが検出された。

2号竈の残存する規模は確認長0.78m、屋外長0.12mで、両袖の残存は明確でなく、縦横0.35mの楕円形の範囲に焼土分布が確認されたのみである。

柱穴 床面の精査で、主柱穴4本を検出した。柱穴はいずれも楕円形で、規模は下記の通りである。

P 1 長径0.33m 短径0.31m 深さ0.51m

P 2 長径0.34m 短径0.34m 深さ0.57m

P 3 長径0.37m 短径0.36m 深さ0.52m

P 4 長径0.32m 短径0.33m 深さ0.41m

柱間の距離はP 1・P 2間が2.14m、P 2・P 3間が2.48m、P 3・P 4間が2.20m、P 4・P 1間が2.46mである。

壁際溝 床面では確認できなかったが、掘り方面で北東隅に幅15cm、深さ7～13cmほどの壁際溝を検出した。

貯蔵穴 床面では検出されなかった。

掘り方 主柱穴P 1・P 2・P 4の周囲および2号竈の左右壁際に掘り込みを確認した。また西壁沿いで0.57～0.72m内側に2～4cmの、南壁沿いにも0.45m内側に3～5cmの段を検出した。これらの位置関係からすると、このL字形の段と主柱穴P 1・P 2・P 4の周囲のピットは、1号竈使用時の竪穴の壁と主柱穴であった可能性がある。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第47図1)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片97点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。本建物は掘り方面で検出したピットと段の存在から、1号竈を壊した後、北壁・東壁はそのままで西・南に拡張して建て替えた可能性がある。

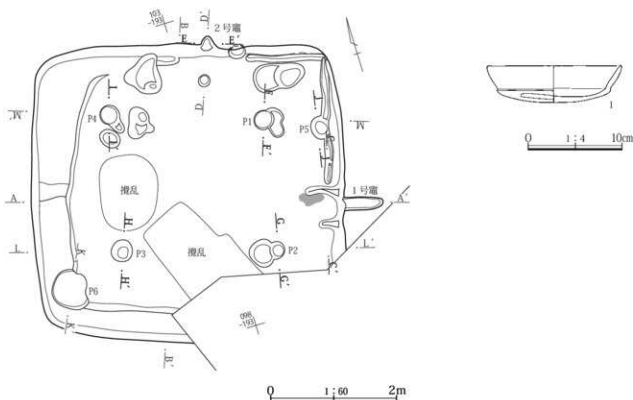
8-2区77号竪穴建物

(第48図 PL.18・68 遺物観察表P.257)

グリッド 092～097・-228～-234

重複 なし。

形状 東西方向に長い台形。北東壁に比べ、南西壁が長



第47図 8-2区76号竪穴建物掘り方と出土遺物

く不定形となった。

規模 長軸4.85m 短軸4.18m 残存壁高0.10m

面積 16.47㎡ **長軸方位** N-62°-E

埋没土 小礫や塊状の明黄褐色土を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北西壁の中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.04m、屋外長0.54m、燃燒部長0.68m、焚口幅0.55mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側はなく、右側には0.38mの長さでかすかに残存していた。焼土等の残存も不良であった。

柱穴 床面の精査で、西部で不定楕円形のP1(1.0m×0.69m×0.18m)、南部で隅丸方形のP2(0.44m×0.40m×0.09m)を検出したが、位置や深さからすると柱穴とはいえない。

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

掘り方 明瞭な掘り方は竈以外では確認できなかった。

遺物と出土状況 中央部床面上7cmで土師器杯(第48図1)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片40点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

8-2区105号竪穴建物

(第49図 PL.18 遺物観察表P.257)

グリッド 087~091・-229~-233

重複 231号土坑

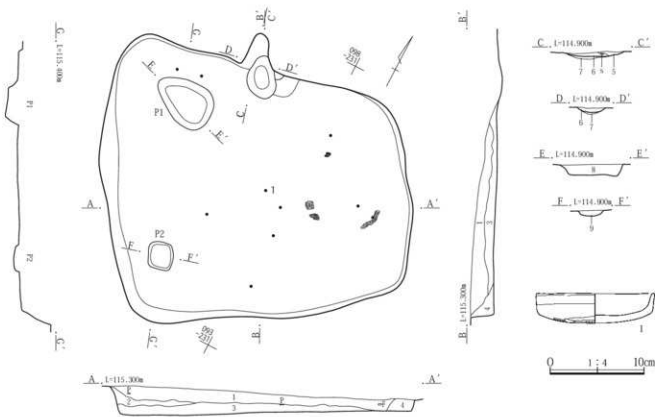
形状 東西に長い隅丸長方形

規模 長軸3.76m 短軸2.93m 残存壁高0.15m

面積 8.83㎡ **長軸方位** N-76°-E

埋没土 礫を多く含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 なし。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 20mmφ~50mmφ礫混入・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有・粗粒状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 20mmφ~50mmφ礫含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 20mmφ~50mmφ礫少量・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土多量。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 5mmφ~10mmφ礫含有。

5. 塊状焼土主体。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 塊状焼土含有・細礫含有。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫混入・粒状焼土少量。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量。
9. 黒褐色土(10YR3/2) 5mmφ~10mmφ礫若干。

0 1:60 2m

第48図 8-2区77号竪穴建物と出土遺物

柱穴 床面の精査で、北部で円形の P 1 (0.45m×0.45m×0.27m)、南部で楕円形の P 2 (0.80m×0.43m×0.23m)を検出した。位置からすると柱穴の可能性もあるが、浅いので柱穴と断定できなかった。

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

掘り方 明瞭な掘り方は確認できなかった。

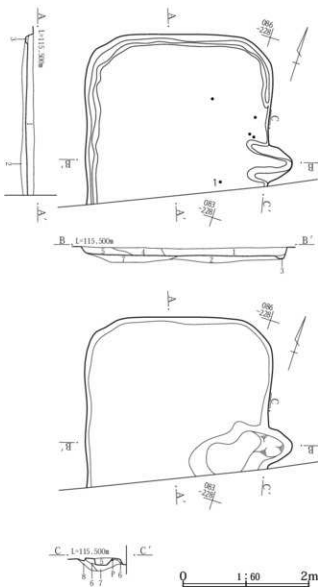
遺物と出土状況 埋没土中から、土師器杯(第49図1)土師器小型甕(同図2)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片16点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。竈がなく2本柱穴の可能性のある建物であり、住居とは別の用途であろう。

8-2区106号竪穴建物

(第50図 PL.18・19 遺物観察表P.258)

グリッド 082~085・-227~-230



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫若干。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・粒状焼土若干。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・粒状焼土微量。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・細礫含有。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫混入・礫少量・粒状焼土若干。
8. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫含有。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫多量。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 100mmφ~150mmφ礫含有・50mmφ~80mmφ礫含有。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫含有。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫多量。

第49図 8-2区105号竪穴建物と出土遺物

第50図 8-2区106号竪穴建物と出土遺物

重複 なし。

形状 南半部が調査区域外となることから全形は判明しなかったが、南北に長い長方形と推定される。

規模 東西軸2.95m 南北軸(2.61)m 残存壁高0.17m

面積 計測不能 長軸方位 N-70°-E

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.75m、屋外長0.38m、燃燒部長0.75m、焚口幅0.50mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.38m、右側0.33mの長さで張り出し残存していた。焼土や竈構築に使われた粘土の残存状況は不良である。竈前には床面直上で土師器杯(第50図1)が出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁際溝 東壁の竈北0.6mのところから、北壁、西壁沿いに、幅10~17cm、深さ2~5cmの壁際溝が検出された。

貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ0.1mほどの掘り方充填土が確認された。楕円形の竈の掘り方の他、土坑状の掘り込みは認められなかった。

遺物と出土状況 竈周辺に遺物が出土した。埋没土中から土師器破片18点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

8-2区107号竪穴建物

(第51図 PL.19)

グリッド 084~087・-224~226

重複 なし。

形状 南部・東部が調査区域外となることから全形は判明しなかった。方形であることは推定できる。

規模 東西軸(2.62)m 南北軸(2.58)m

残存壁高0.19m

面積 測定不能

長軸方位 N-74°-E

埋没土 礫と明黄褐色土を含む黒褐色土で埋まっていた。

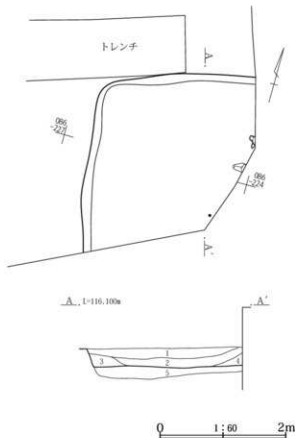
竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土若干。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・小塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土多量。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)土含有。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・塊状ローム土少量。

第51図 8-2区107号竪穴建物

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片13点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

8-2区108号竪穴建物

(第52図 PL.19 遺物観察表P.258)

グリッド 098~104・-201~206

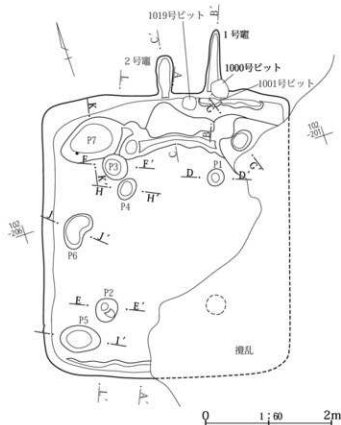
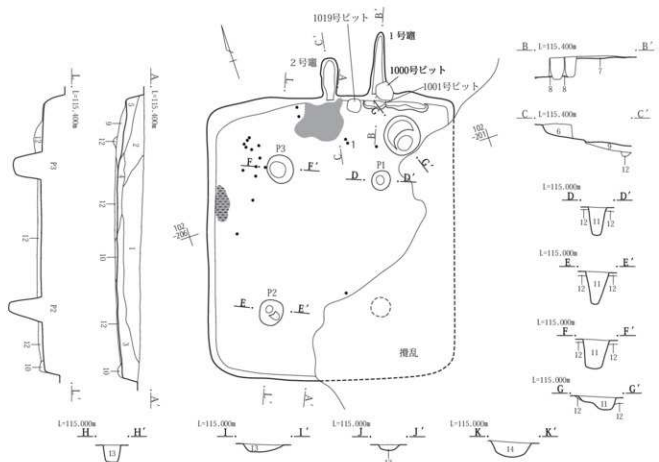
重複 1000号・1001号ピットより古い。

形状 南部が後世の掘乱で壊されていたことから全形は判明しなかったが、南北方向にやや長い長方形である。

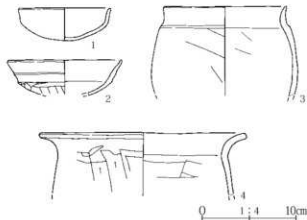
規模 長軸4.48m 短軸3.90m 残存壁高0.31m

面積 計測不能 長軸方位 N-18°-E

埋没土 礫と塊状のローム土を含む黒褐色土で埋まっていた。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・粒状ローム土少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・塊状ローム土混入。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・塊状ローム土含有・粒状炭化物若干。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・小塊状ローム土混入。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・塊状焼土少量。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 粒状焼土混入・塊状焼土混入。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・粒状焼土若干。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・塊状ローム土混入。
9. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫無し・塊状ローム土含有。
10. 塊状ローム土主体。
11. 黒褐色土(7.5YR3/1) ローム粒含有・塊状ローム土含有。
12. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫若干・粒状焼土少量。
13. 灰褐色土(7.5YR4/2) 塊状ローム土少量。
14. 灰褐色土(7.5YR4/2) 塊状ローム土少量・粒状焼土少量。



第52図 8-2区108号竈建物と出土遺物

竈 北壁中央より0.76m東に1号竈、北壁中央に2号竈が敷設されていた。当初は1号竈が使用されていたが、2号竈に造り替えたと見られる。

残存する1号竈の規模は確認長1.09m、屋外長1.00m、燃焼部や焚口は残っていないかった。

新設された2号竈の残存規模は確認長0.66m、屋外長0.61m、袖や燃焼部、焚口は明瞭に残存しておらず、0.60m×0.80mの不定形の範囲に焼土が残存していたのみである。竈前には床面直上で土師器杯(第52図1)が出土した。

柱穴 床面の精査で、主柱穴3本を検出した。全体としては4本柱穴と推定されるが南東隅の1本は攪乱のため検出できなかった。柱穴はいずれも楕円形で、規模は下記の通りである。

P 1 長径0.32m 短径0.30m 深さ0.44m

P 2 長径0.41m 短径0.37m 深さ0.54m

P 3 長径0.46m 短径0.42m 深さ0.47m

柱間の距離はP 2・P 3間が2.33m、P 3・P 1間が1.61mである。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 北東隅に長径0.61m、短径0.57m、深さ0.22mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。

掘り方 厚さ10cmほどの充填土の下位に掘り方面を検出した。西壁に沿って3基の土坑状の掘り込みが認められた。

遺物と出土状況 埋没土中から、土師器杯(第52図2)、土師器甕(同図4)、土師器小型甕(同図3)と、土師器破片178点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

8-2区109号竪穴建物

(第53図 PL.19)

グリッド 104・-203~206

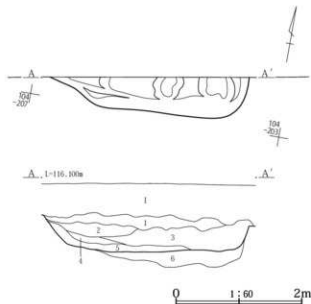
重複 なし。

形状 竪穴の大半が調査区域外となることから全形は判明しなかった。かろうじて検出された南壁の形状からすれば方形と推定される。

規模 東西軸3.07m 南北軸(0.58)m 残存壁高0.18m

面積 測定不能 **長軸方位** N-82°-E

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていたが、東半部には塊状ローム土が多く堆積していた。



1. 宅地造成以前の表土層(耕作土) 褐色土(5YR4/1) 白色軽石含有・細粒礫含有。
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入・粒状ローム土混入。
2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫混入・粒状ローム土混入・塊状ローム土含有。
3. 塊状ローム土主体・黒褐色土の混入。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・粒状ローム土少量・粒状炭化物若干。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土含有。
6. 塊状ローム土主体・黒褐色土少量。

第53図 8-2区109号竪穴建物

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 塊状ローム土を主体とする厚さ20cmの掘り方充填土が土層断面で確認できた。

遺物と出土状況 埋没土中から、土師器破片3点が出土したのみである。

所見 出土遺物がなく、時期は不明である。

8-2区110号竪穴建物

(第54図 PL.19・20 遺物観察表P.258)

グリッド 090~093・-208~213

重複 なし。

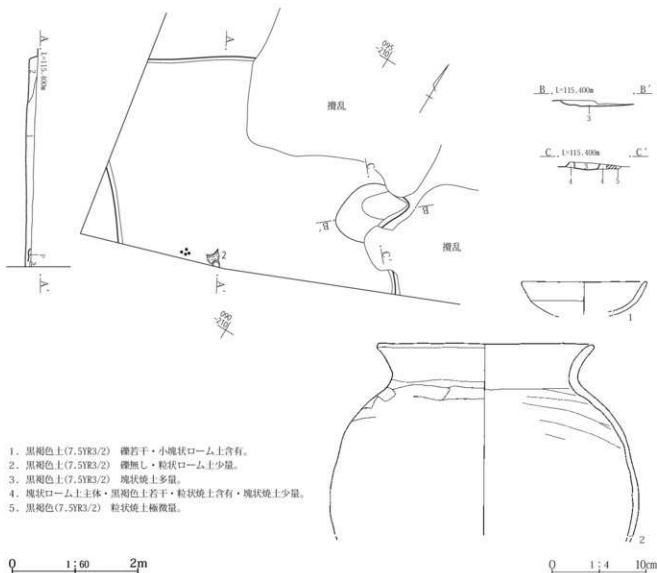
形状 竪穴の南半部と北西隅が調査区域外となっており、北隅も後世の攪乱で壊されていたが、南北方向にやや長い長方形と推定される。

規模 東西軸4.25m 短軸(3.37)m 残存壁高0.09m
面積 測定不能 **長軸方位** N-58°-E
埋没土 少量の礫と小塊状ローム土を含む黒褐色土で埋まっていた。
竈 北東壁に竈が敷設されていた。ほとんどが削平されており、痕跡を記録した。
柱穴 床面の精査では確認されなかった。
壁際溝 なし。
貯蔵穴 調査できた範囲では確認されなかった。
掘り方 明瞭な掘り方は竈以外では確認できなかった。
遺物と出土状況 南部床面上6cmで土師器甕(第54図2)が、埋没土中から土師器杯(同図1)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片41点が出土した。
所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

8-2区120号竪穴建物

(第55・56図 PL.20・68 遺物観察表P.258)

グリッド 093~097・-217~-221 **重複** なし。
形状 竪穴の東隅が調査区域外となっているが、東西方向にやや長い長方形である。
規模 長軸3.37m 短軸2.96m 残存壁高0.20m
面積 9.03㎡ **長軸方位** N-66°-E
埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。
竈 北西壁のほぼ中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.43m、屋外長0.34m、燃燒部長0.43m、焚口幅0.40mで、燃燒部奥は0.27mの明確な段差があった。屋内には粘土を貼り付けた袖構造が認められなかったが、左右に長さ23cmの棒状礫が1本ずつ立てられており、袖の芯材として据えたものと推定される。その



1. 黒褐色土(7.5YR3/2) 礫若干・小塊状ローム土含有。
2. 黒褐色土(7.5YR3/2) 礫無し・粒状ローム土少量。
3. 黒褐色土(7.5YR3/2) 塊状焼土多量。
4. 塊状ローム土主体・黒褐色土若干・粒状焼土少量。
5. 黒褐色土(7.5YR3/2) 粒状焼土極微量。

第54図 8-2区110号竪穴建物と出土遺物

棒状礫の上位には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ46cm、幅17cm、厚さ15cm)が残されていた。石材はデイサイト凝灰岩である。

竈燃焼部の左側には土師器杯(第56図3)が中に入った状態で土師器甕(同図11)、右側には土師器甕(同図10)が礫に載った状態で2個体並んで出土した。その右脇には土師器鉢(同図4)が斜位で竈掘り方充填土あるいは崩落土中から出土した。また竈左脇にはほぼ完形の土師器杯が2個体(同図1・2)床面直上で出土した。竈前には土師器甕(同図12)の破片が散在していた。

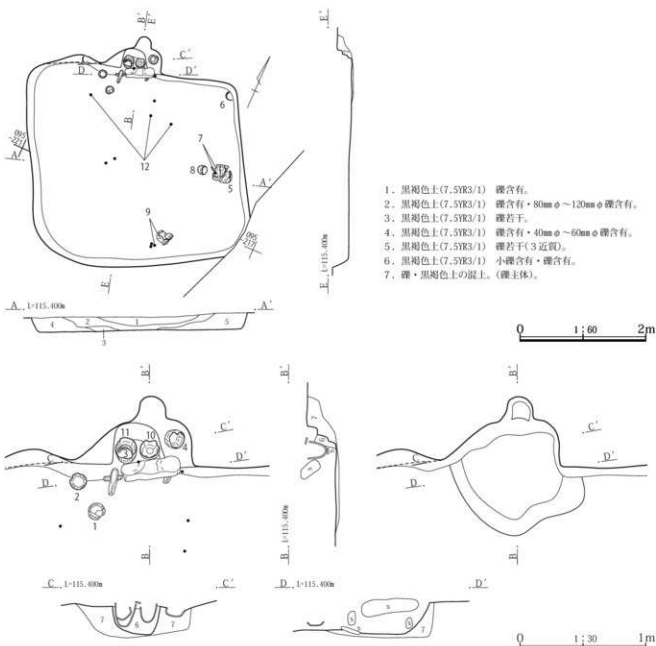
柱穴 床面の精査では確認されなかった。

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

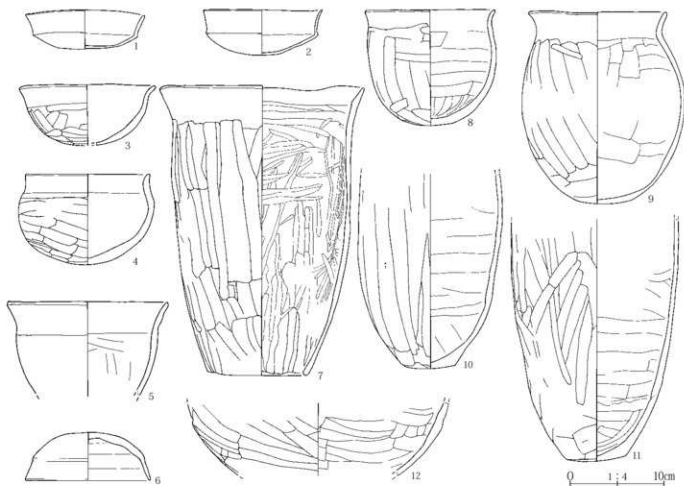
掘り方 明瞭な掘り方は竈以外では確認できなかった。

遺物と出土状況 竈周辺および東壁・南壁沿いに完形に近い土器が出土した。北壁隅で須恵器蓋(第56図6)が床面直上で出土した。北東壁際で土師器小型甕(同図8)が床面直上で、床面直上の土師器有孔鉢(同図5)の上にはほぼ完形の土師器甕(同図7)が重なって出土した。南東壁沿いでは土師器甕(同図9)が床面上3cmで出土した。この他、埋没土中から土師器破片131点、塊状の鉄滓1点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第55図 8-2区120号竪穴建物



第56図 8-2区120号竪穴建物出土遺物

8-2区121号竪穴建物

(第57図 PL.20・21・68 遺物観察表P.258)

グリッド 099～103・-208～214

重複 なし。

形状 竪穴の北西部が調査区域外となることから全形は判明しなかった。検出された形状からすれば正方形と推定される。

規模 長軸4.83m 短軸(3.77)m 残存壁高0.26m

面積 計測不能 長軸方位 N-67°-E

埋没土 礫やローム粒を含有する黒褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は屋外の長さ1.21m、幅0.47mの標道部のみで、燃焼部や袖は残存していなかった。壁際溝が掘られていることから、東壁の竈が壊されて、竈が北壁に造り直されている可能性もある。竈前床面上29cmで土師器羽釜(第57図7)が出土した。

柱穴 床面の精査で、主柱穴4本を検出した。柱穴は円形あるいは楕円形で、規模は下記の通りである。

P 1 長径0.39m 短径0.39m 深さ0.21m

P 2 長径0.45m 短径0.33m 深さ0.24m

P 3 長径0.36m 短径0.35m 深さ0.24m

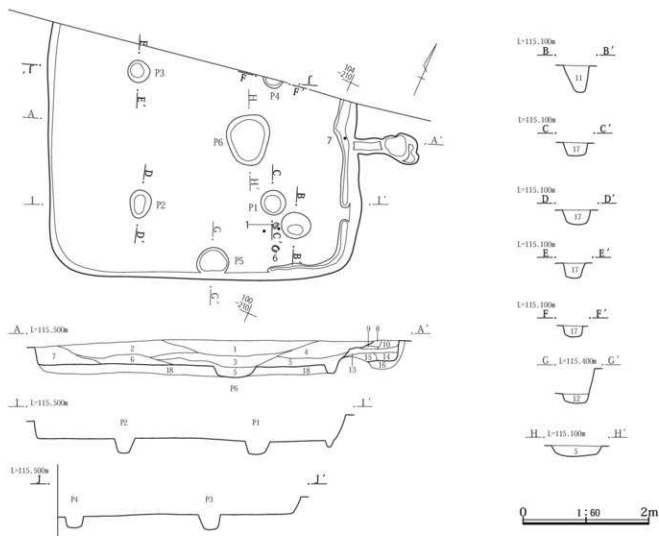
P 4 長径0.32m 短径 不明 深さ0.17m

柱間の距離はP 1・P 2間が2.10m、P 2・P 3間が2.10m、P 3・P 4間が2.12m、P 4・P 1間が2.10mである。

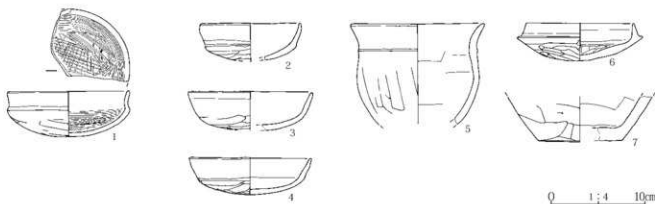
壁際溝 北東壁から東隅、南東壁にかけての壁際に、幅10～18cm、深さ1～15cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 竪穴東隅に長径0.47m、短径0.42m、深さ0.42mの貯蔵穴が検出された。貯蔵穴南東脇には土師器杯(第57図1)が床面上6cmで、須恵器杯(同図6)が床面上23cmで出土した。

また、竪穴中央部に長径0.79m、短径0.66m、深さ0.18mの楕円形の土坑(P 6)と、南東壁中央の壁際に長径



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土若干・粒状ローム土含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・粗粒状ローム土若干。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・粒状炭化物少量。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・小塊状ローム土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・100mm ϕ ~150mm ϕ 礫含有。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・粗粒状ローム土含有。
9. 塊状ローム土 粒状焼土少量。
10. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫極微量・粒状ローム土若干・粒状焼土若干。
11. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム土若干・粒状ローム土含有。
12. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量。
13. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫極微量。
14. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫極微量・塊状ローム土少量。
15. 塊状ローム土(改築前の煙道天井崩落土)。下面是非難煙道武面。
16. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・粒状ローム土含有・粒状焼土少量。
17. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状ローム土少量。
18. 黒褐色土(10YR3/1)・礫・塊状ローム土の混上。



第57図 8-2区I21号竪穴建物と出土遺物

0.50m、短径0.47m、深さ0.15mの楕円形の土坑(P5)が床面で検出された。

掘り方 厚さ17cmの掘り方充填土を確認した。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第57図2・3・4)と土師器鉢か(同図5)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片220点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀の竪穴建物と考えられる。

8-2区122号竪穴建物

(第58図 PL.21・68 遺物観察表P.259)

グリッド 097~100・-221~-225

重複 なし。

形状 やや東辺が長い台形

規模 長軸2.95m 短軸2.74m 残存壁高0.13m

面積 7.15㎡ **長軸方位** N-78°-E

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北壁に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.59m、屋外長0.17m、燃焼部長0.59m、焚口幅0.49mで、焼土や竈構築に使われた粘土はほとんど残存していなかった。焚口部にあたると推定される位置から土師器甕(第58図5)の口縁部破片が出土した。

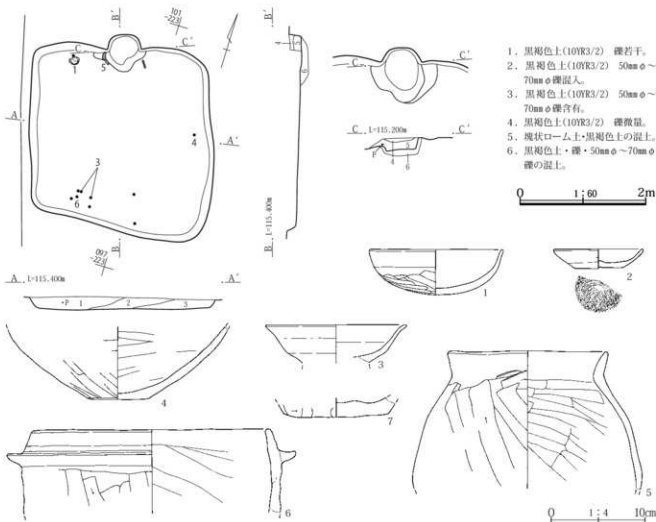
柱穴 床面の精査では確認されなかった。

壁際溝 なし。 **貯蔵穴** なし。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 北西隅床面上13cmで土師器杯(第58図1)が、南西部で土師器甕か(同図4)が床面上12cm、土師器羽釜(同図6)が床面上12cmで出土した。東壁中央部壁際の床面上4cmで須恵器椀(同図3)が出土した。1は混入である。埋没土中から須恵器杯(同図2)、土師器羽釜(同図7)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片40点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から10世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第58図 8-2区122号竪穴建物と出土遺物

9区38号竪穴建物

(第59～61図 PL.21・22・69 遺物観察表P.259)

グリッド 068～073・227～232

重複 なし。

形状 東西方向がやや長い長方形

規模 長軸4.04m 短軸3.70m 残存壁高0.38m

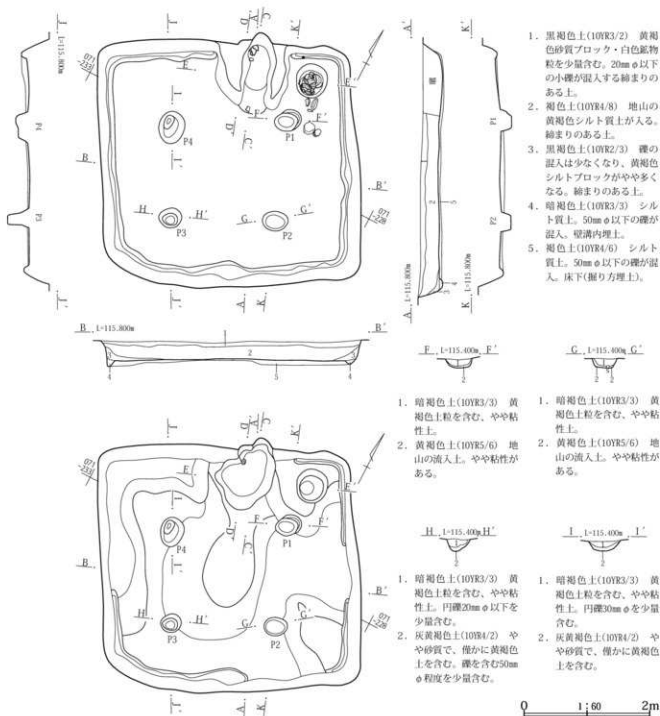
面積 10.68㎡ 長軸方位 N-63°-E

埋没土 上層は黄褐色砂質土塊、白色鉱物粒を少量含む

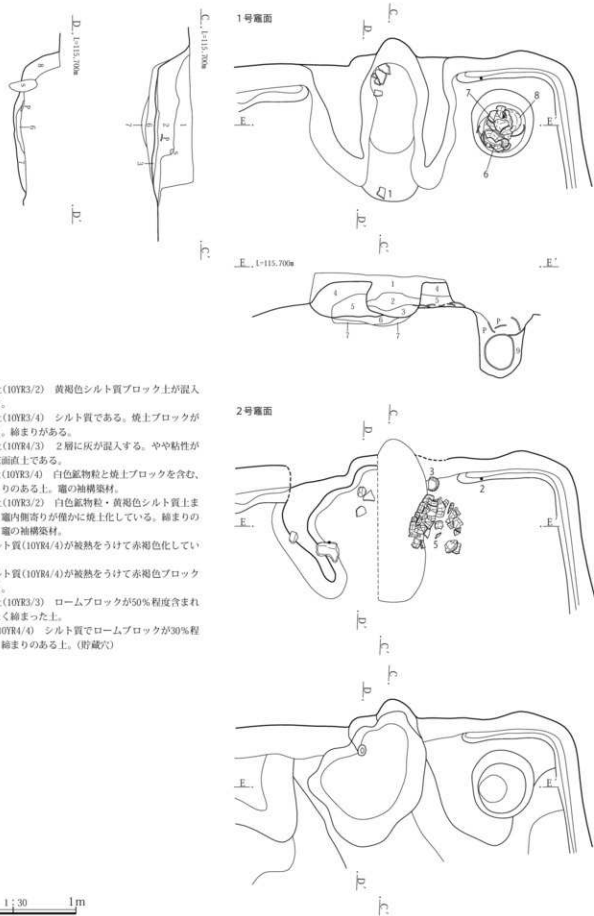
黒褐色土で、下層は黄褐色シルト質土を含む褐色土で埋まっていた。

竈 北西壁中央よりやや東側に竈が敷設されていた。本建物居住時に西から東へずらして竈を1回造り替えている。新しい竈を1号竈、古い竈を2号竈と呼ぶ。

1号竈は、残存する規模は確認長1.29m、屋外長0.16m、燃焼部長1.29m、焚口幅0.50mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側1.01m、右側1.04mの長さで



第59図 9区38号竪穴建物



1. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色シルト質ブロック土が混入している。
2. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質である。焼土ブロックが混入する。締まりがある。
3. 暗灰色土(10YR4/3) 2層に灰が混入する。やや粘性がある。床面直上である。
4. 暗褐色土(10YR3/4) 白色鉱物粒と焼土ブロックを含む。硬く締まりのある土。竈の袖構築材。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒・黄褐色シルト質土まじりで、竈内側寄りが僅かに焼土化している。締まりのある土。竈の袖構築材。
6. 褐色シルト質(10YR4/4)が被熱をうけて赤褐色化している。
7. 褐色シルト質(10YR4/4)が被熱をうけて赤褐色ブロック状にある。
8. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックが50%程度含まれる。かたく締まった土。
9. 褐色土(10YR4/4) シルト質でロームブロックが30%程度入る。締まりのある土。(貯蔵穴)

第60図 9区38号竪穴建物竈

張り出し残存していた。焚口部使用面直上で土師器杯(第61図1)が出土した。また、右脇床面直上で土師器杯(同図3)が出土した。

2号竈は左半分の袖下部と使用面が残存しているのみであった。1号竈の右袖部下には2号竈使用時にその右脇にあたる位置に土師器甕(同図5)が押しつぶされたような状態で出土した。

柱穴 床面で主柱穴4本が検出された。4本を結んだ線は正方形でなく、東側のP2がやや西にずれており台形である。したがってP1・P2間とP2・P3間の柱通りは直交しないことになる。主柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.43m 短径0.34m 深さ0.18m

P2 長径0.40m 短径0.33m 深さ0.16m

P3 長径0.35m 短径0.33m 深さ0.34m

P4 長径0.52m 短径0.41m 深さ0.19m

柱間の距離はP1・P2間が1.57m、P2・P3間が1.68m、P3・P4間が1.57m、P4・P1間が1.88m

である。

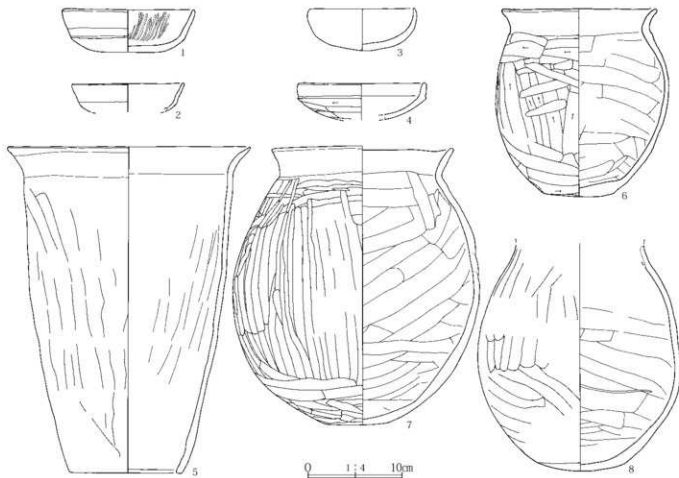
壁際溝 幅8~17cm、深さ5~9cmの壁際溝が全周していた。

貯蔵穴 北側の1号竈右脇に、長軸0.54m、短軸0.52m、深さ0.51mのほぼ円形の貯蔵穴が掘られていた。貯蔵穴内には完形に近い土師器3個体が埋まっていた。底面上6cmに土師器甕(第61図7)が完形で、その上に土師器甕(同図6)と土師器杯(同図8)が重なって出土した。貯蔵穴の北壁際溝内には土師器杯(同図2)が出土した。

掘り方 中央部で厚さ5cm、壁際周縁部で10cmの掘り方充填土の下に掘り方向を検出した。中央部は平坦であったが、壁際周縁部は幅1.4mほどが壁に沿って深く掘り込まれていた。

遺物と出土状況 前述したように竈と貯蔵穴に集中して遺物が出土した。埋没土中から土師器杯(第61図4)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片156点、二次加工ある剥片1点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第61図 9区38号竪穴建物出土遺物

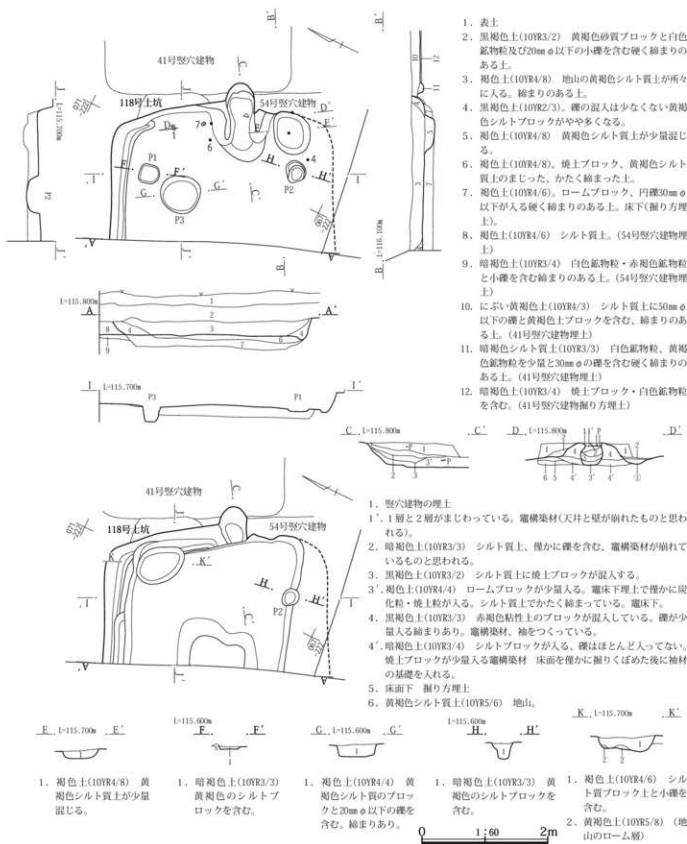
9区39号竪穴建物

(第62・63図 PL.22・23・69 遺物観察表P.259)

グリッド 067~070・220~223

重複 41号竪穴建物、54号竪穴建物より新しく、118号土坑より古い。

形状 西側は既存道路の保全のため、南側は54号竪穴建



第62図 9区39号竪穴建物

物との重複で全形を把握することができなかったが、南北方向に長い長方形と推定される。西側には54号竪穴建物の北西隅があることから、39号竪穴建物の西壁は既存道路部分に位置すると推定される。南壁については明瞭に確認することができなかったが、支柱穴と推定されるP1・P2の位置から推定した。

規模 東西軸(2.13)m 南北軸3.14m 残存壁高0.28m

面積 計測不能 **長軸方位** N-23°-E

埋没土 黄褐色シルト質土を混じる褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央やや南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.96m、屋外長0.40m、燃焼部長0.82m、焚口幅0.48mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.59m、右側0.53mの長さで張り出し残存していた。竈左脇床面直上で土師器台付裏脚部(第63図7)が出土した。埋没土中から土師器杯(同図2・3)と土師器裏(同図8)が出土した。また掘り方埋没土中から土師器鉢(同図5)が出土した。

柱穴 床面で支柱穴と推定されるピットが2本検出された。その規模は下記の通りである。

P1 長径0.32m 短径0.29m 深さ0.41m

P2 長径0.35m 短径0.33m 深さ0.25m

P1・P2の柱間の距離は2.30mである。

壁際溝 北西壁際に幅10~16cm、深さ4~7cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 南東隅の竈右脇に、長軸0.67m、短軸0.57m、深さ0.15mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。少量の土器破片が出土したのみであった。

掘り方 中央部で厚さ16cm、壁際周縁部で19cmの掘り方充填土の下に掘り方面を検出した。中央部は平坦であっ

たが、壁際周縁部は幅1.0mほどが壁に沿って深く掘り込まれていた。特に南東部はやや内側に高さ15cmほどの明瞭な段が認められた。

遺物と出土状況 北東部壁際で土師器杯(第63図1)が床面直上で出土した。竈左脇で土師器櫃(同図6)が床面上9cmで出土した。貯蔵穴南脇では土師器高杯(同図4)が床面上11cmで出土した。その他、埋没土中から土師器破片121点、掘り方埋没土中から二次加工のある剥片も出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。遺構の形状については不明な点が多く、推定にとどまる。

9区40号竪穴建物

(第64・65図 PL.23・68 遺物観察表P.259・260)

グリッド 068~071・-214~-218

重複 41号竪穴建物より新しく、106号土坑より古い。床面中央部は現代の掘削機械により一部壊されていた。

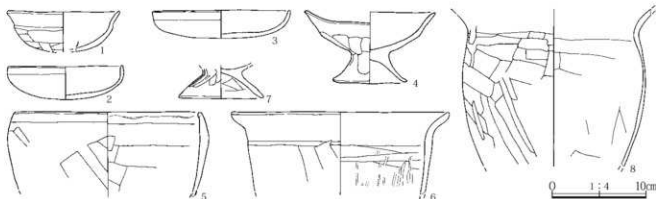
形状 正方形

規模 長軸3.28m 短軸3.01m 残存壁高0.22m

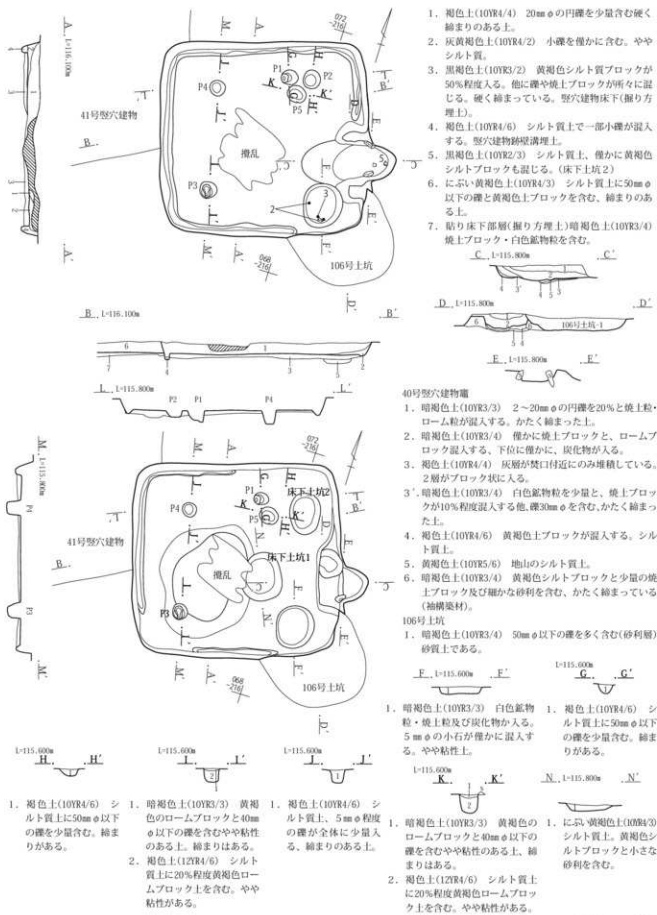
面積 7.44㎡ **長軸方位** N-72°-E

埋没土 円礫を少量含む褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央やや南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.96m、屋外長0.48m、燃焼部長0.96m、焚口幅0.82mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.51m、右側0.44mの長さで張り出し残存していた。燃焼部の両側に角礫が2点残されていた。竈と竪穴壁の交点に立てられており、竈内壁を形成していたと推定される。煙道底面上8cmで土師器杯(第65図5)が出土した。また竈埋没土中から土師器杯(同図4)、土師器小型裏(同図6)が出土した。



第63図 9区39号竪穴建物出土遺物



第64図 9区40号竪穴建物

柱穴 床面で4本の柱穴の可能性のあるピットを検出した。このうち、深さや位置から主柱穴と考えられるのはP3・P4であり、P1・P2は位置や深さが主柱穴とするには問題があった。また掘り方でP1に近接してP5を検出した。P2は掘り方面まで達していなかった。なお、南東隅の主柱穴は床面および掘り方を精査したが、検出できなかった。各ピットの規模は下記の通りである。

P1 長径0.27m 短径0.24m 深さ0.18m

P2 長径0.30m 短径0.27m 深さ0.10m

P3 長径0.28m 短径0.26m 深さ0.21m

P4 長径0.25m 短径0.25m 深さ0.22m

P5 長径0.31m 短径0.27m 深さ0.33m

柱間の距離はP3・P4間が1.64mである。

壁際溝 南東隅を除き、幅8~15cm、深さ4~10cmの壁際溝がほぼ全周していた。

貯蔵穴 南東隅、竈右脇に長軸0.72m、短軸0.64m、深さ0.14mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。土師器杯(第65図3)が底面上2cmで、土師器杯(同図2)が底面上9cmで出土した。

掘り方 中央部では掘り方は認められなかった。周縁部には4~7cm掘り込まれた掘り方向が検出された。床面で検出されたP2は浅いために、掘り方面では掘り込みが見られなかった。中央やや竈寄りには1号、竈左脇には2号床下土坑が検出された。それぞれの規模は下記の通りである。

1号 長径0.78m、短径0.65m、深さ0.11m

2号 長径0.66m、短径0.49m、深さ0.06m

遺物と出土状況 埋没土中から、土師器杯(第65図1)と二次加工ある剥片1点が出土した。この他に埋没土中から土師器破片69点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

9区41号竪穴建物

(第66・67図 PL.23・24・69 遺物観察表P.260)

グリッド 068~071・-218~-221

重複 39号竪穴建物、40号竪穴建物、42号竪穴建物、118号土坑より古い。

形状 東壁の一部を除き40号竪穴建物に、北東隅が42号竪穴建物に壊されているが、東西方向にやや長い方形と判断できる。

規模 長軸3.35m 短軸2.95m 残存壁高0.19m

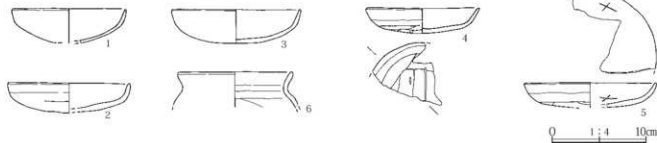
面積 計測不能 **長軸方位** N-63°-E

埋没土 小礫と黄褐色土塊を含むにぶい黄褐色シルト質土で埋まっていた。

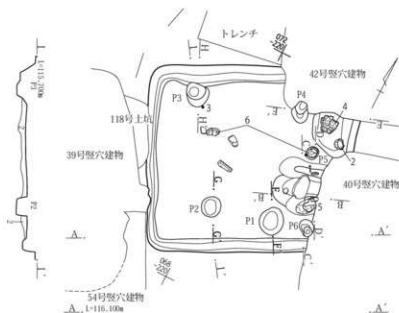
竈 東壁中央の南側に竈が敷設されていた。竈の煙道側部分は41号竪穴建物の掘り込みによって壊されていた。残存する竈の規模は確認長0.75m、残存燃烧部長0.60m、焚口幅0.66mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.69m、右側0.48mの長さで張り出し残存していた。燃烧部のほぼ中央の左右壁には左に長さ30cm、右に長さ24cmの棒状礫が小穴を穿って1本ずつ立てられており、袖の芯材として据えたものと推定される。この礫が袖の先端であった可能性もある。その棒状礫のすぐ手前には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ34cm、幅12cm、厚さ9cm)が竈使用面から3cm浮いた位置で残されていた。

竈右袖の崩落土の中には、口縁部を欠いた状態の土師器甕(第67図5)が横位で出土した。

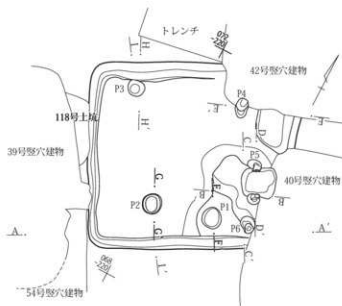
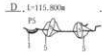
柱穴 床面で6本の柱穴と考えらるピットを検出した。このうち主柱穴は、建物対角線上にあるP2とP4である。P1・5・6は他の用途が考えられるが、特にP5・P6は竈先端の両脇にあり規格性がある。竈周辺の構造物に関連したものと推定される。竈左脇のP5底面直上では土師器杯(第67図1)がほぼ方形で二つに割れた状態



第65図 9区40号竪穴建物出土遺物



1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質上に50mmφ以下の礫と黄褐色土ブロックを含む。締まりのある上。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 焼土ブロック・白色鉱物粒を含む。貼り床下部(掘り方理上)。
3. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) 白色鉱物粒、黄褐色鉱物粒を少量と30mmφの礫を含む硬く締まりのある上。
4. 褐色土(10YR4/8) 地山の黄褐色シルト質土が所々に入る。締まりのある上。
5. 黒褐色土(10YR2/3) 礫の混入は少ない黄褐色シルトブロックがやや多くなる。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色シルト質土(地山)が混じる。
7. 褐色土(10YR4/4) 20mmφの円礫を少量含む硬く締まりのある上。
8. 竪穴建物跡埋溝埋土 褐色土(10YR4/6) シルト質土で一部小礫が混入する。
9. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色シルト質ブロックが50%程度入る。他に礫や焼土ブロックが所々に混じる。硬く締まっている。竪穴建物床下(掘り方理上)。



41号竪穴建物遺

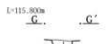
1. 黒褐色土(10YR3/2) 20~30mmφの礫を多く含む。締まりのある上。
2. 褐色土(10YR4/3) シルト質土。竪内の埋土。白色鉱物粒を少量含む。
3. 褐色土(10YR4/4) ローム塊を含むシルト質土。袖が崩れている。
4. 暗褐色土(10YR3/4) 僅かに小礫・炭化物・焼土を含む。締まりのある上。
5. 黒褐色土(10YR2/3) 小さいロームブロックを多く含む。

41号竪穴建物ピット5

1. 褐色土(10YR4/6) 締まりのある上。

41号竪穴建物ピット6

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) 小礫を少量含む。



41号竪穴建物貯蔵穴

1. 褐色土(10YR4/4) 焼土ブロック、小礫を含む。締まりのある上。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 僅かに焼土粒が混じるシルト質土。

41号竪穴建物ピット4

1. 褐色土(10YR4/6) 20mmφ以下の礫を少量とロームブロックが混入する。締まりのある上。
2. 暗褐色シルト質土(10YR3/3)

1. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) ロームブロックを50%程度と礫を少量含む。締まりのある上。

1. 暗褐色シルト質土(10YR3/4) 小礫と小さなロームブロックを20%程度含む。

1. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) ロームブロックを20%程度と礫を少量含む。締まりのある上。



第66図 9区41号竪穴建物

で出土した。P 5は浅く後述する掘り方面までは達していなかった。

各ピットの規模は下記の通りである。

P 1 長径0.44m 短径0.38m 深さ0.14m

P 2 長径0.32m 短径0.30m 深さ0.18m

P 3 長径0.39m 短径0.34m 深さ0.17m

P 4 長径0.34m 短径0.24m 深さ0.37m

P 5 長径0.22m 短径0.19m 深さ0.08m

P 6 長径0.27m 短径0.21m 深さ0.16m

壁際溝 残存していた北壁・西壁・南壁に沿って、幅8～16cm、深さ2～7cmの壁際溝が全周していた。

貯蔵穴 竈左脇の東壁沿いに残存長径0.68m、短径0.62m、深さ0.30mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。大小の土器器楕(第67図2・4)が、それぞれ貯蔵穴底面上2cm、床面直上で出土した。

掘り方 厚さ4～7cmの掘り方充填土の下に掘り方面を検出した。竈部分はやや掘り込みが浅く台状になっていた。

遺物と出土状況 西部床面直上から土器器楕(第67図6)が出土した。この土器にはP 5出土の破片が接合した。またP 3東脇の床面上3cmで土器鉢か(同図3)の口縁

部破片が出土した。この他、埋没土中から土器器破片87点、須恵器破片5点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

9区42号竪穴建物

(第68・69図 PL.24・25・70 遺物観察表P.260)

グリッド 071～078・-215～-221

重複 41号竪穴建物、120号土坑より新しい。

形状 南北方向にやや長い長方形

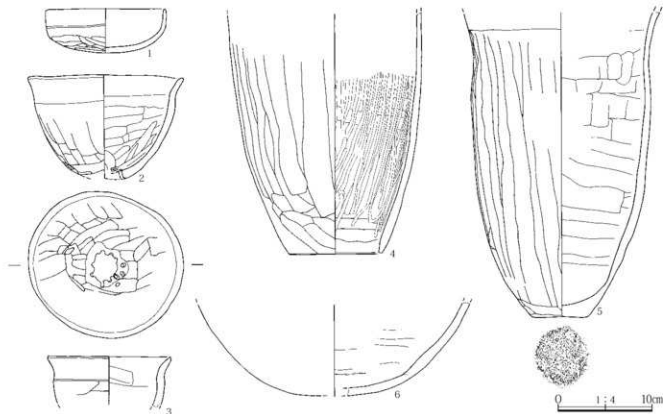
規模 長軸5.61m 短軸4.93m 残存壁高0.48m

面積 20.93㎡ **長軸方位** N-21°-W

埋没土 礫や炭化物粒、黒色土塊を含む暗褐色土で埋まっていた。床面直上は褐色のシルト質土が覆っていた。

竈 東壁中央のすぐ北側の位置に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.22m、屋外長0.37m、燃焼部長1.22m、焚口幅0.91mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.81m、右側0.89mの長さで張り出し残存していた。構造に関わる礫や使用されたとみられる大型の土器は残されていないかった。

柱穴 床面で支柱穴4本を検出した。このうち南東隅のP 2はやや北側にずれた位置にあった。また、P 3の南



第67図 9区41号竪穴建物出土遺物

側には壁周溝の縁にP5が検出された。

各柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.35m 短径0.35m 深さ0.36m

P2 長径0.36m 短径0.36m 深さ0.34m

P3 長径0.41m 短径0.37m 深さ0.35m

P4 長径0.40m 短径0.40m 深さ0.21m

P5 長径0.34m 短径0.32m 深さ0.12m

柱間の距離はP1・P2間が2.50m、P2・P3間が2.94m、P3・P4間が2.72m、P4・P1間が2.84mである。

壁際溝 竈のある東下壁を除いて、幅10～20cm、深さ7

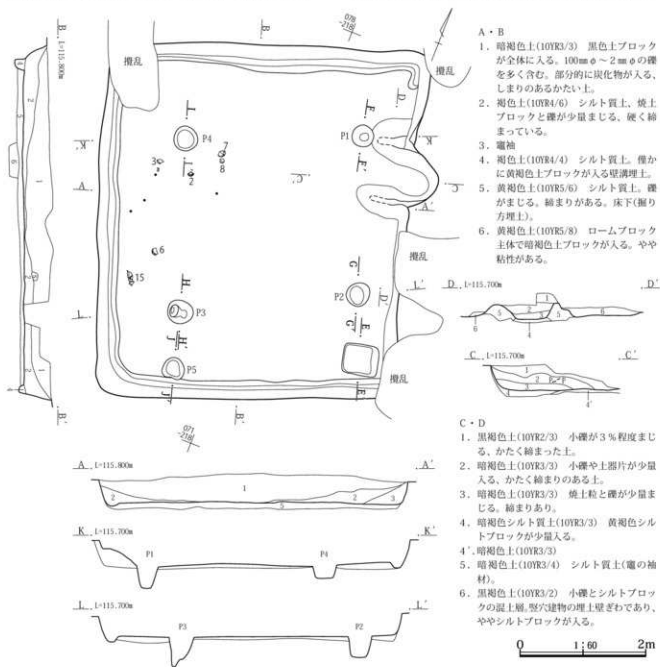
～15cmの壁際溝が全周していた。

貯蔵穴 南東隅に長軸0.56m、短軸0.49m、深さ0.25mの方形の貯蔵穴が掘られていた。

掘り方 厚さ5～7cmの掘り方充填土の下に掘り方面を検出した。掘り方面には緩やかな凹凸がみられた。中央やや北側に、方形の1号床下土坑が検出された。

1号 長軸0.62m 短軸0.51m 深さ0.12m

遺物と出土状況 南西部壁際溝脇で、土師器杯(第69図6)が床面上6cm、土師器甕(同図15)が床面上4cmで出土した。主柱穴P3南東部では土師器杯(同図3)が床面上12cmで、土師器杯(同図2)が床面上8cmで、土師器杯

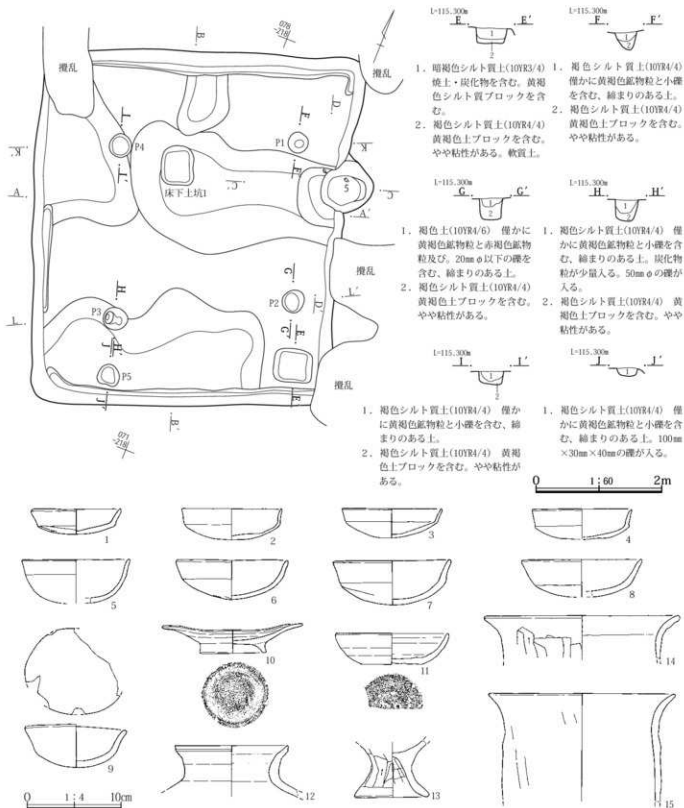


第68図 9区42号竈穴建物

(第69図8)が床面上16cmで、土師器杯(同図7)が床面上11cmで出土した。また、土師器杯(同図5)が掘掘り方面上4cmで出土した。土師器杯(同図1・4・9)、土師器台付甕(同図13)、土師器甕(同図14)、須恵器皿(同図

10)、須恵器杯(同図11)、須恵器壺か(同図12)が埋没土中から出土した。この他、土師器破片345点、須恵器3点が埋没土中から出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第69図 9区42号竪穴建物掘り方と出土遺物

9区43号竪穴建物

(第70図 PL.25 遺物観察表P.261)

グリッド 077~081・-208~212

重複 なし。

形状 北西隅が調査区域外になり全形は把握できなかったが、方形と推定される。

規模 長軸3.53m 短軸3.52m 残存壁高0.43m

面積 計測不能 長軸方位 N-24°-E

埋没土 小礫と黄褐色・赤褐色鉱物粒を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では竈は検出されなかったが、北隅の土層断面には竈崩落土が堆積しており、北東壁に竈が敷設されていたと推定される。

柱穴 床面および掘り方面の精査では確認できなかった。

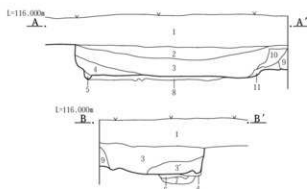
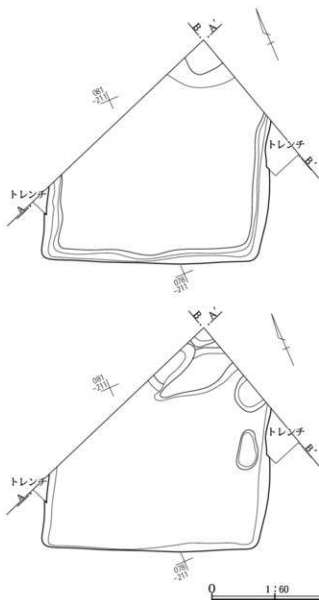
壁際溝 調査できた範囲の西壁、南壁、東壁に幅10~18cm、深さ4~6cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

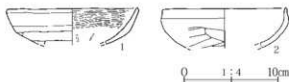
掘り方 5cmほどの厚さの掘り方充填土の下に掘り方面を検出した。竈があると推定される北東隅は段状に掘り込みがあった。また、北東壁沿いにも小規模な掘り込みが見られた。

遺物と出土状況 床面からの出土遺物はなかった。土師器杯(第70図1・2)は埋没土中から出土した。その他、土師器破片94点、須恵器破片3点が埋没土中から出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 表土
2. 暗褐色土(10YR3/4) 上層からの影響を受けている。砂利混じり。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色鉱物粒・赤褐色鉱物粒を少量含む他に20mmφ以下の小礫を僅かに含む。締まりのある土。
- 3' 黒褐色土(10YR3/1) 円礫30mmφ以下を少量含む。
4. 褐色土(10YR4/4) ローム粒を含む。僅かに小さな赤褐色鉱物粒を含む。やや粘性のある土。
5. 褐色土(10YR4/6) 壁溝内埋土。ローム壁土の流れ込み。やや粘性がある。
6. 褐色土砂質土(10YR4/1) 僅かに焼土ブロックを含む。床下土坑。
7. 灰黄褐色土(10YR4/2) 円礫少量と黄褐色シルト質ブロックを含む。締まりのある土。
8. 黄褐色土(10YR5/6) 床下(掘り方埋土)ロームブロックが主体を成す。締まりのある土。
9. 灰黄褐色土(10YR5/4) 粘性土で締まりがある土。竈構築材。
10. 黒褐色土(10YR3/2) 竈構築材の崩落土。焼土ブロックが入る。締まりのある土。
11. 黒褐色土(10YR3/2) 竈内に多く堆積焼土ブロック。



第70図 9区43号竪穴建物と出土遺物

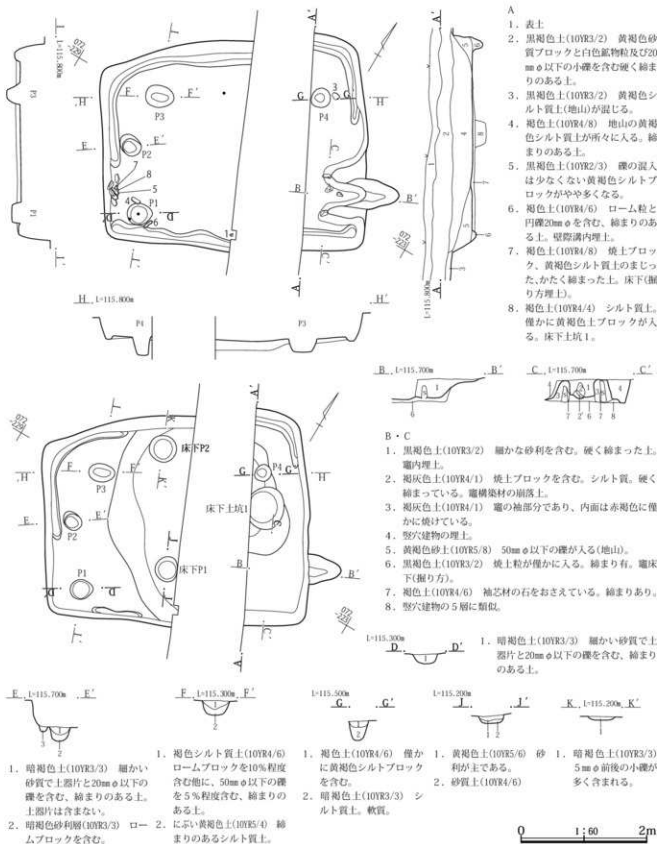
9区44号竪穴建物

(第71・72図 PL.25・26・70 遺物観察表P.261)

グリッド 069~074・223~228

重複 なし。

形状 やや東壁が長い長方形。東半部に現道があり、維持する必要があったため、未調査となった。



第71図 9区44号竪穴建物

規模 長軸4.18m 短軸3.33m 残存壁高0.42m

面積 9.54㎡ **長軸方位** N-57°-E

埋没土 黄褐色シルト質土を含む褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁の南部に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.24m、屋外長0.52m、燃焼部長0.71m、焚口幅0.54mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.71m、右側0.74mの長さで張り出し残存していた。袖の先端内部には板状の垂角礫が竈の壁になる方向に立てられていた。また、燃焼部中央にも、板状礫が立てて埋められており、支脚として機能していた。

柱穴 床面で柱穴の可能性のあるP1・P3・P4を検出した。このうち、深さや位置から主柱穴と考えられるのはP3・P4である。

P1は位置や深さが主柱穴とするには問題があった。P1の両脇からは2点の棒状礫(第72図4・6)が出土しており、周囲の壁沿いにも後述するように棒状礫が密集して出土している。また南西壁際でP2を検出したが、柱穴との確証は得られなかった。

各柱穴、ピットの規模は下記の通りである。

P1 長径0.40m 短径0.34m 深さ0.15m

P2 長径0.38m 短径0.29m 深さ0.24m

P3 長径0.45m 短径0.34m 深さ0.34m

P4 長径0.30m 短径0.30m 深さ0.31m

柱間の距離はP3・P4間が2.54mである。

壁際溝 竈の両脇と、南隅の0.84m部分を除き、幅12~20cm、深さ5~17cmの壁際溝が掘られていた。南隅の壁際溝が途切れた部分には8点の棒状礫が床面直上で密集して出土した。そのうち3点の棒状礫(第72図5・7・8)を図示した。

貯蔵穴 検出されなかった。

掘り方 厚さ20cmほどの掘り方充填土の下位に掘り方面を検出した。全体として東半部が深く掘り込まれていた。北西部にP5、南東部にP6を検出した。いずれも壁近くにあり、相対する位置にある。機能は明らかにできなかった。規模は下記の通りである。

P1 長径0.27m 短径0.24m 深さ0.18m

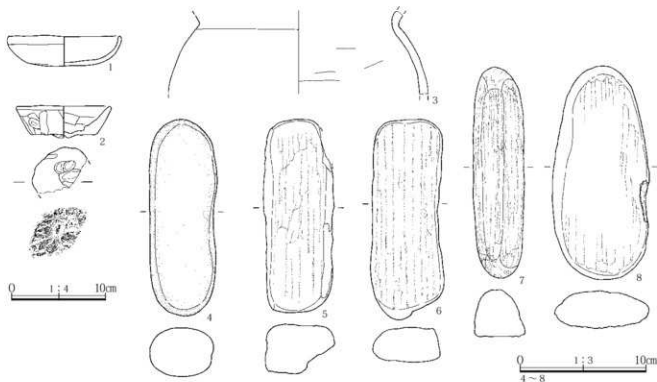
P2 長径0.30m 短径0.27m 深さ0.10m

また、東部P4南東側にやや深く掘り込まれた1号床下土坑を検出した。

1号 長径0.68m 短径0.53m 深さ0.19m

遺物と出土状況 南東壁際床面直上で土師器杯(第72図1)が、北部P4脇床面上13cmで土師器甕(同図3)が、埋没土中から土師器杯(同図2)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片98点、須恵器破片4点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



第72図 9区44号竪穴建物出土遺物

9区45号竪穴建物

(第73・74図 PL.26・70 遺物観察表P.261)

グリッド 075~079・-211~216

重複 43号竪穴建物、120号土坑より新しい。

形状 北西隅が調査区域外となったが、やや東壁が長い台形である。

規模 長軸3.63m 短軸3.58m 残存壁高0.41m

面積 9.13㎡ 長軸方位 N-0°-E

埋没土 小礫・焼土塊を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央より南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.53m、屋外長0.75m、燃焼部長1.26m、焚口幅1.05mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.81m、右側0.77mの長さで張り出し残存していた。燃焼部から煙道部にかけては2段の立ち上がりがあり、屋外の煙道部分には土師器甕2個体(第74図4・5)を組み合わせて煙り出しの構造を造っていたと推定される。左袖先端の内部には板状の垂角礫が傾いた状況で出土した。構造材であったかどうかは断定できなかった。竈埋没土中から土師器杯(同図2)が出土した。

柱穴 床面の精査では主柱穴を確認できなかったが、掘り方面の精査で主柱穴4本を検出した。P4の位置がやや南西にずれている。各柱穴の規模は下記の通りである。数値はいずれも掘り方面での計測値である。

P1 長径0.25m 短径0.25m 深さ0.29m

P2 長径0.28m 短径0.24m 深さ0.26m

P3 長径0.34m 短径0.34m 深さ0.27m

P4 長径0.21m 短径0.21m 深さ0.32m

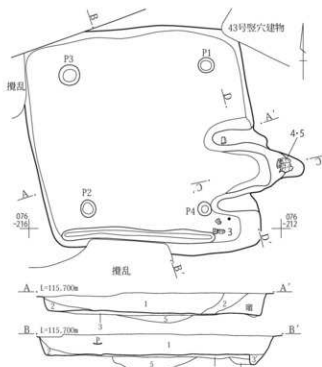
柱間の距離はP1・P4間が2.30m、P4・P2間が2.1.86m、P2・P3間が2.17m、P3・P1間が2.20mである。

壁際溝 床面で南壁沿いのみに、幅18~25cm、深さ10cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ14~20cmの掘り方充填土の下位に掘り方面を検出した。竪穴建物ほぼ中央に長径2.01m、短径1.19m、深さ0.26mの不定楕円形の床下土坑が掘られていた。また南壁ほぼ中央壁際に、長径0.54m、短径0.45m、深さ0.11mの楕円形土坑が掘られていた。

遺物と出土状況 南東隅、竈右脇の床面上11cmで土師器



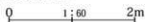
1. 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色鉱物粒・赤褐色鉱物粒を少量含む他に20mmφ以下の小礫を僅かに含む。締まりのある上。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 円礫30mmφ以下を少量含む。
3. 暗褐色土(10YR3/4) 小礫・焼土ブロックを含む。この層の上面が床面である。
- 3' 黄褐色土(10YR5/6) 僅かに礫を含む。部分的に壁溝がある。壁溝埋土。
4. 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含むやや粘性土。(床下土坑か)
5. 暗褐色土(10YR3/3) 僅かに小礫を含むが全体にシルト質土。竪穴建物より古い可能性のある。



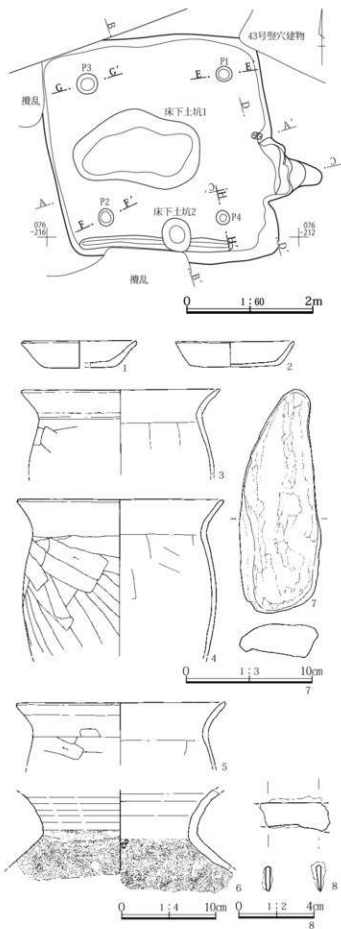
1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色鉱物粒、黄褐色鉱物粒、焼土粒を僅かに含む。硬く締まりのある上。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色シルト質ブロック、焼土ブロック、10mmφ以下の礫がまじる。天井や壁の崩落土の可能性もある。かたく締まりがある。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 小さな砂利が混じる他に、焼土ブロックと炭化物が混入している。
4. 褐色土(10YR4/6) ロームブロックを多くと焼土粒、炭化物を少量含む。僅かに炭が入る。やや粘性がある。
5. 黄褐色土(10YR4/3) シルト質。小礫を含む。陶土片。



1. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質で2~3mmφの白色鉱物粒を含む。締まりのある上。
1. 黒褐色土(10YR3/2) 砂質である。締まりのある上。
1. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質で2~3mmφの白色鉱物粒を含む。締まりのある上。
1. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質で2~3mmφの白色鉱物粒を含む。締まりのある上。



第73図 9区45号竪穴建物



第74図 9区45号竪穴建物掘り方と出土遺物

裏(第74図3)が出土した。床下の掘り方埋没土から棒状礫(同図7)が出土した。また、埋没土中から土師器杯(同図1)、須恵器裏(同図6)、鉄製品刀子(同図8)が出土した。この他に土師器破片222点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

9区46号竪穴建物

(第75図 PL.26)

グリッド 073~074・-217~-219

重複 42号竪穴建物より新しい。

形状 竈部分のみが残っていた。竪穴建物の全体形状は不明。

規模 計測不能 面積 計測不能

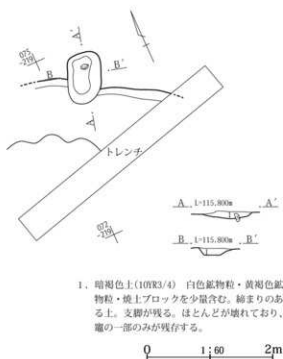
推定竈長軸方位 N-25°-E

埋没土 白色鈳物粒・黄褐色鈳物粒・焼土塊を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 竈と推定される凹地のみ残存していた。規模は確認長0.85m、屋外長0.38m、推定焚口幅0.48mである。中央部に棒状の垂角礫が立った状態で出土しており、支脚の可能性はある。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片11点が出土した。

所見 出土遺物から9世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 暗褐色土(10W3/4) 白色鈳物粒・黄褐色鈳物粒・焼土ブロックを少量含む。締まりのある土。支脚が残る。ほとんどが壊れており、竈の一部のみが残存する。

第75図 9区46号竪穴建物

9区54号竪穴建物

(第76図 PL.26)

グリッド 066~068・-219~-224

重複 39号竪穴建物より古い。

形状 中央より南部が調査区域外で、北壁は39号竪穴建物に壊されているため全形は判明しなかったが、東壁の一部と西隅の形状から方形と推定される。

規模 東西軸4.58m 南北軸(0.96)m

残存壁高0.23m

面積 計測不能 北壁方位 N-64°-E

埋没土 上層は礫が混入する褐色土、下層は白色・赤色鉱物粒や礫が混入する暗褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲では検出されなかった。

柱穴 床面の精査で北東隅の主柱穴と推定されるP1を検出した。その規模は長径0.23m、短径0.20m、深さ0.09mである。

壁際溝 調査できた範囲では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲では検出されなかった。

掘り方 厚さ5cmほどの掘り方充填土の下位に掘り方を検出した。壁沿いにやや深く掘り込まれていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がなく、時期は不明である。

9区55号竪穴建物

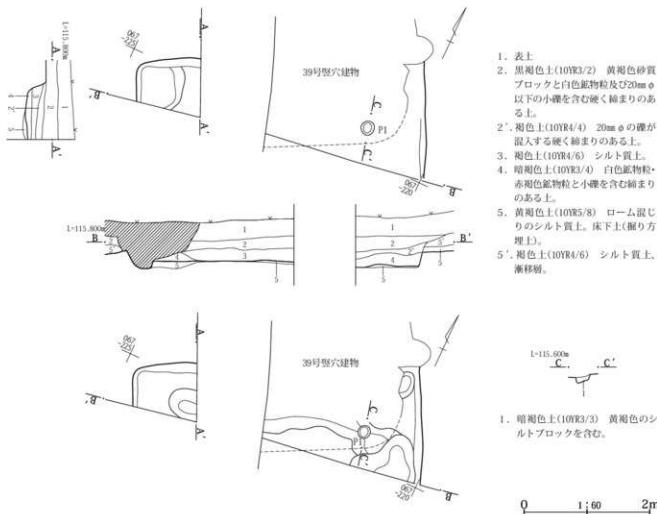
(第77図 PL.26)

グリッド 075~078・-215~-216

重複 42号竪穴建物、45号竪穴建物より古く、120号土坑より新しい。

形状 ほぼ全体を42号竪穴建物、45号竪穴建物に壊されており、西壁・南壁の一部を検出したのみである。それらの位置からすると方形と推定される。

規模 東西軸(0.96)m 南北軸(3.32)m 残存壁高0.24m



第76図 9区54号竪穴建物

面積 計測不能 西壁方位 N-9°-W

埋没土 礫と炭化物・焼土塊を含む褐色シルト質土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲では検出されなかった。

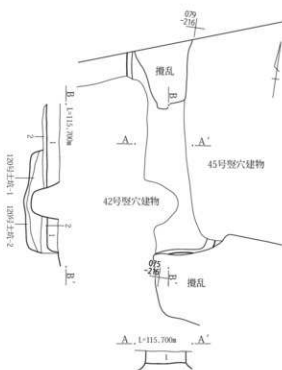
壁際溝 調査できた範囲では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲では検出されなかった。

掘り方 厚さ6~7cmの掘り方充填土の下位に掘り方面を検出した。ほぼ平坦であった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片12点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

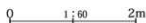


55号竪穴建物

1. 褐色シルト質土(10YR4/4) 30mmφ以下の礫と炭化物・焼土ブロックを含む細まりのある土。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物粒・焼土粒を少量含むやや軟質のシルト質土。床下(掘り方上)。

120号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/4) 僅かに小さなロームブロックを含むシルト質土。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 僅かに小さなロームブロックを3層よりもやや多く、僅かに細かな砂粒を含む。



第77図 9区55号竪穴建物

9区65号竪穴建物

(第78図 PL.27・69 遺物観察表P.261)

グリッド 077~080・-166~-169

重複 なし。

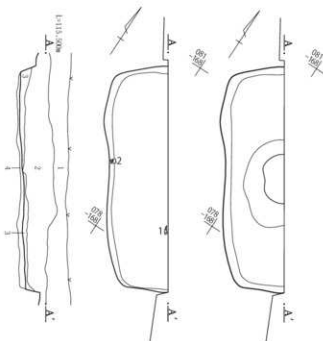
形状 遺構の大部分が調査区域外となり、南西壁沿いのみの調査となったが、方形と推定される。

規模 東西軸(0.96)m 南北軸3.58m 残存壁高0.29m

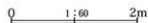
面積 計測不能 南西壁方位 N-34°-W

埋没土 礫や砂を混じる黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲では検出されなかった。



1. 表上(現地表)
2. 黒褐色土(10YR2/2) 100mmφ以下の角礫と円礫が20%程度混入している。やや砂が混じる。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 砂質であるが礫が混じる。ローム層の煙灰のため2層よりもやや黄色みが強い。
4. 黄褐色土(10YR5/8) 礫を多く含む砂質土。(掘り方上)



第78図 9区65号竪穴建物と出土遺物

柱穴 調査できた範囲では検出されなかった。

壁際溝 調査できた範囲では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲では検出されなかった。

掘り方 厚さ4～10cmの掘り方充填土の下位で掘り方面を検出した。中央部がやや高く、壁沿いが比較的深く掘り込まれていた。

遺物と出土状況 南西部床面直上で土師器甕(第78図1)が、南西壁中央部壁際の床面上17cmで土師器甕(同図2)が出土した。この他に埋没土中から土師器破片8点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

9区66号竪穴建物

(第79図 PL.27・70 遺物観察表P.262)

グリッド 072～075・-180～-185

重複 なし。

形状 遺構の南半分が調査区域外となり全形は把握できなかったが、調査できた範囲の状況から正方形と推定される。

規模 東西軸3.51m 南北軸(1.94)m 残存壁高0.25m

面積 計測不能 **長軸方位** N-53°-E

埋没土 ローム小塊・礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁の中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.67m、屋外長1.13m、燃焼部長0.97m、焚口幅0.57mで、煙道部との先には0.05mの段があった。屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.59m、右側0.48mの長さで張り出し残存していた。煙道部には土師器杯破片(第79図2)が出土した。左袖崩落部分には土師器杯(同図5)と鉢(同図4)が重なって出土した。焚口部手前には土師器杯(同図1)が床面直上で出土した。

柱穴 床面の精査で北西壁沿いの主柱穴2本を検出した。P2はやや壁に近い位置に掘られていた。各柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.28m 短径0.28m 深さ0.19m

P2 長径0.31m 短径0.31m 深さ0.28m

柱間の距離はP1・P2間が2.04mである。

壁際溝 竈左の北東壁から北西壁、南西壁にかけて、幅10～15cm、深さ4～8cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 調査できた範囲では検出されなかった。

掘り方 厚さ1～5cmほどの掘り方充填土の下位で掘り方面を検出した。中央部がやや深く掘り込まれていた。掘り方面では竈下面や竈右側北東壁沿いに壁際溝が連続して検出された。

遺物と出土状況 P1南側床面直上で土師器鉢か(第79図3)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片34点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

9区67号竪穴建物

(第80図 PL.27・70 遺物観察表P.262)

グリッド 078～082・-171～-175

重複 なし。

形状 南西壁がやや長い台形

規模 長軸3.78m 短軸2.96m 残存壁高0.17m

面積 9.16㎡ **長軸方位** N-51°-E

埋没土 砂利・礫が混入する黒褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁中央右側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.83m、屋外長0.57m、燃焼部長0.83m、焚口幅0.89mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が右側に0.44mの長さで張り出し残存していた。竈の燃焼部から左側にかけては掘り込まれて壊された状態であった。左脇手前には土師器甕(第80図5)が床面直上で出土した。また、右側には土師器杯(同図1)、土師器小型甕(同図4)、土師器甕(同図6)が床面上6～10cmほど浮いた位置に散乱した状態で出土した。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

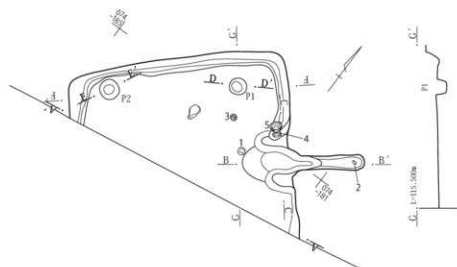
壁際溝 なし。

貯蔵穴 床面の精査では検出されなかった。

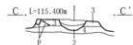
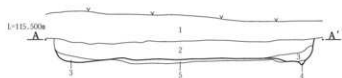
掘り方 厚さ5～20cmの掘り方充填土の下位で掘り方面を検出した。掘り方面は南西部は比較的平坦であったが、北西壁寄りや東隅が深く掘り込まれていた。東隅の掘り込みは貯蔵穴の可能性もあるが、規格的な形状ではなかった。

遺物と出土状況 東隅で土師器杯(第80図2)、土師器小型甕(同図3)が床面上11cmで、土師器甕(同図7)が床面上5cmで出土した。この他、埋没土中から土師器破片91点が出土した。

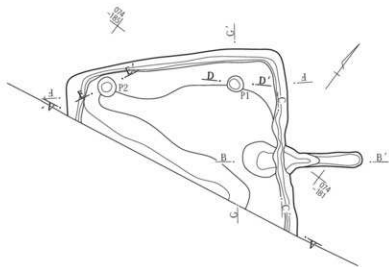
所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



1. 表土(現地表)
2. 黒褐色土(10YR3/2) 小さなロームブロック・10mmφ以下の小礫と50mmφ前後の礫を少量含む。締まりのある上。
3. 暗褐色土(10YR3/4) 2層に類似するが、含まれている礫がやや多く流入した様相がある。締まりのある上。
4. 黒褐色土(10YR2/3) シルト質土に黄褐色の小さなブロック土が入る。締まりのある上。(壁溝埋土)。
5. 褐色土(10YR4/6) ローム粒と黄褐色シルト質土に礫が混じる。硬く締まっている。床下掘り方理上。上面が床面。

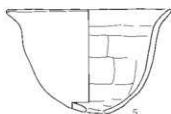
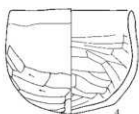
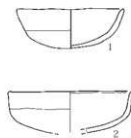


1. 暗褐色土(10YR3/3) 僅かに焼土を含む。小礫が混じる。竈構築材の崩壊土の可能性はある。
2. 黒褐色シルト質土(10YR2/3) 上面に僅かに焼土粒・炭化物・灰が見られる。
3. 暗褐色土(10YR3/4) 白色鉱物粒と小礫及び黄褐色土粒を含む。袖の構築材と考えられる。締まりのある上。
4. 黒褐色土(10YR2/3) シルト質土に黄褐色の小さなブロック土が入る。締まりのある上。(壁溝埋土)。



1. 褐色土(10YR4/6) 砂利層。下位は100~20mmφの礫である。
1. 暗褐色土(10YR3/3) 僅かに2~5mmφの円礫とロームブロックを含む。砂質土。
2. 褐色土(10YR4/4) 10mmφ以下の円礫を少量含む。

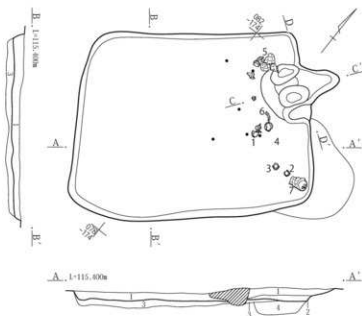
0 1:60 2m



0 1:4 10cm

第79図 9区66号竪穴建物と出土遺物

2. 竪穴建物



1. 黒褐色土(10YR2/3) 5mmφ砂利層に、50mmφ前後の礫が混入している。締まりのある上。
2. 黒褐色土(10YR2/3) 1層よりもやや大きめの礫を含む。ややシルト化している上が混じる。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 上位は床面である。ローム粒を含む極薄い土が観察できる。全体として100mmφの礫が散在する。
4. 貯蔵穴(床下で確認した)黒褐色砂質土(10YR3/2) 2~50mmφの礫を20%程度含む。東壁寄りには黄褐色土ブロックを少量含む。

1=115.00m E E' 1=115.00m E E'



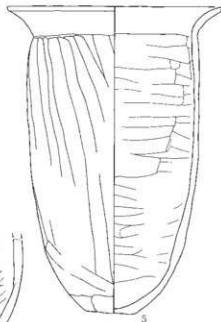
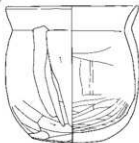
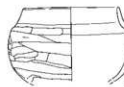
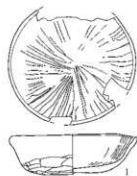
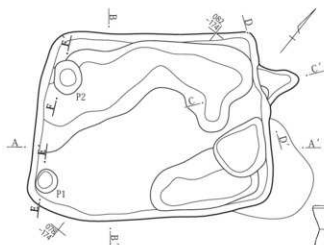
5. 褐色砂質土(10YR4/4) 小 中に礫を多く含む。5~φの礫が少量入る。(床下で確認した)。(P1)
6. 褐色土(10YR4/4) 砂質土 礫5mmφが多く、20~30mm中に礫を多く含む。5~φの礫が少量入る。(床下で確認した)。(P2)

C, 1=115.00m C'

D, 1=115.00m D'

1. 黒褐色土(10YR2/3) 5mmφ砂利層に、50mmφ前後の礫が混入している。締まりのある上。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 焼土混じりのシルト質土であるが礫が少量混じる。(竈構築材の崩落上か)
3. 褐色シルト質土(10YR4/4) 焼土ブロックを少量含む。上位は竈床面相当と思われる。最下部は50~100mmφの地山に含まれる礫が顔を出す。
4. 赤褐色底物粒(10YR4/3)を少量含む。上位は100mmφ前後の礫が多く入る。袖(左袖は未確認)。
5. 竪穴建物上。

0 1:60 2m



0 1:4 10m

第80図 9区67号竪穴建物と出土遺物

10K56号竪穴建物

(第81図 PL.28・71 遺物観察表P.262)

グリッド 108～114・-126～-132

重複 なし。

形状 南東隅が試掘トレンチと重なり全形を把握できなかったが、東西方向に長い長方形である。

規模 長軸5.91m 短軸5.11m 残存壁高0.13m

面積 計測不能

長軸方位 N-90°-E

埋没土 少量の白色鉱物粒と多量の亜角礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 東壁の中央すぐ南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.94m、屋外長0.13m、燃焼部長0.85m、焚口幅0.96mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側1.14m、右側0.86mの長さで張り出し残存していた。焚口の方向がやや南側を向いているようにも見えたが、これは建物廃棄時の竈崩落土の残存状況に起因すると考えられる。

柱穴 床面の精査で主柱穴4本を検出した。比較的太い柱穴であったが、柱根や抜き取り穴は認められなかった。南壁中央やや東寄り、壁から0.30m内部に入った位置にP5を検出した。各柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径1.00m 短径0.72m 深さ0.49m

P2 長径0.85m 短径0.83m 深さ0.58m

P3 長径1.22m 短径0.98m 深さ0.63m

P4 長径1.01m 短径0.82m 深さ0.42m

P5 長径0.43m 短径0.35m 深さ0.30m

柱間の距離はP1・P2間が3.10m、P2・P3間が2.95m、P3・P4間が3.00m、P4・P1間が3.00mである。

壁際溝 北壁の西半分から、西壁、南壁の西部に、幅20～30cm、深さ14～18cmの壁際溝が掘られていた。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。

遺物と出土状況 竈右側の床面上9cmで須恵器杯(第81図3)、床面上3cmで土師器杯(同図1)が出土した。埋没土中から須恵器蓋筒み部(同図2)が出土した。その他、土師器破片62点、須恵器破片2点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

10K57号竪穴建物

(第82・83図 PL.28・71 遺物観察表P.262・263)

グリッド 108～112・-134～-139

重複 なし。

形状 東西方向に長い長方形

規模 長軸4.96m 短軸3.95m 残存壁高0.12m

面積 17.86㎡

長軸方位 N-88°-E

埋没土 少量の白色鉱物粒と多量の亜角礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 北壁の中央より東側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.60m、屋外長0.54m、燃焼部長0.60m、焚口幅0.43mで、屋内には袖構造の残存や崩落土は認められなかった。竈右脇で土師器甕(第83図12)が床面上4cm、土師器小型甕(同図7)が床面上5cmで出土した。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。掘り方面の調査でピットを6本検出したが、主柱穴と推定できるのは北西隅のP2のみである。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ5cm程度の掘り方充填土の下面に掘り方面を検出した。5本のピットと1基の床下土坑を検出した。主柱穴と推定されるのは、やや浅いがその位置からP2、深さからP1で、他は浅く竪穴建物の軸からずれている。P1埋没土中から土師器杯(第81図3)が出土した。各ピット・土坑の規模は下記の通りである。

P1 長径0.63m 短径0.53m 深さ0.50m

P2 長径0.37m 短径0.35m 深さ0.11m

P3 長径0.33m 短径0.24m 深さ0.22m

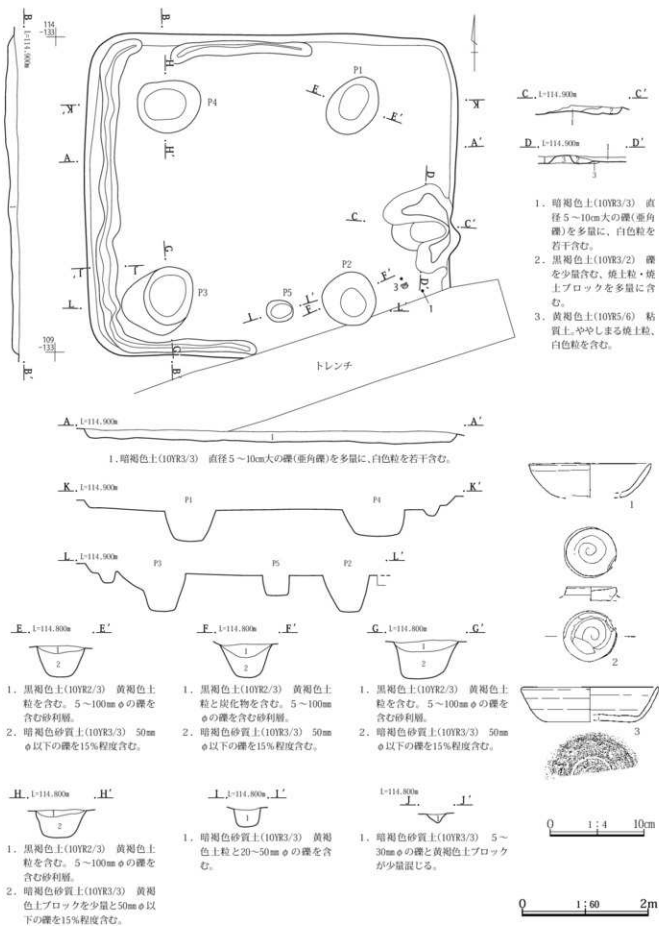
P4 長径0.35m 短径0.28m 深さ0.18m

P5 長径0.36m 短径0.32m 深さ0.24m

P6 長径0.48m 短径0.35m 深さ0.22m

1号床下土坑 長径0.54m 短径0.52m 深さ0.41m

遺物と出土状況 完形に近い土器が竈周辺と東壁際、南壁際、中央部に集中して出土した。土師器杯(第83図1・2)は南壁中央壁際も床面直上で出土した。土師器杯(同図4)は南西隅壁際床面上4cmで出土した。土師器鉢(同図6)は中央部床面上4cm、土師器甕(同図9)は北西部床面上3cmで出土した。土師器甕(同図11)は東壁中央部壁際床面上8cmで出土した。土師器甕(同図10)は北東隅

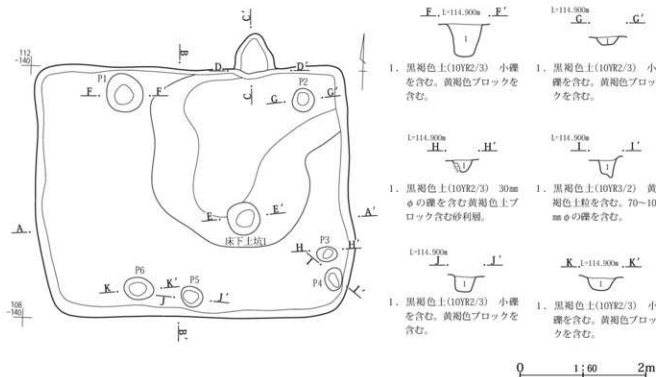
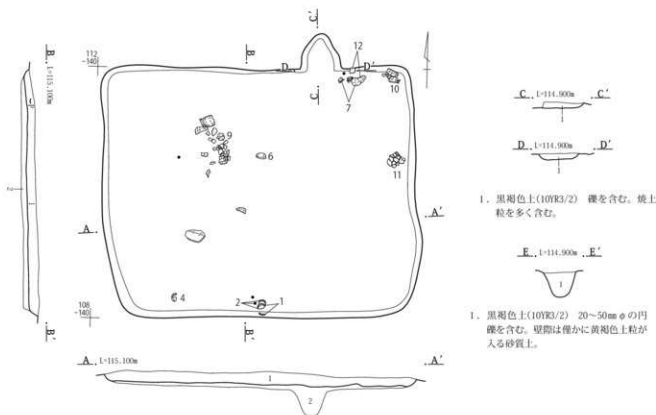


第81図 10区56号竪穴建物と出土遺物

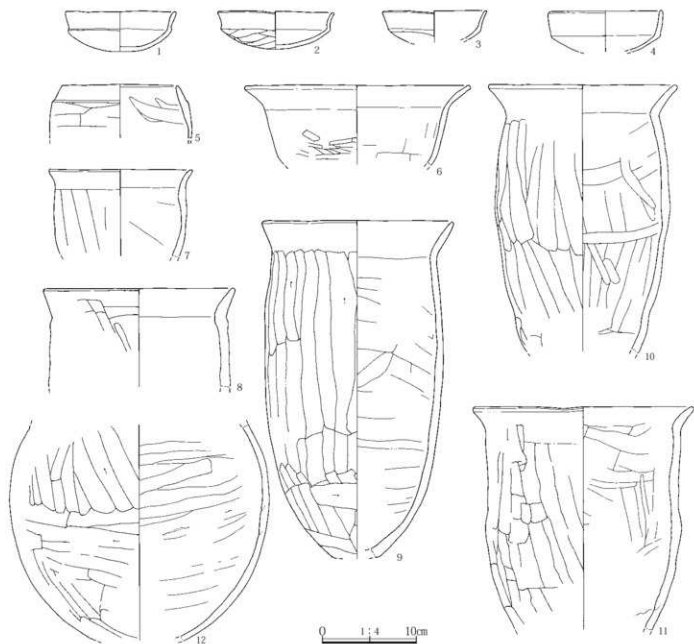
床面上4cmで出土した。土師器鉢(第83図5)、土師器甕(同図8)は埋没土中から出土した。その他、埋没土中か

ら土師器破片175点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第82図 10区57号竪穴建物



第83図 10区57号竪穴建物出土遺物

10区58号竪穴建物

(第84図 PL.28・71 遺物観察表P.263)

グリッド 100~103・-142~-146

重複 なし。

形状 西壁が短い台形で、建物としては不定形である。

規模 長軸3.89m 短軸1.64m 残存壁高0.12m

面積 6.68㎡

長軸方位 N-71°-E

埋没土 少量の白色鉱物粒と多量の亜角礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 北壁中央やや西側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.60m、屋外長0.29m、燃燒部長0.60m、焚口幅0.68mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.23m、右側0.38mの長さで張り出し残存していた。竈内壁焼土の残存状況は不良であった。焚口部中央底面上6cmで土師器裏(第84図3)破片が出土した。

柱穴 床面の精査で主柱穴は確認できなかった。

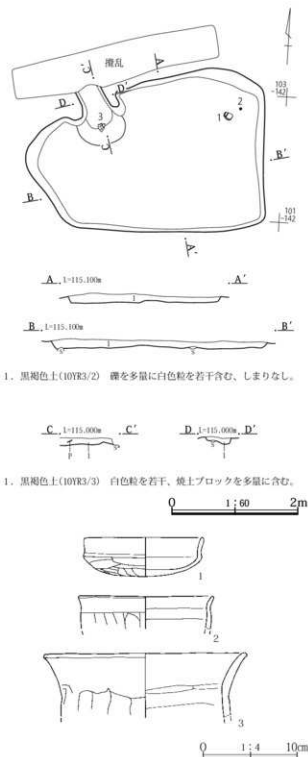
壁隙溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。

遺物と出土状況 北東隅床面上5cmで土師器杯(第84図1)、床面上7cmで土師器鉢(同図2)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片5点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



第84図 10区58号竪穴建物と出土遺物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫を多量に白色粒を若干含む、しまりなし。

1. 黒褐色土(10YR3/3) 白色粒を若干、焼土ブロックを多量に含む。

10区59号竪穴建物

(第85図 PL.28・29・71 遺物観察表P.263)

グリッド 080~085・-155~-161

重複 68号竪穴建物より古い。

形状 南西部が調査区域外となり全形を把握できなかったが、北東壁の状況や支柱穴の位置から、方形と推定される。

規模 長軸5.61m 短軸(3.72)m 残存壁高0.33m

面積 計測不能 **長軸方位** N-37°-W

埋没土 少量の白色鈣物粒と多量の垂角礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁中央にわずかに西寄りに竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.98m、屋外長0.52m、燃焼部長0.40m、焚口幅0.68mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.53m、右側0.40mの長さで張り出し残存していた。袖の先端部には左右とも芯材として垂角礫が立てられていた。竈左脇には土師器杯(第85図1)と土師器小型甕(同図3)が床面直上で出土した。

柱穴 床面の精査で支柱穴4本を確認した。南東壁の位置からするとP2・P3はやや北東方向に偏っている。P3とP4には柱根が認められた。各柱穴の規模は下記の通りである。

P1 長径0.60m 短径0.60m 深さ0.58m

P2 長径0.58m 短径0.55m 深さ0.60m

P3 長径0.57m 短径0.45m 深さ0.41m

P4 長径0.42m 短径(0.31)m 深さ0.38m

柱間の距離はP1・P2間が2.46m、P2・P3間が2.70m、P3・P4間が2.74m、P4・P1間が2.64mである。

壁際溝 なし。

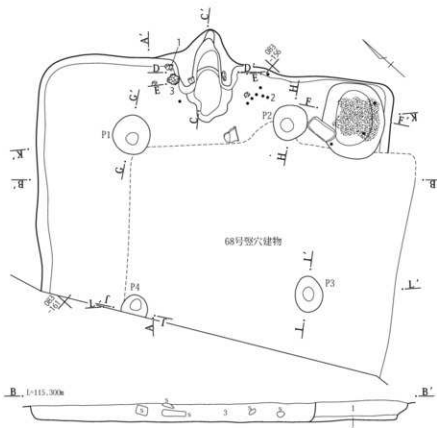
貯蔵穴 東隅に長軸1.19m、短軸0.99m、深さ0.30mの隅丸方形の貯蔵穴が掘られていた。埋没土の上位に厚さ10cmのふい黄褐色粘土が覆っていた。

掘り方 地山との判別が困難であることから、掘り方面の調査は竈のみとした。

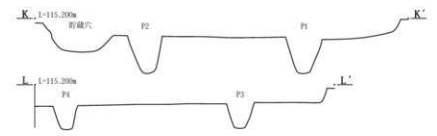
遺物と出土状況 P2北脇床面上6cmで土師器甕(第85図2)口縁部破片が出土した。埋没土中から土師器破片232点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。

2. 竪穴建物



1. 黒褐色土(10YR3/3) 礫を多量に、白色粒を若干含む。しまりなし(竪穴建物埋土)。
2. 黒褐色土(10YR3/3) 礫を多量に、白色粒を若干、黄色ブロック土を少量含む(竪穴建物貼床)。
3. 黒褐色土(10YR3/3) 礫を多量に白色粒・黄褐色粒を若干含む(59住の埋土とほとんど区分できないが、若干黄色粒を含み、明るい)。



1. にぶい黄褐色土(10YR7/4) 粘土質(竈構築用の粘土か?)。
2. 褐灰色土(10YR4/1) ややしまる。粘質なし。礫を多量に白色粒を若干含む(貯蔵穴埋土)。



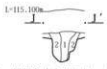
1. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を少量含む。しまりなし。



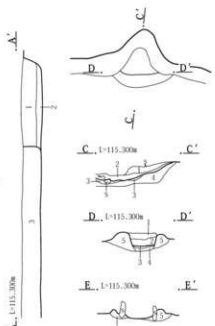
1. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を少量含む。しまりなし。



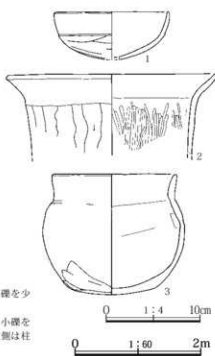
1. 灰黄褐色土(10YR5/2) 小礫を多く含む砂質土。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を少量含む。しまりなし。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫を少量含む。しまりなし。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 小礫を多く含む砂質土(この左側は柱のおさえの礫か)。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫を多く、白色粒を若干、焼土粒を少量含む。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒ブロックを多量に、褐色粘土ブロックを少量含む(天井崩落土)。
3. 褐灰色土(10YR4/1) 灰層。焼土ブロックを少量含む。
4. 黄褐色土(10YR5/6) 焼土粒、白色粒、褐色ブロック土を少量含む(掘り方埋土)。
5. 明黄褐色土(10YR6/6) 粘質土。焼土粒を少量。黒色土をブロック状に少量含む(袖)。



第85図 10区59号竪穴建物と出土遺物

10区68号竪穴建物

(第86・87図 PL.28・29・71 遺物観察表P.263)

グリッド 078～083・-155～-160

重複 59号竪穴建物より新しい。

形状 南西部が調査区域外となり全形を把握できなかったが、方形と推定される。

規模 東西軸推定(2.77)m 南北軸推定(4.49)m 残存壁高0.21m

面積 計測不能 長軸方位 N-38°-W

埋没土 少量の黄色・白色鉱物粒と多量の垂角礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 北東壁ほぼ中央に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.86m、屋外長0.36m、燃焼部長0.86m、焚口幅0.61mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.43m、右側0.57mの長さで張り出し残存していた。袖の先端部には左右とも芯材として左に長さ37cm、右に長さ37cmの垂角礫が立てられている。その垂角礫のすぐ手前には竈構築材の一部と推定される大型板状礫(長さ130cm、幅40cm、厚さ16cm)が竈使

用面から20cm浮いた位置で残されていた。竈右脇にも長さ32cm、幅28cm、厚さ12cmの板状礫が床面上7cmで出土した。竈構築材の一部と推定される。

竈内には煮沸具を中心とした多くの土器が出土した。竈焚口部左手には土師器甕(第87図4・6)が、燃焼部中央部で土師器甕(同図5)が、燃焼部右手で土師器甕(同図2)がいずれも使用面から6～9cm浮いた状態で出土した。

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

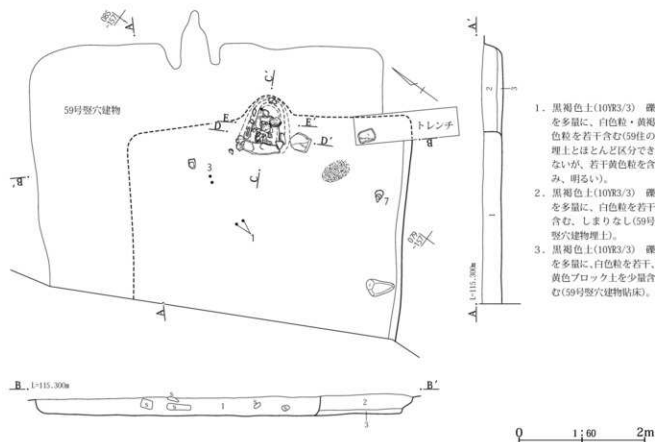
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

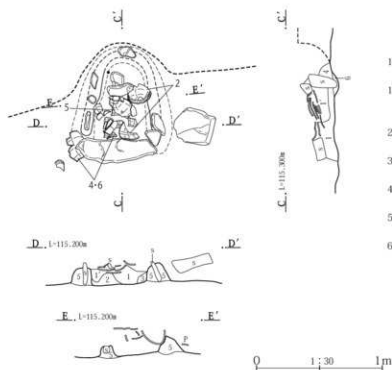
掘り方 地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。

遺物と出土状況 竈周辺に土器が集中して出土した。中央部床面上3cmで土師器鉢(第87図1)、東隅床面上5cmで土師器甕(同図7)、北部床面上6cmで土師器甕(同図3)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片134点が出土した。

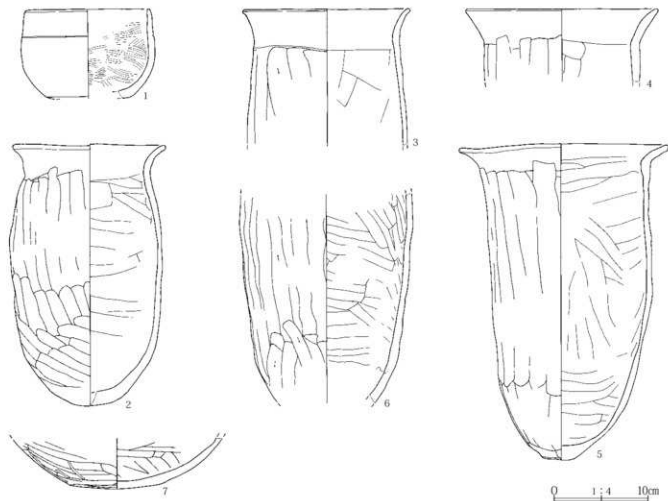
所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



第86図 10区68号竪穴建物



1. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘性やや強い、しまり弱い。小礫を少量含む。焼土粒を微量に含む(天井の崩落土か?埋土?)。
- 1'. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘性有り、しまり強い。小礫を微量に含む粘土ブロックを少量、焼土ブロックを中量含む(天井崩落土)。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘性有り、しまりあり。小礫を少量含む。焼土粒を微量に含む(竪穴建物の埋土に類似)。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘性有り、しまり強い。小礫を極めて微量含む。粘土ブロックを中量含む(袖崩落土)。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘性有り、しまりあり。小礫を少量、焼土粒を少量含む(1層に近い)。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘性有り、しまり強い。小礫を少量、焼土粒を若干含む(袖)。
6. 灰黄褐色土(10YR4/7) 粘性有り、しまり強い、小礫を含まない。炭化物粘・焼土粒を若干含む(支脚周辺のみ掘り方あり)。



第87図 10区68号竪穴建物遺と出土遺物

10K60号竪穴建物

(第88図 PL.29・71 遺物観察表P.263)

グリッド 110~111・-146~-147

重複 なし。

形状 竈部分のみが残っていた。竪穴建物の全体形状は不明。

規模 計測不能 面積 計測不能

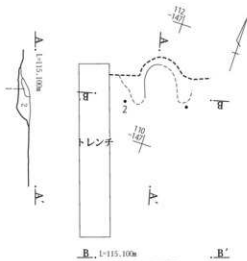
推定縦長軸方位 N-15°-W

埋没土 少量の白色鉱物粒と多量の礫と焼土塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

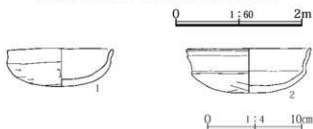
竈 竈と推定される凹地のみ残存していた。規模は確認長0.77m、屋外長0.31m、推定焚口幅0.68mである。屋内と推定される部分には袖構造の痕跡が左側0.46m、右側0.47mの長さで残存していた。燃焼部脇の床面直上で土師器杯(第88図2)が出土した。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(同図1)から出土した。この他、埋没土中から土師器破片63点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から6世紀後半の竪穴建物と考えられる。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫、焼土ブロックを多量に、白色粒を若干含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫を多量に、白色粒を少量含む。



第88図 10K60号竪穴建物と出土遺物

10-2K78号竪穴建物

(第89・90図 PL.29・71 遺物観察表P.263・264)

重複 80号竪穴建物、89号竪穴建物、99号竪穴建物より新しい。

グリッド 101~105・-113~-117

形状 北東側がやや丸くなったが、基本的には東西方向に長い長方形

規模 長軸4.04m 短軸3.35m 残存壁高0.15m

面積 11.72㎡ 長軸方位 N-8°-W

埋没土 礫とローム小塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁南端に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.55m、屋外長0.25m、推定燃焼部長0.55mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側のみ0.30mの長さで張り出し残存していた。竈埋没土中から土師器杯(第90図3)破片が出土した。

柱穴 床面の精査で確認できなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 北西隅を中心として、厚さ9~15cmの掘り方充填土の下面から掘り方向を検出した。全体として凹凸がある。掘り方面の凹地底面直上1cmで蛇紋岩製紡輪(第90図9)が出土した。

遺物と出土状況 土師器杯(第90図1)が南西隅床面直上で出土した。土師器杯(同図2)、土師器甕(同図7)、土師器台付甕(同図6)、須恵器蓋(同図4・5)、須恵器甕(同図8)が埋没土中から出土した。この他、土師器破片333点、須恵器破片13点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2K80号竪穴建物

(第89・90図 PL.29・71 遺物観察表P.264)

グリッド 100~105・-116~-119

重複 78号竪穴建物より古く、89号竪穴建物より新しい。

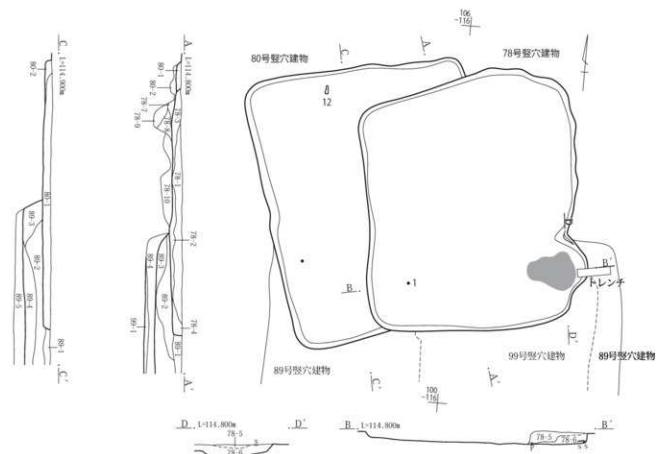
形状 東半部は78号竪穴建物に壊されているが、南北に長い長方形と推定される。

規模 長軸4.26m 短軸3.52m 残存壁高0.08m

面積 計測不能 長軸方位 N-16°-W

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。



78号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・小塊状ローム上少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・小塊状ローム上含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・赤褐色粒子微量。
4. 3同質。
5. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 礫無含有・ローム上と黒褐色土の混土(粉状ローム土が多い)。小塊状焼土少量。
6. 暗褐色土(10YR3/3) 礫微量・塊状焼土少量。
7. 黒褐色土(10YR3/2) ・塊状ローム土の混土。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 小礫少量・塊状ローム土少量。
9. 黒褐色土(10YR3/2) ・塊状ローム土の混土。7近質。
10. 黒褐色土(10YR3/2) ・塊状ローム土の混土。

80号竪穴建物

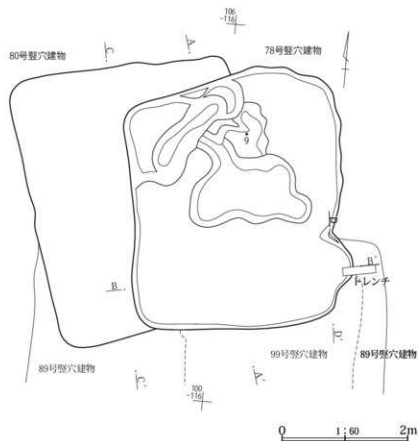
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干。

89号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・50mm ϕ ~100mm ϕ 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・50mm ϕ ~80mm ϕ 礫少量・塊状焼土多量・粒状灰化物多量。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 50mm ϕ ~80mm ϕ 礫混入。
4. 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック多量(人為層)。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。

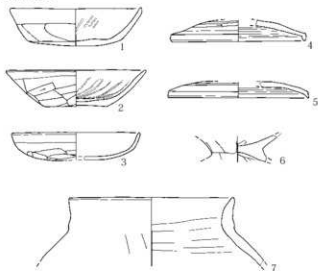
99号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土少量。

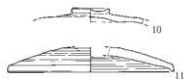


第89図 10-2区78・80号竪穴建物

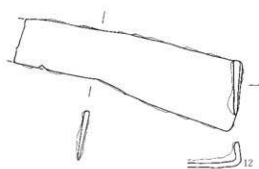
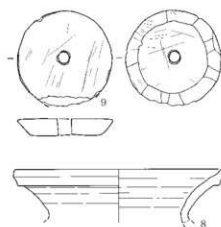
78号竪穴建物



80号竪穴建物



0 1:4 10cm



0 1:2 4m

78建-9
80建-12

第90図 10-2区78・80号竪穴建物出土遺物

柱穴 床面の精査では確認できなかった。

壁溝 なし。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 礫を含む黒褐色の掘り方充填土は断面では確認できたが、地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。

遺物と出土状況 北壁際で鉄製鎌(第90図12)が床面直上で出土した。埋没土中から須恵器蓋(同図10・11)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片136点、須恵器破片3点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区79号竪穴建物

(第91図 PL.29 遺物観察表P.264)

グリッド 099~100・112~115

重複 89号竪穴建物、99号竪穴建物、595号ピット、596号ピット、605号ピットより新しい。

形状 東西方向に長い隅丸長方形

規模 長軸2.05m 短軸1.74m 残存壁高0.04m

面積 2.94㎡ **長軸方位** N-80°-E

埋没土 礫を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 なし。

柱穴 床面の精査で南西部壁際にP1を検出した。底面には板状の礫と棒状の礫が置かれていた。P1の規模は下記の通りである。

P1 長径0.43m 短径0.37m 深さ0.11m

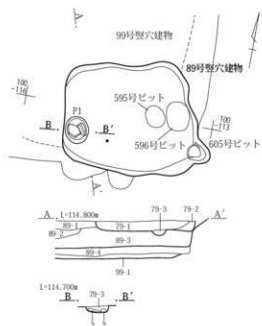
壁溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第91図1)、土師器裏(同図6)、土師器台付裏(同図5)、須恵器杯(同図2)、須恵器椀(同図3)、須恵器瓶か(同図4)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片153点、須恵器破片3点が出土した。

所見 埋没土の特徴から中世の竪穴建物と考えられる。埋没土中の出土遺物は混入である。



79号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状ローム土少量。

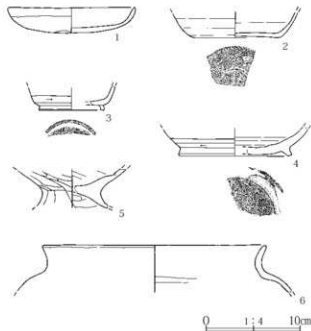
89号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・50mm ϕ ～100mm ϕ 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・50mm ϕ ～80mm ϕ 礫少量・塊状粘土多量・粒状炭化物多量。

3. 黒褐色土(10YR3/1) 50mm ϕ ～80mm ϕ 礫混入。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。

99号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土少量。



第91図 10-2区79号竪穴建物と出土遺物

10-2区81号竪穴建物

(第92・93図 PL.29)

グリッド 097～098・-116～-119

形状 北半部の範囲のみの確認にとどまるので全形は不明であるが、方形と推定される。

重複 268号土坑、1077号・1212号・1213号・1215号ピットより古い。

規模 東西軸2.67m 南北軸(1.15)m 残存壁高0.04m

面積 計測不能 **長軸方位** N-79°-E

埋没土 わずかな礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がなく、時期は不明である。

10-2区82号竪穴建物

(第92・93図 PL.29 遺物観察表P.264)

グリッド 099～102・-118～-119

重複 89号竪穴建物より古い。

形状 北西隅のみの確認のため全形は不明であるが、方形と推定される。

規模 東西軸(1.05)m 南北軸(1.93)m

残存壁高0.35m

面積 計測不能 **長軸方位** N-27°-W

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

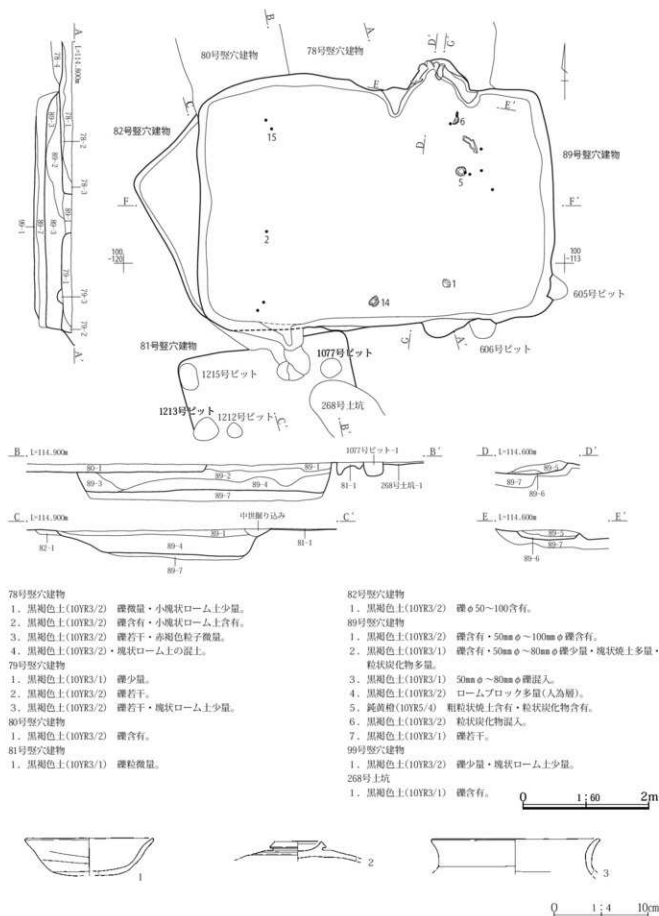
壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

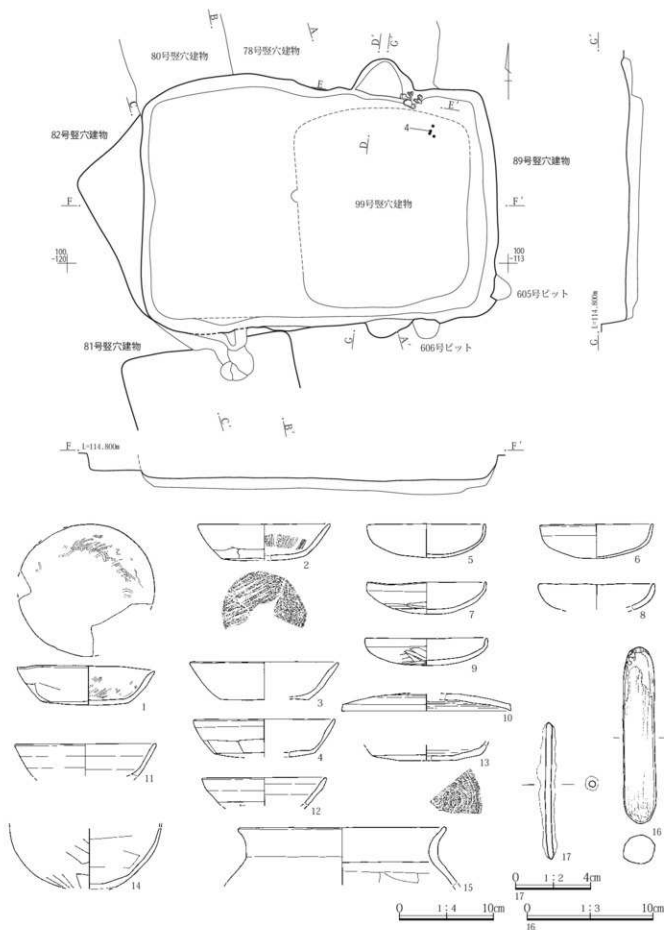
掘り方 地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第92図1)、土師器甕(同図3)、須恵器蓋(同図2)が出土した。その他、土師器破片152点、須恵器破片3点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



第92図 10-2区81・82・89号竪穴建物と82号竪穴建物出土遺物



第93図 10-2区81・82・89号竪穴建物掘り方と89号竪穴建物出土遺物

10-2区89号竪穴建物

(第92・93図 PL.29・71 遺物観察表P.264・265)

グリッド 098～103・-113～-118

重複 78号竪穴建物、80号竪穴建物、81号竪穴建物、605号ピット、606号ピットより古く、82号竪穴建物、99号竪穴建物より新しい。

形状 東西に長い隅丸長方形

規模 長軸5.62m 短軸4.02m 残存壁高0.37m

面積 18.46㎡ 長軸方位 N-90°-E

埋没土 礫と多量の塊状焼土・粒状炭化物を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北壁中央やや東側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.80m、屋外長0.36m、燃焼部長0.80mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.55m、右側0.33mの長さで張り出し残存していた。竈奥部には礫が並んでいたが、竈の構造とは確定できなかった。竈焚口部右手床面上14cmで土師器杯(第93図6)が出土した。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ10～14cmの掘り方充填土の下位で、竈の掘り方を確認した。全体の掘り下げ調査中に99号竪穴建物を検出した。

遺物と出土状況 東半部ので床面上13cmで土師器杯(第93図5)が出土した。南壁沿いの床面上13cmで土師器杯(同図1)が、床面上11cmで土師器壺(同図14)が出土した。南西部床面上10cmで土師器杯(同図2)、北西部床面上10cmで土師器裏(同図15)、掘り方底面上14cmで土師器杯(同図4)が出土した。

また、埋没土中から土師器杯(同図3・8・9)、須恵器杯(同図11・12)、須恵器杯(同図13)、須恵器蓋(同図10)、棒状礫(同図16)、鉄製釘(同図17)が出土した。掘り方埋没土中から土師器杯(同図7)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片622点、須恵器破片14点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区99号竪穴建物

(第94図 PL.30)

グリッド 099～102・-113～-116

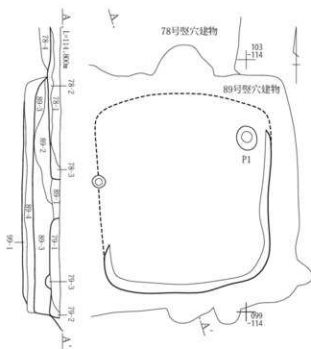
重複 78号竪穴建物、89号竪穴建物より古い。

形状 北壁周辺は残存状況が不良であったが、南北に長い隅丸方形と推定される。

規模 推定長軸3.17m 短軸2.59m

残存壁高0.08m

面積 計測不能 長軸方位 N-0°-E



78号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・小塊状ローム土少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・小塊状ローム土含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・赤褐色粒子微量。
4. 黒褐色土(10YR3/2)・塊状ローム土の混土。

79号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・塊状ローム土少量。

89号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・50mmφ～100mmφ礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・50mmφ～80mmφ礫少量・塊状焼土多量・粒状炭化物多量。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 50mmφ～80mmφ礫混入。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。

99号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土少量。



第94図 10-2区99号竪穴建物

埋没土 少量の礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 北東部でP1を検出したが、位置が壁寄りであること、浅いことから主柱穴とは確定できなかった。P1の規模は下記の通りである。

P1 長径0.39m 短径0.33m 深さ0.07m

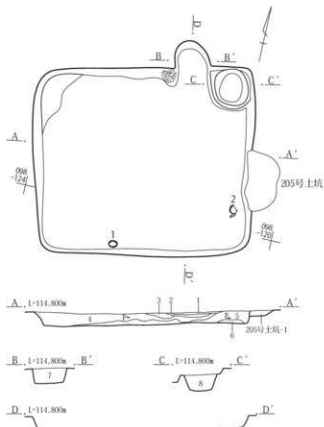
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

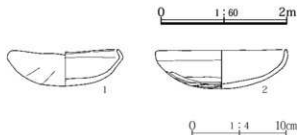
掘り方 なし。

遺物と出土状況 出土遺物はなかった。

所見 出土遺物がなく時期は不明であるが89号竪穴建物より古いので8世紀以前の竪穴建物と考えられる。



1. 褐灰色土(10YR4/1) シルト質・礫微量。
2. 灰褐色土(7.5YR4/2) 塊状焼土含有・塊状ローム土若干。
3. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫少量。
4. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫混入・塊状ローム土少量。
5. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫混入・50mm ϕ ～80mm ϕ 礫含有。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。
7. 灰褐色土(7.5YR4/2) 礫含有・塊状焼土含有・粒状焼土含有。
8. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム土含有。



第95図 10-2区83号竪穴建物と出土遺物

10-2区83号竪穴建物

(第95図 PL.30・71 遺物観察表P.265)

グリッド 097～100・-120～-124

重複 205号土坑より新しい。

形状 東西方向に長い長方形

規模 長軸3.32m 短軸2.90m 残存壁高0.14m

面積 8.63㎡ **長軸方位** N-75°-E

埋没土 礫やローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北壁中央よりやや右側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.72m、屋外長0.42m、燃烧部長0.72mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側のみ0.31mの長さで張り出し残存していた。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 北東隅に、長径0.57m、短径0.45m、深さ0.26mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。周囲は隅丸形状に縁どられたような高まりがあった。

掘り方 地山との判別が困難であることから調査を実施しなかった。

遺物と出土状況 南壁際床面直上で土師器杯(第95図1)が完形で出土した。南東隅床面直上で土師器杯(同図2)が出土した。この他、埋没土から土師器破片41点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区84号竪穴建物

(第96図 PL.30)

グリッド 107～110・-115～-118

重複 194号土坑、583号ピットより古い。

形状 確認当初から床面は失われており、掘り方面のみの調査となった。

規模 長軸2.85m 短軸2.68m 残存壁高0.06m

面積 7.24㎡ 長軸方位 N-11°-W

埋没土 少量の礫と多量のローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 検出されなかった。

柱穴 掘り方でピットを3本検出したが、位置からするとP1・P3が主柱穴の可能性がある。それぞれの規模は下記の通りである。深さは掘り方底面からの計測である。

P1 長径0.53m 短径0.23m 深さ0.11m

P2 長径0.66m 短径0.55m 深さ0.13m

P3 長径0.64m 短径0.50m 深さ0.28m

柱間の距離はP2・P3間が1.87m、P3・P1間が2.05mである。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし

掘り方 中央から北東部にかけて凹凸が著しく掘り込まれていた。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片10点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から9世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区85号竪穴建物

(第97・98図 PL.30・72 遺物観察表P.265・266)

グリッド 114~118・-106~-111

重複 472号ピットより古い。

形状 南北方向に長い長方形

規模 長軸3.45m 短軸3.08m 残存壁高0.15m

面積 10.26㎡ 長軸方位 N-28°-W

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央より南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.87m、屋外長0.71m、燃烧部長0.87m、焚口幅0.96mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が右側のみ0.27m張り出し残存していた。燃烧部の中央とやや右寄りの位置に棒状礫が支脚として立てられていた。

竈燃烧部から建物中央部にかけて、土師器の大型破片と平瓦片、大型礫破片が5~15cm床面から浮いた状況で出土した。竈内で出土したのは、平瓦(第99図12)、土師器羽釜(第98図8)、須恵器羽釜(同図9)で、須恵器羽釜(9)は竈前で出土した大型破片とも接合した。

柱穴 床面の精査で主柱穴3本、ピット1本を検出した。床面で確認できなかった北西隅の主柱穴は掘り方面P5として確認した。床面で検出したP4については性格は不明である。各柱穴・ピットの規模は下記の通りである。

P1 長径0.43m 短径0.42m 深さ0.11m

P2 長径0.45m 短径0.40m 深さ0.10m

P3 長径0.39m 短径0.36m 深さ0.19m

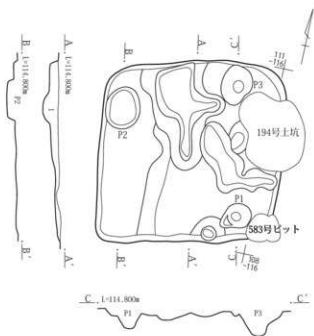
P4 長径0.24m 短径0.23m 深さ0.10m

P5 長径0.38m 短径0.36m 深さ0.10m

柱間の距離はP1・P2間が1.40m、P2・P5間が2.46m、P5・P3間が1.74m、P3・P1間が2.46mである。

壁際溝 なし。 貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ10cmほどの掘り方充填土の下位に掘り方面を検出した。掘り方面壁沿いに幅0.1~0.7mほどの掘り残しがあり、中央部がさらに掘り込まれていた。中央部はほぼ平坦で、その中にP6(長径0.62m、短径0.60m、深さ0.11m)と、その北側にP7(長径0.50m、短径0.47m、深さ0.29m)を検出した。P7の底面には板状の礫が出土した。また、掘り方充填土の薄かった部分では掘り方で灰釉陶器長頸壺(第98図6)に接合する破片が出



1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫干・塊状ローム土多量。

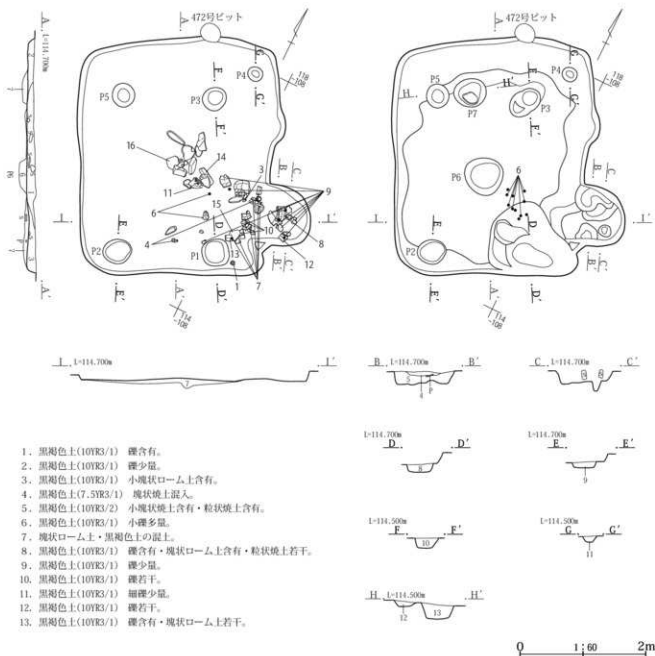
第96図 10-2区84号竪穴建物

土した。

遺物と出土状況 竈燃焼部から建物中央部にかけて出土した多くの遺物は建物廃絶の過程で南東隅から中央部にかけて流れ込んだものと推定される。このうち須恵器羽釜(第98図7)、須恵器杯(同図3)、土師器椀(同図1)、土師器か羽釜(同図10)、平瓦(第99図13・14・15・16)、須恵器椀(第98図4)を図示した。なかには縄文時代のもつとみられる石皿の破片(同図11)も含まれていた。また、埋没土中から須恵器杯(同図2)、須恵器椀(同図5)、塊状鉄滓1点が出土した。この他、埋没土中から土師器破

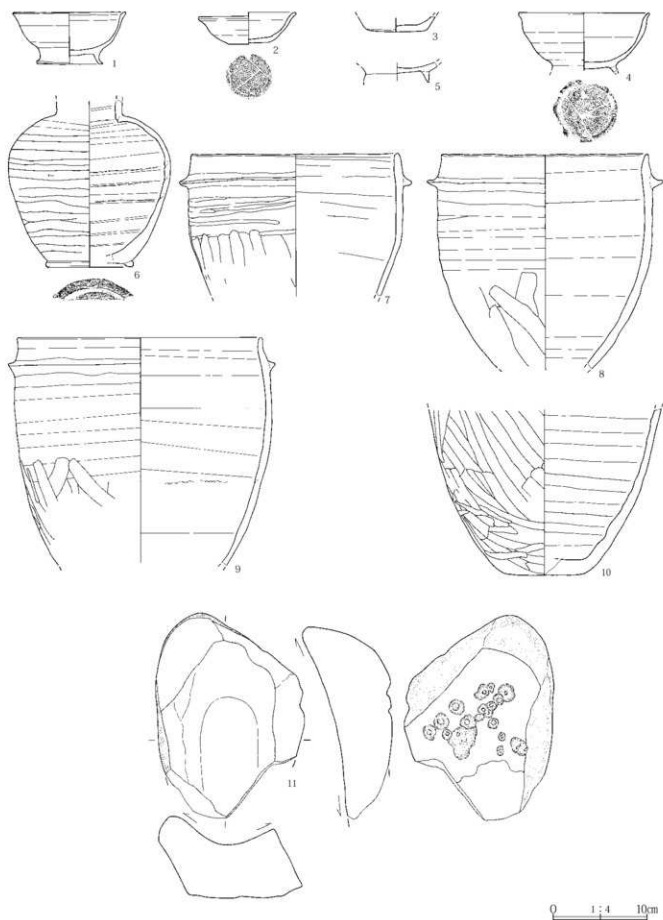
片166点、須恵器破片28点、塊状鉄滓1点が出土した。

所見 出土遺物から10世紀後半の竪穴建物と考えられる。竈燃焼部から建物中央部にかけての遺物出土状態は流れ込んだような状態であるが、竈内から連続した形で出土していること、时期的な一括性があること、掘り方面出土の破片が灰釉陶器長頸壺(第98図9)に接合していることから、本竪穴に伴うと判断した。平瓦は8世紀前半のものであり、調査区東に近接する雑木味遺跡出土の瓦群と同窯で生産されたものと推定される。混入品であろう。

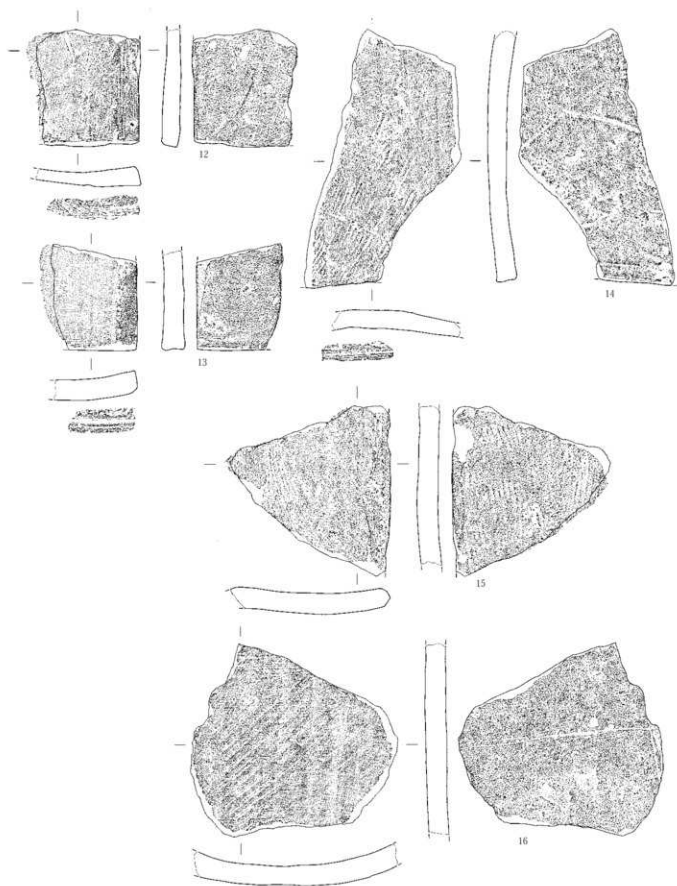


1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 塊状ローム上含有。
4. 黒褐色土(7.5YR3/1) 塊状土混入。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 小塊状焼土含有・粒状焼土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 小礫多量。
7. 塊状ローム土・黒褐色土の混上。
8. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・塊状ローム上含有・粒状焼土若干。
9. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
10. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。
11. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫少量。
12. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。
13. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・塊状ローム上若干。

第97図 10-2区85号竪穴建物



第98図 10-2区85号竪穴建物出土遺物(1)



0 1:4 10cm

第99图 10-2区85号整穴建物出土遺物(2)

10-2区86号竪穴建物

(第100・101図 PL.31・73 遺物観察表P.266・267)

グリッド 109～112・-104～-108

重複 93号竪穴建物より新しく、163号土坑より古い。

形状 東西方向に長い隅丸長方形

規模 長軸3.74m 短軸2.81m 残存壁高0.20m

面積 8.17㎡ 長軸方位 N-84°-E

埋没土 少量の白色鉱物粒とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 なし。 柱穴 なし。 壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。 掘り方 なし。

遺物と出土状況 南部で土師器杯(第101図2)が床面上14cm、土師器甕(同図13)が床面上26cm、土師器甕(同図17)が床面上12cmで出土した。南壁沿いで土師器甕(同図15)、土師器甕(同図16)が床面上8cmで出土した。また、中央部床面直上で土師器杯(同図3)が出土した。中央部から北部にかけてには土師器鉢(同図7)が床面直上で散在していた。土師器杯(同図5)は中央部床面上22cmで出土した。須恵器盤(同図11)が北西隅床面上16cmで出土した。

埋没土中から土師器杯(同図1・4・6)、土師器甕(同図12・14)、須恵器杯(同図10)、須恵器蓋(同図8・9)が出土した。この他に埋没土中から土師器破片286点、須恵器破片10点が出土した。

なお、87号竪穴建物出土土器との接合は2例であった。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。調査当初は86号、87号、93号は東壁に竈をもつ1棟の竪穴建物と考え調査を始めたが、掘り進めるうちに86号と87号の二つの竪穴と、竈とそれに対応する床面が確認できた。竈をもつ竪穴を93号とした。93号は竪穴住居と考えられるが、86号、87号の竪穴の機能は明確にできなかった。

10-2区87号竪穴建物

(第100図 PL.31・73 遺物観察表P.266)

グリッド 107～109・-104～-106

重複 93号竪穴建物より新しい。20B号溝・598号ピットより古い。

形状 南北方向に長い隅丸長方形

規模 長軸2.67m 短軸2.33m 残存壁高0.28m

面積 4.59㎡ 長軸方位 N-10°-W

埋没土 少量の白色鉱物粒とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 なし。 柱穴 なし。 壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。 掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第100図1・2・3)、須恵器杯(同図6)、須恵器蓋(同図4)、須恵器蓋(同図5)、鉄製釘(同図8)、変玄武岩製の磨石(同図7)が出土した。この他に埋没土中から土師器破片431点、須恵器破片12点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。本竪穴は竈や柱穴等の遺構はなく竪穴住居とは考えにくい。比較的多量の土器が出土しているのが特徴的だが、本竪穴の機能は明確にできなかった。

10-2区93号竪穴建物

(第100図 PL.31・73 遺物観察表P.266)

グリッド 106～110・-103～-107

重複 86号・87号竪穴建物より古く、180号・208B号・273号土坑より新しい。

形状 上記他遺構により北半、南東隅が壊されており、全形は把握できなかったが、南北方向に長い長方形と推定される。

規模 東西軸推定3.76m 南北軸(2.95)m 残存壁高0.09m

面積 計測不能 長軸方位 N-85°-E

埋没土 夾雑物の少ない黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁に竈が敷設されていた。詳細な位置については北壁の位置が不明であることから明らかにできなかった。残存する竈の規模は確認長1.22m、屋外長0.85m、燃焼部長不明、焚口幅0.63mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が右側のみ0.43mの長さで張り出し残存していた。焼土や灰の残存状況は不良であった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

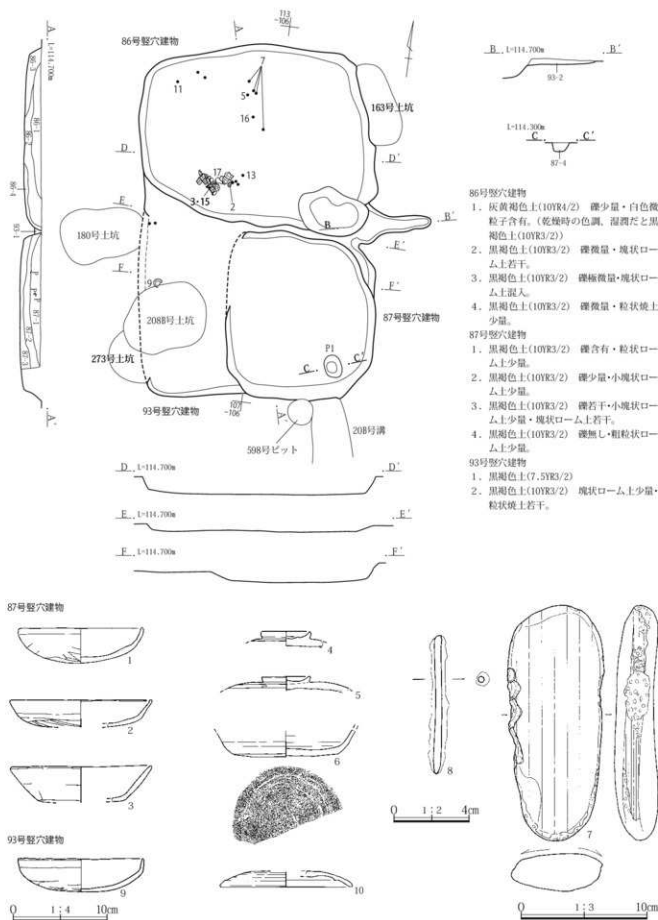
壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

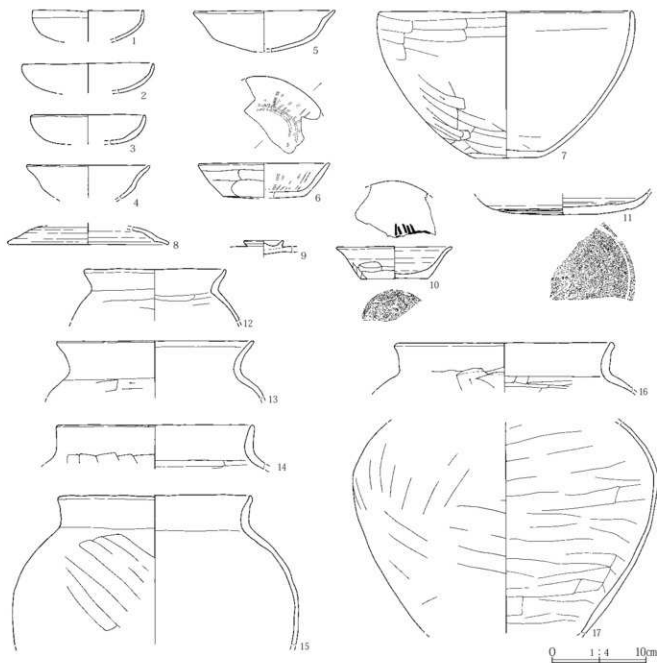
掘り方 なし。

遺物と出土状況 西壁際床面上13cmで土師器杯(第100図9)が出土した。埋没土中から須恵器蓋(同図10)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片70点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



第100図 10-2区86・87・93号竪穴建物と87・93号竪穴建物出土遺物



第101図 10-2区86号竪穴建物出土遺物

10-2区88号竪穴建物

(第102図 PL.31)

グリッド 102～108・-101～106

重複 18号溝、183号・184号土坑、600号・601号・602号・603号・604号・610号ピットより古い。

形状 南北方向にわずかに長い長方形

規模 長軸4.43m 短軸4.09m 残存壁高0.21m

面積 15.95㎡ 長軸方位 N-25°-W

埋没土 礫やローム小塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央より南側に竈が敷設されていた。残存する

竈の規模は確認長0.34m、屋外長0.21m、燃焼部長0.34m、焚口幅0.81mで、屋内に張り出す袖構造は確認できなかった。焼土や灰の残存状況は不良であった。

柱穴 床面の精査では南西隅のP1を検出した。他の主柱穴P4・P11・P8は掘り方面の調査で確認することができたので、床面平面図に追記している。

P1の規模は下記の通りである。

P1 長径0.53m 短径0.40m 深さ0.12m

壁隙溝 なし。 貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ5～10cmの掘り方充填土の下位で掘り方面

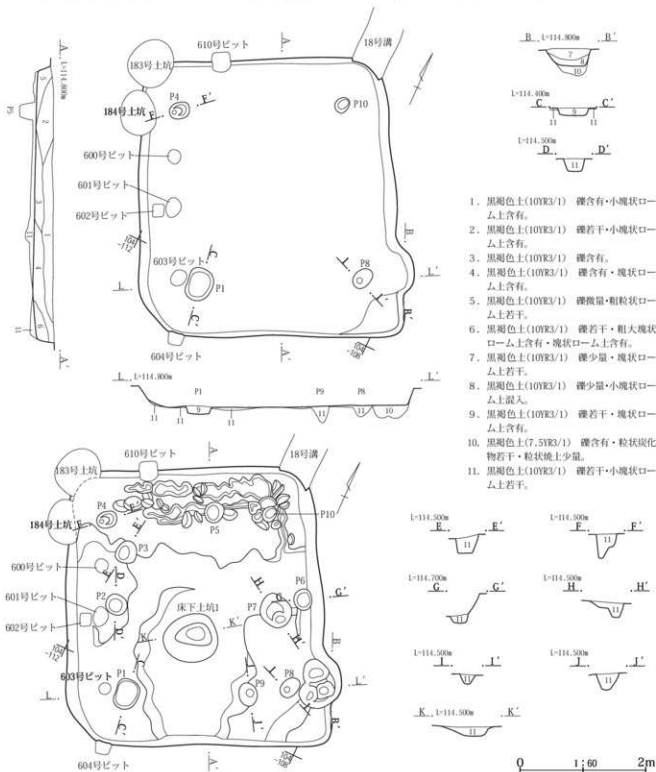
を確認した。中央部がやや深く掘り込まれており、その中央付近で長径0.86m、短径0.76m、深さ0.16mの1号床下土坑が検出された。

本建物は4本柱穴の構造と推定されるが、掘り方面で主柱穴3本(P4・P10・P8)を検出した。さらに各辺に1本ずつ別の柱穴が検出された。その位置(柱間寸法)

は一定ではないが、主柱穴の柱通りになっている。構造に関わる施設の可能性がある。また、柱通りからは外れるが、北西部にP3、東壁際中央部にP6を検出した。

各柱穴の規模は下記の通りである。深さはいずれも掘り方面での計測値である。

P4 長径0.33m 短径0.27m 深さ0.37m



第102図 10-2区88号竪穴建物

- P10 長径0.25m 短径0.19m 深さ0.30m
 P 8 長径0.36m 短径0.25m 深さ0.19m
 P 2 長径0.35m 短径0.32m 深さ0.20m
 P 5 長径0.33m 短径0.32m 深さ0.24m
 P 7 長径0.53m 短径0.47m 深さ0.11m
 P 9 長径0.28m 短径0.29m 深さ0.27m
 P 3 長径0.36m 短径0.36m 深さ0.30m
 P 6 長径0.34m 短径0.29m 深さ0.11m

柱間の距離はP1・P4間が2.78m、P4・P10間が2.70m、P10・P8間が2.80m、P8・P1間が2.60mである。また、P1・P2間が1.44m、P4・P5間が1.80m、P10・P7間が1.90m、P8・P9間が0.60mである。

主柱穴を結んだ線より北辺、西辺はやや高くなっており、北辺には掘削作業に伴う鋤先痕跡が掘り方面に残されていた。その観察によれば作業は西から東へ向かって進められたと判断された。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片299点、須恵器破片4点、塊状鉄滓1点が出土したが、いずれも小片で実測・図示できる資料はなかった。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区90号竪穴建物

(第103図 PL.31)

グリッド 110~113・-093~095

重複 91号竪穴建物より新しい。246号・247号土坑、931号・932号ピットより古い。

形状 南北方向に長い隅丸長方形。やや南東隅が膨らむ不定形な形状を示す。

規模 長軸2.84m 短軸2.19m 残存壁高0.05m

面積 4.79㎡ **長軸方位** N-18°-E

埋没土 ローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央やや北側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.61m、屋外長0.48m、燃焼部長0.87m、焚口幅0.78mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が右側のみ0.17m張り出し残存していた。燃焼部の焼土や灰の残存状況は不良であった。

柱穴 なし。 **壁際溝** なし。

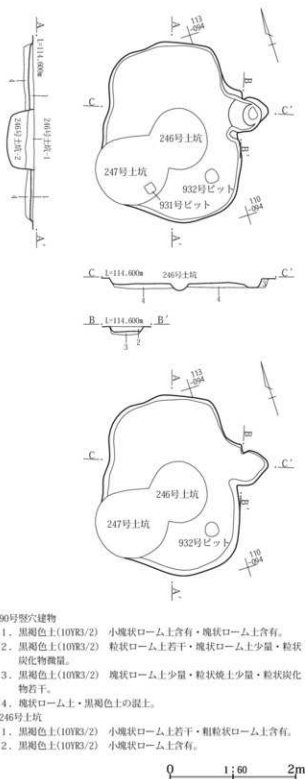
貯蔵穴 なし。

掘り方 厚さ6~10cmの掘り方充填土の下位で掘り方面

を検出した。掘り方面は平坦であった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片17点、須恵器破片1点を出土した。いずれも小片で実測・図示できる資料はなかった。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



第103図 10-2区90号竪穴建物

10-2区91号竪穴建物

(第104・105図 PL.31・73 遺物観察表P.267)

グリッド 111~116・-088~-094

重複 90号竪穴建物、187号・188号土坑より古い。

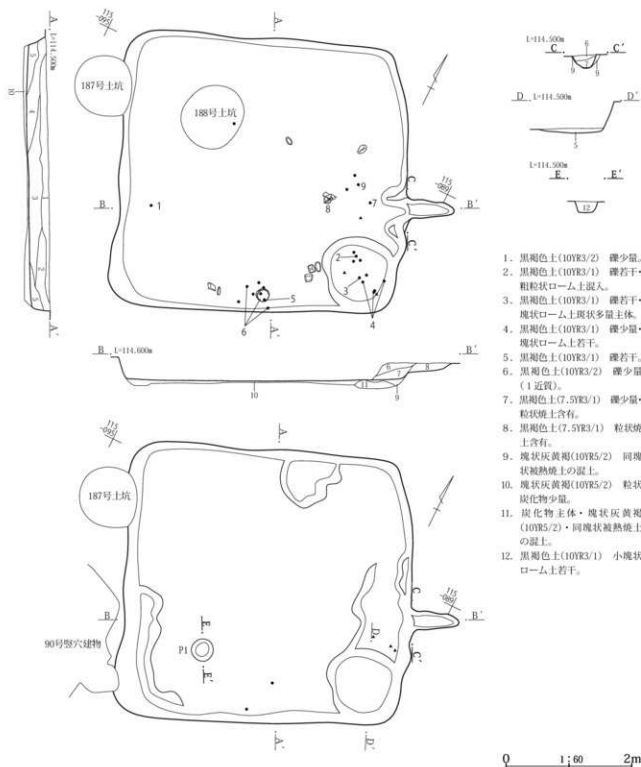
形状 ほぼ正方形

規模 長軸4.59m 短軸4.35m 残存壁高0.35m

面積 17.22㎡ 長軸方位 N-64°-E

埋没土 少量の礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竪 東壁中央すぐ南側に竪が敷設されていた。残存する



第104図 10-2区91号竪穴建物

竈の規模は確認長1.13m、屋外長0.75m、燃烧部長0.42m、焚口幅0.48mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.36m、右側0.42cmの長さで張り出し残存していた。燃烧部と煙道の境には9cmほどの段があった。竈左袖前床面直上で土師器甕(第105図7)が出土した。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。掘り方面の精査で南西隅の主柱穴P1を検出した。

壁際溝 なし。

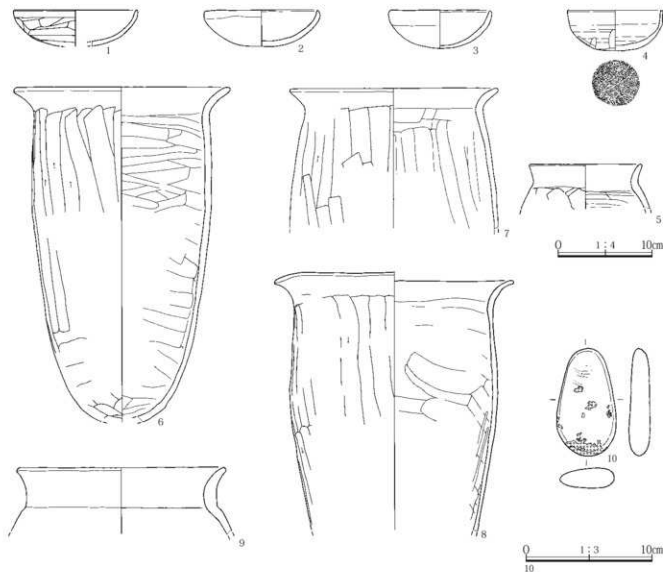
貯蔵穴 南東隅に長径1.30m、短径1.16m、深さ0.20mの円形の貯蔵穴を検出した。ごく浅い皿状の土坑であった。貯蔵穴内から土師器杯(第105図2)が底面上7cmで、土師器杯(同図3)が底面上6cmで、須恵器杯(同図4)が底面直上で出土した。

掘り方 厚さ2~10cmの掘り方充填土の下位で掘り方面を検出した。中央が浅く壁に沿った周縁部が深く掘られていた。南西部に位置から考えると主柱穴の可能性が高いP1を検出した。P1の規模は下記の通りである。

P1 長径0.35m 短径0.35m 深さ0.18m

遺物と出土状況 竈周辺および南東部に集中して遺物が出土した。竈左前の床面上3cmで土師器甕(第105図9)が、床面直上で土師器甕(同図8)が出土した。西壁際床面直上で土師器杯(同図1)が、南壁沿い床面直上で土師器甕(同図6)・土師器小型甕(同図5)が出土した。また、埋没土中から珪質頁岩の礫(同図10)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片54点、須恵器破片1点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竈穴建物と考えられる。



第105図 10-2区91号竈穴建物出土遺物

10-2区92号竪穴建物

(第106図 PL.32・73 遺物観察表P.267)

グリッド 106~110・-091~095

重複 192号土坑・96号竪穴建物より新しい。193号土坑より古い。

形状 東西方向にやや長い長方形。

規模 長軸3.47m 短軸3.36m 残存壁高0.10m

面積 9.68㎡ 長軸方位 N-63°-E

埋没土 床面が失われており、掘り方面のみ残存していた。掘り方埋没土はローム塊と黒褐色土の混土や、微細礫とローム塊を含む黒褐土からなる。

竈 なし。

柱穴 南西隅でP1を検出した。P1の規模は下記の通

りである。

P1 長径0.28m 短径0.21m 深さ0.13m

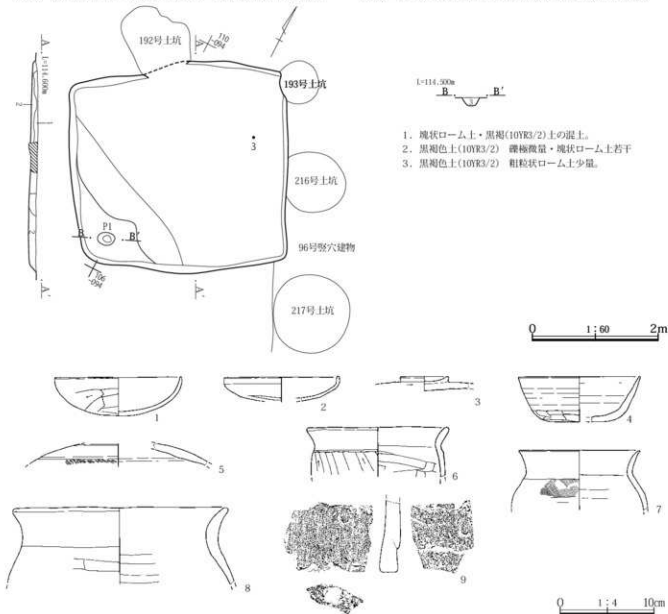
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 床面が失われており、掘り方面のみ残存していた。

遺物と出土状況 北東部掘り方底面上6cmで須恵器蓋(第106図3)が出土した。埋没土中から土師器杯(同図1・2)、土師器小型甕(同図6)、土師器甕(同図8)、形象埴輪か(同図9)、須恵器杯(同図4)、須恵器長頸壺(同図5)、須恵器小型甕(同図7)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片105点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 塊状ローム土・黒褐(10YR3/2)土の混土。
 2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫極微量・塊状ローム土若干
 3. 黒褐色土(10YR3/2) 粗粒状ローム土少量。

第106図 10-2区92号竪穴建物と出土遺物

10-2区96号竪穴建物

(第107図 PL.32)

グリッド 104~110・-086~-091

形状 南北方向に長い長方形。南壁辺がやや長い。

重複 92号竪穴建物、216号・217号・245号土坑、921号・922号・923号ピットより古い。

規模 長軸4.76m 短軸3.72m 残存壁高0.05m

面積 計測不能 長軸方位 N-33°-W

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 なし。

柱穴 なし。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 掘り方底面のみが残存していた。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片1点が出土したが、小片のため図示できなかった。

所見 出土遺物がなく、時期は不明であるが、92号竪穴建物より古いことから、7世紀以前の竪穴建物と考えられる。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。

0 1:60 2m

第107図 10-2区96号竪穴建物

10-2区94号竪穴建物

(第108図 PL.32)

グリッド 113~117・-083~-087

重複 248号・270号土坑より古い。

形状 ほぼ正方形。北隅がやや丸みを帯びていた。

規模 長軸2.66m 短軸2.60m 残存壁高0.03m

面積 6.42㎡ 長軸方位 N-52°-E

埋没土 少量の礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 なし。

柱穴 なし。

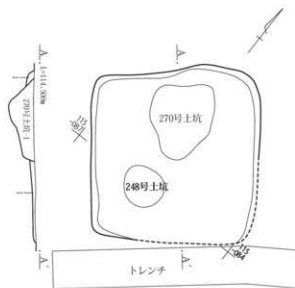
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片10点が出土した。いずれも小片のため実測・図示できなかった。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



94号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土含有。
270号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム土若干。

0 1:60 2m

第108図 10-2区94号竪穴建物

10-2区95号竪穴建物

(第109図 PL.32)

グリッド 112~115・-080~-084

形状 北側と東側が土坑群と重複していたことから全形が把握できなかったが、南西隅が検出されていることから方形と推定される。

重複 211B号・239~241号土坑より古い。

規模 東西軸(2.90)m 南北軸(2.77)m 残存壁高0.06m

面積 計測不能 **長軸方位** N-64°-E

埋没土 微量の礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 掘り方は土層断面のみで記録した。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片4点が出土した。いずれも小片のため実測・図示できなかった。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区97号竪穴建物

(第110図 PL.32 遺物観察表P.267)

グリッド 117~120・-071~-073

重複 111号竪穴建物より新しい。

形状 東半分が調査区域外となり全形が把握できなかったが、東西方向に長い隅丸方形と推定される。

規模 東西軸(1.50)m 南北軸2.28m 残存壁高0.21m

面積 計測不能 **長軸方位** N-27°-W

埋没土 微量の礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 床面は検出できなかった。掘り方は凹凸が著しかった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第110図1)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片49点が出土しているが、いずれも小片のため、図化は上記1点にとどまった。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。竪穴住居としては規模や形状が大きく異なる。竪穴の機能を特定することはできなかった。

10-2区111号竪穴建物

(第110図 PL.32)

グリッド 116~121・-071~-075

重複 97号竪穴建物・939号ピットより古く、20A号溝より新しい。

形状 東部が調査区域外となり全形を把握することはできなかったが、東西方向に長い長方形と推定される。

規模 東西軸(3.32)m 南北軸3.71m 残存壁高0.05m

面積 計測不能 **長軸方位** N-32°-W

埋没土 微量の礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 なし。

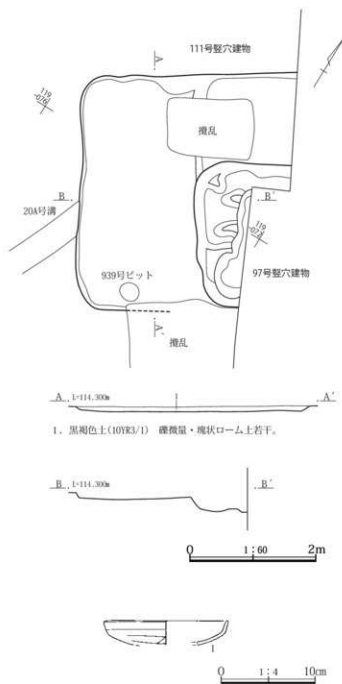


1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・塊状ローム土若干。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 砂礫混入。

第109図 10-2区95号竪穴建物

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片6点が出土した。いずれも小片で実測・図示できなかった。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



第110図 10-2区97・111号竪穴建物と97号竪穴建物出土遺物

10-2区98号竪穴建物

(第111図 PL.32・73 遺物観察表P.268)

グリッド 106~111・-069~073

形状 南北方向に長い長方形

重複 242号土坑、996号・997号・998号・999号・1022号ピットより古い。

規模 長軸4.67m 短軸3.78m 残存壁高0.15m

面積 15・68㎡ **長軸方位** N-13°-W

埋没土 礫とローム粒を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央やや南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.26m、屋外長0.07m、燃燒部長0.26mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.30m、右側0.11mの長さで張り出し残存していた。竈前は長径1.70m、短径1.24m、深さ0.17mの横長楕円形が窪み、底面は被熱して硬化していた。これを焚き口から燃燒部の範囲とした。竈内燃燒部底面上24cmで土師器有孔鉢(第111図7)が、左袖床面上6cmで土師器杯(同図5)が出土した。

柱穴 北西隅でピット1本を検出した。壁に近い位置であることから、主柱穴とは断定できなかった。P1の規模は下記の通りである。

P1 長径0.52m 短径0.51m 深さ0.34m

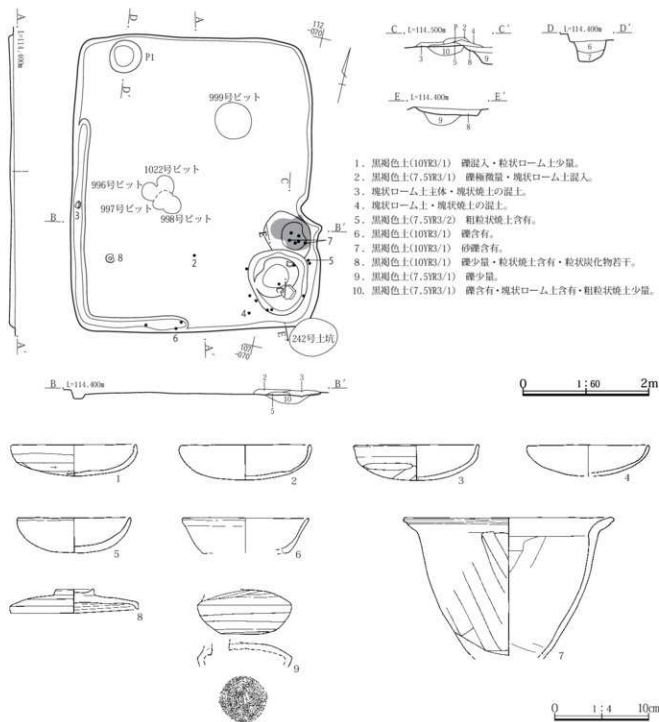
壁際溝 西壁中央やや北側から、南西隅、南壁中央のL字形に、幅17~20cm、深さ3~8cmの壁際溝が検出された。西壁中央部の壁際溝底面上10cmで土師器杯(第111図3)が出土した。また、南壁中央の壁際溝東端底面上13cmで土師器杯(同図6)が出土した。

貯蔵穴 南東隅に、長径1.05m、短径0.90m、深さ0.30mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。貯蔵穴南袖床面上2cmで土師器杯(第111図4)が出土した。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 南部床面上7cmで土師器杯(第111図2)が、南西部床面上9cmで須恵器蓋(同図8)が出土した。埋没土中から土師器杯(同図1)、須恵器平瓶(同図9)が出土した。この他に埋没土中から土師器破片158点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入・粒状ローム土少量。
2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫極微量・塊状ローム土混入。
3. 塊状ローム土主体・塊状焼土の混入。
4. 塊状ローム土・塊状焼土の混入。
5. 黒褐色土(7.5YR3/2) 粗粒状焼土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。
7. 黒褐色土(10YR3/1) 砂礫含有。
8. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・粒状焼土含有・粒状炭化物若干。
9. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫少量。
10. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫含有・塊状ローム土含有・粗粒状焼土少量。

第111図 10-2区98号竪穴建物と出土遺物

10-2区112号竪穴建物

(第112図 PL.32)

グリッド 112~116・-069~073

重複 212号土坑、877号・878号・879号・880号・881号・882号ピットより古い。

形状 東半部が調査区域外となり全形が把握できなかったが、東西に長い長方形と推定される。

規模 東西軸(3.08)m 南北軸3.32m

残存壁高0.05m

面積 計測不能 長軸方位 N-26°-W

埋没土 少量の礫とローム小塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

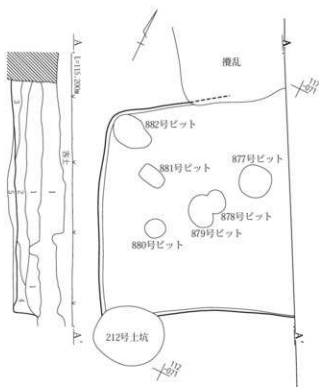
壁際溝 なし。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 断面A-A' にかかる位置で床面下を掘り下げた部分を検出したが、全体としての掘り方は確認できなかった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片が2点出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。北西隅の882号ピットは中世の遺構であるが、形態が不定形である。本住居の貯蔵穴等との重複の可能性があるが、詳細は不明である。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入・小塊状ローム土少量。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状ローム土含有。
4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム土少量。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状ローム土若干。

0 1:60 2m

第112図 10-2区113号竪穴建物

10-2区113号竪穴建物

(第113図 PL.32・73 遺物観察表P.268・269)

グリッド 096～099・104～109

重複 237号土坑・1047号・1216A号・1224号・1225号・1227号・1228号・1235号ピットより古い。

形状 竪穴建物の痕跡で不定形。南東隅の土坑状の部分に遺物が集中している。

規模 長軸4.72m 短軸3.19m 残存壁高0.13m

面積 計測不能 長軸方位 N-90°-E

埋没土 礫や焼土粒、炭化物粒を含む黒褐色土で埋まっていたが、堆積は塊状に重なっており攪乱状態であった。

竈 明確に竈を確認できなかった。

柱穴 床面の精査でP1を検出した。調査では他の中世ピットとは異なる埋没土で埋まっていたことから、本建物痕跡の柱穴の可能性を考えた。P1の規模は下記の通りである。

P1 長径0.38m 短径0.31m 深さ0.19m

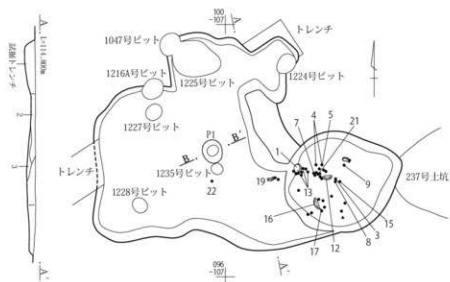
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

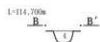
掘り方 明瞭な床面を検出できず、建物痕跡の調査となった。調査では最終的に掘り方面およびその下位まで掘り下げた状況で記録した。底面は凹凸のある状況であった。

遺物と出土状況 南東部にある長径1.94m、短径1.65m、深さ0.15mの楕円形の凹地部分に出土遺物は集中して出土した。土師器杯(第113図5・8)のように底面直上で出土したものや、土師器杯(同図12)のように底面から13cm浮いた状態で出土したものもあった。凹地内で出土したのは土師器杯(同図1・3・4・7・9・13)、土師器小型甕(同図19)、土師器甕(同図21)、土師器甕(同図17)、須恵器蓋(同図15・16)、須恵器甕(同図22)である。また、埋没土中から土師器杯(同図2・6・10・11)、土師器甕(同図20)、土師器甕(同図18)、土師器有孔鉢(同図14)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片50点、須恵器97点が出土した。

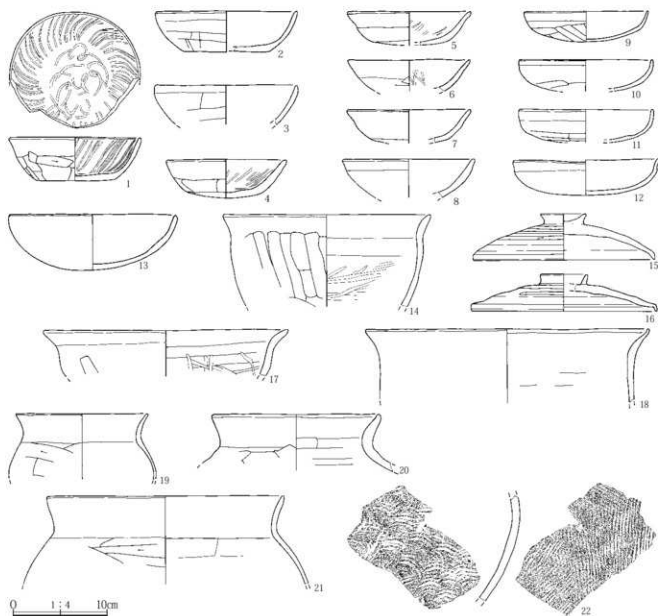
所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物の痕跡と考えられる。特に遺物が集中して出土した南東部は竪穴建物の貯蔵穴との想定で調査したが、竪穴建物としての形態を全体に確認することはできなかった。



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・粒状
焼土少量・粒状炭化物含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状
ローム土少量。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量。



0 1:60 2m



0 1:4 10cm

第113図 10-2区113号竪穴建物と出土遺物

10-2区114号竪穴建物

(第114図 PL.33)

グリッド 101～104・-066～-069

重複 243号土坑、860号・861号・862号・863号・864号・865号・914号・915号・916号・958号ピットより古い。

形状 北西壁と両角がころうじて残っており、全体形状は方形と推定される。

規模 長軸3.21m 短軸3.08m 残存壁高0.02m

面積 計測不能 長軸方位 N-53°-E

埋没土 灰黄褐色土粗粒を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲では検出されなかった。

柱穴 掘り方底面の精査では、重複する新しいピットは検出されたが、本建物の柱穴は確認できなかった。

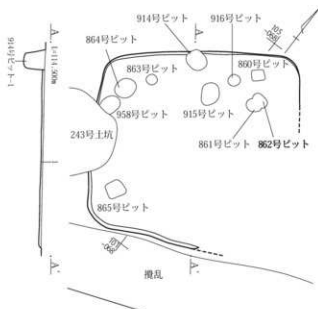
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 建物痕跡の調査となったことから、明瞭な床面を検出できず掘り方面まで掘り下げた。比較的平坦な状況であった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片4点が出土した。

所見 竪穴建物の痕跡と思われる。出土遺物がなく、時期は不明である。



114号竪穴建物

1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 粗粒状灰黄褐色(10YR5/2)土少量。

914号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1) 粗粒状灰黄褐色(10YR5/2)土微量。

0 1:60 2m

第114図 10-2区114号竪穴建物

10-2区115号竪穴建物

(第115図 PL.33 遺物観察表P.269)

グリッド 088～092・-086～-091

重複 19号溝、10号井戸、220号・221号・272号土坑、917号・918号・1229号・1230号・1231号・1232号・1233号ピットより新しい。

形状 全体形状は重複遺構や攪乱の為、明らかにできなかったが、北西隅が検出されたことから方形と推定される。

規模 東西軸3.68m 南北軸(3.62)m 残存壁高0.10m

面積 計測不能 長軸方位 N-71°-E

埋没土 ローム塊・明黄褐色土塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 調査できた範囲では検出されなかった。

柱穴 掘り方底面の精査では、重複する新しいピットは検出されたが、本建物の柱穴は確認できなかった。

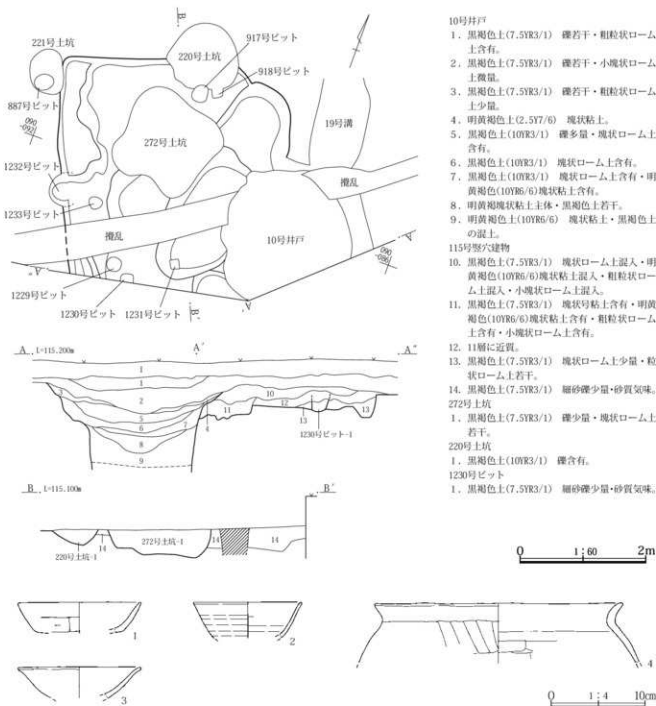
壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 建物痕跡の調査となった。北西部はころうじて輪郭を確認できたが、明瞭な床面を検出できなかった。掘り方面まで掘り下げたが、特に南東部は近世と推定される攪乱によって凹凸が著しい状況であった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第115図1)、土師器鉢(同図4)、須恵器杯(同図2・3)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片142点、土師器破片16点が出土した。

所見 竪穴建物の痕跡と思われる。南側は調査区域外となり全体形状は把握できなかったが、西壁および北壁の状況から方形の竪穴建物と判断した。また、南東部は当初別の竪穴建物が重複していると考えたが、掘り下げていくうちに本建物より新しい10号井戸が重複していることが判明した。出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



第115図 10-2区115号竪穴建物と出土遺物

10-2区117号竪穴建物

(第116図 PL.73 遺物観察表P.269)

グリッド 090～093・099～104

重複 929号・930号ピットより古い。

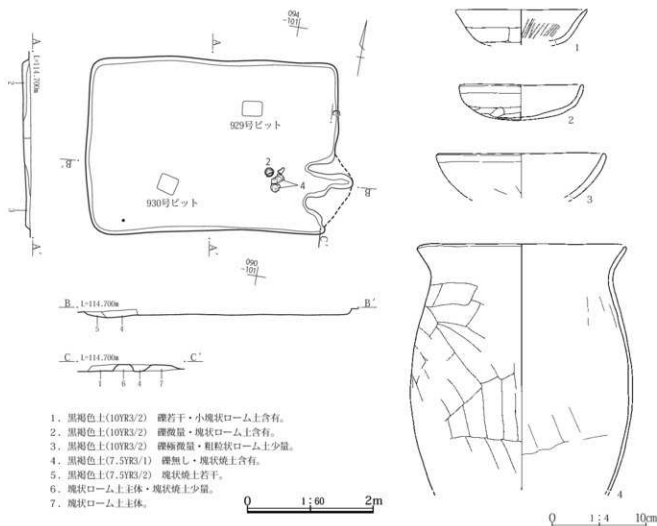
形状 東西方向に長い長方形

規模 長軸3.93m 短軸2.80m 残存壁高0.09m

面積 9.63㎡ 長軸方位 N-82°-E

埋没土 礫やローム小塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央すぐ南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.77m、屋外長0.34m、燃焼部長0.43mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部と竈の崩落土が左側0.45m、右側0.41mの長さで張り出し残存していた。竈焚口部手前の床面上4cmで土師器杯(第116図2)、床面上3cmで土師器甕(同図4)が出土した。



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・小塊状ローム土含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・塊状ローム土含有。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 礫極微量・粗粒状ローム土少量。
4. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫無し・塊状焼土含有。
5. 黒褐色土(7.5YR3/2) 塊状焼土若干。
6. 塊状ローム土主体・塊状焼土少量。
7. 塊状ローム土主体。

第116図 10-2区117号竪穴建物と出土遺物

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 なし。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器杯(第116図1・3)が出土した。その他、埋没土中から土師器破片96点、須恵器破片4点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。

10-2区119号竪穴建物

(第117図 PL.33)

グリッド 095～098・081～084

重複 20A号溝、253号・254号土坑、884号・888B号・959号・993号・1023号・1030号ピットより古い。

形状 南北方向に長い長方形

規模 長軸3.68m 短軸2.63m 残存壁高0.03m

面積 計測不能 **長軸方位** N-26°-W

埋没土 夾雑物のない黒褐色土で埋まっていた。

竈 東壁中央すく南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.37m、屋外長0.32m、燃焼部長0.33mで、屋内への袖構造下部や崩落土は残存していなかった。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

壁際溝 なし。

貯蔵穴 北西隅で長径0.78m、短径0.73m、深さ0.05mの掘り込みを検出した。その位置から貯蔵穴の可能性がある。

掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片12点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。

竪穴 調査できた範囲では検出されなかった。

柱穴 土層断面および床面の精査で、柱穴と推定されるピットを3本検出した。建物全体が調査できず、ピットも完掘できなかったため、全体構造は不明といわざるを得ない。各ピットの規模は下記の通りである。

P 1 長径0.24m 短径不明 深さ0.11m

P 2 長径0.28m 短径0.26m 深さ0.27m

P 3 長径0.29m 短径不明 深さ0.14m

柱間の距離はP 1・P 2間が1.18m、P 2・P 3間が0.78mである。

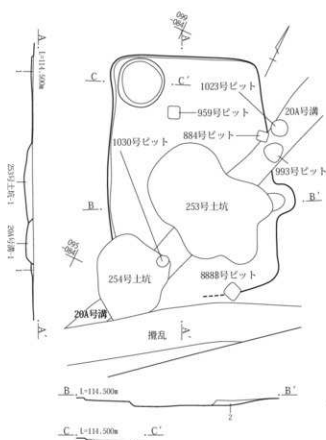
壁際溝 調査できた範囲では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲では検出されなかった。

掘り方 観察した土層断面では確認されなかった。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がなく時期は不明である。



119号竪穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 夾雑物無し。
 2. 黒褐色土(7.5YR3/2) 粗粒状焼土含有。
 3. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・塊状ローム土若干。
- 20A号溝
1. 黒褐色土(7.5YR3/2) 礫含有。
- 253号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム土少量。

0 1:60 2m

第117図 10-2区119号竪穴建物

10-2区123号竪穴建物

(第118図 PL.33)

グリッド 091~092・-075~079

重複 1105号・1107号・1108号・1109号ピットより古い。

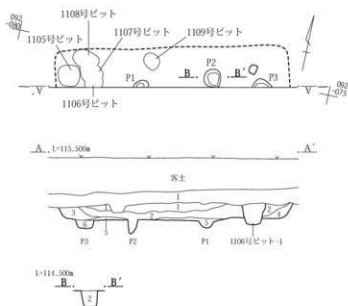
形状 南部がほとんど調査区域外となったため、全形が把握できなかったが、調査区壁に柱穴の可能性のあるピットの断面が観察できたことから、方形の竪穴建物として記録した。

規模 東西軸推定3.71m 南北軸推定(0.65)m

残存壁高0.01m

面積 計測不能 長軸方位 N-77°-E

埋没土 ローム小塊を含む黒褐色土で埋まっていた。



123号竪穴建物

1 宅地造成以前の表土層(耕作土) 褐灰色土(5YR4/1) 白色軽石含有・細粒礫含有。

1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 小塊状ローム土若干。
 2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 小塊状ローム土混入。
 3. 黒褐色土(7.5YR3/1) 粗粒状ローム土微量。
 4. 黒褐色土(7.5YR3/1) 細礫若干・粗粒状ローム土少量。
 5. 黒褐色土(7.5YR3/1) 粗粒状ローム土少量。
 6. 黒褐色土(7.5YR3/1) 粗粒状ローム土若干。
- 1106号ピット
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干。

0 1:60 2m

第118図 10-2区123号竪穴建物

11Ⅹ23号竪穴建物

(第119図 PL.33)

グリッド 118～121・-057～-061

重複 なし。

形状 東西方向に長い長方形

規模 長軸3.30m 短軸2.55m 残存壁高0.13m

面積 7.93㎡ 長軸方位 N-70°-E

埋没土 多量の礫と少量の白色鉱物粒、ローム粒を含む暗褐色土で埋まっていた。

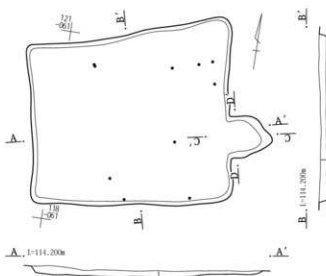
竈 東壁中央やや南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.38m、屋外長0.65m、燃焼部長1.00mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部は残存していなかった。焼土や灰の残存状況も不良であった。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

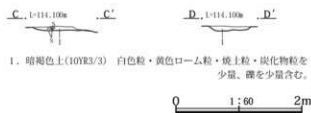
壁際溝 なし。 貯蔵穴 なし。 掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片53点、須恵器破片3点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は垂直礫直径5cm未満)。黄色ローム砂層を少量含む。



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒・黄色ローム粒・焼土粒・炭化物粒を少量、礫を少量含む。

第119図 11Ⅹ23号竪穴建物

11Ⅹ25号竪穴建物

(第120図 PL.33・74 遺物観察表P.269)

グリッド 113～115・-056～-058

重複 なし。

形状 東半分を攪乱に壊されており全量を把握できなかったが、東西方向に長い長方形と推定される。

規模 東西軸(2.05)m 南北軸2.44m
残存壁高0.03m

面積 計測不能 長軸方位 N-14°-W

埋没土 多量の礫と少量の白色鉱物粒、ローム粒を含む暗褐色土で埋まっていた。

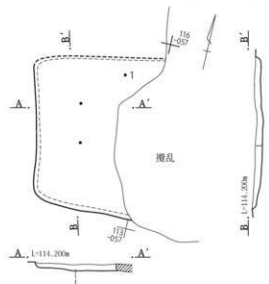
竈 調査できた範囲の中では検出されなかった。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

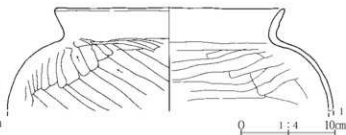
壁際溝 なし。 貯蔵穴 なし。 掘り方 なし。

遺物と出土状況 土師器裏か(第120図1)が北壁際床面上4cmで出土した。その他、埋没土中から土師器破片4点が出土した。

所見 出土遺物から8世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は垂直礫直径5cm未満)。黄色ローム粒を少量含む。黄色ローム砂層を少量含む。



第120図 11Ⅹ25号竪穴建物と出土遺物

11K26号竪穴建物

(第121図 PL.34)

グリッド 109~113・-049~-054

重複 なし。

形状 東西方向に長い長方形

規模 長軸3.75m 短軸3.04m 残存壁高0.15m

面積 10.82㎡ 長軸方位 N-66°-E

埋没土 多量の礫と少量の白色鉱物粒、ローム粒を含む暗褐色土で埋まっていた。

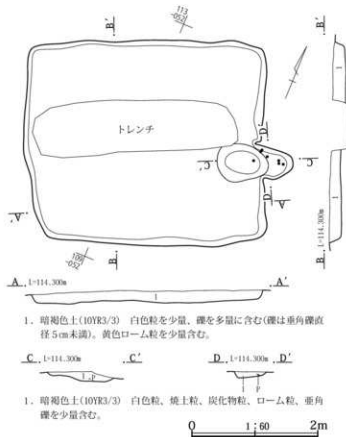
竈 東壁中央すぐ南側に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.59m、屋外長0.39m、燃烧部長0.59mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左袖のみに0.15m張り出して残存していた。燃烧部には全体に焼土が残り、土師器小片が出土したが、いずれも小破片のため実測・図示しなかった。

柱穴 床面の精査では検出されなかった。

壁際溝 なし。貯蔵穴 なし。掘り方 なし。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片89点、須恵器破片3点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



第121図 11K26号竪穴建物

11K36号竪穴建物

(第122~124図 PL.34・35・74 遺物観察表P.269・270)

グリッド 101~106・-028~-033

重複 なし。

形状 東西に長い隅丸長方形

規模 長軸4.78m 短軸4.01m 残存壁高0.44m

面積 14.66㎡ 長軸方位 N-79°-E

埋没土 上層は少量の角礫と多量の円礫を含む黒褐色土で、下層は円礫を少量含む暗褐色土で埋まっていた。

竈 北壁中央より0.2m東側を中軸線として竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長1.89m、屋外長0.98m、燃烧部長1.27m、焚口幅0.85mで、燃烧部奥は0.10mの緩やかな段差があり、その外側には長さ0.67mの煙道が残されていた。煙道部は竈断面C-C'で確認できた。直径20~28cmの円筒状になっており、北端は上方に屈曲していた。

屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.88m、右側1.02mの長さで張り出し残存していた。左右とも袖の先端には芯として板状の垂角礫が壁際に立てられていたが、右側の礫は手前に倒れていた。

竈の右側には貯蔵穴の脇にかけて壁際に並べられたような状態で8個体の土器が出土した。

柱穴 床面の精査では主柱穴は検出されなかった。掘り方面で一部の主柱穴の位置を推定させる掘り込みを検出した。

壁際溝 幅9~12cm、深さ2~6cmの壁際溝が全周していた。

貯蔵穴 北東隅に長径0.57m、短径0.57m、深さ0.16mの楕円形の貯蔵穴が掘られていた。

貯蔵穴から竈右袖にかけての北壁際には完形の土師器が並んで置かれていた。向かって左、竈のすぐ右側から土師器杯(第124図1)をのせた土師器小型甕(同図8)、土師器杯(同図3)、土師器杯(同図2)をのせた土師器甕(同図12)、土師器甕(同図13)、土師器甕(同図11)の順に並んでいた。いずれも床面直上あるいは貯蔵穴に落ち込むような状態であった。このうち、竈右脇で出土した土師器甕(同図8)には、西部床面直上で出土した破片が接合した。

掘り方 掘り方面の精査で、主柱穴と推定されるピットの痕跡を含むピット6本検出した。P1~P3は主柱穴

と推定される。P 2・P 3は周囲の掘り方充填土をともに掘り下げたため、拡大した形状となっているが、柱位置が深くなっていた。南東隅の主柱穴の痕跡は検出されなかった。P 4～P 6は南壁沿いに並んで検出されたピット状の凹地である。各ピットの規模は下記の通りである。

- P 1 長径0.67m 短径0.64cm 深さ0.07m
 P 2 長径0.58m 短径不明 深さ0.07m
 P 3 長径0.87m 短径不明 深さ0.07m
 P 4 長径0.68m 短径0.42cm 深さ0.10m
 P 5 長径0.60m 短径0.38m 深さ0.11m
 P 6 長径0.52m 短径0.40cm 深さ0.07m

柱間の距離はP 1・P 2間が2.02m、P 2・P 3間が2.47mである。

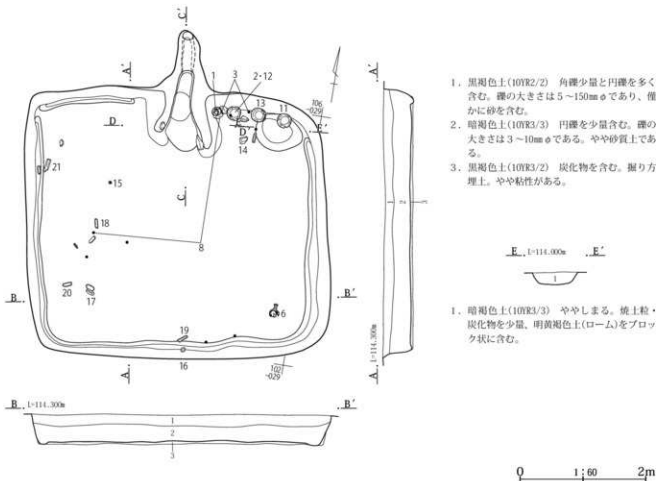
遺物と出土状況 須恵器長頸壺(第124図6)は南東隅床面上3cmで出土した。埋没土中から、土師器甕(同図9・10)、須恵器杯(同図4)、須恵器大型甕(同図7)の破片

が出土した。

また、蛇紋岩製紡輪(第124図15)が北西部床面直上で、粗粒輝石安山岩製砥石(同図14)が貯蔵穴西脇床面直上で、粗粒輝石安山岩製の磨石(同図16)が南壁中央の壁際床面上5cmで出土した。さらに、本竪穴から13点の棒状礫が出土した。11点が床面直上あるいは床面近くから、2点は埋没土中から出土した。床面近くで出土した11点のうち9点は建物西半部に偏在していた。そのうち4点(同図17・18・20・21)を実測・図示した。他の2点は、貯蔵穴西脇で砥石とともに1点、南壁際の磨石とともに1点(同図19)である。石材は雲母石英片岩4点、黒色頁岩3点、緑色片岩2点、砂岩1点、変玄武岩1点、変質安山岩1点、石英1点と一定でない。

この他、埋没土中から土師器破片356点、須恵器破片24点が出土した。

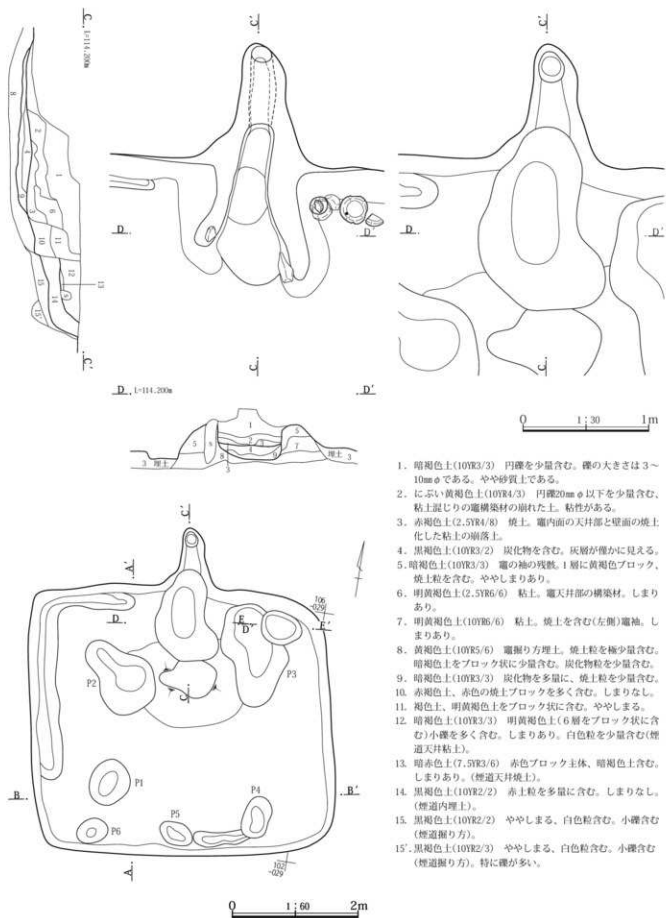
所見 出土遺物から7世紀後半の竪穴建物と考えられる。



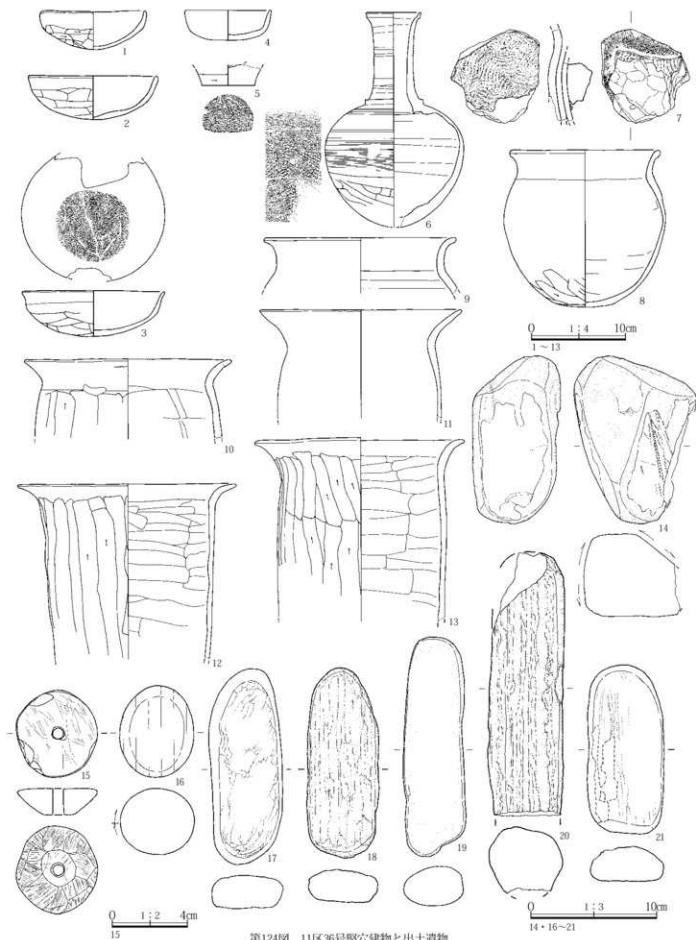
1. 黒褐色土(10YR2/2) 角礫少量と円礫を多く含む。礫の大きさは5～150mmであり、僅かに砂を含む。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 円礫を少量含む。礫の大きさは3～10mmである。やや砂質土である。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 炭化物を含む。掘り方埋土。やや粘性がある。

1. 暗褐色土(10YR3/3) ややしみる。粘土粒・炭化物を少量。明黄褐色土(ローム)をブロック状に含む。

第122図 11区36号竪穴建物



第123図 11区36号竪穴建物掘り方と竈



第124図 11区36号竪穴建物と出土遺物

11K37号竪穴建物

(第125・126図 PL.35・75 遺物観察表P.270)

グリッド 099~100・024~028 重複 なし。

形状 建物の大半が調査区域外で、東側には掘乱が及んでおり、北壁付近のみの調査となった。全形が把握できなかったが、方形と推定される。

規模 東西軸(3.33)m 南北軸(0.67)m 残存壁高0.25m

面積 計測不能 **長軸方位** N-77°-E

埋没土 白色館物粒とローム粒を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

竈 北壁に竈が敷設されていた。残存する竈の規模は確認長0.68m、屋外長0.26m、燃燒部長0.68m、焚口幅0.57mで、屋内には粘土貼り付けの袖構造下部が左側0.37m、右側0.49mの長さで張り出し残存していた。右袖の先端には芯として板状の垂角礫が2個壁状に立てられている。焚口部には竈構築材の一部と推定される、長さ0.56m、幅0.18m、厚さ0.17mの板状礫が残されていた。竈

埋没土中から土師器鉢(第126図6)が出土した。竈左脇からは土師器甕(同図11)が床面上7cmで、土師器杯(同図1)が壁際床面上8cmで出土した。

柱穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

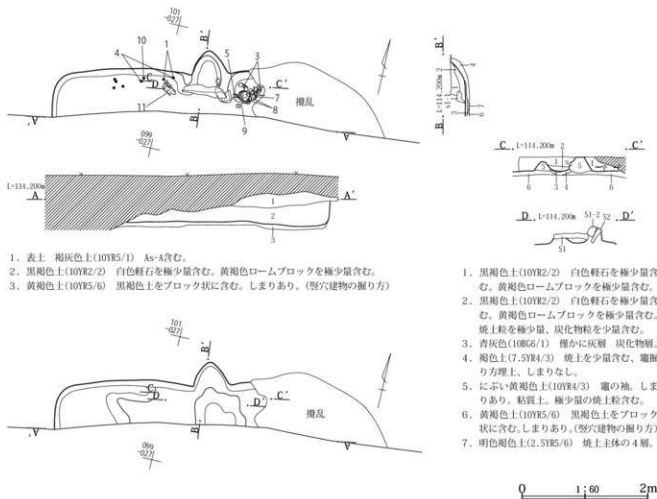
壁際溝 調査できた範囲の中では検出されなかった。

貯蔵穴 調査できた範囲の中では検出されなかった。

掘り方 竈の下位と西壁付近がやや深く掘り込まれていたが、全体形状は調査できなかった。

遺物と出土状況 西部北壁沿いには床面上7cmで土師器杯(第126図4)、床面直上で土師器小型甕(同図10)が出土した。竈右側には床面上3cmで出土した土師器小型甕(同図9)にのる形で土師器有孔鉢(同図7)が出土した。また、その周囲で須恵器蓋(同図8)や土師器杯(同図3・5)が床面上2~4cmで重なるように出土した。埋没土中から土師器杯(同図2)が出土した。この他、土師器破片97点、須恵器破片1点が出土した。

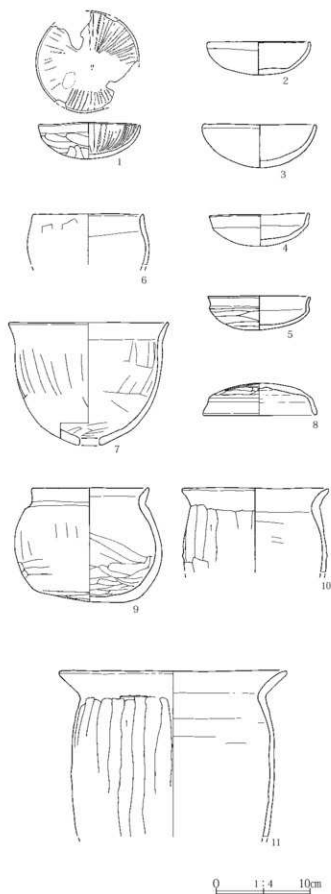
所見 出土遺物から7世紀の竪穴建物と考えられる。



1. 表土 褐灰色土(10YR5/1) As-A含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 白色軽石を極少量含む。黄褐色ロームブロックを極少量含む。
3. 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土をブロック状に含む。しまりあり。(竪穴建物の掘り方)

1. 黒褐色土(10YR2/2) 白色軽石を極少量含む。黄褐色ロームブロックを極少量含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 白色軽石を極少量含む。黄褐色ロームブロックを極少量含む。焼土粒を極少量、炭化物粒を少量含む。
3. 青灰色(10BG6/1) 僅かに灰層 炭化物層。
4. 褐色土(7.5YR4/3) 焼土を少量含む、竈掘り方埋土、しまりなし。
5. ぶい黄褐色土(10YR4/3) 竈の袖、しまりあり。粘質土。極少量の焼土粒含む。
6. 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土をブロック状に含む。しまりあり。(竪穴建物の掘り方)
7. 明色褐色土(2.5YR5/6) 焼土主体の4層。

第125図 11K37号竪穴建物



第126図 11区37号竪穴建物出土遺物

3. 竪穴状遺構

11区と6-2区に竪穴状の遺構が1基ずつ確認された。竪穴建物としての施設は不明であるが、土器が集中して出土している。

11区1号竪穴状遺構

(第127図 PL.36 遺物観察表P.271)

グリッド 116~118・-057~-059

形状 南半部が試掘トレンチとなり全形を把握することができなかったが、北東隅の形状から方形と推定される。

重複 49号土坑より古い。

規模 東西軸1.94m 南北軸(0.92)m 残存壁高0.03m

面積 計測不能 **長軸方位** N-78°-E

埋没土 少量の白色鈣物粒とローム粒、多量の礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

底面 底面はやや凹凸があった。柱穴等の施設は検出されなかった。

遺物と出土状況 北半部に土器が散在していた。北東隅底面上5cmから土師器杯(第127図1)が出土した。中央部底面上10cmで土師器杯(同図2)が出土した。また埋没土中から土師器破片26点が出土した。

所見 出土遺物から7世紀の竪穴状遺構と考えられる。

6-2区2号竪穴状遺構

(第128図 PL.36)

グリッド 068~071・-347~-350

形状 不定形な隅丸方形

重複 69号・70号竪穴建物より新しい。

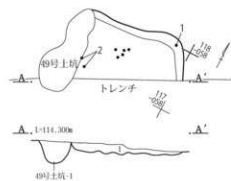
規模 長軸2.85m 短軸2.38m 残存壁高0.08m

面積 4.37㎡ **長軸方位** N-34°-E

底面 北西壁付近には深さ0.6~0.7mの土坑状の掘り込みが複数あり、中央部の底面には凹凸が顕著であった。柱穴等の施設も検出されなかった。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片68点が出土したが、小片が多く実測・図示できなかった。

所見 埋没土中の出土遺物から6世紀後半の竪穴状遺構と考えられる。



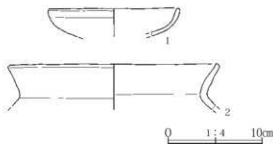
1号竪穴状遺構

1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む。(礫は垂直深直径5cm未満)黄色ローム砂層を少量含む。

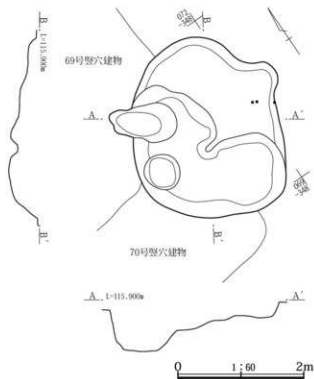
49号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)。黄色ロームブロックを少量含む。

0 1:60 2m



第127図 11区1号竪穴状遺構



第128図 6-2区2号竪穴状遺構

4. 掘立柱建物

10-2区には多くのピットが集中していたが、北東隅で掘立柱建物1棟を確認した。

10-2区1号掘立柱建物

(第129図 PL.36)

グリッド 117~122・-076~081

主軸方位 N-11°-W

重複 211A号土坑より古い。

形態 桁行3間・梁行4間(4.61~4.63×4.13m)の側柱建物である。南北棟で、面積は19.12㎡である。

柱間は北南辺1.92~2.09m、東西辺1.34~1.71m。

南辺は中央の柱間がやや長い。北辺はP14の位置が中央に寄っており、南辺のP5と対応しない。北辺のP12・P14は他の柱穴より小さい。東西辺は中央の柱間がやや短い。各辺ともに柱穴は柱軸にのる。

東辺のほぼ中央に柱筋に接する位置にP15があり、西辺の同様の位置にP16がある。棟持柱あるいは間柱の可能性がある

柱穴は方形あるいは楕円形で、長径0.51~0.13m、短径0.48~0.12m、深さ0.16~0.42mと一定ではなかった。

内部施設 なし。

遺物と出土状況 柱穴P1埋没土中から土師器破片3点、P4埋没土中から土師器破片4点、P9埋没土中から土師器破片1点が出土した。いずれも小片のため実測・図示できなかった。

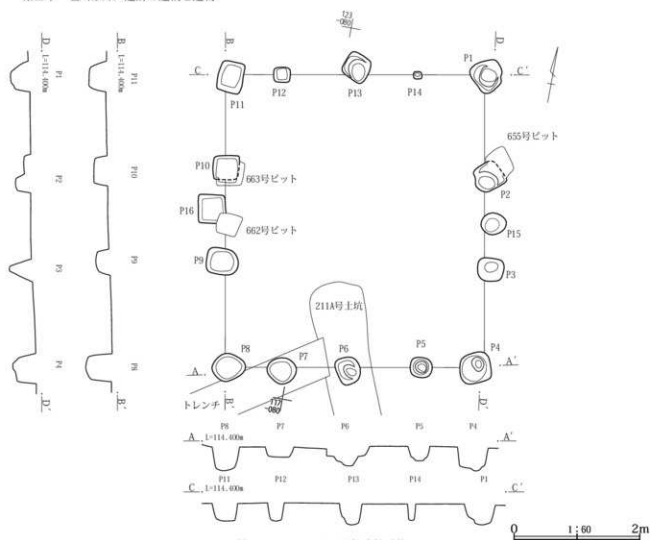
所見 柱穴埋没土中からの出土遺物は7世紀末から8世紀にかけての土師器破片とみられる。建物の規格性や規模等から当該期の掘立柱建物と考えられるが、柱穴埋没に浅間B軽石を混入するものがあり、8世紀代とは断定できなかった。

5. 柱穴列

10区東半部で、延長10.44mの柱穴列を確認した。時期は不明である。

10-2区1号柱穴列

(第130図 PL.36)



第129図 10-2区1号掘立柱建物

第6表 10-2区1号掘立柱建物柱穴計測表

| 建物全体規模 | 桁行3間・梁行4間 | | | 棟方向 | | 南北棟 | |
|------------|-----------|---------|------|------|------|------------|--|
| | 主軸方向 | N-11°-W | | 施設 | | | |
| 桁・梁行の規模(m) | 柱穴No. | 規模(m) | | | 形状 | 次柱穴との間隔(m) | |
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | |
| 東辺 4.61 | P 1 | 0.49 | 0.48 | 0.33 | 不定形 | 1.71 | |
| | P 2 | (0.47) | 0.43 | 0.24 | 不定形 | 1.34 | |
| | P 3 | 0.42 | 0.36 | 0.39 | 隅丸方形 | 1.55 | |
| 南辺 4.13 | P 4 | 0.49 | 0.47 | 0.38 | 隅丸方形 | 0.90 | |
| | P 5 | 0.36 | 0.33 | 0.23 | 隅丸方形 | 1.12 | |
| | P 6 | 0.44 | 0.38 | 0.16 | 楕円形 | 1.12 | |
| | P 7 | 0.44 | 0.42 | 0.16 | 楕円形 | 0.86 | |
| 西辺 4.63 | P 8 | 0.49 | 0.44 | 0.42 | 楕円形 | 1.70 | |
| | P 9 | 0.51 | 0.42 | 0.23 | 隅丸方形 | 1.47 | |
| | P 10 | 0.42 | 0.38 | 0.22 | 方形 | 1.46 | |
| 北辺 4.13 | P 11 | 0.50 | 0.40 | 0.29 | 方形 | 0.82 | |
| | P 12 | 0.27 | 0.24 | 0.29 | 方形 | 1.22 | |
| | P 13 | 0.42 | 0.41 | 0.34 | 方形 | 0.95 | |
| | P 14 | 0.13 | 0.12 | 0.26 | 方形 | 1.14 | |
| (東辺) | P 15 | 0.41 | 0.35 | 0.32 | 楕円形 | | |
| (西辺) | P 16 | 0.45 | 0.43 | 0.12 | 方形 | | |

グリッド 099～102・-094～-105

主軸方位 N-77°-E

重複 P 6・P 7周辺には柱筋上に中世のものとして推定される正方形のビットが重複している。直接の重複はないので、遺構調査の所見からは新旧関係は不明である。

形態 8基のビットが並ぶ。ビットの間隔は1.07～2.01m。ビットは円形あるいは隅丸方形で、長径0.26～0.61m、短径0.25～0.54m、深さ0.12～0.45mで不揃いであった。方位は1号掘立柱建物の梁行方位とほぼ一致する。

遺物と出土状況 P 8埋没土中から土師器破片6点が出土した。いずれも小片のため実測・図示できなかった。

所見 P 8埋没土中からの出土遺物は7世紀から8世紀の土師器破片と推定される。本柱列の方位は1号掘立柱建物の主軸方位とほぼ一致する。時期は特定できないが1号掘立柱建物と同時期にあった規格的に並んだ柱穴列の可能性はある。

6. 井戸

井戸は4号から11号までの7基が調査された。8号は欠番である。6区に1基、10区・10-2区に6基が偏在していた。

6区4号井戸は大型円形の井戸で、発掘区域内では単独で検出された。

10区・10-2区の6基は発掘区南部に東西方向に並ぶような分布をみせていた。いずれも直径2～4mの大型円形の井戸で、6号井戸のみ上部が四方に開かない楕円形で異質であった。井戸の時期は確実に中世であったのは10区7号井戸、中世と推定されるのは10-2区10号井戸で、他は近世から近現代の遺物を出土したことから、その時期に埋められたと考えられる。10-2区東半部には中世に掘られたと推定されるビットも集中しており、本地区が中世から近代にかけて集中して土地利用されたことが井戸の存在からも推定される。

6区4号井戸

(第131図 PL.36・75 遺物観察表P.271)

グリッド 059～061・-329～-331

重複 50号竪穴建物より新しい。

形状 円形

規模 長軸2.37m 短軸2.19m

確認壁高(0.60)m

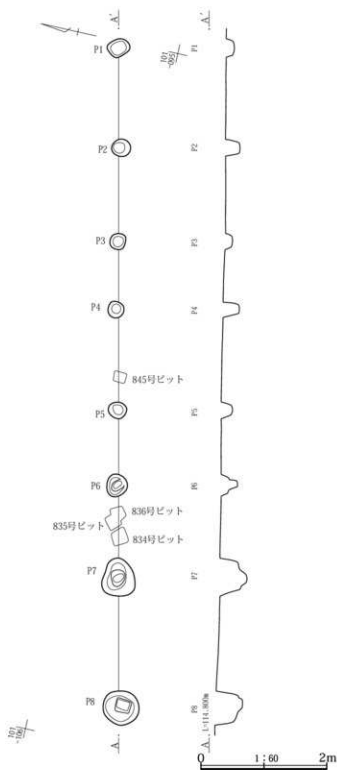
長軸方位 N-59°-W

断面形 上端が外方に開く。湧水が著しく下位の詳細な断面形態は記録できなかった。

埋没土 大型のものも含む多量の礫が混入する暗褐色土で埋まっていた。南側の壁際には半周以上にわたって粘性の強い粘土が貼られていた。

遺物と出土状況 埋没土中から近現代のものと推定される器種不明の磁器(第131図1)、時期不詳の在地系土器焙烙(同図2)、粗粒輝石安山岩製の石臼(下臼)(同図3)、牛伏砂岩製の不明石製品(同図4)が出土した。その他、埋没土中から近世の在地系土器焙烙破片1点が出土した。

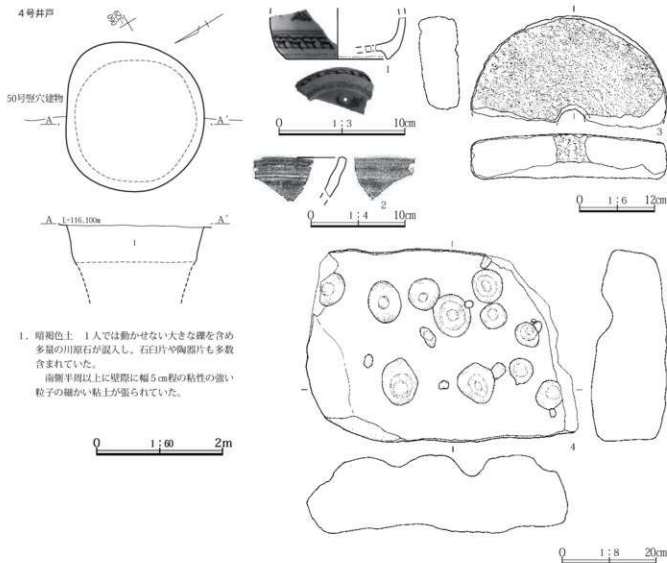
所見 出土遺物から、近世から近現代の井戸と考えられる。



第130図 10-2区1号柱穴列

第7表 10-2区1号柱穴列計測表

| 柱穴No | 規模(m) | | | 形状 | 次柱穴との 間隔(m) |
|------|-------|------|------|-----|----------------|
| | 長径 | 短径 | 深さ | | |
| P 1 | 0.33 | 0.27 | 0.14 | 楕円形 | 1.59 |
| P 2 | 0.31 | 0.28 | 0.23 | 楕円形 | 1.49 |
| P 3 | 0.26 | 0.25 | 0.12 | 楕円形 | 1.07 |
| P 4 | 0.26 | 0.26 | 0.26 | 円形 | 1.60 |
| P 5 | 0.29 | 0.26 | 0.18 | 楕円形 | 1.19 |
| P 6 | 0.36 | 0.35 | 0.26 | 楕円形 | 1.49 |
| P 7 | 0.61 | 0.51 | 0.43 | 不定形 | 2.01 |
| P 8 | 0.58 | 0.54 | 0.45 | 楕円形 | — |



1. 暗褐色土 1人では動かせない大きな礫を含め多量の川原石が混入し、石臼片や陶器片も多数含まれていた。
南側半周以上に壁際に幅5cm程の粘性の強い粒子の細かい粘土が塗られていた。

第131図 6区4号井戸と出土遺物

10区5号井戸(第132図 PL.36)

グリッド 088~092・-130~-134

重複 なし。 形状 円形

規模 長軸3.71m 短軸3.71m 確認壁高(0.97)m

長軸方位 N-O°-E

断面形 上方が外方に開き下位は筒状と推定される。湧水が著しく詳細な断面形態は記録できなかった。

埋没土 白色鉱物粒と黄色ローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がないことから、時期は不明であるが、埋没土の最上層に浅間A軽石が含まれていることから埋められたのは近世以降と判断される。

10区6号井戸

(第132図 PL.36)

グリッド 100~102・-161~-162

重複 なし。 形状 楕円形

規模 長軸1.82m 短軸0.89m 確認壁高(0.85)m

長軸方位 N-16°-E

断面形 北側・南側が大きく外方に開き、北側には広い平坦面ができていた。中央には直径0.8mほどの湧水孔が確認できたが、湧水が著しく下位の詳細な断面形態は記録できなかった。

埋没土 上層は少量の白色鉱物粒と多量の黄色ローム塊・礫を含む暗褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がないことから、時期は不明である。

10区7号井戸

(第132図 PL.75 遺物観察表P.271)

グリッド 082~086・-125~-128

重複 なし。

形状 円形

規模 長軸3.52m 短軸3.45m 確認壁高(0.68)m

長軸方位 N-80°-E

断面形 上方が外方に開き下位は筒状と推定される。湧水が著しく詳細な断面形態は記録できなかった。

埋没土 白色鉱物粒と黄色ローム塊、礫を多く含む黒褐色土で埋まっていた。壁沿いには地山から崩落した黄褐色土粒が混じる粘質褐色土が堆積していた。

遺物と出土状況 埋没土中から、須恵器壺(第132図1)、常滑陶器裏(同図4)、在地系土器すり鉢(同図2・3)、在地系土器内耳鍋(同図5・6)が出土した。2~6はいずれも中世のものである。この他、埋没土中から土師器破片25点、須恵器破片8点、中世在地系土器焙烙・銅破片6点が出土した。

所見 出土遺物から、中世の井戸と考えられる。

10-2区9号井戸

(第133図 PL.37)

グリッド 098~100・-063~-065

重複 244号土坑より新しい。

形状 円形

規模 長軸2.00m 短軸(1.75)m 残存壁高1.49m

長軸方位 N-72°-E

断面形 上方が外方に開き、下位は筒状で底面は平坦であった。

埋没土 黒褐色土・ローム塊の混土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 出土遺物がないことから時期は不明である。

10-2区10号井戸

(第133図 PL.37・75 遺物観察表P.271)

グリッド 088~090・-086~-088

重複 115号竪穴建物・19号溝より新しい。

形状 南部が調査区域外で全形を把握することができなかったが、楕円形と推定される。

規模 長軸2.14m 短軸(1.88)m 確認壁高0.95m

長軸方位 N-43°-E

断面形 上方が外方に開き下位は筒状と推定される。湧水が著しく詳細な断面形態は記録できなかった。

埋没土 上層は礫や黄色ローム塊を含む黒褐色土で、下位は明黄褐色粘質土塊と黒褐色土塊の混土で埋まっていた。

遺物と出土状況 埋没土中から、須恵器壺(第133図1)の胴部破片、龍泉窯青磁碗(同図2)が出土した。この他、埋没土中から土師器破片5点が出土した。

所見 出土した青磁碗は12世紀後半から13世紀中頃のものと思われることから、中世の井戸である可能性が高い。

10-2区11号井戸

(第133図 PL.37)

グリッド 087~088・-091~-093

重複 271号土坑より新しい。

形状 南部が調査区域外で全形を把握することができなかったが、円形と推定される。

規模 長軸1.51m 短軸(1.15)m 確認壁高0.32m

長軸方位 N-82°-E

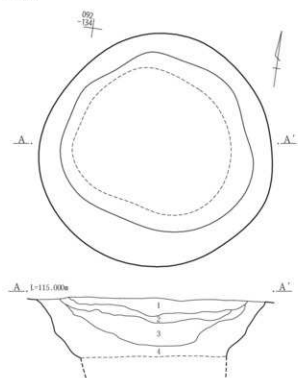
断面形 筒状で、底面は平坦であった。

埋没土 上位は紫灰色・明青灰色粘土で埋まっていた。下位は礫・ローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

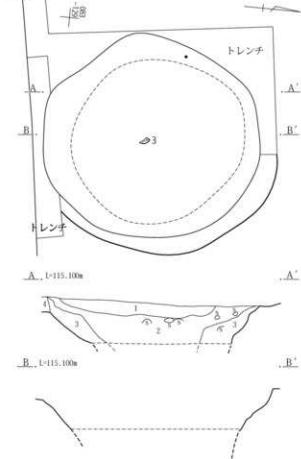
所見 出土遺物がないことから時期は不明である。

5号井戸



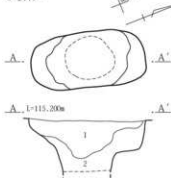
1. 褐灰色土(10YR4/1) 白色粘含む、砂質(As-Aか?)礫を多く含む。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粘含む、黄色ロームブロックと礫を少量含む、やや砂質(As-Aか?)
3. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粘含む、黄色ロームブロックを多量に礫を少量含む。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 白色粘含む、黄色ロームブロックを少量含む。

7号井戸



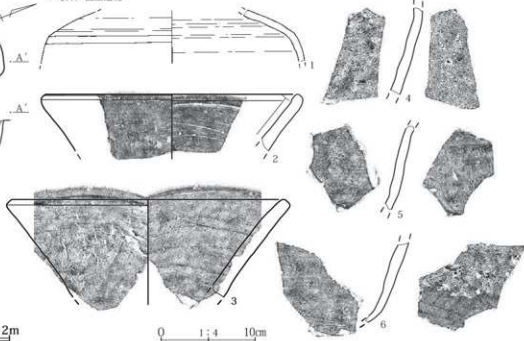
1. 灰褐色土(10YR4/1) 白色粘を少量、垂向礫を多量に黄褐色(10YR5/6)ロームブロックを少量含む。
2. 灰褐色土(10YR4/1) 白色粘を少量、垂向礫を多量に含む。
3. 褐灰色土(10YR4/1) 黄褐色土粒が混じる。粘性のある土。
4. 褐灰色土(10YR4/4) 30mm以下の礫を含む、やや粘性のある土。

6号井戸



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粘を若干含む、黄色ロームブロックを多量に、礫を少量含む。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粘を若干、礫を少量含む。

7号井戸出土遺物

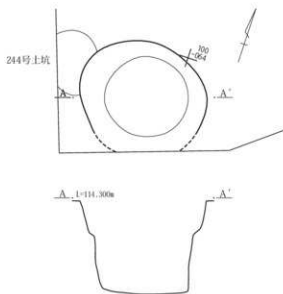


0 1:60 2m

0 1:4 10cm

第132図 10区5・6・7号井戸と7号井戸出土遺物

9号井戸



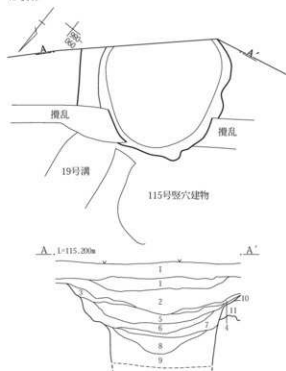
11号井戸



1. 明青灰色(SPB7/1)粘土。
2. 紫灰色(SP5/1)粘土
3. 塊状明青灰色(SPB7/1)粘土・塊状紫灰色(SP5/1)粘土の混上。
4. 紫灰色(SRP5/1)粘土
5. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極微量・塊状ローム土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極少量・塊状ローム土少量。

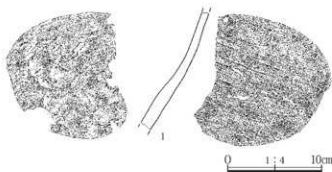
0 1:60 2m

10号井戸



- 1 宅地造成以前の表土層(耕作土) 褐灰色土(5YR4/1)白色軽石含有・細粒礫含有。

1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫若干・粗粒状ローム土含有。
2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫若干・小塊状ローム土微量。
3. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫若干・粗粒状ローム土少量。
4. 明黄褐色土(2.5Y7/6) 塊状粘土。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 礫多量・塊状ローム土含有。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 塊状ローム土含有。
7. 黒褐色土(10YR3/1) 塊状ローム土含有・明黄褐色(10YR6/6)塊状粘土含有。
8. 明黄褐色塊状粘土主体・黒褐色土若干。
9. 明黄褐色土(10YR6/6)塊状粘土・黒褐色土の混上。
10. 黒褐色土(7.5YR3/1) 塊状ローム土混入・明黄褐色(10YR6/6)塊状粘土混入・粗粒状ローム土混入・小塊状ローム土混入。
11. 黒褐色(7.5YR3/1) 塊状可粘土含有・明黄褐色(10YR6/6)塊状粘土含有・粗粒状ローム土含有・小塊状ローム土含有。



0 1:3 10cm

第133図 10-2区9・10・11号井戸と10号井戸出土遺物

7. 溝

溝は、6条が調査された。6区に2条、10-2区に4条が分布していた。6区17号溝は古墳時代の土器が多数出土した。21号溝は近現代の溝である。10-2区東半部の4条は、18号溝は掘り残し部を挟み、北東部がL字状に屈曲する溝である。19号溝、20B号溝は南北方向のやや不定形な溝である。20A号溝は発掘区を斜行する延長25.22mが確認された。

6区17号溝

(第134～136図 PL.37・75・76 遺物観察表P.271・272)

グリッド 070～085・-327～-338

重複 52号竪穴建物より新しいと推定される。6区は調査工程上、南北を二つに分けて実施せざるを得なかった。本溝と52号竪穴建物との重複部は、ちょうどその境界部となり、十分に新旧関係を確認することができなかった。

調査長 18.6m **上幅最大～最小** 1.06m～0.62m

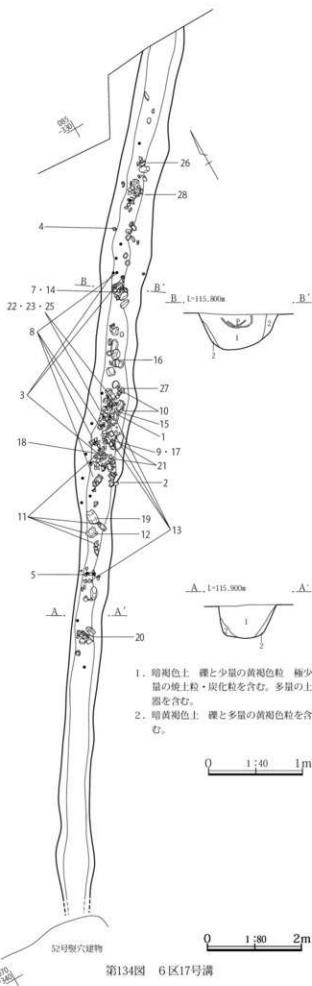
残存深 0.42m **走向方位** N-35°-E

形状 平面形は直線で発掘区内を斜行する。その走向は同じ古墳時代竪穴建物の壁方位とほぼ一致する。断面形はU字形。底面は平坦で、比高0.52mで南西から北東に向かって傾斜する。

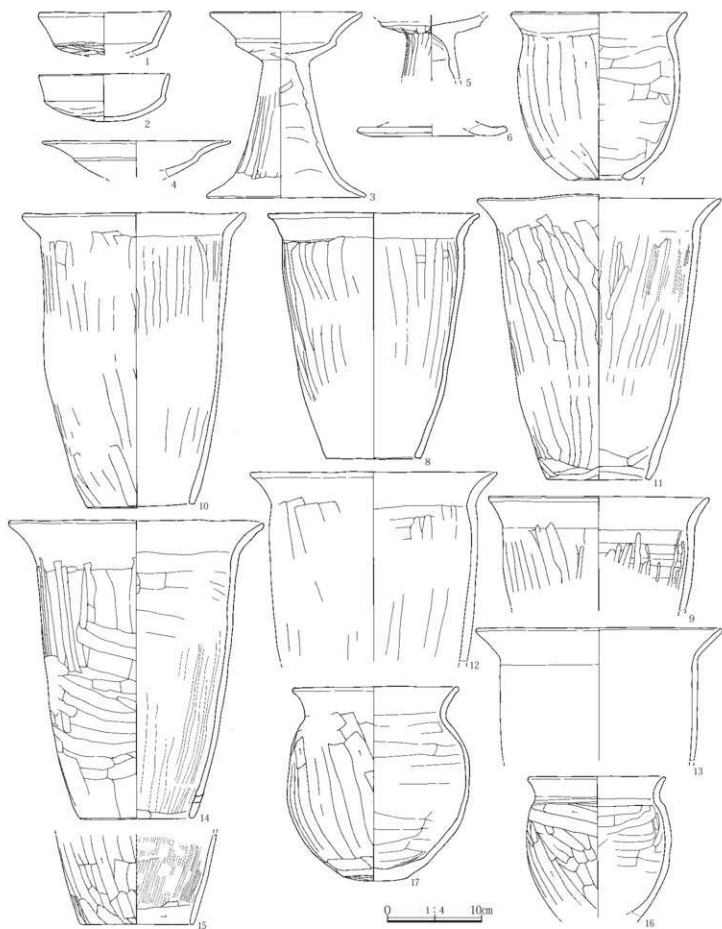
埋没土 礫と黄褐色土粒を含む暗褐色土で埋まっていた。極少量の焼土粒・炭化物粒を含む。土器が多量に埋まっていた。

遺物と出土状況 075ラインから085ラインにかけて溝内から割れた土器が多量に出土した。いずれも底面から20～30cm浮いた位置で出土した。器種による出土位置の偏りはない。土師器杯(第135図1・2)、土師器高杯(同図3・4・5・6)、土師器甕(同図16～28)、土師器甕(同図7～15)を実測・図示した。この他に埋没土中から土師器破片759点、須恵器破片1点が出土した。

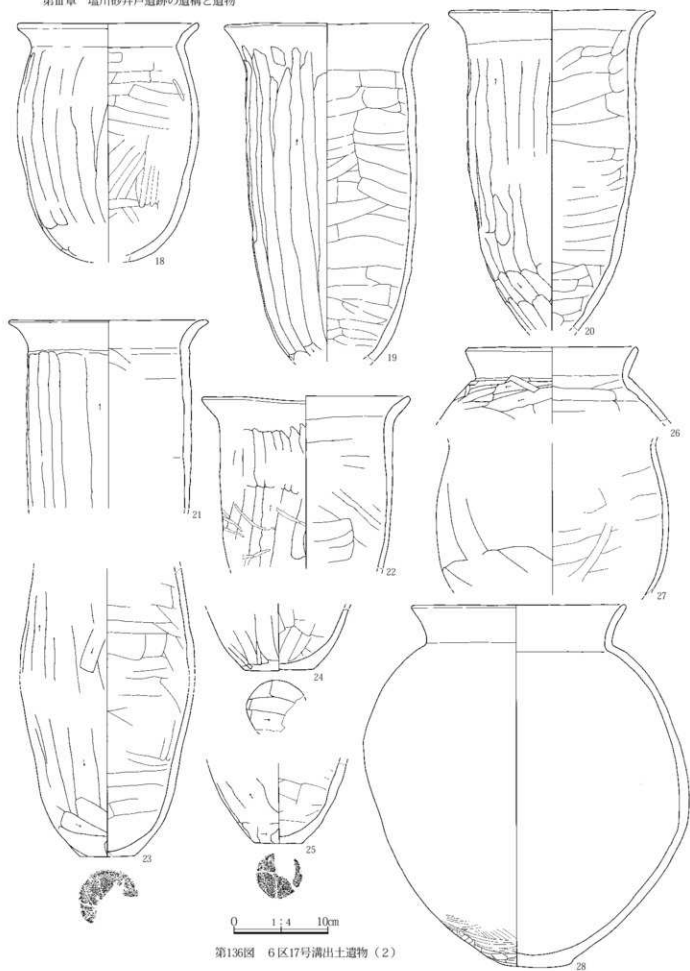
所見 出土遺物から6世紀後半の溝と考えられる。周囲の古墳時代竪穴建物壁方位と一致することから、古墳時代の区画溝と推定される。



第134図 6区17号溝



第135图 6区17号溝出土遺物(1)



第136図 6区17号溝出土遺物(2)

6区21号溝

(第137図 PL.37・38・77 遺物観察表P.273)

グリッド 064~066・-310~-321

重複 なし。

調査長 11.80m

上幅最大~最小 0.67m~1.00m

残存深さ 0.20m

走向方位 N-79°-E

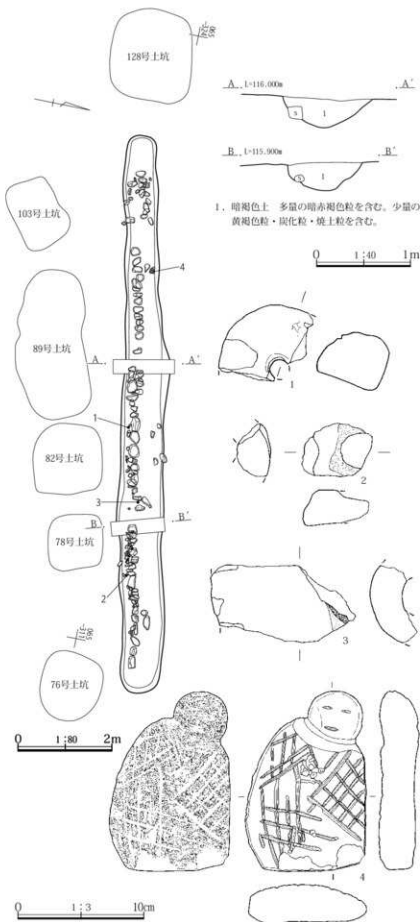
形状 平面形は直線で、両端は緩やかな曲線で止まっていた。断面形は浅いボール形でやや南側法面が急になっていた。底面は平坦で、比高0.07mで南西から北東に向かって傾斜する。

埋没土 多量の赤褐色土粒と少量の焼土粒・炭化物粒を含む暗褐色土で埋まっていた。南側に偏って大型礫が並んだような状態で埋まっていた。南側に石積みがあった可能性がある。

遺物と出土状況 西部底面直上で牛伏砂岩製の地蔵像(第137図4)が出土した。東部土層断面B-B'付近底面直上で土製品羽口(同図3)が出土した。中央部と東部で円盤状の土製品(同図1・2)が出土した。1・2は羽口に類似するが、短く溶融部分はない。詳細は不明である。この他、埋没土中から土師器破片2点、近世国産磁器5点、近世在地系土器焙烙・銅破片5点が出土した。

所見 時期は出土遺物から近世と考えられる。

調査当初は礫の出土が多量であることから暗渠の可能性も考えたが、南側のみの礫だったことから、南側に石積みを行った溝と考えておきたい。南側には不定形状の土坑が5基並んでおり、関連する可能性もある。出土した羽口(第137図3)はやや大型であることから、大規模な鉄生産関連遺構が近隣に所在する可能性を示唆する。



第137図 6区21号溝と出土遺物

10-2区18号溝

(第138図)

東側を①、西側を②とする。

グリッド ①107～110・-109～-114

②101～106・-119～-123

重複 88号竪穴建物より新しい。

調査長 ①7.16m ②6.43m

上幅最大～最小 ①0.76m～0.44m

②0.54m～0.43m

残存深さ ①0.20m ②0.18m

走向方位 ①N-80°-E・N-6°-W

②N-46°-E

形状 平面形は北辺で5.2mほどの掘り残しを挟んで、東側の①はL字形に屈曲していた。西部の②は①と一直線ではなく走向方位はややずれる。埋没土や規模の類似性、走向の連続性から一連の溝として記録した。いずれの底面も平坦で、①は比高0.02mで西から南に向かって、②は比高0.03mで南西から北東に向かって若干傾斜するが、ほとんど高低差はなかった。

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 埋没土中から土師器破片5点が出土した。いずれも小片のため実測・図示はしなかった。

所見 出土遺物からは時期を判断することはできなかった。何らかの区画溝と推定される。

10-2区19号溝

(第138図)

グリッド 091～098・-087～-090

重複 10号井戸より古い。

調査長 7.50m

上幅最大～最小 0.84m～0.36m

残存深さ 0.26m

走向方位 N-21°-W

形状 走向は直線的であるが、平面形は幅や掘り方に凹凸があり不定形な部分がある。断面形はU字形。底面は丸く、比高0.13mで北から南に向かって傾斜する。

埋没土 礫を含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 中世の井戸と推定される10号井戸より古い、時期を特定することができなかった。

10-2区20A号溝

(第139図 PL.38)

グリッド 094～117・-074～-083

重複 111号竪穴建物より古い。119号竪穴建物、253号・254号土坑より新しい。

調査長 25.22m

上幅最大～最小 0.70m～0.34m

残存深さ 0.20m

走向方位 N-21°-E

形状 平面形は直線で発掘区内を斜行する。断面形はやや逆台形。底面は平坦で、比高0.16mで南西から北東に向かって緩やかに傾斜する。

埋没土 礫とローム塊を含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 111号、119号竪穴建物との重複関係から、層位的には両建物との間の時期の遺構と考えられる。ただし両建物の時期が明確でない。

10-2区20B号溝

(第138図)

グリッド 104～107・-103～-104

重複 87号竪穴建物より新しい。598号ビット・612号ビットとの新旧関係は不明である。

調査長 3.08m

上幅最大～最小 0.98m～0.59m

残存深さ 0.16m

走向方位 N-18°-W

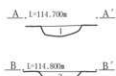
形状 平面形は南端が丸く短い。断面形は皿形。底面は平坦で、比高0.11mで南から北に向かって緩やかに傾斜する。

埋没土 細礫を少量含む黒褐色土で埋まっていた。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

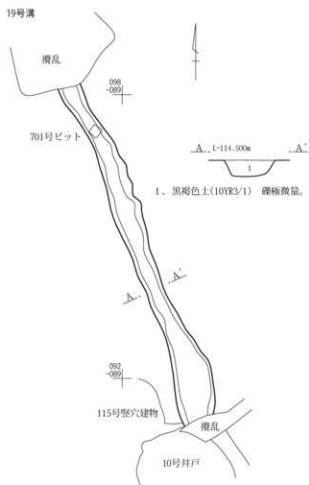
所見 87号竪穴建物より新しいが、建物の時期が不明であり、本溝の時期も特定できなかった。

18号溝

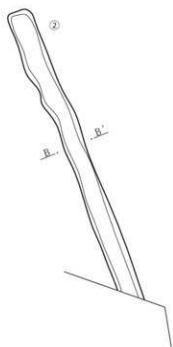


1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干。
2. 黒褐色土(7.5YR3/2) 礫多量。

19号溝



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極微量。



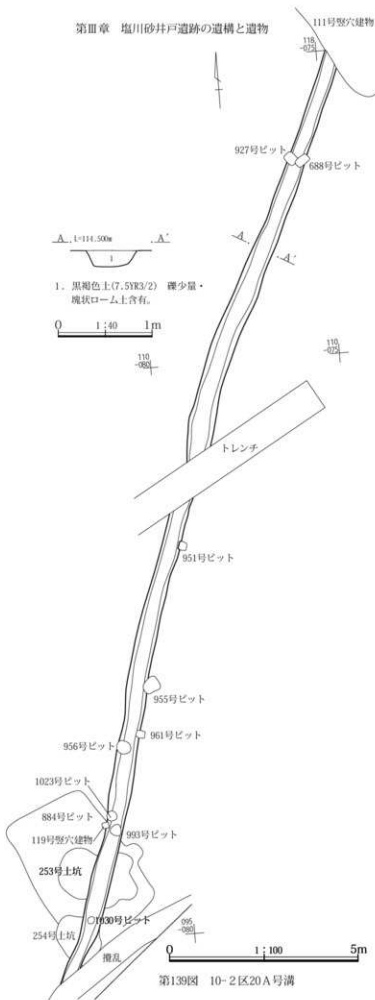
20B号溝



1. 黒褐色土(7.5YR3/2) 細礫少量。

0 1:40 1m

0 1:80 2m



第139図 10-2区20A号溝

8. 鍛冶関連遺構

7-2区の西部で、鉄製品の鍛冶生産に関連する遺構群を検出した。全体構成は大小2基の廃棄土坑と、その周囲に規格的に掘られていた柱穴群である。

廃棄土坑2基は重複しており、1A号廃棄土坑、1B号廃棄土坑と呼称する。埋没土中には多量の鉄滓・炉壁破片・羽口破片・鍛造剥片、少量の土器・瓦破片等が土砂とともに多量に含まれていた。そこで、すべての土砂を洗浄し、鉄滓等の固形物を回収して分類した。出土した鉄生産関連遺物の詳細については次頁別項に記載した。

柱穴群は建物を想定すれば、南北辺の各2基1間分と東辺中央の棟持ち柱等の可能性がある1基である。7区と7-2区は調査年度が異なり、それぞれの調査時の安全確保の結果、境界部に未発掘区が生じた。そのため、柱列が西へ伸び、建物を構成するかどうかを最終確認することができなかった。また、前年度に実施した7区の調査では柱穴列の延長や鍛冶炉本体は確認されなかった。

以上の調査結果から、本遺構群は鉄製品を製作した鍛冶鍛冶遺構の一部と考えられる。遺物の構成も塊状の鉄滓・椀形鍛冶滓・再結合滓・粒状滓・羽口・鍛造剥片・炉壁破片であり、廃棄物からは一連の鍛冶工程が想定されよう。鍛冶炉本体は調査区内では確認できなかった。すぐ西側の未発掘となった部分にある可能性が考えられる。遺構の時期は不明である。1B号廃棄土坑から出土した瓦から8世紀前半の可能性もあるが、時期を特定することはできなかった。

7-2区1A号廃棄土坑

(第140・141図 PL.38・77・78 遺物観察表P.273)

グリッド 082～083・-274～-275

重複 1B号廃棄土坑より新しい。

規模 長軸0.58m 短軸0.46m 残存壁高0.18m

長軸方位 N-75°-W

埋没土 礫を少量含む砂質黒褐色土で埋まっていた。

形状 平面形は楕円形。断面形は箱形である。

遺物と出土状況 土壌洗浄後の全資料重量は10.24kgで、各分類の重量は第8表の通りである。なお再結合滓の出土位置は不明で、表では1B号廃棄土坑でまとめてある。埋没土中から羽口(第141図3)が出土した。

7-2区1B号廃棄土坑

(第140・141図 PL.38・77・78 遺物観察表P.273・274)

グリッド 082~083・-274~275

重複 1A号廃棄土坑より古く、206号土坑より新しい。

規模 長軸1.10m 短軸0.92m 残存壁高0.34m

長軸方位 N-87°-E

埋没土 上層・下層は小鉄塊と礫を含む黒褐色土、中層は鉄滓を多量に含む黒褐色土で埋まっていた。

形状 東西に長い隅丸方形。長軸は周囲の柱穴列の方向におおむね一致する。断面形は逆台形で底面は緩やかに丸みがあった。

遺物と出土状況 土壌洗浄後の全資料重量は104.68kg、各分類の重量は第8表の通りである。そのうち、羽口9点(第141図4~12)、再結合滓1点(同図20)、椀形鍛冶滓7点(同図13~19)を実測・図示した。粒状滓、鍛造剥片は重量を計測し、写真撮影した。また、埋没土中から8世紀前半の丸瓦破片2点(第140図1・2)と、時期不明の土器器小破片27点が出土した。

所見 出土した瓦の時期は8世紀前半であるが、混入の可能性も否定できない。

7-2区2号柱穴列

(第140図 PL.38)

グリッド 080~085・-274~275

主軸方位 N-8°-W 重複 なし。

形態 587~590号ピットが等間隔・平行に並ぶ。何らか

の建物の柱穴と推定される。西側はわずかに調査区域外となった部分が接する。その西側では連続する柱穴列は見つかっていない。調査区外部分で西側へ1~2間広がる可能性は残されている。

柱穴は円形あるいは楕円形で、長径0.51~0.13m、短径0.48~0.12m、深さ0.16~0.42mと一定ではなかった。

内部施設 鍛冶遺構廃棄土坑が伴う可能性がある。

遺物と出土状況 遺物は出土しなかった。

所見 想定される建物内の北東部に1A・1B号廃棄土坑が位置する。一連の鍛冶作業場との想定もできる。建物と考えた場合、東辺の中央やや北側に675号ピットがあり、棒持ち柱である可能性や、多角形の柱配置も想定される。

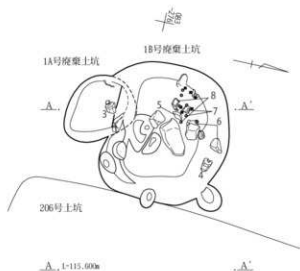
鉄生産関連遺物について

鉄製品の鍛冶生産に関連する廃棄土坑から出土した遺物の総量は第8表に示した通り、138.742kgであった。これらの遺物を整理するにあたり、資料の全体構成を把握するために、遺物の水洗、種別の分類と計量を実施した。分類は下記の①~⑤の順におこなった。

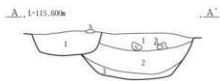
- ①椀形鍛冶滓、再結合滓、2cm以上の塊状の鉄滓を肉眼で抽出
- ②強力磁石で磁着ありと磁着無に分類
- ③磁着あり資料について8mm、5mm、2mmの篩で塊状の鉄滓を選別し、5mm以下・2mm以下の資料の中から肉眼で微細な鉄滓と粒状滓、鍛造剥片を抽出

第8表 7-2区1号廃棄土坑出土鉄関連遺物 分類および計量表 (単位g)

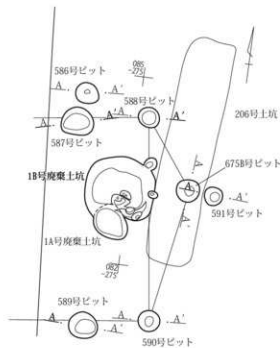
| | | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | | 6 | | | | | | | | | | |
|---------|-----|---------|-------|---------|---------|----------|----------------|----------|---------|---------|----------------|-----------|-------------|----------------|--------|--------|-------|---------|----------|------|-----------|---|
| | | 内観で抽出 | | 磁着あり | | 磁着はとどろ無し | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 8mm | 5mm | 2mm | 内観で粘土塊・羽口・土器抽出 | 8mm | 5mm | 2mm | 内観で鍛造剥片・粒状滓を抽出 | 内観で小鉄滓を抽出 | 内観で微細な鉄滓を抽出 | 内観で鍛造剥片・粒状滓を抽出 | | | | | | | | |
| 出土遺構 | 機形滓 | 塊状の滓 | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | | |
| | | 再結合滓 | | 大 | | 中 | | 中小 | | 小 | | | 微細 | | | | | | | | | |
| | | 3cm以上 | 2cm前後 | 1.5cm前後 | 1cm前後 | 1cm以下 | 1cm以下 | 0.5cm以下 | 0.2cm以下 | 0.1cm以下 | 0.05cm以下 | | 0.02cm以下 | | | | | | | | | |
| 種 | 重量 | 種 | 重量 | 種 | 重量 | 種 | 重量 | 種 | 重量 | 種 | 重量 | 種 | 重量 | 種 | 重量 | | | | | | | |
| 1A号廃棄土坑 | 1 | 45.25 | 0 | 0 | 25.48 | 67.64 | 49.33 | 3248.19 | 56.44 | 30 | 0.84 | 1.91 | 1.36 | 4 | 5.35 | 0 | 4990 | 4640 | 107.38 | 0.65 | 13230.02 | |
| 1B号廃棄土坑 | 23 | 3029.35 | 16 | 1430.9 | 9675.00 | 11889.00 | 14942.00 | 7560.00 | 5200.00 | 7300 | 40.17 | 63.58 | 317.74 | 26 | 350.79 | 43.44 | 21465 | 19815 | 29005.00 | 8.57 | 125512.10 | |
| 合計 | 24 | 3074.60 | 16 | 1430.9 | 9700.48 | 11456.64 | 14991.33 | 10808.19 | 5256.44 | 7300 | 41.01 | 65.49 | 319.10 | 27 | 356.34 | 43.44 | 26445 | 24455 | 29112.38 | 9.22 | 138742.12 | |
| 重量比 | | 2.80% | 1.05% | 6.99% | 8.20% | 10.81% | 7.79% | 3.79% | 0.03% | 0.05% | 0.23% | 0.20% | 0.03% | 19.06% | 17.63% | 21.20% | 0.01% | 100.03% | 100.03% | | 2 | |
| 実測遺物数 | 7 | | 1 | | | | | | | | | | | 10 | | | | | | | | 2 |



- 1 A号廃棄土坑
 1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 砂質、礫若干。
 1 B号廃棄土坑
 1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・小塊状鉄滓含有。
 2. 黒褐色土(10YR3/1) 鉄滓多量。
 3. 黒褐色土(10YR3/1) 砂礫含有・小塊状鉄滓混入。



0 1:30 1m



586号ビット
 L=115.500m



587号ビット

L=115.300m



588号ビット

L=115.500m



589号ビット

L=115.600m



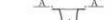
590号ビット

L=115.600m



591号ビット

L=115.500m



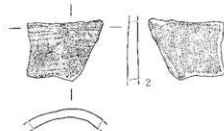
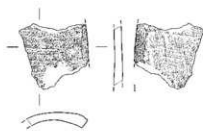
675号ビット

L=115.300m



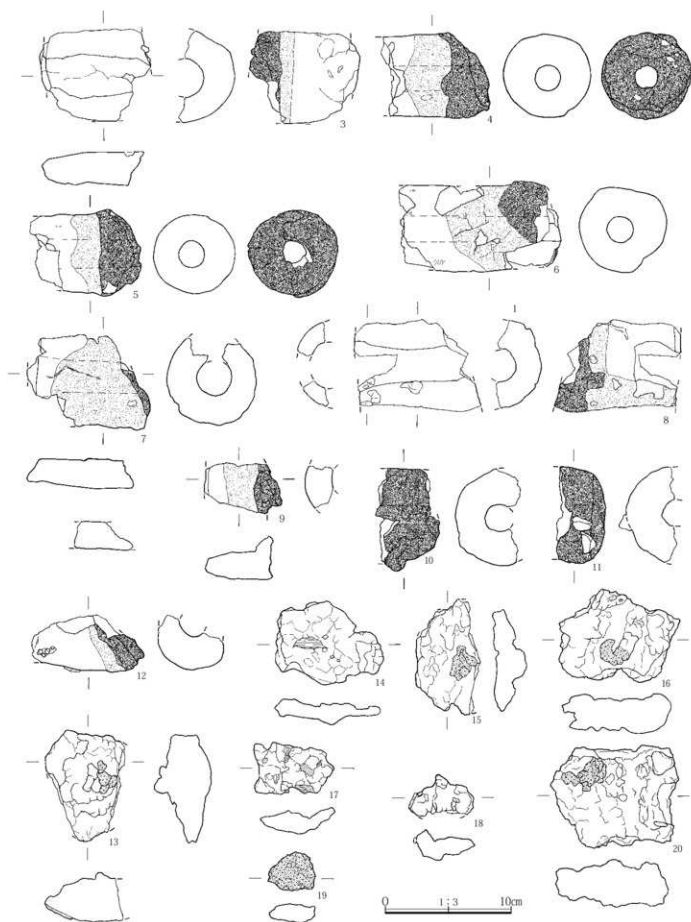
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5YR6/6)土少量。

0 1:60 2m



0 1:4 10cm

第140図 7-2区1号廃棄土坑と出土遺物(1)



第141图 7-2区1号廃棄土坑出土遺物(2)

④磁着がほとんどない資料について、肉眼で被熱粘土塊破片、羽口、土器を抽出

⑤残った資料について8mm、5mm、2mmの篩で塊状の滓を選別し、肉眼で微細遺物と粒状滓、鍛造剥片を抽出

⑥最後に残った磁着しない微細遺物を含む石・小石・砂を廃棄。全量の約58%にあたる。

羽口は大型破片と洗浄後分類した破片を接合した。胎土の特徴によって3種に分けられた。胎土の粒子が荒くザラザラしたもの(第141図3)、胎土は滑らかだが小礫を含むもの(4・11)、胎土が滑らかなもの(5~10・12・13)である。内孔直径は2.0~3.1cm、外形直径は6.4~7.8cmである。廃棄時の全長が判明した資料は4点あり、最短で6.0cmであった。

椀形鍛冶滓は長径9cm前後(13~16)、6cm前後(17・18)、3cm前後(19)の3種があり、炉の大きさや操業規模の違いがあったことがうかがえる。

再結合滓は16点分類されたが、5cm前後のものが多かった。幅10.0cmの最大の資料(20)を図化した。

粒状滓は760点、41.01g、重量比0.03%であった。被熱粘土塊は炉壁と考えられるが、小破片であり炉の復元までには至らなかった。重量を計測し写真撮影するにとどまった。鍛造剥片は幅3~8mmほどで大きさは一定でなかった。複数の工程の剥片が混じっているのであろう。

以上分類した資料の中から、羽口27点中10点、椀形鍛冶滓24点中7点、再結合滓16点中1点を選択し実測した。選択にあたっては、大きさや形状のバラエティを示すようにした。遺物構成および重量は、残されたもの・回収できなかったものとの限定のあるデータであるので定量的な分析はできないが、この廃棄土坑が鍛冶工程に関わるものであることは確認できたと思われる。なお、各遺物の自然科学的分析は実施しなかった。

9. 土坑

塩川砂井戸遺跡では、227基の土坑が検出された。内訳は6区・6-2区で59基、7区・7-2区で24基、8-2区で8基、9区で15基、10区・10-2区で112基、11区で9基で、特に10-2区に偏在していた。これらの土坑にはいくつかの形態があり、本書では、平面形態(長軸/短軸比)から、①円形(長軸/短軸比1.00~1.20)、②楕円形(長軸/短軸比1.00~1.20)、③隅丸方形(長軸/短軸比1.00~1.20)、④隅丸長方形(長軸/短軸比1.40~2.00)、⑤隅丸方形(帯状)(長軸/短軸比4.0以上)、⑥不定形の6種類に分類し報告する。検出された土坑の形態別の内訳は第9表の通りである。

ここでは、調査区ごとに、全体の土坑分布状況や他遺構との関連、特筆すべき遺構残存状況や出土遺物について記載した。挿図は規模の小さい方から順に掲載した。挿図・本文ともに遺構番号は区名を省略している。なお、個々の土坑の規模・形態・出土遺物の状況は巻末遺構一覧表にまとめた。

(1) 6区・6-2区の土坑

(第142~152図 PL.39~44・78~82 遺物観察表P.274~277)

6区・6-2区では、59基の土坑が検出された。内訳は円形土坑14基、楕円形土坑15基、隅丸方形土坑13基、隅丸長方形土坑15基、隅丸長方形(帯状)土坑は0基である。土坑は南半部にやや偏在する傾向があるが、全体に散在していた。特に中央部および南東部では、楕円形、隅丸方形、隅丸長方形の土坑が混在して並ぶように位置していた。これらの土坑が同時に掘られたと断定はできないが、地割等の何らかの規制にしたがって順次掘られた結果とも推定される。

円形土坑 14基のうち、西部で近接して検出された143

第9表 平面形別土坑一覧表

| 形態 | 長軸/短軸比 | 6区・6-2区 | 7区・7-2区 | 8-2区 | 9区 | 10区・10-2区 | 11区 | 合計 |
|----------|-----------|---------|---------|------|----|-----------|-----|-----|
| 円形 | 1.00~1.20 | 15 | 6 | 4 | 8 | 55 | 3 | 91 |
| 楕円形 | 1.20以上 | 14 | 6 | 4 | 4 | 31 | 4 | 63 |
| 隅丸方形 | 1.00~1.30 | 11 | 3 | 0 | 1 | 7 | 0 | 22 |
| 隅丸長方形 | 1.40~2.00 | 17 | 7 | 0 | 1 | 2 | 0 | 27 |
| 隅丸方形(帯状) | 4.0以上 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 6 |
| 不定形 | | 2 | 1 | 0 | 1 | 12 | 2 | 18 |
| | 合計 | 59 | 24 | 8 | 15 | 112 | 9 | 227 |

号土坑と149号土坑は円形の壁に沿い粘土を巻き込む特殊な構造の土坑で、内側には桶の箍の痕跡があり、内部に桶が据えられた埋植土坑である。143号土坑埋没土中から肥前陶器片口鉢(第148図1)、在地系土器内耳鍋(同図2)、牛伏砂岩の凹石(同図3)、鉄滓2点が出土した。149号土坑からの出土遺物は無かった。143号土坑の出土遺物から江戸時代の土坑と思われる。

比較的大型円形の76号土坑、84号土坑、145号、148号土坑からはまとめて遺物が出土した。21号溝東端南側にある76号土坑埋没土中から製作地・時期不詳磁器小杯(同図6)、肥前磁器染付碗(同図7)、瀬戸・美濃陶器皿(同図8)が出土した。出土土器から19世紀ころの土坑と思われる。

中央部の84号土坑では在地系土器焙烙(第149図3・4)が西部底面上2cmと15cmで出土した。埋没土中からは在地系土器皿と円板(同図1・2)、粗粒輝石安山岩製の茶臼(同図5)や多くの礫が出土した。出土遺物から江戸時代の土坑と思われる。

西端の145号土坑では多くの礫とともに北部底面上17cmで製作地不詳の土瓶身(第148図16)が、南部底面上19cmで製作地不詳の蓋(同図13)が、東部底面上33cmで瀬戸・美濃陶器灯火皿(同図14)が出土した。埋没土中から肥前磁器染付御神酒徳利(同図15)、製作地不詳磁器碗(同図9)、肥前磁器染付碗(同図10・11)、瀬戸・美濃陶器碗(同図12)が出土した。148号土坑から在地系土器火鉢(同図4)、在地系土器焙烙(同図5)が出土した。出土遺物から18世紀ころの土坑と思われる。

楕円形土坑 15基は全体に散在していたが、規格的な分布を示す土坑群の一部となっている土坑もあった。それらには遺物が比較的多く出土しており、何らかの機能をもった土坑群と推定される。

6区西部には、東から95号、91号、92号、93号(隅丸長方形)土坑が東西方向に並び、その西側に85号、94号(隅丸長方形)土坑が南北方向に、南側には84号(円形大型)、83号(隅丸長方形)土坑が東西方向に並び、矩形に分布するように見える。周囲には90号(隅丸方形)、96号(円形)土坑も単独で分布する。相互に接合する遺物も出土していることから、同時期に埋められた可能性がある。

95号土坑は4基が並ぶようにある最東の土坑で、遺物がまとめて出土した。埋没土中から肥前磁器染付碗(第

149図9・10)、肥前陶器陶胎染付碗(同図11)、瀬戸・美濃陶器尿瓶(同図12)、在地系土器焙烙(同図13)、土師器不明(同図8)が出土した。また、肥前磁器染付皿(同図16)には91号・92号土坑出土破片が接合した。

91号土坑は95号土坑と同列のすぐ西側に隣接する。埋没土中から肥前磁器染付碗(同図15)、肥前磁器染付皿(同図16)と92号土坑出土の破片が接合した瀬戸・美濃陶器染付小杯(同図14)、在地系土器焙烙(同図17)が出土した。

西側に隣接する92号土坑からは、91号・95号出土資料と91号土坑出土資料の両方に接合する破片が出土した。

さらに21号溝の南側にはほぼ平行するように東から76号(円形)、77号(円形大型)、78号(隅丸方形)、82号(隅丸方形)、89号、103号(隅丸長方形)土坑が並ぶように分布していた。89号土坑の出土遺物はまとめており、製作地不詳磁器染付碗と肥前磁器染付碗(第150図3・4)、肥前磁器染付碗(同図2)、製作地不詳陶器碗(同図1)、瀬戸・美濃陶器鉢(同図5)、常滑陶器片口鉢(同図6)、製作地不詳火鉢(同図7)、牛伏砂岩石製品石臼(上臼)(同図8)が出土した。その他散在する100号土坑から志戸呂陶器灯火受皿(第149図6)、135号土坑から銅製品キセル(吸い口)(同図7)、81号土坑から砂岩石製品砥石(同図18)が出土した。これらの土坑は出土遺物から18世紀から19世紀ころの土坑と思われる。

隅丸方形土坑 11基が東南部に集中して検出された。比較的大型の土坑が多く、101号、78号、82号、103号土坑のように楕円形土坑とともに規格的な分布を示す土坑群の一部となっていた。

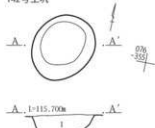
また、6区東南部には鉄生産関連遺物が出土した隅丸方形の土坑が偏在した。102号土坑は大型で、肥前磁器染付皿(第150図10)、瀬戸・美濃陶器腰鎗碗(同図9)、瀬戸・美濃陶器片口鉢(同図11)、在地系土器火鉢あるいは火焙(同図12)、羽口(同図13)が出土した。また、69号土坑からも椀形鍛冶滓(第151図2)、礫付着の鉄滓(同図1)、大型の羽口破片(同図3)が出土した。69号土坑出土の羽口は外径が9.9cm、厚さが3~4.2cmもあり、大規模な鉄生産関連の操業を想定させるが、調査では、周辺に鍛冶が等の遺構は検出されなかった。

また、104号土坑から牛伏砂岩製石臼(上臼)(第151図4)、前述した矩形に並ぶ楕円形土坑群の南東側にある90号土坑からは在地系土器内耳鍋(第151図5)と不明鉄

第三章 堀川砂井戸遺跡の遺構と遺物

円形

142号土坑



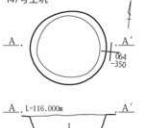
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫多量・細礫多量。

122号土坑



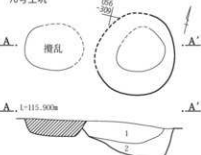
1. 暗褐色土 黄褐色粒ブロックが多量に混入、極少量炭化粒も見られる。

147号土坑



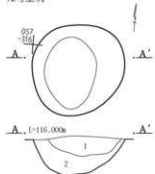
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有。

70号土坑



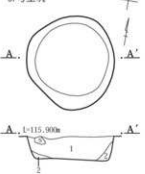
1. 暗褐色土 礫と少量の黄褐色粒が混入。
2. 暗黄褐色土 少量の礫と多量の黄褐色粒を含む。

72号土坑



1. 暗褐色土 礫と黄褐色砂質ブロック、暗赤褐色粒を含む。
2. 暗黄褐色土 礫と黄褐色砂質ブロック、暗赤褐色粒を含む。黄褐色粒が多量に混入する。

67号土坑



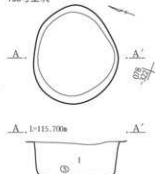
1. 暗褐色土 礫と黄褐色砂質ブロック 暗赤褐色粒を含む。
2. 暗黄褐色土 1層に黄褐色粒が多量に混入。

96号土坑



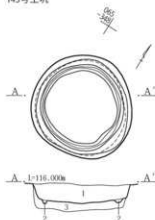
1. 暗黒褐色土 炭化粒と軽石粒を多く含む、黄褐色粒が少量混入。

138号土坑



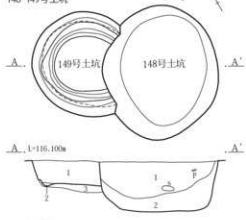
1. 暗褐色土 暗赤褐色粒と黄褐色粒を多く、極少量の焼土粒を含む。

143号土坑



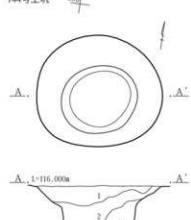
1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 灰白(07/7)粘質土含有。
3. 塊状灰白(07/7)粘質土。

148-149号土坑



- 148号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有・塊状明黄褐色(10YR6/6)土含有。
2. 塊状明黄褐色(10YR6/6)土主体。
149号土坑
1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 砂礫混入。
2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 細礫若干・塊状明黄褐色(10YR6/6)土少量。
3. 塊状明黄褐色(10YR6/6)土主体。

144号土坑



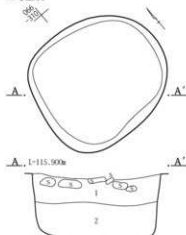
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 礫含有。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 小礫極多量。

第142図 6区・6-2区円形土坑

0 1:40 1m

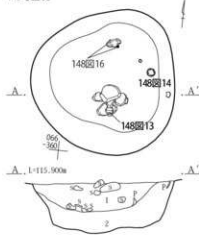
円形

76号土坑



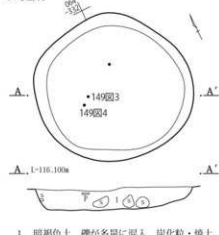
1. 暗褐色土 多量の礫(川原石)を含む、瓦片や陶器片を含む。
2. 暗褐色土 川原石の混入少なく、瓦片や陶器片の混入も少なくなる。

145号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫混入。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量。

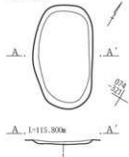
84号土坑



1. 暗褐色土 礫が多量に混入、炭化粒・焼土粒少量混入。

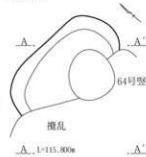
楕円形

132号土坑



1. 暗褐色土 軽石粒を多量に含む。

126号土坑



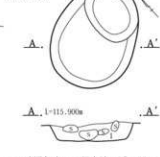
1. 暗褐色土 多量の軽石粒と少量の礫・炭化粒を含む。

100号土坑



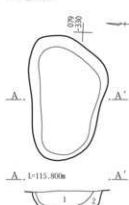
1. 暗褐色土 ϕ 3~10cmくらいの礫が多量に混入、上部に ϕ の大きな礫が多かった。

77号土坑



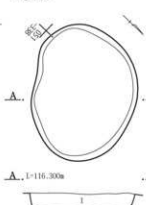
1. 暗褐色土 76号土坑に近いが、瓦片や陶器片は少ない。

135号土坑



1. 暗褐色土 角礫を含む黄褐色ブロックを多く含む(埋土)。
2. 暗褐色土 暗赤褐色土と黄褐色粒、円礫を含む。

87号土坑



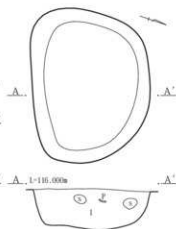
1. 暗黄褐色土 多量の暗黄褐色粒やブロックが混入。

92号土坑



1. 暗褐色土 礫と軽石粒を多く含む、ザラザラ感有り。

95号土坑



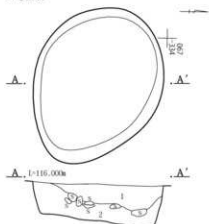
1. 暗褐色土 礫と黄褐色粒を少量含む。軽石粒も混入しややザラザラ感有り。

0 1:40 1m

第143図 6区・6-2区円形・楕円形土坑

楕円形

91号土坑



1. 暗黒褐色土 軽石粒を多量に含む。ザラザラ感有り。
2. 暗褐色土 礫と黄褐色粒・暗赤褐色粒を多く含む。

85号土坑



1. 暗褐色土 少量の小礫と焼土粒・炭化粒を含む。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色粒を含む。
3. 暗褐色土 1層より小礫の混入が少ない。

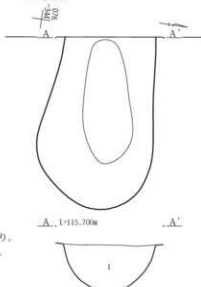
隅丸方形

129号土坑



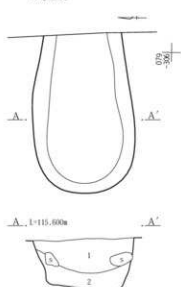
1. 暗褐色土 礫と軽石粒を多量に含む。

121号土坑



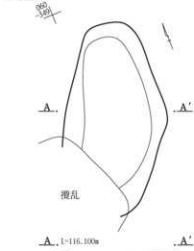
1. 暗褐色土 多量の軽石粒に礫黄褐色粒が混入。

136号土坑



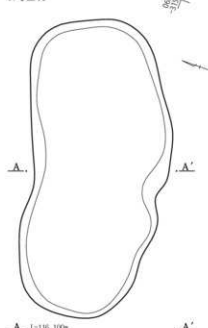
1. 暗褐色土 多量の軽石粒と少量の礫を含む。

81号土坑



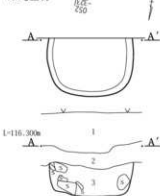
1. 暗灰褐色土 As-A軽石と礫の混合土。ザラザラ感有り。

89号土坑



1. 暗褐色土 多量の礫が混入、やや軽石粒を含む。

102号土坑



1. 埋土
2. 耕作土
3. 暗灰褐色土 多量の礫と軽石粒を含むザラザラ感有り。

0 1:40 1m

第144図 6区・6-2区楕円形・隅丸方形土坑

隅丸方形

130号土坑



1. 暗褐色土 軽石粒を多量に含む。

78号土坑



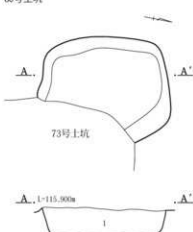
1. 暗褐色土 礫と暗黄褐色粒と少量の炭化物を含むザラザラ感有り。

69号土坑



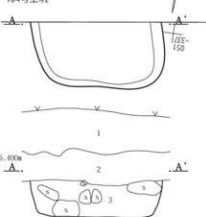
1. 暗褐色土 多量の礫と少量の炭化物・黄褐色粒を含む。

80号土坑



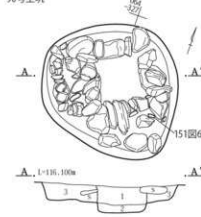
1. 暗褐色土 黄褐色粒・暗赤褐色粒を含む、73号土坑に切られている。

104号土坑



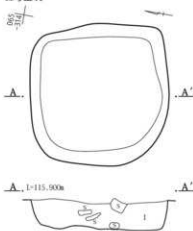
1. 埋土
2. 耕作土
3. 暗灰褐色土 多量の礫と軽石粒を含む、ザラザラ感有り。

90号土坑



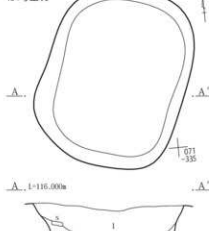
1. 黒褐色土 焼土粒・炭化粒を少量、暗赤褐色粒を多く含む。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色粒と、暗赤褐色粒を赤褐色粒を含む。
3. 暗褐色土 暗赤褐色粒と黄褐色粒を含む。

82号土坑



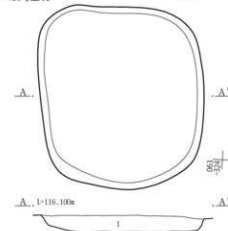
1. 暗褐色土 少量の焼土粒・暗赤褐色粒を含む、多量の礫も混入。

134号土坑



1. 暗褐色土 礫と暗赤褐色粒、黄褐色粒を多く含む。
2. 暗黄褐色土 少量の礫と暗赤褐色粒に多量の黄褐色粒ブロックを含む。

128号土坑

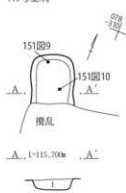


1. 暗褐色土 礫と黄褐色粒を少量含む、軽石粒を多く混入、ザラザラ感。

0 1:40 1m

隅丸長方形

119号土坑



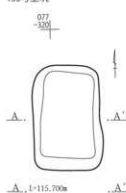
1. 暗褐色土 黄褐色粒と小礫を少量含む。焼土粒、炭化粒も少量含む。

131号土坑



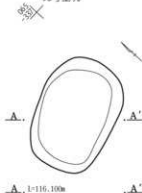
1. 暗褐色土 軽石粒を多量に含む。

133号土坑



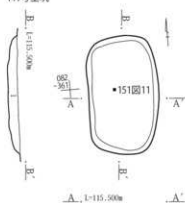
1. 暗褐色土 多量の軽石粒と極少量の炭化粒と黄褐色粒を含む。

93号土坑



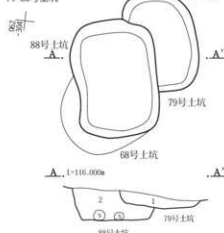
1. 暗褐色土 礫が多量に混入、ザラザラ感有り、黄褐色粒少量混入。

141号土坑



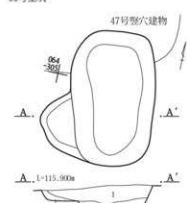
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入・細礫混入。

79-88号土坑



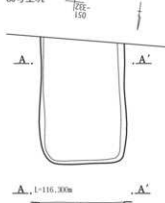
1. 暗褐色土 礫と暗赤褐色粒を含む。
2. 暗褐色土 礫と暗赤褐色・黄褐色粒子が混入。
68号土坑1層に近い。

66号土坑



1. 暗褐色土 礫と少量の黄褐色粒が混入。
2. 暗黄褐色土 少量の礫と多量の黄褐色粒を含む。
3. 黄褐色土 黄褐色粒層(地山)。

86号土坑



1. 暗褐色土 少量の黄褐色粒を含む。

101号土坑



1. 暗褐色土 多量の軽石粒を含む、ザラザラ感有り。

103号土坑



1. 暗褐色土 多量の軽石粒を含む、ザラザラ感有り。

0 1:40 1m

第146図 6区・6-2区隅丸長方形土坑

隅丸長方形

146号土坑

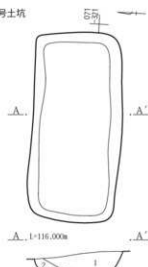


1. 黒褐色土(10YR3/2) 大礫含有・礫含有。

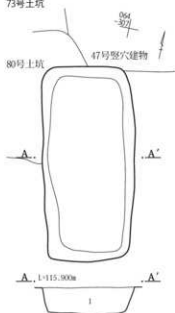
83号土坑

1. 暗褐色土 小礫と炭化粒・黄褐色粒が混入。
2. 黄褐色土 黄褐色粒層。(地山)

137号土坑

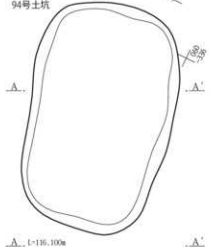
1. 暗褐色土 軽石粒を多量に含む。
2. 暗黄褐色土 多量の軽石粒に黄褐色ブロック粒が混入。

73号土坑



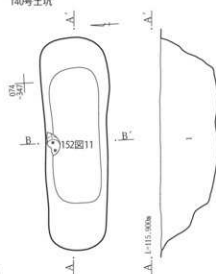
1. 暗褐色土 礫と少量の黄褐色粒が混入。

94号土坑



1. 暗褐色土 多量の礫と少量の炭化粒・炭化粒を含む。

140号土坑



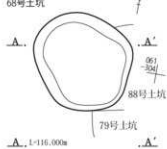
不定形

71号土坑



1. 暗褐色土 少量の炭化物と黄褐色粒が混入。

68号土坑



1. 暗褐色土 多量の礫と少量の炭化物・黄褐色粒を含む。

88号土坑

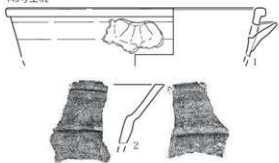


1. 黒褐色土(10YR3/2) As-A礫多量・礫多量。

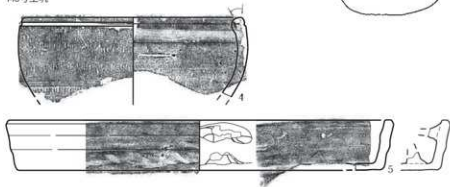
0 1:40 1m

第147図 6区・6-2区隅丸長方形・不定形土坑

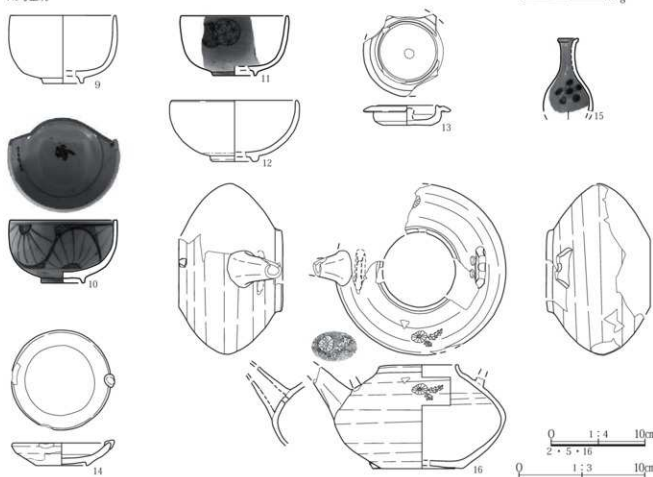
143号土坑



148号土坑



145号土坑

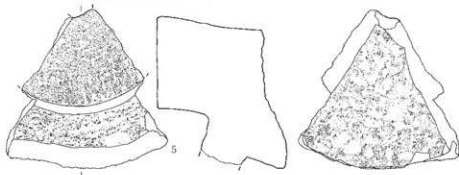
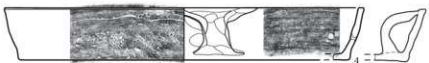
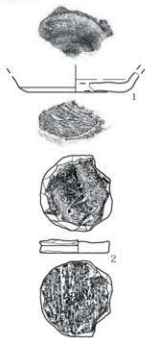


76号土坑

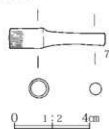


第148図 6区・6-2区土坑出土遺物(1)

84号土坑



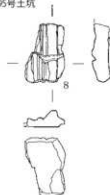
135号土坑



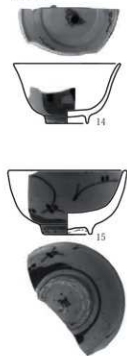
100号土坑



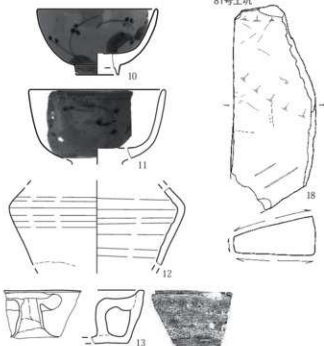
95号土坑



91号土坑



81号土坑

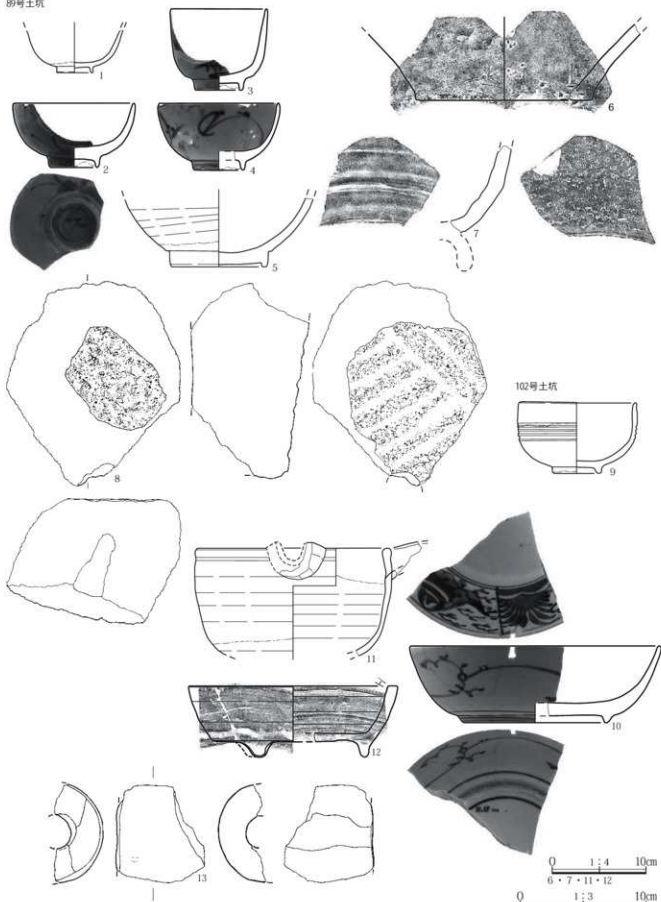


0 1:4 10cm
3·4·8·12·13·17

0 1:3 10cm
1·2·5·6·9·11·14·16

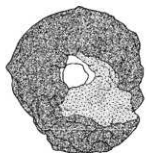
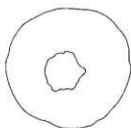
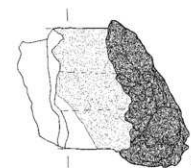
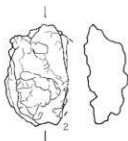
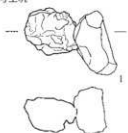
第149图 6区·6-2区土坑出土遗物(2)

89号土坑



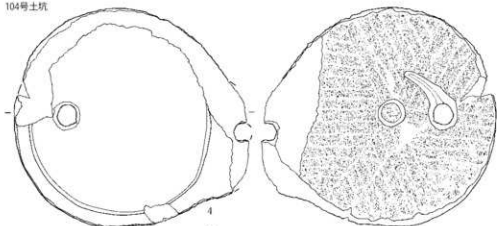
第150図 6区・6-2区土坑出土遺物(3)

69号土坑



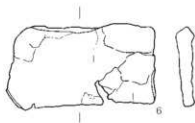
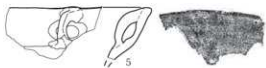
0 1:3 10cm

104号土坑



0 1:6 12cm

90号土坑



82号土坑



119号土坑



141号土坑



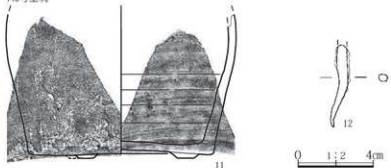
0 1:1 2cm
 7.9-11
 0 1:2 4cm
 6.8
 0 1:4 10cm
 5

第151图 6区·6-2区土坑出土遗物(4)

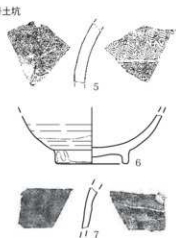
103号土坑



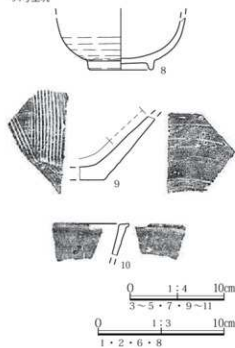
140号土坑



83号土坑



94号土坑



第152図 6区・6-2区土坑出土遺物(5)

製品(同図6)、82号土坑から銭貨(同図7)と鉄製品釘(同図8)が出土した。これらの土坑は出土遺物から18世紀を中心とする近世の土坑と思われる。

隅丸長方形土坑 17基が全体に散在していた。①単独のもの、②楕円形・隅丸方形の土坑とともに規格的な分布を示す土坑に大別できる。

①は幅が狭くより細長い形態が特徴である。6区・6-2区全体に散在していた。出土遺物が少なく、141号土坑から銭貨(正隆元寶)(第151図11)が出土したのみである。

②は比較的幅があり大型で、土器等もまとめて出土した。中央部の83号土坑からは、須恵器甕(第152図5)、瀬戸・美濃陶器碗(同図6)、在地系土器内耳鍋か(同図7)

が、94号土坑からは瀬戸・美濃陶器碗(同図8)、瀬戸陶器すり鉢(同図9)、在地系土器すり鉢か(同図10)が出土した。

単独で散在する119号土坑からは銭貨(第151図9・10)、103号土坑からは肥前磁器染付小碗(第152図1・2)、瀬戸陶器すり鉢(同図3・4)が、140号土坑からは製作地不詳火消し壺(同図11)、鉄製釘(同図12)が出土した。出土遺物から18世紀後半を中心とする江戸時代の土坑と思われる。

不定形土坑 南東隅の大きな攪乱の周囲に2基検出された。出土遺物はなかった。

(2) 7区・7-2区の土坑

(第153~156図 PL.44~47・82~83 遺物観察表P.277・278)

7区・7-2区では24基の土坑が調査区全体に散在していた。規格的な分布は見られないが、土坑の長軸方向が①南北方向を示すものと、②6区の21号溝や規格的な並びをみせる土坑群と共通するものがあった。一定の地割等に規制されて、順次掘られた土坑と考えられる。

円形土坑 西半部に4基、中央南部南壁沿い2基が検出された。中央部の178号・179号土坑は長方形の浅い土坑内に2基並んで設置されたもので、粘土で巻かれた桶が据えられた埋桶(便槽)土坑である。178号土坑からは瀬

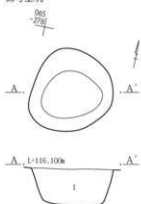
戸・美濃陶器徳利(第156図1)、常滑陶器甕が(同図2)、牛伏砂岩製の石皿(同図3)が、179号土坑からは瀬戸・美濃陶器染付碗(同図4)、肥前磁器染付碗(同図5)、瀬戸・美濃陶器灯火皿(同図6)が出土した。出土遺物から、江戸から明治時代の時期が想定される。

楕円形土坑 4基が散在していた。実測できるような大型破片は出土しなかった。

隅丸方形土坑 小規模な4基の土坑が散在していた。東部に単独で掘られた150号土坑から銭貨(寛永通寶)(第156図7)が出土した。土坑内には組まれていた礫が崩落したような状態で多数出土した。墓の可能性が高い。

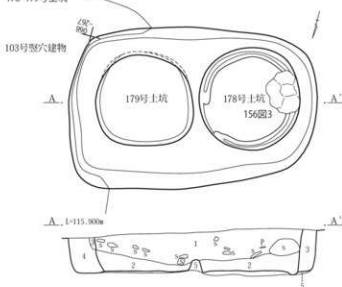
円形

53号土坑



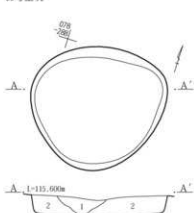
1. 暗褐色土 多量の小礫と砂りを含む。

178-179号土坑



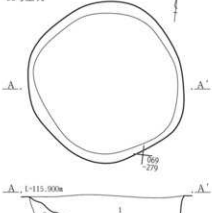
1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 80mm ϕ ~150mm ϕ 礫含有。
2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 細礫含有・小塊状明黄褐色(10YR6/6)粘土含有。
3. 明黄褐色土(2.5YR6/6) 粘土(桶設置充填材)
4. 黒褐色土(7.5YR3/1) 小塊状明黄褐色(2.5YR6/6)粘土混入・80mm ϕ ~150mm ϕ 礫含有。
5. 灰褐色粘土

55号土坑



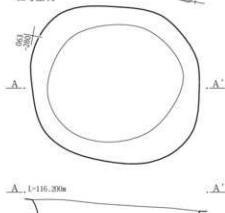
1. 暗褐色土 多量の軽石粒を含む。ザラザラ感有り。
2. 暗褐色土 礫と少量の炭化粒、黄褐色粒を含む。

63号土坑



1. 暗褐色土 多量の小礫と砂りを含む。
2. 黄褐色砂粒層(地山)。

52号土坑



1. 暗褐色土 多量の礫と少量の炭化粒・黄褐色粒を含む。

0 1:40 1m

第153図 7区・7-2区円形土坑

楕円形

154号土坑



1. 褐灰色土(7.5YR4/1) 礫混入。
30mmφ~70mmφ含有。

152号土坑



1. 褐灰色土(7.5YR4/1) 礫含有。

153号土坑



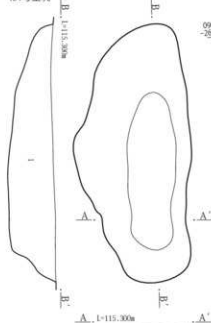
1. 褐灰色土(7.5YR4/1) 礫混入。

62号土坑



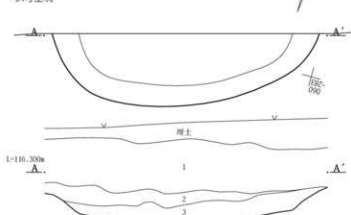
1. 暗褐色土。多量の小礫と砂利を含む。

151号土坑



1. 褐灰色土(7.5YR4/1) 礫少量。

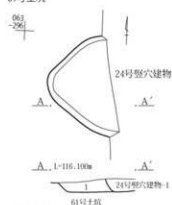
64号土坑



1. 暗褐色土。多量の軽石粒と砂利を含む少量の炭化物も含み、ザラザラ感有り。
2. 黄褐色土。多量の礫と焼土ブロック、炭化物が混入。
3. 暗褐色土。1層よりも暗い、砂利を多く含む少量の炭化物を含む。

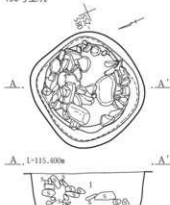
隅丸方形

61号土坑



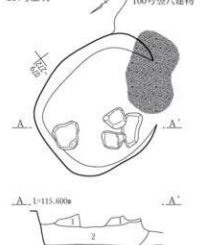
1. 黒褐色土。礫とごく少量の黄褐色粒を含む。
24号型穴建物
1. 暗褐色土。礫とごく少量の炭化粒を含む。

150号土坑



1. 褐灰色土(7.5YR4/1) 礫少量。

204号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫混入・礫少量。

0 1:40 1m

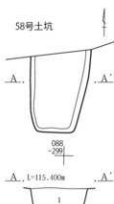
第154図 7区・7-2区楕円形・隅丸方形土坑

隅丸長方形

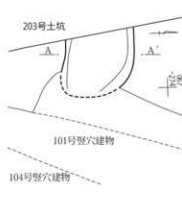
59号土坑



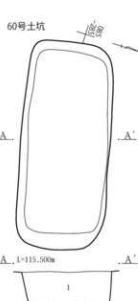
1. 暗褐色土 黄褐色粒が多く混入。
2. 暗褐色土 黄褐色粒と礫を少量含む。



1. 暗褐色土 暗赤褐色粒が少量混入。

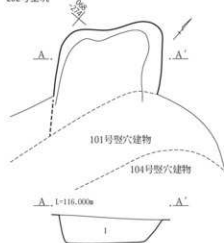


1. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫混入。



1. 暗褐色土 多量の軽石粒を含む。ザラザラ感有り。

202号土坑



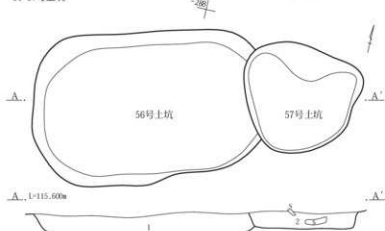
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫多量。

54号土坑



1. 暗褐色土 多量の砂礫と黄褐色砂粒やブロックを含む。

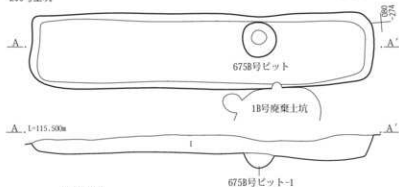
56・57号土坑



1. 暗褐色土 多量の軽石粒を含む サラサラ感有り。
2. 暗褐色土 黄褐色ブロックや礫を多く含む、粘性やや有り。

隅丸長方形(帯状)

206号土坑

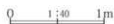


206号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

675 B号ピット

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・塊状明褐色(2.5YR6/6)土少量。



第三章 堀川砂井戸遺跡の遺構と遺物

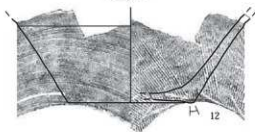
178号土坑



54号土坑



56号土坑



179号土坑



150号土坑



57号土坑



0 1:8 20cm

0 1:1 2cm

0 1:4 10cm

0 1:2 4cm

0 1:3 10cm

第156図 7区・7-2区土坑出土遺物

隅丸長方形土坑 4基が北西部に偏在していた。54号土坑から瀬戸・美濃陶器植木鉢(第156図8)、在地系土器火鉢蓋(同図9)が、56号土坑からは瀬戸・美濃陶器染付碗(同図10)、磁器染付小碗(同図11)、瀬戸陶器すり鉢(同図12)、在地系土器焙烙(同図13)が出土した。これらの土坑は出土遺物から江戸から明治時代の土坑と思われる。

帯状の長方形土坑 206号土坑1基が検出された。出土遺物もなく時期は不明である。1号鍛冶廃棄土坑に伴うと推定される建物の柱穴(675 B号ピット)と重複するが、206号土坑が新しい。

不定形土坑 北西部V層上面で56号土坑(隅丸長方形)に後出して57号土坑を検出した。56号土坑の埋没土には浅間Aと推定される軽石を多量に含んでおり、それに後出する57号土坑は天明3(1783)年の浅間山噴火後の遺構である。上層はちょうど著しい擾乱が重なっており、II層

上面での遺構確認は困難であった。

埋没土中から流紋岩製の石製品(第156図14)が出土した。石製品は不正五角形で、全面が丁寧に磨かれている。表裏面に墨書があるが、不鮮明なことから赤外線カメラ写真(P.221)を撮影をして判読した。詳細は第V章2(2)で記載した。

(3) 8-2区の土坑

(第157・158図 PL.47 遺物観察表P.278)

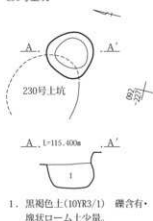
8-2区では円形4基、楕円形4基、合計8基の土坑が検出された。いずれも西半部に偏在していた。

円形土坑 3基がほぼ等間隔に位置している。231号土坑からは土師器杯(第158図1)、230号土坑からは土師器羽釜(同図2・3)が出土した。

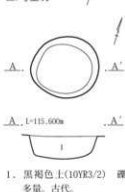
楕円形土坑 4基が検出された。いずれも0.6~0.8mほどの同規模の土坑である。実測できる遺物はなかった。

円形

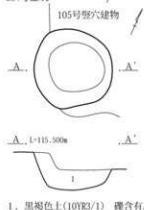
250号土坑



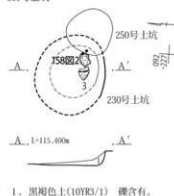
227号土坑



231号土坑



230号土坑

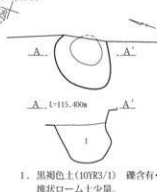


楕円形

229号土坑



251号土坑



226号土坑



228号土坑



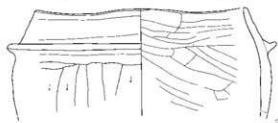
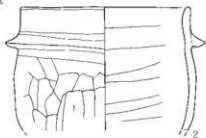
0 1:40 1m

第157図 8-2区円形・楕円形土坑

231号土坑



230号土坑

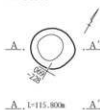


0 1:4 10cm

第158図 8-2区土坑出土遺物

円形

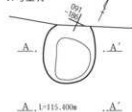
105号土坑



A. A' 1-115.800m

1. 黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色鉱物粒・赤褐色鉱物粒を少量含む。かたく締まりのある上。
2. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質土・黄褐色ブロックを含む。

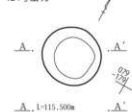
97号土坑



A. A' 1-115.400m

1. 暗褐色土(10YR3/3) やや締まる。白色粒を極少量含む。明黄褐色土(ローム)を少量ブロック状に含む。

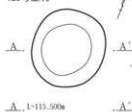
124号土坑



A. A' 1-115.500m

1. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) 30mm程度の礫とローム小ブロック・白色鉱物粒を含む。締まりのある上。

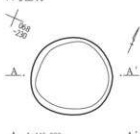
125号土坑



A. A' 1-115.500m

1. 暗褐色シルト質土(10YR3/4) ロームブロックを10%程度と50~100mmの角礫を少量含む。締まりのある上。

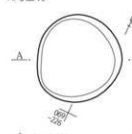
74号土坑



A. A' 1-115.800m

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色鉱物粒を含む。円礫20mmφ以下が所々に入る。全体に黄褐色シルト質ブロックが混入する。締まりのある上。

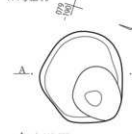
75号土坑



A. A' 1-115.800m

1. 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色鉱物粒と白色鉱物粒を含む。円礫20mmφ以下が所々に入る。やや粘性があり、締まりのある上。

114号土坑



A. A' 1-115.600m

1. 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物・焼土ブロック、30mmφ以下の礫を含むシルト質土。締まりのある上。

0 1:40 1m

第159図 9区円形土坑

(4) 9区の土坑

(第159・160図 PL.47~49)

9区では円形8基、楕円形4基、隅丸方形1基、隅丸長方形1基、不定形1基が検出された。いずれの土坑も出土遺物が少なく、実測できるものはなかった。

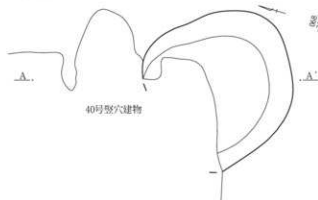
円形土坑 西半部にやや大型の円形土坑があり、東半部に小型の円形土坑が分布していた。西半部にあった106号土坑は大型で、7世紀と推定される40号竪穴建物より新しい。

楕円形土坑 4基が東半部の西寄りに偏在していた。

隅丸方形土坑 西半部に118号土坑1基があった。埋没土の観察から7世紀と推定される39号竪穴建物より古い。

隅丸長方形土坑 西半部にあった120号土坑は、6世紀後半と推定される42号竪穴建物より古い。

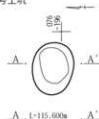
不定形土坑 東半部に123号土坑1基があった。

円形
106号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/4) 50mmφ以下の礫を多く含む(砂利層)砂質土である。

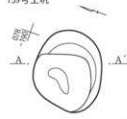
40号型穴建物

1. 暗褐色土(10YR3/3) 2~20mmφの円礫を20%と焼土粒・ローム粒が混入する。かたく締まった上。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 僅かに焼土ブロックと、ロームブロック混入する。下に僅かに、炭化物が入る。
3. 褐色土(10YR4/6) 黄褐色土ブロックが混入する。シルト質土。
4. 黄褐色土(10YR5/6) 地山のシルト質土。
5. 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色シルトブロックと少量の焼土ブロック及び細かな砂利を含む、かたくしまっている(袖構築材)。

楕円形
99号土坑

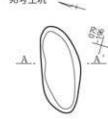
1. 暗褐色土(10YR3/3) しまりなし、白色粒を極少量、赤色焼土ブロックを含む。明黄褐色土(ローム)をブロック状に含む。

139号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 砂利層に30mmφ以下の円礫を含む。締まりのある上。

98号土坑

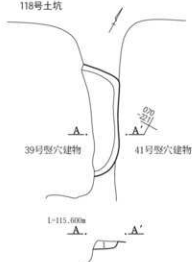


1. 暗褐色土(10YR3/3) やや締まる。白色粒・赤色粒を少量含む。

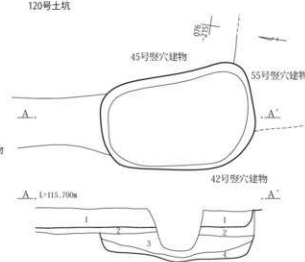
127号土坑



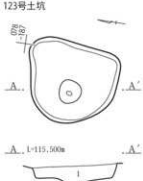
1. 暗褐色土(10YR3/4) 焼土ブロック、30mmφ以下の礫を含むシルト質土。締まりのある上。

隅丸方形
118号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/4) 50mmφ程度以下の礫を含む。土割片を含む。硬く締まりのある上。

隅丸長方形
120号土坑

1. 褐色シルト質土(10YR4/4) 30mmφ以下の礫と炭化物・焼土ブロックを含む締まりのある上。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 床下(掘方覆土)炭化物・焼土粒を少量含むやや軟質のシルト質土。
3. 暗褐色土(10YR3/4) 僅かに小さなロームブロックを含むシルト質土。(55号型穴建物床面掘方下で確認)
4. 暗褐色土(10YR3/4) 僅かに小さなロームブロックを三層よりもやや多く、僅かに細かな砂利を含む。(55号型穴建物床面掘方下で確認)

不定形
123号土坑

1. 暗褐色シルト質土(10YR3/4) ロームの小ブロックと焼土ブロックを少量含む。

0 1:40 1m

第160図 9区円形・楕円形・隅丸方形・隅丸長方形・不定形土坑

(5)10区・10-2区の土坑

(第161～171図 PL.49～55・83 遺物観察表P.278・279)

10区・10-2区では円形55基、楕円形31基、隅丸方形7基、隅丸長方形2基、帯状の隅丸長方形5基、不定形12基が検出された。特に東半部に分布が偏在していた。その中央部には複数の円形土坑が直線状に並んでいる地点があった。楕円形・隅丸方形・隅丸長方形の土坑は規則的な分布は見られなかった。北東部には帯状の隅丸長方形土坑が5基集中する地点があった。

円形土坑 55基が検出されたが、そのうちの21基が10-2区中央に東西・南北に並んで分布していた。その方向は、同区内の1号掘立柱建物や1号柱穴列の柱筋方向ではなく、6区の隅丸方形土坑の並びや21号溝の方向に共通する。後者との時期的な共通性を見て取れる。ある程度広域な地割等の規制を反映しているものと推定される。その他の土坑は全体に散在していた。10-2区は古墳時代の竪穴建物が全域に分布しており、土坑との重複も著しかった。土坑からは土師器・須恵器が出土しているが、その重複による混入と判断される。その他埋没土中出土遺物には近世以降の土器破片が含まれることから、多くの土坑は近世以降の掘削と考えられる。

中央集中部の東端にあった188号土坑から出土した土師器杯(第171図4)、その他散在する181号土坑から出土した土師器杯(同図1・2)、土師器小型甕(同図3)、220号土坑から出土した土師器杯(同図5)を図示した。

楕円形土坑 31基が検出されたが、中央部にやや集中するものの、全体に分布していた。中央部にあった180号土坑・208B号土坑は、土層の観察からは古墳時代終末と推定される93号竪穴建物より新しい。180号土坑出土土師器小型甕(第171図10)や、208B号土坑出土土師器杯(同図7・8)、土師器甕(同図9)はやや新しい様相を見せていることと矛盾はない。また、東南部にあった264号土坑から土師器杯(同図6)が出土した。

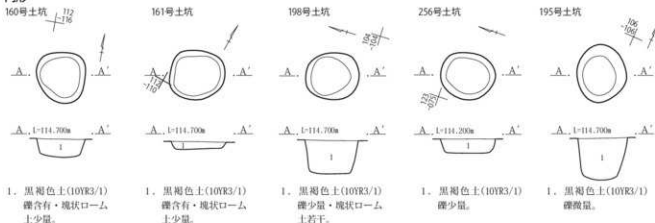
隅丸方形土坑 7基が検出された。全体に散在していた。271号土坑は大型の土坑で、大きな礫が埋没土中に含まれていた。当初井戸と考えたが、浅いので土坑とした。

隅丸長方形土坑 2基が検出された。西部に1基、東端部に1基と散在していた。実測できた遺物もなかった。

帯状の隅丸長方形土坑 北東部に4基が並んで検出された南北方向に長く、長軸方向は円形土坑群が規格的に東西に並んだ軸にほぼ直交する。関連性があるとみられる。遺物は出土しなかった。239B号土坑の南側に接する211B号土坑も帯状をしていたが、長方形ではなかったので不定形で分類しているが、同様の用途の土坑と推定される。

不定形土坑 12基が検出された。全体に散在していた。272号土坑は当初、竪穴建物の掘り方土坑の一部と考えて掘り下げたが、確認がなかったので単独土坑として記録した。底面直上から、U字形の鉄製鎌鋤先(第172図11)が出土した。

円形

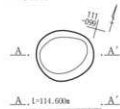


0 1:40 1m

第161図 10区・10-2区内円形土坑

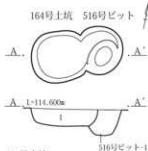
円形

173号土坑



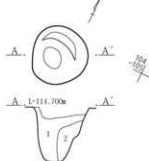
1. 灰黄褐色土(10YR4/2) 礫
無し・地山ローム土質。

164号土坑



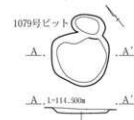
- 164号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫極多量。
516号ビット
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫混入。

197号土坑



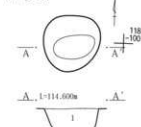
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・
小塊状ローム土少量。
2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

267号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量。

168号土坑



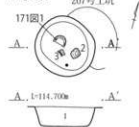
1. 黒褐色土(10YR3/2) 細
礫極多量。

252号土坑



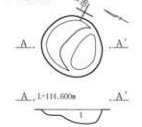
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量。

181号土坑



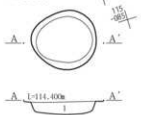
1. 黒褐色土(10YR3/1) 粒状炭化
物含有・小塊状ローム土若干。

245号土坑



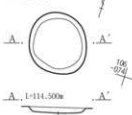
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。

248号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・
小塊状ローム土少量。

265号土坑



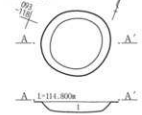
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

193号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 小塊状ロ
ーム土含有・粒状ローム土少量。
2. 黄褐色土(10YR6/8) 塊状地山ロ
ーム土(底面に貼ってある)。

259号土坑



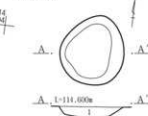
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

219号土坑



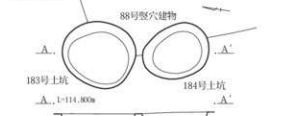
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。

165号土坑



1. 黒褐色土(7.5YR3/2)
塊状ローム土含有・礫微量。

183-184号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫少量・塊状ロ
ーム土少量・小塊状ローム土少量。

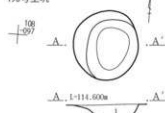
0 1:40 1m

第162図 10区・10-2区円形土坑

第三章 塩川砂井戸遺跡の遺構と遺物

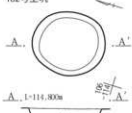
円形

190号土坑



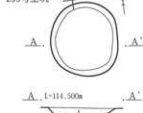
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・粗粒状ローム土含有・小塊状ローム土含有。

182号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・粗粒状ローム土含有。

255号土坑



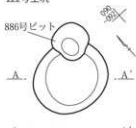
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

199号土坑



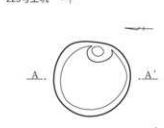
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・小塊状ローム土含有。

222号土坑



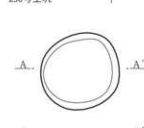
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

223号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。

236号土坑



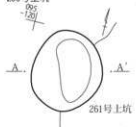
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・細礫含有・粗粒状土微量。

110号土坑



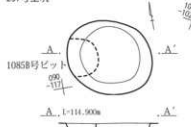
1. 黒褐色土(10YR3/3) 礫を多量に含む白色粒を若干含む。
※礫は歪円礫。直径5~10cm大

260号土坑



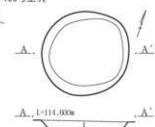
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

257号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量。
1058号ピット
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫若干・粗粒状ローム土微量。

166号土坑



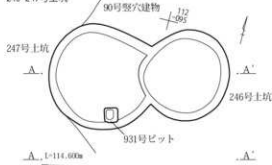
1. 黒褐色土(10YR3/2) 塊状ローム土混入・粗粒状ローム土含有。

244号土坑



1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫微量・塊状ローム土含有。

246・247号土坑



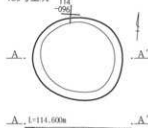
246号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/2) 小塊状ローム土若干・粗粒状ローム土含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 小塊状ローム土含有。

247号土坑

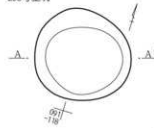
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・小塊状ローム土少量。

186号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫5mmφ~7mmφ含有・礫若干。

258号土坑

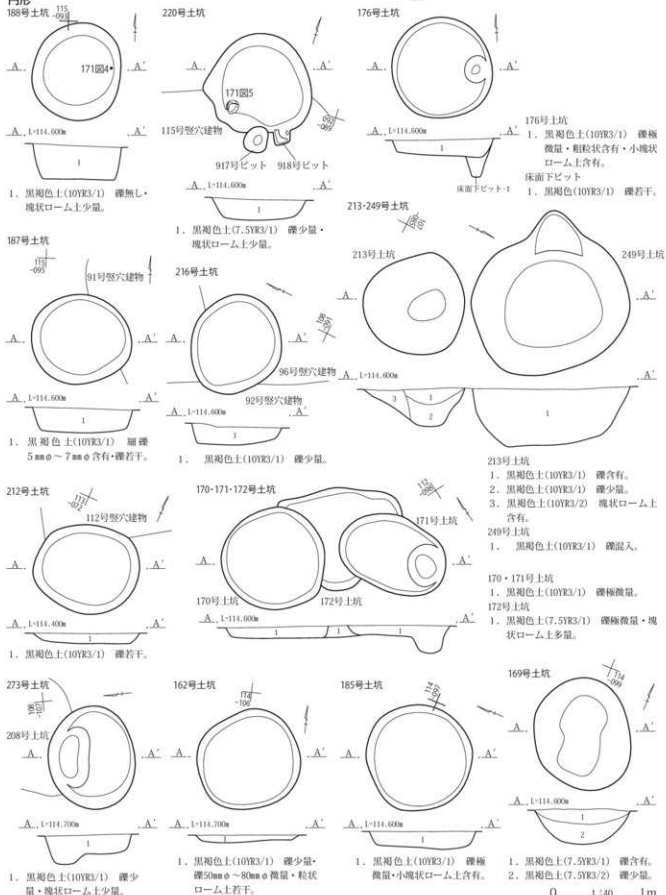


1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。



第163図 10区・10-2区円形土坑

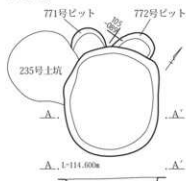
円形



第164図 10区・10-2区円形土坑

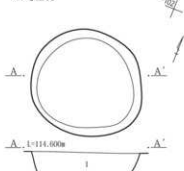
円形

234号土坑



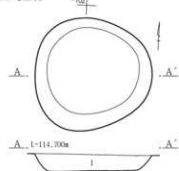
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫無し・塊状ローム土少量。

167号土坑



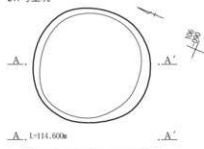
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・粗粒状ローム土含有・小塊状ローム土含有。

201号土坑



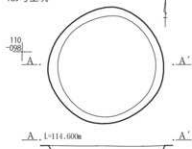
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

217号土坑



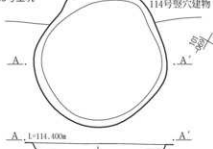
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

189号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・粗粒状ローム土含有・小塊状ローム土含有。

243号土坑



1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫無し。

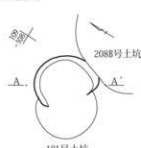
楕円形

191号土坑



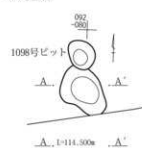
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・粗粒状ローム土含有・小塊状ローム土含有。

207号土坑



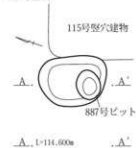
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量・塊状ローム土少量。

266号土坑



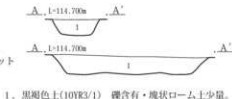
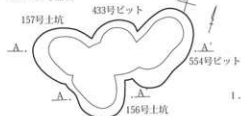
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。

221号土坑



221号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。
887号ビット
1. 黒褐色土(10YR3/1) 細礫少量。

1561・157号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・塊状ローム土少量。

0 1:40 1m

第165図 10区・10-2区円形土坑・楕円形土坑

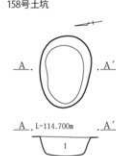
楕円形

235号土坑



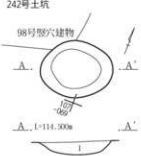
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・塊状ローム土若干。

158号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・塊状ローム土少量。

242号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量。礫微量・細礫含有・粒状炭化物少量。

174・175号土坑



- 174号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫無し・塊状ローム土少量。

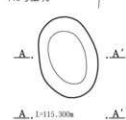
- 175号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫無し・塊状ローム土含有。

224号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量・粒状焼土少量。古代

116号土坑



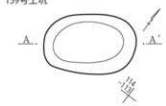
1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5~10cm大の垂円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。

262号土坑



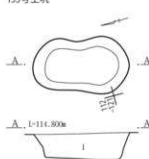
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量。

159号土坑



1. 暗褐色土(10YR3/3) 礫含有。

155号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有・塊状ローム土少量。

264号土坑



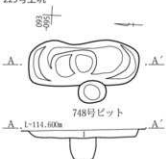
1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫微量。

218号土坑



1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫微量・塊状ローム土少量。

225号土坑



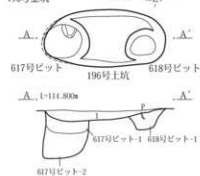
- 225号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。床面下ビット
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。

112号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5~10cm大の垂円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。

196号土坑



196号土坑

1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫30mmφ~50mmφ微量。

617号ビット

1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫微量。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土含有。
618号ビット

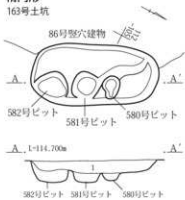
1. 黒褐色土(10YR3/2) 塊状ローム土混入・礫少量。

0 1:40 1m

第166図 10区・10-2区楕円形土坑

楕円形

163号土坑



1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 塊状ローム土少量・礫若干。(近世か)

160号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫無し・塊状ローム土少量。

268号土坑



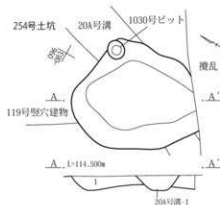
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫含有。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 礫混入・塊状ローム土含有。

2088号土坑



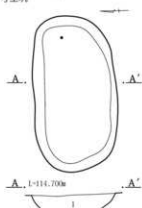
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・粒状ローム土少量。

254号土坑



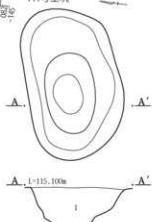
254号土坑
1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干・粒状固化物若干。
20A号溝
1. 黒褐色土(7.5YR3/2) 細礫少量。

109号土坑



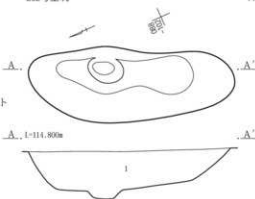
1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5～10cm大の亜円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。

111号土坑



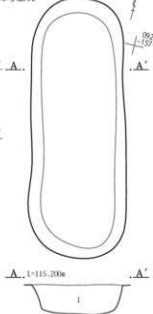
1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5～10cm大の亜円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。

232号土坑

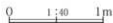


1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫多量・7mmφ～12mmφ礫少量。

113号土坑



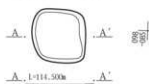
1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5～10cm大の亜円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。



第167図 10区・10-2区楕円形土坑

隅丸方形

215号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量。

205号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫含有。

隅丸長方形

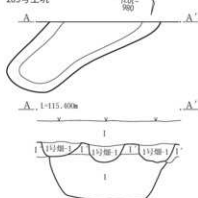
117号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5~10cm大の垂円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。

隅丸長方形(帯状)

263号土坑



263号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・細礫含有・塊状ローム土含有。
 1号畑
 1 宅地造成以前の表土層(耕作土) 褐灰色土(5YR4/1)白色軽石含有・細粒礫含有。
 1' 旧表土層。耕地整備等以前の表土層。黒褐色土(5YR3/1)白色軽石粒少量・細粒礫混入。
 1. 浅間A軽石一次堆積層。

209-210号土坑

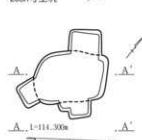


1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム土若干。



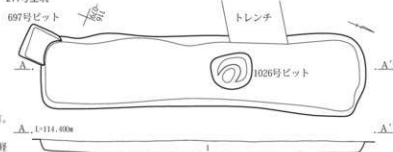
1. 黒褐色土(10YR3/3) 直径5~10cm大の垂円礫を多量に含む。白色粒を若干含む。

208号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/2) 礫少量・塊状ローム土含有。

211号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・塊状ローム土若干。

271号土坑



781号ビット

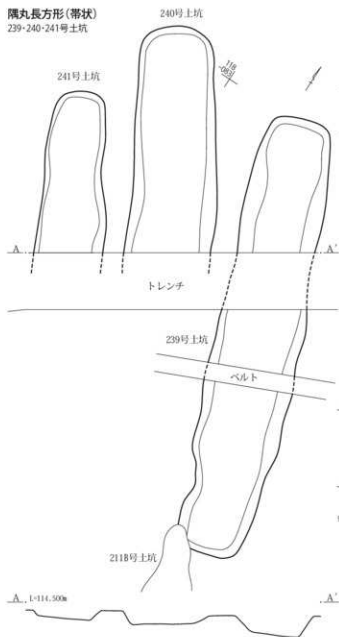


1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。小塊状ローム土混入。
 2. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・塊状ローム土多量。
 3. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極微量・小塊状ローム土含有。
 4. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極微量・塊状ローム土含有。
 5. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極少量・塊状ローム土少量。
 6. 黒褐色土(10YR3/1) 礫極少量・塊状ローム土含有。
 7. 黒褐色土(10YR3/1)と塊状ローム土の互層(人為層)。

0 1:40 1m

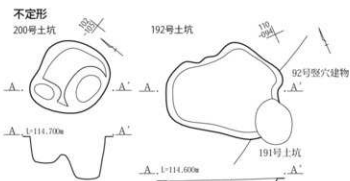
隅丸長方形(带状)

239-240-241号土坑



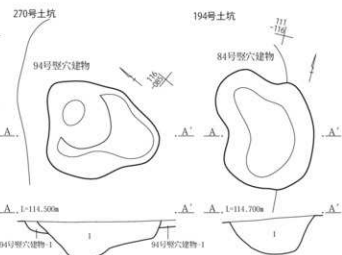
不定形

200号土坑



1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量・粗粒状ローム上含有・小塊状ローム上含有。

270号土坑



270号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム上若干。

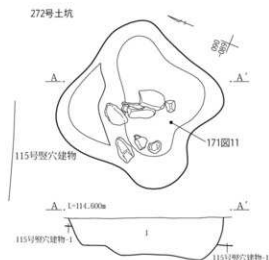
94号整穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫少量・塊状ローム上若干。

194号土坑

1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫若干。

272号土坑



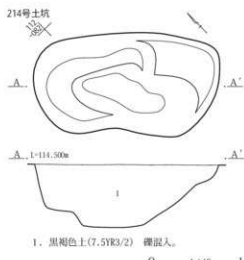
272号土坑

1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫少量・塊状ローム上若干。

115号整穴建物

1. 黒褐色土(10YR3/2) 細礫少量・小塊状ローム上少量・粗粒状ローム上含有。

214号土坑



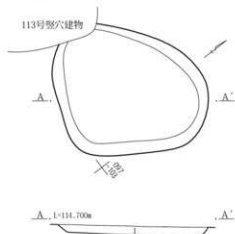
1. 黒褐色土(7.5YR3/2) 礫混入。

0 1:40 1m

第169図 10区・10-2区隅丸長方形・不定形土坑

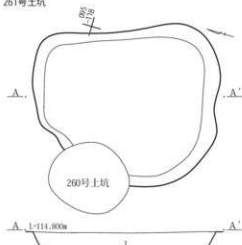
不定形

237号土坑



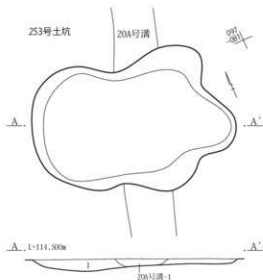
1. 黑褐色土(10YR3/1) 硬少量·细硬含有·粒状炭化物少量。

261号土坑



1. 黑褐色土(10YR3/1) 硬少量。

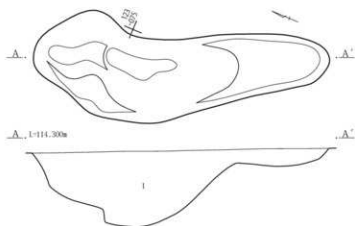
253号土坑

253号土坑
1. 黑褐色土(10YR3/1) 硬少量·塊状口—土少量。

20A号溝

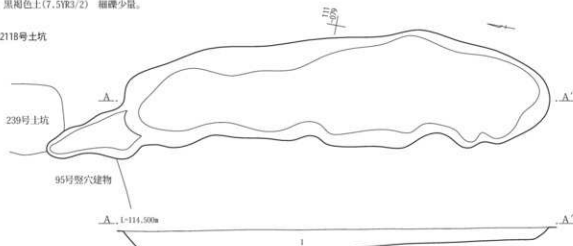
1. 黑褐色土(7.5YR3/2) 细硬少量。

233号土坑



1. 黑褐色土(10YR3/2) 硬混入·细硬含有·塊状口—土少量。

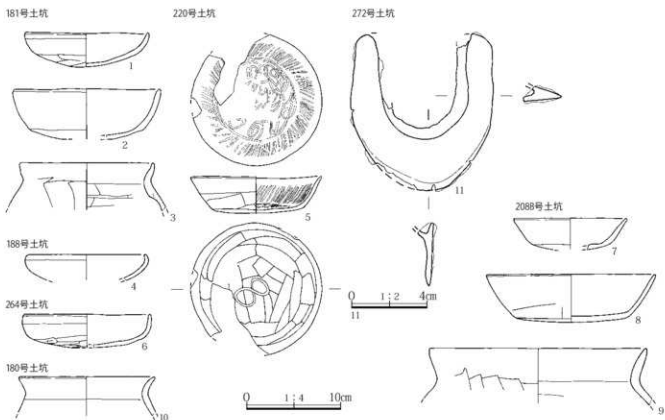
2118号土坑



1. 黑褐色土(10YR3/1) 细硬混入。

0 1:40 1m

第170图 10区·10-2区不定形土坑



第171図 10-2区土坑出土遺物

(6)11区の土坑

(第172・173図 PL.55・56・83 遺物観察表P.279)

11区では円形3基、楕円形4基、不定形2基が検出された。円形土坑は西端と東端に分かれ分布していた。小型の楕円形土坑3基は西半部に集中していた。大型楕円形土坑1基が南東部に検出された。

円形土坑 3基が検出された。西端にあった45号土坑か

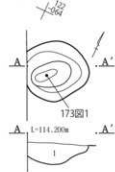
らは土師器鉢(第173図1)が出土した。

楕円形土坑 4基が検出された。小型の46号土坑、48号土坑は長軸を揃えて並んで検出された。南西部にあった大型楕円形の65号土坑からは、土師器杯(同図2・3)、土師器甕(同図4)が出土した。

不定形土坑 西端に2基が検出された。44号土坑からは牛伏砂岩製の凹石(同図5)が出土した。

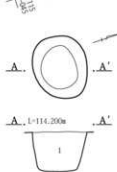
円形

45号土坑



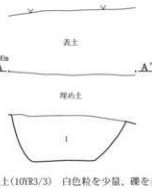
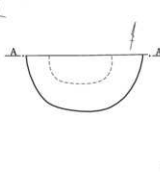
1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒・黄色ロームブロックを少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、を少量含む。

51号土坑

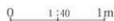


1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。

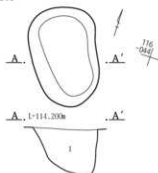
50号土坑



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。



第172図 11区円形土坑

楕円形
46号土坑

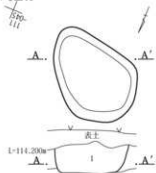
1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。

48号土坑



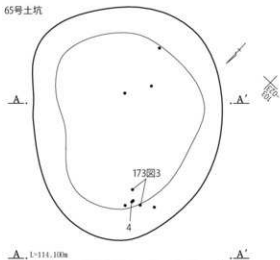
1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。

47号土坑

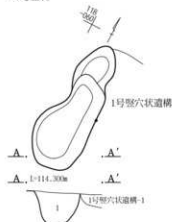


1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。

65号土坑



1. 黒褐色土(10YR2/2) 100mmφ以下の礫を少量含む砂り層。締まりのある土。

不定形
49号土坑

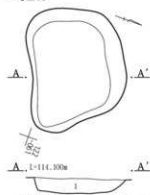
49号土坑

1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。

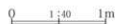
1号型穴状道標

1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は垂直径5cm未満)黄色ローム砂層を少量含む。

44号土坑



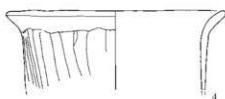
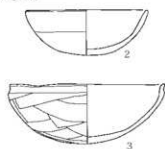
1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。



45号土坑



65号土坑



44号土坑



第173図 11区楕円形・不定形土坑

10. ピット

(第174～191図 PL.56～58・83 遺物観察表P.279・280)

塩川砂井戸遺跡では、単独のピット887基が検出された。内訳は6区・6-2区38基、7区・7-2区9基、8-2区42基、9区45基、10区・10-2区747基、11区6基である。これらのピットは、6区から11区の竪穴建物群のなかで全体に散在していたが、10-2区のみ多くのピットが集中して検出された。本報告書では、ピット平面図を1/160の割図12枚にして掲載した。特にピットが集中して検出された10-2区は1/100平面図を付図として掲載した。土層断面図はすべてのピットで記録していないが、記録できたピットについては掲載した。その他の多くのピットは断面形のみでの記録になったが、その断面図については今回の報告書からは割愛した。個々のピットの規模・形態・埋没土のパターン分類は巻末の遺構計測一覧表(P.227)にまとめた。また、実測したもの以外の出土遺物の状況は非実測遺物一覧表(P.282)にまとめた。各区のピットの調査状況は下記の通りである。

6区・6-2区では、比較的直径が大きく深いピットが検出されたが、掘立柱建物を構成する柱穴として把握

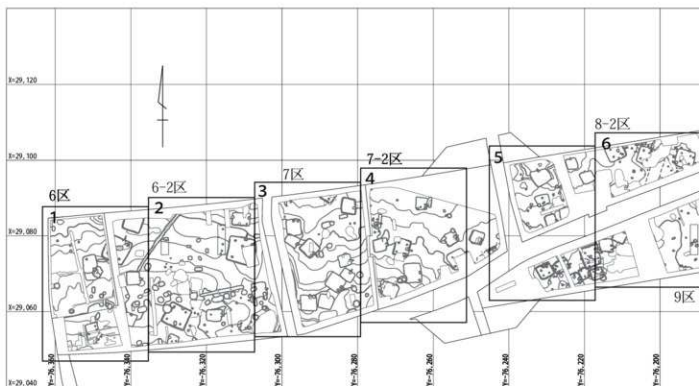
するのは困難であった。

7区・7-2区では検出されたピットは他の調査区より少なく、出土遺物もなかった。

8-2区および9区では竪穴建物群の周囲にピットが検出されたが、掘立柱建物を構成する柱穴として把握するのは困難であった。8-2区のピットからは土師器小片が出土した。9区の複数のピットからも土師器破片が出土したなかで、9区355号ピットからは完形に近い土師器杯(第175図2)が出土した。

10区のピットの分布は9区と変わらない状況であったが、10-2区にはピットが集中して検出された。10-2区にはピットの他に1号掘立柱建物や柱穴列、中世・近世の井戸があり、居宅等があった地点と推定される。

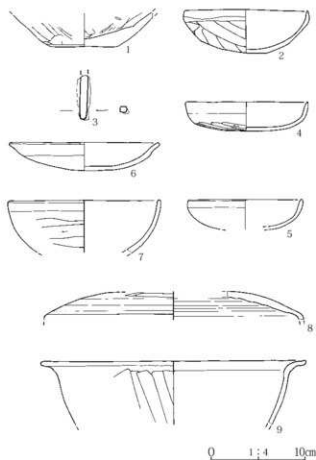
10-2区のピットは、平面形が方形のピットと円形のピットに分類することができた。方形ピットの埋没土は古墳時代の竪穴建物埋没土とは異なり、浅間B軽石・ローム小塊を含む黒褐色土であった。中世以降の所産の指標となる浅間B軽石を含有することから、方形ピットの時期を中世以降、さらに形状特性から中世後半から戦国期の所産と判断した。円形ピットの埋没土は古代の竪穴建物の埋没土・覆土と同様であり、基本土層IV層をベース



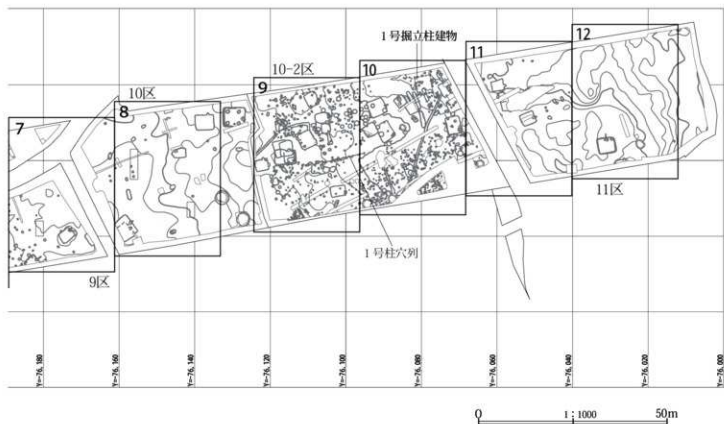
第174図 ピット全体図

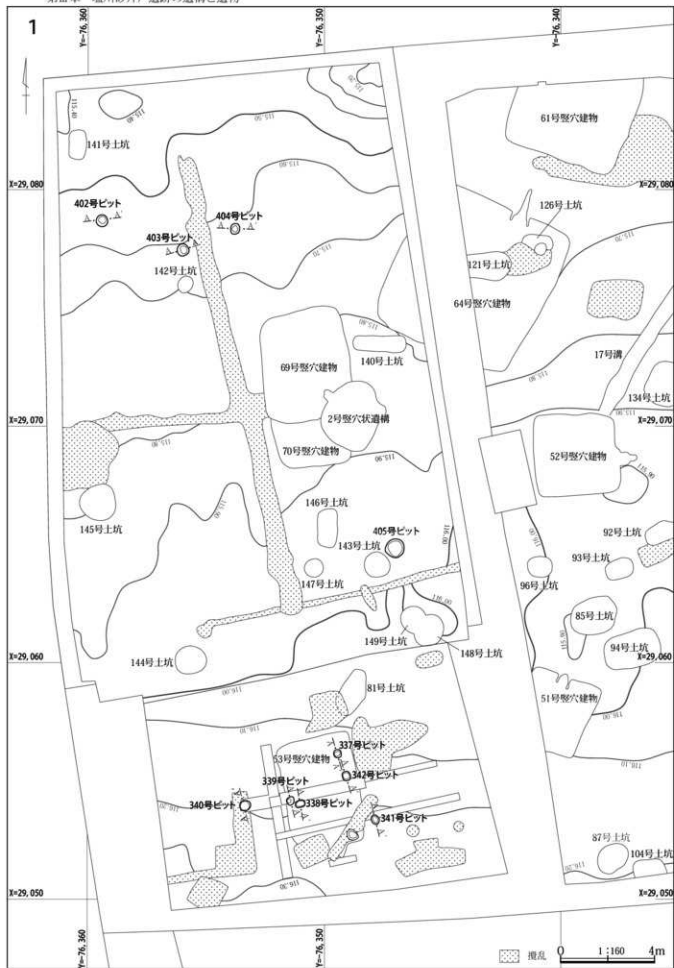
とする堆積土であった。このことから、後者の所産時期を古代と判断した。このように10-2区では中世・近世の建物遺構の存在が想定されたが、調査および報告書作成期間のなかでは検討することができなかった。今後の検討に備えて、10-2区のみ1/100平面図を付図として掲載することとした。

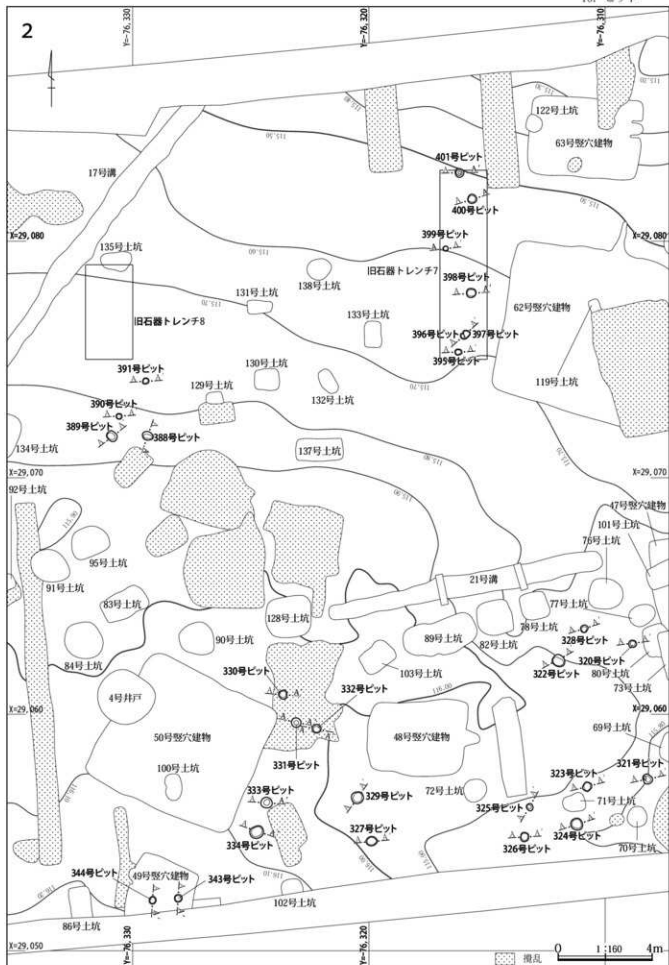
全体の出土遺物の状況は巻末の非掲載遺物一覧表に記載したが、ここでは9基のビット埋没土中から出土した土師器・須恵器9点を実測・掲載した。6-2区403号ビット土師器甕破片(第175図1)、8-2区1002号ビット鉄製釘(同図3)、9区355号ビット土師器杯(同図2)、10区347号ビット土師器杯(同図6)、10-2区440号ビット須恵器長頸壺(同図8)、10-2区618号ビット土師器鉢(同図9)、10-2区690号ビット土師器杯(同図4)、10-2区927号ビット土師器杯(同図5)、11区303号ビット土師器杯(同図7)である。ただし、これらがビットの時期を示すかどうかは不明である。周囲に古墳時代・古代の集落があることから、混入の可能性が高いであろう。中世・近世の出土遺物は小片が多く、実測・掲載しなかった。

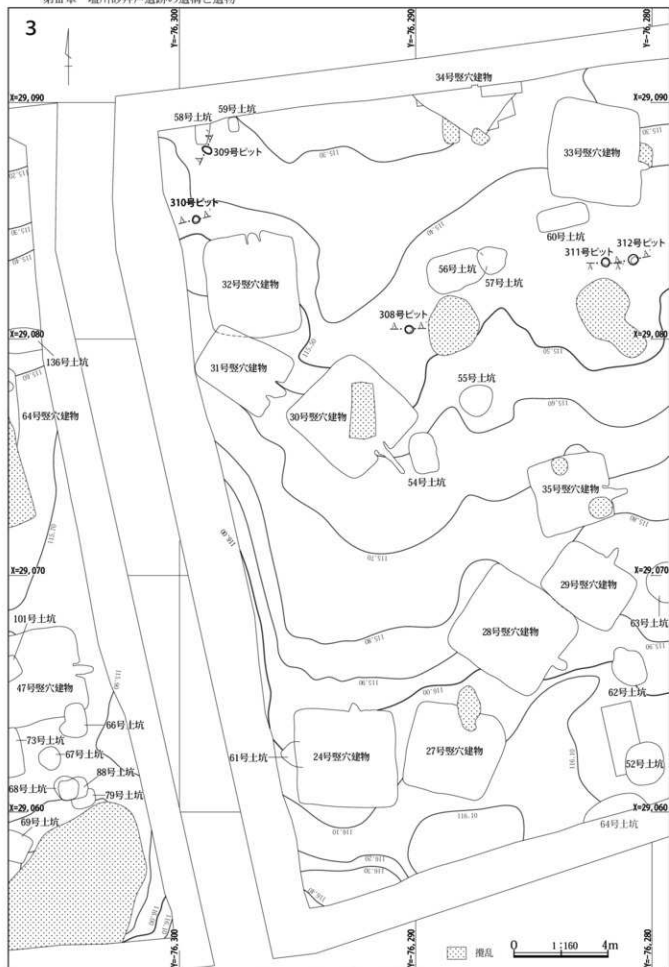


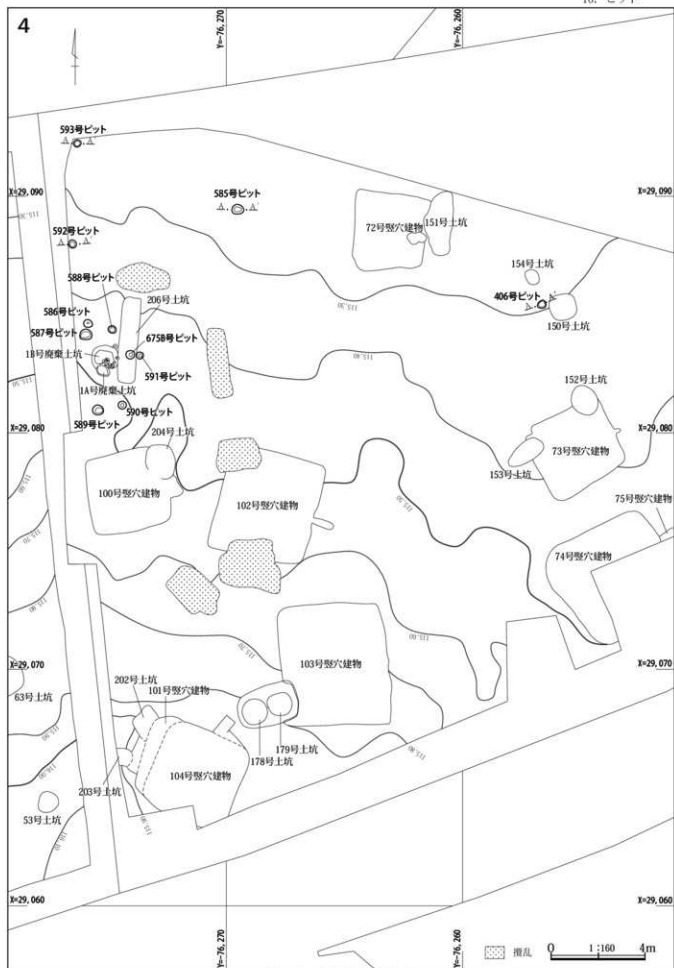
第175図 ビット出土遺物



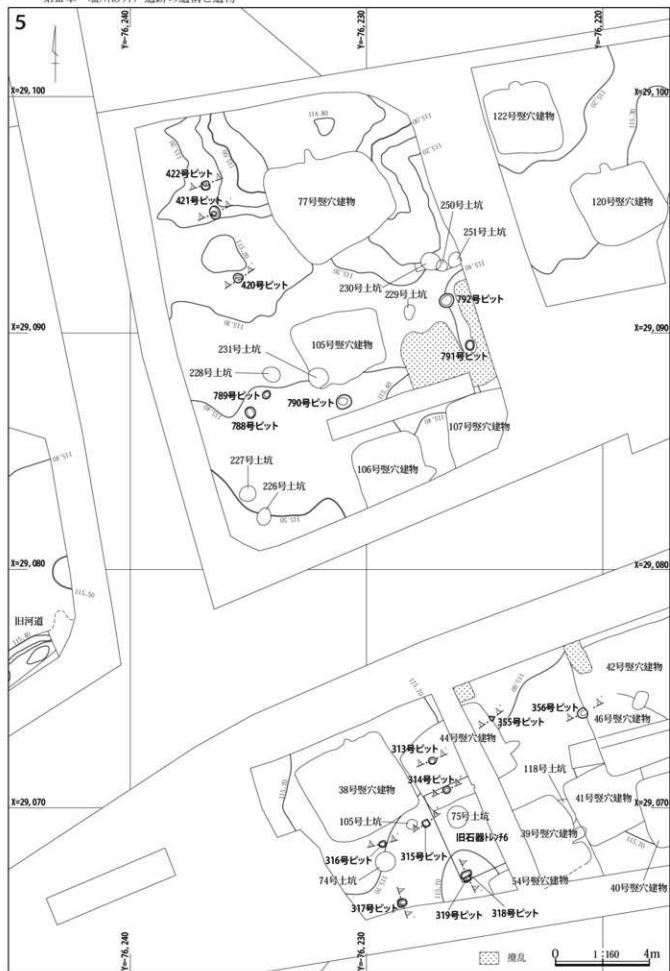


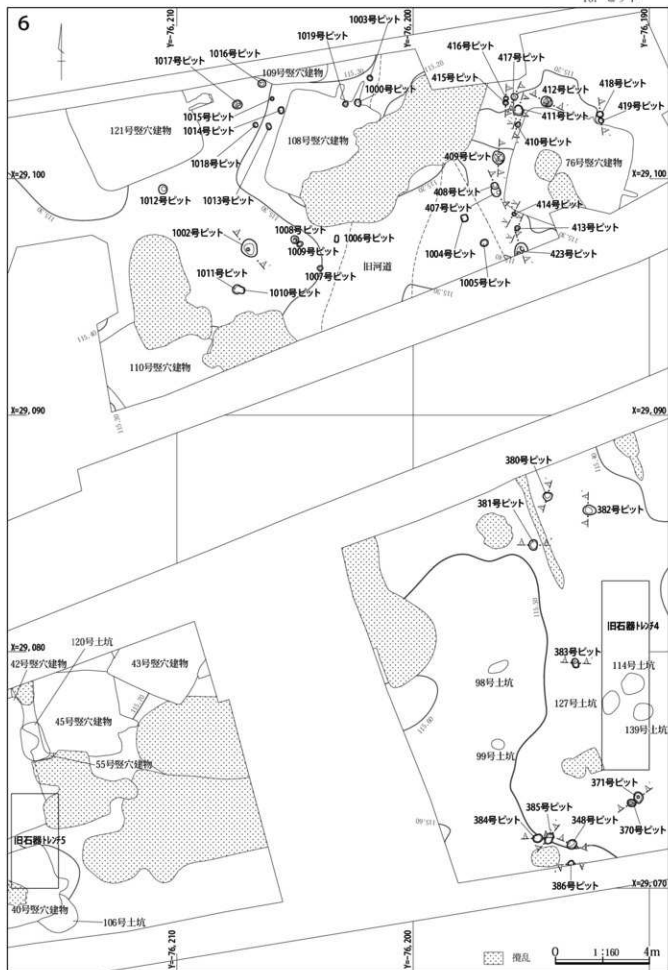




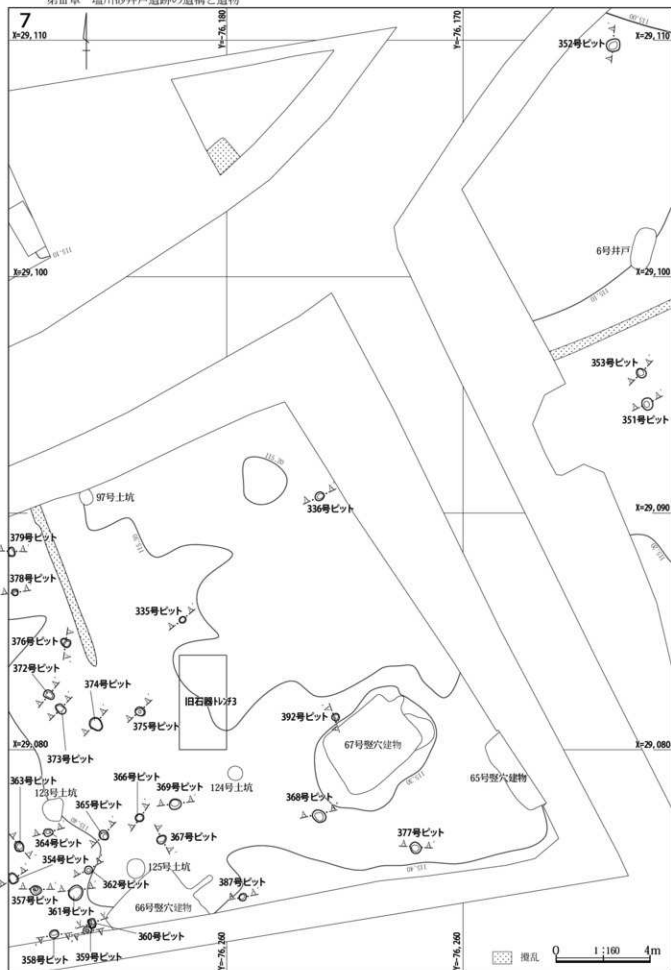


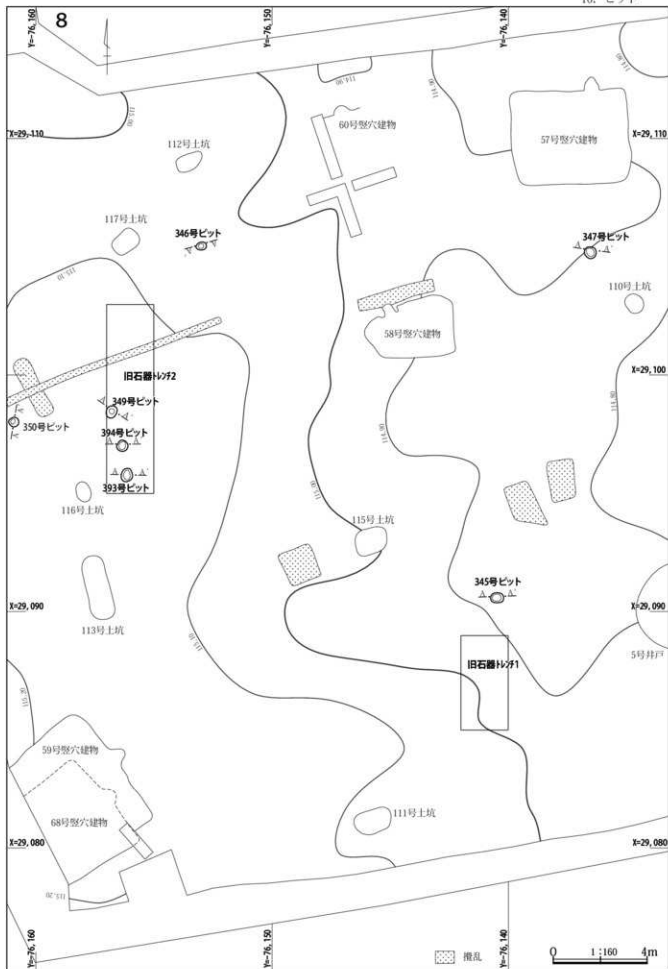
第179図 ビット位置図(4)



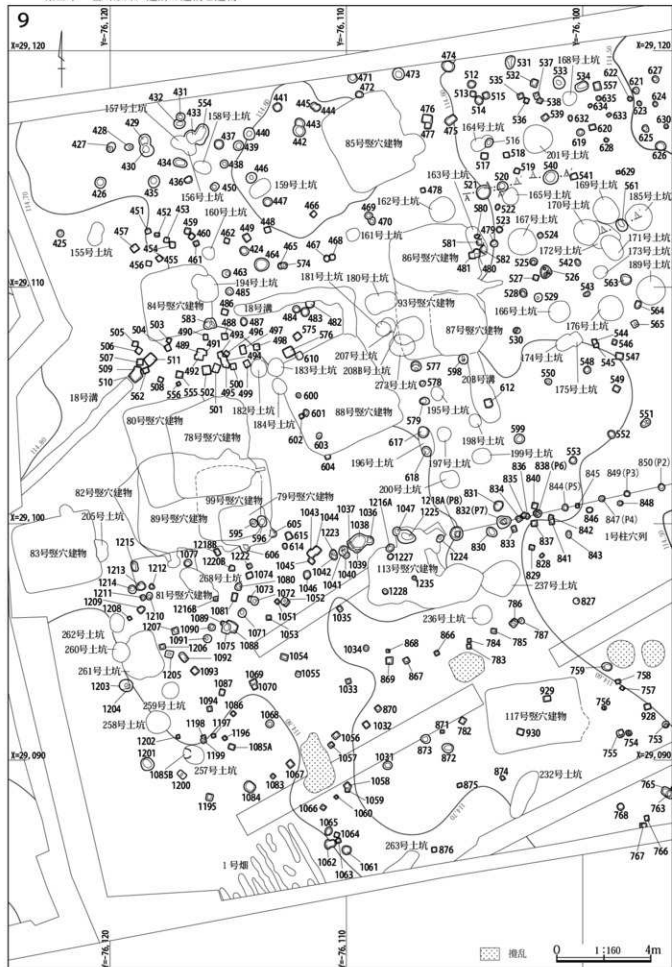


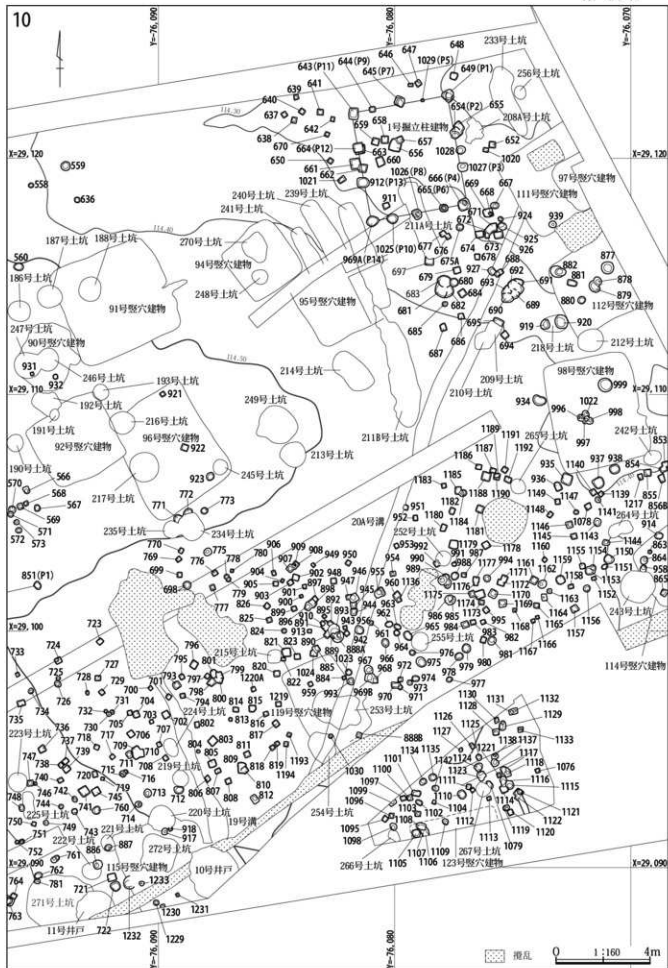
第181図 ビット位置図(6)



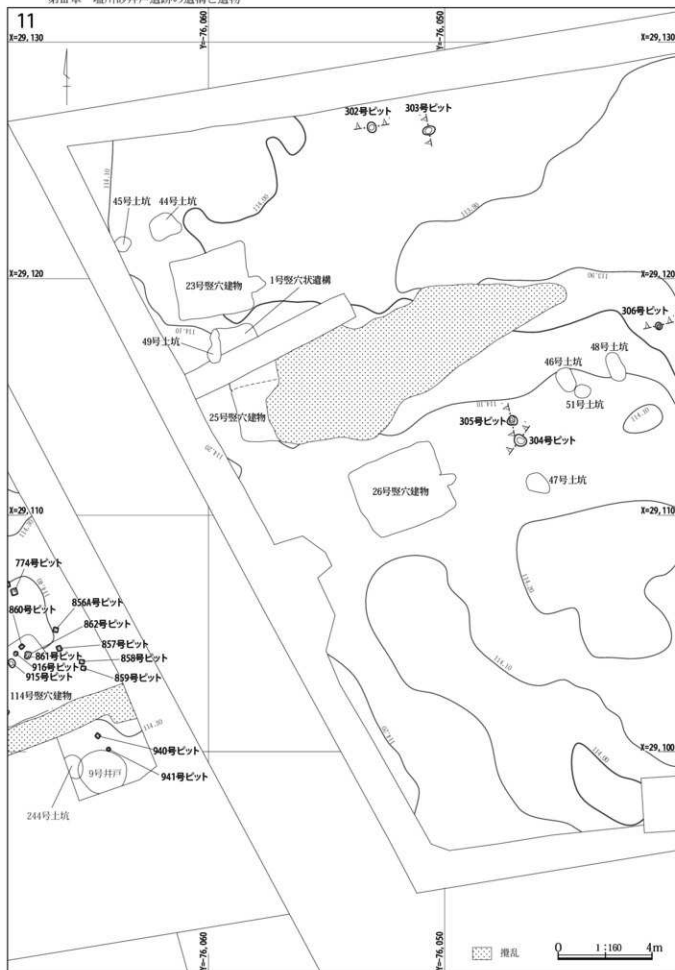


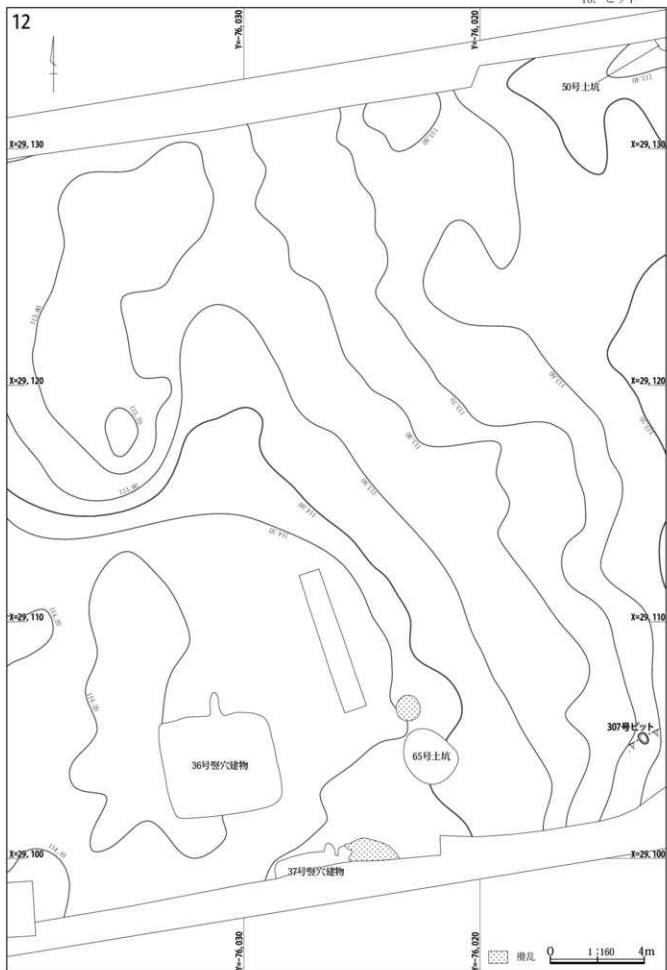
第183図 ビット位置図(8)





第185図 ビット位置図(10)





第187図 ビット位置図(12)

6区

320号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の炭化物と黄褐色ブロックを含む。

321号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の黄褐色粒と小礫を含む。
2. 黄褐色土 多量の黄褐色粒が混入。

322号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の黄褐色粒と小礫を含む。
2. 黄褐色土 多量の黄褐色粒が混入。

323号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の焼土粒と径の大きい黄褐色粒ブロックを含み、小礫を多量に含む。

324号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の焼土粒と径の大きい黄褐色粒ブロックが混入。

325号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の焼土粒と炭化粒を含む。
2. 黄褐色土 多量の黄褐色粒を含む。

326号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の焼土粒と炭化粒を含む。

327号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の黄褐色粒と小礫を含む。
2. 黄褐色土 多量の黄褐色粒が混入。

328号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の黄褐色粒と小礫を含む。

329号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の焼土粒と黄褐色色粒を含む。長辺30cmくらいの扁平石有り。

330号ピット

\overline{A} , L=116.100m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の礫と焼土粒・炭化粒を含む。

331号ピット

\overline{A} , L=116.100m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 暗赤褐色粒と黄褐色色粒が混入。

332号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の焼土粒と黄褐色色粒を含む。
2. 暗黄褐色土 多量の黄褐色粒を含む。

333号ピット

\overline{A} , L=116.100m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 小礫と黄褐色色粒ブロックが混入。

334号ピット

\overline{A} , L=116.300m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 小礫と少量の黄褐色色粒ブロックを含む。

337号ピット

\overline{A} , L=116.200m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 礫と黄褐色色粒が混入、ごく少量の炭化粒有り。

338号ピット

\overline{A} , L=116.200m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 礫と黄褐色色粒が混入、ごく少量の炭化粒有り。

339号ピット

\overline{A} , L=116.200m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 礫と黄褐色色粒が混入、ごく少量の炭化粒有り。

340号ピット

\overline{A} , L=116.200m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 軽石粒多く混入(耕作跡)。
2. 暗褐色土 黄褐色色粒少量混入。

341号ピット

\overline{A} , L=116.200m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 礫と黄褐色色粒が混入、ごく少量の炭化粒有り。

342号ピット

\overline{A} , L=116.200m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 礫と黄褐色色粒が混入、ごく少量の炭化粒有り。

343号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 軽石粒を含む。

344号ピット

\overline{A} , L=116.000m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 軽石粒を含む。

388号ピット

\overline{A} , L=115.900m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の礫と黄褐色色粒を含み、軽石粒多量でザラザラ感有り。

389号ピット

\overline{A} , L=115.900m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 暗赤褐色粒と黄褐色色粒を多く含み、極少量の炭化粒を含む。

390号ピット

\overline{A} , L=115.900m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 暗赤褐色粒と黄褐色色粒を多く含む。

391号ピット

\overline{A} , L=115.800m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 小礫と黄褐色色粒を多く含む。

395号ピット

\overline{A} , L=115.700m, \overline{A}'



1. 暗褐色土 多量の黄褐色色粒と極少量の炭化粒を含む。

396・397号ピット

\overline{A} , L=115.700m, \overline{A}'



- 396号ピット 397号ピット
1. 暗褐色土 少量の黄褐色色粒と炭化粒を含む。
- 397号ピット
1. 暗黄褐色土 多量の黄褐色色粒・ブロックを含む。

398号ピット

\overline{A} , L=115.700m, \overline{A}'



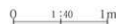
1. 暗褐色土 少量の礫・炭化粒と黄褐色色粒を含む。

399号ピット

L=115.700m, \overline{A} , \overline{A}'



1. 暗褐色土 少量の黄褐色色粒と炭化粒を含む。396号ピットに近い。



第188図 ピット土層断面図(1)

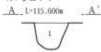
6区

400号ビット



1. 暗褐色上 少量の礫・炭化粒と黄褐色粒を含む。

401号ビット



1. 暗褐色上 少量の礫・炭化粒と黄褐色粒・ブロックを含む。

6-2区

402号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/1) 礫多量・細礫多量。

403号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/1) 礫多量・細礫多量。
2. 黒褐色上(10YR3/1) 礫含有。

404号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/1) 礫多量・細礫多量。

7区

308号ビット



1. 暗褐色上 暗赤褐色上と黄褐色粒を多く含む。
2. 暗褐色上 黄褐色粒を多く含む。

309号ビット



1. 暗褐色上 暗赤褐色粒を多く含む。

310号ビット



1. 暗褐色上 暗赤褐色粒を多く含む。

311号ビット



1. 暗褐色上 暗褐色上と黄褐色粒を多く含む。
2. 暗褐色上 暗赤褐色粒を多く含む。

312号ビット



1. 暗褐色上 暗赤褐色粒を多く含む。

7-2区

406号ビット



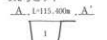
1. 褐色上(7.5YR4/1) 礫含有。

585号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/1) 小塊状ローム多量、礫なし。

592号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/1) 小塊状ローム多量、礫なし。

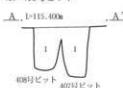
593号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/1) 小塊状ローム多量、礫なし。

8-2区

407-408号ビット



407号ビット 408号ビット

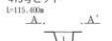
- 407号ビット
1. 黒褐色上(10YR3/2) 礫微量・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)上含有。

- 408号ビット
1. 黒褐色上(10YR3/2) 礫微量・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)上少量。

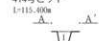
409号ビット



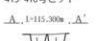
413号ビット



414号ビット



411号ビット

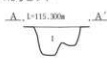


416号ビット 415号ビット



- 409～419号ビット
1. 黒褐色上(10YR3/2) 礫微量・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)上含有。

412号ビット



420号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/2) 細礫若干・粒状炭化物含有。

421号ビット



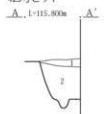
1. 黒褐色上(10YR3/1) 礫極微量。
2. 黒褐色上(10YR3/1) 5mm φ～15mm φ砂礫多量。
3. 黒褐色上(10YR3/2) 礫極微量。

422号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/2) 礫含有。

423号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/2) 礫若干。
2. 黒褐色上(10YR3/1) 礫若干・塊状明黄褐色(2.5Y6/6)上含有。

1002号ビット



1. 黒褐色上(10YR3/2) 塊状ローム土混入。

0 1:40 1m

第189図 ビット土層断面図(2)

9区

313号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/4) 10mmφ以下の礫を少量含む。やや砂質で締まりのある上。

314号ピット



1. 褐色土(10YR3/3) 10mmφ以下の礫を少量と70mmφの礫を含む。やや砂質で締まりのある上。

315号ピット



1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂質の黄褐色土ブロック(地山)と小礫を含む締まりのある上。

316号ピット



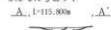
1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂質の黄褐色土ブロック(地山)と小礫を含む締まりのある上。

317号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色シルトブロックが少量含む。締まりのある上。

318-319号ピット



318号ピット

319号ピット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂質の黄褐色土ブロック(地山)と小礫を含む締まりのある上。319号ピットを切る。

319号ピット

1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂質の黄褐色土ブロック(地山)とロームブロック及び小礫を含む締まりのある上。318号ピットに切られる。

335号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量。明黄褐色(ローム)をブロック状に含む。

336号ピット



1. 暗褐色土。礫と黄褐色粒が混入。ごく少量の炭化粒有り。

348号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック・ローム粒を20%程度含むシルト質上。内部から上層片の出上がある。

354号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを20%程度含むシルト質上。

355号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質上。礫20mm以下が少量混入する。締まりのある上。底面に土器がある



356号ピット



1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 30mmφ以下の礫と、ロームブロックが少量混入。締まり有り。
2. 暗褐色土(10YR3/4) シルト質上。やや粘質上。

357号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック・焼土粒・炭化物を少量含む。締まりのある。やや粘質上。

358号ピット



1. 黒褐色土(10YR2/3) シルトブロック・ロームブロックを少量含む。やや粘質上。

359号ピット



1. 黒褐色土(10YR2/3) シルトブロック・ロームブロックを少量含む。やや粘質上。

360号ピット



1. 黒褐色土(10YR2/3) シルトブロック・ロームブロックを少量含む。やや粘質上。

361号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック・焼土粒・炭化物を極少量含む。締まりのあるやや粘質上。

362号ピット



1. 褐色シルト質土(10YR4/4) 100~20mmφの角礫を含む。締まりのある上。

363号ピット



1. 褐色シルト質土(10YR3/4) 20mmφ以下の礫を少量含む。締まりのある上。

364号ピット



1. 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色土粒を極少量と30mm以下の角礫を少量含む。締まりのある上。

365号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを40%井戸含む。上には円礫を少量含む締まりのある上。

366号ピット



1. 黒褐色土(10YR3/2) 焼土粒・炭化物粒を少量含む。やや粘質のある上。5~10mmφの礫が所々に入る。

367号ピット



1. 褐色シルト質土(10YR4/4) 上位に炭化物と焼土粒が入る。

368号ピット



1. (10YR2/3)黒褐色砂質土。10mmφ程度のロームブロックと円礫を3%に100mmφの礫が少量入る。締まりのある上。

369号ピット



1. 褐色シルト質土(10YR4/4) 上位に5~20mmφが入る。全体にロームブロックが30%程度入る。締まりのある上。

370-371号ピット



1. 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを20%程度含むシルト質上。

372号ピット



1. 褐色シルト質土(10YR4/6) ローム粒を多く含む。締まりのある上。

373号ピット



1. 暗褐色シルト土(10YR3/3) 白色鉱物粒・ローム粒・焼土粒を含む。

374号ピット



1. 褐色土(10YR4/4) ロームブロック60%程度と僅かに小礫を含む。締まりのある上。



第190図 ピット土層断面図(3)

9区

375号ビット

A, l=115.500m, A'



1. 褐色土(10YR4/4) 白色鉱物粒を少量含む。やや粘性があり、締まりのある上。

376号ビット

A, l=115.500m, A'



1. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) 焼土粒・ロームブロックを含む。締まりのある上。

377号ビット

A, l=115.600m, A'



1. 黒褐色砂質土(10YR3/2) 5~30mmφの円礫を10%程度含む。

378号ビット

l=115.500m, A, A'



1. 褐色土(10YR4/4) 白色鉱物粒を少量含む。やや粘性があり、締まりのある上。

379号ビット

l=115.500m, A, A'



1. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) 焼土粒・ロームブロックを含む。締まりのある上。

380号ビット

A, l=115.500m, A'



1. 暗褐色シルト質土(10YR3/3) 焼土粒・ロームブロックを含む。締まりのある上。

381号ビット

A, l=115.600m, A'



1. 黒褐色土(10YR2/2) 5mmφの小礫を10%程度含む。締まりのある上。
2. 褐色シルト質土(10YR4/4) 小礫を少量含む。

382号ビット

A, l=115.500m, A'



1. 黒褐色土(10YR2/2) 小礫を1含む。下位はやや黄褐色シルト質土になる。締まりのある上。

383号ビット

l=115.500m, A, A'



1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色鉱物粒を少量含む。
2. 褐色土(10YR3/4) やや粘性のある上。

384号ビット

A, l=115.600m, A'



1. 褐色土(10YR4/6) ローム粒を多く、赤褐色粒を少量含む。硬く締まりのある上。

385号ビット

A, l=115.600m, A'



1. 褐色土(10YR4/4) ロームブロックを20%程度含む。締まりのある上。

386号ビット

l=115.600m, A, A'



1. 暗褐色土(10YR3/3) シルト質。

387号ビット

l=115.600m, A, A'



1. 灰黄褐色土(10YR4/2) 砂質で締まりのある上。

392号ビット

l=115.600m, A, A'



1. にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂質で50mmφの円礫を含む。

10区

345号ビット

A, l=114.900m, A'



346号ビット

A, l=115.100m, A'



347号ビット

A, l=115.000m, A'



350号ビット

A, l=115.200m, A'



349号ビット

A, l=115.200m, A'



351号ビット

A, l=115.200m, A'



352号ビット

A, l=115.100m, A'



353号ビット

A, l=115.200m, A'



- 345~347・349~353号ビット
1. 黒褐色土(10YR3/2) 白色粒を若干。垂円礫を多量に含む。垂円礫は直径10cm未満主体。

393号ビット

A, l=115.200m, A'



1. 黒褐色土(10YR3/2) 白色粒、小礫を多く含む。ややしまりあり。

394号ビット

A, l=115.200m, A'



1. 黒褐色土(10YR3/2) 白色粒、小礫を多く含む。ややしまりあり。

10-2区

520号ビット

A, l=114.800m, A'



1. 褐色土(10YR3/2) 礫50mmφ~70mmφ含有。

521号ビット

A, l=114.700m, A'



1. 黒褐色土(7.5YR3/2) 礫微量・塊状ローム土含有。

540号ビット

A, l=114.600m, A'



1. 黒褐色土(10YR3/1)・黒褐色土(7.5YR3/1)の混土・礫少量。

561号ビット

A, l=114.600m, A'



1. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫微量・塊状ローム土混入。
2. 黒褐色土(7.5YR3/1) 礫微量・塊状ローム土多量。

11区

302号ビット

A, l=114.100m, A'



303号ビット

A, l=114.100m, A'



304号ビット

A, l=114.200m, A'



305号ビット

A, l=114.200m, A'



306号ビット

l=114.100m, A, A'



307号ビット

A, l=113.300m, A'



302~307号ビット

1. 暗褐色土(10YR3/3) 白色粒を少量、礫を多量に含む(礫は直径5cm以下)、黄色ロームブロックを少量含む。

0 1:40 1m

第191図 ビット土層断面図(4)

11. 畑

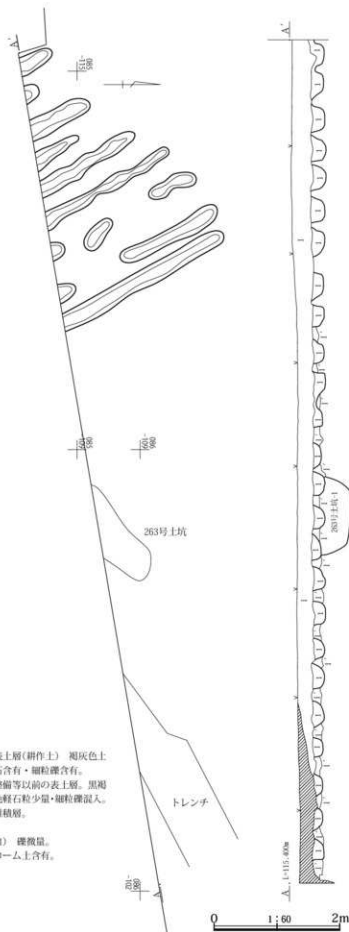
(第192図 PL.59)

10-2区の中央やや東の調査区南壁付近で、畑の畝間溝が9条検出された。確認面は、表土(1層)を取り除いた面で、耕作面は削平されて残っていなかった。耕作土は1'層である。検出された畝間溝は西寄りの9条であったが、土層断面の精査によって、さらに東側Y=-76,102ラインまで広がっていたことが判明した。畝間溝の内部は浅間A軽石の一次堆積層で埋まっており、軽石降下時には一定の広さの畑地が広がっていたことが推定される。出土遺物は溝埋没土中から土師器破片7点が出土しているが、いずれも本畑の時期のものではなかった。なお、263号土坑は1'層堆積より古い時期の土坑である。

畝間溝の規模は確認面での計測で、幅0.13~0.34m、深さ最大5cmであった。深さは断面で計測すると0.18~0.22mであった。畝間溝の心芯間の距離は0.32~0.43mで、一部に0.70mのところもあった。畝間溝の間隔は確認面の計測で0.08~0.32mで、かなり狭い部分もあった。

浅間A軽石で覆われたはずの畝は削平されており未検出であるが、畝間溝の間隔からすると畝の幅はかなり細くなる。これはこの畑で育てられていた作物が、かなり狭い畝でつくられる作物であることを想定させる。

- 1 宅地造成以前の表土層(耕作土) 褐色土(5YR4/1)白色軽石含有・細粒礫含有。
- 1' 旧表土層。耕地整備等以前の表土層。黒褐色土(5YR3/1)白色軽石少量・細粒礫混入。
- 1. 浅間A軽石一次堆積層。
- 263号土坑
- 1. 黒褐色土(10YR3/1) 礫微量。細礫含有・塊状ローム上含有。



第192図 10-2区1号畑

12. 復旧痕

(第193～195図 PL.59・60・83・84 遺物観察表P.280)

7区西半分では、全体の削平が他の調査区より浅かったために、浅間A軽石の堆積が南西部を除く範囲に残存していた。軽石層直下面での遺構の検出はなかったが、浅間A軽石を埋め込み、耕地を復旧する目的で掘られた復旧坑および復旧溝が掘られていた。定型的なものとして記録されたのは、1～9号の復旧坑と、北西端に並行して掘られた復旧溝(16号溝)である。1号・4号・5号は短い溝状、2号は円形、3号は平行四辺形、5号は方形、7号は楕円形、8号は不定形、9号は長方形で、16号溝は溝状である。

各復旧坑の規模は下記の通りである。

- 1号 長軸0.84m 短径0.42m 深さ0.09m
 2号 長径1.16m 短径0.96m 深さ0.73m
 3号 長辺1.60m 短径0.96m 深さ0.59m
 4号 長径1.40m 短径0.60m 深さ0.27m
 5号 長軸1.36m 短軸1.34m 深さ0.76m
 6号 長径1.08m 短径0.38m 深さ0.21m
 7号 長軸1.80m以上 短軸1.32m 深さ0.49m
 8号 幅2.2m 延長5.60m 深さ0.06m

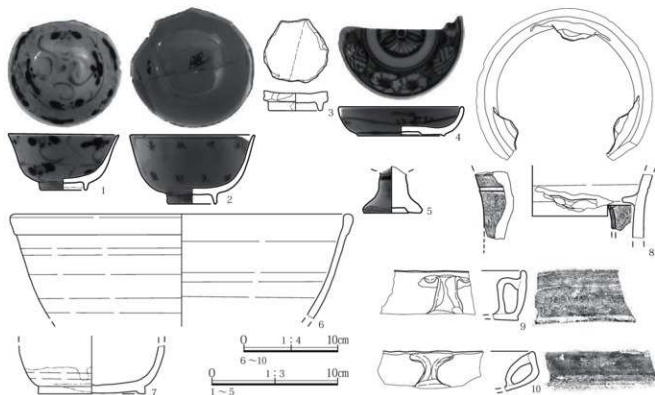
9号 長軸1.68m 短軸1.10m 深さ0.69m

16号溝 幅1.1m以上 延長6m以上 深さ0.21m

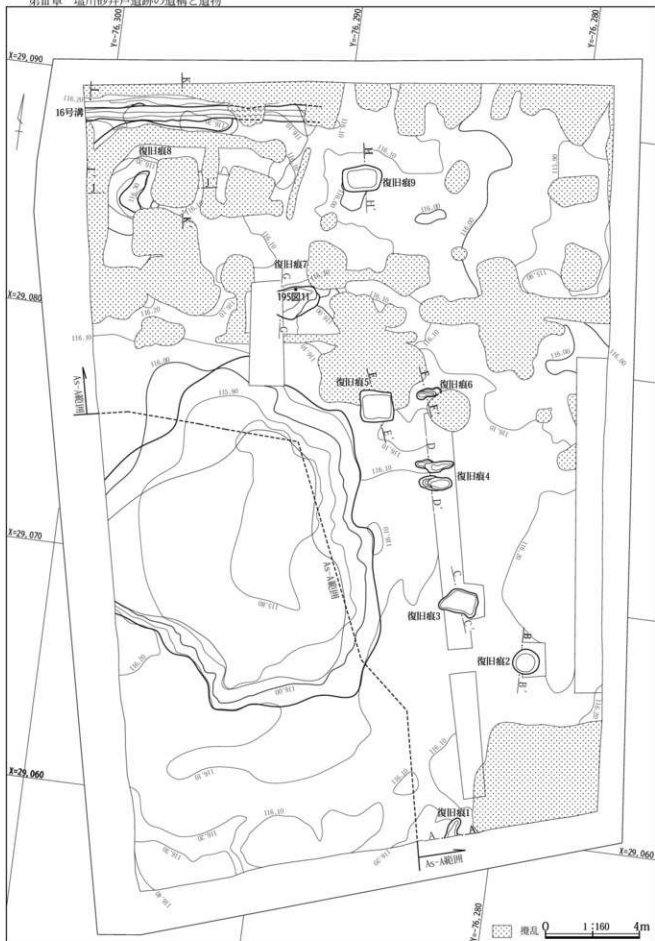
長軸方位は3号長辺がN-81°-W、4号がN-82°-E、5号がN-84°-E、6号がN-71°-E、9号がN-80°-E、16号溝の走向がN-82°-Eでほぼ共通しており、地割等の規制の中で掘られたものと考えられる。

埋没土は浅間A軽石層と、小礫と浅間A軽石を含む暗褐色土の混土が上下逆転して埋まっており、軽石降下後の掘削と判断できた。復旧坑の掘削は隣接するものがあるが、16号溝を掘ってから8号復旧坑が掘られていたことが土層断面からわかっている。16号溝は既存の溝だった可能性もある。

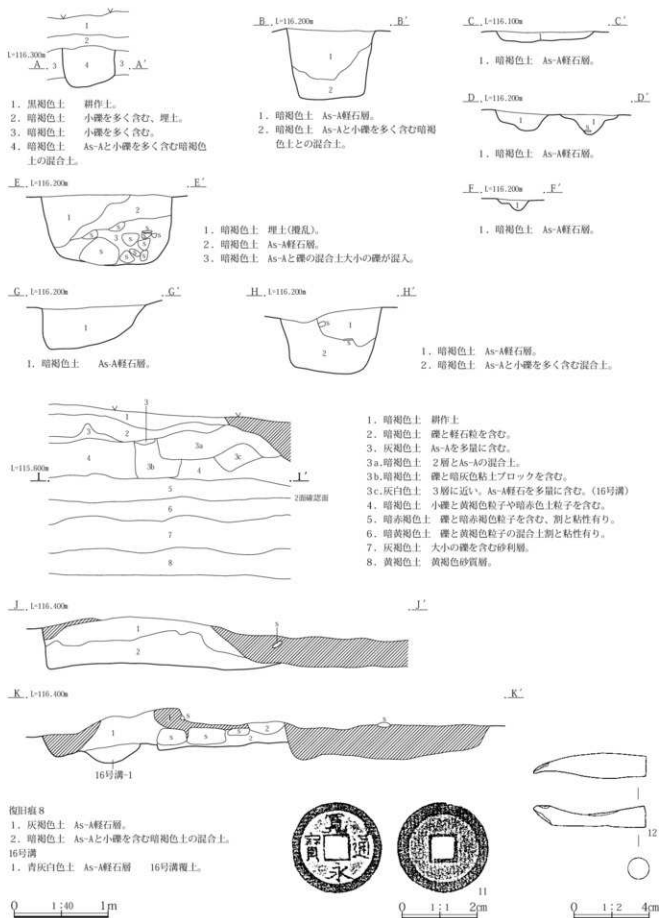
出土遺物は埋没土内に混入していた土器等があり、肥前磁器仏飯器(第193図5)、瀬戸・美濃陶器掛分碗(同図3)、瀬戸・美濃陶器練鉢か(同図6)、瀬戸・美濃陶器徳利(同図7)、在地系土器焙烙(同図9)、瀬戸・美濃磁器染付小碗(同図1)、製作地不詳磁器染付碗(同図2)、肥前磁器染付皿(同図4)、在地系土器焙烙か(同図8)、在地系土器焙烙(同図10)、銅製品キセル(第195図12)、寛永通寶(同図11)の12点を選択して実測・掲載した。



第193図 7区復旧痕出土遺物



第194図 7区復旧痕



第195図 7区復旧痕土層断面と出土遺物

13. 遺構外の出土遺物

(第196図 PL.84 遺物観察表P.280・281)

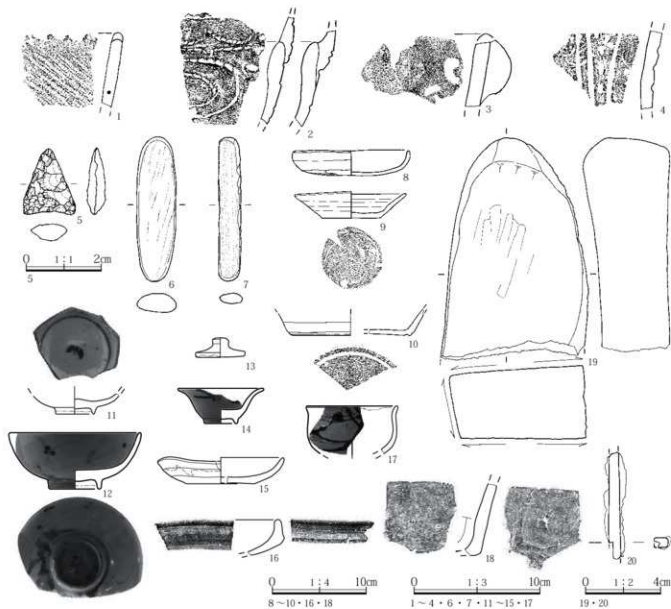
塩川砂井戸遺跡では、遺構に伴わない形で多くの遺物が出土した。その内訳は巻末の一覧表(P.282)の通りである。

縄文土器は表の通り7点が出土したが、縄文時代の遺構はなかったことから、うち4点(第196図1~4)を遺構外出土遺物としてここで掲載した。また、7-2区103号竪穴建物埋没土中から二次加工ある剥片や石鏃(同図5)、棒状礫(同図6・7)が出土した。ほかに9区38号・39号竪穴建物埋没土中から二次加工ある剥片、遺構確認作業時に石核が出土したのみである。

本遺跡は古墳時代から平安時代の竪穴建物を中心の遺跡であることから、多くの土師器・須恵器が遺構確認作業時に出土した。ここでは8-2区表土出土の土師器杯(同図8)、9区攪乱出土の須恵器杯(同図9)、10区表土出土の須恵器高台付杯(同図10)を図示した。

特に7区では浅間A軽石の降下層準下の中世・近世の土層が残されていたことから、陶磁器類や在地系土器が多く出土した。ここでは、7区の肥前磁器2点(同図12・14)、萩焼陶器1点(同図17)、瀬戸・美濃陶器1点(同図11)、製作地不詳蓋・灯火皿(同図13・15)、在地系土器焙烙1点(同図16)、牛伏砂岩の砥石(同図19)、10-2区表土出土のすり鉢と推定される土器(同図18)を図示した。

また同図17は萩陶器小碗の破片で、希少な資料である。



第196図 遺構外出土遺物

第IV章 池石田遺跡の遺構

1. 調査の方法

池石田遺跡は試掘調査の結果、浅間Bテフラ堆積層準の下層より溝跡が検出されたことから、県文化財保護課により立ち合い調査が実施された。

平成29年6月27～28日の立ち合い調査では、バックフォーで調査範囲を掘り広げて溝2条を検出し、人力で溝内を掘り下げた。遺物は出土しなかった。東西端と中央部で遺構埋没土層断面を記録した。また全景写真を撮影し、国家座標に基づいて遺構測量を実施した。

さらに東方への溝の延長の有無を確認するために、同年10月17日に再度立ち合い調査を実施した。バックフォーの幅で2本のトレンチを設定し、当該層位まで掘り下げた。トレンチ位置の略測と写真撮影を実施した。

2. 溝

池石田遺跡では、平行する溝2条を検出した。南側を1号溝、北側を2号溝とした。

1号溝(第197図 PL.85)

グリッド 131～141・-812～-827

重複 なし。 調査長 18.0m

上幅最大～最小 1.06m～0.56m 残存深 0.67m

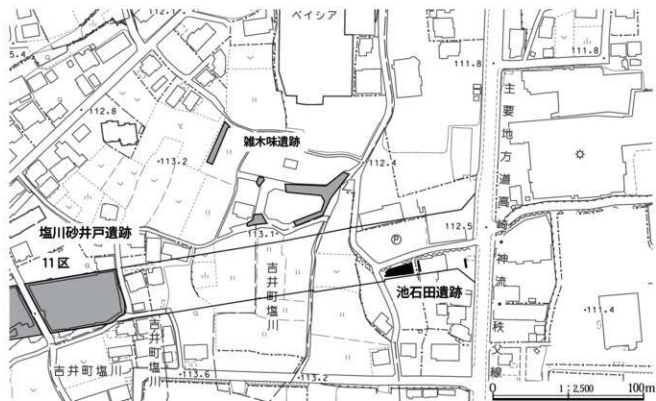
走向方位 N-77°-E(東西端を結んだ線)

形状 平面形はごく緩やかに蛇行するが、ほぼ直線的な東西方向の溝である。南から北へ傾斜する地形の等高線に平行する。断面形は逆台形、注意に段があり底面は狭くなっている。底面は平坦で、西端と東端の比高は0.04mで西端がわずかに高い。

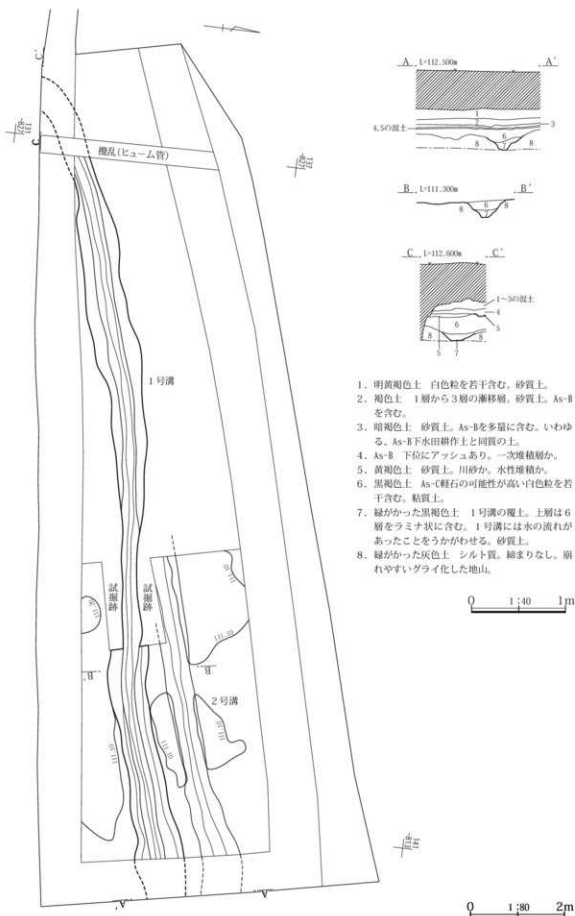
埋没土 上層は浅間C軽石の可能性ある白色軽石を含む黒褐色粘質土、下層は上位にラミナ堆積がみられる緑色がかかった黒褐色砂質土で埋まっていた。水流があったことを示唆する。

遺物 遺物は出土しなかった。

所見 確認面が浅間B軽石層より古いことから、中世以前の溝と考えられる。浅間C軽石と思われる白色軽石を



第197図 池石田遺跡 立ち合い調査区位置図



1. 明黄褐色土 白色粒を若干含む。砂質土。
2. 褐色土 1層から3層の漸移層。砂質土。As-Bを含む。
3. 暗褐色土 砂質土。As-Bを多量に含む。いわゆる、As-B下水田耕作土と同質の上。
4. As-B 下位にアッシュあり。一次堆積層か。
5. 黄褐色土 砂質土。川砂か。水性堆積か。
6. 黒褐色土 As-C軽石の可能性が高い白色粒を若干含む。粘質土。
7. 緑がかった黒褐色土 1号溝の覆土。上層は6層をラミナ状に含む。1号溝には水の漬れがあったことをうかがわせる。砂質土。
8. 緑がかった灰色土 シルト質。締まりなし。崩れやすいグライ化した地山。

第198図 池石田遺跡 1・2号溝

含む黒褐色土で埋まっていることから、古墳時代から古代の遺構である可能性は高いが、遺物が出土しなかったことから、時期を断定できなかった。

2号溝(第198図 PL.85)

グリッド 135～138・-812～-819

重複 なし。 調査長 5.3m

上幅最大～最小 0.80m～0.50m 残存深 0.07m

走向方位 N-72°-E(東西端を結んだ線)

形状 1号溝の東半部に平行する。ほぼ直線的な東西方向の溝である。断面形は浅い緩やかな凹地状。底面は平坦で、西端と東端の比高は0.04mで、西端がわずかに高い。

埋没土 1号溝の上層を覆っていた浅間C軽石の可能性のある白色軽石を含む黒褐色粘質土で直接埋まっていた。砂質土の堆積はなかった。

遺物 遺物は出土しなかった。

所見 1号溝と同様の土で埋まっていることから、同時に存在した平行する凹地と推定される。遺物が出土しなかったことから、時期を断定できなかった。

■ 1号溝の延長確認調査

1号溝の東方への延長を確認するために、トレンチ調査を実施した。溝の確認面である8層上面が地盤の傾斜によって下がっている可能性があった。安全を確保しながらの重機作業によるトレンチ調査では土層の確認と掘削深に限界もあった。

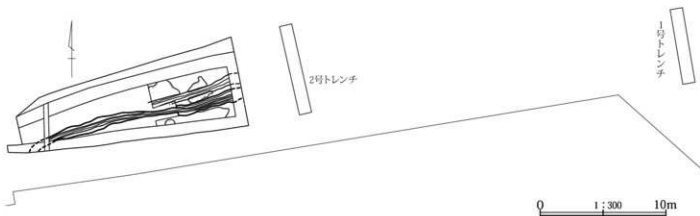
調査の結果、2号トレンチの中央部分の8層上面で黒色土の帯状堆積がみられた。この堆積厚は薄く1号溝のような掘り込みはなかったことから、1号溝の東方への延長は確認できないと判断した。



1. 池石田遺跡1号トレンチ(南から)



2. 池石田遺跡2号トレンチ(東から)



第199図 池石田遺跡 調査区・トレンチ位置図

第V章 総括

1. 塩川砂井戸遺跡の集落変遷について

塩川砂井戸遺跡では、古墳時代後期から古代の竪穴建物99棟が検出された。本地域のこの時期の集落の一部分が調査されたことになる。本報告では詳細な土器編年をおこなっていないが、竪穴建物出土土器からその時期を推定し所見として記載した。それに基づいて竪穴建物の分布を検討すると、古墳時代6世紀後半の竪穴建物は6区から10区にかけて散在していたのに対して、8世紀には竪穴建物群の分布が10-2区に偏在することが確認された。このことは、多胡郡正倉跡から西800mにある本遺跡が、711年の多胡郡建部に伴う地域の動きを直接的にみせている可能性がある。

調査で判明した調査区内での竪穴建物群の変遷をまとめると次のようになる。

古墳時代 6区・6-2区では古墳時代6世紀後半の竪穴建物7棟と7世紀の竪穴建物1棟が分布しており、そのうち6区の3棟は大型竪穴で集落の中核をなしていたと推定される。平成25年度に発掘された塩川砂井戸遺跡1区～5区では、西半部の1区に古墳時代の竪穴建物、2区に平安時代の竪穴建物が集中して検出されており、集落古地の移動が確認されている。東半部の3区～5区にかけては古墳時代の遺構はなく、さらに5区から6区の間には試掘調査によって70mほど遺構がないと判断された部分がある。したがって、6区以東の古墳時代の集落は西側で途切れていたと推定される。

6区で大型竪穴建物群を二分するような位置にある17号溝が検出されている。大型竪穴建物と同時期の直線の溝であり、集落域を区分する溝と考えられる。本溝の走向は竪穴建物の長軸と一致している。小型・中型の竪穴建物も近接しており、渋川市黒井峯遺跡のHr-FP下集落の遺構分布を想定すれば、大型竪穴建物と小型・中型の竪穴建物が併存して集落を構成していたと考えられる。

7区・7-2区は古墳時代6世紀後半の竪穴建物10棟、7世紀の竪穴建物が7棟検出された。重複はないが7世紀の竪穴建物には近接するところがあり、やや密集した分布を示している。建て替えも含め、この時期の集落が

継続していたことがわかる。

8-2区では6世紀後半の竪穴建物が8棟、7世紀の竪穴建物が1棟検出された。全体に重複もなく散在していた。集落がこの地点で継続していたことを示している。

9区では6世紀後半の竪穴建物が7棟、7世紀の竪穴建物が4棟検出された。一辺3.5～4.0mの小型竪穴が多く、西半部の遺構重複が著しかった。ここでも古墳時代の集落の継続が確認された。

10区・10-2区では6世紀後半の竪穴建物が4棟、7世紀の竪穴建物が8棟検出された。ここでも古墳時代の集落の継続が確認されたが、広い発掘区の中で全体に散在していること、6世紀後半の竪穴建物は10区に限定されること、7世紀の竪穴建物の数が多くなっていること等の相違が見られた。

11区では6世紀後半の竪穴建物は見られず、7世紀の竪穴建物が3棟検出された。11区東半部には遺構分布はほとんどなかった。

このように、塩川砂井戸遺跡調査区内で検出された古墳時代の集落では、6世紀後半から始まり7世紀末にかけて、6区から11区西半部にかけての全域で竪穴建物が継続して分布していたことが判明した。

奈良時代 8世紀になると、それまでの遺構分布は一変する。6区から8-2区には竪穴建物の分布はまったくなくなり、9区東半部に1棟のみで、8世紀の竪穴建物は10区以東に集中するようになった。

10区・10-2区では8世紀の竪穴建物が17棟検出された。一箇所に6棟の竪穴建物が重複する部分があるので、密度は高くないが、10-2区を中心とする地区に8世紀の竪穴建物が6世紀後半から継続して集中的に建てられていたことが判明した。11区では8世紀の竪穴建物が2棟検出されたが、その位置は10-2区の竪穴建物分布の東端の位置にあたるだろう。

また、10-2区には掘立柱建物1棟、柱穴1基が確認されている。出土遺物は土師器の杯や裏の小破片であるが、概ね7世紀後半から8世紀の時期のものである。さらに1号掘立柱建物の長軸方位、1号柱穴列の方向は、周辺の8世紀の竪穴建物の主軸方位とはほぼ一致して

1. 塩川砂井戸遺跡の集落変遷について

いた。本掘立柱建物も8世紀のものと考えたいが、ピット埋没土には浅間B軽石が含まれている土層も観察できた。10-2区には中世以降のピットが多数あり、建物も想定されることから、1号掘立柱建物の時期を8世紀と確定することは困難である。掘立柱建物や柱穴列が8世紀の遺構である可能性も残しつつ今後の周辺発掘調査の動向に注意したい。

平安時代 平安時代になると、発掘区内では竪穴建物の数が激減する。その分布も各区に1~2棟となり、希薄となることが判明した。

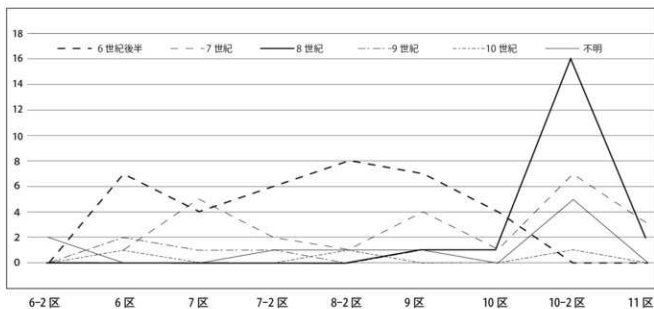
6区では9世紀2棟、10世紀後半1棟の竪穴建物が出された。7区では9世紀1棟、7-2区では9世紀1棟、8-2区では10世紀後半1棟、9区では9世紀1棟、10-2区では9世紀1棟、10世紀後半が1棟、不明が5棟であった。9世紀と10世紀後半では間に100年弱の時間があることが想定でき、集落自体も途切れた可能性がある。

以上のように、塩川砂井戸遺跡の古墳時代後期の竪穴

建物は調査区の全体に分布していたが、8世紀になると一気に10-2区に集中する様相が判明した。本遺跡は吉井段丘面の中央部にあり、南の多胡段丘上には多胡古墳群、遺跡のある吉井段丘上位・中位面端部には北原(塩川)古墳群、下池古墳群、高木古墳群、塚原古墳群がある状況をみれば、このような古墳時代後期の集落の展開は当然の立地環境にある。

さらに、調査区の北東1.1kmには和爾4(711)年に多胡郡建郡の経過が刻まれた多胡碑が、東800mには多胡郡正倉跡が、北東200mには瓦出土地として古くから知られ、近年は仏教関連施設の可能性が示唆されている雑木味遺跡がある。本遺跡の8世紀における竪穴建物分布の変化は、周辺の多胡郡関連遺跡との関連のなかで検討することが必要であろう。当然10-2区への8世紀における竪穴建物の集中は、多胡郡建郡の過程を直接的に示す事象である可能性は極めて高いと考えられる。

発掘調査の成果は調査区内に限られるので、検出され



第200図 塩川砂井戸遺跡6~11区の竪穴建物数の変化

第10表 時期別竪穴建物数一覧表

| | 6-2区 | 6区 | 7区 | 7-2区 | 8-2区 | 9区 | 10区 | 10-2区 | 11区 | 合計 |
|-------|------|----|----|------|------|----|-----|-------|-----|----|
| 6世紀後半 | 0 | 7 | 4 | 6 | 8 | 7 | 4 | 0 | 0 | 36 |
| 7世紀 | 0 | 1 | 5 | 2 | 1 | 4 | 1 | 7 | 3 | 24 |
| 8世紀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 16 | 2 | 20 |
| 9世紀 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 6 |
| 10世紀 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 不明 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 | 0 | 10 |
| | | | | | | | | | | 99 |

た竪穴建物群の数や分布だけでは実態に迫ることはできないが、本遺跡の古墳時代後期から奈良時代の集落についてはこのような視点での分析が必要となろう。また、9世紀以降の竪穴建物の激減や途絶もまた、何らかの歴史事象の表れと考えられ、地域全体の遺跡動向を加味して分析する必要があるだろう。

2. 塩川砂井戸遺跡の出土遺物について

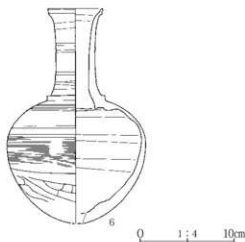
(1) 11区36号竪穴建物出土

底部丸底の須恵器長頸壺について

11区36号竪穴建物の埋没土中から一見須恵器フラスコ形長頸壺状のものが出土した。この長頸壺は、口径5.6cm、残存高22.4cm、胴部最大径14.6cmで胴部と底部の一部を欠損する。胎土は夾雑物が少なく、精製されたもので胎土・焼成からは東海地方で生産された須恵器の可能性を指摘できる。なお、長頸壺は11区36号竪穴建物南東隅床面上3cmで、ほぼ完形で出土し、この竪穴建物に共存するものと判断される。(本書第122図・第124図6、PL.34・PL.74)

11区36号竪穴建物は7世紀後半の遺構で、長軸4.78m、短軸4.01mの東西に長い隅丸長方形で、中型の建物である。竪穴側周辺の煮沸具となる土器の残存状態が良好で完形に近い状態で7個体の土器が出土している。このうち、須恵器杯は平城宮の土器分類で杯Cと呼称される形態、土師器甕は頸部の屈曲が明瞭でないことなどから7世紀中葉に想定できるが、土師器杯の中には口縁部が内湾しないことから7世紀第4四半期に想定され、竪穴建物の存続についてはやや幅広い年代が想定される。

そして長頸壺の成整形法を觀察すると、ロクロ整形、回転は右回り。胴部下位は紐づくりとみられ、内面に小規模な凹凸がみられ、外面に格子目状の叩き痕が残るが、その上からヘラ削りが施される。ただし、底部は使用時の摩滅が激しいためか整形の觀察はできない。上半は叩き整形痕はみられず、内面にロクロ痕が明瞭に残る。外面中位は横方向のカキ目、上位は4条の凹線が施されている。胴部の頸部付近には明確な接合痕が2段觀察できることから、成形では胴部が形作られた後に円盤状の粘土板を貼付し、風船技法によって胴部を閉塞していたことがわかる。頸部から口縁部はロクロ成整形によって形



第201図 塩川砂井戸遺跡11区36号竪穴建物出土須恵器長頸壺

作られ、胴部を閉塞した粘土板の内側を穿孔して貼付し、全体を成形している。なお、胴部下半が叩き、上半はロクロ成形による器形としては中型の丸底壺にみることができ、小型の製品ではみられない成整形である。

形態的には底部先端がほとんど残存していないが、底部はごく小径で球状を呈すとみられる。上半は肩が張らず、水瓶の胴部上位に近く、この時期の長頸壺とはやや異なる形態である。頸部には大型の甕にみられる補強帯と同様な断面四角形の凸帯が貼付されている。口唇端部はわずかに口縁部から外反しながら移行し、端部直下は断面半円状の小規模な凸帯状に肥厚させている。

丸底長頸壺の祖型について

このような丸底で高台を有しない長頸壺を県内で見ると最初に目にとまるのが高崎市観音塚古墳から出土した長頸壺(文献70-第27図5・6)や奥原古墳群等から出土しているフラスコ形長頸壺である。

観音塚古墳のものは脚付長頸壺身と同様の形態である。脚付長頸壺は本来、丸底の壺と高杯形器台と組み合わせられて使用されていたものであるが、脚部を付けて高杯形器台を省略した可能性が脚付長頸壺の脚部形状が高杯形器台の脚部形状と同様であることから指摘されている。この脚付長頸壺については北関東地方の須恵器研究を行っている藤野一之によると古代上毛野地域に分布する特徴的な須恵器とされ、6世紀後半に出現し、短期間に消滅する器種であるとされている(文献69)。6世紀後半の短期間しか生産されていないことを考えると、11区36号竪穴建物出土長頸壺の祖型とは考えにくい。

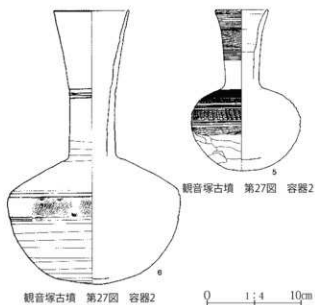
2. 塩川砂井戸遺跡の出土遺物について

の長頸壺はフラスコ形長頸壺と同一系列に属する系列とされている(文獻68)。根拠として、両形態を繋ぐ形式があること、消費地の古墳出土例から両者が同じ役割を担う明器として扱われていたことをあげている。そして第203図のようにフラスコ形長頸壺から変化した長頸壺は一般的には高台が貼付されるようになることを示した。さらにフラスコ形長頸壺と、11区36号竪穴建物出土のような底部から成整形され頂部に頸部を貼付する形態の長頸壺が共存する事例として静岡県島田市御小屋原1号墳があげられるとしている。なお、御小屋原1号墳の長頸壺は胴部がやや張ることから11区36号竪穴建物出土のものより古い段階と考えられ、実年代については7世紀前半代に比定されている。こうした後藤健一の論考から11区36号竪穴建物出土の長頸壺はフラスコ形長頸壺にその祖型が求められると考える。

頸部凸帯(リング状)貼付長頸壺の類例について

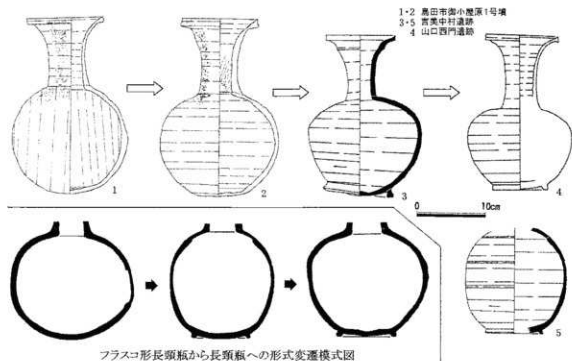
県内では類例をみるることができないが、頸部の凸帯や口唇部形態など細部では県内外に類例をみる事が可能である。

頸部に凸帯(リング状)が貼付される長頸壺は時期が下るが岐阜県美濃須賀古窯跡群の特徴とされ、稲田山古窯跡群11号、12号窯から出土している長頸壺(文獻73)にみ



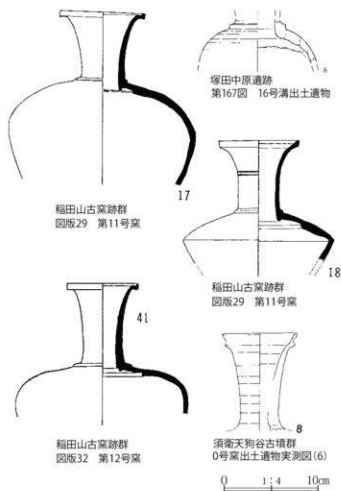
第202図 群馬県内の丸底長頸壺

これに対して6世紀末に出現するフラスコ形長頸壺は成整形が球状の胴部を形作り、球状に成形した頂部ではなく側面に頸部から口縁部を貼付する点など11区36号竪穴建物出土長頸壺とは異なるが、静岡県湖西窯跡群の研究を行っている後藤健一によると底部からロクロ成整形により形作られ、頂部に頸部から口縁部を貼付する形態



フラスコ形長頸壺から長頸壺への形式変遷模式図

第203図 長頸壺の形式変化(文獻68より)



第204図 凸帯(リング状)貼付長頸壺及び口縁部の類別

ることができる。この窯跡は共存する遺物から8世紀前半代に想定され、11区36号竪穴建物出土の長頸壺とは年代差がある。県内では高崎市塚田中原遺跡0区16号溝から出土している長頸壺(文献74-167図8)に凸帯が貼付された個体が出土している。この遺構からは須恵器杯蓋、椀、奈良三彩小壺蓋、瓦片などが出土しており、8世紀から9世紀の年代が想定されている。なお、この長頸壺は胎土から県内の窯跡で生産されたものとみられる。

口唇部の形態では美濃須衛古窯跡群天狗谷0号窯跡から出土したものと(文献71-25図8)に同様な形態がみられる。この0号窯については発掘調査前に工事によって壊されていたが、工事残土から採取されたものとされている。出土した須恵器は7世紀前半代と8世紀前後に想定され、資料的価値は高いとされている。11区36号竪穴建物出土長頸壺口唇部と同様の形態を有するものは7世紀前半代の一群に分類されている。

しかし、現段階では美濃須衛古窯跡群での凸帯貼付の

長頸壺は7世紀代の窯跡から出土しておらず、類似性を求めることは難しいため11区36号竪穴建物出土の長頸壺が美濃須衛古窯跡群から搬入されたものか、その影響のもとに生産されたものか断定できない。しかし、前述のように県内の窯跡群とは胎土が異なる点から搬入された可能性が高い。美濃須衛古窯跡群の製品は広く供給されているとともに県内の須恵器生産に影響を与えていることがわかっており、こうした点や器形の特徴から産地を求めるなら美濃須衛古窯跡群を含む東海地方が想定される。

11区36号竪穴建物出土の長頸壺の用途について

フラスコ状長頸壺を含む丸底を呈する須恵器長頸壺はその生産が6世紀末から7世紀前半に限られる。そしてその多くが、高崎市本郷の場古墳群や奥原古墳群などに代表されるように古墳からの出土であり、副葬されたものである。

集落からの出土は太田市大道東遺跡の竪穴建物から出土がみられる。大道東遺跡は太田金山古窯跡群の北西に位置する集落で、特異な形態をした須恵器や窯で焼く損じたような須恵器が多く出土している。集落内ではロクロピットなど直接、須恵器生産を行った痕跡は検出されていないが、須恵器生産工人集落と想定され一般の集落とは異なる性格をもつ。

集落からの出土は須恵器生産工人であることを考慮しても底部丸底の須恵器長頸壺は基本的に明器として利用されたものであると言える。

塩川砂井戸遺跡から出土した背景

前記のように底部丸底の長頸壺は出土例から明器として使用される。塩川砂井戸遺跡では周囲に古墳群は存在するが、一般的な集落と判断される。また、周囲では鏡川の対岸にヌカリ沢窯跡を始めとする乗原・観音山古窯跡群が存在するが至近距離ではないため工人集落とするには無理がある。ではどのような可能性があるか、可能性についてあげてみた。

①竪穴建物に居住する人物が自己の死後の副葬品として用意した。この点については図示できなかったが11区36号竪穴建物からは須恵器大甕も出土しており、副葬品として用意したものが残された可能性が窺える。

②周囲の窯跡からは距離があるが、須恵器工人を統括するような人物が居住しており、畿内や東海地方で生産さ

れている新しい器種や器形の須恵器を生産するにあたり、様(見本)として入手したものが残った。この点については11区36号竪穴建物出土遺物に須恵器窯で焼台として利用し窯態が付着した須恵器甕が出土していることから、入手できる立場であったことが想定される。

須恵器生産との関係については多胡郡が建部された後、緑野郡や片岡郡に属していた窯跡群が多胡郡に集約されており、古墳時代でも須恵器生産に関わった人物、工人ではなく統括するような立場の人物がこの地域に住居していたと想定しても良いのではないだろうか。

以上、11区36号竪穴建物出土から出土した底部丸底の須恵器長頸壺について検討を行ったが、類例が乏しく想定域を出ない点が多い。今後、資料の蓄積とともにさらなる検証を行いたい。

(2) 7区57号土坑出土石製品について

7区57号土坑の埋没土中から墨書のある五角形の石製品が出土した。この石製品は、長さ6.8cm、幅5.7cm、厚さ1.5cm、重さ52.1gで流紋岩製である。(第155図・第156図14、PL.46・PL.83)

7区57号土坑は1層上面で浅間A軽石を埋め戻した復旧痕を調査した後、V層上面で検出された。浅間A軽石を多量に含む土で埋まっていた56号土坑に後出しており、57号土坑は天明3(1783)年の浅間山噴火後の遺構である。

石製品は、荒整形の平行条線を残している部分もあるが、五角形に形作って全面を丁寧に磨いた後、表面と裏面に墨書をしている。石材が砥石に多く使われる流紋岩であることからその転用と考えられるが、近世の出土砥石の幅は通常もう少し小さく、5.7cmという幅の砥石はほとんど見られない大きさである。切り出した石材の使

用方向によっては、転用ではなく、この石製品を当初から製作した可能性もある。

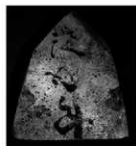
表裏面の墨書については、肉眼観察での全文解説は困難であったことから、赤外線カメラによる写真を撮影した。県立文庫館古文書係の関口莊石氏・櫻沢恭子氏・秋山正典氏にご協力いただき、赤外線写真とともに解説を依頼したところ、第205図のような釈文をいただいた。

表面右の「安政四年」は西暦で1857年、江戸時代後期にあたり、出土遺構が天明3(1783)年の浅間山噴火以降の遺構であることと矛盾しない。表面中央上位の「金」は「全」あるいは屋号「△王」を示す可能性も指摘された。「棚嶋」は塩川砂井戸遺跡のある旧吉井藩の代官も務めた棚島氏に関連する可能性が高いであろう。左の「上州□□□」は文字通り群馬県内の地名を示すと考えられる。確実な読みは困難とのことであったが、「長根村」の可能性をあげられた。裏面は「沢五郎」で、文字通り人名と思われる。鑑札あるいは通行証のようなものかもしれないとの助言をいただいた。

墨書のある考古資料としてはお札や呪符木簡等がある。上端の両側を斜めに切った細長い五角形のものや、絵馬のような五角形の資料もみることができ、石製の類例は今のところ管見に触れない。(文献79・80)また、鑑札・株札等の身分証明の札も木製・紙製のものが多く、石製のものはみられない。しかし、五角形であること、年号のあること、人名・地名が書かれている等、本資料と共通している点が多い。

鑑札は行政庁や同業組合などが、ある種の営業や行為に対して許可・登録・免許などのしるしとして発行する証票で、江戸時代には木材や紙に書かれたものが残されている。木製のものには方形のものと同五角形のものがあ

(△)金(全)全(△)
 上 棚 安
 脇 嶋 受
 □ (長根村) □ □ □
 沢 五 郎
 四 年



0 1 2 5cm

第205図 7区57号土坑出土石製品の赤外線写真と釈文

沢五郎

看板と同じように、「金になる、金銀にかへる」という(将棋)の縁起をかついだものだろう。(文献81・82)とか、「将棋の駒と同じ作りやすさ、高札や絵馬が象徴する権威を形として継承したのではないか」(文献83)という将棋や高札・絵馬などとの関連を示唆する意見が出されている。

本資料は、現状では制作の意図や背景、地名等が不明であるが、将棋駒あるいは籠札・株札等に似せて身近な流紋岩でつくられたものであろう。江戸時代後期の上州で、「棚島」「沢五郎」といった人物が生きていたことの証となる資料である。どのような場面でどう使われたのか、今後も類例に留意しながら注目すべき資料であろう。

3. 塩川砂井戸遺跡調査の成果

吉井段丘と塩川砂井戸遺跡

今回の塩川砂井戸遺跡・池石田遺跡の発掘調査によって、鏡川右岸吉井段丘面地域の古墳時代後期から古代集落の一端を明らかにすることができた。吉井段丘より高位の多胡段丘面の古墳時代から古代の遺跡は上信越自動車道建設に伴う発掘調査等で実態が明らかになってきている。しかし、吉井段丘面の遺跡の内容はこれまであまり明らかになっていなかった。今回の吉井北通り線建設に伴う発掘調査で吉井段丘上位面を東西方向に貫く調査が実施され、ようやく一定範囲の遺跡の状況が明らかになってきたと言える。

吉井段丘面にはさらに2段の段丘があり、上位面・中位面・下位面の3つの地形面に分けられている(文献63・図1)。塩川砂井戸遺跡があるのは最も広い上位面である。

上位面の西端は大沢川で区切られ、西半部は現在の吉井市街地、東半部は農地と住宅地になっている。現状は平坦で西から東へ、南から北へ緩やかに傾斜している。しかし、明治18年測量の迅速測図吉井町図幅には、上位面の中央に東西方向の帯状凹地、上位面と中位面の間に南東方向から入り込む帯状凹地が等高線で表現されている。(文献84)このような微妙な起伏のある上位面の西半部で塩川砂井戸遺跡1区～11区や雑木味遺跡(奈良時代瓦散布)が調査され、東端中央部では近年「多胡郡正倉跡」が発見された。上位面の微地形復元は難しいが、前述した東西方向の帯状低地の谷頭は塩川砂井戸遺跡の南

側まで達している可能性があり、「多胡郡正倉跡」は谷口南側にあたる。

中位面は上位面の北東側に比高2m程の段で画された細長く平坦な地形面である。この中位面の北縁辺には世界記憶遺産に登録された上野三碑の一つである「多胡碑」がある。中位面北端部では、倉庫建設に伴って上河原遺跡(平安時代後半集落)が、多胡碑記念館建設に伴い御門遺跡(古墳時代前期竪穴建物・平安時代後期集落)が発掘調査されている。北西端では店舗建設に伴って竹腰遺跡(平安時代集落・それ以前の南北直線水路)が、釜ヶ淵遺跡(平安時代竪穴建物)が発掘調査されている。

下位面は中位面の東側に接する現在吉井町運動公園がある地形面と、上位面北西側に接する地形面が分類されている。前者は鏡川とほぼ同じ面で遺跡はない。後者の地形面上には微妙な凹凸があり、鏡川に平行するわずかな段差も観察される。東側の中位面と同様に古代からの土地利用が可能な地形面として遺跡の分布を考える必要がある。

このような地形環境のなかで、古墳時代後期から平安時代にかけての塩川砂井戸遺跡のあり方をみると、「塩川砂井戸遺跡」(文献55)で報告された1～5区では、古墳時代後期の竪穴建物は西側の1区に2棟のみで、2区には古墳時代後半から平安時代の竪穴建物が集中して、集落古地の移動と考えられている。3区～5区には古墳時代後半から平安時代の遺構は検出されなかった。さらに150mほどの発掘調査除外地区があって、今回報告する6区になる。本章の1でまとめた通り、6区から11区まで古墳時代後半の竪穴建物が散在していたが、8世紀になると、6区から8区には竪穴建物の分布はなくなり、9区東半部に1棟のみで、10区・11区に集中するという、吉井段丘上位面北半部における古代集落変遷の一端をみてとることができた。(第206図)

塩川砂井戸遺跡の位置づけ：古墳時代

吉井段丘上位面の他の発掘成果をみると、古墳時代の遺構は御門遺跡で古墳時代前期の竪穴建物が1棟調査され、石神字千歩地内で古墳時代中・後期の竪穴建物の存在が判明しているが、詳細はまだ不明である。古墳群は大沢川右岸に北原古墳群がある。広い上位面にはほかに古墳の分布は明らかでないが、「群馬県古墳総覧」(文献78)では北端部に、中位面にある下池古墳群の南西端



第206図 吉井段丘の遺跡と塩川砂井戸遺跡

番号は文献78に拠る古墳番号

1:50,000

にあたる古墳が数基掲載されているのみである。一方、中位面には北から下池古墳群、高木古墳群、小型前方後円墳を1基含む塚原古墳群がある。

中位面での集落域と墓域の関係はまだ全容が明らかでないが、古墳群の存在からは吉井段丘面全体で古墳時代の地域社会は完成されていたものと考えられる。旧吉井町域には須恵器生産や糸・布生産などの工人集団も想定されており、塩川砂井戸遺跡で検出された古墳時代後半の集落も、その中に位置づけられるのであろう。塩川砂井戸遺跡11区36号竪穴建物(7世紀後半)から出土した須恵器長頸壺は特殊な器種であり、建部直前の時期に死後の副葬品を用意できるほどの家長層または須恵器工人の統括者の存在を示唆している。

塩川砂井戸遺跡の位置づけ：奈良時代

奈良時代の遺構は、上位面に塩川砂井戸遺跡の集落のほか、瓦散布地の雑木味遺跡、「多胡部正倉跡」がある。

雑木味遺跡は塩川砂井戸遺跡の東200mのところにある。以前から瓦が採集されていることから、寺院跡もしくは部衙跡の可能性が想定されてきた。平成23年と24年に発掘調査が実施され、1次調査では13棟の竪穴建物と基壇状遺構、南北方向の直線溝などが確認され、多数の瓦が出土した。2次調査では南北方向の直線溝や土坑が検出された。遺構群の周縁部と考えられている。瓦は調査区内から多量に出土しているが、SD-02から出土した軒丸瓦は複弁六葉蓮華文で8世紀代とされている。調査成果から雑木味遺跡は一般的な集落ではなく、8世紀を上限とする仏教関連施設が存在した可能性を否定できないとし、7世紀以前の遺構が未検出であることから、「旧来の集落の編成ではなく、建部に伴う新たな施設の構築といった事象も想像される」としている。(文献56・57)

さらに平成23年から実施されている多胡碑関連の遺跡確認調査で調査された岡遺跡が正倉院であることが判明し、「多胡部正倉跡」と改称された。「多胡部正倉跡」は上位面東端にあり、多胡碑を見下ろすような位置にある。「多胡部正倉跡」から出土した瓦は8世紀第2四半期のものとわかり、多胡碑の内容とも合致する。(文献63)高崎市教育委員会では現在「多胡部正倉跡」の調査成果を整理途中であるが、担当者は出土瓦について雑木味遺跡出土の瓦と同時期・同窯製品の可能性が高いとされている。

塩川砂井戸遺跡でも10-2区85号竪穴建物から平瓦、

10-2区1号廃棄土坑から丸瓦が出土している。これらの瓦破片は遺構に伴うものではなく、この時期になって近隣の古代遺構から持ち込まれたものと推定される。高崎市教育委員会にご協力いただき、これらを「多胡部正倉跡」と雑木味遺跡出土瓦と比較したところ、表面平行叩き後のナデや狭端部の強いナデなどの整形技法、胎土、大きさ・厚さ等が共通することから、同時期・同窯製品の可能性があるかと観察された。

現状で明確な中位面の奈良時代の遺構は、「多胡碑」があるのみである。数地点の発掘調査成果があるが、いずれも平安時代の遺構が確認されている。その中で時期不明であるが、平安時代竪穴建物より古い南北直線水路が調査された竹腰遺跡がある。奈良時代との確証はないが注意すべき遺構であろう。中位面の今後の調査成果が期待される。また、吉井段丘面には以前から古代糸里地割の存在がいわれている。(文献75)また、直線的な地割はすでに糸里制地割整備以前に設定されたという間口功一の論考(文献76)もある。吉井段丘面の遺跡の遺構配置は、多胡碑、「多胡部正倉跡」、未確認の多胡部庁、糸里型水田、道路等とともに方格地割を念頭において考える必要があるであろう。塩川砂井戸遺跡では直接関連する遺構は検出されなかったが、塩川砂井戸遺跡も多胡部建部の前後に整備されていく地域のなかの一集落という位置づけとなる。

塩川砂井戸遺跡の位置づけ：平安時代以降

塩川砂井戸遺跡の平安時代9世紀以降の遺構は激減し、吉井段丘内での集落構成に何らかの変化があったものとみられる。中位面では平安時代竪穴建物が確認された上河原遺跡、御門遺跡、竹腰遺跡、釜ヶ淵遺跡など複数あり、北側の下位面と分断された面の南半部には平安時代遺跡の立地を想定できる。今回の調査では、このような吉井段丘内の平安時代集落の一端を示すことができた。

また、塩川砂井戸遺跡では中世・近世の遺物は出土したものの、遺構の全体像を把握するにはいたらなかった。特に10-2区に集中していたビット群や井戸、埋桶(使桶)、当該期の遺物などの存在は、居宅等の建物群や生活空間があったことを示しており、今回の発掘調査はその基礎的な一資料を提供できたということになる。

引用・参考文献

1. 吉井町教育委員会1962『入野遺跡』
2. 山崎一1972『群馬県古城築城の研究 下巻』
3. 群馬県立博物館1973『東上遺跡』
4. 吉井町誌編さん委員会1974『吉井町誌』
5. 尾崎喜左雄1977『上野国(の)古墳と文化』
6. 群馬県教育委員会1981『群馬県歴史の文化調査報告書第10集「下仁田道」』
7. 吉井町教育委員会1982『川内遺跡』
8. 吉井町教育委員会1986『道六神遺跡』
9. 吉井町教育委員会1986『川福遺跡調査報告書』
10. 吉井町教育委員会1985～1986『入野遺跡Ⅰ～Ⅲ』
11. 吉井町教育委員会1987『東沢遺跡 折茂東遺跡』
12. 吉井町教育委員会1987『西馬脇・長根古遺跡』
13. 吉井町教育委員会1987『蛇田古墳』
14. 吉井町教育委員会1989『格谷戸遺跡発掘調査報告書』
15. 吉井町教育委員会1989『富岡遺跡』
16. 吉井町教育委員会1989『稲田遺跡発掘調査報告書』
17. 吉井町教育委員会1990『竹籠遺跡』
18. 吉井町教育委員会1990『格谷戸遺跡Ⅱ』
19. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1990～1997『矢田遺跡Ⅰ～Ⅲ』
20. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1990『長根羽田遺跡』
21. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1992『神保下遺跡』
22. 吉井町教育委員会1992『多比良遺跡発掘調査報告書』
23. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1992・1994『黒熊中西遺跡(1)(2)』
24. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1993『神保塚遺跡』
25. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1993『多胡蛇黒遺跡』
26. 吉井町教育委員会1994『長根遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』
27. 吉井町教育委員会1995『ヌカリ沢A遺址発掘調査報告書』
28. 吉井町教育委員会1995『御門遺跡発掘調査報告書』
29. 吉井町教育委員会1995『入野遺跡群 馬場遺跡発掘調査報告書』
30. 吉井町教育委員会1995『長根遺跡群発掘調査報告書Ⅲ』
31. 吉井町教育委員会1996『長根遺跡群発掘調査報告書Ⅳ』
32. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1997『神保嶺松遺跡』
33. 財団法人群馬県埋蔵文化財事業団1997『多比良道野遺跡』
34. 吉井町教育委員会1998『長根遺跡群発掘調査報告書Ⅴ』
35. 吉井町教育委員会1999『多比良観音山遺跡発掘調査報告書』
36. 吉井町教育委員会2001『矢田遺跡発掘調査報告書』
37. 吉井町教育委員会2002『川福遺跡第二次発掘調査報告書』
38. 吉井町教育委員会2004『川内遺跡第二次発掘調査報告書』
39. 吉井町教育委員会2003『多比良笠掛遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
40. 吉井町教育委員会2003『長根遺跡群発掘調査報告書Ⅵ』
41. 吉井町教育委員会2004『格谷戸遺跡第四次発掘調査報告書』
42. 吉井町教育委員会2004『矢田遺跡(第3次)発掘調査報告書』
43. 吉井町教育委員会2004『上河原遺跡発掘調査報告書』
44. 吉井町教育委員会2004『下条遺跡発掘調査報告書』
45. 吉井町教育委員会2004『片山遺跡群発掘調査報告書』
46. 吉井町教育委員会2004『安坪古墳群・長根遺跡群発掘調査報告書Ⅶ』
47. 吉井町教育委員会2005『安坪古墳群・長根遺跡群発掘調査報告書Ⅷ』
48. 吉井町教育委員会2005『東シメ木・多胡松原遺跡発掘調査報告書』
49. 吉井町教育委員会2006『中林遺跡』
50. 吉井町教育委員会2006『長根遺跡群発掘調査報告書Ⅷ』
51. 吉井町教育委員会2007『長根遺跡群発掘調査報告Ⅷ』
52. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財事業団2013『吉井川下流遺跡』
53. 高崎市教育委員会2014『多胡碑周辺遺跡』第4次調査現地説明会資料
54. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財事業団2015『本郷畑内遺跡』
55. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財事業団2015『塩川砂井戸遺跡』
56. 高崎市教育委員会2011『吉井・雉木味遺跡』
57. 高崎市教育委員会2013『吉井・雉木味遺跡2』
58. 高崎市教育委員会2011『平成22年度市内遺跡発掘調査報告書』
59. 高崎市教育委員会2015『平成26年度市内遺跡発掘調査報告書』
60. 高崎市教育委員会2011『矢田・天王原遺跡』
61. 高崎市教育委員会2011『矢田・天王原遺跡2』
62. 高崎市教育委員会2014『吉井城東遺跡』
63. 滝沢 匡2017『上野国多胡郡正倉跡と寺院』『古代東国の地方官衙と寺院』山川出版社
64. 文化庁文化財保護部1992『特集トイレの考古学 月刊文化財11/平成四年(350号)』
65. 大田区立郷土博物館1996『考古学トイレ考古学』
66. 大田区立郷土博物館1997『トイレの考古学』
67. 黒崎 直1998『トイレ遺構の総合的研究—発掘された古代・中世トイレ遺構の検討』
68. 後藤健一2015『出土遺物の分類と編年』『逸江湖西瀛群跡の研究』六一書房
69. 藤野一之2009『北関東型須恵器の成立と展開』『北関東型須恵器からみた関東地方の須恵器生産』『群馬・金山丘陵窯跡群Ⅱ』駒澤大学考古学研究室
70. 高崎市教育委員会1992『観音山古墳調査報告書』
71. 各務原市教育委員会1998『須衝天狗谷古墳群・天狗谷窯跡群発掘調査報告書』
72. 各務原市教育委員会1984『美濃須衝古窯跡群資料調査報告書』
73. 各務原市教育委員会1981『稲田山古窯跡群発掘調査報告書』
74. (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2005『塚田村東IV遺跡・塚田中原遺跡(0区)・引間松葉遺跡』
75. 三友国五郎1959『関東地方の条里』『埼玉大学紀要社会科科学編』8巻
76. 関口功一1986『鍋川流域の条里的地割』『条里制研究』第2号
77. 関口功一2015『「阡陌と方格地割—群馬県下の事例から—」『関東条里の研究』東京堂出版
78. 群馬県教育委員会2017『群馬県古墳総覧』
79. 茨城県立歴史館2000 企画展図録『ねがい・うらない・おまじない』
80. 新潟県立歴史博物館2016 企画展図録『おふだにねがいを—呪言—』
81. 山本亨介1972『栲根直民史』朝日新聞社
82. 天狗太郎1980『33 駒形の鑑札』『栲根101話』光風社出版
83. 岡村良子2013『株札はなぜ五角形か』『浪華紙魚背景/大商大 商業史博だより』大阪日日新聞連載 2013年4月10日
84. 第一軍管地区迅速測図(大日本測量(株)資料調査部複製)

遺構計測一覧表

凡例

- 遺構一覧表は、各区遺構種ごとに作成し、本報告書の掲載順に並べた。
ただし土坑・ピットは遺構番号順に並べた。
- 遺構名称および番号は本文を記載した報告時のものである。
整理作業時に欠番が確認された遺構についてはその旨記載した。
名称・番号を付け替えた遺構は本文P. 8第1表に旧遺構名称・番号を併記し対照できるようにした。
- グリッドは遺構が含まれる範囲の南東隅の国家座標交点を座標値下三桁で表示した。
- 遺構の計測値は、重複等で計測できないものは計測不能とした。()を付したものは残存長である。
- 本文頁は本文掲載の最初頁、挿図は掲載図番号、写真図版は遺構写真および遺物写真の掲載P.L.番号を記載した。
- ピットの埋没土パターン分類は下記の通りである。
A 1：黒褐色土(10YR3/2、2/3)白色粒・円礫を含む。 A 2：黒褐色土(10YR3/1)多量の礫を含む。
A 3：黒褐色土(10YR3/1)礫を少量含む。 A 4：黒褐色土(10YR3/1、3/2)微量の礫と塊状明黄褐色土を含む。
A 5：黒褐色土(10YR3/1)礫を含まない。 B：褐灰(7.5YR4/1)か黒褐(7.5YR3/1)礫を少量含む。
C：暗褐色土(10YR3/3、3/4)白色粒・礫・黄色ローム塊を含む。
D：暗褐色土(10YR3/3)礫・焼土粒・炭化物粒を含む。
E：にぶい黄褐色土(10YR4/3、4/2)砂質黄褐色土・小礫を含む。 F：褐色土(10YR4/4、4/6)

目次

| | |
|----------------|-----|
| 1. 竪穴建物一覧表 | 228 |
| 2. 竪穴状遺構一覧表 | 229 |
| 3. 掘立柱建物一覧表 | 229 |
| 4. 柱穴列一覧表 | 229 |
| 5. 井戸一覧表 | 229 |
| 6. 溝一覧表 | 230 |
| 7. 鍛冶関連廃棄土坑一覧表 | 230 |
| 8. 土坑一覧表 | 230 |
| 9. ピット一覧表 | 233 |
| 10. 畑一覧表 | 247 |
| 11. 復旧痕一覧表 | 247 |

遺構計測一覧表

竪穴建物一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 面積 (㎡) | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 札 | 備考 |
|-----|-----|------|---------|--------|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|----------|----------|----|
| 6 | 47 | 竪穴建物 | 064・303 | ほぼ正方形 | 3.98 | 3.78 | 0.10 | N-76°-E | 13.23 | 17 | 6 | 5・61 | |
| 6 | 48 | 竪穴建物 | 057・316 | 長方形 | 4.13 | 3.14 | 0.27 | N-90°-E | 10.72 | 18 | 7 | 5 | |
| 6 | 49 | 竪穴建物 | 052・327 | 台形 | (2.60) | 2.70 | 0.29 | N-19°-E | 計測不能 | 19 | 8 | 5 | |
| 6 | 50 | 竪穴建物 | 055・326 | 台形 | 6.52 | 6.10 | 0.31 | N-60°-W | 3.14 | 20 | 9 | 5・6・61 | |
| 6 | 51 | 竪穴建物 | 056・339 | ほぼ正方形 | 3.22 | (2.28) | 0.28 | N-22°-E | 計測不能 | 22 | 11 | 6・61 | |
| 6 | 52 | 竪穴建物 | 067・337 | ほぼ正方形 | 3.60 | 3.48 | 0.23 | N-86°-E | 10.52 | 23 | 12 | 6 | |
| 6 | 53 | 竪穴建物 | 052・348 | 長方形 | 4.70 | 3.13 | 0.12 | N-11°-W | 計測不能 | 24 | 13 | 6・61 | |
| 6 | 61 | 竪穴建物 | 080・337 | 長方形 | (3.44) | 5.05 | 0.41 | N-19°-E | 計測不能 | 25 | 14 | 61 | |
| 6 | 62 | 竪穴建物 | 072・310 | 長方形 | 7.52 | 6.90 | 0.35 | N-77°-W | 計測不能 | 26 | 15・16 | 7・62 | |
| 6 | 63 | 竪穴建物 | 083・308 | 長方形 | 4.79 | 3.37 | 0.28 | N-87°-W | 13.66 | 29 | 17 | 7・61 | |
| 6 | 64 | 竪穴建物 | 072・342 | ほぼ正方形 | 6.74 | 6.49 | 0.29 | N-27°-E | 計測不能 | 30 | 18・19 | 8・61 | |
| 6-2 | 69 | 竪穴建物 | 071・349 | 隅丸長方形 | 4.66 | 3.72 | 0.03 | N-6°-W | 計測不能 | 32 | 20 | 8 | |
| 6-2 | 70 | 竪穴建物 | 068・349 | 方形 | (2.23) | (1.95) | 0.06 | N-84°-E | 計測不能 | 32 | 20 | 8 | |
| 7 | 24 | 竪穴建物 | 090・291 | 正方形 | 4.23 | 4.10 | 0.20 | N-90° | 15.76 | 33 | 21 | 8・9・62 | |
| 7 | 27 | 竪穴建物 | 060・287 | ほぼ正方形 | 3.95 | 3.83 | 0.17 | N-78°-W | 12.72 | 34 | 22 | 9・63 | |
| 7 | 28 | 竪穴建物 | 065・285 | ほぼ正方形 | 4.52 | 4.25 | 0.29 | N-55°-W | 16.47 | 34 | 23 | 9・10 | |
| 7 | 29 | 竪穴建物 | 067・282 | 長方形 | 3.55 | 2.74 | 0.29 | N-55°-W | 8.21 | 36 | 23・24 | 10・64 | |
| 7 | 30 | 竪穴建物 | 074・293 | 正方形 | 4.22 | 4.12 | 0.25 | N-47°-W | 13.85 | 38 | 25 | 10・63 | |
| 7 | 31 | 竪穴建物 | 076・296 | 台形 | 3.62 | 2.85 | 0.22 | N-58°-W | 計測不能 | 40 | 26 | 11 | |
| 7 | 32 | 竪穴建物 | 080・296 | 長方形 | 4.30 | 3.82 | 0.23 | N-6°-W | 14.45 | 40 | 26 | 11・63 | |
| 7 | 33 | 竪穴建物 | 086・290 | 平方四辺形 | 4.18 | 3.86 | 0.24 | N-4°-E | 12.13 | 40 | 27 | 11・12・63 | |
| 7 | 34 | 竪穴建物 | 088・287 | 方形 | (3.20) | (2.48) | 0.22 | N-34°-E | 計測不能 | 43 | 28 | 12・63 | |
| 7 | 35 | 竪穴建物 | 072・281 | 台形 | 3.30 | 3.11 | 0.20 | N-71°-E | 8.88 | 44 | 29 | 12・13・65 | |
| 7-2 | 71 | 竪穴建物 | 077・247 | 方形 | 3.40 | 3.10 | 0.38 | N-71°-W | 8.94 | 45 | 30・32 | 13・14・66 | |
| 7-2 | 72 | 竪穴建物 | 087・261 | 方形 | 3.20 | 3.00 | 0.07 | N-5°-E | 計測不能 | 48 | 33 | 14・65 | |
| 7-2 | 73 | 竪穴建物 | 078・253 | ほぼ正方形 | 3.64 | 3.26 | 0.28 | N-60°-E | 9.58 | 48 | 34・35 | 14・15・65 | |
| 7-2 | 74 | 竪穴建物 | 071・253 | 台形 | 5.03 | 4.57 | 0.31 | N-64°-E | 計測不能 | 50 | 36・37 | 15・65 | |
| 7-2 | 75 | 竪穴建物 | 075・250 | 方形 | 0.33 | (0.21) | 0.24 | 計測不能 | 計測不能 | 52 | 36 | 15 | |
| 7-2 | 100 | 竪穴建物 | 076・272 | 正方形 | 3.45 | 3.43 | 0.34 | N-81°-E | 10.02 | 53 | 38 | 15・16・65 | |
| 7-2 | 101 | 竪穴建物 | 064・273 | 隅丸方形 | 3.45 | 計測不能 | 0.19 | N-22°-W | 計測不能 | 54 | 39 | 16 | |
| 7-2 | 102 | 竪穴建物 | 074・266 | 長方形 | 4.49 | 4.16 | 0.30 | N-14°-E | 14.94 | 57 | 41・42 | 16・17・65 | |
| 7-2 | 103 | 竪穴建物 | 068・263 | 長方形 | 5.17 | 4.55 | 0.25 | N-1°-W | 21.00 | 57 | 43・45 | 17・67 | |
| 7-2 | 104 | 竪穴建物 | 064・269 | 隅丸ほぼ方形 | 3.80 | 3.73 | 0.10 | N-25°-W | 計測不能 | 54 | 39・40 | 16・65 | |
| 8-2 | 76 | 竪穴建物 | 098・191 | 長方形 | 4.97 | 4.75 | 0.20 | N-73°-W | 計測不能 | 63 | 46 | 17・18 | |
| 8-2 | 77 | 竪穴建物 | 095・228 | 不定形 | 4.85 | 4.18 | 0.10 | N-62°-E | 16.47 | 64 | 48 | 18・68 | |
| 8-2 | 105 | 竪穴建物 | 089・229 | 隅丸長方形 | 3.76 | 2.93 | 0.15 | N-76°-E | 8.83 | 65 | 49 | 18 | |
| 8-2 | 106 | 竪穴建物 | 084・227 | 長方形 | 2.95 | (2.61) | 0.17 | N-20°-W | 計測不能 | 66 | 50 | 18・19 | |
| 8-2 | 107 | 竪穴建物 | 085・224 | 方形 | (2.62) | (2.38) | 0.19 | N-74°-E | 計測不能 | 67 | 51 | 19 | |
| 8-2 | 108 | 竪穴建物 | 099・202 | 長方形 | 4.48 | 3.90 | 0.31 | N-18°-E | 計測不能 | 67 | 52 | 19 | |
| 8-2 | 109 | 竪穴建物 | 104・203 | 方形 | 3.07 | (5.08) | 0.18 | N-82°-E | 計測不能 | 69 | 53 | 19 | |
| 8-2 | 110 | 竪穴建物 | 091・208 | 長方形 | 4.45 | (3.29) | 0.09 | N-69°-E | 計測不能 | 69 | 54 | 19・20 | |
| 8-2 | 120 | 竪穴建物 | 095・217 | 長方形 | 3.37 | 2.96 | 0.20 | N-66°-E | 9.03 | 70 | 55・56 | 20・68 | |
| 8-2 | 121 | 竪穴建物 | 101・209 | 正方形 | 4.83 | (3.77) | 0.26 | N-67°-E | 計測不能 | 72 | 57 | 20・21・68 | |
| 8-2 | 122 | 竪穴建物 | 098・221 | 台形 | 2.95 | 2.74 | 0.13 | N-78°-E | 7.15 | 74 | 58 | 21・68 | |
| 9 | 38 | 竪穴建物 | 069・228 | 長方形 | 4.04 | 3.70 | 0.38 | N-63°-E | 10.68 | 75 | 59・61 | 21・22・69 | |
| 9 | 39 | 竪穴建物 | 067・223 | 長方形 | 3.14 | (2.13) | 0.28 | N-23°-E | 計測不能 | 78 | 62・63 | 22・23・69 | |
| 9 | 40 | 竪穴建物 | 066・215 | 正方形 | 3.28 | 3.01 | 0.22 | N-72°-E | 7.44 | 79 | 64・65 | 23・68 | |
| 9 | 41 | 竪穴建物 | 069・218 | 方形 | 3.33 | (2.15) | 0.19 | N-63°-E | 計測不能 | 81 | 66・67 | 23・24・69 | |
| 9 | 42 | 竪穴建物 | 073・215 | 長方形 | 5.61 | 4.93 | 0.48 | N-21°-W | 20.93 | 83 | 68・69 | 24・25・70 | |
| 9 | 43 | 竪穴建物 | 077・210 | 方形 | (3.53) | 3.52 | 0.43 | N-24°-E | 計測不能 | 86 | 70 | 25 | |
| 9 | 44 | 竪穴建物 | 071・224 | 長方形 | 4.18 | 3.33 | 0.42 | N-57°-E | 9.54 | 87 | 71・72 | 25・26・70 | |
| 9 | 45 | 竪穴建物 | 076・212 | 台形 | 3.63 | 3.58 | 0.41 | N-0° | 9.13 | 89 | 73・74 | 26・70 | |
| 9 | 46 | 竪穴建物 | 073・217 | 不明 | 計測不能 | 計測不能 | 0.06 | 計測不能 | 計測不能 | 90 | 75 | 26 | |
| 9 | 54 | 竪穴建物 | 067・220 | 方形 | 計測不能 | 計測不能 | 0.23 | 計測不能 | 計測不能 | 91 | 76 | 26 | |
| 9 | 55 | 竪穴建物 | 075・215 | 方形 | 計測不能 | 計測不能 | 0.23 | 計測不能 | 計測不能 | 91 | 77 | 26 | |
| 9 | 65 | 竪穴建物 | 077・167 | 方形 | 3.58 | (0.96) | 0.29 | N-34°-W | 計測不能 | 92 | 78 | 27・69 | |
| 9 | 66 | 竪穴建物 | 073・181 | 正方形 | 3.51 | (1.94) | 0.25 | N-53°-E | 計測不能 | 93 | 79 | 27・70 | |
| 9 | 67 | 竪穴建物 | 080・171 | 台形 | 3.78 | 2.96 | 0.17 | N-51°-E | 9.16 | 93 | 80 | 27・70 | |
| 10 | 56 | 竪穴建物 | 100・127 | 長方形 | 5.91 | 5.11 | 0.13 | N-90° | 計測不能 | 96 | 81 | 28・71 | |
| 10 | 57 | 竪穴建物 | 108・135 | 長方形 | 4.96 | 3.95 | 0.12 | N-88°-E | 17.86 | 96 | 82・83 | 28・71 | |
| 10 | 58 | 竪穴建物 | 101・142 | 台形 | 3.89 | 1.64 | 0.12 | N-71°-E | 6.68 | 99 | 84 | 28・71 | |
| 10 | 59 | 竪穴建物 | 079・159 | 方形 | 5.61 | (3.72) | 0.33 | N-37°-W | 計測不能 | 100 | 85 | 28・29・71 | |
| 10 | 60 | 竪穴建物 | 110・147 | 不明 | 計測不能 | 計測不能 | 0.04 | 計測不能 | 計測不能 | 104 | 88 | 29・71 | |
| 10 | 68 | 竪穴建物 | 079・159 | 方形 | (4.49) | (2.77) | 0.21 | N-38°-W | 計測不能 | 102 | 86・87 | 28・29・71 | |

竪穴建物一覧表

| 区 | No. | 道構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 面積 (㎡) | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|------|------|------|---------|-------|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|----------|-----------|----|
| 10-2 | 78 | 竪穴建物 | 101・114 | 長方形 | 4.04 | 3.35 | 0.15 | N-18°-W | 11.72 | 104 | 89-90 | 29・71 | |
| 10-2 | 79 | 竪穴建物 | 099・113 | 隅丸長方形 | 2.05 | 1.74 | 0.04 | N-80°-E | 2.94 | 105 | 91 | 29 | |
| 10-2 | 80 | 竪穴建物 | 101・116 | 長方形 | 4.26 | 3.52 | 0.08 | N-16°-W | 計測不能 | 104 | 89-90 | 29・71 | |
| 10-2 | 81 | 竪穴建物 | 098・116 | 方形 | 2.67 | 計測不能 | 0.04 | N-79°-E | 計測不能 | 107 | 92・93 | 29 | |
| 10-2 | 82 | 竪穴建物 | 099・118 | 方形 | (1.88) | (1.41) | 0.35 | N-27°-W | 計測不能 | 107 | 92・93 | 29 | |
| 10-2 | 83 | 竪穴建物 | 098・120 | 長方形 | 3.32 | 2.90 | 0.14 | N-75°-E | 8.63 | 111 | 95 | 30・71 | |
| 10-2 | 84 | 竪穴建物 | 108・116 | 長方形 | 2.85 | 2.68 | 0.06 | N-11°-W | 7.24 | 111 | 96 | 30 | |
| 10-2 | 85 | 竪穴建物 | 115・107 | 長方形 | 3.45 | 3.08 | 0.15 | N-28°-W | 10.26 | 112 | 97-99 | 30・72 | |
| 10-2 | 86 | 竪穴建物 | 110・104 | 隅丸長方形 | 3.74 | 2.81 | 0.20 | N-84°-E | 8.17 | 116 | 100-101 | 31・73 | |
| 10-2 | 87 | 竪穴建物 | 107・104 | 隅丸長方形 | 2.67 | 2.33 | 0.28 | N-10°-W | 4.59 | 116 | 100 | 31・73 | |
| 10-2 | 88 | 竪穴建物 | 104・107 | 長方形 | 4.43 | 4.09 | 0.21 | N-25°-W | 15.95 | 118 | 102 | 31 | |
| 10-2 | 89 | 竪穴建物 | 099・113 | 隅丸長方形 | 5.62 | 4.02 | 0.37 | N-90° | 18.46 | 110 | 92・93 | 29・89 | |
| 10-2 | 90 | 竪穴建物 | 110・094 | 隅丸長方形 | 2.84 | 2.19 | 0.05 | N-18°-E | 4.79 | 120 | 103 | 31 | |
| 10-2 | 91 | 竪穴建物 | 113・089 | 長方形 | 4.59 | 4.35 | 0.35 | N-64°-E | 17.22 | 121 | 104・105 | 31・73 | |
| 10-2 | 92 | 竪穴建物 | 108・091 | 長方形 | 3.47 | 3.36 | 0.10 | N-63°-E | 9.68 | 123 | 106 | 32・73 | |
| 10-2 | 93 | 竪穴建物 | 107・106 | 長方形 | 3.76 | 計測不能 | 0.09 | N-85°-E | 計測不能 | 116 | 100 | 31・73 | |
| 10-2 | 94 | 竪穴建物 | 115・084 | ほぼ正方形 | 2.66 | 2.60 | 0.03 | N-52°-E | 6.42 | 124 | 108 | 32 | |
| 10-2 | 95 | 竪穴建物 | 113・080 | 方形 | (2.90) | (2.77) | 0.06 | N-64°-E | 計測不能 | 125 | 109 | 32 | |
| 10-2 | 96 | 竪穴建物 | 106・087 | 長方形 | 4.76 | 3.72 | 0.05 | N-33°-W | 計測不能 | 124 | 107 | 32 | |
| 10-2 | 97 | 竪穴建物 | 119・072 | 隅丸長方形 | 2.28 | (1.50) | 0.21 | N-27°-W | 計測不能 | 125 | 110 | 32 | |
| 10-2 | 98 | 竪穴建物 | 107・069 | 長方形 | 4.67 | 3.78 | 0.15 | N-13°-W | 15.68 | 126 | 111 | 32・73 | |
| 10-2 | 99 | 竪穴建物 | 099・113 | 隅丸長方形 | 3.17 | 2.59 | 0.08 | N-0° | 計測不能 | 110 | 94 | 30 | |
| 10-2 | 111 | 竪穴建物 | 118・072 | 長方形 | 3.71 | (3.32) | 0.05 | N-32°-W | 計測不能 | 125 | 110 | 32 | |
| 10-2 | 112 | 竪穴建物 | 114・069 | 長方形 | 3.32 | (3.08) | 0.05 | N-26°-W | 計測不能 | 127 | 112 | 32 | |
| 10-2 | 113 | 竪穴建物 | 097・104 | 不定形 | 4.72 | 3.19 | 0.13 | N-90° | 計測不能 | 128 | 113 | 32・73 | |
| 10-2 | 114 | 竪穴建物 | 102・066 | 方形 | 3.21 | 3.08 | 0.02 | N-53°-E | 計測不能 | 130 | 114 | 33 | |
| 10-2 | 115 | 竪穴建物 | 090・088 | 方形 | 3.68 | (3.62) | 0.10 | N-71°-E | 計測不能 | 130 | 115 | 33 | |
| 116 | 竪穴建物 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 117 | 竪穴建物 | 091・100 | 長方形 | 3.93 | 2.80 | 0.09 | N-82°-E | 9.63 | 131 | 116 | 73 | |
| 118 | 竪穴建物 | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 119 | 竪穴建物 | 096・081 | 長方形 | 3.68 | 2.63 | 0.03 | N-26°-W | 計測不能 | 132 | 117 | 33 | |
| 10-2 | 123 | 竪穴建物 | 092・075 | 方形 | 3.71 | (0.65) | 0.01 | N-77°-E | 計測不能 | 133 | 118 | 33 | |
| 11 | 23 | 竪穴建物 | 119・058 | 長方形 | 3.30 | 2.55 | 0.13 | N-70°-E | 7.93 | 134 | 119 | 33 | |
| 11 | 25 | 竪穴建物 | 113・057 | 長方形 | (2.05) | (2.25) | 0.03 | N-76°-E | 計測不能 | 134 | 120 | 33・74 | |
| 11 | 26 | 竪穴建物 | 110・050 | 長方形 | 3.75 | 3.04 | 0.15 | N-66°-E | 10.82 | 135 | 121 | 34 | |
| 11 | 36 | 竪穴建物 | 102・029 | 隅丸長方形 | 4.78 | 4.01 | 0.44 | N-79°-E | 14.66 | 135 | 122-124 | 34・35・74 | |
| 11 | 37 | 竪穴建物 | 100・024 | 方形 | (4.27) | (0.67) | 0.25 | N-77°-E | 計測不能 | 139 | 125 | 35 | |

竪穴道構一覧表

| 区 | No. | 道構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 面積 (㎡) | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|-----|-----|-------|---------|-----|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|----------|-----------|----|
| 11 | 1 | 竪穴状道構 | 117・058 | 方形か | 1.94 | (0.92) | 0.03 | N-78°-E | 計測不能 | 140 | 127 | 36 | |
| 6-2 | 2 | 竪穴状道構 | 069・348 | 不定形 | 2.85 | 2.38 | 0.08 | N-34°-E | 4.37 | 140 | 128 | 36 | |

掘立柱建物一覧表

| 区 | No. | 道構種 | グリッド | 柱間 桁行×梁行 | 桁行 m | 梁行 m | 棟方向 | 主軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|------|-----|-------|---------------------|-------------|-----------|---------|-----|---------|---------|----------|-----------|----|
| 10-2 | 1 | 掘立柱建物 | 117～122・ 076～081 | 3間×4間 | 4.61～4.63 | 4.13 | 南北棟 | N-11°-W | 141 | 129 | 36 | |

柱六列一覧表

| 区 | No. | 道構種 | グリッド | 柱間間隔 m | 主軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|------|-----|-----|---------------------|-----------|---------|---------|----------|-----------|----|
| 10-2 | 1 | 柱六列 | 099～122・ 094～105 | 1.07～2.01 | N-77°-E | 141 | 130 | 36 | |

井戸一覧表

| 区 | No. | 道構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|------|-----|-----|---------------------|-------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|-----------|----------------|
| 6 | 4 | 井戸 | 059～061・ 329～331 | 不整形内形 | 2.37 | 2.19 | (0.60) | N-59°-W | 143 | 131 | 36・75 | |
| 10 | 5 | 井戸 | 088～092・ 131～133 | 円形 | 3.71 | 3.71 | (0.97) | N-0° | 144 | 132 | 36 | |
| 10 | 6 | 井戸 | 101・162 | 楕円形 | 1.82 | 0.89 | (0.85) | N-16°-E | 144 | 132 | 36 | |
| 10 | 7 | 井戸 | 082～086・ 126、127 | 不定形 | 3.52 | 3.45 | (0.68) | N-80°-E | 145 | 132 | 75 | |
| 10-2 | 9 | 井戸 | 098～100・ 062～064 | 楕円形 | 2.00 | (1.75) | 1.49 | N-72°-E | 145 | 133 | 37 | |
| 10-2 | 10 | 井戸 | 088～091・ 084～086 | 不定形 | 2.14 | (1.88) | 0.71 | N-43°-E | 145 | 133 | 37・75 | 118号竪穴建物を井戸に変更 |
| 10-2 | 11 | 井戸 | 087～089・ 091～093 | 不定形 | 1.51 | (1.15) | 0.32 | N-82°-E | 145 | 133 | 37 | 249号土坑を井戸に変更 |

遺構計測一覧表

溝一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 調査長 m | 上軸 m | 残存深 m | 走向 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|------|-----|-----|-----------------------|----------|-----------|----------|-------------------|---------|----------|-----------|----|
| 6 | 17 | 溝 | 070～085・ -327～-338 | 18.6 | 0.62～1.06 | 0.42 | N-35°-E | 148 | 134～136 | 37・75・76 | |
| 10-2 | 18 | 溝① | 107～110・ -109～-114 | 7.16 | 0.44～0.76 | 0.20 | N-80°-E N-6°-W | 152 | 138 | | |
| 10-2 | 18 | 溝② | 101～106・ -119～-123 | 6.43 | 0.48～0.54 | 0.18 | N-46°-E | 152 | 138 | | |
| 10-2 | 19 | 溝 | 091～088・ -087～-090 | 7.50 | 0.84～0.36 | 0.26 | N-21°-W | 152 | 138 | | |
| 10-2 | 20A | 溝 | 094～117・ -074～-083 | 25.22 | 0.34～0.70 | 0.20 | N-21°-E | 152 | 139 | 38 | |
| 10-2 | 20B | 溝 | 104～107・ -103～-104 | 3.08 | 0.59～0.98 | 0.16 | N-18°-W | 152 | 138 | | |
| 6 | 21 | 溝 | 064～066・ -310～-321 | 11.8 | 0.67～1.00 | 0.20 | N-79°-E | 151 | 137 | 37・38・77 | |

鍛冶間連虎棄土坑一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|-----|----|-------|---------|------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|-----------|----|
| 7-2 | 1 | 廢棄土坑A | 082・275 | 楕円形 | 0.58 | 0.46 | 0.18 | N-75°-W | 154 | 140・141 | 38・77 | |
| 7-2 | 1 | 廢棄土坑B | 082・274 | 隅丸方形 | 1.10 | 0.92 | 0.34 | N-87°-E | 154 | 140・141 | 38・77 | |

土坑一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 遺物園 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|---|-----|-----|---------|-------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|-----------|-----------|----|
| 6 | 66 | 土坑 | 063・304 | 隅丸長方形 | 1.43 | 0.90 | 0.29 | N-8°-W | 158 | 146 | | 43 | |
| 6 | 67 | 土坑 | 062・305 | 円形 | 1.00 | 0.94 | 0.27 | N-1°-W | 158 | 142 | | 39 | |
| 6 | 68 | 土坑 | 060・304 | 不定形 | 1.12 | 1.00 | 0.34 | N-48°-W | 158 | 147 | | 44 | |
| 6 | 69 | 土坑 | 058・307 | 隅丸方形 | 1.32 | 1.26 | 0.18 | N-65°-W | 158 | 145 | 151 | 42・80 | |
| 6 | 70 | 土坑 | 055・308 | 円形 | 0.88 | 0.84 | 0.33 | N-2°-W | 158 | 142 | | 39 | |
| 6 | 71 | 土坑 | 056・311 | 不定形 | 0.98 | 0.73 | 0.09 | N-77°-E | 158 | 147 | | 44 | |
| 6 | 72 | 土坑 | 056・315 | 円形 | 0.99 | 0.96 | 0.38 | N-82°-E | 158 | 142 | | 39 | |
| 6 | 73 | 土坑 | 062・307 | 隅丸長方形 | 2.07 | 0.98 | 0.33 | N-12°-W | 158 | 147 | | 43 | |
| 6 | 76 | 土坑 | 065・310 | 円形 | 1.46 | 1.30 | 0.69 | N-86°-W | 158 | 143 | 148 | 40・78 | |
| 6 | 77 | 土坑 | 064・308 | 楕円形 | 1.15 | 0.88 | 0.32 | N-69°-E | 158 | 143 | | 40・41 | |
| 6 | 78 | 土坑 | 064・313 | 隅丸方形 | 1.17 | 1.16 | 0.25 | N-14°-W | 158 | 145 | | 41・42 | |
| 6 | 79 | 土坑 | 060・304 | 隅丸方形 | 1.04 | 0.68 | 0.12 | N-77°-E | 158 | 146 | | 42 | |
| 6 | 80 | 土坑 | 063・307 | 隅丸方形 | 1.34 | (0.79) | 0.28 | N-9°-W | 158 | 145 | | 42 | |
| 6 | 81 | 土坑 | 058・348 | 楕円形 | 2.05 | 1.10 | 0.21 | N-17°-E | 158 | 144 | 149 | 41・80 | |
| 6 | 82 | 土坑 | 064・314 | 隅丸方形 | 1.52 | 1.46 | 0.34 | N-80°-E | 158 | 145 | 151 | 42・81 | |
| 6 | 83 | 土坑 | 064・329 | 隅丸長方形 | 1.95 | 1.15 | 0.49 | N-62°-E | 158 | 147 | 152 | 43・82 | |
| 6 | 84 | 土坑 | 063・332 | 楕円形 | 1.71 | 1.58 | 0.31 | N-57°-W | 158 | 143 | 149 | 40・79 | |
| 6 | 85 | 土坑 | 061・338 | 楕円形 | 1.97 | 1.56 | 0.36 | N-84°-E | 158 | 144 | | 41 | |
| 6 | 86 | 土坑 | 052・332 | 隅丸長方形 | (1.31) | 0.90 | 0.09 | N-8°-W | 158 | 146 | | 43 | |
| 6 | 87 | 土坑 | 051・337 | 楕円形 | 1.47 | 1.12 | 0.17 | N-46°-E | 158 | 143 | | 41 | |
| 6 | 88 | 土坑 | 060・304 | 隅丸長方形 | 1.27 | 0.85 | 0.30 | N-80°-E | 158 | 146 | | 42 | |
| 6 | 89 | 土坑 | 063・316 | 楕円形 | 3.17 | 1.42 | 0.34 | N-71°-E | 158 | 144 | 150 | 41・80 | |
| 6 | 90 | 土坑 | 063・327 | 隅丸方形 | 1.48 | 1.37 | 0.36 | N-90° | 158 | 145 | 151 | 42・81 | |
| 6 | 91 | 土坑 | 066・333 | 楕円形 | 1.76 | 1.36 | 0.43 | N-64°-W | 158 | 144 | 149 | 41・79 | |
| 6 | 92 | 土坑 | 065・335 | 楕円形 | 1.50 | 0.84 | 0.32 | N-69°-E | 158 | 143 | | 41 | |
| 6 | 93 | 土坑 | 063・337 | 隅丸方形 | 1.22 | 0.83 | 0.28 | N-72°-E | 158 | 146 | | 42 | |
| 6 | 94 | 土坑 | 061・336 | 隅丸長方形 | 2.43 | 1.51 | 0.25 | N-73°-E | 158 | 147 | 152 | 43・82 | |
| 6 | 95 | 土坑 | 067・331 | 楕円形 | 1.60 | 1.27 | 0.40 | N-78°-E | 158 | 143 | 149 | 41・79 | |
| 6 | 96 | 土坑 | 063・340 | 円形 | 1.05 | 0.89 | 0.14 | N-90° | 158 | 142 | | 39 | |
| 6 | 100 | 土坑 | 056・327 | 楕円形 | 1.13 | 0.67 | 0.12 | N-2°-W | 158 | 143 | 149 | 40・79 | |
| 6 | 101 | 土坑 | 065・307 | 隅丸長方形 | 1.57 | 1.00 | 0.23 | N-65°-E | 158 | 146 | | 43 | |
| 6 | 102 | 土坑 | 052・323 | 隅丸方形 | 0.92 | (0.63) | 0.34 | N-9°-W | 158 | 144 | 150 | 41・80 | |
| 6 | 103 | 土坑 | 062・319 | 隅丸長方形 | 1.45 | 1.01 | 0.42 | N-54°-E | 158 | 146 | 152 | 43・81 | |
| 6 | 104 | 土坑 | 051・336 | 隅丸方形 | 1.38 | (0.69) | 0.30 | N-79°-E | 158 | 145 | 151 | 42・81 | |
| 6 | 119 | 土坑 | 077・310 | 隅丸長方形 | (0.53) | 0.44 | 0.13 | N-22°-W | 158 | 146 | 151 | 42・81 | |
| 6 | 121 | 土坑 | 076・343 | 楕円形 | (1.83) | 1.10 | 0.58 | N-86°-E | 158 | 144 | | 41 | |
| 6 | 122 | 土坑 | 084・313 | 円形 | 0.77 | 0.73 | 0.23 | N-19°-W | 158 | 142 | | 39 | |
| 6 | 126 | 土坑 | 077・340 | 楕円形 | (1.20) | (0.68) | 0.36 | N-90° | 158 | 143 | | | |
| 6 | 128 | 土坑 | 064・323 | 隅丸方形 | 1.94 | 1.74 | 0.23 | N-87°-E | 158 | 145 | | | |
| 6 | 129 | 土坑 | 073・326 | 隅丸方形 | 0.74 | (0.50) | 0.24 | N-84°-E | 158 | 144 | | | |
| 6 | 130 | 土坑 | 074・324 | 隅丸方形 | 1.06 | 0.92 | 0.12 | N-90° | 158 | 145 | | | |
| 6 | 131 | 土坑 | 077・324 | 隅丸長方形 | 1.06 | 0.57 | 0.09 | N-90° | 158 | 146 | | | |
| 6 | 132 | 土坑 | 074・321 | 楕円形 | 1.11 | 0.64 | 0.07 | N-31°-W | 158 | 143 | | | |
| 6 | 133 | 土坑 | 076・319 | 隅丸長方形 | 1.12 | 0.71 | 0.24 | N-2°-E | 158 | 146 | | | |
| 6 | 134 | 土坑 | 071・335 | 隅丸方形 | 1.92 | 1.50 | 0.46 | N-24°-E | 158 | 145 | | | |

土坑一覽表

| 区 | № | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 神回 番号 | 遺物回 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|-----|-----|-----|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|-----------|-----------|----|
| 6 | 135 | 土坑 | 079・330 | 楕円形 | 1.32 | 0.74 | 0.24 | N-90° | 158 | 143 | 149 | 79 | |
| 6 | 136 | 土坑 | 079・306 | 楕円形 | (1.68) | 1.07 | 0.58 | N-87°-E | 158 | 144 | | | |
| 6 | 137 | 土坑 | 071・322 | 楕丸長方形 | 2.03 | 0.95 | 0.22 | N-87°-E | 158 | 147 | | | |
| 6 | 138 | 土坑 | 078・322 | 円形 | 1.06 | 0.90 | 0.39 | N-71°-E | 158 | 142 | | | |
| 6-2 | 140 | 土坑 | 073・347 | 楕丸長方形 | 2.25 | 0.61 | 0.62 | N-87°-W | 158 | 147 | 152 | 43-82 | |
| 6-2 | 141 | 土坑 | 081・360 | 楕丸長方形 | 1.26 | 0.71 | 0.13 | N-2°-E | 158 | 146 | 151 | 42-81 | |
| 6-2 | 142 | 土坑 | 076・355 | 円形 | 0.73 | 0.62 | 0.32 | N-20°-E | 158 | 142 | | 39 | |
| 6-2 | 143 | 土坑 | 064・347 | 円形 | 1.09 | 1.07 | 0.28 | N-83°-E | 158 | 142 | 148 | 39-78 | 埋桶 |
| 6-2 | 144 | 土坑 | 060・355 | 円形 | 1.33 | 1.18 | 0.50 | N-11°-W | 158 | 142 | | 40 | |
| 6-2 | 145 | 土坑 | 066・359 | 円形 | 1.53 | 1.51 | 0.61 | N-30°-W | 158 | 143 | 148 | 40-79 | |
| 6-2 | 146 | 土坑 | 065・349 | 楕丸長方形 | 1.64 | 0.82 | 0.35 | N-2°-E | 158 | 147 | | 43 | |
| 6-2 | 147 | 土坑 | 064・350 | 円形 | 0.82 | 0.78 | 0.25 | N-6°-W | 158 | 142 | | 39 | |
| 6-2 | 148 | 土坑 | 061・345 | 円形 | 1.42 | 1.23 | 0.54 | N-30°-E | 158 | 142 | 148 | 40-78 | |
| 6-2 | 149 | 土坑 | 061・346 | 円形 | 1.09 | (0.74) | 0.33 | N-35°-E | 158 | 142 | | 40 | 埋桶 |
| 7 | 52 | 土坑 | 062・280 | 円形 | 1.77 | 1.65 | 0.40 | N-11°-W | 171 | 153 | | 44 | |
| 7 | 53 | 土坑 | 064・277 | 円形 | 0.93 | 0.83 | 0.41 | N-43°-E | 171 | 153 | | 44 | |
| 7 | 54 | 土坑 | 075・289 | 楕丸長方形 | 1.73 | 1.09 | 0.48 | N-11°-W | 171 | 155 | 156 | 46-82 | |
| 7 | 55 | 土坑 | 077・287 | 円形 | 1.44 | 1.32 | 0.24 | N-47°-E | 171 | 153 | | 44 | |
| 7 | 56 | 土坑 | 082・288 | 楕丸長方形 | 2.28 | 1.58 | 0.27 | N-73°-E | 171 | 155 | 156 | 46-82 | |
| 7 | 57 | 土坑 | 083・286 | 不定形 | 1.26 | 1.19 | 0.23 | N-65°-E | 171 | 155 | 156 | 46-83 | |
| 7 | 58 | 土坑 | 088・299 | 楕丸長方形 | (0.84) | 0.64 | 0.26 | N-3°-E | 171 | 155 | | 46 | |
| 7 | 59 | 土坑 | 089・297 | 楕丸長方形 | 0.63 | 0.43 | 0.20 | N-7°-W | 171 | 155 | | 46 | |
| 7 | 60 | 土坑 | 085・283 | 楕丸長方形 | 2.22 | 0.96 | 0.39 | N-76°-E | 171 | 155 | | 46 | |
| 7 | 61 | 土坑 | 062・295 | 楕丸長方形 | 1.06 | (0.70) | 0.16 | N-5°-W | 171 | 154 | | 45 | |
| 7 | 62 | 土坑 | 066・281 | 楕円形 | 1.85 | 1.32 | 0.40 | N-38°-W | 171 | 154 | | 45 | |
| 7 | 63 | 土坑 | 069・279 | 円形 | 1.66 | 1.63 | 0.31 | N-0° | 171 | 153 | | 44 | |
| 7 | 64 | 土坑 | 060・281 | 楕円形 | 2.83 | (0.78) | 0.36 | N-75°-E | 171 | 154 | | 45 | |
| 7-2 | 150 | 土坑 | 085・255 | 楕丸長方形 | 1.13 | 1.10 | 0.46 | N-78°-E | 171 | 154 | 156 | 45-46-82 | |
| 7-2 | 151 | 土坑 | 088・260 | 楕円形 | 2.72 | 1.24 | 0.51 | N-5°-E | 171 | 154 | | 45 | |
| 7-2 | 152 | 土坑 | 081・254 | 楕円形 | 1.32 | 1.08 | 0.11 | N-35°-W | 171 | 154 | | 45 | |
| 7-2 | 153 | 土坑 | 079・256 | 楕円形 | 1.68 | 0.79 | 0.11 | N-45°-E | 171 | 154 | | 45 | |
| 7-2 | 154 | 土坑 | 086・257 | 楕円形 | 0.67 | 0.54 | 0.09 | N-30°-W | 171 | 154 | | 45 | |
| 7-2 | 178 | 土坑 | 068・268 | 円形 | 1.09 | 1.07 | 0.50 | N-18°-W | 171 | 153 | 156 | 44-82 | 埋桶 |
| 7-2 | 179 | 土坑 | 068・267 | 円形 | 1.02 | (0.99) | 0.40 | N-74°-E | 171 | 153 | 156 | 44-82 | 埋桶 |
| 7-2 | 202 | 土坑 | 067・273 | 楕丸長方形 | 1.11 | — | 0.28 | N-49°-E | 171 | 155 | | | |
| 7-2 | 203 | 土坑 | 066・274 | 楕丸長方形 | — | 0.73 | 0.24 | — | 171 | 155 | | | |
| 7-2 | 204 | 土坑 | 078・272 | 楕丸長方形 | 1.47 | 1.25 | 0.33 | N-10°-W | 171 | 154 | | 46 | |
| 7-2 | 206 | 土坑 | 082・274 | 楕丸長方形(帯状) | 3.61 | 0.80 | 0.21 | N-5°-E | 171 | 155 | | 47 | |
| 8-2 | 226 | 土坑 | 082・234 | 楕円形 | 0.76 | 0.58 | 0.22 | N-13°-E | 175 | 157 | | 47 | |
| 8-2 | 227 | 土坑 | 083・235 | 円形 | 0.68 | 0.68 | 0.24 | N-0° | 175 | 157 | | 47 | |
| 8-2 | 228 | 土坑 | 088・234 | 楕円形 | 0.77 | 0.62 | 0.21 | N-68°-W | 175 | 157 | | 47 | |
| 8-2 | 229 | 土坑 | 091・228 | 楕円形 | 0.65 | 0.44 | 0.21 | N-5°-W | 175 | 157 | | 47 | |
| 8-2 | 230 | 土坑 | 092・227 | 円形 | (0.86) | (0.74) | 0.14 | N-64°-W | 175 | 157 | 158 | 47 | |
| 8-2 | 231 | 土坑 | 088・232 | 円形 | 0.83 | 0.81 | 0.41 | N-61°-E | 175 | 157 | 158 | 47 | |
| 8-2 | 250 | 土坑 | 092・227 | 円形 | 0.50 | 0.49 | 0.39 | N-21°-W | 175 | 157 | | 47 | |
| 8-2 | 251 | 土坑 | 093・226 | 楕円形 | 0.69 | 0.56 | 0.52 | N-25°-E | 175 | 157 | | 47 | |
| 9 | 74 | 土坑 | 067・229 | 円形 | 0.87 | 0.84 | 0.26 | N-0° | 176 | 159 | | 47 | |
| 9 | 75 | 土坑 | 069・226 | 円形 | 0.92 | 0.89 | 0.32 | N-0° | 176 | 159 | | 48 | |
| 9 | 97 | 土坑 | 090・185 | 円形 | (0.61) | 0.55 | 0.19 | N-20°-W | 176 | 159 | | 47 | |
| 9 | 98 | 土坑 | 079・196 | 楕円形 | 0.94 | 0.41 | 0.10 | N-62°-E | 176 | 160 | | 48 | |
| 9 | 99 | 土坑 | 076・196 | 楕円形 | 0.56 | 0.44 | 0.21 | N-87°-E | 176 | 160 | | 48 | |
| 9 | 105 | 土坑 | 069・228 | 円形 | 0.47 | 0.43 | 0.32 | N-68°-E | 176 | 159 | | 47 | |
| 9 | 106 | 土坑 | 068・214 | 円形 | 1.52 | (0.93) | 0.21 | N-55°-W | 176 | 160 | | 48 | |
| 9 | 114 | 土坑 | 078・190 | 円形 | 0.97 | 0.87 | 0.19 | N-72°-E | 176 | 159 | | 48 | |
| 9 | 118 | 土坑 | 069・221 | 楕丸長方形 | 1.14 | (0.24) | 0.23 | N-32°-W | 176 | 160 | | 48 | |
| 9 | 120 | 土坑 | 076・216 | 楕丸長方形 | 1.62 | 1.02 | 0.27 | N-8°-W | 176 | 160 | | 49 | |
| 9 | 123 | 土坑 | 077・187 | 不定形 | 1.04 | 0.91 | 0.22 | N-31°-E | 176 | 160 | | 49 | |
| 9 | 124 | 土坑 | 079・179 | 円形 | 0.62 | 0.62 | 0.14 | N-0° | 176 | 159 | | 47 | |
| 9 | 125 | 土坑 | 074・183 | 円形 | 0.86 | 0.84 | 0.22 | N-0° | 176 | 159 | | 47 | |
| 9 | 127 | 土坑 | 077・191 | 楕円形 | 1.03 | 0.73 | 0.28 | N-20°-E | 176 | 160 | | 48 | |
| 9 | 139 | 土坑 | 077・190 | 楕円形 | 0.88 | 0.73 | 0.41 | N-68°-E | 176 | 160 | | 48 | |
| 10 | 109 | 土坑 | 102・128 | 楕円形 | 1.65 | 0.88 | 0.26 | N-90° | 178 | 167 | | | |
| 10 | 110 | 土坑 | 102・134 | 円形 | 0.85 | 0.76 | 0.33 | N-24°-W | 178 | 163 | | | |
| 10 | 111 | 土坑 | 081・145 | 楕円形 | 1.59 | 0.98 | 0.44 | N-69°-E | 178 | 167 | | 54 | |
| 10 | 112 | 土坑 | 108・153 | 楕円形 | 1.22 | 0.69 | 0.20 | N-55°-E | 178 | 166 | | 53 | |
| 10 | 113 | 土坑 | 090・157 | 楕円形 | 2.75 | 0.99 | 0.35 | N-15°-E | 178 | 167 | | 54 | |
| 10 | 115 | 土坑 | 092・145 | 楕丸長方形 | 1.38 | 1.08 | 0.16 | N-16°-W | 178 | 168 | | 54 | |
| 10 | 116 | 土坑 | 094・157 | 楕円形 | 0.87 | 0.62 | 0.15 | N-21°-W | 178 | 166 | | 53 | |

遺構計測一覧表

土坑一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 神回 番号 | 遺物回 番号 | 写真 PL | 備考 |
|----|-----|------|---------|---------|----------|---------|-----------|---------|---------|----------|-----------|----------|----------|
| 10 | 117 | 土坑 | 105・156 | 楕円方形 | 1.20 | 0.82 | 0.32 | N-51°-E | 178 | 168 | | | |
| 10 | 2 | 155 | 土坑 | 112・120 | 楕円形 | 1.01 | 0.51 | 0.29 | N-20°-E | 178 | 166 | | 54 |
| 10 | 2 | 156 | 土坑 | 116・116 | 楕円形 | — | 0.43 | 0.16 | — | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 157 | 土坑 | 116・117 | 楕円形 | — | 0.57 | 0.21 | — | 178 | 165 | | 53 |
| 10 | 2 | 158 | 土坑 | 115・116 | 楕円形 | 0.77 | 0.53 | 0.24 | N-15°-W | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 159 | 土坑 | 114・113 | 楕円形 | 0.98 | 0.63 | 0.31 | N-55°-E | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 160 | 土坑 | 112・116 | 円形 | 0.53 | 0.52 | 0.20 | N-2°-W | 178 | 161 | | 49 |
| 10 | 2 | 161 | 土坑 | 112・109 | 円形 | 0.57 | 0.53 | 0.08 | N-68°-E | 178 | 161 | | 49 |
| 10 | 2 | 162 | 土坑 | 113・105 | 円形 | 1.10 | 1.03 | 0.07 | N-52°-E | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 163 | 土坑 | 112・104 | 楕円形 | 1.34 | 0.65 | 0.27 | N-25°-W | 178 | 167 | | 54 |
| 10 | 2 | 164 | 土坑 | 116・104 | 円形 | 0.61 | 0.58 | 0.16 | N-34°-E | 178 | 162 | | 49 |
| 10 | 2 | 165 | 土坑 | 114・103 | 円形 | 0.75 | 0.67 | 0.10 | N-22°-E | 178 | 162 | | 50 |
| 10 | 2 | 166 | 土坑 | 109・101 | 円形 | 0.94 | 0.88 | 0.11 | N-62°-E | 178 | 162 | | 51 |
| 10 | 2 | 167 | 土坑 | 112・102 | 円形 | 1.23 | 1.13 | 0.23 | N-76°-W | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 168 | 土坑 | 118・100 | 円形 | 0.64 | 0.59 | 0.24 | N-45°-E | 178 | 162 | | 49 |
| 10 | 2 | 169 | 土坑 | 113・098 | 円形 | 1.16 | 1.05 | 0.46 | N-10°-W | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 170 | 土坑 | 112・100 | 円形 | 1.09 | 1.09 | 0.13 | N-0° | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 171 | 土坑 | 112・099 | 楕円形 | 1.15 | 0.79 | 0.29 | N-32°-W | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 172 | 土坑 | 112・099 | 不定形 | — | 1.08 | 0.13 | N-59°-W | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 173 | 土坑 | 111・099 | 円形 | 0.60 | 0.53 | 0.07 | N-45°-E | 178 | 162 | | 49 |
| 10 | 2 | 174 | 土坑 | 108・101 | 楕円形 | 0.79 | 0.59 | 0.12 | N-43°-E | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 175 | 土坑 | 108・100 | 楕円方形 | 0.56 | 0.47 | 0.11 | N-33°-W | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 176 | 土坑 | 109・098 | 円形 | 1.07 | 1.07 | 0.39 | N-0° | 178 | 164 | | 51 |
| 10 | 2 | 180 | 土坑 | 109・108 | 楕円形 | 1.35 | 0.78 | 0.17 | N-75°-E | 178 | 167 | 171 | 54 |
| 10 | 2 | 181 | 土坑 | 108・108 | 円形 | 0.65 | 0.60 | 0.20 | N-70°-W | 178 | 162 | 171 | 49・50・83 |
| 10 | 2 | 182 | 土坑 | 106・114 | 円形 | 0.77 | 0.68 | 0.19 | N-10°-W | 178 | 163 | | 50 |
| 10 | 2 | 183 | 土坑 | 106・113 | 円形 | 0.75 | 0.72 | 0.20 | N-41°-E | 178 | 162 | | 50 |
| 10 | 2 | 184 | 土坑 | 105・113 | 円形 | 0.72 | 0.56 | 0.21 | N-28°-W | 178 | 162 | | 50 |
| 10 | 2 | 185 | 土坑 | 113・097 | 円形 | 1.13 | 1.11 | 0.17 | N-51°-E | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 186 | 土坑 | 114・096 | 円形 | 0.97 | 0.89 | 0.15 | N-65°-W | 178 | 163 | | 51 |
| 10 | 2 | 187 | 土坑 | 114・094 | 円形 | 1.07 | 0.95 | 0.26 | N-85°-W | 178 | 164 | | 51 |
| 10 | 2 | 188 | 土坑 | 114・092 | 円形 | 1.05 | 0.93 | 0.40 | N-12°-E | 178 | 164 | 171 | 51 |
| 10 | 2 | 189 | 土坑 | 110・097 | 円形 | 1.25 | 1.24 | 0.27 | N-5°-E | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 190 | 土坑 | 108・096 | 円形 | 0.75 | 0.70 | 0.18 | N-12°-E | 178 | 163 | | 50 |
| 10 | 2 | 191 | 土坑 | 109・094 | 楕円形 | 1.23 | 0.69 | 0.14 | N-25°-E | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 192 | 土坑 | 109・094 | 不定形 | 0.49 | 0.39 | 0.25 | N-10°-E | 178 | 169 | | 52 |
| 10 | 2 | 193 | 土坑 | 110・092 | 円形 | 0.69 | 0.67 | 0.16 | N-1°-E | 178 | 162 | | 50 |
| 10 | 2 | 194 | 土坑 | 110・115 | 不定形 | 1.34 | 0.93 | 0.42 | N-46°-W | 178 | 169 | | 55 |
| 10 | 2 | 195 | 土坑 | 105・106 | 円形 | 0.59 | 0.52 | 0.44 | N-37°-W | 178 | 161 | | 49 |
| 10 | 2 | 196 | 土坑 | 103・107 | 楕円形 | 1.29 | 0.61 | 0.53 | N-13°-W | 178 | 166 | | 54 |
| 10 | 2 | 197 | 土坑 | 104・105 | 円形 | 0.62 | 0.60 | 0.58 | N-7°-E | 178 | 162 | | 49 |
| 10 | 2 | 198 | 土坑 | 104・105 | 円形 | 0.57 | 0.53 | 0.35 | N-57°-W | 178 | 161 | | 49 |
| 10 | 2 | 199 | 土坑 | 103・104 | 円形 | 0.81 | 0.68 | 0.34 | N-80°-W | 178 | 163 | | 50 |
| 10 | 2 | 200 | 土坑 | 102・105 | 円形 | 0.80 | 0.74 | 0.45 | N-86°-E | 178 | 169 | | 55 |
| 10 | 2 | 201 | 土坑 | 116・101 | 円形 | 1.24 | 1.19 | 0.19 | N-84°-W | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 205 | 土坑 | 099・100 | 楕円方形 | 0.94 | (0.47) | 0.17 | N-10°-W | 178 | 168 | | 83号惣六建物 |
| 10 | 2 | 207 | 土坑 | 108・108 | 円形 | 0.67 | 0.41 | 0.26 | N-25°-W | 178 | 165 | | |
| 10 | 2 | 208A | 土坑 | 121・076 | 楕円方形 | 0.77 | 0.54 | 0.10 | N-50°-E | 178 | 168 | | |
| 10 | 2 | 208B | 土坑 | 108・107 | 楕円形 | 1.23 | 1.01 | 0.21 | N-88°-E | 178 | 167 | 171 | |
| 10 | 2 | 209 | 土坑 | 113・075 | 楕円方形 | — | 0.61 | 0.17 | — | 178 | 168 | | 54 |
| 10 | 2 | 210 | 土坑 | 112・076 | 楕円方形 | 0.69 | 0.67 | 0.14 | N-87°-E | 178 | 168 | | 54 |
| 10 | 2 | 211A | 土坑 | 116・078 | 楕円方形(帯状) | 3.45 | 0.74 | 0.32 | N-21°-W | 178 | 168 | | |
| 10 | 2 | 211B | 土坑 | 109・079 | 不定形 | 4.48 | 0.93 | 0.28 | N-10°-W | 178 | 170 | | 55 |
| 10 | 2 | 212 | 土坑 | 112・071 | 円形 | 1.08 | 0.95 | 0.10 | N-90° | 178 | 164 | | 52 |
| 10 | 2 | 213 | 土坑 | 107・084 | 円形 | 1.08 | 1.04 | 0.53 | N-48°-W | 178 | 164 | | 51 |
| 10 | 2 | 214 | 土坑 | 110・081 | 不定形 | 1.97 | 1.01 | 0.66 | N-46°-W | 178 | 169 | | 55 |
| 10 | 2 | 215 | 土坑 | 099・085 | 楕円方形 | 0.57 | 0.54 | 0.09 | N-1°-W | 178 | 168 | | 54 |
| 10 | 2 | 216 | 土坑 | 108・091 | 円形 | 1.07 | 0.97 | 0.23 | N-5°-W | 178 | 164 | | 51 |
| 10 | 2 | 217 | 土坑 | 106・090 | 円形 | 1.24 | 1.21 | 0.14 | N-22°-W | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 218 | 土坑 | 113・073 | 楕円形 | 1.16 | 0.73 | 0.27 | N-76°-E | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 219 | 土坑 | 094・089 | 円形 | 0.71 | 0.66 | 0.13 | N-33°-W | 178 | 162 | | 50 |
| 10 | 2 | 220 | 土坑 | 092・089 | 円形 | 1.05 | 0.92 | 0.26 | N-26°-W | 178 | 164 | 171 | 51・83 |
| 10 | 2 | 221 | 土坑 | 091・092 | 楕円形 | 0.73 | 0.53 | 0.24 | N-60°-E | 178 | 165 | | 52 |
| 10 | 2 | 222 | 土坑 | 090・092 | 円形 | 0.81 | 0.70 | 0.16 | N-82°-W | 178 | 163 | | 50 |
| 10 | 2 | 223 | 土坑 | 093・096 | 円形 | 0.81 | 0.81 | 0.26 | N-0° | 178 | 163 | | 51 |
| 10 | 2 | 224 | 土坑 | 095・089 | 楕円形 | 0.82 | 0.55 | 0.08 | N-63°-E | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 225 | 土坑 | 092・096 | 楕円形 | 1.16 | 0.44 | 0.34 | N-3°-W | 178 | 166 | | 53 |
| 10 | 2 | 232 | 土坑 | 088・102 | 楕円形 | 2.18 | 0.75 | 0.53 | N-27°-E | 178 | 167 | | 54 |

土坑一覧表

| 区 | № | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 遺構回 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|------|-----|-----|---------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|-----------|-----------|-----------------|
| 10-2 | 233 | 土坑 | 121・075 | 不定形 | 3.12 | 0.77 | 0.83 | N-20°-W | 178 | 170 | | 55 | |
| 10-2 | 234 | 土坑 | 104・088 | 円形 | 1.16 | 1.00 | 0.17 | N-35°-W | 178 | 165 | | 52 | |
| 10-2 | 235 | 土坑 | 104・089 | 楕円形 | 0.75 | (0.65) | 0.10 | N=7°-W | 178 | 166 | | 53 | |
| 10-2 | 236 | 土坑 | 096・104 | 円形 | 0.83 | 0.81 | 0.09 | N-78°-E | 178 | 163 | | 51 | |
| 10-2 | 237 | 土坑 | 097・103 | 楕円形 | 1.58 | 1.31 | 0.12 | N-38°-E | 178 | 170 | | 55 | |
| 10-2 | 239 | 土坑 | 116・081 | 楕丸方形(帯状) | 4.70 | 0.93 | 0.26 | N-21°-W | 178 | 169 | | 55 | |
| 10-2 | 240 | 土坑 | 117・083 | 楕丸方形(帯状) | (2.40) | 0.91 | 0.22 | N-31°-W | 178 | 169 | | 55 | |
| 10-2 | 241 | 土坑 | 116・083 | 楕丸方形(帯状) | (1.71) | 0.73 | 0.17 | N-27°-W | 178 | 169 | | 55 | |
| 10-2 | 242 | 土坑 | 107・069 | 楕円形 | 0.78 | 0.60 | 0.15 | N-69°-E | 178 | 166 | | 53 | |
| 10-2 | 243 | 土坑 | 101・009 | 円形 | 1.47 | 1.42 | 0.16 | N-62°-E | 178 | 165 | | 52 | |
| 10-2 | 244 | 土坑 | 099・066 | 円形 | (1.03) | (0.65) | 0.67 | N-20°-W | 178 | 163 | | 53 | |
| 10-2 | 245 | 土坑 | 107・087 | 円形 | 0.65 | 0.61 | 0.15 | N=4°-E | 178 | 162 | | 50 | |
| 10-2 | 246 | 土坑 | 111・094 | 円形 | 0.96 | 0.95 | 0.38 | N-80°-E | 178 | 163 | | 53 | |
| 10-2 | 247 | 土坑 | 111・095 | 円形 | 1.16 | 1.13 | 0.19 | N-45°-W | 178 | 163 | | 53 | |
| 10-2 | 248 | 土坑 | 115・085 | 円形 | 0.65 | 0.62 | 0.16 | N-77°-E | 178 | 162 | | 50 | |
| 10-2 | 249 | 土坑 | 108・084 | 円形 | 1.64 | 1.44 | 0.63 | N-45°-W | 178 | 164 | | 51 | 249号土坑を変更 |
| 10-2 | 252 | 土坑 | 103・078 | 円形 | 0.64 | 0.62 | 0.11 | N-19°-E | 178 | 162 | | 49 | |
| 10-2 | 253 | 土坑 | 096・081 | 不定形 | 2.16 | 1.20 | 0.13 | N-65°-W | 178 | 170 | | 55 | |
| 10-2 | 254 | 土坑 | 094・083 | 楕円形 | (1.31) | 1.14 | 0.17 | N-30°-W | 178 | 167 | | 54 | |
| 10-2 | 255 | 土坑 | 100・079 | 円形 | 0.78 | 0.71 | 0.10 | N-14°-E | 178 | 163 | | 50 | |
| 10-2 | 256 | 土坑 | 123・075 | 円形 | 0.58 | 0.50 | 0.15 | N=7°-E | 178 | 161 | | 49 | |
| 10-2 | 257 | 土坑 | 090・116 | 円形 | 0.87 | 0.79 | 0.29 | N-89°-E | 178 | 163 | | 51 | |
| 10-2 | 258 | 土坑 | 091・118 | 円形 | 1.04 | 0.95 | 0.31 | N-85°-W | 178 | 163 | | 51 | |
| 10-2 | 259 | 土坑 | 093・117 | 円形 | 0.70 | 0.70 | 0.11 | N=0° | 178 | 162 | | 51 | |
| 10-2 | 260 | 土坑 | 094・119 | 円形 | 0.85 | 0.75 | 0.22 | N=9°-W | 178 | 163 | | 51 | |
| 10-2 | 261 | 土坑 | 093・118 | 楕丸方形 | 1.93 | 1.69 | 0.29 | N-80°-E | 178 | 170 | | 55 | |
| 10-2 | 262 | 土坑 | 096・119 | 楕円形 | 0.90 | 0.73 | 0.18 | N-90° | 178 | 166 | | 53 | |
| 10-2 | 263 | 土坑 | 086・107 | 楕丸方形(帯状) | (1.14) | 0.55 | 0.31 | N-47°-E | 178 | 168 | | 55 | |
| 10-2 | 264 | 土坑 | 104・070 | 楕円形 | 1.01 | 0.48 | 0.10 | N-74°-E | 178 | 166 | 171 | 53 | |
| 10-2 | 265 | 土坑 | 106・074 | 円形 | 0.66 | 0.60 | 0.06 | N-21°-W | 178 | 162 | | 50 | |
| 10-2 | 266 | 土坑 | 091・080 | 楕円形 | 0.59 | 0.43 | 0.39 | N-38°-W | 178 | 165 | | 53 | |
| 10-2 | 267 | 土坑 | 093・076 | 円形 | 0.63 | 0.59 | 0.06 | N-61°-W | 178 | 162 | | 53 | |
| 10-2 | 268 | 土坑 | 097・116 | 楕円形 | 1.89 | 0.79 | 0.60 | N-55°-W | 178 | 167 | | 54 | |
| 10-2 | 270 | 土坑 | 116・085 | 不定形 | 1.19 | 0.99 | 0.46 | N-25°-W | 178 | 169 | | 55 | |
| 10-2 | 271 | 土坑 | 088・092 | 楕丸方形 | 2.80 | 2.15 | 0.73 | N-60°-E | 178 | 168 | | 55 | 116号 竪穴建物を上坑に変更 |
| 10-2 | 272 | 土坑 | 090・089 | 不定形 | 1.79 | 1.29 | 0.33 | N-27°-W | 178 | 169 | 171 | 83 | 115号 竪穴建物内土坑を変更 |
| 10-2 | 273 | 土坑 | 107・107 | 円形 | 1.09 | 0.92 | 0.20 | N-81°-E | 178 | 164 | | 53 | |
| 11 | 44 | 土坑 | 122・061 | 不定形 | 1.22 | 0.98 | 0.16 | N-65°-E | 188 | 173 | 173 | 56-83 | |
| 11 | 45 | 土坑 | 121・063 | 円形 | (0.66) | 0.64 | 0.28 | N-71°-E | 188 | 172 | 173 | 55 | |
| 11 | 46 | 土坑 | 115・044 | 楕円形 | 1.04 | 0.69 | 0.47 | N-35°-W | 188 | 173 | | 56 | |
| 11 | 47 | 土坑 | 111・046 | 楕円形 | 1.11 | 0.76 | 0.11 | N-51°-W | 188 | 173 | | 56 | |
| 11 | 48 | 土坑 | 116・042 | 楕円形 | 1.29 | 0.65 | 0.30 | N-24°-W | 188 | 173 | | 56 | |
| 11 | 49 | 土坑 | 117・059 | 不定形 | 1.42 | 0.39 | 0.24 | N=0° | 188 | 173 | | 56 | |
| 11 | 50 | 土坑 | 134・011 | 円形 | 1.22 | (0.59) | 0.41 | N-80°-E | 188 | 172 | | 56 | |
| 11 | 51 | 土坑 | 115・044 | 円形 | 0.70 | 0.59 | 0.42 | N-77°-E | 188 | 172 | | 56 | |
| 11 | 65 | 土坑 | 104・022 | 楕円形 | 2.46 | 2.00 | 0.44 | N-43°-W | 188 | 173 | 173 | 56-83 | |

ピット一覧表

| 区 | № | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ピット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL. | 備考 |
|----|-----|-----|---------|-------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|-----------|----|
| 11 | 302 | ピット | 126・053 | 楕円形 | 0.46 | 0.38 | 0.33 | C | 190 | 11 | 191 | 58 | |
| 11 | 303 | ピット | 126・050 | 楕円形 | 0.54 | 0.36 | 0.25 | C | 190 | 11 | 175・191 | 58 | |
| 11 | 304 | ピット | 113・046 | 不定形 | 0.56 | 0.46 | 0.24 | C | 190 | 11 | 191 | | |
| 11 | 305 | ピット | 113・047 | 不定形 | 0.44 | 0.40 | 0.37 | C | 190 | 11 | 191 | | |
| 11 | 306 | ピット | 117・040 | 楕円形 | 0.32 | 0.27 | 0.33 | C | 190 | 11 | 191 | 58 | |
| 11 | 307 | ピット | 105・013 | 楕円形 | 0.50 | 0.36 | 0.19 | C | 190 | 12 | 191 | 58 | |
| 7 | 308 | ピット | 080・290 | 楕円形 | 0.38 | 0.34 | 0.14 | C | 190 | 3 | 189 | | |
| 7 | 309 | ピット | 087・298 | 楕円形 | 0.46 | 0.30 | 0.14 | E | 190 | 3 | 189 | | |
| 7 | 310 | ピット | 085・299 | 不定形 | 0.32 | 0.32 | 0.22 | E | 190 | 3 | 189 | | |
| 7 | 311 | ピット | 083・281 | 楕円形 | 0.38 | 0.36 | 0.37 | E | 190 | 3 | 189 | 57 | |
| 7 | 312 | ピット | 083・280 | 楕円形 | 0.44 | 0.41 | 0.43 | E | 190 | 3 | 189 | 57 | |
| 9 | 313 | ピット | 071・227 | 楕円形 | 0.34 | 0.29 | 0.12 | C | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 314 | ピット | 070・226 | 楕円形 | 0.32 | 0.30 | 0.13 | C | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 315 | ピット | 069・227 | 楕丸方形 | 0.28 | 0.28 | 0.17 | F | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 316 | ピット | 068・229 | 不定形 | 0.30 | 0.29 | 0.11 | F | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 317 | ピット | 065・228 | 不定形 | 0.40 | 0.34 | 0.13 | C | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 318 | ピット | 067・225 | 楕丸長方形 | 0.48 | 0.26 | 0.04 | F | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 319 | ピット | 066・225 | 不定形 | 0.32 | (0.19) | 0.03 | F | 190 | 5 | 190 | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|----|-----|-----|---------|-------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|----|
| 6 | 320 | ビット | 062・308 | 楕円形 | 0.34 | 0.32 | 0.24 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 321 | ビット | 057・308 | 不定形 | 0.43 | 0.39 | 0.25 | C | 190 | 2 | 188 | 56 | |
| 6 | 322 | ビット | 062・311 | 楕円形 | 0.56 | 0.50 | 0.24 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 323 | ビット | 056・310 | 不定形 | 0.39 | 0.36 | 0.16 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 324 | ビット | 055・311 | 楕円形 | 0.52 | 0.50 | 0.17 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 325 | ビット | 056・313 | 不定形 | 0.32 | 0.28 | 0.17 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 326 | ビット | 054・313 | 楕円形 | 0.38 | 0.34 | 0.09 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 327 | ビット | 054・319 | 楕円形 | 0.48 | 0.40 | 0.20 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 328 | ビット | 063・310 | 不定形 | 0.33 | 0.31 | 0.25 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 329 | ビット | 056・320 | 楕円形 | 0.54 | 0.52 | 0.21 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 330 | ビット | 060・323 | 不定形 | 0.38 | 0.36 | 0.12 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 331 | ビット | 059・323 | 円形 | 0.40 | 0.40 | 0.12 | E | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 332 | ビット | 059・322 | 楕円形 | 0.40 | 0.36 | 0.23 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 333 | ビット | 056・324 | 楕円形 | 0.48 | 0.46 | 0.22 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 334 | ビット | 054・324 | 楕円形 | 0.60 | 0.52 | 0.24 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 9 | 335 | ビット | 085・181 | 楕円形 | 0.30 | 0.26 | 0.28 | C | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 336 | ビット | 090・176 | 楕円形 | 0.40 | 0.34 | 0.36 | D | 190 | 7 | 190 | 57 | |
| 6 | 337 | ビット | 056・349 | 楕円形 | 0.34 | 0.32 | 0.33 | D | 190 | 1 | 188 | | |
| 6 | 338 | ビット | 053・350 | 楕円形 | 0.44 | 0.31 | 0.09 | D | 190 | 1 | 188 | | |
| 6 | 339 | ビット | 054・351 | 不定形 | 0.36 | 0.32 | 0.25 | D | 190 | 1 | 188 | 56 | |
| 6 | 340 | ビット | 053・353 | 楕円形 | 0.48 | 0.44 | 0.29 | C | 190 | 1 | 188 | | |
| 6 | 341 | ビット | 053・347 | 楕円形 | 0.42 | 0.34 | 0.30 | D | 190 | 1 | 188 | 56 | |
| 6 | 342 | ビット | 055・348 | 楕圓長方形 | 0.40 | 0.34 | 0.26 | D | 190 | 1 | 188 | 56 | |
| 6 | 343 | ビット | 052・328 | 円形 | 0.32 | 0.32 | 0.13 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 344 | ビット | 052・329 | 楕円形 | 0.32 | 0.29 | 0.14 | C | 190 | 2 | 188 | 56 | |
| 10 | 345 | ビット | 090・140 | 楕円形 | 0.56 | 0.42 | 0.40 | A | 190 | 8 | 191 | 58 | |
| 10 | 346 | ビット | 105・152 | 楕円形 | 0.44 | 0.34 | 0.37 | A | 190 | 8 | 191 | 58 | |
| 10 | 347 | ビット | 105・136 | 楕円形 | 0.52 | 0.50 | 0.30 | A | 190 | 8 | 175・191 | 58・83 | |
| 9 | 348 | ビット | 071・193 | 楕円形 | 0.42 | 0.38 | 0.42 | C | 190 | 6 | 190 | | |
| 10 | 349 | ビット | 098・156 | 楕円形 | 0.54 | 0.44 | 0.36 | | 190 | 8 | 191 | | |
| 10 | 350 | ビット | 097・160 | 不定形 | 0.42 | 0.40 | 0.35 | A | 190 | 8 | 191 | | |
| 10 | 351 | ビット | 094・162 | 楕円形 | 0.52 | 0.45 | 0.29 | A | 190 | 7 | 191 | | |
| 10 | 352 | ビット | 109・163 | 楕円形 | 0.59 | 0.58 | 0.35 | A | 190 | 7 | 191 | 58 | |
| 10 | 353 | ビット | 095・162 | 楕円形 | 0.44 | 0.38 | 0.37 | A | 190 | 7 | 191 | | |
| 9 | 354 | ビット | 074・189 | 不定形 | 0.46 | 0.36 | 0.20 | C | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 355 | ビット | 073・224 | 不定形 | 0.23 | 0.18 | 0.16 | C | 190 | 5 | 175・190 | 57・83 | |
| 9 | 356 | ビット | 073・220 | 不定形 | 0.44 | 0.42 | 0.35 | F | 190 | 5 | 190 | | |
| 9 | 357 | ビット | 074・188 | 楕円形 | 0.48 | 0.38 | 0.36 | D | 190 | 7 | 190 | 57 | |
| 9 | 358 | ビット | 072・187 | 楕円形 | 0.38 | 0.34 | 0.26 | A | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 359 | ビット | 072・185 | 不定形 | 0.36 | (0.30) | 0.37 | A | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 360 | ビット | 072・185 | 不定形 | 0.40 | 0.32 | 0.29 | A | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 361 | ビット | 073・186 | 楕円形 | 0.64 | 0.58 | 0.17 | D | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 362 | ビット | 074・185 | 円形 | 0.34 | 0.34 | 0.25 | G | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 363 | ビット | 075・188 | 楕円形 | 0.44 | 0.38 | 0.26 | G | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 364 | ビット | 076・187 | 不定形 | 0.38 | 0.31 | 0.35 | A | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 365 | ビット | 076・185 | 楕円形 | 0.44 | 0.38 | 0.54 | C | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 366 | ビット | 077・183 | 楕円形 | 0.36 | 0.33 | 0.40 | A | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 367 | ビット | 076・182 | 楕円形 | 0.43 | 0.34 | 0.49 | D | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 368 | ビット | 077・176 | 楕円形 | 0.59 | 0.49 | 0.25 | A | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 369 | ビット | 077・182 | 楕円形 | 0.50 | 0.44 | 0.29 | E | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 370 | ビット | 073・190 | 楕円形 | 0.38 | 0.30 | 0.25 | C | 190 | 6 | 190 | | |
| 9 | 371 | ビット | 073・190 | 不定形 | 0.48 | 0.40 | 0.36 | C | 190 | 6 | 190 | 58 | |
| 9 | 372 | ビット | 082・187 | 不定形 | 0.47 | 0.33 | 0.15 | G | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 373 | ビット | 081・187 | 不定形 | 0.48 | 0.34 | 0.08 | C | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 374 | ビット | 081・185 | 不定形 | 0.60 | 0.49 | 0.10 | G | 190 | 7 | 190 | | |
| 9 | 375 | ビット | 081・183 | 楕円形 | 0.44 | 0.36 | 0.33 | G | 190 | 7 | 191 | | |
| 9 | 376 | ビット | 084・186 | 不定形 | 0.46 | 0.29 | 0.18 | D | 190 | 7 | 191 | | |
| 9 | 377 | ビット | 075・171 | 楕円形 | 0.48 | 0.46 | 0.20 | A | 190 | 7 | 191 | | |
| 9 | 378 | ビット | 086・188 | 不定形 | 0.26 | 0.24 | 0.12 | G | 190 | 7 | 191 | | |
| 9 | 379 | ビット | 088・189 | 楕円形 | 0.39 | 0.28 | 0.14 | D | 190 | 7 | 191 | | |
| 9 | 380 | ビット | 086・194 | 不定形 | 0.38 | 0.37 | 0.32 | D | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 381 | ビット | 084・194 | 楕円形 | 0.44 | 0.36 | 0.27 | A | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 382 | ビット | 085・192 | 楕円形 | 0.54 | 0.42 | 0.11 | A | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 383 | ビット | 079・193 | 楕円形 | 0.40 | 0.28 | 0.26 | C | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 384 | ビット | 072・194 | 不定形 | 0.42 | 0.32 | 0.07 | C | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 385 | ビット | 072・194 | 不定形 | 0.50 | 0.32 | 0.07 | G | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 386 | ビット | 071・193 | 不定形 | 0.28 | (0.20) | 0.08 | C | 190 | 6 | 191 | | |
| 9 | 387 | ビット | 073・179 | 楕円形 | 0.33 | 0.29 | 0.21 | F | 190 | 7 | 191 | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 造構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋設上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-----|-----|----------|-------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|----|
| 6 | 388 | ビット | 071・-329 | 楕円形 | 0.48 | 0.36 | 0.23 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 389 | ビット | 071・-330 | 楕丸長方形 | 0.48 | 0.40 | 0.42 | E | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 390 | ビット | 072・-330 | 楕円形 | 0.26 | 0.24 | 0.21 | E | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 391 | ビット | 074・-329 | 楕円形 | 0.28 | 0.26 | 0.11 | E | 190 | 2 | 188 | | |
| 9 | 392 | ビット | 081・-175 | 楕円形 | 0.33 | 0.30 | 0.15 | F | 190 | 7 | 191 | | |
| 10 | 393 | ビット | 095・-156 | 不定形 | 0.57 | 0.46 | 0.42 | A 1 | 190 | 8 | 191 | | |
| 10 | 394 | ビット | 097・-156 | 不定形 | 0.48 | 0.46 | 0.42 | A 1 | 190 | 8 | 191 | | |
| 6 | 395 | ビット | 075・-316 | 楕円形 | 0.30 | 0.24 | 0.30 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 396 | ビット | 075・-316 | 楕円形 | 0.28 | (0.18) | 0.33 | C | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 397 | ビット | 076・-315 | 不定形 | (0.26) | 0.30 | 0.33 | F | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 398 | ビット | 077・-315 | 楕円形 | 0.42 | 0.40 | 0.26 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 399 | ビット | 079・-316 | 円形 | 0.22 | 0.22 | 0.28 | D | 190 | 2 | 188 | | |
| 6 | 400 | ビット | 081・-315 | 円形 | 0.40 | 0.40 | 0.35 | D | 190 | 2 | 189 | | |
| 6 | 401 | ビット | 082・-316 | 楕円形 | 0.38 | 0.36 | 0.29 | D | 190 | 2 | 189 | | |
| 6-2 | 402 | ビット | 078・-359 | 円形 | 0.50 | 0.50 | 0.41 | A 2 | 190 | 1 | 189 | 57 | |
| 6-2 | 403 | ビット | 077・-355 | 円形 | 0.50 | 0.50 | 0.39 | A 4 | 190 | 1 | 175・189 | 57 | |
| 6-2 | 404 | ビット | 078・-353 | 楕円形 | 0.45 | 0.38 | 0.41 | A 3 | 190 | 1 | 189 | 57 | |
| 6-2 | 405 | ビット | 064・-346 | 不定形 | 0.81 | 0.80 | 0.24 | A 3 | 190 | 1 | | 57 | |
| 7-2 | 406 | ビット | 085・-256 | 楕円形 | 0.37 | 0.34 | 0.06 | B | 190 | 4 | 189 | | |
| 8-2 | 407 | ビット | 099・-196 | 楕円形 | (0.32) | 0.38 | 0.54 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 408 | ビット | 099・-196 | 楕円形 | 0.33 | 0.28 | 0.47 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 409 | ビット | 100・-196 | 楕円形 | 0.58 | 0.51 | 0.44 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 410 | ビット | 102・-195 | 楕円形 | 0.25 | 0.20 | 0.17 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 411 | ビット | 102・-195 | 楕円形 | 0.42 | 0.41 | 0.14 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 412 | ビット | 103・-194 | 楕円形 | 0.50 | 0.44 | 0.31 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 413 | ビット | 097・-195 | 楕円形 | 0.21 | 0.20 | 0.16 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 414 | ビット | 098・-195 | 楕円形 | 0.18 | 0.16 | 0.14 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 415 | ビット | 103・-196 | 楕円形 | 0.23 | 0.18 | 0.20 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 416 | ビット | 103・-196 | 楕円形 | 0.20 | 0.18 | 0.14 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 417 | ビット | 103・-195 | 楕円形 | 0.28 | 0.28 | 0.21 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 418 | ビット | 102・-192 | 楕円形 | 0.29 | 0.25 | 0.27 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 419 | ビット | 102・-192 | 楕円形 | 0.25 | 0.22 | 0.26 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 8-2 | 420 | ビット | 092・-235 | 楕円形 | 0.41 | 0.38 | 0.33 | A 5 | 190 | 5 | 189 | 57 | |
| 8-2 | 421 | ビット | 094・-236 | 楕円形 | 0.56 | 0.43 | 0.37 | B | 190 | 5 | 189 | 57 | |
| 8-2 | 422 | ビット | 096・-236 | 楕円形 | 0.40 | 0.39 | 0.07 | A 5 | 190 | 5 | 189 | 57 | |
| 8-2 | 423 | ビット | 097・-195 | 楕円形 | (0.45) | 0.53 | 0.53 | A 5 | 190 | 6 | 189 | | |
| 10-2 | 424 | ビット | 111・-114 | 円形 | 0.39 | 0.38 | 0.11 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 425 | ビット | 112・-122 | 円形 | 0.30 | 0.30 | 0.31 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 426 | ビット | 114・-120 | 円形 | 0.49 | 0.47 | 0.26 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 427 | ビット | 115・-119 | 楕円形 | 0.44 | 0.35 | 0.29 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 428 | ビット | 115・-119 | 楕円形 | 0.38 | 0.27 | 0.30 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 429 | ビット | 116・-118 | 楕円形 | 0.50 | (0.38) | 0.22 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 430 | ビット | 115・-118 | 楕円形 | 0.59 | 0.57 | 0.33 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 431 | ビット | 117・-116 | 楕円形 | 0.38 | 0.35 | 0.22 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 432 | ビット | 116・-117 | 楕円形 | 0.50 | (0.32) | 0.26 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 433 | ビット | 116・-116 | 楕円形 | 0.65 | — | 0.20 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 434 | ビット | 115・-117 | 楕円形 | 0.60 | 0.36 | 0.20 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 435 | ビット | 114・-118 | 円形 | 0.50 | 0.49 | 0.25 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 436 | ビット | 114・-116 | 楕円形 | 0.34 | 0.28 | 0.19 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 437 | ビット | 116・-115 | 円形 | 0.40 | 0.40 | 0.12 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 438 | ビット | 115・-115 | 円形 | 0.35 | 0.34 | 0.19 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 439 | ビット | 115・-114 | 楕円形 | 0.43 | 0.41 | 0.24 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 440 | ビット | 116・-114 | 楕円形 | 0.53 | 0.48 | 0.32 | 190 | 9 | 175 | | | |
| 10-2 | 441 | ビット | 117・-112 | 楕円形 | 0.38 | 0.36 | 0.13 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 442 | ビット | 116・-111 | 楕円形 | 0.53 | (0.47) | 0.27 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 443 | ビット | 116・-111 | 楕円形 | 0.42 | 0.30 | 0.16 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 444 | ビット | 117・-111 | 不明 | 0.35 | — | 0.11 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 445 | ビット | 117・-111 | 不明 | 0.30 | — | 0.14 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 446 | ビット | 114・-114 | 楕円形 | 0.48 | 0.43 | 0.24 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 447 | ビット | 113・-113 | 円形 | 0.40 | 0.38 | 0.12 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 448 | ビット | 112・-113 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.09 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 449 | ビット | 112・-114 | 方形 | 0.33 | 0.28 | 0.08 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 450 | ビット | 114・-115 | 方形 | 0.35 | 0.32 | 0.33 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 451 | ビット | 112・-118 | 不定形 | 0.25 | 0.22 | 0.16 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 452 | ビット | 112・-118 | 方形 | 0.23 | 0.17 | 0.15 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 453 | ビット | 112・-117 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.15 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 454 | ビット | 111・-117 | 方形 | 0.28 | 0.25 | 0.14 | 190 | 9 | | | | |
| 10-2 | 455 | ビット | 111・-117 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.15 | 190 | 9 | | | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-----|-----|----------|-----|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|----|
| 10-2 | 456 | ビット | 111・-118 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 457 | ビット | 111・-118 | 方形 | 0.31 | 0.30 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| | 458 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 459 | ビット | 112・-116 | 方形 | 0.27 | 0.27 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 460 | ビット | 112・-116 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 461 | ビット | 111・-116 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 462 | ビット | 111・-115 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 463 | ビット | 110・-115 | 楕円形 | 0.35 | 0.33 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 464 | ビット | 110・-113 | 楕円形 | 0.61 | 0.55 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 465 | ビット | 110・-112 | 不明 | 0.27 | (0.13) | 0.04 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 466 | ビット | 113・-111 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 467 | ビット | 111・-110 | 楕円形 | 0.29 | 0.23 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 468 | ビット | 111・-110 | 方形 | 0.25 | 0.24 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 469 | ビット | 113・-109 | 楕円形 | 0.33 | 0.30 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 470 | ビット | 112・-108 | 楕円形 | 0.30 | (0.30) | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 471 | ビット | 118・-109 | 楕円形 | 0.40 | 0.40 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 472 | ビット | 118・-109 | 楕円形 | 0.34 | 0.28 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 473 | ビット | 118・-107 | 楕円形 | 0.52 | 0.50 | 0.34 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 474 | ビット | 119・-105 | 楕円形 | 0.55 | 0.46 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 475 | ビット | 117・-105 | 方形 | 0.51 | 0.33 | 0.28 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 476 | ビット | 117・-106 | 方形 | 0.44 | 0.35 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 477 | ビット | 116・-106 | 不明 | 0.28 | (0.24) | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 478 | ビット | 114・-106 | 方形 | 0.20 | 0.20 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 479 | ビット | 111・-103 | 円形 | 0.32 | 0.31 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 480 | ビット | 111・-104 | 不明 | 0.36 | (0.23) | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 481 | ビット | 111・-104 | 不明 | 0.29 | (0.25) | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 482 | ビット | 109・-111 | 不明 | 0.37 | (0.29) | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 483 | ビット | 108・-111 | 楕円形 | 0.39 | 0.35 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 484 | ビット | 109・-112 | 円形 | 0.32 | 0.31 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 485 | ビット | 109・-114 | 円形 | 0.35 | 0.33 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 486 | ビット | 108・-115 | 方形 | 0.28 | 0.25 | 0.04 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 487 | ビット | 108・-114 | 楕円形 | 0.35 | 0.30 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 488 | ビット | 107・-115 | 方形 | 0.27 | 0.26 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 489 | ビット | 107・-116 | 不明 | — | 0.30 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 490 | ビット | 107・-115 | 方形 | 0.25 | 0.20 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 491 | ビット | 107・-115 | 方形 | 0.22 | — | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 492 | ビット | 107・-116 | 方形 | 0.37 | 0.21 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 493 | ビット | 107・-115 | 方形 | 0.25 | 0.23 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 494 | ビット | 106・-115 | 不明 | — | 0.28 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 495 | ビット | 106・-115 | 不明 | 0.28 | — | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 496 | ビット | 107・-115 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 497 | ビット | 107・-114 | 方形 | 0.37 | 0.25 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 498 | ビット | 107・-113 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 499 | ビット | 106・-114 | 方形 | 0.29 | 0.25 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 500 | ビット | 106・-114 | 方形 | 0.25 | 0.24 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 501 | ビット | 106・-115 | 方形 | 0.36 | 0.29 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 502 | ビット | 106・-115 | 方形 | 0.38 | 0.35 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 503 | ビット | 107・-117 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 504 | ビット | 107・-117 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.06 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 505 | ビット | 107・-118 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.06 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 506 | ビット | 107・-118 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 507 | ビット | 106・-118 | 方形 | 0.28 | 0.27 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 508 | ビット | 106・-118 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 509 | ビット | 106・-118 | 不明 | — | 0.32 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 510 | ビット | 106・-118 | 不明 | — | 0.45 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 511 | ビット | 106・-118 | 方形 | 0.48 | 0.42 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 512 | ビット | 118・-104 | 楕円形 | 0.37 | 0.34 | 0.29 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 513 | ビット | 118・-104 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.28 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 514 | ビット | 117・-104 | 楕円形 | 0.37 | 0.33 | 0.24 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 515 | ビット | 118・-104 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.32 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 516 | ビット | 116・-104 | 楕円形 | 0.52 | — | 0.25 | A 4 | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 517 | ビット | 115・-104 | 方形 | 0.31 | 0.29 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 518 | ビット | 115・-103 | 方形 | 0.25 | 0.23 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 519 | ビット | 114・-102 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 520 | ビット | 114・-103 | 楕円形 | 0.45 | 0.42 | 0.37 | A 5 | 190 | 9 | 191 | | |
| 10-2 | 521 | ビット | 114・-104 | 楕円形 | 0.61 | 0.59 | 0.13 | B | 190 | 9 | 191 | | |
| 10-2 | 522 | ビット | 113・-103 | 楕円形 | 0.26 | 0.19 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 523 | ビット | 112・-103 | 楕円形 | 0.27 | 0.26 | 0.04 | | 190 | 9 | | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 道橋種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 現存壁高 m | 埋段土 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-----|-----|----------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|--------|
| 10-2 | 524 | ビット | 112・-101 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.35 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 525 | ビット | 111・-102 | 円形 | 0.32 | 0.32 | 0.27 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 526 | ビット | 110・-101 | 不定形 | 0.52 | 0.48 | 0.34 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 527 | ビット | 110・-101 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 528 | ビット | 109・-102 | 楕円形 | 0.36 | 0.31 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 529 | ビット | 109・-101 | 楕円形 | 0.38 | 0.35 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 530 | ビット | 108・-102 | 楕円形 | 0.31 | 0.27 | 0.26 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 531 | ビット | 119・-103 | 楕円形 | 0.57 | 0.39 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 532 | ビット | 118・-102 | 方形 | 0.33 | 0.31 | 0.28 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 533 | ビット | 118・-101 | 楕円形 | 0.55 | 0.50 | 0.34 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 534 | ビット | 118・-100 | 楕円形 | 0.57 | 0.38 | 0.35 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 535 | ビット | 118・-102 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.36 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 536 | ビット | 117・-102 | 方形 | 0.23 | 0.20 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 537 | ビット | 118・-101 | 方形 | 0.28 | 0.24 | 0.33 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 538 | ビット | 117・-101 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 539 | ビット | 117・-101 | 方形 | 0.31 | 0.25 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 540 | ビット | 114・-101 | 楕円形 | 0.62 | 0.60 | 0.41 | A 4 | 190 | 9 | 191 | | |
| 10-2 | 541 | ビット | 114・-100 | 方形 | 0.32 | 0.25 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 542 | ビット | 111・-100 | 楕円形 | 0.30 | 0.23 | 0.35 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 543 | ビット | 109・-099 | 楕円形 | 0.31 | 0.20 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 544 | ビット | 107・-099 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 545 | ビット | 107・-099 | 方形 | 0.22 | (0.14) | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 546 | ビット | 107・-098 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 547 | ビット | 107・-098 | 方形 | 0.33 | 0.29 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 548 | ビット | 106・-099 | 楕円形 | 0.32 | 0.31 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 549 | ビット | 105・-098 | 方形 | 0.29 | 0.27 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 550 | ビット | 105・-101 | 楕円形 | 0.29 | 0.25 | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 551 | ビット | 104・-097 | 楕円形 | 0.45 | 0.31 | 0.28 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 552 | ビット | 103・-098 | 楕円形 | 0.35 | 0.31 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 553 | ビット | 102・-100 | 円形 | 0.33 | 0.33 | 0.25 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 554 | ビット | 116・-116 | 楕円形 | 0.90 | 0.58 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 555 | ビット | 106・-117 | 方形 | 0.29 | 0.29 | 0.20 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 556 | ビット | 105・-117 | 方形 | 0.17 | 0.16 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 557 | ビット | 118・-099 | 方形 | 0.36 | 0.31 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 558 | ビット | 118・-095 | 円形 | 0.23 | 0.21 | 0.25 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 559 | ビット | 119・-093 | 円形 | 0.40 | 0.39 | 0.22 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 560 | ビット | 115・-095 | 楕円形 | 0.42 | 0.34 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 561 | ビット | 112・-098 | 楕円形 | 0.53 | 0.44 | 0.26 | B | 190 | 9 | 191 | | |
| 10-2 | 562 | ビット | 106・-118 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 563 | ビット | 110・-098 | 楕円形 | 0.46 | 0.45 | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 564 | ビット | 109・-097 | 楕円形 | 0.35 | 0.26 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 565 | ビット | 108・-097 | 方形 | 0.28 | 0.28 | 0.39 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 566 | ビット | 105・-095 | 不定形 | 0.31 | 0.25 | 0.41 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 567 | ビット | 105・-095 | 楕円形 | 0.29 | 0.25 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 568 | ビット | 105・-095 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.27 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 569 | ビット | 105・-095 | 隅丸方形 | 0.27 | 0.26 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 570 | ビット | 105・-096 | 隅丸方形 | 0.31 | 0.26 | 0.31 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 571 | ビット | 104・-096 | 円形 | 0.24 | 0.24 | 0.27 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 572 | ビット | 104・-095 | 円形 | 0.26 | 0.24 | 0.37 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 573 | ビット | 104・-096 | 円形 | 0.23 | 0.23 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 574 | ビット | 110・-112 | 楕円形 | 0.27 | 0.26 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 575 | ビット | 107・-112 | 方形 | 0.30 | 0.29 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 576 | ビット | 107・-112 | 方形 | 0.46 | 0.42 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 577 | ビット | 106・-107 | 楕円形 | 0.44 | 0.43 | 0.44 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 578 | ビット | 105・-106 | 楕円形 | 0.27 | 0.25 | 0.24 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 579 | ビット | 105・-106 | 楕円形 | 0.44 | 0.32 | 0.29 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 580 | ビット | 112・-104 | 不定形 | 0.25 | 0.18 | 0.06 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 581 | ビット | 111・-104 | 不明 | 0.30 | 0.28 | 0.03 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 582 | ビット | 111・-104 | 不明 | 0.37 | 0.33 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 583 | ビット | 108・-115 | 不定形 | 0.52 | 0.44 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| | 584 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 7-2 | 585 | ビット | 089・-269 | 楕円形 | 0.51 | 0.41 | 0.28 | | 190 | 4 | 189 | 57 | |
| 7-2 | 586 | ビット | 084・-275 | 楕円形 | 0.39 | 0.33 | 0.20 | A 4 | 190 | 4 | | | |
| 7-2 | 587 | ビット | 084・-275 | 不定形 | 0.52 | 0.44 | 0.27 | A 4 | 190 | 4 | | | 縦方向連道橋 |
| 7-2 | 588 | ビット | 084・-274 | 楕円形 | 0.36 | 0.32 | 0.17 | A 4 | 190 | 4 | | | 縦方向連道橋 |
| 7-2 | 589 | ビット | 080・-275 | 楕円形 | 0.47 | 0.42 | 0.19 | A 4 | 190 | 4 | | | 縦方向連道橋 |
| 7-2 | 590 | ビット | 081・-274 | 楕円形 | 0.35 | 0.33 | 0.23 | A 4 | 190 | 4 | | | 縦方向連道橋 |
| 7-2 | 591 | ビット | 083・-273 | 円形 | 0.29 | 0.29 | 0.41 | A 4 | 190 | 4 | | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 傾倒 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-----|-----|----------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|--------------|
| 7-2 | 592 | ビット | 087・-276 | 楕円形 | 0.35 | 0.33 | 0.35 | A 4 | 190 | 4 | 189 | 57 | |
| 7-2 | 593 | ビット | 092・-276 | 円形 | 0.32 | 0.31 | 0.34 | A 4 | 190 | 4 | 189 | | |
| | 594 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 595 | ビット | 100・-113 | 楕円形 | 0.36 | 0.30 | 0.34 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 596 | ビット | 100・-113 | 楕円形 | 0.47 | 0.37 | 0.36 | | 190 | 9 | | | |
| | 597 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 598 | ビット | 106・-105 | 円形 | 0.42 | 0.41 | 0.46 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 599 | ビット | 103・-102 | 楕円形 | 0.44 | 0.42 | 0.37 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 600 | ビット | 105・-112 | 円形 | 0.22 | 0.22 | 0.23 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 601 | ビット | 104・-111 | 楕円形 | 0.33 | 0.24 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 602 | ビット | 104・-111 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 603 | ビット | 103・-111 | 楕円形 | 0.27 | 0.23 | 0.22 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 604 | ビット | 102・-110 | 不明 | 0.25 | (2.0) | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 605 | ビット | 099・-113 | 不明 | 0.35 | (0.28) | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 606 | ビット | 098・-114 | 不明 | 0.42 | (0.31) | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| | 607 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| | 608 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| | 609 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 610 | ビット | 107・-111 | 不定形 | 0.32 | 0.30 | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| | 611 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 612 | ビット | 105・-103 | 方形 | 0.37 | 0.32 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| | 613 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 614 | ビット | 099・-112 | 楕円形 | 0.26 | 0.20 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 615 | ビット | 099・-112 | 方形 | 0.33 | 0.27 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |
| | 616 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 617 | ビット | 103・-106 | 楕円形 | 0.49 | (0.49) | 0.50 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 618 | ビット | 103・-096 | 不明 | 0.44 | 0.37 | 0.23 | | 190 | 9 | 175 | | |
| 10-2 | 619 | ビット | 116・-100 | 楕円形 | 0.40 | 0.31 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 620 | ビット | 116・-099 | 方形 | 0.29 | 0.24 | 0.24 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 621 | ビット | 118・-097 | 楕円形 | 0.30 | 0.28 | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 622 | ビット | 117・-097 | 楕円形 | 0.23 | 0.20 | 0.31 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 623 | ビット | 117・-097 | 円形 | 0.20 | 0.20 | 0.32 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 624 | ビット | 117・-096 | 円形 | 0.23 | 0.21 | 0.40 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 625 | ビット | 116・-097 | 楕円形 | 0.32 | 0.27 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 626 | ビット | 115・-096 | 楕円形 | 0.45 | 0.38 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 627 | ビット | 118・-096 | 楕円形 | 0.31 | 0.27 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 628 | ビット | 116・-099 | 円形 | 0.21 | 0.19 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 629 | ビット | 114・-098 | 方形 | 0.17 | 0.15 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 630 | ビット | 116・-096 | 円形 | 0.20 | 0.19 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| | 631 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 632 | ビット | 117・-100 | 楕円形 | 0.26 | 0.18 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 633 | ビット | 117・-098 | 方形 | 0.18 | 0.16 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 634 | ビット | 117・-099 | 楕円形 | 0.20 | 0.17 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 635 | ビット | 117・-099 | 円形 | 0.23 | 0.22 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 636 | ビット | 118・-093 | 隅丸方形 | 0.24 | 0.23 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 637 | ビット | 121・-084 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 638 | ビット | 121・-084 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 639 | ビット | 122・-084 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 640 | ビット | 121・-083 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 641 | ビット | 121・-083 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 642 | ビット | 121・-082 | 方形 | 0.21 | 0.17 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 643 | ビット | 121・-081 | 方形 | 0.50 | 0.40 | 0.29 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 11 |
| 10-2 | 644 | ビット | 122・-080 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.29 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 12 |
| 10-2 | 645 | ビット | 122・-079 | 方形 | 0.42 | 0.41 | 0.34 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 13 |
| 10-2 | 646 | ビット | 123・-079 | 方形 | 0.22 | 0.14 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 647 | ビット | 123・-079 | 方形 | 0.26 | 0.24 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 648 | ビット | 123・-077 | 方形 | 0.32 | 0.31 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 649 | ビット | 122・-077 | 不定形 | 0.49 | 0.48 | 0.33 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 1 |
| 10-2 | 650 | ビット | 119・-082 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| | 651 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 652 | ビット | 120・-075 | 方形 | 0.28 | 0.27 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| | 653 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 654 | ビット | 121・-077 | 不定形 | (0.47) | 0.43 | 0.24 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 2 |
| 10-2 | 655 | ビット | 121・-077 | 方形 | 0.47 | 0.38 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 656 | ビット | 120・-079 | 方形 | 0.52 | 0.51 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 657 | ビット | 120・-079 | 方形 | 0.31 | 0.29 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 658 | ビット | 120・-080 | 方形 | 0.32 | 0.30 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 659 | ビット | 120・-080 | 方形 | 0.31 | 0.30 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 造構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-------|-----|---------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|--------------|
| 10-2 | 660 | ビット | 119・080 | 方形 | 0.40 | 0.33 | 0.11 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 661 | ビット | 119・081 | 方形 | 0.45 | 0.43 | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 662 | ビット | 119・081 | 方形 | 0.36 | 0.34 | 0.20 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 663 | ビット | 120・081 | 方形 | 0.42 | 0.38 | 0.22 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 664 | ビット | 120・081 | 方形 | 0.42 | 0.38 | 0.22 | 190 | 10 | | | | 1号据立柱建物 P 10 |
| 10-2 | 665 | ビット | 117・077 | 隅丸方形 | 0.36 | 0.33 | 0.23 | 190 | 10 | | | | 1号据立柱建物 P 5 |
| 10-2 | 666 | ビット | 118・077 | 隅丸方形 | 0.49 | 0.47 | 0.38 | 190 | 10 | | | | 1号据立柱建物 P 4 |
| 10-2 | 667 | ビット | 117・075 | 楕円形 | 0.35 | 0.28 | 0.09 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 668 | ビット | 117・075 | 方形 | 0.14 | 0.13 | 0.04 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 669 | ビット | 117・076 | 方形 | 0.42 | 0.36 | 0.07 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 670 | ビット | 120・082 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 671 | ビット | 117・075 | 方形 | 0.34 | — | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 672 | ビット | 116・076 | 方形 | — | 0.33 | 0.11 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 673 | ビット | 116・076 | 方形 | 0.23 | 0.19 | 0.05 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 674 | ビット | 116・076 | 方形 | 0.45 | 0.29 | 0.06 | 190 | 10 | | | | |
| 7-2 | 675 B | ビット | 083・274 | 楕円形 | 0.37 | 0.36 | 0.22 | 190 | 4 | | | | 鶴沼関連遺構 |
| 10-2 | 675A | ビット | 117・077 | 楕円形 | 0.31 | 0.29 | 0.18 | 190 | 10 | | | | 675B号ビットを変更 |
| 10-2 | 676 | ビット | 116・077 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.15 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 677 | ビット | 116・077 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.14 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 678 | ビット | 115・076 | 方形 | 0.26 | 0.22 | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 679 | ビット | 115・077 | 方形 | 0.31 | 0.28 | 0.09 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 680 | ビット | 114・077 | 円形 | 0.36 | 0.36 | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 681 | ビット | 114・078 | 不明 | (0.53) | (0.43) | 0.10 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 682 | ビット | 114・077 | 不明 | (0.41) | (0.29) | 0.10 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 683 | ビット | 114・077 | 不明 | 0.53 | (0.50) | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 684 | ビット | 114・077 | 方形 | 0.32 | 0.31 | 0.10 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 685 | ビット | 113・077 | 円形 | 0.24 | 0.22 | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 686 | ビット | 113・077 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 687 | ビット | 112・077 | 隅丸方形 | 0.32 | 0.26 | 0.10 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 688 | ビット | 115・075 | 方形 | 0.38 | 0.24 | 0.30 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 689 | ビット | 114・074 | 不明 | — | — | 0.11 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 690 | ビット | 114・075 | 不明 | 0.50 | (0.49) | 0.15 | 190 | 10 | 175 | 83 | | |
| 10-2 | 691 | ビット | 114・074 | 不明 | 0.35 | (0.22) | 0.09 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 692 | ビット | 114・074 | 不明 | 0.71 | — | 0.11 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 693 | ビット | 114・075 | 不明 | — | — | 0.13 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 694 | ビット | 112・075 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.16 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 695 | ビット | 113・075 | 方形 | 0.47 | (0.24) | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 696 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 697 | ビット | 115・078 | 不明 | 0.37 | (0.25) | 0.11 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 698 | ビット | 101・088 | 楕円形 | 0.35 | 0.33 | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 699 | ビット | 102・089 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 700 | ビット | 097・090 | 方形 | 0.17 | 0.16 | 0.06 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 701 | ビット | 097・089 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.13 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 702 | ビット | 096・089 | 方形 | 0.30 | 0.30 | 0.10 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 703 | ビット | 096・090 | 隅丸方形 | 0.17 | 0.17 | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 704 | ビット | 096・090 | 隅丸方形 | 0.29 | 0.28 | 0.14 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 705 | ビット | 096・091 | 方形 | 0.21 | 0.21 | 0.18 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 706 | ビット | 095・091 | 方形 | 0.28 | 0.27 | 0.09 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 707 | ビット | 095・089 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.12 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 708 | ビット | 094・089 | 方形 | 0.24 | 0.21 | 0.16 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 709 | ビット | 094・090 | 不明 | 0.52 | — | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 710 | ビット | 094・090 | 方形 | 0.34 | — | 0.07 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 711 | ビット | 094・091 | 隅丸方形 | 0.31 | 0.25 | 0.27 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 712 | ビット | 093・089 | 楕円形 | 0.41 | 0.30 | 0.19 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 713 | ビット | 093・090 | 楕円形 | 0.36 | 0.32 | 0.19 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 714 | ビット | 092・090 | 楕円形 | 0.30 | 0.27 | 0.27 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 715 | ビット | 093・091 | 楕円形 | 0.28 | 0.25 | 0.24 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 716 | ビット | 094・091 | 楕円形 | 0.21 | (0.13) | 0.06 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 717 | ビット | 094・091 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.10 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 718 | ビット | 095・092 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.13 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 719 | ビット | 093・092 | 方形 | 0.15 | 0.14 | 0.09 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 720 | ビット | 093・092 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.15 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 721 | ビット | 089・091 | 方形 | 0.36 | 0.31 | 0.05 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 722 | ビット | 089・091 | 楕円形 | 0.41 | 0.39 | 0.06 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 723 | ビット | 099・092 | 方形 | 0.26 | 0.23 | 0.09 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 724 | ビット | 098・094 | 方形 | 0.29 | 0.26 | 0.08 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 725 | ビット | 097・094 | 円形 | 0.19 | 0.19 | 0.15 | 190 | 10 | | | | |
| 10-2 | 726 | ビット | 097・094 | 楕円形 | 0.31 | 0.25 | 0.21 | 190 | 10 | | | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-----|-----|---------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|----|
| 10-2 | 727 | ビット | 098・092 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 728 | ビット | 097・093 | 楕円形 | 0.20 | 0.15 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 729 | ビット | 097・092 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 730 | ビット | 096・092 | 円形 | 0.21 | 0.20 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 731 | ビット | 096・091 | 楕円形 | 0.20 | (0.15) | 0.23 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 732 | ビット | 096・092 | 円形 | 0.16 | 0.16 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 733 | ビット | 098・095 | 方形 | 0.17 | 0.16 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 734 | ビット | 097・095 | 楕円形 | 0.24 | 0.22 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 735 | ビット | 096・095 | 方形 | 0.33 | 0.24 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 736 | ビット | 094・094 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 737 | ビット | 094・093 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 738 | ビット | 094・094 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 739 | ビット | 094・093 | 方形 | 0.31 | 0.25 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 740 | ビット | 093・094 | 方形 | 0.25 | 0.20 | 0.31 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 741 | ビット | 093・093 | 方形 | 0.39 | 0.39 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 742 | ビット | 092・093 | 楕円形 | 0.27 | 0.21 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 743 | ビット | 092・093 | 円形 | 0.25 | 0.25 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 744 | ビット | 092・094 | 円形 | 0.21 | 0.20 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 745 | ビット | 093・092 | 方形 | 0.34 | 0.31 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 746 | ビット | 093・095 | 方形 | 0.15 | 0.13 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 747 | ビット | 093・095 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 748 | ビット | 092・095 | 楕円形 | 0.30 | 0.24 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 749 | ビット | 091・094 | 円形 | 0.22 | 0.21 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 750 | ビット | 091・095 | 方形 | 0.19 | 0.18 | 0.04 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 751 | ビット | 091・095 | 円形 | 0.23 | 0.20 | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 752 | ビット | 091・095 | 円形 | 0.17 | 0.17 | 0.30 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 753 | ビット | 091・096 | 楕円形 | 0.28 | 0.28 | 0.46 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 754 | ビット | 091・098 | 楕円形 | 0.29 | 0.24 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 755 | ビット | 091・098 | 隅丸方形 | 0.33 | 0.32 | 0.43 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 756 | ビット | 092・099 | 楕円形 | 0.21 | 0.17 | 0.20 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 757 | ビット | 093・098 | 方形 | 0.18 | 0.16 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 758 | ビット | 093・098 | 方形 | 0.22 | 0.18 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 759 | ビット | 093・098 | 楕円形 | 0.44 | 0.34 | 0.33 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 760 | ビット | 092・092 | 楕円形 | 0.35 | 0.34 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 761 | ビット | 090・094 | 楕円形 | 0.39 | 0.25 | 0.38 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 762 | ビット | 089・095 | 楕円形 | 0.34 | 0.25 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 763 | ビット | 088・096 | 楕円形 | 0.30 | 0.26 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 764 | ビット | 088・096 | 方形 | 0.25 | 0.23 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 765 | ビット | 088・096 | 隅丸方形 | 0.58 | 0.38 | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 766 | ビット | 087・097 | 方形 | 0.23 | 0.19 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 767 | ビット | 087・097 | 隅丸方形 | 0.30 | (0.19) | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 768 | ビット | 088・098 | 隅丸方形 | 0.29 | 0.29 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 769 | ビット | 103・089 | 方形 | 0.23 | 0.20 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 770 | ビット | 103・089 | 方形 | 0.23 | 0.19 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 771 | ビット | 104・089 | 楕円形 | (0.24) | — | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 772 | ビット | 105・088 | 楕円形 | (0.22) | — | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 773 | ビット | 105・088 | 楕円形 | 0.30 | 0.27 | 0.29 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 774 | ビット | 106・068 | 方形 | 0.28 | 0.26 | 0.17 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 775 | ビット | 103・087 | 楕円形 | 0.34 | 0.31 | 0.29 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 776 | ビット | 102・087 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 777 | ビット | 101・087 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 778 | ビット | 102・087 | 楕円形 | 0.22 | 0.20 | 0.04 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 779 | ビット | 102・087 | 楕円形 | 0.22 | 0.18 | 0.02 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 780 | ビット | 102・086 | 方形 | 0.14 | 0.14 | 0.02 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 781 | ビット | 089・095 | 楕円形 | 0.26 | 0.19 | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 782 | ビット | 091・105 | 方形 | 0.28 | 0.26 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 783 | ビット | 094・104 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 784 | ビット | 095・104 | 方形 | 0.18 | 0.16 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 785 | ビット | 095・103 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 786 | ビット | 095・102 | 隅丸方形 | 0.36 | 0.30 | 0.33 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 787 | ビット | 095・102 | 楕円形 | 0.27 | 0.23 | 0.31 | | 190 | 9 | | | |
| 8-2 | 788 | ビット | 086・234 | 楕円形 | 0.48 | 0.43 | 0.27 | | 190 | 5 | | | |
| 8-2 | 789 | ビット | 087・234 | 楕円形 | 0.37 | 0.32 | 0.23 | | 190 | 5 | | | |
| 8-2 | 790 | ビット | 087・230 | 楕円形 | 0.65 | 0.61 | 0.46 | | 190 | 5 | | | |
| 8-2 | 791 | ビット | 089・225 | 楕円形 | 0.42 | 0.37 | 0.21 | | 190 | 5 | | | |
| 8-2 | 792 | ビット | 091・226 | 楕円形 | 0.62 | 0.57 | 0.26 | | 190 | 5 | | | |
| 10-2 | 793 | ビット | 097・089 | 隅丸方形 | 0.32 | 0.30 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 794 | ビット | 097・088 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 造構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋設上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-------|-----|---------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|-----------|
| 10-2 | 795 | ビット | 098・089 | 鋼丸方形 | 0.25 | 0.22 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 796 | ビット | 098・088 | 方形 | 0.33 | 0.30 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 797 | ビット | 098・087 | 方形 | 0.22 | 0.20 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 798 | ビット | 097・087 | 方形 | 0.35 | 0.29 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 799 | ビット | 098・087 | 方形 | (0.30) | (0.27) | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 800 | ビット | 097・087 | 不明 | — | — | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 801 | ビット | 098・087 | 楕円形 | (0.35) | — | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 802 | ビット | 096・088 | 方形 | 0.25 | 0.19 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 803 | ビット | 095・087 | 方形 | 0.37 | 0.32 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 804 | ビット | 094・088 | 円形 | 0.16 | 0.15 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 805 | ビット | 094・087 | 鋼丸方形 | 0.34 | 0.32 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 806 | ビット | 093・087 | 方形 | 0.24 | 0.19 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 807 | ビット | 094・087 | 方形 | 0.26 | 0.20 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 808 | ビット | 093・087 | 方形 | 0.25 | 0.24 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 809 | ビット | 094・086 | 鋼丸方形 | 0.47 | 0.36 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 810 | ビット | 094・086 | 方形 | (0.27) | 0.27 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 811 | ビット | 094・086 | 方形 | 0.27 | 0.25 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 812 | ビット | 092・085 | 方形 | 0.37 | 0.28 | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 813 | ビット | 096・086 | 円形 | 0.18 | 0.17 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 814 | ビット | 096・086 | 方形 | 0.25 | 0.21 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 815 | ビット | 096・086 | 方形か | 0.31 | 0.29 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 816 | ビット | 096・085 | 方形 | 0.22 | 0.20 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 817 | ビット | 096・085 | 方形 | 0.28 | 0.25 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 818 | ビット | 095・085 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 819 | ビット | 095・084 | 方形 | 0.20 | 0.20 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 820 | ビット | 098・084 | 方形 | 0.27 | 0.26 | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 821 | ビット | 099・084 | 鋼丸方形 | 0.37 | 0.37 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 822 | ビット | 098・084 | 方形 | 0.19 | 0.15 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 823 | ビット | 098・084 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 824 | ビット | 099・084 | 円形 | 0.23 | 0.22 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 825 | ビット | 100・085 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 826 | ビット | 101・085 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 827 | ビット | 096・100 | 円形 | 0.28 | 0.27 | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 828 | ビット | 098・101 | 鋼丸方形 | 0.21 | 0.15 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 829 | ビット | 098・102 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 830 | ビット | 099・103 | 楕円形 | 0.48 | 0.39 | 0.24 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 831 | ビット | 100・103 | 楕円形 | 0.45 | 0.38 | 0.27 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 832 | ビット | 100・103 | 不定形 | 0.61 | 0.51 | 0.43 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 7 |
| 10-2 | 833 | ビット | 099・102 | 方形 | 0.27 | 0.22 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 834 | ビット | 100・102 | 方形 | 0.24 | 0.24 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 835 | ビット | 100・102 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 836 | ビット | 100・102 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 837 | ビット | 100・102 | 方形 | 0.26 | 0.26 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 838 | ビット | 100・101 | 楕円形 | 0.36 | 0.35 | 0.26 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 6 |
| | 839 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 840 | ビット | 100・102 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 841 | ビット | 100・101 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 842 | ビット | 100・101 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 843 | ビット | 099・100 | 楕円形 | 0.33 | 0.24 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 844 | ビット | 100・100 | 楕円形 | 0.29 | 0.26 | 0.18 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 5 |
| 10-2 | 845 | ビット | 100・100 | 方形 | 0.19 | 0.17 | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 846 | ビット | 100・099 | 楕円形 | 0.28 | 0.25 | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 847 | ビット | 101・099 | 円形 | 0.26 | 0.26 | 0.26 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 4 |
| 10-2 | 848 | ビット | 100・098 | 楕円形 | 0.25 | 0.22 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 849 | ビット | 101・098 | 鋼丸方形 | 0.26 | 0.25 | 0.12 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 3 |
| 10-2 | 850 | ビット | 101・096 | 楕円形 | 0.31 | 0.28 | 0.23 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 2 |
| 10-2 | 851 | ビット | 101・095 | 鋼丸方形 | 0.33 | 0.27 | 0.14 | | 190 | 9 | | | 1号柱穴列 P 1 |
| | 852 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 853 | ビット | 107・068 | 方形 | 0.29 | 0.24 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 854 | ビット | 106・068 | 方形 | 0.32 | 0.27 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 855 | ビット | 106・069 | 方形 | 0.30 | 0.30 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 856 A | ビット | 105・066 | 方形 | 0.21 | 0.21 | 0.14 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 856 B | ビット | 106・068 | 方形 | 0.34 | 0.24 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 857 | ビット | 104・066 | 方形 | 0.23 | 0.20 | 0.31 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 858 | ビット | 103・065 | 方形 | 0.21 | 0.18 | 0.11 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 859 | ビット | 103・065 | 方形 | 0.22 | 0.18 | 0.10 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 860 | ビット | 104・067 | 方形 | 0.21 | 0.17 | 0.04 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 861 | ビット | 104・067 | 楕円形 | 0.25 | — | 0.14 | | 190 | 11 | | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|------|-----|---------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|-----------|
| 10-2 | 862 | ビット | 104・067 | 楕円形 | 0.27 | — | 0.11 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 863 | ビット | 103・069 | 円形 | 0.18 | 0.18 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 864 | ビット | 102・069 | 楕円形 | 0.36 | 0.30 | 0.44 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 865 | ビット | 101・068 | 楕丸方形 | 0.29 | 0.26 | 0.40 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 866 | ビット | 094・106 | 方形 | 0.21 | 0.21 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 867 | ビット | 094・107 | 方形 | 0.26 | 0.25 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 868 | ビット | 094・108 | 方形 | 0.17 | 0.15 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 869 | ビット | 094・108 | 方形 | 0.31 | 0.30 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 870 | ビット | 092・108 | 方形 | 0.25 | 0.24 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 871 | ビット | 091・105 | 方形 | 0.18 | 0.14 | 0.05 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 872 | ビット | 090・105 | 楕円形 | 0.50 | 0.40 | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 873 | ビット | 090・106 | 楕円形 | 0.42 | 0.37 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 874 | ビット | 089・103 | 楕丸方形 | 0.20 | 0.18 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 875 | ビット | 088・105 | 方形 | 0.22 | 0.19 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 876 | ビット | 086・106 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 877 | ビット | 110・070 | 円形 | 0.53 | 0.53 | 0.26 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 878 | ビット | 109・071 | 楕円形 | 0.38 | 0.32 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 879 | ビット | 109・071 | 楕円形 | 0.52 | (0.33) | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 880 | ビット | 113・072 | 楕円形 | 0.33 | 0.31 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 881 | ビット | 109・072 | 楕丸方形 | 0.42 | 0.27 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 882 | ビット | 110・073 | 楕円形 | 0.66 | 0.48 | 0.37 | | 190 | 10 | | | |
| | 883 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 884 | ビット | 098・082 | 方形 | 0.18 | 0.16 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 885 | ビット | 099・083 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 886 | ビット | 090・092 | 円形 | 0.40 | 0.40 | 0.24 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 887 | ビット | 090・092 | 楕円形 | 0.31 | 0.25 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 888A | ビット | 099・082 | 楕円形 | 0.52 | (0.40) | 0.37 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 888B | ビット | 095・081 | 方形 | 0.23 | 0.23 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 889 | ビット | 099・082 | 楕丸方形 | (0.23) | — | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 890 | ビット | 099・082 | 方形 | (0.24) | 0.22 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 891 | ビット | 100・082 | 方形 | (0.33) | 0.37 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 892 | ビット | 100・082 | 方形 | (0.22) | (0.19) | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 893 | ビット | 100・082 | 楕円形 | (0.40) | 0.48 | 0.24 | | 190 | 10 | | | |
| | 894 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 895 | ビット | 100・082 | 方形 | 0.17 | 0.16 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 896 | ビット | 101・083 | 方形 | 0.32 | 0.28 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 897 | ビット | 101・083 | 方形 | 0.25 | (0.17) | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 898 | ビット | 101・083 | 方形 | 0.34 | — | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 899 | ビット | 100・084 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 900 | ビット | 101・083 | 方形 | 0.15 | 0.14 | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 901 | ビット | 101・083 | 方形 | 0.19 | 0.17 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 902 | ビット | 102・084 | 方形 | 0.28 | 0.26 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 903 | ビット | 102・084 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 904 | ビット | 102・084 | 方形 | 0.17 | 0.14 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 905 | ビット | 102・085 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 906 | ビット | 102・085 | 方形 | 0.23 | 0.18 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 907 | ビット | 102・084 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 908 | ビット | 102・084 | 方形 | 0.32 | 0.25 | 0.04 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 909 | ビット | 102・084 | 円形 | 0.09 | 0.08 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 910 | ビット | 100・083 | 方形 | (0.20) | 0.18 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 911 | ビット | 117・080 | 方形 | 0.28 | 0.24 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 912 | ビット | 118・081 | 楕丸方形 | 0.51 | 0.42 | 0.23 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 913 | ビット | 099・083 | 方形 | 0.19 | 0.16 | 0.05 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物P9 |
| 10-2 | 914 | ビット | 104・068 | 楕円形 | 0.35 | 0.29 | 0.30 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 915 | ビット | 103・068 | 楕円形 | 0.38 | 0.28 | 0.43 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 916 | ビット | 104・068 | 円形 | 0.20 | 0.19 | 0.21 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 917 | ビット | 091・089 | 楕円形 | 0.29 | 0.25 | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 918 | ビット | 091・089 | 方形 | (0.17) | 0.18 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 919 | ビット | 112・073 | 楕円形 | 0.40 | 0.38 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 920 | ビット | 113・072 | 楕円形 | 0.58 | 0.53 | 0.27 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 921 | ビット | 110・089 | 方形 | 0.22 | 0.20 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 922 | ビット | 107・088 | 方形 | 0.29 | 0.28 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 923 | ビット | 106・087 | 楕円形 | 0.36 | 0.32 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 924 | ビット | 117・075 | 楕円形 | 0.23 | 0.21 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 925 | ビット | 117・075 | 楕円形 | 0.36 | 0.31 | 0.25 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 926 | ビット | 116・075 | 方形 | 0.39 | 0.30 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 927 | ビット | 115・075 | 方形 | 0.35 | 0.28 | 0.17 | | 190 | 10 | 175 | 83 | |
| 10-2 | 928 | ビット | 092・097 | 方形 | 0.29 | 0.25 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 造構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋設上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 補図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-------|-----|----------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|------------|
| 10-2 | 929 | ビット | 092・-101 | 方形 | 0.32 | 0.24 | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 930 | ビット | 091・-102 | 方形 | 0.29 | 0.27 | 0.03 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 931 | ビット | 110・-095 | 方形 | 0.16 | 0.15 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 932 | ビット | 110・-094 | 楕円形 | 0.22 | 0.21 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| | 933 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 934 | ビット | 109・-073 | 楕円形 | 0.58 | 0.39 | 0.25 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 935 | ビット | 106・-072 | 方形 | 0.45 | 0.45 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 936 | ビット | 106・-073 | 楕丸方形 | 0.39 | 0.28 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 937 | ビット | 106・-071 | 楕丸方形 | 0.45 | 0.45 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 938 | ビット | 106・-070 | 楕円形 | 0.43 | 0.39 | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 939 | ビット | 112・-073 | 円形 | 0.31 | 0.30 | 0.22 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 940 | ビット | 100・-064 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.10 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 941 | ビット | 100・-064 | 円形 | 0.17 | 0.17 | 0.10 | | 190 | 11 | | | |
| 10-2 | 942 | ビット | 099・-082 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 943 | ビット | 100・-082 | 方形 | 0.18 | 0.17 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 944 | ビット | 100・-081 | 方形 | 0.28 | 0.28 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 945 | ビット | 101・-081 | 方形 | (0.25) | 0.26 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 946 | ビット | 101・-081 | 方形 | 0.38 | 0.34 | 0.41 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 947 | ビット | 101・-081 | 方形 | (0.17) | 0.21 | 0.24 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 948 | ビット | 102・-082 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 949 | ビット | 102・-083 | 方形 | 0.18 | 0.15 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 950 | ビット | 102・-081 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 951 | ビット | 105・-079 | 方形 | (0.21) | 0.24 | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 952 | ビット | 104・-079 | 方形 | 0.24 | 0.19 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 953 | ビット | 103・-079 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 954 | ビット | 102・-080 | 方形 | 0.25 | 0.21 | 0.27 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 955 | ビット | 101・-080 | 楕丸方形 | 0.45 | 0.37 | 0.45 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 956 | ビット | 100・-081 | 楕円形 | 0.39 | 0.35 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| | 957 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 958 | ビット | 102・-069 | 楕円形 | (0.30) | 0.26 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 959 | ビット | 097・-083 | 方形 | 0.20 | 0.20 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 960 | ビット | 101・-079 | 方形 | 0.32 | 0.27 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 961 | ビット | 100・-080 | 方形 | (0.22) | 0.21 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 962 | ビット | 100・-080 | 楕円形 | 0.33 | 0.25 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 963 | ビット | 100・-079 | 楕円形 | 0.33 | 0.25 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 964 | ビット | 099・-079 | 楕円形 | 0.27 | 0.24 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 965 | ビット | 099・-079 | 楕円形 | 0.43 | 0.31 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 966 | ビット | 099・-080 | 楕円形 | 0.37 | 0.31 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 967 | ビット | 098・-081 | 楕円形 | (0.35) | 0.36 | 0.31 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 968 | ビット | 097・-080 | 方形 | 0.29 | 0.27 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 969 A | ビット | 117・-080 | 楕円形 | 0.49 | 0.44 | 0.42 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物P 8 |
| 10-2 | 969 B | ビット | 098・-081 | 楕丸方形 | 0.38 | (0.37) | 0.30 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 970 | ビット | 097・-079 | 方形 | 0.39 | 0.25 | 0.29 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 971 | ビット | 097・-079 | 方形 | (0.14) | 0.21 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 972 | ビット | 097・-079 | 方形 | 0.22 | 0.20 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 973 | ビット | 097・-079 | 円形 | 0.23 | 0.22 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 974 | ビット | 097・-079 | 楕円形 | 0.32 | 0.25 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 975 | ビット | 098・-078 | 楕円形 | 0.45 | 0.38 | 0.27 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 976 | ビット | 099・-079 | 楕円形 | 0.27 | 0.24 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 977 | ビット | 097・-077 | 楕円形 | 0.28 | 0.23 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 978 | ビット | 098・-077 | 楕円形 | 0.36 | 0.32 | 0.26 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 979 | ビット | 099・-076 | 楕円形 | 0.38 | 0.36 | 0.41 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 980 | ビット | 099・-076 | 方形 | 0.27 | 0.24 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 981 | ビット | 099・-075 | 楕円形 | 0.38 | 0.33 | 0.30 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 982 | ビット | 100・-076 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 983 | ビット | 100・-076 | 方形 | 0.23 | 0.21 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 984 | ビット | 100・-076 | 方形 | 0.30 | 0.27 | 0.23 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 985 | ビット | 101・-077 | 楕円形 | 0.44 | (0.16) | 0.35 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 986 | ビット | 101・-077 | 楕円形 | 0.42 | (0.28) | 0.33 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 987 | ビット | 102・-077 | 方形 | 0.22 | 0.19 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 988 | ビット | 102・-077 | 楕円形 | 0.36 | 0.32 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 989 | ビット | 102・-077 | 円形 | 0.38 | 0.38 | 0.34 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 990 | ビット | 102・-077 | 不定形 | 0.63 | (0.15) | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 991 | ビット | 102・-077 | 楕丸方形 | 0.21 | 0.19 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 992 | ビット | 102・-078 | 方形 | 0.28 | 0.23 | 0.26 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 993 | ビット | 097・-081 | 楕円形 | 0.31 | 0.29 | 0.31 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 994 | ビット | 102・-076 | 円形 | 0.30 | 0.29 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 995 | ビット | 100・-076 | 方形 | 0.26 | 0.24 | 0.31 | | 190 | 10 | | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 傾倒 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|------|-----|---------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|--------------|
| 10-2 | 996 | ビット | 109・072 | 楕円形 | 0.27 | (0.25) | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 997 | ビット | 108・071 | 楕円形 | 0.36 | — | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 998 | ビット | 108・071 | 楕円形 | 0.28 | 0.23 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 999 | ビット | 110・071 | 円形 | 0.58 | 0.58 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 8-2 | 1000 | ビット | 103・202 | 不定形 | 0.30 | 0.28 | 0.32 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1001 | ビット | 101・202 | 円形 | 0.45 | — | 0.69 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1002 | ビット | 097・206 | 楕円形 | 0.77 | 0.68 | 0.20 | A 5 | 190 | 6 | 175・189 | 83 | |
| 8-2 | 1003 | ビット | 104・201 | 楕円形 | 0.25 | 0.23 | 0.14 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1004 | ビット | 098・197 | 隅丸方形 | 0.31 | 0.29 | 0.26 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1005 | ビット | 097・196 | 楕円形 | 0.35 | 0.30 | 0.16 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1006 | ビット | 097・203 | 隅丸方形 | 0.30 | 0.17 | 0.08 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1007 | ビット | 096・203 | 楕円形 | 0.23 | 0.21 | 0.17 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1008 | ビット | 097・204 | 円形 | 0.33 | 0.32 | 0.32 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1009 | ビット | 097・204 | 楕円形 | 0.27 | 0.21 | 0.16 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1010 | ビット | 095・207 | 不明 | 0.29 | — | 0.30 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1011 | ビット | 095・207 | 楕円形 | 0.39 | — | 0.28 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1012 | ビット | 099・210 | 楕円形 | 0.39 | 0.36 | 0.31 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1013 | ビット | 101・206 | 楕円形 | 0.29 | 0.20 | 0.23 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1014 | ビット | 101・205 | 楕円形 | 0.30 | 0.25 | 0.22 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1015 | ビット | 102・205 | 円形 | 0.16 | 0.16 | 0.07 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1016 | ビット | 104・206 | 楕円形 | 0.34 | 0.31 | 0.31 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1017 | ビット | 102・207 | 楕円形 | 0.40 | 0.37 | 0.42 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1018 | ビット | 101・206 | 円形 | 0.21 | 0.20 | 0.17 | | 190 | 6 | | | |
| 8-2 | 1019 | ビット | 103・202 | 隅丸方形 | 0.22 | 0.22 | 0.17 | | 190 | 6 | | | |
| 10-2 | 1020 | ビット | 120・076 | 方形 | 0.23 | 0.18 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1021 | ビット | 119・082 | 方形 | 0.34 | 0.22 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1022 | ビット | 109・071 | 楕円形 | (0.24) | 0.28 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1023 | ビット | 098・081 | 円形 | 0.28 | 0.27 | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1024 | ビット | 099・083 | 方形 | 0.31 | 0.27 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1025 | ビット | 117・080 | 楕円形 | 0.44 | 0.42 | 0.16 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 7 |
| 10-2 | 1026 | ビット | 117・079 | 楕円形 | 0.44 | 0.38 | 0.16 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 6 |
| 10-2 | 1027 | ビット | 119・077 | 隅丸方形 | 0.42 | 0.36 | 0.39 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 3 |
| 10-2 | 1028 | ビット | 120・077 | 楕円形 | 0.41 | 0.35 | 0.32 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1029 | ビット | 122・078 | 方形 | 0.13 | 0.12 | 0.26 | | 190 | 10 | | | 1号掘立柱建物 P 14 |
| 10-2 | 1030 | ビット | 095・082 | 楕円形 | 0.20 | 0.18 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1031 | ビット | 089・108 | 楕円形 | 0.40 | 0.35 | 0.25 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1032 | ビット | 091・109 | 方形 | 0.28 | 0.25 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1033 | ビット | 093・109 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1034 | ビット | 094・109 | 楕円形 | 0.27 | 0.24 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1035 | ビット | 096・110 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1036 | ビット | 099・109 | 楕円形 | 0.37 | (0.26) | 0.24 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1037 | ビット | 099・109 | 不明 | (0.14) | — | 0.38 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1038 | ビット | 099・109 | 楕円形 | 0.74 | 0.64 | 0.44 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1039 | ビット | 098・109 | 不明 | (0.14) | — | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1040 | ビット | 098・110 | 楕円形 | 0.30 | (0.17) | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1041 | ビット | 098・110 | 楕円形 | 0.44 | 0.35 | 0.32 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1042 | ビット | 098・110 | 楕円形 | 0.46 | 0.33 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1043 | ビット | 098・111 | 不明 | 0.36 | 0.28 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1044 | ビット | 098・111 | 方形 | 0.33 | 0.31 | 0.06 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1045 | ビット | 098・111 | 方形 | 0.30 | 0.23 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1046 | ビット | 097・111 | 楕円形 | 0.37 | 0.31 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1047 | ビット | 099・107 | 楕円形 | 0.38 | (0.29) | 0.25 | | 190 | 9 | | | |
| | 1048 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| | 1049 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| | 1050 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 1051 | ビット | 096・112 | 方形 | 0.20 | 0.18 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1052 | ビット | 096・112 | 不定形 | 0.36 | 0.32 | 0.34 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1053 | ビット | 096・113 | 方形 | 0.22 | 0.22 | 0.28 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1054 | ビット | 094・112 | 方形 | 0.33 | 0.25 | 0.20 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1055 | ビット | 093・112 | 隅丸方形 | 0.25 | 0.23 | 0.26 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1056 | ビット | 091・110 | 方形 | 0.31 | 0.25 | 0.27 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1057 | ビット | 090・110 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1058 | ビット | 088・109 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1059 | ビット | 088・109 | 方形 | (0.14) | 0.23 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1060 | ビット | 088・110 | 方形 | 0.16 | 0.16 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1061 | ビット | 086・109 | 楕円形 | 0.40 | 0.38 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1062 | ビット | 086・110 | 不定形 | 0.48 | 0.31 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1063 | ビット | 086・110 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.13 | | 190 | 9 | | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 造構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|--------|-----|----------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|----|
| 10-2 | 1064 | ビット | 086・-110 | 方形 | 0.22 | 0.22 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1065 | ビット | 086・-110 | 楕円形 | 0.37 | 0.30 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1066 | ビット | 087・-110 | 方形 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1067 | ビット | 089・-112 | 方形 | 0.30 | 0.28 | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1068 | ビット | 091・-113 | 円形 | 0.35 | 0.34 | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1069 | ビット | 093・-113 | 方形 | 0.31 | 0.23 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1070 | ビット | 093・-113 | 方形 | 0.24 | (0.20) | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1071 | ビット | 096・-114 | 楕円形 | 0.39 | 0.35 | 0.27 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1072 | ビット | 096・-113 | 不明 | 0.36 | 0.33 | 0.32 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1073 | ビット | 096・-114 | 不明 | 0.26 | (0.13) | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1074 | ビット | 097・-114 | 方形 | 0.28 | 0.27 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1075 | ビット | 095・-115 | 不明 | 0.45 | 0.36 | 0.42 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1076 | ビット | 094・-073 | 方形 | 0.21 | 0.19 | 0.14 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1077 | ビット | 098・-116 | 円形 | 0.33 | 0.32 | 0.36 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1078 | ビット | 105・-071 | 方形 | 0.27 | 0.25 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1079 | ビット | 093・-075 | 楕円形 | 0.36 | 0.24 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1080 | ビット | 097・-114 | 楕円形 | 0.33 | 0.28 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1081 | ビット | 096・-114 | 方形 | 0.36 | 0.24 | 0.07 | | 190 | 9 | | | |
| | 1082 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 1083 | ビット | 089・-113 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.20 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1084 | ビット | 088・-114 | 楕円形 | 0.51 | 0.44 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1085 A | ビット | 090・-114 | 方形 | 0.29 | 0.24 | 0.10 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1085 B | ビット | 090・-116 | 不明 | — | — | — | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1086 | ビット | 091・-114 | 方形 | 0.20 | 0.23 | 0.15 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1087 | ビット | 092・-115 | 方形 | 0.29 | 0.23 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1088 | ビット | 095・-114 | 不明 | 0.53 | 0.40 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1089 | ビット | 095・-115 | 不明 | 0.19 | (0.12) | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1090 | ビット | 095・-115 | 円形 | 0.30 | 0.30 | 0.23 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1091 | ビット | 095・-115 | 円形 | 0.35 | 0.34 | 0.39 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1092 | ビット | 094・-116 | 隅丸方形 | 0.44 | 0.28 | 0.41 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1093 | ビット | 093・-116 | 方形 | 0.31 | 0.30 | 0.17 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1094 | ビット | 092・-115 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.13 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1095 | ビット | 092・-080 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1096 | ビット | 092・-080 | 方形 | 0.22 | 0.21 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1097 | ビット | 092・-080 | 方形 | 0.33 | (0.16) | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1098 | ビット | 091・-080 | 楕円形 | 0.33 | 0.27 | 0.39 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1099 | ビット | 092・-079 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1100 | ビット | 092・-079 | 方形 | 0.24 | 0.23 | 0.22 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1101 | ビット | 093・-079 | 楕円形 | 0.40 | 0.24 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1102 | ビット | 092・-078 | 楕円形 | 0.31 | 0.22 | 0.03 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1103 | ビット | 092・-079 | 方形 | 0.25 | 0.22 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1104 | ビット | 092・-078 | 方形 | 0.17 | 0.15 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1105 | ビット | 091・-079 | 隅丸方形 | 0.35 | 0.34 | 0.20 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1106 | ビット | 091・-078 | 不明 | — | 0.30 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1107 | ビット | 091・-078 | 不明 | — | 0.35 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1108 | ビット | 091・-078 | 隅丸方形 | 0.42 | 0.31 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1109 | ビット | 091・-077 | 楕円形 | 0.27 | 0.23 | 0.36 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1110 | ビット | 093・-077 | 楕円形 | 0.38 | 0.34 | 0.31 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1111 | ビット | 093・-076 | 方形 | 0.23 | 0.22 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1112 | ビット | 093・-076 | 方形 | 0.18 | 0.17 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1113 | ビット | 092・-076 | 方形 | 0.18 | 0.17 | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1114 | ビット | 093・-075 | 方形 | 0.33 | 0.32 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1115 | ビット | 093・-075 | 楕円形 | 0.40 | 0.32 | 0.26 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1116 | ビット | 093・-075 | 楕円形 | 0.45 | (0.25) | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1117 | ビット | 094・-075 | 楕円形 | (0.30) | 0.34 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1118 | ビット | 093・-075 | 方形 | 0.27 | 0.27 | 0.30 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1119 | ビット | 092・-075 | 楕円形 | 0.29 | 0.22 | 0.54 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1120 | ビット | 092・-075 | 方形 | 0.24 | 0.24 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1121 | ビット | 093・-074 | 楕円形 | 0.23 | 0.20 | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1122 | ビット | 093・-074 | 不定形 | 0.46 | 0.35 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1123 | ビット | 093・-076 | 不定形 | 0.42 | 0.38 | 0.22 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1124 | ビット | 094・-076 | 楕円形 | 0.36 | 0.36 | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1125 | ビット | 094・-076 | 楕円形 | 0.28 | 0.24 | 0.19 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1126 | ビット | 095・-076 | 方形 | 0.26 | 0.18 | 0.25 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1127 | ビット | 094・-077 | 楕円形 | 0.19 | 0.16 | 0.44 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1128 | ビット | 095・-075 | 方形 | 0.27 | 0.27 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1129 | ビット | 095・-075 | 楕円形 | 0.42 | 0.28 | 0.44 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1130 | ビット | 096・-075 | 方形 | 0.23 | 0.18 | 0.24 | | 190 | 10 | | | |

遺構計測一覧表

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|------|-----|---------|------|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|----|
| 10-2 | 1131 | ビット | 096・075 | 方形 | 0.23 | (0.17) | 0.24 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1132 | ビット | 096・074 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.39 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1133 | ビット | 095・074 | 方形 | 0.22 | 0.22 | 0.44 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1134 | ビット | 093・078 | 楕円形 | 0.32 | 0.27 | 0.26 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1135 | ビット | 093・078 | 楕円形 | 0.33 | 0.29 | 0.43 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1136 | ビット | 101・079 | 方形 | (0.17) | 0.23 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1137 | ビット | 094・075 | 楕円形 | 0.32 | 0.31 | 0.48 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1138 | ビット | 094・075 | 隅丸方形 | 0.30 | 0.24 | 0.42 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1139 | ビット | 105・071 | 方形 | 0.22 | 0.20 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1140 | ビット | 105・071 | 方形 | 0.27 | 0.25 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1141 | ビット | 105・071 | 楕円形 | 0.27 | 0.23 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1142 | ビット | 093・078 | 楕円形 | 0.29 | 0.23 | 0.27 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1143 | ビット | 104・071 | 楕円形 | 0.34 | 0.31 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1144 | ビット | 103・071 | 隅丸方形 | 0.31 | 0.25 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1145 | ビット | 104・072 | 方形 | 0.26 | 0.24 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1146 | ビット | 104・072 | 方形 | 0.28 | 0.28 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1147 | ビット | 105・072 | 円形 | 0.22 | 0.21 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1148 | ビット | 104・073 | 方形 | 0.27 | 0.20 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1149 | ビット | 105・073 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1150 | ビット | 103・070 | 楕円形 | 0.42 | 0.37 | 0.25 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1151 | ビット | 102・071 | 楕円形 | 0.28 | 0.20 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1152 | ビット | 102・071 | 方形 | 0.20 | 0.15 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1153 | ビット | 102・071 | 楕円形 | 0.42 | (0.30) | 0.15 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1154 | ビット | 102・071 | 楕円形 | (0.20) | 0.28 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1155 | ビット | 102・072 | 隅丸方形 | 0.24 | 0.24 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1156 | ビット | 101・071 | 円形 | 0.30 | 0.29 | 0.21 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1157 | ビット | 100・072 | 方形 | 0.32 | 0.29 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1158 | ビット | 101・072 | 方形 | 0.24 | 0.19 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1159 | ビット | 102・073 | 隅丸方形 | 0.38 | 0.37 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1160 | ビット | 103・073 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1161 | ビット | 102・074 | 方形 | 0.32 | 0.31 | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1162 | ビット | 101・073 | 楕円形 | 0.39 | 0.34 | 0.35 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1163 | ビット | 101・073 | 隅丸方形 | 0.21 | 0.20 | 0.29 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1164 | ビット | 101・073 | 方形 | 0.28 | 0.23 | 0.34 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1165 | ビット | 101・073 | 方形 | 0.25 | 0.23 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1166 | ビット | 100・073 | 方形 | 0.16 | 0.14 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1167 | ビット | 100・074 | 方形 | 0.17 | 0.17 | 0.14 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1168 | ビット | 100・074 | 方形 | 0.17 | 0.17 | 0.18 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1169 | ビット | 101・075 | 方形 | 0.32 | 0.32 | 0.32 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1170 | ビット | 101・075 | 隅丸方形 | 0.34 | 0.34 | 0.28 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1171 | ビット | 102・075 | 方形 | 0.28 | 0.27 | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1172 | ビット | 102・075 | 方形 | 0.32 | 0.25 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1173 | ビット | 101・076 | 方形 | 0.24 | 0.21 | 0.12 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1174 | ビット | 101・076 | 方形 | 0.41 | 0.35 | 0.16 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1175 | ビット | 101・076 | 方形 | 0.27 | 0.26 | 0.26 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1176 | ビット | 102・076 | 方形 | — | 0.20 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1177 | ビット | 102・076 | 方形 | 0.27 | 0.23 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1178 | ビット | 103・076 | 方形 | 0.31 | 0.30 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1179 | ビット | 103・077 | 方形 | 0.38 | 0.37 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1180 | ビット | 104・077 | 方形 | 0.31 | 0.23 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1181 | ビット | 105・076 | 方形 | 0.31 | 0.31 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1182 | ビット | 105・077 | 隅丸方形 | 0.30 | 0.24 | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1183 | ビット | 106・077 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1184 | ビット | 105・077 | 楕円形 | 0.32 | 0.27 | 0.41 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1185 | ビット | 105・077 | 方形 | 0.33 | 0.26 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1186 | ビット | 106・076 | 方形 | 0.26 | 0.22 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1187 | ビット | 106・075 | 方形 | 0.26 | 0.21 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1188 | ビット | 106・076 | 方形 | 0.37 | 0.37 | 0.05 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1189 | ビット | 106・075 | 楕円形 | 0.30 | (0.18) | 0.08 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1190 | ビット | 106・075 | 方形 | (0.10) | 0.26 | 0.06 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1191 | ビット | 106・075 | 方形 | 0.25 | 0.25 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1192 | ビット | 106・075 | 方形 | 0.30 | 0.25 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1193 | ビット | 095・084 | 方形 | 0.19 | 0.19 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1194 | ビット | 095・084 | 方形 | 0.21 | 0.20 | 0.07 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1195 | ビット | 088・115 | 方形 | 0.30 | 0.29 | 0.27 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1196 | ビット | 090・115 | 方形 | 0.19 | 0.18 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1197 | ビット | 091・115 | 方形 | 0.18 | 0.17 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1198 | ビット | 090・116 | 方形 | 0.20 | 0.15 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |

ビット一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 埋没上 | 本文 頁 | ビット 別図No. | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|------|-------|-----|----------|-----|---------|---------|-----------|-----|---------|--------------|----------|----------|--------------|
| 10-2 | 1199 | ビット | 090・-116 | 方形 | 0.21 | 0.21 | 0.33 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1200 | ビット | 089・-116 | 方形 | 0.38 | 0.26 | 0.38 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1201 | ビット | 089・-118 | 楕円形 | 0.57 | 0.54 | 0.26 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1202 | ビット | 090・-117 | 方形 | 0.16 | 0.16 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1203 | ビット | 093・-119 | 不定形 | 0.43 | 0.43 | 0.45 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1204 | ビット | 093・-119 | 楕円形 | 0.51 | (0.14) | 0.33 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1205 | ビット | 094・-117 | 方形 | 0.32 | 0.29 | 0.37 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1206 | ビット | 094・-117 | 方形 | 0.25 | 0.23 | 0.27 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1207 | ビット | 095・-117 | 方形 | 0.28 | 0.28 | 0.20 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1208 | ビット | 096・-119 | 方形 | 0.17 | 0.16 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1209 | ビット | 096・-118 | 不定形 | 0.31 | 0.28 | 0.08 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1210 | ビット | 096・-118 | 楕円形 | 0.32 | 0.26 | 0.26 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1211 | ビット | 096・-118 | 楕円形 | 0.26 | 0.25 | 0.22 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1212 | ビット | 097・-118 | 楕円形 | 0.25 | 0.24 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1213 | ビット | 097・-118 | 不定形 | 0.40 | 0.37 | 0.31 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1214 | ビット | 097・-119 | 楕円形 | 0.36 | 0.33 | 0.26 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1215 | ビット | 098・-118 | 楕円形 | 0.43 | 0.28 | 0.16 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1216A | ビット | 098・-108 | 楕円形 | 0.36 | 0.31 | 0.12 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1216B | ビット | 096・-115 | 方形 | 0.20 | 0.20 | 0.18 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1217 | ビット | 106・-069 | 方形 | 0.26 | 0.20 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1218A | ビット | 099・-105 | 楕円形 | 0.58 | 0.54 | 0.45 | | 190 | 9 | | | 1号柱六列P8 |
| 10-2 | 1218B | ビット | 098・-115 | 方形 | 0.31 | 0.23 | 0.26 | | 190 | 9 | | | 1218A号ビットを変更 |
| 10-2 | 1219 | ビット | 096・-084 | 方形 | 0.24 | 0.22 | 0.09 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1220A | ビット | 097・-085 | 方形 | 0.20 | 0.19 | 0.13 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1220B | ビット | 098・-114 | 不定形 | 0.25 | 0.25 | 0.24 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1221 | ビット | 093・-075 | 方形 | 0.20 | 0.17 | 0.21 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1222 | ビット | 098・-114 | 方形 | 0.22 | 0.22 | 0.29 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1223 | ビット | 098・-110 | 楕円形 | 0.28 | 0.22 | 0.19 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1224 | ビット | 099・-106 | 楕円形 | 0.35 | 0.27 | 0.33 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1225 | ビット | 099・-107 | 楕円形 | (0.74) | 0.59 | 0.29 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1226 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 1227 | ビット | 098・-108 | 楕円形 | 0.28 | 0.24 | 0.30 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1228 | ビット | 097・-108 | 楕円形 | 0.26 | 0.23 | 0.11 | | 190 | 9 | | | |
| 10-2 | 1229 | ビット | 088・-090 | 円形 | 0.23 | 0.23 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1230 | ビット | 088・-089 | 楕円形 | (0.13) | 0.21 | 0.03 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1231 | ビット | 088・-089 | 方形 | 0.15 | 0.14 | 0.10 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1232 | ビット | 089・-091 | 楕円形 | — | — | 0.11 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1233 | ビット | 089・-090 | 楕円形 | 0.21 | 0.21 | 0.17 | | 190 | 10 | | | |
| 10-2 | 1234 | ビット | 欠番 | | | | | | | | | | |
| 10-2 | 1235 | ビット | 097・-107 | 円形 | 0.20 | 0.19 | 0.09 | | 190 | 9 | | | |

畑一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 竪間溝の幅 m | 深さ m | 心志間距離 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|---|----|-----|----------------------|---------|---------------|---------|------------|-----------|---------|----------|----------|----|
| 7 | 1 | 畑 | 084～088 -102～-115 | 竪間溝列を抽出 | 0.13～ 0.34 | | 0.05 | 0.08～0.32 | N-30°-W | 208 | 192 | 59 |

復旧痕一覧表

| 区 | No | 遺構種 | グリッド | 平面形 | 長軸 m | 短軸 m | 残存壁高 m | 長軸方位 | 本文 頁 | 挿図 番号 | 写真 PL | 備考 |
|---|----|------|-----------------------|-------|-------------|------------|-----------|---------|---------|----------|----------|--------------|
| 7 | 1 | 復旧痕 | 060・-281 | 不附 | 0.84 | 0.42 | 0.09 | N-18°-E | 209 | 194-195 | 59 | |
| 7 | 2 | 復旧痕 | 067・-279 | 楕円形 | 1.16 | 0.96 | 0.73 | N-81°-E | 209 | 193～195 | 59-83 | |
| 7 | 3 | 復旧痕 | 069・-282 | 不定形 | 1.60 | 0.96 | 0.59 | N-81°-E | 209 | 194-195 | 59 | |
| 7 | 4 | 復旧痕A | 075・-284 | 不定形 | 1.62 | 0.43 | 0.35 | N-82°-E | 209 | 194-195 | 59-60-84 | |
| 7 | 4 | 復旧痕B | 074・-284 | 不定形 | 1.40 | 0.60 | 0.27 | N-84°-E | 209 | 194-195 | 59-60-84 | |
| 7 | 5 | 復旧痕 | 077・-287 | 隅丸長方形 | 1.36 | 1.34 | 0.76 | N-82°-E | 209 | 194-195 | 59 | |
| 7 | 6 | 復旧痕 | 078・-285 | 楕円形 | 1.08 | 0.38 | 0.21 | N-71°-E | 209 | 194-195 | 59-60 | |
| 7 | 7 | 復旧痕 | 081・-291 | 不附 | (1.55) | 1.32 | 0.49 | N-71°-E | 209 | 194-195 | 59-60-84 | |
| 7 | 8 | 復旧痕 | 090～092・ -290～-300 | 不定形 | 延長 5.60 | 幅 2.2 | 0.06 | 計測不能 | 309 | 194-195 | 59-60 | |
| 7 | 9 | 復旧痕 | 086・-289 | 隅丸長方形 | 1.68 | 1.10 | 0.69 | N-80°-E | 309 | 193～195 | 59-60-83 | |
| 7 | 16 | 溝 | 092～095・ -290～-300 | 溝状 | 延長 6.0以上 | 幅 1.1以上 | 0.21 | N-82°-E | 309 | 194-195 | 59-60 | 既存の溝を 利用か |

遺物観察表

凡例

1. 遺物観察表は本文第三章の遺物掲載順に並べた。
2. 「出土位置」のうち、平面的位置については本文に記載したので、ここでは一部省略した。
3. 「計測値」の「口」は口径、「底」は底径、「高」は器高、「台」は高台径を示す。
4. 「計測値」に付した()のうち、石器・石製品、羽口・鉄滓は残存値である。陶磁器は復元値である。
5. 「重量」は6000gまでは0.5g単位、20kgまでは50g単位、20kg以上は100g単位の秤を使用して計測した。
6. 「胎土」は特徴的な挟雑物について記載した。胎土中の細砂・粗砂・礫については、直径2mm以上を礫、直径2～0.2mmを粗砂、直径0.2mm以下を細砂とした。
7. 「焼成」は還元焰焼成を明記し、焼成の良・不良を記載した。
8. 「色調」は農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『標準土色帖』を用いて記載した。
9. 陶磁器の分類等は以下を参考にした。
常滑陶器：『編年表』『愛知県史別編 窯業 3 中世・近世・常滑系』愛知県 2012
肥前陶磁：『九州陶磁の編年-九州近世陶磁学会10周年記念-』九州近世陶磁学会 2000
瀬戸・美濃陶器：藤澤良祐『編年表』『愛知県史別編窯業 2 中世・近世・瀬戸系』2007
13世紀以前の中国産青磁：山本信夫『太宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』太宰府市教育委員会 2000
10. 縄文土器の胎土分類は下記の通りである。
A：少量の円磨度の進んだ珪質乳白色岩片・長石・輝石の粗・細砂と繊維を含むやや緻密な胎土。
B：多量の円磨度の進んだ長石礫・粗砂や雲母粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。
C：中量の輝石や円磨度の進んだ少量の長石・灰白色岩片・軽石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。
D：多量の長石や円磨度の進んだ長石・輝石の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。
※ 各分類はルーペ等を使用した肉眼観察による。
※ 挟雑物の粒径分類については『新版 標準土色帳』の「土壌調査用チャート」に準拠した。

目次

1. 遺物観察表 249
2. 非実測遺物一覧表 282

6区47号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|----------------|---|----------------------|---|---------|
| 第6区 PL.61 | 1 | 須恵器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 12.0 底 7.2 高 3.8 | 薄・粗砂粒多量/ 還元焰/黄灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り難し後、無調整。 | |
| 第6区 PL.61 | 2 | 須恵器 杯 | 床面直上 2/3 | 口 11.3 底 6.7 | 白色底物粒・粗砂 粒/還元焰/灰白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転糸切り難し後、無調整。 | 内面やや磨減。 |
| 第6区 PL.61 | 3 | 礫石器 棒状礫 | 埋没土中 不明 | 長 (7.0) 幅 (3.3) 厚 重 (2.6) 重 76.7 | 牛状砂岩 | 角柱状を呈し全体的に整形されている可能性がある。表面には平坦面が広く認められ砥石として利用された可能性がある。 | |
| 第6区 PL.61 | 4 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 不明 | 長 (12.3) 幅 (3.3) 厚 重 (278.1) | 緑色片岩 | 柱状の整った形態を呈しており全体的に整形されている可能性がある。 | |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 14.6 幅 4.5 重 281.3 | 雲母石英片岩 | | 計測のみ |

6区48号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|-----------------|--------|--------------------|---|-------|
| 第7区 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部片 | 口 9.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨減。 |
| 第7区 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部片 | 口 11.8 | 細砂粒/良好/橙 | 小破片のため口径が小さくなる可能性あり。口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第7区 | 3 | 土師器 小型甕 | 埋没土中 口縁部片 | 口 13.6 | 粗砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 外面磨減。 |

6区49号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|-------------------------|--------|--------------------|------------------------------------|-------|
| 第8区 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部上 位1/2 | 口 14.8 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)外面はへら削り。内面はナデ。 | |
| 第8区 | 2 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部1/3 | 口 21.2 | 赤色粘土粒・粗砂 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデか。 | 器面磨減。 |
| 第8区 | 3 | 須恵器 甕 | 床面直上9cm 口縁部1/3 | 口 17.0 | 白色底物粒/還元 焰/灰 | ロクロ整形。口縁部は横ナデ。外面の口唇部直下と上半部に波状文を施す。 | |

6区50号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------|---|-------------------|
| 第10区 PL.61 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 1/3 | 口 12.0 高 4.0 | 細砂粒/良好/明 濁 | 口縁部は横ナデ。内面はナデ。底部中央から口縁部に向けて放射状にへら磨き。 | |
| 第10区 PL.61 | 2 | 土師器 杯 | P4南脇床面直上 6.6cm 2/3 | 口 12.6 高 5.5 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | やや磨減。 |
| 第10区 | 3 | 土師器 杯 | P4周辺床面直上 口縁部～底部片 | 口 12.8 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面の上半部には成形時の面を残す。下半部にはへらナデ。内面はナデ。底部外面はへら削り。工具痕。 | |
| 第10区 | 4 | 土師器 高杯 | 床面直上8cm 胴部上位～中位 | 口 25.4 高 12.7 | 細砂粒/良好/橙 | 外面は縦位にへら削り。器面は面取り状を呈す。内面は上位が指ナデ。下位はへら削り。 | 破損後磨減。二次利用か。 |
| 第10区 PL.61 | 5 | 土師器 有孔鉢 | 床面直上 一部欠 | 口 25.4 孔 3.5 | 薄・粗砂粒/良好/ にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は斜位のへら削り。底部に直径3.5cmの焼成前穿孔が見られる。内面はへらナデ。 | 器面磨減。 |
| 第10区 PL.61 | 6 | 須恵器 甕 | 床面直上 1/2 | 口 13.0 高 4.3 | 白色底物粒/還元 焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。切り難し後、天井部に回転へら削り。口唇端部は内側が削られるように尖る。 | 口唇端部に工具があたり刻目状。 |
| 第10区 PL.61 | 7 | 土師器 甕 | 床面直上 3/4 | 口 22.4 底 6.1 高 36.5 | 薄・粗砂大の片多 量/良好/橙 | 横断面は長円形を呈す。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 胴部下位から底部外面に粘質土付着。 |
| 第10区 | 8 | 土師器 甕 | 床面直上23.5cm 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 20.2 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はへら削り。 | 器面磨減。 |

6区51号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | No. | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|------------------------------|-----------------|----------------------|--|--------------|
| 第11区 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部片 | 口 10.8 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第11区 PL.61 | 2 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 12.9 高 4.7 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第11区 | 3 | 土師器 杯 | 床面直上4.4cm 底部 | 口 12.9 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤濁 | 外面は手持ちへら削り。内面はへらナデ。中央寄りに工具痕を残す。 | 口唇部二次損傷も使用か。 |
| 第11区 | 4 | 土師器 鉢 | 床面直上 胴部下～底部 1/2 | 底 6.4 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 胴部外面は磨減、へら削り、へらナデか。内面はへらナデか。口唇端部に木葉痕。胴部外面に輪轆痕が観察できるのは器面磨減のためか。 | |
| 第11区 | 5 | 土師器 甕 | 床面直上、床面 上6～8cm 胴部下位～底部 | 底 10.9 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙 | 胴部外面は斜縦位のへら削り。内面は下位に斜縦位のへら削り。端部もへら削り。中位はへらナデの上にへら磨きか。 | 内面磨減。 |
| 第11区 | 6 | 土師器 甕 | 床面直上9.6cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 23.0 | 細砂粒/良好/黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はへら磨きか。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨減。 |

遺物観察表

6区52号竪穴建物出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 | 出上位 位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|-----------|-------------------|-----------|------------------------|---|----|
| 第128号 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～底部 | 口 12.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外周に成形時のナデの面を残す。底部は手持ちへう削り。 | |
| 第128号 | 2 | 土師器 甕 | 埋没土中 胴部下位～底部 | 底 4.2 | 粗砂粒/良好/にぶい黄褐色 | 胴部外面は斜縦位のへう削り。内面はへらナデ。底部の断面はわずかに凸状。へう削り。 | |
| 第128号 | 3 | 須恵器 壺か | 床面直上 胴部下位～底部 | 台 9.0 | 白色・黒色鉱物粒 /還元焰/灰オリーブ | 口ロク整形。回転は右回り。底部は切り離し後、回転へう調整。その後、断面台形の高さを増付。周縁部にナデ調整。胴部外面の高台寄りに回転を伴うへう削り。 | |
| 第128号 | 4 | 土師器 甕 | 竈燃焼直上 口縁部～胴部上位 | 口 20.4 | 粗砂粒/良好/橙 | 甕形は歪むか。口径が小さくなる可能性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のへう削り。内面はへらナデ。 | |

6区53号竪穴建物出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 | 出上位 位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|----|----------|------------------|---------------|--------------------|---|-------|
| 第138号 PL.61 | 1 | 須恵器 杯 | 埋没土中 3/4 | 口 5.3 底 | 粗砂粒・金雲母/ 還元焰/橙 | 口ロク整形。回転は左回り。底部は回転糸切り離し後、無調整。底部内面は中央部分に指ナデ。 | 器面磨滅。 |

6区61号竪穴建物出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 | 出上位 位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|----|------------|-----------------------------|-----------------------|-------------------------------------|--|---------------|
| 第148号 PL.61 | 1 | 土師器 杯 | 壁際内側底面 上12.7cm 1/2 | 口 12.6 高 5.2 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへう削り。内面はナデ。 | |
| 第148号 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中 1/3 | 口 11.8 | 粗砂粒・細砂粒・ 雲母/良好/にぶい 黄褐色 | 口縁部は横ナデ。体部から底部の外面は手持ちへう削り。内面はナデ。 | 外面磨滅。内面に炭素吸着。 |
| 第148号 PL.61 | 3 | 土師器 杯 | 床面上4.5cm 2/3 | 口 13.9 高 4.9 | 礫・粗砂粒多量/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデと考えられる。 | 器面磨滅。 |
| 第148号 | 4 | 土師器 杯 | 埋没土中 1/4 | 口 15.8 高 5.4 | 粗砂粒/良好/にぶい 橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへう削り。内面はナデ。一部に工具痕を残す。 | |
| 第148号 | 5 | 土師器 鉢 | 床面直上 2/3 | 口 22.7 高 8.9 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 底部は平底を意図している。口縁部は横ナデ。体部外面はへう削りか。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第148号 PL.61 | 6 | 土師器 小型甕 | 床面直上 3/4 | 口 12.9 高 5.8 | 15.8 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい赤 褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう削り。内面は横位のへう削り。 | 被熱・変色。 |
| 第148号 | 7 | 土師器 甕 | 床面直上 胴部下位～底部 | 底 6.0 | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい黄 褐色 | 胴部外面は斜縦位を主体とするへう削り。内面はへらナデ。底部外面はへう削り。 | 器面やや空磨滅。 |
| 第148号 | 8 | 土師器 甕 | 床面上11.7cm 胴部下位～底部 1/2 | 底 6.0 | 礫・粗砂粒/良好/ にぶい黄褐色 | 横断面が楕円形を呈している可能性あり。胴部外面は縦位の。底部寄りは斜位のへう削り。内面は横位の。下位は一部に斜位のへう削りか。底部はへう削りか。 | |
| 第148号 | 9 | 土師器 甕 | 床面上7.2cm 口縁部～胴部上位 1/4 | 口 17.8 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう削り。内面は横位のへう削り。一部に粘土粒の接合痕を残す。 | |

6区62号竪穴建物出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 | 出上位 位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|----|------------|-----------------------------|-----------------------|------------------------------------|--|----------------|
| 第168号 PL.62 | 1 | 土師器 手捏ね | 埋没土中 体部中位～底部 1/2 | 底 4.9 | 細砂粒/良好/橙 | 形状は口縁部が外傾して立ち上がる鉢を呈する。口縁部から体部は横位のナデ。調整が粗雑で粘土の凹凸、ヒビが残る。内面はナデ。底部外面に木葉痕。 | |
| 第168号 PL.62 | 2 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部欠損 | 口 4.0 | 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/にぶい 黄褐色 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上半部はナデ。下半部は横位のへう削り。底部はナデ。木葉痕。 | 口縁部欠損後も使用したか。 |
| 第168号 PL.62 | 3 | 土師器 杯 | P9西部床面上 2.6cm 3/4 | 口 13.6 高 4.5 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第168号 | 4 | 土師器 杯 | 竈左脇床面直上 1/3 | 口 12.8 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへう削り。内面はナデ。 | |
| 第168号 | 5 | 土師器 杯 | 竈左脇床面直上 1/4 | 口 13.4 | 細砂粒/良好/明赤 褐色 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへう削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第168号 | 6 | 土師器 杯 | 竈左脇床面直上 1/3 | 口 13.0 高 3.7 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部は手持ちへう削り。内面はナデ。底部中央から口縁部に向けて放射状にへう磨き。 | 外面の一部と内面に炭素吸着。 |
| 第168号 PL.62 | 7 | 土師器 鉢 | P2東側床面直上 口縁部～体部上位 1/4 | 口 16.6 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへう削りと考えられる。内面はナデか。 | 器面磨滅。 |
| 第168号 PL.62 | 8 | 土師器 鉢 | 床面直上 口縁部～体部上位 1/4 | 口 21.6 | 細砂粒/良好/橙 | 外面は口縁部が横ナデ。体部はへう削りと考えられる。内面は横位のへう磨きを充たせる。 | |
| 第168号 PL.62 | 9 | 土師器 小型甕 | 竈前床面上 2.3cm 不定形 | 口 13.8 高 8.0 | 14.8 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のへう削り。内面は横位のへう削り。底部外面はへう削り。 | |
| 第168号 PL.62 | 10 | 土師器 甕 | 竈前床面 3.9cm 3/4 | 口 22.6 高 5.8 | 38.9 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/にぶい 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の。下位は斜位のへう削り。内面は横位のへう削り。底部外面はへう削り。 | |
| 第168号 PL.62 | 11 | 土師器 甕 | 竈右脇床面上 6.8cm 1/2 | 口 20.8 高 6.5 | 37.3 礫大の片岩多量/ 良好/にぶい黄 褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は最下位を除いて縦位のへう削り。底部寄りは斜縦位のへう削り。底部外面は丁寧なナデ。内面に横位・斜位のへう削りを繰り返す。 | |

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|------------------------------------|--|---------------------|--|-------|
| 第16図 PL.62 | 12 | 土師器 甕 | 貯東側床面上 9.7cm 口縁部～頸部 1/4 | 口 16.0 | 細砂粒/良好/明赤褐 | 横断面は長円形を呈する。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう削り。内面は横位のへう削り。 | 器面磨減。 |
| 第16図 PL.62 | 13 | 土師器 甕 | 甕石抽籠床面上 6.8cm 胴部上位～底部 2/3 | 底 5.5 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/ふい橙 | 胴部外面は斜縦位のへう削り。内面は横位・斜縦位のへうナデ。底部外面は横位のへう削り。 | 器面磨減。 |
| 第16図 PL.62 | 14 | 礫石器 棒状礫 | 床面上直上 完形 | 長幅 18.4 厚重 6.3 重 1174.5 | 5.2 緑色片岩 | 全面が自然面と判断され垂円礫を利用している。 | |

6区63号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|-------------|--------------------------------------|-----------------------|--------------------|--|-------|
| 第17図 PL.61 | 1 | 土師器 杯 | 甕石抽籠床面直上 | 口 12.9 高 4.7 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は中位に弱い稜を有する。横ナデ。体部(膝下)から底部外周は手持ちへう削り。内面はナデ。 | 器面磨減。 |
| 第17図 | 2 | 土師器 杯 | 甕石抽籠床面直上 | 口 13.8 高 4.0 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外周は手持ちへう削りと考えられる。内面はナデか。 | 器面磨減。 |
| 第18図 | 3 | 土師器 埴段上中 | 埴段上中 1/4 | 口 17.0 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外周は手持ちへう削り。内面はナデ。 | 器面磨減。 |
| 第19図 | 4 | 土師器 甕 | PI北脇床面上2 cm 口縁部片 | 口 27.8 | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口径は小さくなる可能性ありか。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう削り。 | 外面磨減。 |
| 第17図 PL.61 | 5 | 土師器 甕 | 甕石抽籠床面上 11.7cm 口縁部～胴部上 位1/2 | 口 20.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/ふい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は弱いタッチの斜位のへう削り。内面は横位のへうナデ。 | |

6区64号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-----------------------------------|--|----------------------|--|-------|
| 第19図 | 1 | 土師器 杯 | 床面上12.5cm 口縁部～底部片 | 口 12.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/ふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへう削り。内面はナデ。 | 器面磨減。 |
| 第19図 | 2 | 土師器 杯か | 床面上7.7cm、 10.5cm 底部1/3 | | 細砂粒/良好/ふい 橙 | 底部外面は手持ちへう削り。内面はナデ。 | |
| 第19図 PL.61 | 3 | 土師器 高杯 | 床面上4cm 胴部～基部 | 脚 15.7 | 赤色粘土粒・細砂 粒/良好/明黄橙 | 外面は縦位のへう削り。面取りのように強い当たり。内面は横位のへう削り。基部は横ナデ。 | |
| 第19図 | 4 | 須恵器 碗か | 埴段上中 口縁部～体部中 | 口 11.4 | 微砂粒/還元焼/灰 | 口縁部は横ナデ。口縁部は横ナデ。回転は右回り。 | |
| 第19図 PL.61 | 5 | 土師器 甕 | PI南部床面上8 cm 口縁部～胴部下 位2/3 | 口 22.2 | 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位が縦位の、下位が横位のへう削り。内面は斜位のへうナデ。 | |
| 第19図 PL.61 | 6 | 礫石器 棒状礫 | 床面上4cm 完形 | 長幅 26.0 厚重 8.1 重 1461.5 | 4.5 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され垂円礫を利用している。 | |

7区24号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|-------------|----------------------------|-----------------------|-------------------------------|---|-------|
| 第21図 PL.62 | 1 | 土師器 杯 | 甕石口部使用面 直上 | 口 14.2 高 5.1 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外周は手持ちへう削り。内面はへうナデ。 | |
| 第21図 PL.62 | 2 | 土師器 小型甕か | 貯蔵穴床面上 4.8cm 胴部下位～底部 | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/明赤褐 | 胴部外面は斜縦位のへう削り。底部はナデ状のへう削り。内面はへうナデ。 | 外面磨減。 |
| 第21図 PL.62 | 3 | 土師器 小型甕 | 貯蔵穴床面上 4.7cm 2/3 | 口 16.0 高 8.3 | 15.9 粗砂粒・細砂粒/ 良好/ふい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のへう削り。内面は横位のへうナデ。底部は強い凸面状。外面はへう削り。 | 器面磨減。 |
| 第21図 PL.62 | 4 | 土師器 甕 | 甕石抽籠 完形 | 口 20.3 底 4.9 | 高 39.5 礫大の片岩多量/ 良好/橙 | 口縁部には製作時の赤みが見られる。口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位が縦位の、中位から下位が斜縦位のへう削り。内面の大半は横位のへうナデ。底部外面はナデ。 | |

7区27号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|---------------------------|---------------------------------------|--------------------|--|-----------------|
| 第22図 PL.63 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 1/3 | 口 16.0 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)は手持ちへう削り。内面はナデ。 | |
| 第22図 PL.63 | 2 | 土師器 埴か | 床面上8cm 1/2 | 底 6.8 | 礫・粗砂粒/良好/ 明赤褐 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上半が横位の、下半が斜縦位のへう削り。底部外面もへう削り。内面はへうナデ。 | 口縁部欠損後 も使用か。 |
| 第22図 | 3 | 土師器 甕 | 床面上11.6cm 口縁部～胴部上 位 | 口 23.0 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/明黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう削り。内面は横位のへうナデ。 | |
| 第22図 PL.63 | 4 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部～胴部中 位 | 口 17.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/ふい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はへう削りと考えられる。 | 器面磨減。 |
| 第22図 PL.63 | 5 | 礫石器 棒状礫 | 床面上2.8cm 完形 | 長幅 13.8 厚重 5.9 重 446.1 | 3.2 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され垂円礫を利用している。 | |

遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|---------------|----|------------|------------------|-----------------------------------|--------------------|--|------|
| 第22図 PL.63 | 6 | 礮石器 棒状礮 | 床面直上 完形 | 長 幅 14.7 厚 6.1 重 555.8 | 4.0 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され円礮を利用している。 | |
| 第22図 PL.63 | 7 | 礮石器 棒状礮 | 床面直上 完形 | 長 幅 15.0 厚 6.5 重 481.6 | 3.3 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され円礮を利用している。 | |
| 第22図 PL.63 | 8 | 礮石器 棒状礮 | 床面上3.6cm ほぼ完形 | 長 幅 15.4 厚 7.3 重 569.4 | 3.8 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され円礮を利用している。 | |
| 第22図 PL.63 | 9 | 礮石器 台石 | 床面直上 完形 | 長 幅 27.5 厚 10.9 重 2951.1 | 8.2 粗粒輝石安山岩 | 大形の棒状円礮を利用する。表面の中央にはほぼ平坦な滑らかな部分認められる。上下端部に赤色変化している部分が認められ受熱の可能性ある。 | |
| | | 礮石器 棒状礮 | 床面直上 完形 | 長 幅 8.6 厚 5.0 重 171.3 | 2.5 雲母石英片岩 | | 計測のみ |
| | | 礮石器 棒状礮 | 床面直上 完形 | 長 幅 13.7 厚 6.3 重 415.7 | 3.3 黒色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礮石器 棒状礮 | 床面上2.8cm 完形 | 長 幅 12.9 厚 7.0 重 519.9 | 3.4 黒色片岩 | | 計測のみ |

7区28号竪穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-------------|----|----------|-------------------------|--------|--------------------|------------------|--|-------|
| 第23図 | 1 | 土師器 鬘 | 床面上4cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 16.6 | | 礮・粗砂大の片岩 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削りと考えられる。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |

7区29号竪穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|---------------|----|-------------|-----------------------------|------------------|--------------------|--------------------------------|--|-------|
| 第24図 PL.64 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 11.0 高 3.7 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 2 | 土師器 杯 | 床面直上 3/4 | 口 10.4 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい/橙 | 平面形は長円形を呈する。口縁部は横ナデ。体部外面はへら削りと考えられる。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 3 | 土師器 杯 | 床面直上 1/2 | 口 11.2 高 3.6 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 4 | 土師器 杯 | 床面直上 1/2 | 口 10.9 高 3.8 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 5 | 土師器 杯 | 床面直上 完形 | 口 10.6 高 3.2 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第24図 PL.64 | 6 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 11.6 高 3.5 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 7 | 土師器 埋没土中 | 埋没土中 1/2 | 口 12.8 高 3.6 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 8 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 11.5 高 3.6 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい/黄 | 口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデと考えられる。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 9 | 土師器 杯 | 床面上3cm 1/2 | 口 14.2 高 5.0 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 10 | 須恵器 鉢 | 電筒床面直上 口縁部1/4欠 | 口 12.4 底 7.7 | 8.0 | 黒色鉱物粒/還元 焼/灰白 | 器内は全体に厚い。ロクロ整形。回転は左回り。底部は手持ちへら削り。 | |
| 第24図 PL.64 | 11 | 土師器 鉢 | 床面直上 2/3 | 口 20.0 底 8.7 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(稜下)から底部外面は手持ちへら削り。内面は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 12 | 土師器 有孔鉢か | 床面上2～5cm 口縁部～体部上 位1/2 | 口 20.8 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は斜縦位のへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 13 | 土師器 小型罎 | 埋没土中 1/3 | 口 8.4 高 8.7 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部下位から底部外面はへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 14 | 土師器 小型罎 | 床面直上 底部欠 | 口 13.3 | | 礮・粗砂粒/良好/ にぶい/赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部から底部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 15 | 土師器 小型罎 | 床面直上 1/2 | 口 13.6 底 6.9 | | 礮・粗砂大の片岩/ 良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデと考えられる。胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 16 | 土師器 小型罎 | 電筒床面直上、 口縁部・胴部一 部欠 | 口 15.2 高 16.1 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部から底部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 17 | 土師器 小型罎 | 床面直上 2/3 | 口 15.4 高 16.8 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部から底部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第24図 PL.64 | 18 | 土師器 罎 | 床面直上 3/4 | 口 23.2 底 5.3 | 高 34.1 | 礮・粗砂大の片岩 多量/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は3・4回に分けて縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。一部その上に縦位のへらナデ。底部外面はへら削り。 | |
| 第24図 PL.64 | 19 | 土師器 罎 | 床面直上 口縁部・胴部中 位 | 口 21.2 | | 粗砂粒・細砂粒多 量/良好/にぶい/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は数回に分けて縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。中位以下はその上に縦位のへらナデ。 | |
| 第24図 | 20 | 土師器 罎 | 埋没土中 口縁部～胴部上 位片 | 口 26.8 | | 礮・粗砂粒/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位・縦位のへらナデ。 | |
| 第24図 | 21 | 土師器 罎 | 電筒床面直上 胴部上位～中位 | | | 粗砂粒/良好/にぶ い/黄褐 | 外面は斜位・斜縦位のへら削り。内面は斜縦位・斜位のへらナデ。 | |
| 第24図 PL.64 | 22 | 土師器 罎 | 床面直上 口縁部～胴部上 位 | 口 20.3 | | 礮大の片岩・粗砂 粒・赤色粘土粒/ 良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデと考えられる。胴部外面はへら削りか。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |

7区30号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|---------------|----|------------|-----------------------|-------------------------------------|----------------------|--|--------------------------|------|
| 第258 PL.63 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 1/2 | 口 高 14.0 5.0 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にふい橙 | 口縁部は横ナデ。体部以下の外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 | |
| 第258 PL.63 | 2 | 土師器 杯 | 甕袖左脇床面直上 3/4 | 口 高 16.8 5.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 | |
| 第258 PL.63 | 3 | 土師器 有孔鉢 | 貯蔵穴底面上22 cm 1/2 | 口 底 高 16.0 5.3 13.0 1.5 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部は平底状の中央に直径1.8cmの焼成前穿孔。器面はヘラ削り。 | やや磨滅。 | |
| 第258 PL.63 | 4 | 土師器 小型甕 | 床面直上 1/4 | 口 高 10.8 | 細砂粒/良好/にふい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のヘラ削り。粘土結の接合痕を残す。内面は縦位・横位にヘラナデ。 | | |
| 第258 PL.63 | 5 | 土師器 小型甕 | 甕袖左脇床面直上 1/2 | 口 高 12.8 13.9 | 礫大の片岩・粗砂粒/良好/にふい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデと考えられる。底部外面もヘラ削り。 | 器面磨滅。 | |
| 第258 PL.63 | 6 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 13.3 4.1 265.5 | 厚 重 3.2 4.1 | 緑色片岩 | 表面の中央付近に帯状に滑らかな部分が認められる。 | |
| 第258 PL.63 | 7 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 15.5 6.9 799.5 | 厚 重 3.7 3.8 | 変玄武岩 | 全面が自然面であり亜角礫を利用する。 | |
| 第258 PL.63 | 8 | 礫石器 棒状礫 | 観察溝底面上 5.1cm 完形 | 長 幅 15.4 5.6 545.2 | 厚 重 4.1 4.1 | 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| 第258 PL.63 | 9 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 14.8 5.6 502.0 | 厚 重 4.0 4.0 | 緑色片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| 第258 PL.63 | 10 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 15.7 6.7 602.4 | 厚 重 4.1 4.1 | 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 14.7 7.1 623.7 | 厚 重 3.8 3.8 | 雲母石英片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 15.2 6.0 547.9 | 厚 重 5.3 5.3 | 黒色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 16.0 7.1 734.0 | 厚 重 5.5 5.5 | 雲母石英片岩 | | 計測のみ |

7区31号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-----------------|-------------|--------------------|------------------------------|-------|
| 第268 PL.63 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部片 | 口 高 11.0 | 細砂粒/良好/明黄褐色 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第268 PL.63 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部片 | 口 高 13.0 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面はヘラ削り。内面はナデ。 | |

7区32号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|----------------------|--------------------|-----------------------|------------------------------------|-----------|
| 第268 PL.63 | 3 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上18 cm 完形 | 口 高 14.0 4.8 | 礫・粗砂粒多量/ 良好/にふい赤褐色 | 内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第268 PL.63 | 4 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部～胴部上 | 口 高 23.0 | 礫大の片岩/良好/ にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近いヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。 | |
| 第268 PL.63 | 5 | 土師器 甕 | 床面直上4cm 胴部下位～底部 | | 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/明褐色 | 胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。 | |
| 第268 PL.63 | 6 | 須恵器 甕 | 埋没土中 胴部片 | | 細砂粒/還元焼/灰 | 外面は疑似格子目状の甲子目。内面は当て具痕。 | 内面に自然焼付着。 |

7区33号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|--------------------------|------------------------------|------------------------------|--|------------|
| 第278 PL.63 | 1 | 土師器 杯 | 観察溝底面上5 cm 口縁部1/3欠 | 口 高 10.9 4.7 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にふい橙 | 外面は臼唇端部近くまで手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | 器面やや磨滅。 |
| 第278 PL.63 | 2 | 土師器 小型甕 | 甕底端部 口縁部1/2欠 | 口 高 14.8 14.0 | 礫大の片岩・粗砂粒/ 良好/明赤褐色 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。 | 器面やや磨滅。 |
| 第278 PL.63 | 3 | 土師器 甕 | 甕底端部 3/4 | 口 底 高 18.9 4.8 31.2 | 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/にふい 赤褐色 | 形状は全体が歪んでいる。口縁部は横ナデ。胴部外面は2回に分けて縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部厚縁はナデ。 | 下半部の器面は磨滅。 |

7区34号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|------------------------|-------------------------------|------------------------------|---|----------|
| 第288 PL.63 | 1 | 土師器 杯 | 観察溝底面上1 cm 体部～底部 | 口 底 高 5.0 | 粗砂粒/良好/明赤褐色 | 体部外面は指ナデに近いヘラナデか、ヘラ削りか。底部は強いヘラ削りか。内面はナデ。 | |
| 第288 PL.63 | 2 | 土師器 杯 | PI埋没土上層 口縁部～体部片 | 口 高 15.0 | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 器内は薄い。口縁部は横ナデ。底部外面はヘラ削りと考えられる。 | 底部外面は磨滅。 |
| 第288 PL.63 | 3 | 土師器 高杯 | 床面直上 口縁部。裾部一 部欠 | 口 高 脚 17.2 16.6 17.3 | 粗砂粒・赤色粘土 粒少量/良好/にふい 黄橙 | 杯口口縁部は横ナデ。受け部外面は横位のヘラ削り。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラ削り。裾部は横ナデ。 | |

遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | |
|-------------|----|------------|------------------------------------|-----|------|--------------------|-------------------|---|--------------|
| 第28回 | 4 | 土師器 甌か | 床面上2cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 20.4 | | 細砂粒/良好/に ぶい黄褐色 | 口縁部は内外面とも横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第28回 | 5 | 土師器 甌 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 26.0 | | 細砂粒/良好/明黄 褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削りと考えられる。 内面は縦位のへらナデか。 | 器面磨滅。 |
| 第28回 | 6 | 土師器 甌 | 壁際清灰い床面 上2cm 口縁部～胴部上 位片/4 | 口 | 23.6 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。 | 内外面とも磨 滅。 |

7区35号壺穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | |
|-------------|----|------------|-----------------------|-----|-------------|--------------------|------------------------------|---|------------------------|
| 第29回 | 1 | 須恵器 杯 | 甕使用面直上 口縁部一部欠 | 口 | 12.7 7.2 | 高 3.5 | 白色鉱物粒・黒色 粘土粒/還元焼 灰質/灰白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り離し後、無 調整。 | 器面磨滅。 |
| 第29回 | 2 | 須恵器 椀 | 床面上2cm 1/2 | 口 | 15.0 8.9 | 高 7.3 | 白色鉱物粒・黒色 粘土粒/還元焼 灰質/灰白 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転系切り離し後、高 台を貼付。その後周縁部にナデ調整。 | 高台端部、底 部内面やや磨 滅。 |
| 第29回 | 3 | 土師器 甌 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 19.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のへら削り。内面はナデ。 | |
| 第29回 | 4 | 土師器 甌 | 甕使用面直上 胴部下位～底部 | 底 | 4.2 | | 粗砂粒/良好/橙 | 胴部外面はへら削り。内面はへらナデ。底部外面はへら削 り。 | |

7-2区71号壺穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | |
|-------------|----|------------|------------------------------------|-----|--------------|--------------------|----------------------------------|--|--------------|
| 第32回 | 1 | 土師器 杯 | 甕石油煎床直上 口縁部一部欠 完形 | 口 | 12.0 2.6 | 高 | 礫・粗砂大の片岩 ・雲母/良好/にぶ い黄褐色 | 器高低い。口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへ ら削り。内面はナデ。 | 外面磨滅。 |
| 第32回 | 2 | 土師器 杯 | 甕石油煎床直上 口縁部一部欠 | 口 | 13.6 13.4 | 高 3.1 | 細砂粒/良好/にぶ い赤褐色 | 器高低い。口縁部は横ナデ。体部外面には成形時のナデの 面を残す。底部は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第32回 | 3 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上4 cm 3/4 | 口 | 12.8 3.9 | 高 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへら削 り。内面はナデ。 | 炭素吸着。 |
| 第32回 | 4 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上8 cm 口縁部一部欠 | 口 | 12.0 3.8 | 高 | 粗砂粒/良好/灰 褐色 | 口縁部は横ナデ。中に弱い稜をなす。体部(膝下)から底 部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。工具痕を残す。 | 器面に炭素吸 着。 |
| 第32回 | 5 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上6 cm 口縁部・底部一 部欠 | 口 | 11.4 4.1 | 高 | 礫・粗砂大の片岩 ・赤色粘土粒/良好 /にぶい赤褐色 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)は上位にナデの面を残し、以 下底部までは手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第32回 | 6 | 土師器 杯か | 床面上17.4cm 1/2 | 口 | 11.8 | | 口縁部・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は最上位にナデの部分を残し、 以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第32回 | 7 | 土師器 鉢 | 甕石油煎床直上 完形 | 口 | 11.6 6.0 | 高 8.6 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄 褐色 | 口縁部は横ナデ。体部・底部外面はへら削り。内面は横位 のへらナデ。 | |
| 第32回 | 8 | 土師器 鉢 | 床面上1.7cm 口縁部一部欠 | 口 | 15.1 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面はへら削り。内面は横 位。 | 器面やや磨 滅。 |
| 第32回 | 9 | 土師器 有孔鉢 | 甕石油煎床面上3 cm 胴部一部欠 | 口 | 20.0 4.9 | 高 18.6 | 粗砂大の片岩/良 好/にぶい黄 褐色 | 平面形は長円形を呈す。口縁部は横ナデ。体部外面は上 位、下位が斜位の、中位が縦位のへら削り。内面は横位の へらナデ。下位は細かく調整している。浅小な平底ぎみの 底部は、その中央に直径2.5cmの小孔を穿つ。 | 器面やや磨 滅。 |
| 第32回 | 10 | 土師器 甌 | 床面上3.8cm 口縁部一部欠 | 口 | 23.1 10.0 | 高 26.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位が縦位の、下位は 斜位のへら削り。内面は縦位のへらナデ後、縦位のへら磨 きを施したと考えられる。底部寄りにへら削りが見られる。 | 器面磨滅。 |
| 第32回 | 11 | 土師器 甌 | 甕左油煎床面上 6.6cm 口縁部一部欠 | 口 | 24.5 10.1 | 高 32.7 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、下位は斜位のへら削 り。内面は横位のへらナデの上に縦位のへら磨きを重ねる。 孔寄りはへら削り、外面の底部寄りに柳の印痕が見られる。 | 器面やや磨 耗。 |
| 第32回 | 12 | 土師器 小型甌 | 貯蔵穴底面上 16.6cm 口縁部一部欠 | 口 | 14.4 14.6 | 高 | 礫・粗砂粒/良好 /橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位は縦位の、下位 は斜位のへら削り。内面は下位が斜横位、これより上位 は横位のへらナデ。 | |
| 第32回 | 13 | 土師器 小型甌 | 貯蔵穴底面上 20.7cm 口縁部一部欠 | 口 | 15.5 5.7 | 高 18.0 | 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/明赤 褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位の、下位は斜横位のへ ら削り。内面は斜横位のへらナデ。底部外面はへら削り。 | |
| 第32回 | 14 | 土師器 甌 | 床面直上へ床面 上9.5cm 口縁部～底部 3/4 | 口 | 17.6 5.4 | 高 28.3 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄 褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、底部寄りは斜横位の へら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面に木葉痕が。 | |
| 第32回 | 15 | 土師器 甌 | 床面上15.7cm 3/4 | 口 | 20.5 4.0 | 高 | 礫大の片岩多量/ 良好/にぶい 黄褐色 | 口縁部寄りの変形が著しい。横断面は長円形。口縁部は横 ナデ。胴部外面は縦位、斜縦位の、底部寄りは横位のへら 削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|-----|------------|--------------------------|-----------|--------------------|--|-----|
| 第32区 PL.66 | 16 | 土師器 甕 | 床面上10cm 口縁部・胴部一 部欠 | 口 20.8 | | 器内厚く重い。口縁部は変形が著しい。口縁部は横ナデ。 胴部外面は縦位・斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナ デ。 | |
| 第32区 | 17 | 土師器 甕 | 床面上9.5cm 胴部下位～底部 | 底 6.2 | | 胴部外面は縦位のナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。 口縁部/良好/にぶい橙 | |

7-2区72号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|---------------|-----|------------|----------------------|----------------------------------|--------------------|-----------------|---|-------------|
| 第33区 PL.65 | 1 | 須臾器 杯 | 貯蔵穴底面上5 cm 2/3 | 口 12.1 底 6.1 | 高 3.8 | 白色黏土粒/還元 焼/灰 | 口ロク整形、回転は右回り。底部は回転糸切り難し後、無 調整。 | 内面やや磨 減。 |
| 第33区 PL.65 | 2 | 鉄製品 釘 | 貯蔵穴埋没土中 ほぼ正形 | 長 4.8 幅 0.9 重 3.9 | 厚 0.7 | 鉄 | 頭部は欠損。断面は長方形。ほぼ全体にさびが覆っている。 脚部はさびが少ない部分があり観察が可能。 | |

7-2区73号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|---------------|-----|------------|----------------------------|-----------------------|--------------------|------------------|--|-------|
| 第34区 PL.65 | 1 | 土師器 杯 | 貯蔵穴内側床面 上10cm 口縁部～底部 | 口 11.6 底 4.6 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(楼下)から底部外面は手持ちヘラ削 り。内面はナデ。 | |
| 第34区 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中 1/3 | 口 12.8 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(楼下)は手持ちヘラ削り。内面はナ デの上に右傾するヘラ磨き。 | |
| 第34区 PL.65 | 3 | 土師器 小型甕 | 甕左袖部内 口縁部～体部 中位1/3 | 口 15.0 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は斜 横位のヘラナデ。 | 器面磨減。 |

7-2区74号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|--------------|-----|------------|---------------------------------------|-----------------------|--------------------|----------------------------|---|---------------|
| 第37区 | 1 | 土師器 杯 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部下～底 部1/3 | | | 細砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。体部(楼下)上には成形時のナデの面。 以下底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第37区 PL65 | 2 | 土師器 鉢 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部～体部 1/2 | 口 14.6 | | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は横位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。 | |
| 第37区 PL65 | 3 | 土師器 鉢 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部～底部 1/2 | 口 16.2 底 6.0 | 高 11.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部内面はヘラナデ。底部の欠損状況は 焼成後に穿孔を施したように見えるが、断定するには至ら ない。 | 器面磨減。 |
| 第37区 | 4 | 土師器 甕 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部～体部上 位 | 口 24.8 | | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の丁寧なヘラ削り。内面 は縦位の磨きに近いヘラナデ。 | 器面磨減。 |
| 第37区 | 5 | 土師器 甕か | 床面上15cm 口縁部～体部上 位片 | 口 25.3 | | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。 | |
| 第37区 | 6 | 土師器 甕 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部～胴部上 位 | 口 29.6 | | 細砂粒/良好/橙 | 口唇端部は外側に平坦面をなす。口縁部は横ナデ。体部外 面は縦位のヘラ削り。内面は斜縦位のヘラ削り。 | |
| 第37区 | 7 | 土師器 甕 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部～胴部 中位1/3 | 口 20.9 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。 | 外面に粘質土 付着。 |
| 第37区 | 8 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部～胴部 中位1/3 | 口 21.6 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 の指ナデか。 | |
| 第37区 | 9 | 土師器 甕 | 床面上15cm 口縁部～体部下 位 | 口 24.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 胴部は下位の径が大きく変る可能性がある。口縁部は横ナ デ。胴部外面は斜縦位のヘラ削りを数回に分けて施す。内 面は斜縦位のナデに近いヘラ削り。一部その上にヘラ磨き。 | |
| 第37区 | 10 | 土師器 甕 | P1周辺床面上10 ～20cm 口縁部～胴部 中位1/3 | 口 23.2 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 のナデ。 | 内面磨減。 |
| 第37区 | 11 | 土師器 甕 | P1周辺床面上10 ～20cm 胴部1/3 | | | 粗砂粒/良好/橙 | 胴部外面はヘラ削りと考えられる。内面は横位のヘラナデ。 | 器面磨減。 |

7-2区100号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|--------------|-----|------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------------------|--|
| 第38区 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～底部 1/3 | 口 11.7 高 3.5 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部(楼下)から底部外面に手持ちヘラ削 り。 | |

遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|--------------------------|--------------------|---------------------|--|-----|
| 第38回 PL.65 | 2 | 土師器 杯 | 床面上20cm 口縁部～底部 1/2 | 口 高 16.9 6.5 | 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第38回 PL.65 | 3 | 土師器 杯 | 床面上34cm 2/3 | 口 12.0 | 細砂粒/良好/にぶ い黄 | 器形は歪んでいると考えられる。口縁部は横ナデ。体部(様下)から底部外面に手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第38回 | 4 | 土師器 小型罌 | 埋没上中 口縁部～体部 1/3 | 口 11.0 | 赤色粘土粒/良好/ にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第38回 | 5 | 土師器 台付罌 | 埋没上中 胴部下位～台部 上1/2 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/明赤褐 | 外面はへら削り。胴部内面はへらナデ。台部内面はナデか。 | |

7-2区101号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-----------------------|--------------------|----------------------|--|-----|
| 第39回 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部 1/3 | 口 高 15.0 4.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。体部(様下)上位に成形時のナデの面を残す。以下は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |

7-2区104号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|--------------|----|------------|---------------------|---------------------|-----------------------------|---|-------|
| 第40回 PL65 | 1 | 須恵器 杯 | 甕右脇床面直上 完形 | 口 高 11.3 3.9 | 黒色鉱物粒少量/ 還元焰/灰 | 口ロク整形。回転は右回りか。体部(様下)から底部外面は回転へら削りを加え、連続性は見られない。底部内面はナデ。 | |
| 第40回 PL65 | 2 | 土師器 鉢 | 甕右脇 杯部1/2 | 口 高 16.5 5.1 | 粗砂粒/良好/橙 | 高杯の杯を器への移行部で切断した形状に削る。口縁部は横ナデと考えられる。体部外面もナデか。底部は規則性を欠いた突角が繰り返されている。器面に木炭痕を残す。 | 器面磨滅。 |
| 第40回 PL65 | 3 | 土師器 小型罌 | 甕右脇 完形 | 口 高 12.9 15.0 | 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は下位にへら削りが見られる。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第40回 PL65 | 4 | 土師器 罌 | 甕左脇 口縁部～胴部下 位 | 口 19.1 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は数回に分けて縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第40回 | 5 | 土師器 罌 | 甕右脇 頸部～胴部中部 片 | | 礫・粗砂大の片岩/ 赤色粘土粒/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は斜横位のへらナデ。 | |
| 第40回 | 6 | 土師器 罌 | 甕右脇 胴部 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄橙 | 胴部外面は数回に分けて縦位のへら削り。内面は横位のへらナデの上に縦位のへらナデを重ねる。 | |

7-2区102号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-----------------------------|--------------------------------------|-----------------------|--|-------|
| 第42回 PL.65 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 完形 | 口 高 13.3 5.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 成形が粗雑なため歪み著しい。口縁部は横ナデ。体部(様下)外面はナデ。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第42回 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部 1/3 | 口 11.9 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第42回 PL.65 | 3 | 土師器 杯 | 甕左脇床面上12 cm 口縁部一部欠 | 口 高 12.4 4.3 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第42回 PL.65 | 4 | 土師器 杯 | 床面上7cm 完形 | 口 高 13.6 5.0 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面はナデ。底部は四角縁部にへら削り。中央に木炭痕を残す。内面はナデ。 | |
| 第42回 PL.65 | 5 | 土師器 杯か | 埋没上中 口縁部一部欠 | 口 高 10.4 7.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部から底部まで手持ちへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第42回 | 6 | 土師器 高杯 | 埋没上中 杯部～胴部上位 1/3 | 口 18.2 | 粗砂粒/良好/灰黄 橙 | 口縁部は横ナデ。受け部外面は斜横位に細かなへら削り。内面にはへら磨きを加えられていたか。脚部は外面に縦位のへら削り。内面はへらナデ。 | |
| 第42回 PL.65 | 7 | 土師器 高杯 | 埋没上中 杯部下位～胴部 上位 | | 粗砂粒/良好/にぶ い黄 | 杯部外面はへら削り。内面にナデ。脚部外面は縦位にへら削り。内面はへらナデ。 | |
| 第42回 PL.65 | 8 | 土師器 鉢 | 内4底面上6cm 完形 | 口 高 10.6 3.9 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄 | 口縁部は横ナデ。体部外面は下半にへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第42回 | 9 | 土師器 小型罌 | 甕右床面上7cm 口縁部～胴部中 位1/3 | 口 13.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は斜位のへら削り。上位に成形時の型肌を残す。内面はへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第42回 | 10 | 土師器 罌か | 埋没上中 口縁部1/2 | 口 26.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近いへら削り。内面は斜位のへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第42回 | 11 | 土師器 罌 | 埋没上中 胴部下位～底部 1/2 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 胴部外面はへら削り。内面はへらナデか。 | 器面磨滅。 |
| 第42回 PL.65 | 12 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 4/5 | 長 幅 厚 重 (14.1) (6.5) 3.7 552.1 | 雲母石英片岩 | 表裏面の中央付近に比較的滑らかな部分が認められるが人為的な組跡であるか判断できない。 | |
| 第42回 PL.65 | 13 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 厚 重 (15.5) (6.3) 4.0 578.1 | 雲母石英片岩 | 表裏面の中央付近に比較的滑らかな部分が認められるが人為的な組跡であるか判断できない。 | |
| 第42回 | | 礫石器 棒状礫 | 甕前床面上7cm 完形 | 長 幅 厚 重 (17.7) (6.4) 4.9 639.6 | 雲母石英片岩 | | 計測のみ |

7-2区103号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|---------------|----|-----------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------|-----------------------|--|----------------|
| 第44図 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部 1/2 | 口 13.8 | | 粗砂粒/良好/明赤 褐色 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 底部内面に線 刻3条。 |
| 第44図 PL.67 | 2 | 土師器 杯 | 貯蔵穴北脇床面 上1.6cm 1/2 | 口 13.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第44図 | 3 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部 1/3 | 口 13.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第44図 | 4 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/3 | 口 13.8 高 4.5 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)外面は成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第44図 PL.67 | 5 | 土師器 杯 | 埋没上中 3/4 | 口 13.1 高 11.5 | 4.2 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。他は器面磨滅。 | |
| 第44図 PL.67 | 6 | 土師器 杯 | 竈左脇床面上5 cm 1/2 | | | 粗砂粒/良好/橙 | 平面形は長円形を呈する。外面は全て手持ちへら削り。内面は口縁部に横ナデ。底部もナデか。 | |
| 第44図 PL.67 | 7 | 土師器 鉢か | 床面上5cm 1/2 | 口 13.5 高 6.2 | 7.5 | 粗砂大の片岩/良 好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面はへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第44図 PL.67 | 8 | 土師器 鉢 | 床面上5～15cm 口縁部～底部 1/2 | 口 21.0 | | 粗砂大の片岩/良 好/にぶい黄褐色 | 口縁部は横ナデ。外面は体部から底部までへら削り。内面はへらナデ。 | |
| 第44図 PL.67 | 9 | 土師器 有孔鉢 | 床面上5～15cm 口縁部～底部 1/2 | 口 16.3 高 4.1 | 11.4 | 粗砂大の片岩・赤 色粘土粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は斜縦位のへら削り。内面はへらナデ。底部は狭小な平底。中央に直径1.8cmの小孔を穿つ。 | |
| 第44図 PL.67 | 10 | 土師器 小型甕 | 貯蔵穴北脇床面 直上 2/3 | 口 10.0 高 11.2 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部から底部外面は斜縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第45図 PL.67 | 11 | 土師器 甕 | 竈前床面上2cm 1/2 | 口 16.5 高 4.4 | 34.4 | 礫大の片岩多量/ 良好/にぶい橙 | 胴部下位を中心に歪み著しい。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。底部寄りには横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面に木葉痕を残す。 | |
| 第45図 PL.67 | 12 | 土師器 甕 | 床面上5～15cm 口縁部～底部 1/2 | 口 20.2 高 5.6 | 33.8 | 礫大の片岩多量/ 良好/にぶい橙 | 口唇端部は外側に平出面を呈す。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、底部寄りには横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面に木葉痕。 | |
| 第45図 PL.67 | 13 | 土師器 甕 | 甕使用面上16cm 口縁部一部欠 | 口 19.9 高 5.3 | 34.4 | 礫大の片岩/良 好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位が縦位の、下位は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部は凹面状。木葉痕を残す。 | |
| 第45図 | 14 | 土師器 甕 | 床面上5～15cm 口縁部～胴部 中位1/3 | 口 20.1 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第45図 PL.67 | 15 | 土師器 甕 | 床面上5～15cm 口縁部～胴部 下位1/2 | 口 21.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は数回に分けて縦位のへら削り。内面は縦位のへらナデ。 | |
| 第45図 PL.67 | 16 | 土師器 甕 | 床面上2cm 口縁部～胴部 中位1/2 | 口 25.4 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削りの上に縦位のへら磨きを重ねる。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第45図 | 17 | 土師器 甕か | 埋没上中 胴部下位～底部 1/3 | 底 8.4 | | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 胴部外面は横位・斜縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第45図 PL.67 | 18 | 鉄製品 不明 | 床面上1.3cm 完形 | 長 4.1 厚 4.1 重 0.7 | 19.7 19.1 | 鉄 | ほぼ正円。中心に直径2cmの孔が空いている。使用用途は不明。一部錆が覆っている。 | |
| 第45図 PL.67 | 19 | 礫石器 台石 | 床面上7cm 完形 | 長 19.6 幅 18.5 重 3516.2 | 10.1 | 牛伏砂岩 | 表面はほぼ平坦であり滑らかな部分が広範囲に認められる。表面以外は自然面と判断され円錐を利用する。 | |
| | | 割片石器 二次加工あり の割片 | 床面上14cm 不明 | 長 幅 厚 重 88.4 | | 硬質泥岩 | | 計測のみ |

8-2区76号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-------------|----|-------------|-------------|-----------------|--------------------|----------|---|--|
| 第47図 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 14.1 高 3.9 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は中位に強い段を有する。横ナデ。体部(椀下)以下の外面は手持ちへら削り。 | |

8-2区77号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|---------------|----|-------------|-------------------|-----------------|--------------------|-----------------|---|--|
| 第48図 PL.68 | 1 | 土師器 杯 | 床面上7cm 口縁部1/2欠 | 口 12.4 高 3.1 | | 粗砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面にはナデの面を残す。底部は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |

8-2区105号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-------------|----|-------------|------------------------|-------------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------------------|-------|
| 第49図 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 13.4 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第49図 | 2 | 土師器 小型甕 | 埋没上中 胴部下位～底部 2/3 | 底 7.8 | | 粗砂粒/良好/にぶ い赤褐色 | 胴部外面はへら削りか。内面は横位のへらナデ。底部外面には木葉痕。 | |
| | | 礫 | 埋没上中 完形 | 長 60.3 幅 36.6 厚 9.0 重 35.6 | | 凝灰質砂岩 | | 計測のみ |

遺物観察表

8-2区106号壁六建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|---------------|--------|--------------------|----------------------|-----|
| 第50図 | 1 | 土師器 杯 | 甕前床面直上 1/4 | □ 13.0 | 赤色粘土粒/良好 にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部は漸減。ヘラ削りか。 | |

8-2区108号壁六建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-----------------|----------------|--------------------|---|-------------|
| 第52図 | 1 | 土師器 杯 | 甕前床面直上 1/2 | □ 9.6 高 4.0 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 器面磨減。 | |
| 第52図 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/3 | □ 12.4 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は中位に弱い稜を有する。横ナデ。体部から底部外 面は手持ちヘラ削り。内面は丁単なナデ。 | |
| 第52図 | 3 | 土師器 小型甕 | 埋没上中 口縁部～胴部片 | □ 12.8 | 黄・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。底部外面は斜位のヘラ削り。内面はヘ ラナデ。 | 外面やや磨 減。 |
| 第52図 | 4 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部片 | □ 21.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。 | |

8-2区110号壁六建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|----------------------------|--------|--------------------|---|-------|
| 第54図 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～体部片 | □ 13.2 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第54図 | 2 | 土師器 甕 | 床面直上6cm 口縁部～胴部中 位1/3 | □ 22.6 | 黄・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位に横位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。 | 器面磨減。 |

8-2区120号壁六建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-------------------------------|------------------|--------------------------------|--|-------|
| 第56図 PL.68 | 1 | 土師器 杯 | 甕左脇床面直上 口縁部一部欠 | □ 12.4 高 4.1 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。他は器面磨減。 | |
| 第56図 PL.68 | 2 | 土師器 杯 | 甕左脇床面直上 一部欠 | □ 12.5 高 4.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 器面磨減。 | |
| 第56図 PL.68 | 3 | 土師器 杯 | 甕燃焼部左側 口縁部～底部一 部欠 | □ 14.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。内 面はナデ。 | |
| 第56図 PL.68 | 4 | 土師器 鉢 | 甕右脇埋り方充 填上 口縁部一部欠 | □ 12.9 高 9.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちヘラ削り。 | 器面磨減。 |
| 第56図 | 5 | 土師器 有孔鉢 | 床面直上 口縁部～胴部中 位1/4 | □ 16.9 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部内外面は器面磨減。 | |
| 第56図 PL.68 | 6 | 須恵器 蓋 | 床面直上 口縁部一部欠 | □ 13.1 高 5.1 | 粗砂粒・灰色粘土 粒/不良・酸化焙 きみ/灰白 | 口クロ整形、回転は右回り。 | 器面磨減。 |
| 第56図 PL.68 | 7 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部一部欠 | □ 21.5 高 10.3 | 粗砂粒・細砂粒/ 赤色粘土粒/良好 にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は3・4回に分けて縦位のヘラ 削り。内面は横位のヘラ削りに土に横位・横位のヘラ磨き。 下位に一部縦位のヘラナデ。 | |
| 第56図 PL.68 | 8 | 土師器 小型甕 | 床面直上 完形 | □ 13.5 高 12.2 | 黄・粗砂大の片岩 /良好/にぶい赤橙 | 平面形は長円形を呈す。口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ 削り。内面はヘラナデ。 | 器面磨減。 |
| 第56図 PL.68 | 9 | 土師器 甕 | 床面直上3cm 2/3 | □ 14.6 高 6.0 | 黄・粗砂大の片岩 /良好/明赤橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位、下位は斜横位のヘラ 削り。底部外面はヘラ削り。内面は斜横位のヘラ削り。 | |
| 第56図 PL.68 | 10 | 土師器 甕 | 甕燃焼部右側 胴部中位～底部 | 底 5.9 | 黄・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は下位が斜位、これより 上位は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。 | |
| 第56図 PL.68 | 11 | 土師器 甕 | 甕燃焼部左側 胴部上位～底部 | 底 6.2 | 黄・粗砂大の片岩 /良好/明赤橙 | 胴部外面は縦位の、底部寄りは斜横位・斜位のヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。底部外面はヘラ削り。 | |
| 第56図 | 12 | 土師器 甕 | 甕前床面直上3～ 7cm 胴部下位～下位1/2 | | 黄・粗砂大の片岩・ 赤色粘土粒/良好 にぶい赤橙 | 外面は斜横位のヘラ削り。内面はヘラナデ。 | |

8-2区121号壁六建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|------------------------------|-----------------|-------------------------------|---|-------|
| 第57図 | 1 | 土師器 杯 | 貯蔵六南東脇床 面直上6cm 1/4 | □ 12.7 高 4.8 | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。体部(下)から底部外面は手持ちヘラ削 り。内面は底部に横位のヘラ磨きを際間なく加える。 | |
| 第57図 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | □ 10.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄 | 口縁部は横ナデ。体部(下)外面は上位に成形時のナデの 面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第57図 | 3 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/3 | □ 13.0 | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上位にナデの面を残す。以下 底部まで手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | 器面磨減。 |
| 第57図 | 4 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/2 | □ 12.8 高 4.0 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部(下)から底部外面は手持ちヘラ削 り。内面はナデ。 | |
| 第57図 | 5 | 土師器 鉢か | 埋没上中 口縁部～胴部下 位1/4 | □ 13.9 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面は横位のヘ ラナデ。 | 器面磨減。 |
| 第57図 PL.68 | 6 | 須恵器 杯 | 貯蔵六南東脇床 面直上23cm 口縁部一部欠 | □ 11.3 高 4.0 | 粗砂大の黒色鉱物 粒少量/還元焼/ にぶい黄橙 | 口クロ整形、回転は左回り。体部(下)から底部外面は手 持ちヘラ削り。内面はヘラナデ。 | |
| 第57図 | 7 | 土師器 羽釜 | 甕前床面直上29cm 胴部下位～底部片 | □ 9.0 | 粗砂粒/良好/にぶ い赤橙 | 胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部 外面はヘラナデ。 | 誤入か。 |

8-2区122号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|---------------|-------------|---------------------------|--------|-------------|---------------------|--|-------------------|
| 第58図 PL.68 | 1 土師器 杯 | 床面上13cm 口縁部一部欠 | 口 高 | 14.0 4.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)外面は上位にナデの面をわずかに残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第58図 PL.68 | 2 須臾器 杯 | 埋没土中 1/2 | 口 底 | 9.3 5.0 | 粗砂粒/酸化塩/浅 黄褐色 | 口ロコ整形。回転は右回り。底部は回転糸切り離した後、黒調整。 | 器面磨滅。 |
| 第58図 | 3 須臾器 碗 | 床面上4cm 口縁部～体部下 位1/4 | 口 | 14.7 | 細砂粒/酸化塩/に ぶい黄褐色 | 口ロコ整形。回転は右回り。 | |
| 第58図 | 4 土師器 甌か | 床面上12cm 胴部下位～底部 1/4 | 底 | 6.5 | 細砂粒/良好/にぶ い橙 | 胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデと考えられる。 | 甌の下部を鉢として二次利用したか。 |
| 第58図 PL.68 | 5 土師器 甌 | 甕口部 口縁部～胴部中 位1/3 | 口 | 12.6 | 礫・粗砂大の片岩/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は斜横位のへらナデ。 | |
| 第58図 | 6 土師器 羽釜 | 床面上12cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 25.0 | 礫・粗砂粒/良好/ にぶい黄褐色 | 口縁部は横ナデ。踵を貼付後、側縁部に横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。内面は斜横位のへらナデ。 | |
| 第58図 | 7 土師器 羽釜 | 埋没土中 胴部下位～底部 1/3 | 底 | 11.0 | 礫・粗砂粒/良好/ にぶい黄褐色 | 胴部外面はへら削り。内面はへらナデ。底部外面はへらナデ。 | |

9区38号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|---------------|-------------|----------------------------------|--------|--------------|-------------------------------|---|---------|
| 第61図 PL.69 | 1 土師器 杯 | 甕使用面直上 1/2 | 口 高 | 13.8 4.5 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。内面は口唇端部に向かってへら磨き。 | 器面磨滅。 |
| 第61図 | 2 土師器 杯 | 貯蔵穴北壁際溝 内 口縁部片 | 口 | 11.8 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第61図 PL.69 | 3 土師器 杯 | 甕右脇床面直上 2/3 | 口 高 | 11.0 4.4 | 細砂粒/良好/橙 | 内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第61図 PL.69 | 4 土師器 杯 | 埋没土中 1/4 | 口 | 13.2 | 粗砂粒/良好/にぶ い黄褐色 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面やや磨滅。 |
| 第61図 PL.69 | 5 土師器 甌 | 2号甕右脇 3/4 | 口 底 | 25.4 11.5 | 34.5 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙 | 横断面は長円形を呈す。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は縦位のへら削り・横位のへらナデの上にへら磨きを重ねたか。磨滅のため観察はできない。 | 器面磨滅。 |
| 第61図 PL.69 | 6 土師器 甌 | 貯蔵穴北面直上30 cm 口縁部、胴部一 部欠 | 口 底 | 16.2 7.4 | 19.8 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は最上位と最下位は斜横位の、その間は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部外面はへら削り。 | 器面やや磨滅。 |
| 第61図 PL.69 | 7 土師器 甌 | 貯蔵穴北面直上6 cm 口縁部一部欠 | 口 底 | 18.9 6.9 | 29.5 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は胴部寄りと底部寄りに横位の、他は縦位のへら削りを丁寧に施す。頸部近くはへらナデに近い。内面は斜位・斜横位のへらナデ。底部外面はへら削り。 | 器面やや磨滅。 |
| 第61図 PL.69 | 8 土師器 甌 | 貯蔵穴北面直上30 cm 口縁部欠損 | 底 | 9.2 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 胴部外面は数回に分けて縦位・斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。底部は凸面状。 | 器面磨滅。 |

9区39号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|---------------|--------------|---------------------------------|--------|-------------|-----------------------|---|------------|
| 第63図 PL.69 | 1 土師器 杯 | 床面直上 1/2 | 口 高 | 11.8 4.3 | 粗砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。体部(椀下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ・工具痕。 | 内面に炭素吸着。 |
| 第63図 PL.69 | 2 土師器 杯 | 甕埋没土中 1/2 | 口 高 | 12.0 3.5 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第63図 PL.69 | 3 土師器 杯 | 甕埋没土中 1/2 | 口 高 | 14.4 2.9 | 黒色鉱物粒/良好/ にぶい黄褐色 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第63図 PL.69 | 4 土師器 高杯 | 貯蔵穴右脇床面 直上11cm 1/2 | 口 底 | 13.6 7.4 | 7.5 粗砂粒少量/良好/ 橙 | 杯の口縁部は横ナデ。受け部はへら削り。基部は横ナデ。内面はナデか。 | 器面磨滅。 |
| 第63図 | 5 土師器 鉢 | 甕脚り方埋没土 中 口縁部～体部 | 口 | 19.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上位に成形のナデの面を残す。以下は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第63図 | 6 土師器 甌 | 甕左脇床面直上9 cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 23.0 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はへら削りか。内面にはへら磨きの一部が残る。 | 器面磨滅。 |
| 第63図 PL.69 | 7 土師器 台付甌 | 甕左脇床面直上 台部 | 台 | 9.0 | 粗砂粒/良好/明赤 褐 | 胴部内面はへらナデ。台部外面上平はへら削り。以下はナデ。内面はナデ・へらナデ。 | 胴部内面に炭素吸着。 |
| 第63図 | 8 土師器 甌 | 甕埋没土中 頸部～胴部中位 片 | 口 | | 細砂粒/良好/明赤 褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位が斜横位の、中位は斜縦位のへら削り。内面はへらナデ。 | |

9区40号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL. No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|---------------|-------------|-------------|-----|------|--------------------|----------|----|
| 第65図 | 1 土師器 杯 | 埋没土中 1/4 | 口 | 12.0 | 細砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | |

遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|------------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|--|
| 第65図 PL.68 | 2 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上9 cm 2/3 | 口 高 12.8 3.1 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面上位に成形時のナデの面を残す。器面磨滅。 |
| 第65図 PL.68 | 3 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上2 cm 1/2 | 口 高 13.5 3.6 | | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 |
| 第65図 | 4 | 土師器 杯 | 埋没段上中 口縁部～体部片 | 口 11.8 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面に成形時のナデの部分を残す。底部は手持ちへう割り。内面はナデ。底部外面にへう状の工具痕。 |
| 第65図 | 5 | 土師器 杯 | 埋没道底面上8 cm 1/4 | 口 13.8 | | 粗砂粒/良好/にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面に成形時のナデの面を残す。底部は手持ちへう割り。内面はナデ。内面に「×」の線刻。 |
| 第65図 | 6 | 土師器 小型甕 | 埋没段上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 12.0 | | 粗砂粒/良好/明褐 | 口縁部は横ナデ。胴部内面は横位のナデ。外面磨滅。 |

9区41号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|--|
| 第67図 PL.69 | 1 | 土師器 杯 | 西底面直上 口縁部一部欠 | 口 高 12.6 4.6 | | 細砂粒/良好/にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)外面は上位の狭い範囲に成形のナデの面を残し、以下底部まで手持ちへう割り。内面はナデ。 |
| 第67図 PL.69 | 2 | 土師器 瓶 | 貯蔵穴底面上2 cm 口縁部・底部一 部欠 | 口 16.4 | | 細砂粒/良好/橙 | 横断面は長円形を呈する。底部は尖底か。焼成前に棒状工具による複数の穿孔が施される。口縁部は横ナデ。体部は下半部にへう割りを残す。内面は横位・縦位のへうナデ。外面体部上半は磨滅。 |
| 第67図 | 3 | 土師器 鉢か | 西東脇床面上3 cm 口縁部片 | 口 13.0 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへう割り。内面はナデ。器面磨滅。 |
| 第67図 PL.69 | 4 | 土師器 瓶 | 貯蔵穴底面直上 胴部～底部 | 底 9.8 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にふい黄橙 | 胴部外面は底部寄りに斜位の、これより上位が縦位のへう割り。内面は縦位のナデの上に縦位のへう磨きを重ねる。孔寄りには横位のへう割り。 |
| 第67図 PL.69 | 5 | 土師器 甕 | 竈石袖前床上中 頸部～底部 | 底 高 5.8 32.1 | | 礫大の片岩多量/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、底部寄りに横位のへう割り。内面は縦位のへうナデの上に一部縦位の指ナデを重ねる。底部外面に木炭痕。 |
| 第67図 PL.69 | 6 | 土師器 甕 | 床面直上 底部1/2 | | | 細砂粒/良好/にふい黄橙 | 外面はへう割り。内面は横位のナデか。器面磨滅。 |

9区42号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|---------------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------------|--|
| 第69図 PL.70 | 1 | 土師器 杯 | 埋没段上中 1/4 | 口 高 9.4 2.7 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちへう割り。器面磨滅。 |
| 第69図 PL.70 | 2 | 土師器 杯 | 床面上8cm 2/3 | 口 高 10.5 3.3 | | 粗砂粒少量/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。器面磨滅。 |
| 第69図 PL.70 | 3 | 土師器 杯 | 西南東部床面上12cm 3/4 | 口 高 10.5 3.1 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。器面磨滅。 |
| 第69図 | 4 | 土師器 杯 | 埋没段上中 1/2 | 口 高 10.6 3.1 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへう割りか。器面磨滅。 |
| 第69図 PL.70 | 5 | 土師器 杯 | 甕振り方面上4 cm 1/3 | 口 11.4 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。器面磨滅。 |
| 第69図 PL.70 | 6 | 土師器 杯 | 床面上6cm 3/4 | 口 高 11.8 4.2 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。器面磨滅。 |
| 第69図 PL.70 | 7 | 土師器 杯 | 床面上11cm 1/2 | 口 高 12.2 4.7 | | 礫・粗砂粒・赤色 粘土粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへう割りと考えられる。内面はナデ。 |
| 第69図 | 8 | 土師器 杯 | 床面上16cm 1/3 | 口 12.6 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にふい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへう割りか。器面磨滅。 |
| 第69図 PL.70 | 9 | 土師器 杯 | 埋没段上中 3/4 | 口 高 10.5 4.6 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/明黄褐 | 器内は深い。現状の平面形は長円形を呈する。悉んだが、器面は磨滅。口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちへう割りと考えられる。 |
| 第69図 PL.70 | 10 | 須恵器 皿 | 埋没段上中 1/3 | 口 高 14.6 6.6 | 高 3.0 | 黒色粘土粒/還元 焙成質/灰黄 | 器形は悉んで行っている。ロクロ整形。回転は右回り。底部回転切り離し後、高台部を貼付。その後、周縁部にナデ調整。器面磨滅。 |
| 第69図 | 11 | 須恵器 杯 | 埋没段上中 1/4 | 口 高 11.8 6.6 | 高 3.2 | 粗砂粒/還元焙/暗 灰黄 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転へう割り後、回転へう調整か。 |
| 第69図 | 12 | 須恵器 甕か | 埋没段上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 11.8 | | 細砂粒/還元焙/黄 灰 | 横つくり成形か。外面は横ナデ。胴部内面は当て具痕の上になデ。 |
| 第69図 | 13 | 土師器 台付甕 | 埋没段上中 胴部3/4 | 底 7.5 | | 粗砂粒/良好/橙 | 胴部内面はナデ。胴部外面は縦位のへう割り。胴部に横ナデ。内面は縦位のへうナデ。 |
| 第69図 | 14 | 土師器 甕 | 埋没段上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 22.2 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう割り。内面磨滅。 |
| 第69図 | 15 | 土師器 甕 | 床面上4cm 口縁部～胴部上 位1/2 | 口 19.4 | | 礫・粗砂大の片岩/ 赤色粘土粒/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへう割りと考えられる。器面磨滅。 |

9区43号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|---------------|-----------------|--------|--------------------|--|-----|
| 第70図 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～体部片 | 口 13.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面は口縁部に横位のへら磨き。底部には中心から口縁部に向けて放射状のへら磨き。 | |
| 第70図 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～体部片 | 口 13.0 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上位に成形時のナデの面を残す。以下は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |

9区44号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|---------------|------------------------|-------------------------------|--------------------|--|-------|
| 第72図 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 1/3 | 口 11.8 高 3.2 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第72図 | 2 | 土師器 杯? | 埋没上中 1/3 | 口 9.8 | 粗砂粒/不良/ぶ い橙 | 口縁部は平底の底部から外反ぎみに立ち上がる。底部中央は突起をなす。外面は粗雑なナデ。内面はへらナデ・へら削り。底部外面に木炭痕。 | |
| 第72図 | 3 | 土師器 鬘 | Pl4床面直上13cm 頸部～胴部上位 | | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 器面磨滅。胴部張る可能性あり。 | |
| 第72図 PL.70 | 4 | 礫石器 棒状礫 | Pl4床面直上 完形 | 長 15.5 厚 4.9 幅 5.4 重 605.9 | 変玄武岩 | 全面が自然であり円礫を利用している。 | |
| 第72図 PL.70 | 5 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 15.3 厚 4.2 幅 5.6 重 577.6 | 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| 第72図 PL.70 | 6 | 礫石器 棒状礫 | Pl4床面直上 完形 | 長 15.7 厚 2.8 幅 5.8 重 418.8 | 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| 第72図 PL.70 | 7 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 16.6 厚 3.8 幅 4.1 重 383.0 | 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| 第72図 PL.70 | 8 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 16.9 厚 3.4 幅 7.6 重 639.4 | 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している可能性が高い。 | |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 15.9 厚 4.2 幅 6.4 重 416.3 | 変玄武岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 不明 | 長 12.0 厚 2.8 幅 7.6 重 388.9 | 黒色片岩 | | 測値のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 14.3 厚 3.7 幅 5.3 重 305.8 | 黒色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 14.6 厚 2.8 幅 7.7 重 400.6 | 粗粒輝石安山岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 不明 | 長 15.9 厚 3.1 幅 6.1 重 438.1 | 緑色片岩 | | 計測のみ |

9区45号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|---------------|----------------------------|-------------------------------|---------------------|--|-------|
| 第74図 PL.70 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/3 | 口 12.0 高 7.4 底 7.4 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第74図 PL.70 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/3 | 口 12.5 高 3.1 底 9.5 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面はナデか。 | 器面磨滅。 |
| 第74図 PL.70 | 3 | 土師器 鬘 | 電石脇床面直上11cm 口縁部～胴部上位1/2 | 口 20.8 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第74図 PL.70 | 4 | 土師器 鬘 | 電石道 口縁部～胴部上位1/2 | 口 21.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位が斜横位、中位が斜横位のへら削り。内面はへらナデ。 | 内面磨滅。 |
| 第74図 | 5 | 土師器 鬘 | 電石道 口縁部～胴部上位片 | 口 22.0 | 細砂粒/良好/明赤 褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第74図 | 6 | 須恵器 鬘 | 埋没上中 口縁部下位～胴部上位片 | | 粗砂大の白色藍物 粒/還元焼/灰 | 紐づくり成形。口縁部は横ナデ。胴部は外面に甲き目。内面に当て具痕を残す。 | |
| 第74図 PL.70 | 7 | 礫石器 棒状礫 | 床下掘り方段上 中 完形 | 長 17.7 厚 2.7 幅 6.5 重 440.5 | 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され円礫を利用している。 | |
| 第74図 PL.70 | 8 | 鉄製品 刀子 | 埋没上中 破片 | 長 3.8 厚 0.8 幅 1.9 重 7.9 | 鉄 | 茎から刃にかけて残存。刃は1.5cmの残存である。劣化により両端が欠損しているため、詳細は不明。木質等の残存もない。 | |

9区65号竪穴建物出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|---------------|----------------------|--------|--------------------|-------------------------------|-------|
| 第78図 PL.69 | 1 | 土師器 鬘 | 床面直上 底部欠 | 口 15.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/ぶい橙 | 口縁部は横ナデと考えられる。胴部外面は縦位のへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第78図 | 2 | 土師器 鬘 | 床面直上17cm 口縁部～胴部上位 | 口 18.0 | 礫・粗砂粒/良好/ 明赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のナデ | |

遺物観察表

9区66号竪穴建物出土遺物観察表

| 挿入 PL. No. | 種 類 No. | 種 類 種 別 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|------------|------------|----------------------|--------|--------------------|----------------------------|---|
| 第79図 PL.70 | 1 | 土師器 杯 | 甕竈口部手前床 面直上 完形 | 口 高 | 11.3 4.2 | 赤色粘土粘/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。 器面磨滅。 |
| 第79図 PL.70 | 2 | 土師器 杯 | 甕竈遺部 口縁部~底部片 | 口 高 | 13.0 | 赤色粘土粘・細砂 粒/良好/明黄 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削りと考 えられる。内面はナデ。 |
| 第79図 PL.70 | 3 | 土師器 杯 | P1南側面直上 3/4 | 口 高 | 8.0 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部に成形時のナデの面を残す。 型肌状。底部は手持ちへら削り。内面はナデ。 |
| 第79図 PL.70 | 4 | 土師器 鉢 | 甕土袖崩落部分 2/3 | 口 高 | 12.8 11.1 | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部下から底部にかけて手持ち へら削り。内面は斜横位のへらナデ。底部は丸底を志向し ている。 |
| 第79図 PL.70 | 5 | 土師器 有孔鉢 | 甕土袖崩落部分 体部一部欠 | 口 孔 | 17.3 2.1 | 11.0 粗砂粒・赤色粘土 粘/良好/橙 | 底部に小孔を穿つ。直径は2.1cm程か。外面は磨滅。内面 は横位のへらナデ。 |

9区67号竪穴建物出土遺物観察表

| 挿入 PL. No. | 種 類 No. | 種 類 種 別 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|------------|------------|-----------------------------------|--------|--------------------|------------------------------------|--|
| 第80図 PL.70 | 1 | 土師器 杯 | 甕右側床面上6 ~10cm 3/4 | 口 高 | 13.2 4.2 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は細か手持ちへら削り り。内面は底部中央から口縁部に向けて放射状にへら磨き。 器形若干歪む。外面磨滅。 |
| 第80図 PL.70 | 2 | 土師器 杯 | 床面上11cm 1/4 | 口 高 | 16.0 | 細砂粒/良好/にぶ い黄 | 口縁部は横ナデ。体部(様下)から底部外面は手持ちへら削り り。底部内面はナデの上にへら磨き。 |
| 第80図 PL.70 | 3 | 土師器 小型甕 | 床面上11cm 口縁部~体部下 位1/3 | 口 高 | 10.0 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は体部との間に強い稜をなした後、内傾して立ち上 がる。口縁部は横ナデ。体部外面は横位のへら削り。内面 はナデ。 |
| 第80図 PL.70 | 4 | 土師器 小型甕 | 甕右側床面上6 ~10cm 1/3 | 口 底 | 13.8 7.2 | 14.5 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、下位の底部寄りは斜 横位のへら削り。底部外面もへら削り。内面は胴部・底部 ともへらナデ。底部外面にへらあるいは木葉痕あり。 |
| 第80図 PL.70 | 5 | 土師器 甕 | 甕左脇床面直上 1/3 | 口 高 | 22.5 5.2 | 32.6 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。底部寄り は斜横位・横位。内面は横位の横ナデ。底部外面に木葉痕。 底部内面に黒色の付着物。 |
| 第80図 PL.70 | 6 | 土師器 甕 | 甕右側床面上6 ~10cm 口縁部~胴部中 位片 | 口 高 | 21.0 | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は二回に分けて横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。 内面は上位が縦位の、中位が斜横位のへらナデ。 |
| 第80図 PL.70 | 7 | 土師器 杯 | 床面上5cm 底部1/2 | 底 | 9.6 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 胴部外面は斜横位のへら削りと考えられる。内面は斜横位 のへらナデ。 |

10区56号竪穴建物出土遺物観察表

| 挿入 PL. No. | 種 類 No. | 種 類 種 別 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|------------|------------|--------------------------|--------|--------------------|------------------------|---|
| 第81図 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 甕右側床面上3 cm 口縁部~体部片 | 口 高 | 12.8 | 粗砂粒/良好/にぶ い黄 | 口縁部は横ナデ。体部下位は手持ちへら削りか。磨滅のた め単位は確認できない。底部外面は手持ちへら削り。内面 はナデか。 |
| 第81図 PL.71 | 2 | 須恵器 蓋 | 埋没土中 確認 | 横 | 5.5 | 粗砂粒/還元焼成/ 灰白 | 蓋の中央に付されるボタン状の端のみ残存。ロクロ整形、 回転は右まわり。二次利用したか。 |
| 第81図 PL.71 | 3 | 須恵器 杯 | 甕右側床面上9 cm 1/3 | 口 高 | 14.4 9.6 | 3.7 粗砂粒/還元焼成/ 灰白 | ロクロ整形、回転は不明。底部は回転へら切り。 |

10区57号竪穴建物出土遺物観察表

| 挿入 PL. No. | 種 類 No. | 種 類 種 別 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎上/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|------------|------------|--------------------------------|--------|--------------------|---------------------|--|
| 第83図 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 高 | 11.8 4.3 | 粗砂粒・赤色粘土 粘/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 磨滅。 |
| 第83図 PL.71 | 2 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 高 | 12.2 4.0 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内 面はナデ。 |
| 第83図 PL.71 | 3 | 土師器 杯 | P1埋没土中 1/2 | 口 高 | 10.8 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(様下)は手持ちへら削りと考えられ る。 |
| 第83図 PL.71 | 4 | 土師器 杯 | 床面上4cm 1/2 | 口 高 | 11.8 | 細砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部(様下)から底部外面は手持ちへら削り りと考えられる。内面はナデ。 |
| 第83図 PL.71 | 5 | 土師器 鉢 | 埋没土中 口縁部~体部片 | 口 高 | 12.0 | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は内傾ぎみに立ち上がる。横ナデ。体部外面は横位 に手持ちへら削り。内面はへらナデ。 |
| 第83図 PL.71 | 6 | 土師器 鉢 | 床面上4cm 口縁部~体部 中位片 | 口 高 | 23.6 | 粗砂粒・赤色粘土 粘/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部上位にナデか。中位には強い タッチのへら削り。内面はへらナデ。 |
| 第83図 PL.71 | 7 | 土師器 小型甕 | 甕右脇床面上5 cm 口縁部~胴部 1/2 | 口 高 | 15.0 | 礫・粗砂粒/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面はへら ナデと考えられる。 |
| 第83図 PL.71 | 8 | 土師器 甕 | 埋没土中 口縁部~胴部上 位片 | 口 高 | 20.0 | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/明黄 | 小破片のため形状不確定。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜 横位の強く粗雑なへら削り。内面はナデ。 |
| 第83図 PL.71 | 9 | 土師器 甕 | 床面上3cm 口縁部~底部・底 部欠 | 口 高 | 20.0 | 礫大の片岩多量/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、底部寄りは斜横位 のへら削り。下位は短い単位。内面は横位のへらナデ。 |
| 第83図 PL.71 | 10 | 土師器 甕 | 床面上4cm 口縁部~胴部下 位片 | 口 高 | 19.8 | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/橙 | 成形が粗雑で器形が乱れている。口縁部は横ナデ。胴部外 面は縦位のへら削り。内面は縦位の、一部は横位のへらナ デ。 |

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-------------------------------|--------|--------------------|--|---|
| 第83回 | 11 | 土師器 甕 | 床面上8cm 口縁部～胴部下 位1/4 | 口 23.0 | | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位に数回に分けてへら削り。内面は縦位・横位のへらナデ。 | 内面やや磨滅。 |
| 第83回 | 12 | 土師器 甕 | 竈石脇床面上4cm 胴部上位～胴部 下位1/4 | | | 粗砂粒/良好/にぶい黄褐色 | 残存上位は斜縦位の、中位は横位の、下位は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 |

10区58号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-------------------------|-----------------|--------------------|------------------|-------------------------------------|
| 第84回 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 床面上5cm 3/4 | 口 12.4 高 4.1 | | 赤色粘土粒・礫・粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 |
| 第84回 | 2 | 土師器 鉢 | 床面上7cm 口縁部～体部上 位片 | 口 14.2 | | 粗砂粒/良好/明褐色 | 口縁部は横ナデ。体部外面はナデに近い縦位のへら削り。内面はナデ。 |
| 第84回 | 3 | 土師器 甕 | 竈門口部底面上6cm 口縁部片 | 口 21.2 | | 礫・粗砂粒/良好/明赤褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 |

10区59号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|---------------|----|------------|-----------------------------|-----------------|--------------------|-------------------|--|-------|
| 第85回 PL.71 | 1 | 土師器 上杯 | 竈左脇床面直上1/2 | 口 11.9 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第85回 | 2 | 土師器 甕 | P2北脇床面上6cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 22.0 | | 赤色粘土粒・細砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面はナデの上に縦位のへら磨き。 | |
| 第85回 PL.71 | 3 | 土師器 小型甕 | 竈左脇床面直上1/3 | 口 13.0 底 8.4 | 高 12.7 | 礫大の片岩/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は底部寄りに手持ちへら削りが認められる。底部はわずかに凸状を呈す。へら削りと考えられる。内面はへらナデと考えられる。 | 器面磨滅。 |

10区68号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|---------------|----|------------|-----------------------------------|------------------|--------------------|--------------------|--|---------------|
| 第87回 PL.71 | 1 | 土師器 鉢 | 床面上3cm 1/3 | 口 13.0 底 9.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 底部は径の大きな平底。口縁部は横ナデ。内面には横位のへら磨き。廻り性は見られない。 | 口縁部は内傾の可能性あり。 |
| 第87回 PL.71 | 2 | 土師器 甕 | 竈燃焼部使用面上2/3 6～9cm | 口 16.0 高 27.7 | | 礫・粗砂大の片岩/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は3・4回に分けて上位・中位は縦位、下位は斜位のへら削り。内面は横位のへら削り。底部は不安定な平底か。 | |
| 第87回 | 3 | 土師器 甕 | 床面上6cm 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 17.6 | | 粗砂粒・細砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位・斜位のへらナデ。 | |
| 第87回 | 4 | 土師器 甕 | 竈裂口部使用面上5～9cm 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 20.0 | | 粗砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面はへらナデ。 | |
| 第87回 PL.71 | 5 | 土師器 甕 | 竈燃焼部使用面上5～9cm 口縁部・胴部一 部欠 | 口 21.9 底 3.0 | 高 33.5 | 礫・粗砂大の片岩多量/良好/にぶい橙 | 器形は大きく歪んでいる。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は上位・下位は横位、中位は縦位のへらナデ。底部は小さな平底。へらナデ。 | |
| 第87回 | 6 | 土師器 甕 | 竈裂口部使用面上5～9cm 胴部上位～胴部 下位1/2 | | | 礫・粗砂大の片岩/良好/にぶい赤褐色 | 外面は縦位のへら削り。内面は斜縦位・横位のへらナデ。 | |
| 第87回 | 7 | 土師器 甕 | 床面上5cm 胴部下位～底部 | 底 10.0 | | 粗砂粒・細砂粒/良好/橙 | 胴部外面は斜縦位のへら削り。内面はへらナデ。底部外面はへら削り。 | |

10区60号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|---------------|-----------------|--------------------|-------------------|-------------------------------------|
| 第88回 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中一部欠 | 口 11.2 高 4.1 | | 粗砂粒・赤色粘土粒/良好/明黄褐色 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへら削り。器面磨滅。 |
| 第88回 PL.71 | 2 | 土師器 鉢 | 竈脇床面直上1/2 | 口 13.0 高 4.7 | | 細砂粒/良好/にぶい黄褐色 | 口縁部は横ナデ。体部(膝下)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 |

10-2区78号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|---------------|----|------------|----------------|-----------------|--------------------|------------------|--|-------|
| 第90回 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上2/3 | 口 13.8 底 9.6 | 高 4.0 | 粗砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面は口縁部に右傾するへら磨き。 | 器面磨滅。 |
| 第90回 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中1/4 | 口 14.7 底 7.5 | 高 3.8 | 粗砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへら削り。内面はナデの上に右傾するへら磨きを重ねる。底部外面はへら削り。 | |
| 第90回 | 3 | 土師器 杯 | 埋没土中1/4 | 口 13.4 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第90回 | 4 | 須恵器 蓋 | 埋没土中口縁部～天井部1/3 | 口 14.0 | | 白色鉱物粒・粗砂粒/還元焼/灰黄 | 口縁部整形、回転は右回り。天井部外面の中央寄りに回転へら削り。 | |

遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|---|----------|
| 第90回 | 5 | 須恵器 蓋 | 埋没上中 口縁部～天井部 片 | 口 14.8 | 粗砂粒/還元焰/灰 白 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面の中央寄りに回転ヘラ削り。 | |
| 第90回 | 6 | 土師器 台付甕 | 埋没上中 胴部下位～台部 上位片 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい・黄褐色 | 胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。台部外面はヘラナデか。内面はヘラナデ。 | |
| 第90回 | 7 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 17.4 | 粗砂大の片岩/良 好/にぶい・橙 | 口縁部はもっと外反されるか、器面磨減。胴部外面はヘラ削りと考えられる。内面は傾位のヘラナデか。 | |
| 第90回 | 8 | 須恵器 甕 | 埋没上中 口縁部片 | 口 21.8 | 白色鉱物粒多量・ 黒色鉱物粒少量/ 還元焰/黄灰 | 紐づくり成形か。器面をナデ調整。 | |
| 第90回 | 9 | 石製品 紡輪 | 掘り方円地底面 上1cm ほぼ完形 | 長 幅 厚 1.0 5.0 重 40.2 | 蛇紋岩 | 表裏面ともよく研磨され、平滑面が形成されている。体部側面は面取り整形される。孔径約6mm。 | 逆台形状(薄型) |

10-2区80号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|----------------------|-------------------------|---------------------|---|-----|
| 第90回 | 10 | 須恵器 蓋 | 埋没上中 胴部片 | 口 幅 4.0 | 白色・黒色鉱物粒 /還元焰/黄灰 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部切り離した後、ボタン状の握みを貼付。 | |
| 第90回 | 11 | 須恵器 蓋 | 埋没上中 口縁部～天井部 片 | 口 17.4 | 黒色鉱物粒少量/ 還元焰/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面の中央寄りに回転ヘラ削り。 | |
| 第90回 PL.71 | 12 | 鉄製品 鉢 | 床面直上上 一部欠損 | 長 幅 厚 1.8 6.0 重 62.3 | 鉄 | 柄の装着部に折返しを持つ鉄製鉢。折返しはほぼ垂直に立ち上がる。木質の残存は確認出来ない。刃の端部の欠損が見られる。 | |

10-2区79号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|--------------------------|-----------------|----------------------|---|-------|
| 第91回 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部 1/3 | 口 高 13.4 3.4 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部にナデの面を残す。底部は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第91回 | 2 | 須恵器 杯 | 埋没上中 体部下位部～底 部片 | 底 8.8 | 白色鉱物粒・海綿 骨針/還元焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ削り調整。 | |
| 第91回 | 3 | 須恵器 碗 | 埋没上中 胴部片 | 台 6.9 | 白色鉱物粒少量/ 還元焰/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。体部最下位に回転ヘラ削り。底部切り離した後、高台貼付。その後、周縁部にナデ調整。 | |
| 第91回 | 4 | 須恵器 瓶か | 埋没上中 体部下位～底部 片 | 台 11.2 | 黒色鉱物粒/還元 焰/灰白 | ロクロ整形、回転は右回りか。外面の体部下位は回転ヘラ削り。底部も回転ヘラ削り調整。 | |
| 第91回 | 5 | 土師器 台付甕 | 埋没上中 胴部下位～台部 上位1/2 | | 粗砂粒/良好/明赤 褐 | 外面はヘラ削り。内面は胴部・台部ともヘラナデ。 | |
| 第91回 | 6 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 23.1 | 粗砂粒/良好/にぶ い・黄褐色 | 残片が小破片であるため、直径が測定できない。 | 器面磨減。 |

10-2区82号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-----------------|-----------------|--------------------|---|-------|
| 第92回 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部片 | 口 底 13.4 7.8 | 粗砂粒/良好/明赤 褐 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。底部外面も手持ちヘラ削り。 | 器面磨減。 |
| 第92回 | 2 | 須恵器 甕 | 埋没上中 胴部～天井部片 | 口 幅 6.0 | 黒色鉱物粒/還元 焰/灰白 | リング状の握み。ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面の握み寄りに回転ヘラ削り。 | |
| 第92回 | 3 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部片 | 口 17.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | |

10-2区89号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-------------------------|-----------------|-----------------------------|--|-------|
| 第93回 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 床面上13cm 3/4 | 口 14.4 | 粗砂粒/良好/橙 | 器形やや歪む。口縁部は横ナデ。体部外面はヘラ削りと考えられる。内面は口縁部に右傾するヘラ磨き。底部には燻炭状のヘラ磨きが残されていたと考えられるが、大半が磨減している。 | 器面磨減。 |
| 第93回 PL.71 | 2 | 土師器 杯 | 床面上10cm 1/2 | 口 底 13.8 8.7 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい・赤 褐 | 口縁部は横ナデと考えられる。体部外面は手持ちヘラ削り。底部外面は手持ちヘラ削り。板目状の圧痕か。内面の口縁部は放射状にヘラ磨き。底部にも施されているか。 | |
| 第93回 PL.71 | 3 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部1/3 | 口 底 15.6 9.4 | 粗砂粒/良好/明赤 褐 | 器面磨減。 | |
| 第93回 | 4 | 土師器 杯 | 掘り方直面上14 cm 1/4 | 口 14.8 10.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は下半部に手持ちヘラ削り。上半部に成形時の面を残す。底部外面はヘラ削りと考えられる。 | 器面磨減。 |
| 第93回 PL.71 | 5 | 土師器 杯 | 床面上13cm 口縁部一部欠 | 口 高 12.3 3.5 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨減。 | |
| 第93回 PL.71 | 6 | 土師器 杯 | 燻炭口部右床面 上14cm 1/2 | 口 高 11.8 3.8 | 粗砂粒/良好/にぶ い・橙 | 口縁部は横ナデ。器面は磨減。 | |

| 検体 PL.No. | No. | 種 器 類 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|---------------|-----|------------------|----------------------------|--------|-------------|-------------------------------|---|----------|--|
| 第93図 PL.71 | 7 | 土師器 杯 | 掘り方埋没上中 3/4 | 口 高 | 12.5 3.3 | 粗砂粒/良好/褐色 | 平面形は長円形を呈す。口縁部は横ナデ。体外外面には成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面に炭素吸着。 | |
| 第93図 | 8 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 | 12.2 | 粗砂粒/良好/褐色 | 口縁部は横ナデ。体外外面はナデ。底部外面は手持ちへら削りと考えられるが器面磨滅。 | | |
| 第93図 | 9 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 高 | 12.8 2.9 | 粗砂粒/良好/赤褐色 | 口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | | |
| 第93図 | 10 | 須恵器 蓋 | 埋没上中 口縁部～天井部 片 | 口 | 18.0 | 黒色鉱物粒/還元 焼/黄灰 | ロクロ整形。回転は右回り。天井部外面の中心寄りは回転へら削り。 | 内面平滑。 | |
| 第93図 | 11 | 須恵器 杯? | 埋没上中 口縁部片 | 口 | 14.9 | 尖雑物少ない。白 色鉱物粒少量/還 元焼/浅黄 | ロクロ整形。回転は右回り。 | | |
| 第93図 | 12 | 須恵器 杯 | 埋没上中 口縁部片 | 口 | 13.0 | 尖雑物少ない。白 色鉱物粒少量/還 元焼/黄灰 | ロクロ整形。回転は右回り。体部下位に回転へら削り。 | | |
| 第93図 | 13 | 須恵器 杯 | 埋没上中 底部片 | | | 黒色鉱物粒少量/ 還元焼/浅黄 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転へら切り後、無調整。 | | |
| 第93図 PL.71 | 14 | 土師器 壺 | 床面上11cm 胴部下位 | | | 粗砂粒/良好/にぶ い赤褐色 | 胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 器面やや磨滅。 | |
| 第93図 | 15 | 土師器 杯 | 床面上10cm 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 | 21.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい褐色 | 口縁部は横ナデ。胴部内面は横位のへらナデ | 外面磨滅。 | |
| 第93図 PL.71 | 16 | 礫石器 棒状鏝 | 埋没上中 完形 | 長 幅 | 13.9 2.6 | 厚 重 | 2.4 137.1 | 黒色片岩 | 円柱状の整った形態を呈しており全体的に整形されている可能性がある。上端には磨面が形成されている。 |
| 第93図 PL.71 | 17 | 鉄製品 品 | 埋没上中 完形か | 長 幅 | 7.2 1.1 | 厚 重 | 1.0 8.0 | 鉄 | 全体が砂をかんだ固いさびで覆われていて、詳細は不明。ほぼ中心で折れている。断面の形状は見当たらないが破損箇所も見当たらないため、合釘か。 |

10-2 (K83)号壁穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No. | No. | 種 器 類 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|---------------|-----|------------------|----------------|--------|-------------|---------------------|--|----|
| 第95図 PL.71 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 完形 | 口 高 | 11.2 3.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/褐色 | 器形は歪んでいる。器面磨滅。 | |
| 第95図 PL.71 | 2 | 土師器 杯 | 床面直上 口縁部一部欠 | 口 高 | 13.7 4.1 | 粗砂粒/良好/褐色 | 口縁部は横ナデ。体外外面に成形時のナデの面を残す。底部は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |

10-2 (K83)号壁穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No. | No. | 種 器 類 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|---------------|-----|------------------|---|--------|----------------|--------------------|--------------------|---|---|
| 第98図 PL.72 | 1 | 土師器 杯 | 甕前床面上4cm 1/2 | 口 台 | 11.8 6.6 | 高 5.5 | 粗砂粒/良好/褐色 | 口縁部は横ナデ。体部の整形は不明。高台貼付後、周縁部を横ナデ。 | |
| 第98図 PL.72 | 2 | 須恵器 杯 | 埋没上中 3/4 | 口 底 | 10.2 5.5 | 高 3.3 | 粗砂粒/酸化焼/に ぶい黄褐色 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転糸切り離し後、無調整。 | |
| 第98図 | 3 | 須恵器か 杯 | 甕前床面直上 体部下位～底部 | 底 | 6.3 | | 赤色粘土粒/良好/ 褐色 | ロクロ整形か。器面磨滅。 | |
| 第98図 | 4 | 須恵器 杯 | 甕前床面上3cm 1/2 | 口 | 13.7 | | 粗砂粒/酸化焼/に ぶい褐色 | ロクロ整形。回転は右回りか。底部は切り離し後、高台貼付。 | |
| 第98図 | 5 | 須恵器か 杯 | 埋没上中 底部 | | | | 粗砂粒/酸化焼/に ぶい黄褐色 | 器面磨滅。 | |
| 第98図 PL.72 | 6 | 灰釉陶器 長頸壺 | 甕前床面直上 頸部～底部1/3 | 台 | 9.0 | | 尖雑物少量/還元 焼/黄灰 | 口縁部と胴部は別作りで成形。両者を接合。やや歪んでいるか。胴部は紐づくり成形。回転は左回りか。外面の胴部中位以下は回転へら削り。底部は回転糸切り離し後、高台貼付。 | 胴部外面、底部内面に自然輪付着。 |
| 第98図 PL.72 | 7 | 土師器 羽釜 | 甕前床面上2～ 6cm 口縁部～胴部 1/3 | 口 | 21.7 | | 粗砂粒/良好/褐色 | 口縁部は横ナデ。踵は断面三角形。貼付後、周縁部にナデ調整。胴部外面は横位のナデ。以下は縦位のへら削り。内面は横位のナデ。 | |
| 第98図 PL.72 | 8 | 須恵器 羽釜 | 甕使用面上9cm 口縁部～胴部下 位 | 口 | 21.8 | | 粗砂粒・細砂粒/ 酸化焼/褐色 | 紐づくり成形。ロクロ調整。口縁部は横ナデ。踵を取付後、周縁部に横ナデ。胴部外面下半は斜縦位のへら削り。 | |
| 第98図 PL.72 | 9 | 須恵器 羽釜 | 甕使用面上6～ 12cm 甕前床面上2～ 13cm 口縁部～胴部下 位2/3 | 口 | 25.8 | | 粗砂粒/酸化焼/褐色 | 紐づくり成形後、ロクロ調整。踵は断面三角形で短い。胴部下半は斜位のへら削り。 | |
| 第98図 PL.72 | 10 | 土師器か 羽釜 | 甕前床面上4～ 6cm 胴部～底部1/3 | 底 | 8.6 | | 粗砂粒/酸化焼/に ぶい黄褐色 | 胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のナデ。底部外面はへらナデ。 | |
| 第98図 PL.72 | 11 | 礫石器 石 | 甕前床面上2/3 | 長 幅 | (21.7 15.1) | 厚 重 | 9.3 203.7 | 牛伏砂岩 | 表面に明確な凹みをもつ磨面が認められる。裏面には蓋斗状の孔が多数認められる。左右側面及び上側面は自然面と判断され並門礫を利用する。 |
| 第99図 PL.72 | 12 | 瓦 平瓦 | 甕前使用面上12 cm 破片 | | | | | 礫・粗砂粒/還元 焼/黄灰 | 胴部破片。外面に布目肌。内面は丁字ナデ。一部にへら削り。側端部は面取り2回。小口端部も面取り。 |

遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 種 別 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|---------------|----|------------|-----------------|-----|------|----------------------|---|--------------|
| 第998 PL.72 | 13 | 瓦 平瓦 | 甕前床面上11cm 破片 | 口 | 13.0 | 礫・粗砂粒/還元 焼/灰黄 | 下階右辺隅の破片。外面に布目肌。内面にナデ。側端部の面取りは2回で丁寧なナデを重ねる。小口頂部の面は中位がくぼみ重畳文状を呈する。 | |
| 第998 PL.72 | 14 | 瓦 平瓦 | 甕前床面上3cm 破片 | 口 | 14.8 | 礫・粗砂粒/還元 焼/灰黄褐 | 小口端部が残存する破片。焼成時の変形によるためか横断面は外方に向けて弧をなす。外面に布目肌。その下に叩き肌が残るか。内面はナデ。小口端部は面取り1回。 | 内外面に自然 釉。 |
| 第998 PL.72 | 15 | 瓦 平瓦 | 床面直上 破片 | 口 | | 礫・粗砂粒/還元 焼/灰白 | 側端部が残存する破片。外面は布目肌。粘土板削ぎ取り痕あり。内面は叩き目の上にナデを重ねる。側端部の面取りは3回。 | |
| 第998 PL.72 | 16 | 瓦 平瓦 | 床面直上 破片 | 口 | | 粗砂大の白色鉱物 粒/還元焼/灰黄 | 外面は布目肌。粘土板の削ぎ取り痕あり。外面は横位のナデ。一部削り状。凹部には布目肌を残す。 | |

10-2区87号竪穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 種 別 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | |
|----------------|----|------------|-------------------------|--------|-------------|----------------------|---|-------|--|
| 第1008 | 1 | 土師器 杯 | 埋設上中 1/4 | 口 高 | 13.0 4.7 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面にはナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | | |
| 第1008 | 2 | 土師器 杯 | 埋設上中 1/3 | 口 | 13.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面にはナデの面を残す。底部外面はヘラ削り。内面はナデ。 | | |
| 第1008 | 3 | 土師器 杯 | 埋設上中 1/3 | 口 | 14.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削りと考えられる。底部外面は磨滅。 | | |
| 第1008 | 4 | 須恵器 蓋 | 埋設上中 天井部片 | 楕 | 5.3 | 夾雑物なし/還元 焼/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部積み寄りは回転ヘラ削り。 | 胎土・緻密 | |
| 第1008 | 5 | 須恵器 蓋 | 埋設上中 積み～胴部上位 1/2片 | 楕 | 5.2 | 粗砂粒・黒色鉱物 粒/還元焼/灰白 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面は積み寄りに回転ヘラ削り。 | | |
| 第1008 | 6 | 須恵器 蓋 | 埋設上中 底部1/2 | 底 | 11.2 | 白色鉱物粒少量/ 還元焼/灰黄 | ロクロ整形、回転は左回り。底部は回転ヘラ切り後、ナデ調整。 | | |
| 第1008 | 7 | 礫石 磨石 | 埋設上中 完形 | 長 幅 | 18.6 7.6 | 厚 重 | 3.4 779.7 | 変玄武岩 | 表面全体から右側面にかけて磨面が認められる。側面に最打敷が取付し左右側面に集まる。 |
| 第1008 PL.73 | 8 | 鉄製品 釘 | 埋設上中 ほぼ完形 | 長 幅 | 7.3 1.2 | 厚 重 | 0.9 12.3 | 鉄 | 頭部が欠損。全体が錆で覆われていて、詳細は不明。もとは方形の釘であるが、劣化、さびによる膨張により変形している。 |

10-2区93号竪穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 種 別 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|----------------|----|------------|----------------------|--------|-------------|----------------------|---|-----|
| 第1008 PL.73 | 9 | 土師器 杯 | 埋設上 2/3 | 口 高 | 13.3 3.5 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第1008 | 10 | 須恵器 蓋 | 埋設上中 口縁部～天井部 片 | 口 | 13.6 | 夾雑物ほとんど なし/還元焼/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面の中央寄りに回転ヘラ削り。 | |

10-2区86号竪穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 種 別 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | |
|----------------|----|------------|----------------------------|--------|-------------|---------------------------|--|---|---------------|
| 第1018 PL.73 | 1 | 土師器 杯 | 埋設上中 口縁部～体部 1/2 | 底 | 11.7 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面以下は手持ちヘラ削りと考えられるが、器面磨滅。内面はナデ。 | | |
| 第1018 | 2 | 土師器 杯 | 床面上14cm 口縁部～体部 1/3 | 口 | 13.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | | |
| 第1018 | 3 | 土師器 杯 | 床面直上 1/4 | 口 | 12.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 外面磨滅。底部は手持ちヘラ削りと考えられる。内面はナデ。 | | |
| 第1018 | 4 | 土師器 杯 | 埋設上中 口縁部～体部 1/3 | 口 | 12.9 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | | |
| 第1018 | 5 | 土師器 杯 | 床面上22cm 1/3 | 口 | 14.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | | |
| 第1018 | 6 | 土師器 杯 | 埋設上中 口縁部～底部 1/4 | 口 高 | 13.8 8.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/ぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り、内面は口縁部から体部に放射状の、見込み部に横位のヘラ磨き。 | | |
| 第1018 | 7 | 土師器 鉢 | 床面直上 1/2 | 口 底 | 26.8 8.5 | 15.5 礫・粗砂大の片岩 /良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部は横位・斜傾部のヘラ削り。内面はヘラナデか。 | 器面磨滅。 | |
| 第1018 | 8 | 須恵器 蓋 | 埋設上中 天井部～天井部片 | 口 | 17.0 | 黒色鉱物粒/還元 焼/灰白 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面の中心部寄りに回転ヘラ削り。 | | |
| 第1018 | 9 | 須恵器 蓋 | 埋設上中 積み部 | 楕 | 4.2 | 夾雑物なし/還元 焼不良/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。 | 器面やや磨滅 | |
| 第1018 PL.73 | 10 | 須恵器 杯 | 埋設上中 1/4 | 口 底 | 12.2 7.0 | 高 3.4 | 黒色鉱物粒/還元 焼/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。体部下位は手持ちヘラ削り。底部は手持ちの不定方向のヘラ削り。 | 底部内面に墨 書か。 |
| 第1018 | 11 | 須恵器 蓋 | 床面上16cm 底部片 | 底 | 13.4 | 粗砂粒/還元焼/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は回転ヘラ切り後、回転ヘラ調整。底部は外縁に沿って沈線が一周する。 | | |
| 第1018 | 12 | 土師器 鉢 | 埋設上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 14.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラ削り。内面はヘラナデ。 | | |
| 第1018 | 13 | 土師器 鉢 | 床面上26cm 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 | 20.8 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削りと考えられる。 | 器面磨滅。 | |

竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-----------------------------|-----------|-----------------------------|--|-------|
| 第101回 | 14 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 20.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は隠しより外反の可能性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面はへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第101回 | 15 | 土師器 甕 | 床面上8cm 口縁部～胴部中 位片 | 口 20.1 | 礫・粗砂大の片岩・ 赤色粘土粒/良好/ 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は磨滅。 | |
| 第101回 | 16 | 土師器 甕 | 床面上8cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 22.6 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第101回 | 17 | 土師器 甕 | 床面上12cm 胴部上位～胴部 下位1/2 | | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 外面はへら削り。内面はへらナデ。 | 器面磨滅。 |

10-2区91号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|--------------------------------|---|------------------------|---|---------------|
| 第105回 | 1 | 土師器 杯 | 床面直上 1/3 | 口 13.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第105回 | 2 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上7 cm 1/3 | 口 11.8 高 4.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第105回 | 3 | 土師器 杯 | 貯蔵穴底面上6 cm 1/3 | 口 10.6 高 4.0 | 粗砂粒/良好/にぶ い黄 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第105回 | 4 | 須恵器 片 | 貯蔵穴底面直上 2/3 | 口 9.9 高 4.5 | 4.2 白色鉱物粒/還元 焰/灰 | ロクロ整形、回転は右回り。体部外面の底部寄りに指ナデ。底部は丁寧なナデ調整。 | 底部外面にへら書き。 |
| 第105回 | 5 | 土師器 小型甕 | 床面直上 口縁部～胴部上 位片 | 口 11.6 | 細砂粒/良好/灰黄 濁 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第105回 | 6 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部～胴部下 位1/3 | 口 22.3 | 粗砂大の片岩/良 好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位・中位が縦位の、下位は横位のへら削り。底部寄りは細く調整。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第105回 | 7 | 土師器 甕 | 甕左袖前床面直上 口縁部～胴部 中位片 | 口 21.6 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面最上位は横位、以下は縦位のへらナデ。 | |
| 第105回 | 8 | 土師器 甕 | 床面直上 口縁部～胴部 1/4 | 口 24.9 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は斜横位、横位のへらナデ。 | |
| 第105回 | 9 | 土師器 甕 | 甕左前床面上3 cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 21.6 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部内面は横位のナデ | 器面磨滅。 |
| 第105回 | 10 | 礫 | 埋没上中 穴形 | 長 幅 8.5 4.7 厚 重 1.7 88.3 | 珪質頁岩 | 全面が非常に滑らかである。部分的に黒褐色物質が付着する。 | 6(甕)の中の 上中 |

10-2区92号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|-------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------------|---|--------------|
| 第106回 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 13.3 高 4.1 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面以下は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第106回 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 | 口 12.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部成形時のナデの面を残す。底部は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第106回 | 3 | 須恵器 蓋 | 掘り方底面上6 cm 掘み部～天井部 上位 | 口 5.2 | 火雑物少ない/還 元焰/濁灰 | ロクロ整形、回転は右回り。天井部外面の掘り込み寄りは回転へら削り。 | |
| 第106回 | 4 | 須恵器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 13.6 高 7.6 | 4.6 黒色鉱物粒/還元 焰/灰黄 | ロクロ整形、回転は右回り。底部は手持ちの不定方向のへら削り。 | |
| 第106回 | 5 | 須恵器 長頸壺 | 埋没上中 胴部上位片 | | 白色・黒色鉱物粒 還元焰/灰オリーブ | ロクロ整形、回転は右回りか。頸部直下に胴部寄りには洗刷がめぐる。洗刷区画内にクシ状工具による刺突文が配される。 | |
| 第106回 | 6 | 土師器 小型甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 14.8 | 粗砂大の片岩/良 好/にぶい赤濁 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は斜横位のへらナデ。 | 内面に灰土吸着。黒色味。 |
| 第106回 | 7 | 須恵器 小型甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 12.6 | 細砂粒/良好/にぶ い黄濁 | 口縁部は横ナデ。胴部内面は斜位のハケ目。内面は横位のナデ。 | |
| 第106回 | 8 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位片 | 口 22.4 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はへら削り。内面は横位のへらナデ。 | |
| 第106回 | 9 | 焼輪 形象焼輪か | 埋没上中 基部片 | | 粗砂粒/酸化焰/橙 | 外面はハケ目。ナデ状の底部調整を加える。内面は指ナデ。底部に棒状の圧痕が見られる。 | |

10-2区97号竪穴建物出土遺物観察表

| 採回 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-----------------|-----------|--------------------|---|-------|
| 第110回 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～体部片 | 口 13.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部に成形時のナデの面を残す。底部は手持ちへら削り。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |

遺物観察表

10-2区98号壁穴建物出土遺物観察表

| 種別 PL_№ | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|----------------|----|------------|-----------------------------|--------|-------------|---------------------------|---|-----------------|
| | | | | 口 | 高 | | | |
| 第111Ⅷ PL-73 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 3/4 | 口 高 | 13.0 3.3 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/明赤褐 | 平面形は長円形を呈す。口縁部は横ナデ。体部外面に成形時のナデの面を残す。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第111Ⅷ PL-73 | 2 | 土師器 杯 | 床面上7cm 1/3 | 口 高 | 13.6 3.7 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第111Ⅷ | 3 | 土師器 杯 | 壁際溝底面上10cm 1/3 | 口 | 13.1 3.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は上位に成形時のナデの面を残す。以下底部までは手持ちヘラ削り。 | 器面磨滅。 |
| 第111Ⅷ | 4 | 土師器 杯 | 貯蔵穴内脇床面上2cm 1/3 | 口 | 12.8 | 粗砂粒/良好/明赤褐 | 器面磨滅。 | |
| 第111Ⅷ | 5 | 土師器 杯 | 竈左土胎脇床面上6cm 口縁部～底部片 | 口 高 | 11.8 3.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第111Ⅷ | 6 | 土師器 杯 | 壁際溝底面上13cm 口縁部～底部 1/4 | 口 | 13.2 | 粗砂粒/良好/にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第111Ⅷ | 7 | 土師器 有孔鉢 | 竈内燃焼穴底面上24cm 口縁部～胴部片 | 口 | 22.0 | 粗砂粒/良好/黄褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。下位は斜縦位。内面はヘラナデと考えられる。 | |
| 第111Ⅷ PL-73 | 8 | 須恵器 蓋 | 床面上8cm 口縁部一部欠 | 口 底 | 13.3 2.5 | 4.0 白色鉱物粒・黒色鉱物粒/還元焰/灰白 | ロクロ整形。回転は右回り。天井部外面の積み寄りに回転ヘラ削り。内面平滑。 | 外面に炭壁の一部、自然釉付着。 |
| 第111Ⅷ PL-73 | 9 | 須恵器 平瓶 | 埋没上中 口縁部一部欠 | 底 | 5.8 | 黄・粗砂粒/還元焰/灰 | ロクロ整形。回転は右回り。胴部外面はナデ調整。体部下位に回転ヘラ削り。底部外面は回転ヘラ調整。 | |

10-2区113号壁穴建物出土遺物観察表

| 種別 PL_№ | No | 種 類 種 類 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|----------------|----|-------------|--------------------------|--------|-------------|-------------------------|--|----------------|
| | | | | 口 | 高 | | | |
| 第113Ⅸ PL-73 | 1 | 土師器 杯 | 凹地床面上6cm 2/3 | 口 底 | 13.7 8.5 | 4.6 粗砂粒・細砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。底部も手持ちヘラ削り。内面は口縁部に底部から口唇部に向けて右傾するへら磨き。底部に縦状のへら磨き。 | |
| 第113Ⅸ | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 1/4 | 口 底 | 14.8 8.8 | 4.2 粗砂粒・赤色粘土粒/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削りと考えられる。底部外面もヘラ削り。内面はナデ。 | 器面やや磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 3 | 土師器 杯 | 凹地床面上8cm 口縁部1/2 | 口 | 15.0 | 黄・粗砂粒/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | 器面やや磨滅。 |
| 第113Ⅸ PL-73 | 4 | 土師器 杯 | 凹地床面上直上 2/3 | 口 | 12.6 4.0 | 黄・粗砂大の片岩/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。口縁部には右傾するへら磨きを重ねる。 | 器面磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 5 | 土師器 杯 | 凹地底面上直上 1/3 | 口 | 13.0 | 粗砂粒・細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部・底部外面は手持ちヘラ削りと考えられる。口縁部内面にへら磨き。 | |
| 第113Ⅸ | 6 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部1/4 | 口 | 12.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちヘラ削り。内面は口縁部から体部にへら磨き。 | 器面磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 7 | 土師器 杯 | 凹地床面上10cm 口縁部～体部片 | 口 | 13.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 器形は釜んでいるか。もっと平底みになることも考えられる。口縁部は横ナデ。体部・底部外面は手持ちヘラ削りと考えられる。 | 器面磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 8 | 土師器 杯 | 凹地底面上直上 口縁部～体部片 | 口 | 13.8 | 粗砂粒/良好/明黄褐 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 9 | 土師器 杯 | 凹地床面上直上 1/4 | 口 高 | 13.0 3.2 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部上位に成形時のナデの面を残す。以下底部までは手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第113Ⅸ | 10 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～体部片 | 口 | 14.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面に成形時のナデの面を残す。底部は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第113Ⅸ | 11 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～体部片 | 口 | 14.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面体部には成形時の面を残す。型形状。底部は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | |
| 第113Ⅸ PL-73 | 12 | 土師器 杯 | 凹地底面上13cm 1/2 | 口 高 | 15.2 3.8 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。内面はナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第113Ⅸ PL-73 | 13 | 土師器 杯 | 凹地床面上直上 2/3 | 口 高 | 17.6 5.9 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第113Ⅸ | 14 | 土師器 有孔鉢か | 埋没上中 口縁部～胴部上位片 | 口 | 21.8 | 粗砂粒・赤色粘土粒/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデの上に斜縦位のへら磨き。 | |
| 第113Ⅸ PL-73 | 15 | 須恵器 蓋 | 凹地床面上直上 1/2 | 口 高 | 19.0 4.8 | 4.9 黒色鉱物粒/還元焰/灰 | ロクロ整形。回転は右回り。天井部外面の積み寄りに回転ヘラ削り。 | |
| 第113Ⅸ PL-73 | 16 | 須恵器 蓋 | 凹地床面上5cm 1/2 | 口 高 | 19.6 3.9 | 5.0 黒色鉱物粒少量/還元焰/灰 | ロクロ整形。回転は右回り。輪状の積み付後、周縁部をナデ調整。天井部外面の積み寄りに回転ヘラ削り。 | 内面摩耗。平滑になっている。 |
| 第113Ⅸ | 17 | 土師器 飯か | 凹地床面上3cm 口縁部～胴部上位片1/2 | 口 | 25.6 | 粗砂粒・赤褐色粘土粒/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削りか。内面は横位のヘラナデの上に縦位のへら磨き。 | 外面磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 18 | 土師器 飯か | 埋没上中 口縁部～胴部上位片 | 口 | 29.8 | 粗砂粒/良好/明赤褐 | 小破片のため器口・口径とも変更要が高い。内面は横位のヘラナデか。 | 器面磨滅。 |
| 第113Ⅸ | 19 | 土師器 小型甕 | 床面上10cm 口縁部～胴部片 | 口 | 13.8 | 粗砂粒・細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。 | |

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|---------------------|--------|--------------------|------------------|----------------------------------|
| 第113号 | 20 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 | 口 17.6 | | 赤色土粘/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はへら削り。内面は横位のナデ。 |
| 第113号 | 21 | 土師器 甕 | 門地床面上7cm 口縁部～胴部上 | 口 25.0 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。内面は横位の横ナデ。 |
| 第113号 | 22 | 須恵器 甕 | 床面上7cm 胴部片 | | | 白色底物粒/還元 焼/明赤 | 結びくり成形。外面は斜方向の叩き目痕。内面は青海波状の当て貝痕。 |

10-2区115号壁穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|-------------|----|------------|-----------------|-----------------|--------------------|---------------------|--|
| 第115号 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部片 | 口 13.0 底 9.4 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちへら削り。器面磨滅。 |
| 第115号 | 2 | 須恵器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部片 | 口 11.4 | | 夾雑物少ない/還 元焼/灰 | ロクロ整形。回転は右回りか。 |
| 第115号 | 3 | 須恵器 杯 | 埋没上中 口縁部片 | 口 13.0 | | 粗砂粒・細砂粒/ 酸化塩基み/灰 | ロクロ整形。回転は不明。器面磨滅。 |
| 第115号 | 4 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 | 口 26.0 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口径は小さくなる可能性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 |

10-2区117号壁穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|----|------------|-----------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|---|
| 第116号 | 1 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部～底部片 | 口 14.0 底 9.0 | | 粗砂粒/良好/明赤 褐 | 口縁部は横ナデ。底部外面は横位に手持ちへら削り。内面は右廻すへら磨き。底部外面は手持ちへら削り。 |
| 第116号 PL.73 | 2 | 土師器 杯 | 甕裂口部手前床 面上4cm 口縁部～部欠 | 口 12.8 高 3.8 | | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。底部外面上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 |
| 第116号 | 3 | 土師器 杯 | 埋没上中 口縁部片 | 口 17.6 | | 細砂粒/良好/にぶ い焼 | 口縁部は横ナデ。底部外面はへら削りか。器面磨滅。 |
| 第116号 PL.73 | 4 | 土師器 甕 | 甕裂口部手前床 面上3cm 口縁部～胴部片 | 口 22.0 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位が横位・以下斜位・斜横位・斜位のへら削り。内面はへらナデ。内面磨滅。 |

11区25号壁穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|----|------------|---------------------------|--------|--------------------|---------------------|-----------------------------------|
| 第120号 PL.74 | 1 | 土師器 甕 | 床面上4cm 口縁部～胴部上 位1/3 | 口 24.0 | | 粗砂粒・赤色土粘 粒/良好/明赤 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 |

11区36号壁穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形・整 形 の 特 徴 | 備 考 |
|----------------|----|------------|-------------------------|-----------------|--------------------|----------------------|--|
| 第124号 PL.74 | 1 | 土師器 杯 | 甕右側床面直上 完形 | 口 11.1 高 4.1 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/にぶい焼 | 口縁部は横ナデ。底部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 |
| 第124号 | 2 | 土師器 杯 | 甕右側床面直上 1/4 | 口 13.4 高 4.6 | | 粗砂粒/良好/明赤 | 口縁部は横ナデ。底部から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 |
| 第124号 PL.74 | 3 | 土師器 杯 | 甕右側床面直上 3/4 | 口 14.9 高 4.8 | | 礫・粗砂粒/良好/ 明赤焼 | 口縁部は横ナデ。底部外面は最上位に成形時のナデの面を残し、以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 |
| 第124号 PL.74 | 4 | 須恵器 杯 | 埋没上中 1/3 | 口 9.0 高 3.1 | | 粗砂粒/還元焼/ 灰白 | ロクロ整形。回転は右回り。 |
| 第124号 | 5 | 須恵器 鉢 | 床面上1.9cm 底部1/2 | 底 5.6 | | 白色底物粒少量/ 還元焼/灰 | ロクロ整形。回転は右回りか。底部外面は最下位に回転へら削り調整。底部外面はナデ調整。やや磨滅。 |
| 第124号 PL.74 | 6 | 須恵器 長頸壺 | 床面上3cm 胴部一部欠損 | 口 5.6 | | 細砂粒/還元焼・ 軟質/灰白 | ロクロ整形。回転は右回り。胴部下部は結びくりか。外面にはへら削りの下に叩き目を残す。口縁部、頸部と胴部を別々に作り接合している。口縁部には4条の沈線がめぐる。胴部へは小さな沈線を生じて移行する。胴部上半部にも4条の沈線がめぐる。中位にはカキ目。 |
| 第124号 PL.74 | 7 | 須恵器 甕 | 埋没上中 胴部片 | | | 細砂粒/還元焼/ 灰黄 | 大甕の底部に接合。あるいは窯の床面に磨滅された甕2個体の胴部破片と破片が固着している。最上位とその下位の破片は内面に当て貝痕を残す。 |
| 第124号 PL.74 | 8 | 土師器 小型甕 | 甕右側床面直上 2/3 | 口 15.6 底 6.4 | 高 16.6 | 粗砂粒/良好/にぶ い赤焼 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削りか。底部奇りのみ観察できる。内面はへらナデ。底部外面はへら削り。 |
| 第124号 | 9 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部片 | 口 20.0 | | 礫・粗砂粒/良好/ 明赤焼 | 口縁部は横ナデか。胴部内面は横位のへらナデ。 |
| 第124号 | 10 | 土師器 甕 | 埋没上中 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 21.6 | | 礫・粗砂大の片岩 /良好/明赤焼 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 |
| 第124号 PL.74 | 11 | 土師器 甕 | 甕右側床面直上 口縁部～胴部上 位 | 口 21.1 | | 粗砂粒/良好/橙 | 内外面とも磨滅。 |
| 第124号 PL.74 | 12 | 土師器 甕 | 甕右側床面直上 口縁部～胴部中 位 | 口 22.8 | | 礫・粗砂粒/良好/ 赤焼 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 |

遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | |
|----------------|----|------------|----------------------------|--------|--------------|-----------------------|--|--|---|------|
| 第124回 PL.74 | 13 | 土師器 甕 | 甕右側床面直上 口縁部～胴部上 位1/2 | 口 径 | 21.5 | 粗砂粒・細砂粒多 量/良好/にぶい橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位に数回に分けてへら削り。 内面は横位のへらナデ。 | | | |
| 第124回 PL.74 | 14 | 石製品 砥石 | 床面直上 4/5 | 長 幅 | 13.3 9.8 | 7.0 109.2 | 粗粒輝石安山岩 | 正面及び左側面に非常な滑らかな部分認められ砥石と判 断した。正面の砥面はほぼ平坦であり、断面V字状の線索 痕が集中する。左側面の砥面は中央付近がわずかに膨ら んだ形態である。全体的に外面は自然面と判断され垂内礫を 利用する。 | | |
| 第124回 PL.74 | 15 | 石製品 紡輪 | 床面直上 完形 | 長 幅 | 4.7 4.3 | 厚 重 | 1.4 37.3 | 蛇紋岩 | 表裏面ともよく磨きされ、平滑面が形成されている。体部 側面は面取り整形され、粗い線索痕が残る。孔径約9mm。 | 逆台形状 |
| 第124回 PL.74 | 16 | 礫石器 磨石 | 床面上5cm 完形 | 長 幅 | 7.3 5.9 | 厚 重 | 5.2 320.2 | 粗粒輝石安山岩 | 全面が滑らかな面でも構成されており磨面と考えられる。 表面の中央付近に特に滑らかな部分認められる。 | |
| 第124回 PL.74 | 17 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 | 15.5 5.8 | 厚 重 | 3.0 433.9 | 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され垂内礫を利用している。 | |
| 第124回 PL.74 | 18 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 | 15.0 5.7 | 厚 重 | 2.6 413.6 | 黒色片岩 | 全面が自然面と判断され内礫を利用している。 | |
| 第124回 PL.74 | 19 | 礫石器 棒状礫 | 床面上1.8cm 完形 | 長 幅 | 17.4 5.0 | 厚 重 | 3.2 498.8 | 変玄武岩 | 全面が自然面であり内礫を利用する。 | |
| 第124回 PL.74 | 20 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 不明 | 長 幅 | 20.7 6.1 | 厚 重 | 5.2 1127.6 | 雲母石英片岩 | 全面が自然面と判断され内礫を利用している。 | |
| 第124回 PL.74 | 21 | 礫石器 棒状礫 | 床面直上3cm ほぼ完形 | 長 幅 | 13.4 6.1 | 厚 重 | 3.0 431.4 | 雲母石英片岩 | 表面の右半分は比較的滑らかな部分認められるが人為的 な痕跡であるか判断できない。 | |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 不明 | 長 幅 | (8.7) 2.9 | 厚 重 | 2.0 76.2 | 緑色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 埋没上中 完形 | 長 幅 | 12.7 7.3 | 厚 重 | 1.8 230.1 | 変質安山岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面下1.9cm 完形 | 長 幅 | 10.3 5.3 | 厚 重 | 3.3 231.2 | 緑色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面上2.2cm 完形 | 長 幅 | 13.5 5.2 | 厚 重 | 3.3 384.2 | 黒色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面直上 完形 | 長 幅 | 14.0 4.8 | 厚 重 | 4.9 454.3 | 砂岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 床面下2.4cm 完形 | 長 幅 | 14.0 6.3 | 厚 重 | 3.3 409.0 | 雲母石英片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 周溝底面上3.5 cm 完形 | 長 幅 | 14.7 4.9 | 厚 重 | 2.9 321.8 | 黒色片岩 | | 計測のみ |
| | | 礫石器 棒状礫 | 埋没上中 完形 | 長 幅 | 12.2 5.8 | 厚 重 | 2.6 171.3 | 石英 | | 計測のみ |

11区37号竪穴建物出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | |
|----------------|----|------------|----------------------------------|--------|--------------|-----------------------------|---|--|-------|
| 第126回 PL.75 | 1 | 土師器 杯 | 竈壁際床面上8 cm 3/4 | 口 径 | 10.6 3.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。 内面はナデの上に底部から口縁部に向けて放射状にへら 磨き。 | 器面磨減。 | |
| 第126回 PL.75 | 2 | 土師器 杯 | 埋没上中 2/3 | 口 径 | 10.7 3.5 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨減。 | |
| 第126回 PL.75 | 3 | 土師器 杯 | 床面上2～4cm 完形 | 口 径 | 12.0 4.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨減。 | | |
| 第126回 PL.75 | 4 | 土師器 杯 | 床面上7cm 口縁部一部欠 | 口 径 | 10.5 3.6 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨減。 | |
| 第126回 PL.75 | 5 | 土師器 杯 | 床面上2～4cm 口縁部一部欠 | 口 径 | 10.8 3.4 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 器形は歪んでいる。口縁部は横ナデ。体部上位に成形時 のナデの面を残す。型肌状。以下底部までは手持ちへら削り。 | | |
| 第126回 PL.75 | 6 | 土師器 鉢 | 埋没上中 口縁部一体部片 | 口 径 | 11.6 | 細砂粒/良好/にぶ い橙 | 器面磨減。口縁部は横ナデ。体部外面はへら削りと考え られる。内面はナデ。 | | |
| 第126回 PL.75 | 7 | 土師器 有孔鉢 | 甕右側床面上3 cm 3/4 | 口 径 | 16.8 13.0 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/橙 | 体部外面はへら削りと考えられる。内面はへらナデ。尖 ぎみの底部には直径2.7×2.0cmの焼成前穿孔が見られる。 | 器面磨減。 | |
| 第126回 PL.75 | 8 | 須恵器 蓋 | 床面上2～4cm 口縁部一部欠 | 口 径 | 11.8 3.4 | 灰緑物ほとんど無 し/還元焰や軟 質/灰白 | 口口整形。回転は左回り。天井部切り離し後、手持ちへ ら削り。 | 天井部内面は 平滑。身として 使用した か。 | |
| 第126回 PL.75 | 9 | 土師器 小型甕 | 甕右側床面上3 cm 口縁部一部欠 | 口 径 | 12.4 11.2 | 高 12.1 | 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上半部が縦位、下半部が横位 のへら削り。内面はへらナデ。底部は平底ぎみの凸状を呈 す。手持ちへら削り。 | 器面磨減。 |
| 第126回 PL.75 | 10 | 土師器 小型甕 | 床面直上 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 径 | 15.2 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位 のナデか。 | 内面磨減。 | |
| 第126回 PL.75 | 11 | 土師器 甕 | 甕左脇床面上7 cm 口縁部～胴部中 位1/3 | 口 径 | 24.0 | 礫・粗砂の片岩多 量/良好/明赤褐 | 器形は歪んでいるが。径は小さくなる可能性あり。口縁部 は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面はへらナデか。 | 内面磨減。 | |

11区1号竪穴状遺構出土土物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|---------------|------------------|--------|--------------------|------------------------------|-------|
| 第12700 | 1 | 土師器 杯 | 底面上5cm 口縁部破片 | 口 13.8 | | 粗砂粒/良好/橙 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |
| 第12700 | 2 | 土師器 甕 | 底面上10cm 口縁部破片 | 口 22.0 | | 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙 口縁部は横ナデ。 | 器面磨滅。 |

6区4号井戸出土土物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-----------------|----|-------------------|---------------|----------------------|--------------------|-----------------|---|-----------------|
| 第13100 PL.75 | 1 | 製作地不詳 磁器 不明 | 埋没上中 体部下破片 | 口 底 (8.0) | 高 一 | 一次雑物微量/-/灰 白 | 外面の体部下位に刷れた蓮弁文。底部に1か所小孔あり。 | 近・現代 |
| 第13100 PL.75 | 2 | 在地系土器 内耳始格か | 埋没上中 口縁部破片 | 口 底 一 | 高 一 | 一次雑物少量/-/黒 濁 | 口唇端部は平面をなす。器面はココナデ。外面炭素吸着。 | 時期不詳。 江ノ時代か。 |
| 第13100 PL.75 | 3 | 石製品 石臼(下臼) | 埋没上中 1/2 | 長 幅 (18.1) (31.5) | 厚 重 7.3 400.9 | 粗粒輝石安山岩 | 正面のすり合わせ面は非常に滑らかであり幾日の痕跡は認められない。全体的に薄形であり作業により減りした可能性が高い。 | |
| 第13100 PL.75 | 4 | 石製品 石製品 | 埋没上中 不明 | 長 幅 40.8 (57.4) | 厚 重 16.5 6980.0 | 牛状砂岩 | 表面に大形漏斗状の凹みが多数認められる。上下内側面及び裏面は自然面と判断され非角礫を利用する。表面は自然面か加工面か判断できない。 | |

10区7号井戸出土土物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-----------------|----|----------------------|-----------------------------|------------|--------------------|----------------------------|---|-----|
| 第13200 | 1 | 須恵器 壺 | 埋没上中 胴部片 | | | 黒色鉱物粒・粗砂 粒/還元焼/軟質 淡黄 | 小破片のため径が小さくなる可能性あり。口口整形。外面はナデ調整。肩部屈曲部の上位に沈線が一周する。 | |
| 第13200 PL.75 | 2 | 在地系土器 すり鉢 | 埋没上中 口縁部破片 | 口 底 (26.4) | 高 一 | 海面部斜含む粗砂 粒/-/灰黄濁 | 口唇端部は外縁部が丸味をおびる。器面はココナデ。ナデ。内面は上位まで使用により磨滅。 | 中世。 |
| 第13200 PL.75 | 3 | 在地系土器 すり鉢 | 底面上37.5cm 口縁部～体部下 位破片 | 口 底 (29.0) | 高 一 | 片岩含む粗砂粒/ -/灰黄 | 口唇端部はやや丸味のある平面をなす。外面の口縁部にココナデ。体部には成形時の面を残す。ひび割れ。内面はナデ。使用していることがあまり感じられない。 | 中世。 |
| 第13200 PL.75 | 4 | 常滑陶器 埋没上中 体部破片 | 口 底 一 | 高 一 | 粗砂粒少量/-/に ぶい黄橙 | 細作り成形。内外面にナデ調整。外面に刷線。 | 中世。 | |
| 第13200 PL.75 | 5 | 在地系土器 内耳鍋 | 埋没上中 体部破片 | 口 底 一 | 高 一 | 粗砂粒・細砂粒/ -/にぶい濁 | 外面はナデ。炭素吸着。 | 中世。 |
| 第13200 PL.75 | 6 | 在地系土器 内耳鍋 | 埋没上中 体部破片 | 口 底 一 | 高 一 | 粗砂粒・細砂粒/ -/にぶい赤濁 | 外面の下位にはへら削り。他はナデ。 | 中世。 |

10-2区10号井戸出土土物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-----------------|----|---------------|----------------------|-------|--------------------|----------------------|---|-------------------|
| 第13300 | 1 | 須恵器 壺 | 埋没上中 胴部片 | | | 粗砂大の白色鉱物 粒/還元焼/灰白 | 結びくり成形。外面は平行引き目文の上にナデ。内面は当て貝殻の上にナデ。 | |
| 第13300 PL.75 | 2 | 龍泉京青磁 碗 | 埋没上中 口縁部～体部破 片 | 口 底 一 | 高 一 | 一次雑物無し/-/灰 黄 | 口唇部は内側がそがれ、鋭い稜をなす。内面に片形形で草花文ないし雲文状の文様を配する。外面にも施文。 | 12世紀後半～ 13世紀中頃 |

6区17号溝出土土物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 器 類 種 | 出上位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|-----------------|----|---------------|----------------------------------|------------------|--------------------|----------------------------------|---|---------------------------|
| 第13500 PL.75 | 1 | 土師器 杯 | 底面上20～30 cm 底部欠程2/3 | 口 13.8 | | 粗砂粒/良好/にぶ い橙 | 口唇端部は外側がそがれ尖る。口縁部は横ナデ。体部(底部)から底部外面は手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第13500 PL.75 | 2 | 土師器 杯 | 底面上20～30 cm 口縁部1/3欠 | 口 高 13.7 5.1 | | 粗砂粒・黒色鉱物 粒・赤色粘土粒/ 良好/にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへら削り。 | 器面磨滅。 |
| 第13500 PL.75 | 3 | 土師器 高杯 | 底面上20～30 cm 2/3 | 口 脚 15.9 16.7 | 高 19.6 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/浅黄橙 | 唇部口縁部は横ナデ。受け部外面はへら削り。脚部外面は履位のへら削り。内面は履位のへら削り。器部は横ナデ。 | 器面やや磨滅。 |
| 第13500 | 4 | 土師器 高杯 | 底面上20～30 cm 杯部片 | 口 20.0 | | 細砂粒/良好/黄橙 | 上半部は斜め上方に向けて大きく反する。 | 器面磨滅。 |
| 第13500 | 5 | 土師器 高杯 | 底面上20～30 cm 杯部下位～脚部 1/3 | | | 細砂粒/良好/橙 | 杯部外面はへら削り。脚部外面は履位のへら削り。内面の上位は指ナデ。以下はへら削りか。 | 内面に炭素吸着。 黒色味。 器面磨滅。 |
| 第13500 | 6 | 土師器 高杯か | 底面上20～30 cm 脚部下位片 | 台 16.0 | | 細砂粒/良好/橙 | 器部と考えられる。内外面とも横ナデ。 | |
| 第13500 | 7 | 土師器 甕 | 底面上20～30 cm 1/3 | 口 底 18.2 6.6 | 高 17.7 | 薄大の片岩/良好 /にぶい濁 | 器形は大きく歪む。胴部は丸みを有する。口縁部は横ナデ。胴部外面は履位の、下位は斜位のへら削り。内面は履位のへら削り。焼成後、平底の底部に復元径5.8cmの孔を穿っている。 | |
| 第13500 PL.75 | 8 | 土師器 甕 | 底面上20～30 cm 口縁部～底部 1/2 | 口 底 22.2 10.0 | 高 26.0 | 細砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は履位のへら削り。内面はへら削りが観察できるが、この上にへら磨きが施されたか。底部の孔開口部はへら削り。 | 器面やや磨滅。 実測器は復元 復元。 |

遺物観察表

| 挿図 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | | |
|----------------|----|------------|-----------------------------------|-----|--------------|--------------------|------------------|---|--|-------------|
| 第135図 | 9 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位1/4 | 口 | 23.2 | | 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は横 位のヘラナデの上に、磨きを意識した縦位のヘラ削り。 | | |
| 第135図 PL.76 | 10 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位2/3 | 口 | 23.1 11.2 | 高 | 31.1 | 粗砂粒・細砂粒・ 赤色粘土粒/良好/ にぶい黄橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデの上に縦位の強いタッチのヘラ削りを重ねる。 | 器面磨滅。 |
| 第135図 PL.76 | 11 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位1/2 | 口 | 25.6 10.8 | 高 | 30.1 | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。最下位は斜 横位のヘラ削り。内面は縦位のヘラナデの上にヘラ磨きを 重ねている。底部近くは横位のヘラ削り。 | 器面磨滅。 |
| 第135図 | 12 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 26.0 | | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部の器面は磨滅。外面は縦位のヘラ削 り。内面は縦位・横位のヘラナデか。 | |
| 第135図 | 13 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位2/3 | 口 | 25.6 | | | 赤色粘土粒・粗砂 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削りか。 | |
| 第135図 PL.76 | 14 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位3/4 | 口 | 26.5 11.9 | 高 | 31.4 | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙 | 胴部最下位のほぼ斜向する位置に一寸の小孔を焼成前に穿 つ。孔の直径は0.8cm。口縁部は横ナデ。胴部外面は上位 が縦位の、中位が斜横位の、下位が幅広く横位の横ナデ。 内面は横位のヘラナデの上に縦位のヘラ磨きを重ねる。最 下位はヘラ削り。 | 器面やや磨 滅。 |
| 第135図 | 15 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 胴部下位～底部 1/2 | 底 | 12.0 | | | 赤色粘土粒・粗砂 粒/良好/橙 | 胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は斜縦位の磨き。最下 端に横位のヘラ削り。端部にもヘラ削り。 | |
| 第135図 PL.76 | 16 | 土師器 小型甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部下 位 | 口 | 14.3 | | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位が斜横位。以下は斜位の ヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。 | |
| 第135図 PL.76 | 17 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部下 位3/4 | 口 | 17.2 6.7 | 高 | 20.5 | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位。下位底部寄りには横位 のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面もヘラ削り。 | |
| 第136図 | 18 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部下 位1/3 | 口 | 18.8 | | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/明赤褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。底部近くは 斜位のヘラ削り。内面は中位が斜位・上位が横位のヘラナ デ。 | |
| 第136図 PL.76 | 19 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 底部欠 | 口 | 21.0 | | | 礫大の片岩多量/ 良好/橙 | 横断面は長円形を呈する。口縁部は横ナデ。胴部外面は横 位のヘラ削り。底部寄りは短い単位のヘラ削り。内面は横 位のヘラナデ。 | |
| 第136図 PL.76 | 20 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部下 位1/4 | 口 | 21.4 | | | 礫・粗砂大の片岩 多量/良好/にぶい 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位が縦位の、下位 が斜位のヘラ削り。内面は横位・斜横位のヘラナデ。 | |
| 第136図 | 21 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部 中位1/2 | 口 | 20.6 | | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面はヘラ ナデか。 | 内面磨滅。 |
| 第136図 | 22 | 土師器 甗か | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位1/2 | 口 | 21.6 | | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい黄 褐 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は数回に分けて縦位のヘラ削り。 内面は横位・斜位のヘラナデ。 | |
| 第136図 | 23 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 胴部上位～底部 | 底 | 5.8 | | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/にぶい褐 | 器形は大きく歪んでいると考えられる。胴部上位から中位 と胴部下位の2部位から図上復元。胴部外面は縦位の、底 部寄りは斜位のヘラ削り。内面は縦位・斜位のヘラナデ。 底部外面に木葉痕。 | |
| 第136図 | 24 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 胴部下位～底部 | 底 | 7.2 | | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄橙 | 胴部外面は縦位に丁寧なヘラ削り。内面は丁寧なヘラナデ。 底部外面はヘラ削り。 | |
| 第136図 | 25 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 胴部下位～底部 | 底 | 5.0 | | | 礫・粗砂粒/良好/ にぶい赤褐 | 胴部外面は斜位・横位のヘラ削り。内面はヘラナデ。底部 外面に木葉痕。 | |
| 第136図 | 26 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 17.8 | | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位のヘラ削り。内面は横 位のヘラナデ。 | 内面磨滅。 |
| 第136図 | 27 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 胴部～胴部上位 | | | | | 礫大の片岩・粗砂 粒/良好/明赤褐 | 形状は頭がしまり、胴が歪る可能性あり。外面はヘラ削り。 内面はヘラナデと考えられる。 | 器面磨滅。 |
| 第136図 PL.76 | 28 | 土師器 甗 | 底面上20～30 cm 1/2 | 口 | 22.2 9.0 | 高 | 38.3 | 礫大の片岩・粗砂 粒・赤色粘土粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面の底部寄りにはヘラナデの上に一 部ヘラ磨き。他の器面は磨滅。 | |

6区21号溝出土遺物観察表

| 検出 PL. No | No | 種 器 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|----|-------------|----------------|--------|-------------|--------|--------------------|-----------------------------|---|---|
| 第137図 PL.77 | 1 | 土製品 不明 | 底面直上 破片 | 長 幅 | 7.5 6.0 | 厚 重 | 5.3 191.8 | 胎土はやや粗く、 スサが一部に見ら れる。 | 1/2残存。内端が残存する短い土製品。端部より1cmでわずかにラッパ状に広がる。基部に比熱が見られる。整形は見られない。形状はやや丸みを帯びる。 | 外形直径10cm 内孔直径 1.6cm |
| 第137図 PL.77 | 2 | 土製品 不明 | 底面上2.5cm 破片 | 長 幅 | 5.5 4.2 | 厚 重 | 2.8 32.5 | 胎土はやや粗く、 やや軟質。 | 短い筒状の土製品破片。一方の端部が残存か。若干の通風孔の内面が残存する。 | 外形直径8.4cm 内孔直径 3.6cm 挿入 角度計測不能 |
| 第137図 PL.77 | 3 | 土製品 羽口 | 底面直上 破片 | 長 幅 | 11.5 6.2 | 厚 重 | 4.5 216.2 | | 基部から体部にかけて残存する。長軸断面より芯棒に胎土を斜めに巻き付けている様子が観察できる。表面、内部の整形は観察できない。一部比熱を受けている。 | 外形直径8.4cm 内孔直径 3.6cm 挿入 角度計測不能 |
| 第137図 PL.77 | 4 | 石製品 地蔵像 | 底面直上 ほぼ完形 | 長 幅 | 14.2 9.6 | 厚 重 | 3.3 500.0 | 牛伏砂岩 | 表面には地蔵の衣が線刻により表現される。側面から表面にかけては線刻は認められず自然面であるか加工面であるか判断できない。 | |

7-2区1号廃棄土坑出土遺物観察表

| 検出 PL. No | No | 種 器 種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|----|-------------|-------------------|--------|----------------|--------|--------------------|---|---|--|
| 第140図 PL.77 | 1 | 瓦 丸瓦 | 埋没土中 小片 | | | | | 粗砂大の石英/酸 化塩、焼成後、還元 焼成し/灰黄 | 外面は右回転クロコ糸痕。内面は横位の粘土縞痕、布目痕。側端面は面取り2回。 | 2と同一個体 と考えら れる。 |
| 第140図 PL.77 | 2 | 瓦 丸瓦 | 埋没土中 小片 | | | | | 粗砂大の石英・黒 色鉱物粒/酸化塩、 焼成後、還元焼成 し/灰黄 | 外面は右回転クロコ糸痕。内面は横位の粘土縞痕、布目痕。 | |
| 第141図 PL.77 | 3 | 土製品 羽口 | 底面上15.8cm 破片 | 長 幅 | 8.8 7.2 | 厚 重 | 4.8 181.1 | 大きめの礫、スサ が含まれる。胎土 はやや細かく、焼 成はやや強い。 | 先端付近から基部まで残存する短い羽口。表面は粗く、整形が判断できない。通風孔は基部に向かって広がり、先端部はやや円化。 | 外形直径 7.5cm 内孔直径 3.1cm 挿入 角度約5度 |
| 第141図 PL.77 | 4 | 土製品 羽口 | 底面上19.2cm 一部欠損 | 長 幅 | (8.5) 6.9 | 厚 重 | 7.1 344.2 | 胎土は細かく、礫、 スサを含む。焼成 はやや柔かい。 | 羽口先端部。細かな線が表面に入っているが、整形跡とは判別しがたい。 | 外形直径 6.8cm 内孔直径 2.0cm 挿入 角度約20度 |
| 第141図 PL.77 | 5 | 土製品 羽口 | 底面上20.5cm 一部欠損 | 長 幅 | (8.7) 6.8 | 厚 重 | 7.1 276.8 | 胎土は細かくスサ が見られ、わず かに小礫が混じ る。焼成はやや柔 らかく、粉っぽい。 | 先端部が残る羽口。基部は欠損している。先端部は滑出し、丸みを帯びる。 | 外形直径 6.4cm 内孔直径 2.1cm 挿入 角度約10度 |
| 第141図 PL.77 | 6 | 土製品 羽口 | 底面上20cm 一部欠損 | 長 幅 | (12.6) 7.2 | 厚 重 | 7.0 493.5 | 胎土は非常に細かく い。胎土中にわず かにスサが見ら れ、焼成はやや柔 らかく、粉っぽい。 | 基部が欠損している羽口。一部にナデの整形がおこなわれている可能性があるが、明確とは言いえない。 | 外形直径 7.0cm 内孔直径 2.1cm 挿入 角度約30度 |
| 第141図 PL.77 | 7 | 土製品 羽口 | 底面上20.6cm 一部欠損 | 長 幅 | 9.4 7.1 | 厚 重 | 7.2 258.3 | 胎土は細かく、ス サを含む焼成は やや柔らかく粉っ ぱい。 | 先端部、基部がやや残存する短い羽口。先端部には光沢を持つ珪が付着する。基部端から3cmほどのところでラッパ状に広がる。整形は判別しませんが、線刻状の痕跡が見られるか。 | 外形直径 7.2cm 内孔直径 2.8cm 挿入 角度約27度 |
| 第141図 PL.77 | 8 | 土製品 羽口 | 底面上19.7cm 破片 | 長 幅 | 10.0 7.3 | 厚 重 | 3.9 176.8 | 胎土は細かく、ス サを含む。焼成は やや甘く、粉っ ぱい。 | 基部と先端部の一部が残存する短い羽口。破断面にも珪質が付着している。基部端より2cmの所から基部に向かってラッパ状に広がる。 | 外形直径 7.3cm (基部) 7.0cm 内孔直径 (基部) 3.5cm (体部) 2.4cm 挿入角度約4 度 |
| 第141図 PL.77 | 9 | 土製品 羽口 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | 6.0 (4.1) | 厚 重 | 3.8 56.9 | 胎土は細かく、若 干のスサが含ま れる。焼成はやや 柔らかく、粉っ ぱい。 | 基部から先端部まで残存する非常に短い羽口。先端部に珪質が付着する。 | 外形直径 7.0cm 内孔直径 3.0cm 挿入 角度約9度 |
| 第141図 PL.77 | 10 | 土製品 羽口 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | (5.0) 8.2 | 厚 重 | 5.4 141.9 | 胎土は細かく、ス サが含まれる。焼 成は柔かい。 | 先端部が残存する羽口。通風孔内面の整形は見られない。珪が先端部に付着する。 | 外形直径 7.8cm 内孔直径 2.2cm 挿入 角度計測不能 |
| 第141図 PL.77 | 11 | 土製品 羽口 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | (3.8) 7.5 | 厚 重 | 4.6 95.2 | 胎土に礫が多く含 まれている。焼成 はスサが見えな い。焼成はやや 甘く、し まが均等。 | 羽口先端部破片。整形等は不明。礫が表面に付着している。酸化土跡が見られる。 | 外形直径 7.6cm 内孔直径 2.2cm 挿入 角度計測不能 |
| 第141図 PL.77 | 12 | 土製品 羽口 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | (8.8) (4.5) | 厚 重 | 5.1 123.8 | 胎土は細かく、ス サを含む。焼成は やや甘く、粉っ ぱい。 | 先端部が残存する通風孔が短い羽口。通風孔は先端部から基部に向けて広がる。先端部に珪質が付着している。 | 外形直径 7.2-5.1cm (変形部) 内孔直径 2.2cm 挿入 角度約23度 |

遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 |
|-----------------|----|-------------|---------------|------------------------|--------------------|---|-----|
| 第1418号 PL.77 | 13 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 一部欠損 | 長 幅 (6.3) 8.9 | 厚 210.5 4.7 | 平面不整形円形。厚さ3.5cmとやや厚い。浮質は密。下面に一部凹床土が付着し、細かな木炭痕が見られる。上面にも細かな木炭痕が見られ、光沢のある洋が一部に付着し、磁着を持つ。 | |
| 第1418号 PL.77 | 14 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 完形 | 長 幅 8.5 6.6 | 厚 2.1 101.3 | 平面不整形円形。浮質は密。厚さ2.1cmと薄手。上面に厚さ0.5cm、長さ2cmの大きな木炭痕がある。下面中央に酸化土砂が見られる。下面に見られる木炭痕は細かなものが多い。 | |
| 第1418号 PL.77 | 15 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 一部欠損 | 長 幅 (5.1) 9.2 | 厚 3.3 150.6 | 平面不正円形。浮質は上面は密だが、下面に向かい粗になる。上面は酸化土砂が付着する。下面は木炭痕が多く見られ、酸化土砂および白色の砂をかんでいいる。 | |
| 第1418号 PL.77 | 16 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 完形 | 長 幅 9.6 7.4 | 厚 3.9 237.3 | 厚さ3.4cmとやや薄手。浮質はやや密。酸化しており、内部に劣化が見られる。上面は比較的平坦で若干の製造割片、木炭痕を含む。下面に近くなるほど気泡が多くなる。また、木炭痕も上面より多い。 | |
| 第1418号 PL.77 | 17 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 完形 | 長 幅 6.9 4.1 | 厚 3.1 60.2 | 厚さは1.7cmと薄い。浮質やや密。上面は木炭痕が観察され、細かな筋の塊や窪みが付着している。下面はやや気泡が多い。下面にも木炭痕が見える。 | |
| 第1418号 PL.77 | 18 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 一部欠損 | 長 幅 (3.3) 2.6 | 厚 2.6 29.3 | 厚さ1.5cmとやや薄手。浮質は密。上面は酸化土砂に覆われる。下面は製造割片を含有する酸化土砂が見られる。 | |
| 第1418号 PL.77 | 19 | 鉄滓 椀形磁治滓 | 埋没土中 完形 | 長 幅 3.7 3.1 | 厚 2.2 25.4 | 厚さは1.4cmと薄手。浮質は密。上面に木炭痕が残り、酸化土砂が付着する。下面は木炭痕が残り、下面上部は酸化土砂が付着する。 | |
| 第1418号 PL.77 | 20 | 鉄滓 両結合滓 | 埋没土中 完形 | 長 幅 10.1 8.1 | 厚 4.9 340.9 | 上面に洋片、製造割片、木炭痕、酸化土砂を含む。下面は酸化土砂、製造割片が見られる。 | |

6区143号土坑出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | |
|-----------------|----|---------------|---------------|-----------------------|--------------------|----------|-----|---|--------|
| 第1488号 PL.78 | 1 | 肥前陶器 口縁部破片 | 埋没土中 口縁部破片 | 口 底 — | (30.2) 4.1 | 高 — | — | 口唇縁部は外側に肥厚する。口縁部直下に切り込みを入れ、外面に舌状の粘土を貼り口片としている。透明釉。 | 江戸時代。 |
| 第1488号 PL.78 | 2 | 在地系土器 内口蓋 | 埋没土中 口縁部破片 | 口 底 — | — | 高 — | — | 口唇縁部は平坦面を体部から弱く屈曲した口縁部は外形弱く立ち上がる。口縁部はヨコナデ。体部外面はナデ。 | 江戸時代か。 |
| 第1488号 PL.78 | 3 | 礫石 凹石 | 埋没土中 ほぼ完形 | 長 幅 12.0 8.6 | 厚 4.9 550.7 | — | — | 表面の中央に扁平状の凹みが見られる。凹みの内部は径5mm程度のはぼ円形の痕跡が累積した状態である。外面は自然面であるか加工面であるか判断できない。 | |

6-2区148号土坑出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | |
|-----------------|----|--------------|---------------|----------------------------|--------------------|----------|-----|--------------------|--|------------|
| 第1488号 PL.78 | 4 | 在地系土器 火鉢か | 埋没土中 口縁部破片 | 口 底 — | (17.2) — | 高 — | — | 黒色・白色鉱物粉少量/—/にふい黄褐 | 外面、口唇部直下に沈積がめく。外面、縦位に目状目文。様この上を横方向のナデを重ねる。 | 江戸時代～明治時代。 |
| 第1488号 PL.78 | 5 | 在地系土器 燂焙 | 埋没土中 燂焙 | 口 底 (40.6) (38.6) | 高 5.3 | — | — | 黒色・白色鉱物粉少量/—/灰黄褐 | 口唇縁部は両縁がやや丸味をおびた平坦面をなす。内口は横断面が扁平で、下縁は底面に接している。底部は平坦。口縁部はヨコナデ。下面にへら削りの部分あり。外面に炭素吸着。 | 江戸時代。 |

6区76号土坑出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | |
|-----------------|----|-------------------|---------------|---------------------------|--------------------|----------|-----|------------|--|------------|
| 第1488号 PL.78 | 6 | 製作地不詳 磁器 小杯 | 埋没土中 1/2 | 口 底 (4.8) (3.0) | 高 4.6 | — | — | 灰雑物微量/—/灰黄 | 無文。透明釉。貫入入る。 | 製作時期不詳。 |
| 第1488号 PL.78 | 7 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/2 | 口 底 (9.8) (4.0) | 高 5.5 | — | — | 灰雑物微量/—/灰白 | 焼成不良。体部外面に草文状の染付文。高台外面に2重の襷縁。内面は口唇部に格子目文。見込みに1重の襷縁。底部中央に不明文。 | 19世紀前半～中頃。 |
| 第1488号 PL.78 | 8 | 瀬戸・美濃 陶器 皿 | 埋没土中 1/2 | 口 底 (13.6) (7.0) | 高 3.8 | — | — | 灰雑物少量/—/灰黄 | 口縁部内面に染付文。内面は底部中央に梅花文か。 | 19世紀。 |

6-2区145号土坑出土遺物観察表

| 検体 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | |
|-----------------|----|--------------------|------------------------|--------------------------|--------------------|----------|-----|--------------|--|--------------------|
| 第1488号 PL.79 | 9 | 製作地不詳 磁器 碗 | 埋没土中 1/3 | 口 底 (8.2) (3.2) | 高 5.4 | — | — | 灰雑物微量/—/灰白 | 無文。灰釉。 | 18世紀後半。 |
| 第1488号 PL.79 | 10 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 2/3 | 口 底 8.5 3.4 | 高 5.0 | — | — | 灰雑物無し/—/灰白 | 体部外面に半菊文と斜格子文。体部下位と高台間に襷縁。内面は口唇部直下に2重の、見込みに1重の襷縁。底部中央に不明文。 | 18世紀後半。 |
| 第1488号 PL.79 | 11 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/4 | 口 底 (8.3) (3.4) | 高 4.8 | — | — | 灰雑物無し/—/灰白 | 焼成不良。高台は小径。外面に丸文が重なる。 | 製作時期不詳。 |
| 第1488号 PL.79 | 12 | 瀬戸・美濃 陶器 碗 | 埋没土中 | 口 底 (9.8) (3.6) | 高 4.9 | — | — | 灰雑物微量/—/灰黄 | 無文。透明釉。 | 18世紀。 |
| 第1488号 PL.79 | 13 | 製作地不詳 土瓶蓋 | 底面上19cm 口縁部一部 欠損 | 口 底 (9.2) 5.0 | 高 2.1 | — | — | 灰雑物少量/—/にふい黄 | 落とさず。凹型で、端部は水平に開く。換みは外れている。器面はナデ調整。 | 製作時期不詳。 同図16の蓋。 |
| 第1488号 PL.79 | 14 | 瀬戸・美濃 陶器 灯火皿 | 底面上33cm 完形 | 口 底 8.0 4.1 | 高 2.0 | — | — | 灰雑物微量/—/にふい黄 | 口唇部に1か所、小粘土粒を貼付する。体部外面はへら削り。口縁部外面と内面に柿釉。 | 江戸時代。 |

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | |
|-----------------|----|---------------------|-------------------------|--------|--------------------|----------|------|--------|--------------|--|--------------------|
| 第1489E PL.79 | 15 | 肥前磁器 染付御神酒 徳利 | 埋没土中 口縁部～肩部 | 口 底 | 1.6 — | 高 — | — | 灰 白 | 肩部に梅花と雲の染付文。 | 江戸時代。 | |
| 第1489E PL.79 | 16 | 製作地不詳 土服身 | 底面上17cm、19 cm 3/4 | 口 底 | (8.2) (8.6) | 高 — | 11.0 | — | 灰 白 | 短い口口の延長線上に把手が2か所付く。これに接して丸孔2個がある。側面の2か所に菊と葉の文様が押されてい。底部部端に小さい脚を3か所附付する。注口の取り付け部分には丸孔3個が穿れている。器面は上半部はナデ調整。下半部は回転へり削り。 | 製作時期不詳。 同図13の身。 |

6区84号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | | |
|-----------------|----|-------------|-----------------------|--------|--------------------|----------|-----------------|---|--------|---------|--|-----------------|
| 第1490E PL.79 | 1 | 在地系土器 皿 | 埋没土中 底部 | 口 底 | — | 高 — | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 左回転口口整形。底部は回転糸切り難し後無調整。 | 製作時期不詳。 近世か。 |
| 第1490E PL.79 | 2 | 在地系土器 円板 | 埋没土中 体部下位～底部 破片 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 左回転口口整形。底部は回転糸切り難し後無調整。板目痕を残す。口縁部を打ち欠いて円盤状に二次加工。 | 製作時期不詳。 近世か。 |
| 第1490E PL.79 | 3 | 在地系土器 焙烙 | 底面上15.5cm 口縁部破片 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 黒色 | 口唇部は平坦面をなす。底部は平底。器面はナデ。外面下半部には成形時の面が残る。口縁部に内耳が残る。横断面は扁平。器面、底面焼着。 | 江戸時代か。 |
| 第1490E PL.79 | 4 | 在地系土器 焙烙 | 底面上2cm 口縁部破片 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 白色 | 口唇部は平坦面をなす。口縁部中に焼成後の穿孔が1孔見られる。底部は平底。器面はココナデ。口縁部外面の上位に粘土細の接合痕を残す。下部にはナデの下に成形時の面が残る。口縁部に内耳が見える。横断面は扁平。下端は底面に接する。器面、底面焼着。 | 江戸時代。 |
| 第1490E PL.79 | 5 | 石製品 灰白 | 埋没土中 1/6 | 長 幅 | (12.5) (12.8) | 厚 重 | (10.3) 1084) | — | — | 粗粒輝石安山岩 | 正面のすり合わせ面は非常に滑らかである。底面には棒状の工具痕が認められる。 | |

6区100号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | | |
|-----------------|----|---------------|---------------|--------|--------------------|----------|-----|---|---|--------|--|----------------|
| 第1490E PL.79 | 6 | 志戸内陶器 灯火受皿 | 埋没土中 1/4 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 受け部の縁は口縁部より高い。油の流れ口を2か所以上切り込んでいる。体部外面は回転へり削り。銅軸。 | 18世紀前半～ 中頃。 |

6区135号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | | |
|-----------------|----|-------------------|---------------|--------|--------------------|----------|------------|---|---|---|--|--|
| 第1490E PL.79 | 7 | 銅製品 キセル吸い 口 | 埋没土中 完形 | 長 幅 | 5.0 1.0 | 厚 重 | 1.0 9.7 | — | — | 銅 | 継ぎ目が一部残存する。2か所にたぎざりのようなものが見られるが、はつきりしない。吸い口の肩部分に約1ミリ間隔で小孔を1周している線刻が入る。現状で最長1.8cm判別できる。 | |

6区95号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | | | |
|-----------------|----|--------------------|------------------------|--------|--------------------|----------|-----|---|---|---------------|---------------------------------|--|----------------|
| 第1490E PL.79 | 8 | 土師器か 不明 | 埋没土中 小片 | | | | | | | 粗砂粒/やや軟質 橙 | 天地左右表裏不明。全体は板状を呈するが因表面に縦位の棒状凸痕。 | 墓状の器入物。 | |
| 第1490E PL.79 | 9 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/2 | 口 底 | (8.6) 3.2 | 高 — | 5.3 | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 体部外面に植物文。体部下位から高台境に3重の圈線。内面は口唇部直下と見込みで圈線。底部中央に不明文。 | 江戸時代。 |
| 第1490E PL.79 | 10 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/2 | 口 底 | (9.4) | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 体部外面に雪輪梅文。高台外面に2条の圈線。 | 18世紀後半。 |
| 第1490E PL.79 | 11 | 肥前陶器 陶胎染付碗 | 埋没土中 口縁部～体部下 位破片 | 口 底 | (10.6) | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 外面、口唇直下に2重の圈線。その下に植物文。買入る。 | 18世紀前半～ 中頃。 |
| 第1490E PL.79 | 12 | 瀬戸・美濃 陶器 灰底か | 埋没土中 体部破片 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 肩部が強く張る形状。外面に灰軸。 | 江戸時代。 |
| 第1490E PL.79 | 13 | 在地系土器 焙烙 | 埋没土中 破片 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 口唇部は平坦面をなす。底部は平底。内耳の横断面は扁平。下端は底面に接する。口縁部中に小孔を1孔穿つ。器面はココナデ、ナデ。口縁部直下にのみへり削り。 | 江戸時代。 |

6区91号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | | | |
|-----------------|----|---------------------|---------------|--------|--------------------|----------|-----|---|---|--------|--------|--|--------------|
| 第1490E PL.79 | 14 | 瀬戸・美濃 陶器 染付小杯 | 埋没土中 1/3 | 口 底 | (8.4) 3.4 | 高 — | 4.8 | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 端反の杯。外面は口唇直下と高台境に圈線。体部には染付文と銘文。内面は口唇直下と見込みで圈線。底部中央にも文様を施す。 | 江戸時代。 |
| 第1490E PL.79 | 15 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/2 | 口 底 | (9.2) (3.6) | 高 — | 5.1 | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 体部外面に染付文。雪輪文か。高台境と高台外面に2重の圈線。高台内に不明銘。 | 18世紀後半。 |
| 第1490E PL.79 | 16 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/3 | 口 底 | (12.1) 7.5 | 高 — | 3.2 | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 口唇部の内外面に染付文。高台境と高台外面に2重の圈線。高台内は周縁部に圈線。中央に不明銘。内面は底部中央に五弁花。 | 18世紀後半。 |
| 第1490E PL.79 | 17 | 在地系土器 焙烙 | 埋没土中 破片 | 口 底 | — | 高 — | — | — | — | 灰 白 | 灰 白 | 口唇部は浅く、口唇端部の断面形は丸い。口縁部直下にへり削り。底部は砂状。外面に灰染焼着。 | 江戸～明治時 代。 |

6区81号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | | | | |
|-----------------|----|------------|---------------|--------|--------------------|----------|--------------|---|---|----|--|--|
| 第1490E PL.80 | 18 | 石製品 砥石 | 埋没土中 4/5 | 長 幅 | (10.9) (4.5) | 厚 重 | 2.1 131.4 | — | — | 砂岩 | 表面、裏面、左側面に砥面が認められる。表面は上端及び下端に向かい研ぎ減りしている。裏面と左側面はほぼ平坦である。 | |

遺物観察表

6区89号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|----------------|----|--------------------|-------------------------|--------|------------------|--------------------|------------------------|--|---|
| 第1500 PL.80 | 1 | 製作地不詳 陶器 | 埋没土中 体部中位～高台 部1/3 | 口 底 | — 2.8 | — 高 | 夾雑物微量/—/ ぶい黄褐色 | 高台部外面を除いて透明釉。貫入入る。 | 製作時期不 詳。 |
| 第1500 PL.80 | 2 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/3 | 口 底 | (9.4) 3.7 | 高 | 5.1 夾雑物微量/—/ 灰白 | 体部外面に染付文。雪輪文か。高台外面に圈線。高台内 に不明路。 | 18世紀後半。 |
| 第1500 PL.80 | 3 | 製作地不詳 磁器 染付碗 | 埋没土中 1/3 | 口 底 | (7.5) (3.5) | 高 | 6.4 夾雑物微量/—/ 灰白 | 体部外面に世文か。染付文。 | 江戸時代終わ り。 |
| 第1500 PL.80 | 4 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/2 | 口 底 | (9.5) (3.8) | 高 | 5.3 夾雑物微量/—/ 灰白 | 体部外面に染付文。雪輪文か。体部下位、高台外面に圈線。 | 18世紀後半。 |
| 第1500 PL.80 | 5 | 瀬戸・美濃 陶器 | 埋没土中 体部中位～高台 部 | 口 底 | — 7.5 | — 高 | — 夾雑物少量/—/ 浅黄 | 体部外面は回転へら削り。高台外面を除いて灰焼。底部内 面に重ね焼き痕。 | 18世紀末～ 19世紀初頭。 |
| 第1500 PL.80 | 6 | 常滑陶器 片口鉢か | 埋没土中 体部下位～底部 破片 | 口 底 | — (18.5) | — 高 | — 白色鉱物粒少量/ —/灰焼 | 大型品。平底の底部。砂状圧痕跡。外面はナデ。内面には 自然輪付着。 | 製作時期不 詳。 |
| 第1500 PL.80 | 7 | 製作地不詳 火鉢か | 埋没土中 体部下位破片 | 口 底 | — — | — 高 | — 細砂粒少量/—/ ぶい赤褐色 | 外面、外型につけられた文様か。この上に横位のナデを重ね ねる。 | 製作時期不 詳。 |
| 第1500 PL.80 | 8 | 石製品 石臼(上臼) | 埋没土中 不明 | 長 幅 | (16.1) (13.8) | 厚 重 | (9.9) 200.6 | 牛伏砂岩 | 底面に焼き目の痕跡が明確に認められる。底面は著しく挽 き減りする。下端面に輪受孔の一部が認められる。 |

6区102号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|----------------|----|-----------------------|---------------|--------|------------------|--------------------|---------------------------|---|--------------------------------|
| 第1500 PL.80 | 9 | 瀬戸・美濃 陶器 鑊餅 | 埋没土中 完形 | 口 底 | 9.1 3.9 | 高 | 5.7 不明/—/ぶい黄 褐色 | 体部中位に螺旋状凹線。体部外面に筋軸。口縁部外面と内 面全面に灰焼。 | As-A下。 |
| 第1500 PL.80 | 10 | 肥前磁器 染付皿 | 埋没土中 1/4 | 口 底 | (19.8) (11.5) | 高 | 6.1 夾雑物微量/—/ 灰白 | 口縁部外面に唐草の染付文。体部下位と高台外面に3重の 圈線。内面、口縁部に染付文。 | 18世紀後半。 |
| 第1500 PL.80 | 11 | 瀬戸・美濃 陶器 片口鉢 | 埋没土中 1/3 | 口 底 | (20.0) — | 高 — | — 黒色鉱物粒/—/ 淡黄 | 外面、口唇部直下に沈線がめぐる。筋軸。口縁部に灰焼。 | 18世紀中頃。 |
| 第1500 PL.80 | 12 | 在地系土器 火鉢または 手箱か | 埋没土中 1/3 | 口 底 | (21.8) (17.0) | 高 | 7.5 黒色鉱物粒少量/ —/灰黄褐色 | 底部は平底。脚が付く。1か所残存。口縁部外面はヨコナ デの上に先端、底部への移行部分にヘラナデ。 | 江戸時代。 |
| 第1500 PL.80 | 13 | 土製品 臼口 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | (7.0) 7.7 | 厚 重 | 3.9 163.8 | 胎土が細かく、挽 成がしまっている。 臼口基部片。基部から体部に向けてやや広がっている。整 形は見られないが、表面は基部、体部、内面ともになめらか 。 | 内孔直径 2.8cm 外孔直径 7.8cm |

6区69号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|----------------|----|-------------|---------------|--------|----------------|--------------------|-----------------|--|---|
| 第1510 PL.80 | 1 | 鉄滓 | 埋没土中 完形 | 長 幅 | 7.3 5.2 | 厚 重 | 3.9 102.1 | 土砂が細化し酸化土砂を生成した際に付着した礫を持つ鉄 滓。木炭痕が見られ、鉄部は気泡がやや多く淨質はやや粗 いか。 | |
| 第1510 PL.80 | 2 | 鉄滓 桶形鋸治滓 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | (5.0) 8.1 | 厚 重 | 3.5 178.4 | 平面不整形円形。厚さ2cmでやや薄い。上面、下面に木炭 痕が見られる。淨質は。上面より、下面に多く気泡が見 られる。 | |
| 第1510 PL.80 | 3 | 土製品 臼口 | 底面直上 基部欠損 | 長 幅 | (13.5) 11.5 | 厚 重 | 10.9 1248.8 | 胎土はやや粗く、 0.5cmほどの礫が 混じる。 | 大型の臼口。先端部が残り、基部が欠損。先端部全面に外 形直径 9.5cm 内孔直径 3.1cm(見形) 挿入角度約35 度 |

6区104号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|----------------|----|---------------|---------------|--------|----------------|--------------------|-----------------|------|---|
| 第1510 PL.81 | 4 | 石製品 石臼(上臼) | 埋没土中 4/5 | 長 幅 | 34.5 (37.5) | 厚 重 | 12.6 1900.0 | 牛伏砂岩 | 底面に焼き目の痕跡が明確に認められる。片減りするが挽 き目の痕跡が明確に残ることから再度挽き目を入れたと考 えられる。供給孔及び輪受孔の直径約4cm。 |

6区90号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | | |
|----------------|----|--------------|------------------|--------|------------|--------------------|-----------------|----------------------------|---|--------|
| 第1510 PL.81 | 5 | 在地系土器 内耳銅 | 埋没土中 口縁部破片 | 口 底 | — — | — 高 | — — | 片岩を含む細砂粒 少量/—/ぶい黄 褐色 | 口唇部は平坦面をなす。内耳は細い棒状。器面はヨコナ デ、ナデ。外面、灰素焼。 | 中世～近世。 |
| 第1510 PL.81 | 6 | 鉄製品 不明 | 底面直上16.1cm 不明 | 長 幅 | 8.0 4.7 | 厚 重 | 1.4 56.6 | 鉄 | 板状の鉄製品。全体にひび割れし、劣化している。使用目 的は不明。 | |

6区82号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種 類 器 種 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成 形 ・ 整 形 の 特 徴 | 備 考 | |
|----------------|----|-----------------|---------------|--------|----------------|--------------------|-----------------|-----|---|
| 第1510 PL.81 | 7 | 銭貨 寛永通寶(四文銭) | 底面直上 不明 | 縦 横 | 2.832 2.824 | 厚 重 | 0.134 4.4 | 銅 | 四文銭。11波。面、背ともに部、輪、字、波紋とともに彫が 深く明瞭。背の輪の幅がやや右が狭く、左が広い。 |
| 第1510 PL.81 | 8 | 鉄製品 釘 | 底面直上 破片 | 長 幅 | 2.8 2.7 | 厚 重 | 0.8 3.7 | 鉄 | 意図的に器底部より2.7cmで90°曲がっており、J字形の釘。 頭部が欠損しており、脚部は端部ややつぶれている。 |

6区119号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|-----------------|-------------------|--------------------|----------|--|
| 第151号 PL.81 | 9 | 銭貨 洪武通寶 | 底面上13.2cm 完形 | 長幅 2.4厚 2.5 | 0.5 10.0 | 銅 | 洪武通寶を含む3枚が癒着した状態。全体的に劣化が激しい。洪武通寶の面は彫りが深く、郭、輪、字の判別可能。もう一方の面も面の彫りが深く、郭と外縁はやや明瞭だが、字は摩滅により残存は不明。 |
| 第151号 PL.81 | 10 | 銭貨 治平元寶 | 底面上17cm 完形 | 長幅 2.7厚 2.8 | 0.5 9.1 | 銅 | 治平元寶を含む3枚癒着。治平元寶は郭、輪、字はさびに覆われている範囲が多い。もう一面が背は見えており、郭、輪は彫りが深く明瞭だが、さびの中に種子痕(モミカラカ)が見える。 |

6区141号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|----------------|-----|-------------|------------------|-------------|--------------------|----------|--|
| 第151号 PL.81 | 11 | 銭貨 正隆元寶 | 底面上2.1cm 一部欠損 | 縦横 2.526 | 一厚 0.285 1.3 | 銅 | 正隆元寶。劣化により「正」の字が欠損しているが、「隆」と「寶」の字が見られる。面の郭、輪は明瞭。背は郭、輪ともにさびが多く覆われており不明。 |

6区103号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|--------------|------------------------|----------------------|--------------------|----------------------|--|--------------|
| 第152号 PL.81 | 1 | 肥前磁器 染付小碗 | 埋没土中 完形 | 口 7.6高 3.3 | 4.3 | 不明/~/灰白 | 外面に虫籠文。襷格子目文に虫を3か所配す。体部下位と高台外面に磨滅。内面は口唇直下位に2重、見込みに1重の磨滅。底部中央に宝珠文か。 | 18世紀後半～19世紀。 |
| 第152号 PL.82 | 2 | 肥前磁器 染付小碗 | 埋没土中 1/4 | 口 (7.8)高 (3.0) | 5.2 | 灰雑物無し/~/灰白 | 焼成不良。体部外面に矢羽根文。体部下位と高台外面に磨滅。内面は口唇直下位に1重の磨滅。 | 18世紀後半。 |
| 第152号 PL.81 | 3 | 瀬戸陶器 すり鉢 | 埋没土中 体部下位～底部 破片 | 口 一高 (30.5) | 一 | 黒色鉱物少量/~/ -/にぶい黄緑 | 左回転口クロ整形。外面の体部下位は回転へら削り。底部は回転糸切り磨し後無調整。内面には14本1単位のカシ目。内面は使用により磨滅。平滑になっている。跡輪。 | 江戸時代。 |
| 第152号 PL.81 | 4 | 瀬戸陶器 すり鉢 | 埋没土中 体部下位～底部 1/3 | 口 一高 (12.6) | 一 | 黒色鉱物少量/~/ -/灰黄 | 左回転口クロ整形。外面の体部下位は回転へら削り。底部四縁部は磨滅。底部は回転糸切り磨し後無調整。内面には12本1単位のカシ目。内面は使用により磨滅。平滑になっている。跡輪。 | 江戸時代。 |

6区83号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|---------------|-------------------------|----------------|--------------------|----------------------|---|---------------|
| 第152号 PL.82 | 5 | 須臾器 | 埋没土中 口縁破片 | 口 一高 | 一 | 細砂粒/還元焰や や軟質/灰黄 | 紐づくり成形。内外面とも横ナデ。外面には洗滌区画の上にクシ状工具による刺突と波状文が配される。 | |
| 第152号 PL.82 | 6 | 瀬戸・美濃 陶器 | 埋没土中 体部下位～高台 部1/3 | 口 一高 5.5 | 一 | 灰雑物少量/~/ -/にぶい黄緑 | 胎輪。外面の見込目以下は化粧めく。 | 17世紀末～18世紀前半。 |
| 第152号 PL.82 | 7 | 在地系土器 内耳鍋か | 埋没土中 体部破片 | 口 一高 | 一 | 灰雑物少量/~/ -/にぶい黄・黒 | 小破片。器面はナデ。外面に粘土細の接合痕が残る。外面灰系吸着。 | 製作時期不詳。 |

6区94号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|---------------|-------------------------|------------------|--------------------|---------------------|---|--------|
| 第152号 PL.82 | 8 | 瀬戸・美濃 陶器 | 埋没土中 体部下位～高台 部1/3 | 口 一高 (5.1) | 一 | 灰雑物少量/~/ -/灰黄 | 無文か。灰輪。貫入入る。 | 江戸時代。 |
| 第152号 PL.82 | 9 | 瀬戸陶器 すり鉢 | 埋没土中 体部下位～底部 破片 | 口 一高 | 一 | 黒色・白色鉱物少 量/~/灰黄黒 | 底部外面は回転へら削り調整。内面にスリ目。使用により磨滅している。外面に跡輪。 | 江戸時代。 |
| 第152号 PL.82 | 10 | 在地系土器 すり鉢か | 埋没土中 口縁部破片 | 口 一高 | 一 | 細砂粒少量/~/ -/灰黄 | 口唇端部は平坦面をなす。外面側は外方に突出する。器面はヨコナデ。 | 江戸時代か。 |

6区140号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|---------------|-----------------------------|-------------------|--------------------|---------------------|--|---------|
| 第152号 PL.82 | 11 | 製作地不詳 大酒しよ | 底面上29.4cm 体部中央～脚部 1/3 | 口 一高 (30.6) | 一 | 粗砂粒・白色鉱物 粒/~/明赤褐 | 平底の底部に半球形の脚が3か所付く。器面はナデ調整。 | 製作時期不詳。 |
| 第152号 PL.82 | 12 | 鉄製品 釘 | 埋没土中 完形 | 長幅 4.4厚 1.0 | 0.8 2.5 | 鉄 | 砂が混じったさびに覆われている。くの字状に曲がる。断面は長方形。頭部は欠損。 | |

7区178号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|-------------------|-----------------------|------------------------|--------------------|-------------------|--|-------|
| 第156号 PL.82 | 1 | 瀬戸・美濃 陶器 徳利 | 埋没土中 体部下位～底部 破片 | 口 一高 (7.0) | 一 | 黒色鉱物少量/~/ -/灰 | 外面、棒輪か。 | 江戸時代。 |
| 第156号 PL.82 | 2 | 常滑陶器 甕か | 埋没土中 胴部破片 | 口 一高 | 一 | 白色鉱物粒多量/~/ -/橙 | 大型品。紐づくりの磨面が認められ底部付近が滑らかである。裏面は全体的に凹凸が認められ打割面と考えられる。 | 中世。 |
| 第156号 PL.82 | 3 | 硬石器 鎌石 | 底面上16.3cm 1/2 | 長幅 46.5厚 (36.7)重 | (24.0) 2880.0 | 牛伏砂岩 | 表面に浅鉢状の磨面が認められ底部付近が滑らかである。裏面は全体的に凹凸が認められ打割面と考えられる。 | |

7区179号土坑出土遺物観察表

| 検出 PL.No. | No. | 種 類 種 | 出上位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|----------------|-----|--------------------|-------------|--------------------|--------------------|----------|---|----------|
| 第156号 PL.82 | 4 | 瀬戸・美濃 磁器 染付碗 | 埋没土中 3/4 | 口 (8.8)高 3.6 | 4.8 | 不明/~/灰白 | 端反碗。体部外面に染付文。口唇直下と高台間に磨滅。内面は口唇部直下に幅広い磨滅。見込みに磨滅。その中に不明文。 | 江戸～明治時代。 |

遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
|--------------------|----|--------------------|----------------------------|-------------------------|---------------------|----------------------------|--|--------------------------|
| 第15609 PL.82 | 5 | 肥前磁器 染付碗 | 埋没土中 1/2 | 口 底 (10.2) 4.3 | 高 5.0 | 灰 夾雑物無し/灰 白 | 外面、体部は雪輪梅樹文。高台に2重の圓縁。 | 18世紀後半。 |
| 第15608 PL.82 | 6 | 瀬戸・美濃 陶器 灯火皿 | 埋没土中 1/3 | 口 底 (9.8) 4.6 | 高 2.0 | 灰 夾雑物微量/一/濁 | 体部外面は回転へら削り。鑄輪。体部外面は軸を拭い取っている。 | 19世紀。 |
| 7区150号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第15608 PL.82 | 7 | 鉄貨 寛永通寶 | 床面直上 一部欠損 | 縦 横 2.296 2.293 | 厚 重 0.144 1.9 | 銅 | 新寛永。面の輪、輪は明鏡。背は彫が浅く、輪とともに不明瞭。字の判読は可能だが、広い範囲がさびで覆われている。また、輪が一部欠けている。 | |
| 7区54号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第15608 PL.82 | 8 | 瀬戸・美濃 陶器 植木鉢 | 埋没土中 体部下位～高台 部破片 | 口 底 () — | 高 — | 灰 — 夾雑物少量/一/灰 白 | 外面に灰軸。高台内に墨書。 | 江戸時代。 |
| 第15608 PL.82 | 9 | 在地系土器 火鉢蓋 | 埋没土中 破片 | 口 底 (34.1) (31.3) | 高 (3.8) | 赤褐 灰雑物少量/一/濁 | 器内厚い。焙烙の天地を逆転させたような形状。口縁部はヨコナデ。下端寄りと天井部への移行部分に回転へら削り。天井部外面には成形時の面を残す。 | 製作時期不詳。 |
| 7区56号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第15608 PL.82 | 10 | 瀬戸・美濃 磁器 染付碗 | 埋没土中 1/3 | 口 底 (8.6) (3.5) | 高 4.4 | 灰 — 夾雑物無し/一/灰 白 | 端反碗。内外面に植物文。 | 江戸～明治期。 |
| 第15608 PL.82 | 11 | 瀬戸・美濃 磁器 すり鉢 | 埋没土中 1/3 | 口 底 (9.3) (3.9) | 高 5.0 | 灰 — 夾雑物無し/一/灰 白 | 焼成不良。外面は上下の圓縁区画内に染付文。高台境近くと高台境に圓縁。内面は口唇部直下に2重、見込みに1重の圓縁。底部中央に不明筋。 | 江戸～明治期。 |
| 第15608 PL.82 | 12 | 瀬戸陶器 すり鉢 | 埋没土中 体部下位～底部 破片 | 口 底 () — | 高 — | 灰 — 黒色灰物粒少量/ 一/浅黄 | 体部外面下半は右回転ロウク整形によるへら削り。底部圓縁部はわずかに磨滅。底部外面は回転へら削り調整。内面は24本あるいは12本1単位のクシ目。鑄輪。 | 復旧後出土と 接合。 江戸時代。 |
| 第15608 PL.82 | 13 | 在地系土器 焙烙 | 埋没土中 破片 | 口 底 (35.0) — | 高 — | 赤褐 — 夾雑物少量/一/ ぶい濁 | 底部は凸レンズ状か。砂状。 | 復旧出土と接 合。江戸～明 治時代。 |
| 7区57号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第15608 PL.83 | 14 | 石製品 石製品 | 埋没土中 完形 | 長 幅 6.2 5.7 | 厚 重 1.5 52.1 | 黄緑岩 | 砥石の転用品の可能性はある。全体的に多方向の細かい線状痕が多数認められる。表面面に墨書があり、赤外線カメラ写真で表面には安政四年 金繼鳥 上州□□□、裏面は「沢五郎」と判読できた。 | |
| 8-2区231号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第15808 | 1 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部片 | 口 底 8.6 | | 黄褐 粗砂粒/良好/明黄 濁 | 口縁部は横ナデ。内面はナデ。 | 体部～底部は 器面磨滅。 |
| 8-2区230号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第15808 | 2 | 土師器 羽釜 | 底面直上 口縁部～胴部上 位片 | 口 底 18.0 | | 黄褐 粗砂粒/良好/ぶ い濁 | 口唇端部は平坦面をなす。器の貼付は口縁部とのバランスを欠く。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへら削り・ナデ。内面は横位のナデ。 | |
| 第15808 | 3 | 土師器 羽釜 | 底面直上1.7cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 底 14.0 | | 黄褐 粗砂粒/良好/ぶ い濁 | 成形が粗雑で口縁部は波打っている。口縁部は横ナデ。器貼付後、胴縁部にナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位・斜縁位のへらナデ。 | |
| 10-2区181号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第17109 PL.83 | 1 | 土師器 杯 | 底面直上14.4cm 1/2 | 口 底 13.0 3.6 | | 黄褐 粗砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面は体部上位に成形時のナデの面を残す。以下底部まで手持ちへら削り。内面はナデ。 | |
| 第17109 | 2 | 土師器 杯 | 底面直上14.3cm 1/2 | 口 底 15.4 | | 黄褐 粗砂粒の片屑/ 良好/橙 | 器面磨滅。 | |
| 第17109 | 3 | 土師器 小型罌 | 底面直上 口縁部～胴部上 位片 | 口 底 14.0 | | 黄褐 粗砂粒・細砂粒/ 良好/ぶい・赤濁 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 | 外面磨滅。 |
| 10-2区188号上坑出土遺物観察表 | | | | | | | | |
| 種別 PL.No | No | 種類 | 出土位置 残存率 | 計測値 | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 | |
| 第17109 | 4 | 土師器 杯 | 底面直上1cm 口縁部～体部片 | 口 底 12.4 | | 黄褐 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨滅。 | |

10-2区220号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----|----------|-----------------|--------|-------------|-----|----------------------------|---|----|
| 第1718号 PL.83 | 5 | 土師器 杯 | 底面下4.1cm 3/4 | 口 底 | 13.7 9.4 | 3.9 | 粗砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面は手持ちへう割り。底部外面も手持ちへう割り。中央に「8」の字状のへう描き。内面は口縁部が左下から右上に向けて右傾するへう磨き。底部は煙灰状にへう磨き。 | |

10-2区264号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|----------|-------------|-----|------|--|--------------------|---|----|
| 第1718号 | 6 | 土師器 杯 | 底面直上 1/3 | 口 | 13.4 | | 細砂粒/良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部外面には成形時のナデの面を残す。以下底部は手持ちへう割り。 | |

10-2区208B号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|----------|---------------------------|--------|--------------|-----|---------------------|--------------------------------|----|
| 第1719号 | 7 | 土師器 杯 | 底面下5.9cm 1/4 | 口 | 12.0 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい橙 | 器面磨減。 | |
| 第1719号 | 8 | 土師器 杯 | 底面下4.6cm 1/3 | 口 底 | 18.0 12.0 | 5.0 | 粗砂粒/良好/橙 | 器面磨減。体部外面は手持ちへう割りと考えられる。 | |
| 第1719号 | 9 | 土師器 罎 | 底面下9.8cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 23.0 | | 粗砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへう割り。内面は横位のナデ。 | |

10-2区180号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|------------|-----------------------|-----|------|--|--------------------|----------|---------|
| 第1718号 | 10 | 土師器 小型罎 | 埋没土中 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 14.2 | | 粗砂粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面やや磨減。 |

10-2区272号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----|------------|-------------|--------|------------|-------------|--------------------|---|----|
| 第1718号 PL.83 | 11 | 鉄製品 鋸跡先 | 底面直下直上 | 長 幅 | 8.3 7.4 | 1.3 45.7 | 鉄 | 装着部の上面が一部欠損している鋸跡先。先端は欠けている。また、劣化による膨らみも見られる。0.5cm程度の接続部分がある。 | |

11区45号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|----------|----------------------------|-----|------|--|--------------------------|------------------------|----|
| 第1730号 | 1 | 土師器 鉢 | 底面下17.3cm 口縁部～体部上 位片 | 口 | 29.2 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/にぶい黄 橙 | 外面は磨減。口縁部直下に沈線状。内面はナデ。 | |

11区65号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----|-----------|------------------------------|--------|-------------|--|-----------------------------|---------------------------------|-------|
| 第1738号 PL.83 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中 2/3 | 口 高 | 12.7 4.8 | | 礫・粗砂粒・赤色 粘土粒/良好/にぶ い橙 | 口縁部は横ナデ。 | 器面磨減。 |
| 第1738号 PL.83 | 3 | 土師器 杯 | 底面下3.3cm, 底面下6.3cm 3/4 | 口 高 | 16.0 6.2 | | 粗砂粒/良好/明 橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへう割り。内面はナデ。 | |
| 第1738号 | 4 | 土師器 飯か | 底面下18.5cm 口縁部～胴部上 位片 | 口 | 22.6 | | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/にぶい黄 橙 | 口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位のへう割り。 | 器面磨減。 |

11区44号土坑出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----|-----------|-------------|--------|--------------|--------|--------------------|----------|--|
| 第1738号 PL.83 | 5 | 礫石器 凹石 | 埋没土中 2/3 | 長 幅 | 10.4 11.0 | 厚 重 | 6.8 709.5 | 牛伏砂岩 | 表裏面のほぼ中央に漏斗状の凹みが認められる。表面の凹みの内部は径5mm程度のほぼ円形の痕跡が累積した状態である。外面は自然面であるか加工面であるか判断できない。 |

6-2区403号ビット出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-------------|----|----------|-----------------|-----|-----|--|---------------------|-------------------------|---------|
| 第1750号 | 1 | 土師器 罎 | 埋没土中 体部下位～底部 | 底 | 7.2 | | 細砂粒・赤色粘土 粒/良好/明赤 | 胴部外面はへらナデに近い割り。内面はへらナデ。 | 器面やや磨減。 |

9区355号ビット出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----|----------|-----------------------|--------|-------------|--|--------------------|---------------------------------|---------|
| 第1750号 PL.83 | 2 | 土師器 杯 | 埋没土中 口縁部～体部一 部欠 | 口 高 | 13.1 4.7 | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。体部から底部外面は手持ちへう割り。内面はナデ。 | 器面やや磨減。 |

8-2区1002号ビット出土遺物観察表

| 種別 PL.No | No | 種類 器種 | 出土位置 残存率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備考 |
|-----------------|----|----------|-------------|--------|------------|--------|--------------------|----------|---------------------------------------|
| 第1750号 PL.83 | 3 | 鉄製品 釘 | 埋没土中 破片 | 長 幅 | 2.3 0.7 | 厚 重 | 0.6 1.7 | 鉄 | 頭部、腰部欠損。計測不明。若干さびによる膨れの影響が現在の形状に見られる。 |

遺構外出土遺物観察表

| 採得 PL.No | No | 種 類 種 別 | 出土位置 残 存 率 | 計測値 | | | 胎土/焼成/色調 石材・素材等 | 成形・整形の特徴 | 備 考 | | |
|----------------|----|--------------------|-------------------------------|--------|-----------------|--------|--------------------|--|--|---|--------------|
| 第196区 PL.84 | 2 | 縄文土器 深鉢 | 10-2区509号 ビット 口縁部片 | | | | B | 口縁部に鼠状把手を施し、剣先状の単列角押文により文様を構成。内外面共にやや風化。 | 阿玉台B式 | | |
| 第196区 PL.84 | 3 | 縄文土器 深鉢 | 9区遺構確認面 口縁部片 | | | | D | 胴帯の渦巻文や楕円区画文を施す。内外面共に著しい風化。 | 加曾利E2式 | | |
| 第196区 PL.84 | 4 | 縄文土器 深鉢 | 10-2区119号型 穴建物 製部片 | | | | C | 辻懸垂文を施し、別点文を充填施文。内外面共にやや軽熱風化。 | 堀之内1式 | | |
| 第196区 PL.84 | 5 | 割片石器 石礫 | 7-2区103号型穴 建物 完形 | 長 幅 | 1.8 1.4 | 厚 重 | 0.5 1.0 | 黒曜石 | 押圧調整により両面加工する。 | 円基無茎錐 | |
| 第196区 PL.84 | 6 | 礫石器 棒状礫 | 7-2区103号型穴 建物 完形 | 長 幅 | 11.5 3.1 | 厚 重 | 1.9 93.9 | 雲母石英片岩 | 円柱状の整った形態を呈しており全体的に整形されている可能性がある。 | | |
| 第196区 PL.84 | 7 | 礫石器 棒状礫 | 7-2区103号型穴 建物 完形 | 長 幅 | 11.4 1.8 | 厚 重 | 0.9 33.3 | 雲母石英片岩 | 円柱状の整った形態を呈しており全体的に整形されている可能性がある。 | | |
| 第196区 PL.84 | 8 | 土師器 杯 | 8-2区南部遺構 確認面 1/4 | 口 高 | 12.2 2.6 | | | 粗砂粒・細砂粒/ 良好/橙 | 口縁部は横ナデ。外面体部には成形時のナデの面を残す。底部は手持ちヘラ削り。内面はナデ。 | | |
| 第196区 PL.84 | 9 | 須恵器 杯 | 7-2区西部遺構 確認面 | 口 底 | 11.7 6.2 | 高 底 | 2.8 | 粗砂粒・細砂粒/ 酸化塩/にぶい橙 | ロクロ整形。回転は右回り。底部は回転糸切り離し後、無調整。 | | |
| 第196区 PL.84 | 10 | 須恵器 高台付杯 | 10区遺構確認面 体部下位～底部 1/4 | 台 | 12.4 | | | 粗砂粒/還元焼成 質/灰黄 | ロクロ整形。回転は左回りか。体部外面の高台部寄りには回転ヘラ削りか。高台部の回転削り出し高台は磨滅。底部を切り離し後、回転ヘラ調整。 | 器面磨滅。 | |
| 第196区 PL.84 | 11 | 瀬戸・美濃 陶器 染付碗 | 7区攪乱 体部下位～高台 部 | 口 底 | - 3.0 | 高 底 | - 4.0 | - 灰 黄 | - 灰 黄 | 外周高台境、内面の見込みに墨線。中央に不明文。 | 19世紀。 |
| 第196区 PL.84 | 12 | 肥前磁器 染付碗 | 7区攪乱 1/3 | 口 底 | (10.2) 4.0 | 高 底 | 4.5 | 灰 白 | 灰 白 | 体部外面に雪輪梅文が。高台内に不明路。 | 19世紀。 |
| 第196区 PL.84 | 13 | 製作地不詳 陶器 蓋か | 7区攪乱 完形 | 口 底 | 3.7 1.3 | 高 底 | 1.5 | 灰 白 | 灰 白 | 下面は無軸。 | 江戸時代。 |
| 第196区 PL.84 | 14 | 肥前磁器 染付小杯 | 7区攪乱 1/3 | 口 底 | (6.8) 2.6 | 高 底 | 2.8 | 灰 白 | 灰 白 | 外面に染付文。 | 江戸時代。 |
| 第196区 PL.84 | 15 | 製作地不詳 陶器 灯火皿 | 7区攪乱 1/3 | 口 底 | (10.0) (5.4) | 高 底 | (2.2) | 灰 白 | 灰 白 | 外面は体部以下に回転ヘラ削り。軸は鉄軸。外面は拭い とっている。 | 江戸時代。 |
| 第196区 PL.84 | 16 | 在地系土器 焙烙 | 7区攪乱 破片 | 口 底 | - - | 高 底 | - - | - に ぶい黄褐 | - に ぶい黄褐 | 底部は丸底。円レンズ状を呈す。底部外面はヒビ割れ状。器面はナデ。口縁部から底部に移行する部分にヘラケズリ。 | 江戸～明治時 代。 |
| 第196区 PL.84 | 17 | 萩陶器 小碗 | 6区47号型穴建 物 口縁部～体部破 片 | 口 底 | (7.1) | | | | | 口縁部は短い端入り。外面、鉄軸と内面無軸の灰白軸をビ ラ掛け。内面、蒸気軸と考えられる失透性の灰白色の釉。 | 19世紀。 |
| 第196区 PL.84 | 18 | 在地系土器 すり鉢か | 10-2区北部遺構 確認面 体部下位破片 | 口 底 | - - | 高 底 | - - | - に ぶい黄褐 | - に ぶい黄褐 | 器面、磨滅。 | 中世か。 |
| 第196区 PL.84 | 19 | 石製品 砥石 | 7区 不明 | 長 幅 | (11.8) (7.9) | 厚 重 | 4.7 485.3 | | | 表面及び左側面に砥面が認められる。正面は下方に向い 研ぎ減りしており、幅5mm程度の浅い縦糸痕が認められ る。裏面と左側面の砥面はほぼ平坦である。上面から右側 面にかけては自然磨の可能性があり円礫を利用している可 能性が高い。 | |
| 第196区 PL.84 | 20 | 鉄製品 釘 | 8-2区遺構確認 面 一部欠損 | 長 幅 | 5.7 1.2 | 厚 重 | 1.4 8.2 | | | 砂をかんだ跡に覆われている。縦に劣化による割れが入り、 大きく破損している。頭部、脚部分が欠損。 | |
| | | 石製品 砥石 | 6区遺構確認面 完形 | 長 幅 | 5.1 2.8 | 厚 重 | 1.9 22.6 | | | | 計測のみ |
| | | 割片石器 石核 | 9区遺構確認面 不明 | 長 幅 | - - | 厚 重 | - 565.7 | | | | 計測のみ |

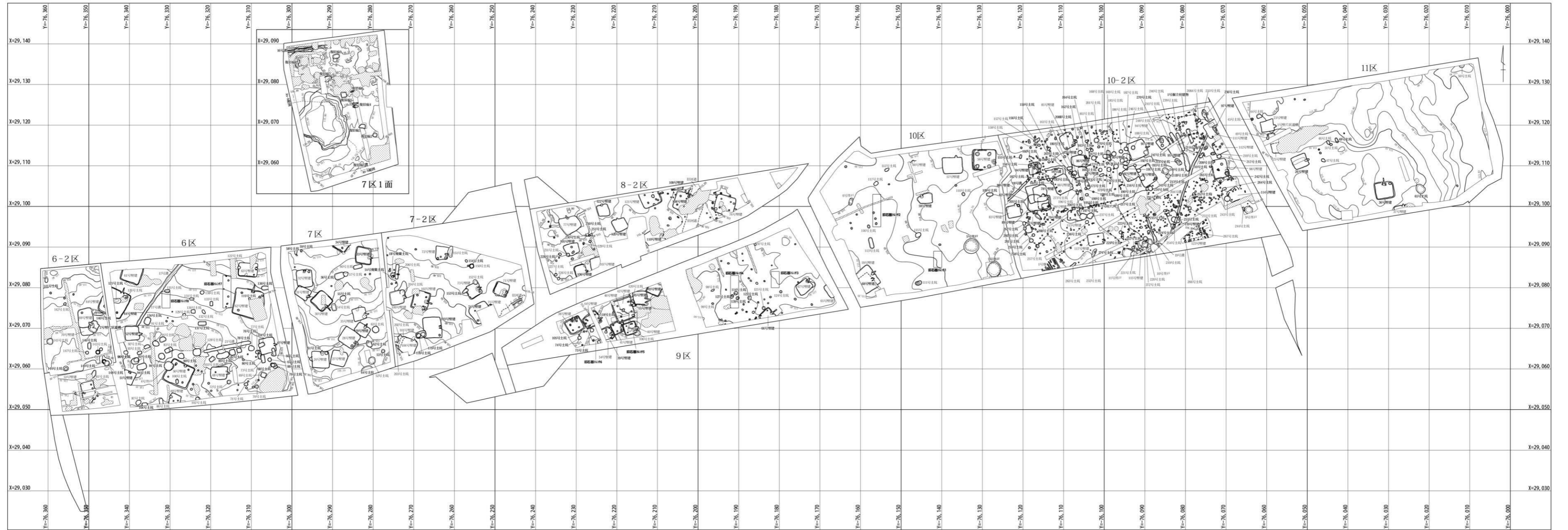
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第635集

塩川砂井戸遺跡(2) 池 石 田 遺 跡

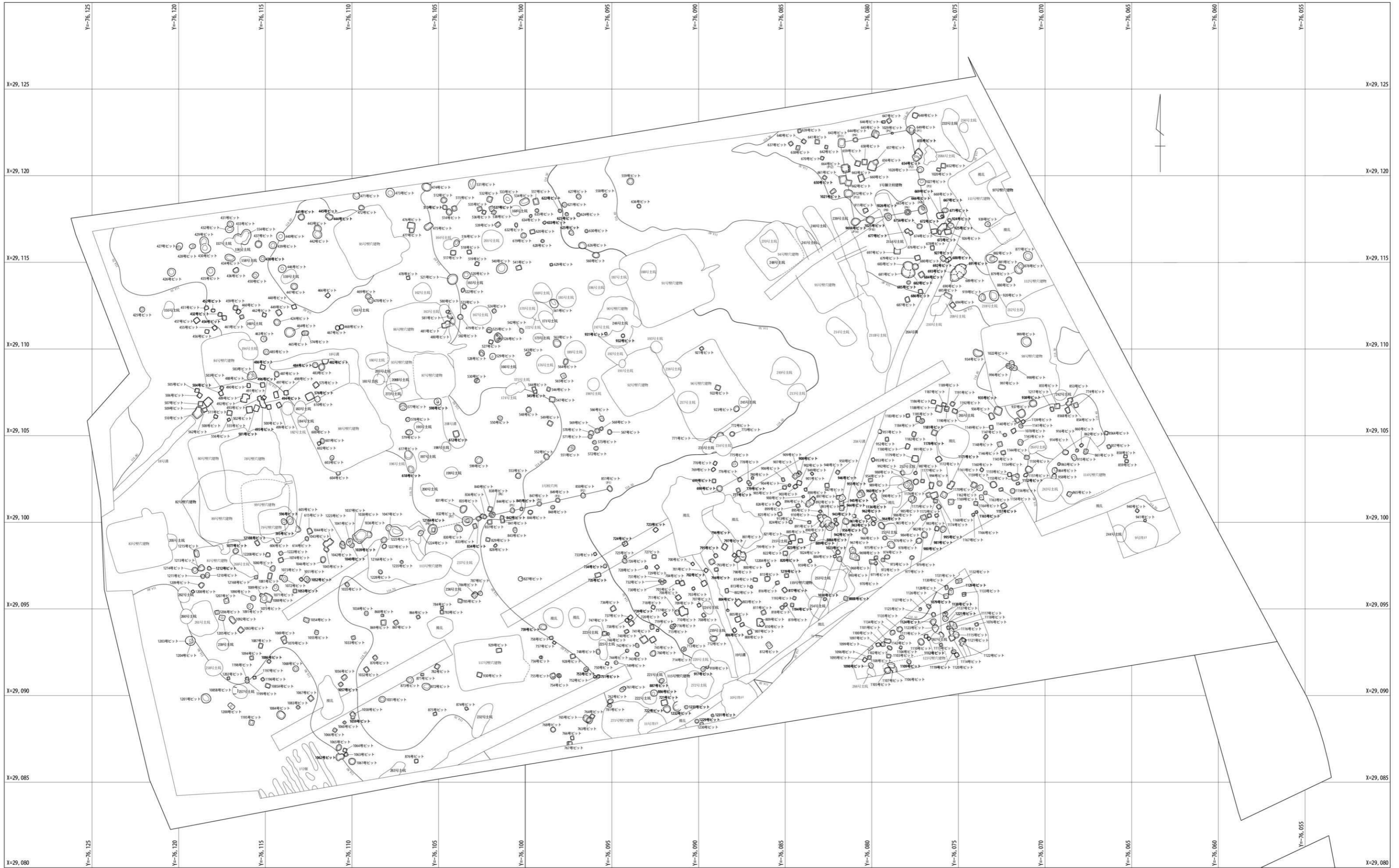
(都)3.3.2 吉井北通り線社会資本整備総合交付金
(防災・安全/活力基盤)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

付図1 塩川砂井戸遺跡(6~11区)全体図 1:400

付図2 塩川砂井戸遺跡ピット(10-2区)全体図 1:100



付図1 塩川砂井戸遺跡(6～11区)全体図



付図2 塩川砂井戸遺跡ピット(10-2区)全体図

